

平成22年度 一般廃棄物実態調査

報告書

平成 22 年 11 月

三重県

= 目次 =

I 県民アンケート

1	調査の概要	1
1-1	調査の目的	1
1-2	調査対象	1
1-3	調査方法	1
1-4	調査期間	1
1-5	回収状況	1
1-6	回収状況：市町別平成 19 年度との比較	2
1-7	分析結果の見方	3
1-8	標本誤差の範囲	3
2	調査結果（属性）	4
2-1	年代	4
2-2	性別	5
2-3	職業	6
2-4	家族人員	6
2-5	住まいの市町	8
2-6	住まいの形態	8
2-7	住まい周辺の様子	9
2-8	家庭にあてはまること	10
2-9	地域活動	12
2-10	ごみの分別へのかかわり	13
3	「ごみゼロ社会実現プラン」における目標指標達成状況	15
3-1	目標指標	15
3-2	今回調査結果からみた目標指標現況値の算出	15
3-3	目標指標の達成状況	16
3-4	目標指標別市町別平成 19 年度との比較	17
4	調査結果（総括：意識度）	21
4-1	平成 22 年度 意識度解析	21
4-2	平成 16 年度・平成 19 年度・平成 22 年度 意識度比較	24
4-3	平成 19 年度・平成 22 年度 意識度比較	29

5	調査結果（詳細）	33
5-1	暮らしの中での関心ごとや考えられる行動について	33
5-2	現在行っているごみ減量やリサイクルの取組について	72
5-3	今後の方策に対する意向について	102
5-4	「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画について	148
5-5	三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」について	160
6	意識・行動解析	168
6-1	目標指標の達成状況の違いによる県民の行動及び意識の差の分析	168
6-2	意識と行動の相関分析	176
7	平成16年度・平成19年度・平成22比較年度	183
7-1	属性	183
7-2	暮らしの中での関心ごとや考えられる行動について	185
7-3	現在行っているごみ減量やリサイクルの取組について	193
7-4	今後の方策に対する意向について	201
8	平成19年度・平成22年度比較	209
8-1	現在行っているごみ減量やリサイクルの取組について	209
8-2	「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画について	210
8-3	三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」について	213
9	国との比較	225
9-1	暮らしの中での関心ごとや考えられる行動について	225
9-2	現在行っているごみ減量やリサイクルの取組について	229
9-3	今後の方策に対する意向について	230
10	自由記入意見まとめ	234
11	県民アンケート 調査票	236

Ⅱ 事業所アンケート

1	調査の概要	247
1-1	調査の目的	247
1-2	調査対象	247
1-3	調査方法	247
1-4	調査期間	247
1-5	抽出状況	247
1-6	回収状況	248
1-7	平成16年度との比較	248
1-8	分析結果の見方	250
2	調査結果（属性）	251
2-1	業種	251
2-2	建物形態	252
2-3	従業員数	253
2-4	所在地	254
3	調査結果（詳細）	256
3-1	事業系ごみ（事業系一般廃棄物）の減量やリサイクルの取組	256
3-2	事業所から出る事業系ごみ（事業系一般廃棄物）について	267
3-3	今後の方策や意向について	280
3-4	三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」について	298
4	調査結果（事業系ごみ組成調査）	304
4-1	ごみとしての排出量	304
4-2	ごみの組成	307
4-3	資源としての排出量	313
4-4	全県排出量拡大推計	317
5	解析	318
6	平成16年度・平成22年度比較	325
6-1	現在行っているごみ減量やリサイクルの取組について	325
6-2	あなたの事業所から出る事業系ごみ（事業系一般廃棄物）について	333
6-3	今後の方策や意向について	341
7	自由記入意見まとめ	348
8	事業者アンケート 調査票	350

Ⅲ NPO等団体アンケート

1	調査の概要	359
1-1	調査の目的	359
1-2	調査対象	359
1-3	調査方法	359
1-4	調査期間	359
1-5	回収状況	359
1-6	分析結果の見方	359
2	調査結果（属性）	360
2-1	属性	360
2-2	活動分野	360
2-3	活動を始めた時期	361
2-4	活動の範囲	362
2-5	会員数	362
2-6	主たる事務所（事務局）の所在形態	363
2-7	主たる事務所の住所	364
3	調査結果（詳細）	365
3-1	「ごみゼロ社会実現プラン」について	365
3-2	ごみの減量やリサイクルの取組状況について	365
4	過去との比較	374
4-1	現在行っている取組内容について	374
4-2	連携の相手について	382
4-3	県に期待する役割について	384
5	自由記入意見まとめ	385
6	NPO等団体アンケート 調査票	387

IV 市町ごみ処理状況調査

1	調査の概要	395
1-1	調査の目的	395
1-2	調査対象	395
1-3	調査方法	395
1-4	調査期間	395
1-5	回答状況	395
2	調査結果	396
2-1	基本方向2 事業系ごみの総合的な減量化の推進	396
2-2	基本方向3 リユース（再使用）の推進	400
2-3	基本方向4 容器包装ごみの減量・再資源化	406
2-4	基本方向5 生ごみの再資源化	410
2-5	基本方向6 産業・福祉・地域づくりと一体となったごみ減量化の推進	417
2-6	基本方向7 公正で効率的なごみ処理システムの構築	422
2-7	基本方向8 ごみ行政への県民参画と協働の推進	432
2-8	基本方向9 ごみゼロ社会を担うひとづくり・ネットワークづくり	440
3	市町ごみ処理状況調査 回答票	445

I. 県民アンケート結果

1 調査の概要

1-1 調査の目的

この調査は、ごみに対する県民の取組や考え方を把握することにより「ごみゼロ社会実現プラン」の改定に必要な基礎資料を得るため、実施する。

1-2 調査対象

地域特性などを考慮して選んだ県内15市町から500名ずつ、合計7,500名を無作為抽出し調査対象とした。

1-3 調査方法

調査票を郵送、回収した。回収期限前にはがきによる督促を行った。

1-4 調査期間

平成22年5月21日に調査票を発送し、6月11日を回答期限として回収した。なお、督促により回答期限後も回答があったため、7月5日を最終回収期限として有効回答に含めた。

1-5 回収状況

番号	市町名	発送数	宛先不明	有効発送数	有効回収数	有効回収率
1	津市	500	10	490	223	45.5%
2	四日市市	500	11	489	202	41.3%
3	伊勢市	500	6	494	216	43.7%
4	松阪市	500	13	487	214	43.9%
5	桑名市	500	11	489	219	44.8%
6	鈴鹿市	500	13	487	203	41.7%
7	名張市	500	3	497	237	47.7%
8	尾鷲市	500	5	495	165	33.3%
9	鳥羽市	500	8	492	166	33.7%
10	熊野市	500	7	493	203	41.2%
11	志摩市	500	7	493	185	37.5%
12	伊賀市	500	4	496	228	46.0%
13	東員町	500	3	497	229	46.1%
14	菰野町	500	6	494	217	43.9%
15	紀宝町	500	3	497	191	38.4%
	不明	-	-	-	56	-
	全体	7,500	110	7,390	3,154	42.7%

※「不明」の56件は、設問での「住まいの市町」が無回答の分である。

表 1-1 市町別回収状況

1-6 回収状況：市町別平成 19 年度との比較

市町名	平成 19 年度	平成 22 年度	平成 19 年度との差
津市	49.9%	45.5%	-4.4%
四日市市	45.2%	41.3%	-3.9%
伊勢市	48.1%	43.7%	-4.4%
松阪市	48.8%	43.9%	-4.9%
桑名市	51.3%	44.8%	-6.5%
鈴鹿市	46.1%	41.7%	-4.4%
名張市	55.8%	47.7%	-8.1%
尾鷲市	43.3%	33.3%	-10.0%
鳥羽市	43.3%	33.7%	-9.6%
熊野市	45.5%	41.2%	-4.3%
志摩市	43.9%	37.5%	-6.4%
伊賀市	49.3%	46.0%	-3.3%
東員町	52.2%	46.1%	-6.1%
菰野町	48.0%	43.9%	-4.1%
紀宝町	50.0%	38.4%	-11.6%
全体	49.7%	42.7%	-7.0%

市町別の回収率を前回調査の平成 19 年度と比較すると、全体では 7% 下がっている。
市町別では、すべての市町で前回調査の回収率より下がっている。

表 1-2 回収状況：市町別平成 19 年度との比較

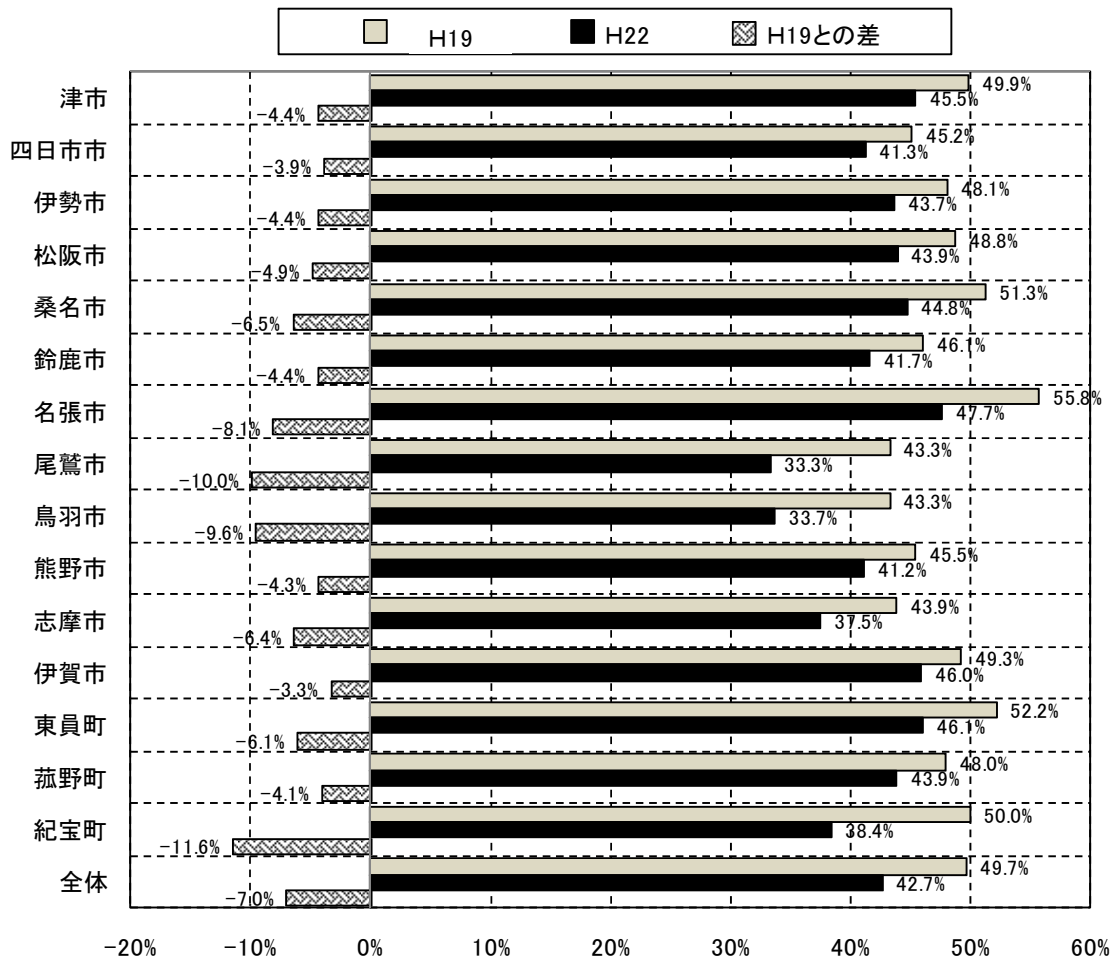


図 1-1 回収状況：市町別平成 19 年度との比較

1-7 分析結果の見方

- ① 各比率は、各設問の回答数を有効回答数の100分率で示している。比率は、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならないことがある。
- ② 複数回答の場合の各比率は、その項目を選んだ人が有効回答数の何%に当たるかを算出している。従って各項目の比率の合計は100%を超える場合がある。
- ③ ある設問の指定された回答を選んだ人を対象回答者としている場合がある。このような場合、指定回答者以外の回答は無効回答としている。

1-8 標本誤差の範囲

県民意識調査を実施する場合、本来は全県民を対象とすることが望ましいが、実際には適当な人数を選んで精度の高い調査結果（全数調査の結果に近い調査結果）を得ることになる。今回は3,154人の県民から回答を得た。

この結果がどの程度の精度を持った回答結果であるかは、アンケート結果に対する標本誤差を算定することで検証できる。

統計学的には、標本誤差が3%以下であれば精度の高い調査結果であるとされている。

標本誤差が3%ということは、調査結果が母集団の真値に対し、ある信頼度（今回の信頼度は95%とした）でプラス・マイナス3%の範囲にあるということである。

標本誤差 σ は次式で算定される。

$$\sigma = \kappa \sqrt{\frac{M-n}{M-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

記号	項目	内容
σ	標本誤差	上記による
M	母集団	全人口数：1,855,177人（平成22年4月1日現在）
n	有効回収数	3,154人
κ	信頼度による定数	信頼度95%の時、1.96
p	結果の比率	50%の時が最も大きな値となる

表 1-3 記号の説明

標本誤差算定結果

結果の比率 P:(1-P)	50%:50%	40%:60%	30%:70%	20%:80%	10%:90%
標本誤差 (σ)	1.74%	1.71%	1.60%	1.39%	1.05%

表 1-4 標本誤差算定結果

標本誤差の算定結果は、最も大きな値を示す結果の比率が50%:50%で1.74%であった。調査結果が母集団の真値に対し、プラス・マイナス1.74%の範囲にあるといえる。結果の比率が50%・50%以外のポイントでは、更に小さな標本誤差となっている。

2 調査結果（属性）

2-1 年代

問 36 あなたの年代は？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

「年代」は、「60代」が25.8%で最も高く、「20代以下」が6.6%で最も低い。
 「20代以下」を除くと、各年代に大きな偏りは見られない。
 市町別では、極端な隔たりは見られないが、鳥羽市の「20代以下」の比率が低い。

番号	選択肢	回答数	回答率
1	20代以下	207	6.6%
2	30代	416	13.2%
3	40代	444	14.1%
4	50代	638	20.2%
5	60代	815	25.8%
6	70代以上	582	18.5%
99	無回答	52	1.6%
	計	3,154	100.0%

表 2-1 「年代回答状況」

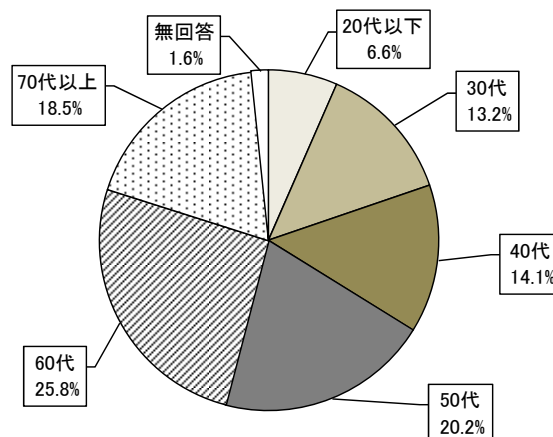


図 2-1 「年代回答率」

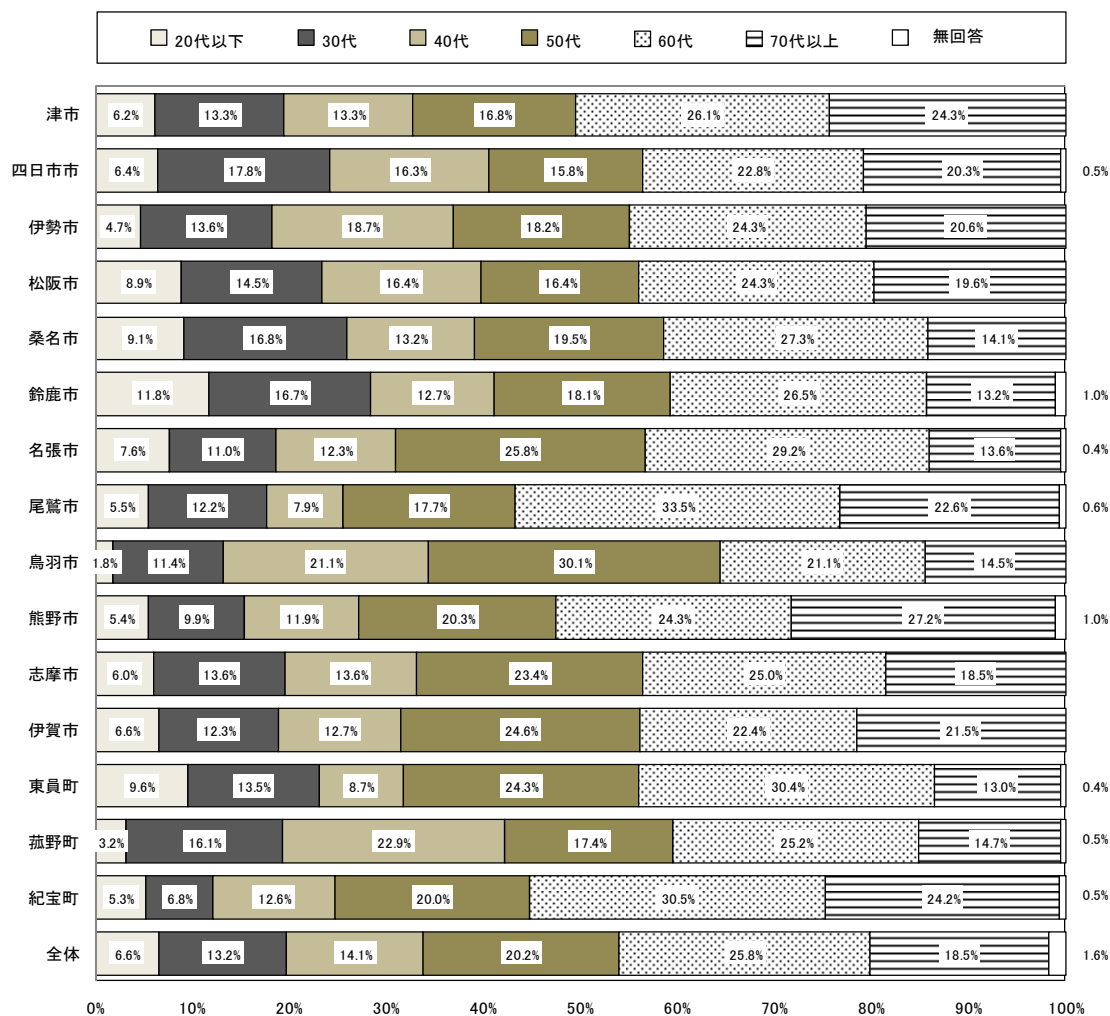


図 2-2 「市町別年代回答率」

2-2 性別

問 37 あなたの性別は？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

「性別」は、「女性」が59.6%、「男性」が38.5%となっている。
 「女性」の回答率が「男性」の1.5倍となっており、本調査は「女性」の方がごみの問題に関心が高いことがわかる。
 市町別では、すべての市町で「女性」の回答率が高い。伊賀市は「女性」の回答数が「男性」の2倍強となっている。

番号	選択肢	回答数	回答率
1	女性	1,881	59.6%
2	男性	1,214	38.5%
99	無回答	59	1.9%
計		3,154	100.0%

表 2-2 「性別回答状況」

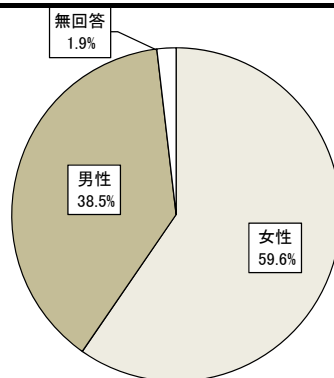


図 2-3 「性別回答率」

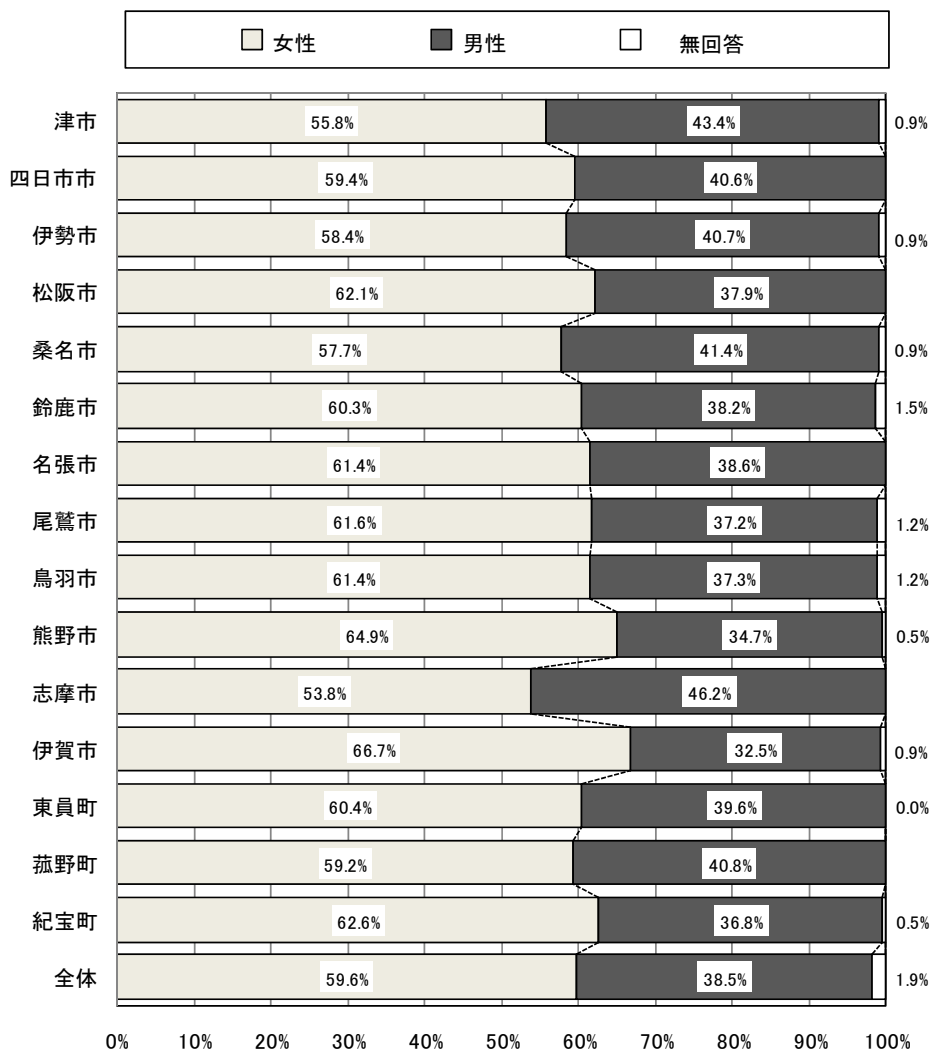


図 2-4 「市町別性別回答率」

2-3 職業

問 38 あなたのお仕事は？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

「仕事」は、「無職」が29.4%で最も高く、次いで「会社員・公務員」の27.1%となっている。
他の「仕事」は、1.0%から14.6%であり職業別の回答率には偏りが見られる。

番号	選択肢	回答数	回答率
1	会社員・公務員	854	27.1%
2	パート・アルバイト	461	14.6%
3	農林水産業	74	2.3%
4	自営業	261	8.3%
5	家事・家事手伝い	360	11.4%
6	学生	30	1.0%
7	無職	927	29.4%
8	その他	128	4.1%
99	無回答	59	1.9%
計		3,154	100.0%

表 2-3 「職業回答状況」

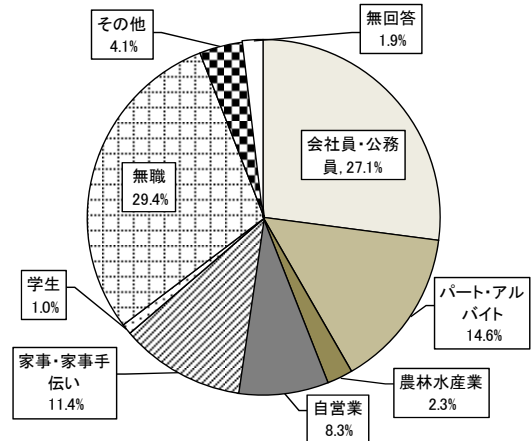


図 2-5 「職業回答率」

2-4 家族人員

問 39 いっしょに住んでいる家族の人数は？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

「家族の人員」は、「2人」が29.1%で最も高い。全体的には「家族の人員」での大きな偏りは見られない。
市町別では、「3人」が最も多い市町は「鈴鹿市」、「東員町」で、「松阪市」は「2人」と同数である。他の市町は、「2人」が最も多い。
年代別では、「40代以下」は「3人」、「50代以上」は「2人」が最も多い。年代が高くなると少人数となっている。

番号	選択肢	回答数	回答率
1	1人	530	16.8%
2	2人	918	29.1%
3	3人	717	22.7%
4	4人	479	15.2%
5	5人以上	452	14.3%
99	無回答	58	1.8%
計		3,154	100.0%

表 2-4 「家族人員回答状況」

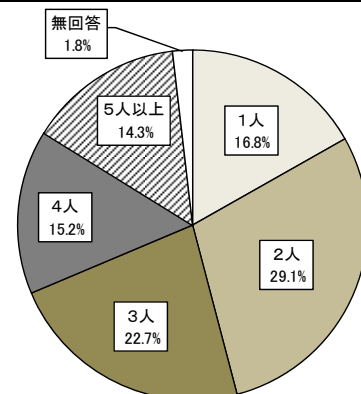


図 2-6 「家族人員回答率」

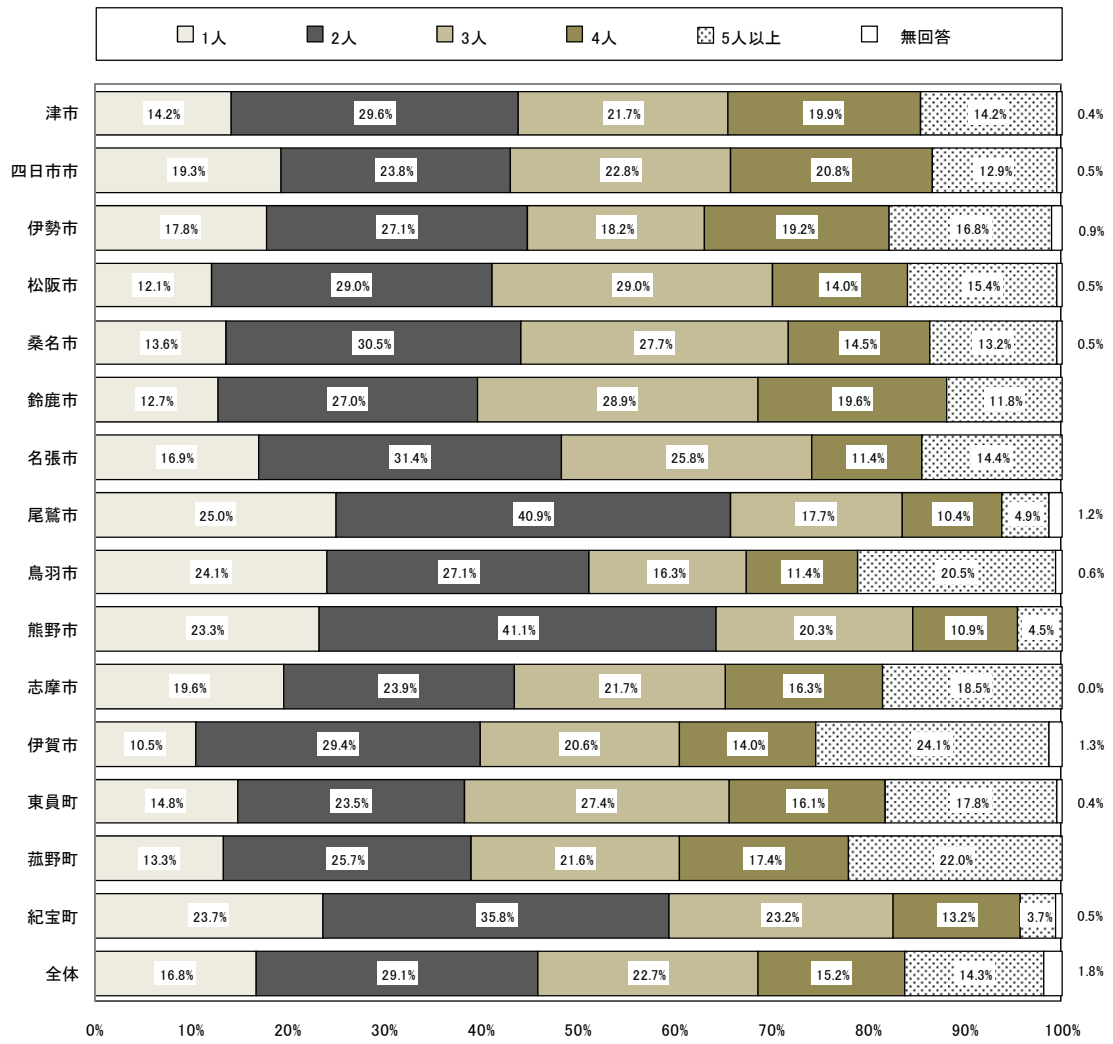


図 2-7 「市町別家族人員回答率」

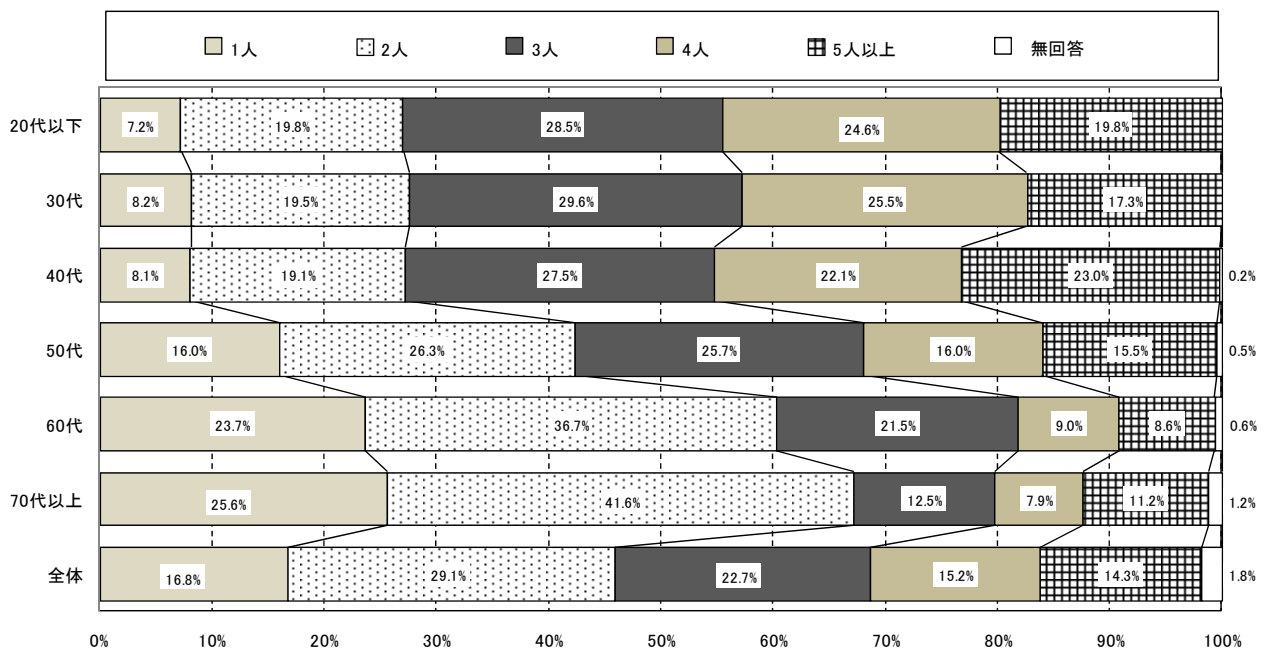


図 2-8 「年代別家族人員回答率」

2-5 住まいの市町

問 40 お住まいの市町は？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

「住まいの市町」は、5.2%から7.5%であり、「住まいの市町」による大きな偏りは見られない。

番	選択肢	回答数	回答率
1	津市	226	7.2%
2	四日市市	202	6.4%
3	伊勢市	214	6.8%
4	松阪市	214	6.8%
5	桑名市	220	7.0%
6	鈴鹿市	204	6.5%
7	名張市	236	7.5%
8	尾鷲市	164	5.2%
9	鳥羽市	166	5.3%
10	熊野市	202	6.4%
11	志摩市	184	5.8%
12	伊賀市	228	7.2%
13	東員町	230	7.3%
14	菰野町	218	6.9%
15	紀宝町	190	6.0%
99	無回答	56	1.8%
計		3,154	100.0

表 2-5 「市町回答状況」

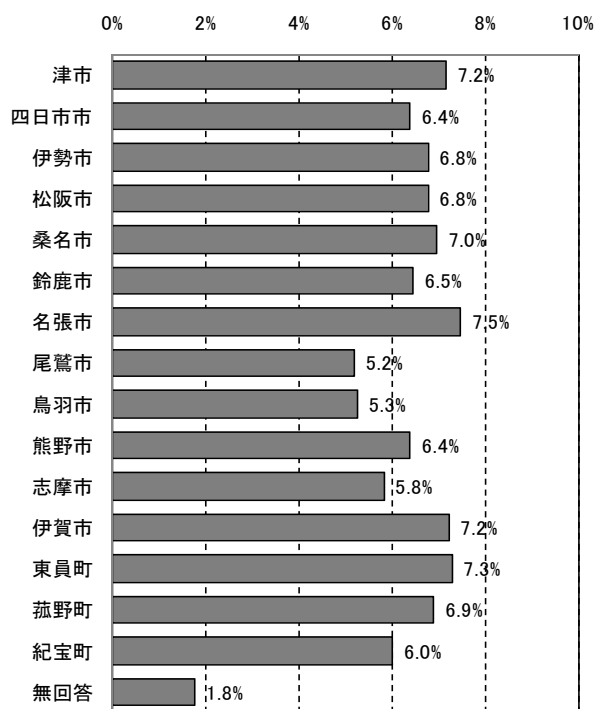


図 2-9 「市町回答率」

2-6 住まいの形態

問 41 お住まいの形態は？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

「住まいの形態」は、「戸建住宅」が89.5%で圧倒的に高い。
「戸建住宅」以外の住まいの形態は、0.4%から5.8%となっている。

番号	選択肢	回答数	回答率
1	戸建住宅	2823	89.5%
2	ワンルームのマンションやアパート	40	1.3%
3	学校や会社の寮	14	0.4%
4	その他のマンションやアパート	184	5.8%
5	その他	38	1.2%
99	無回答	55	1.7%
計		3,154	100.0%

表 2-6 「住まいの形態回答状況」

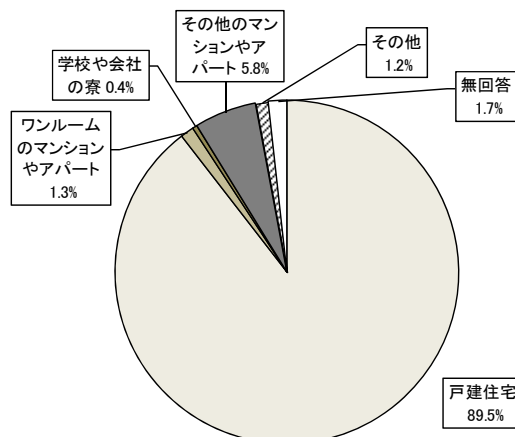


図 2-10 「住まいの形態回答率」

2-7 住まい周辺の様子

問 42 お住まいの周辺の様子は？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

「住まいの周辺の様子」は、「住宅地」が60.2%で最も高い。次いで「住宅が点在する農山漁村」が26.9%で、合わせると87.1%を占めている。
市町別では、「熊野市」は、「住宅が点在する農山漁村」が最も高くなっている以外はいずれの市町も「住宅地」が最も高い。しかし、「鳥羽市」、「志摩市」、「伊賀市」、「紀宝町」では「住宅地」が50%以下となっている。

番号	選択肢	回答数	回答率
1	住宅地	1900	60.2%
2	住宅とお店や工場などが混	260	8.2%
3	住宅が点在する農山漁村	847	26.9%
4	その他	75	2.4%
99	無回答	72	2.3%
計		3,154	100.0

表 2-7 「住まいの周辺の様子回答状況」

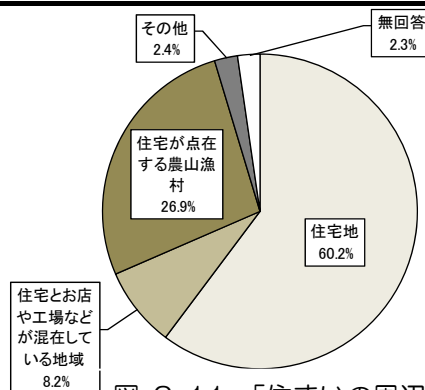


図 2-11 「住まいの周辺の様子回答率」

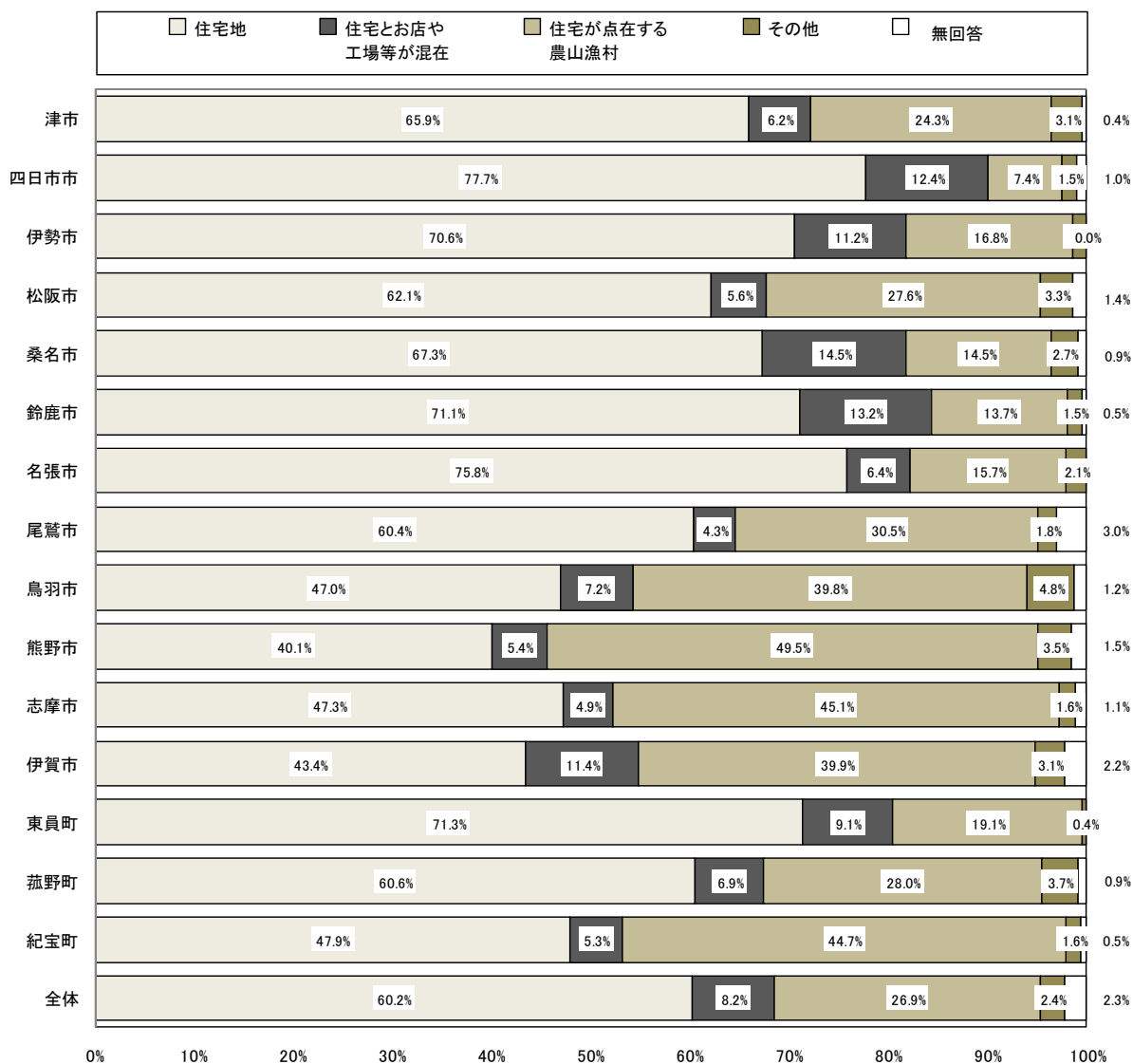


図 2-12 「市町別住まいの周辺の様子回答率」

2-8 家庭にあてはまること

問 43	次のうち、あなたの家庭にあてはまることはありますか？ あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。 (複数回答)
------	--

「家庭にあてはまること」については、「いずれにもあてはまらない」が34.9%で最も高く、次いで「夫婦共働き」が31.4%となっている。

市町別では、「いずれにもあてはまらない」が一番高い市町は9市町で、「夫婦共働き」が一番高い市町は6市町となっている。「家族は全員60歳以上」が25%を超えている市町は「尾鷲市」と「紀宝町」となっている。

番号	選択肢	回答数	回答率
1	夫婦共働き	990	31.4%
2	就学前の乳幼児がいる	293	9.3%
3	小中学生がいる	442	14.0%
4	家族は全員60歳以上	692	21.9%
5	いずれにもあてはまらない	1,101	34.9%
総回答数		3,518	111.5%
有効回答者数		3,154	—

表 2-8 「家庭にあてはまること回答状況」

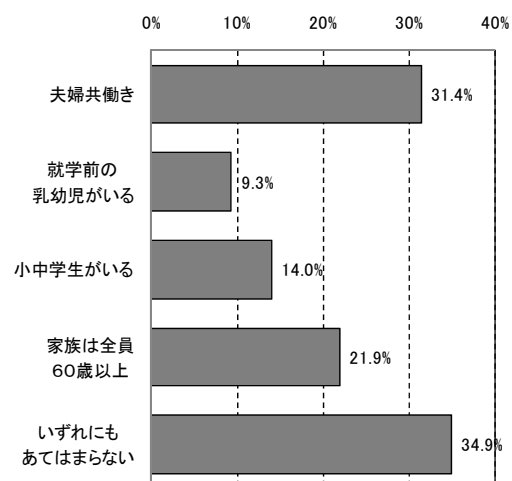


図 2-13 「家庭にあてはまること回答率」

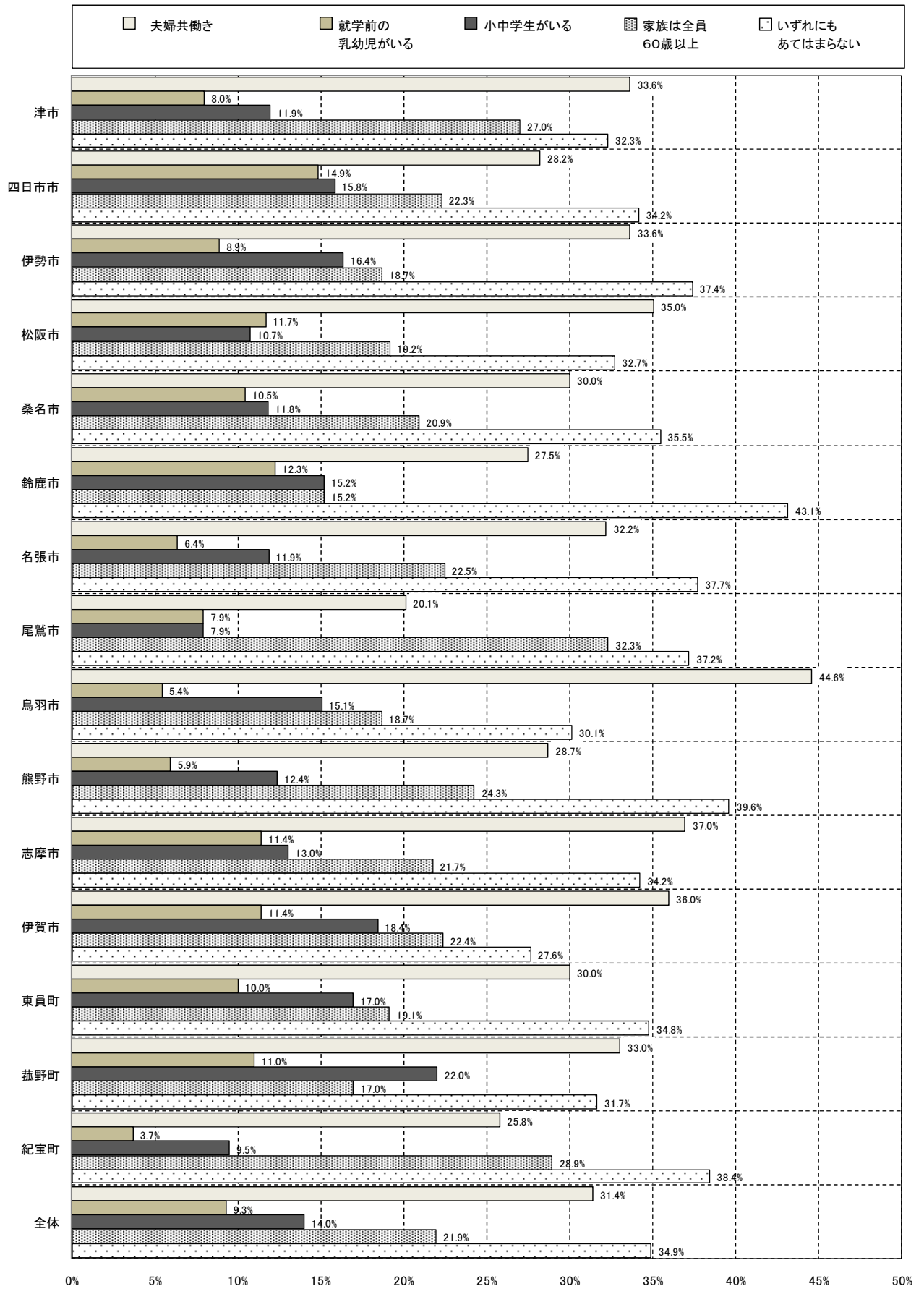


図 2-14 「市町別家庭にあてはまること回答率」

2-9 地域活動

問 44	あなたの住んでいる地域では、自治会や子供会などの地域活動は盛んですか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。
------	--

「地域活動」については、「比較的盛ん」が46.2%で最も高い。
 「とても盛ん」、「比較的盛ん」を合わせると53.1%を占めている。
 市町別では「とても盛ん」、「比較的盛ん」の計が50%を超えている市町は9市町となっている。
 年代別では「とても盛ん」、「比較的盛ん」の計が50%を超えている年代は「30代以上」で「20代以下」のみが45%となっている。

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とても盛ん	219	6.9%
2	比較的盛ん	1458	46.2%
3	あまり盛んでない	1138	36.1%
4	まったく盛んでない	231	7.3%
99	無回答	108	3.4%
計		3,154	100.0%

表 2-9 「地域活動回答状況」

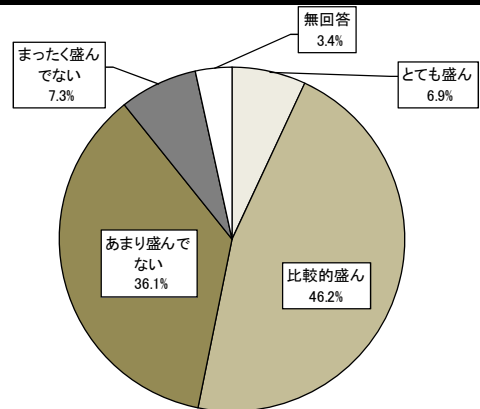


図 2-15 「地域活動回答率」

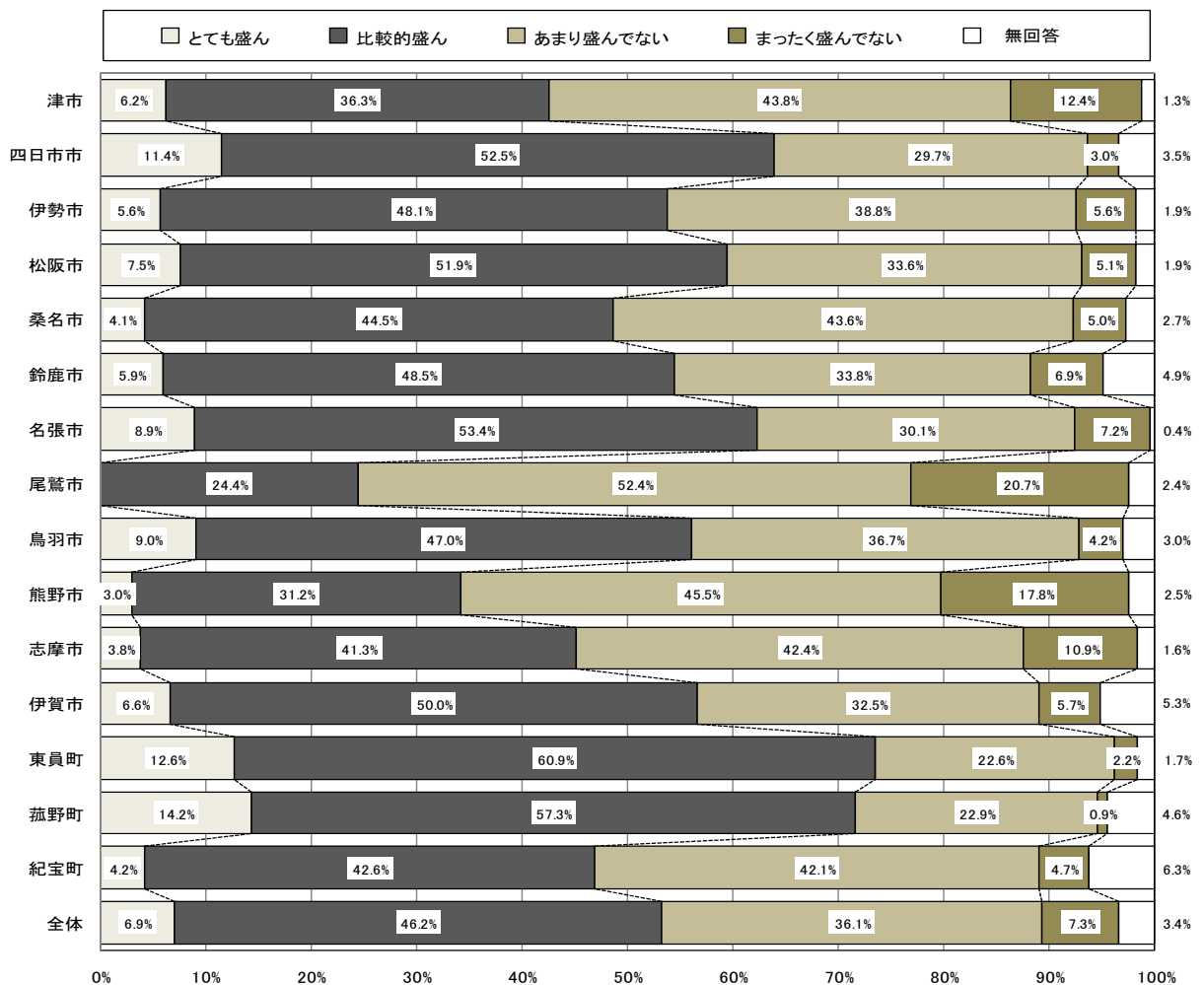


図 2-16 「市町別地域活動回答率」

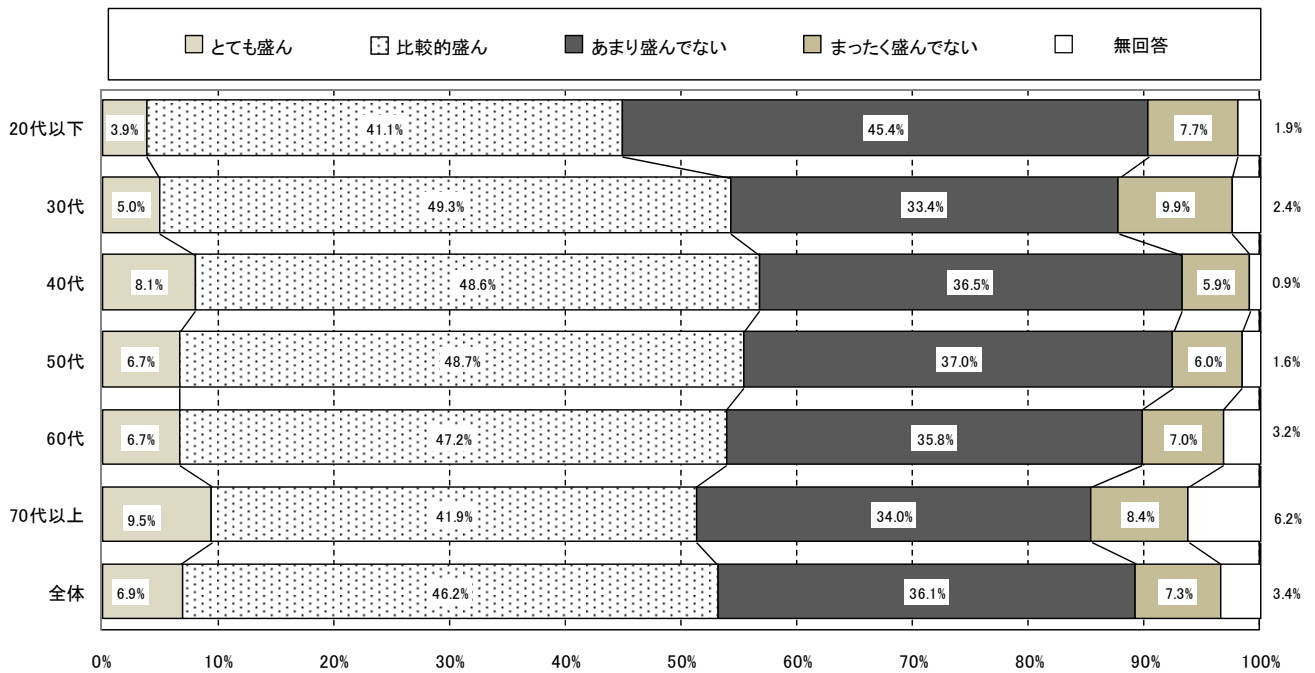


図 2-17 「年代別地域活動回答率」

2-10 ごみの分別へのかかわり

問 45 あなた自身は家庭でごみの分別にどうかかわっていますか？
あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

「ごみ分別へのかかわり」については、「家族の中心ではないがごみは分別している」が47.9%で最も高い。
分別にかかわっている率は92.5%でほとんどの人が分別活動をしている。
市町別、年代別、性別の中で、年代別の「20代以下」を除いて、9割以上が分別に関わっている結果となっている。
性別では「家族の中心になって熱心に分別している」が女性で60.5%に対し、男性は21.0%となっている。

番号	選択肢	回答数	回答率
1	家族の中心になって熱心に分別している	1408	44.6%
2	家族の中心ではないがごみは分別している	1512	47.9%
3	ごみの分別にはあまりかかわらない	178	5.6%
99	無回答	56	1.8%
計		3,154	100.0%

表 2-10 「ごみ分別へのかかわり回答状況」

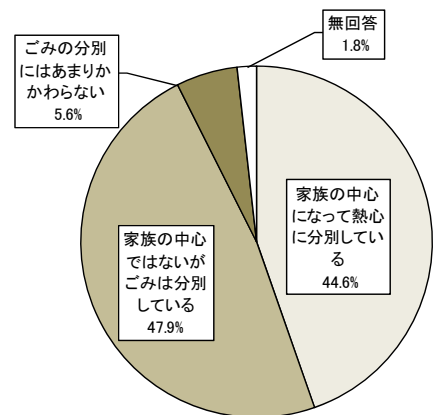


図 2-18 「ごみ分別へのかかわり回答率」

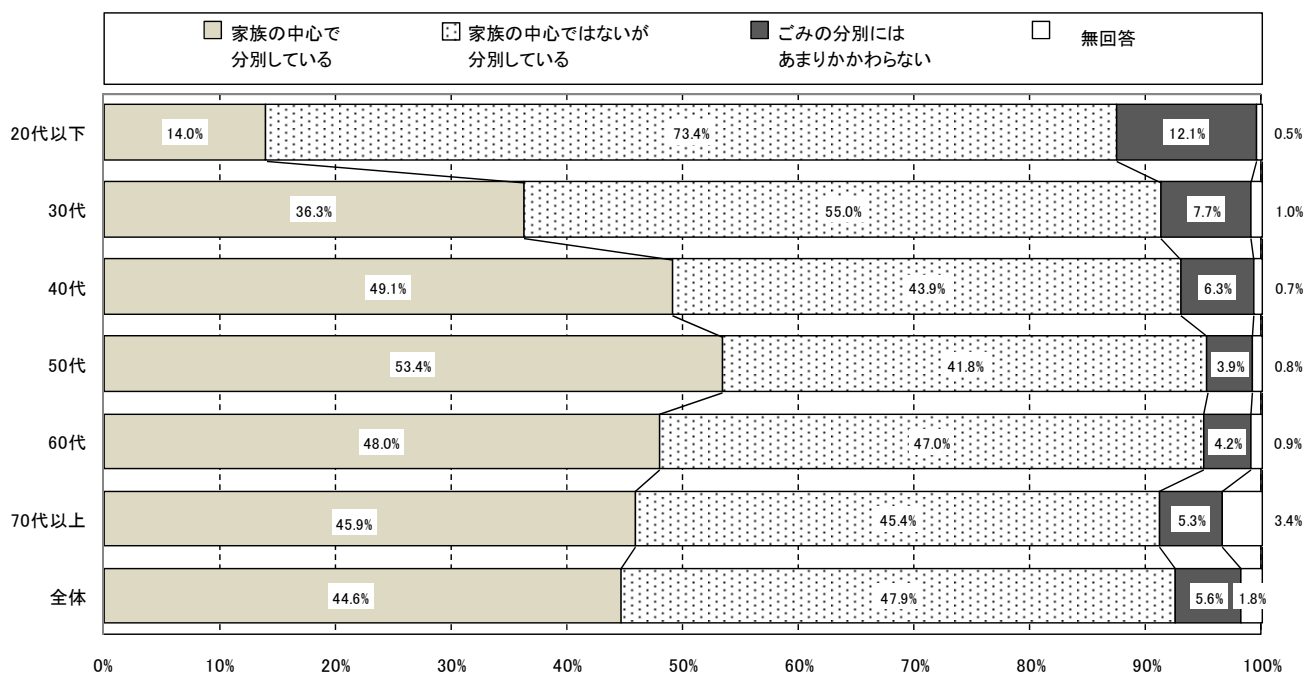


図 2-19 「年代別分別活動回答率」

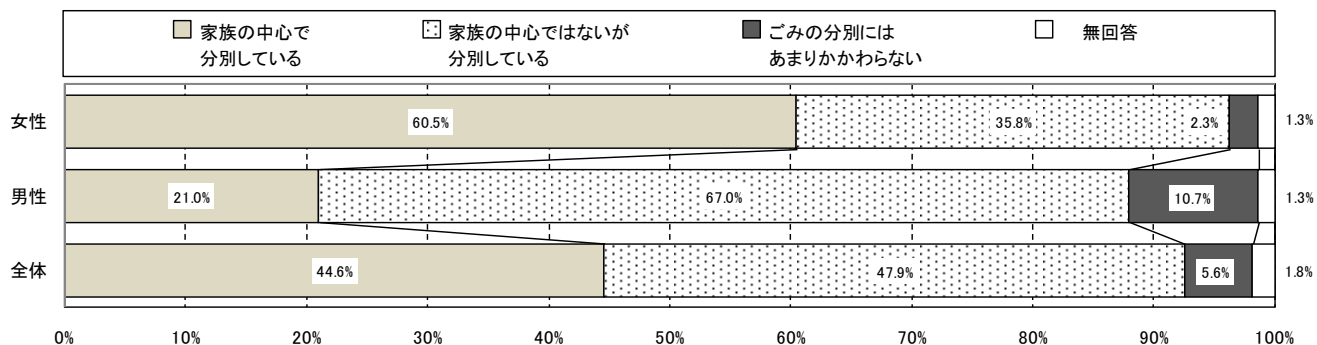


図 2-20 「性別別分別活動回答率」

3 「ごみゼロ社会実現プラン」における目標指標達成状況

3-1 目標指標

「ごみゼロ社会実現プラン」（平成17年3月策定）では、プランの趣旨を踏まえ「ごみの減量化」、「多様な主体の参画・協働」、「ごみ処理に伴う環境負荷の抑制」の3つの観点から数値目標を設定している。その中で「多様な主体の参画・協働」については、ごみ減量化やごみ問題に関する県民の意識、行動の変化を表す目標として県民アンケートの結果から目標を設定している。

指標名	平成16年度調査	平成19年度調査	目標値
ものを大切に長く使おうとする県民の率	58.2%	58.3%	100%
環境に配慮した消費行動をとる県民の率	39.4%	40.2%	100%
食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率	38.5%	40.6%	100%
ごみゼロ社会実現プランの認知率	—	45.6%	100%

表 3-1 目標指標（平成16・平成19調査結果および目標値）

3-2 今回調査結果からみた目標指標現況値の算出

平成22年度 環境関連行動に関する質問項目			よくあてはまる	少しあてはまる	①+②	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	③+④
			よくある	たまにある		あまりない	ほとんどない	
			①	②		③	④	
A	問2(1)	必要なくても買ってしまう	6.5%	31.3%	37.8%	38.2%	23.4%	61.6%
B	問2(2)	修理するより買い替える	12.0%	29.9%	41.9%	37.6%	19.7%	57.3%
C	問2(3)	環境のことは考えずに商品を選ぶ	16.9%	44.4%	61.3%	30.2%	7.9%	38.0%
D	問2(4)	新品を購入する	20.2%	34.1%	54.3%	28.0%	16.5%	44.5%
E	問4(1)	賞味期限切れ等で食材を捨ててしまう	12.7%	49.8%	62.6%	19.8%	17.2%	36.9%
F	問4(2)	食べきれず、料理を捨ててしまう	6.3%	35.5%	41.8%	28.1%	29.5%	57.6%
「ごみゼロ社会実現プラン」の認知			知っている	名前は聞いたことがある	①+②	知らない		③
			①	②		③		
G	問33	「ごみゼロ社会実現プラン」の認知	4.9%	31.9%	36.8%	60.9%		



数値目標の指標	目標とする数値の根拠	現状値 (平成22年度)
ものを大切に長く使おうとする県民の率	A+Bの「③+④」の加重平均	59.4%
環境に配慮した消費行動をとる県民の率	C+Dの「③+④」の加重平均	41.3%
食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率	E+Fの「③+④」の加重平均	47.3%
ごみゼロ社会実現プランの認知率	「知っている」および「名前は聞いたことがある」の率	36.8%

表 3-2 目標指標現況値の算出

3-3 目標指標の達成状況

目標指標について、「ものを大切に長く使おうとする県民の率」、「環境に配慮した消費行動をとる県民の率」は、平成19年度対比で1.1%増加している。「食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率」は、平成19年度対比で6.7%増加している。ごみ減量化やごみ問題に関する県民の意識は高まっているものと思われる。

しかしながら「ごみゼロ社会実現プランの認知率」は、平成19年度対比で8.8%減少し、36.8%となっている。

目標指標	平成 16 年度	平成 19 年度		平成 22 年度		
	率	率	対平成 16 年度	率	対平成 19 年度	対平成 16 年度
ものを大切に長く使おうとする県民の率	58.2%	58.3%	0.1%	59.4%	1.1%	1.2%
環境に配慮した消費行動をとる県民の率	39.4%	40.2%	0.8%	41.3%	1.1%	1.9%
食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率	38.5%	40.6%	2.1%	47.3%	6.7%	8.8%
ごみゼロ社会実現プランの認知率	—	45.6%	—	36.8%	-8.8%	—

表 3-3 目標指標の達成状況

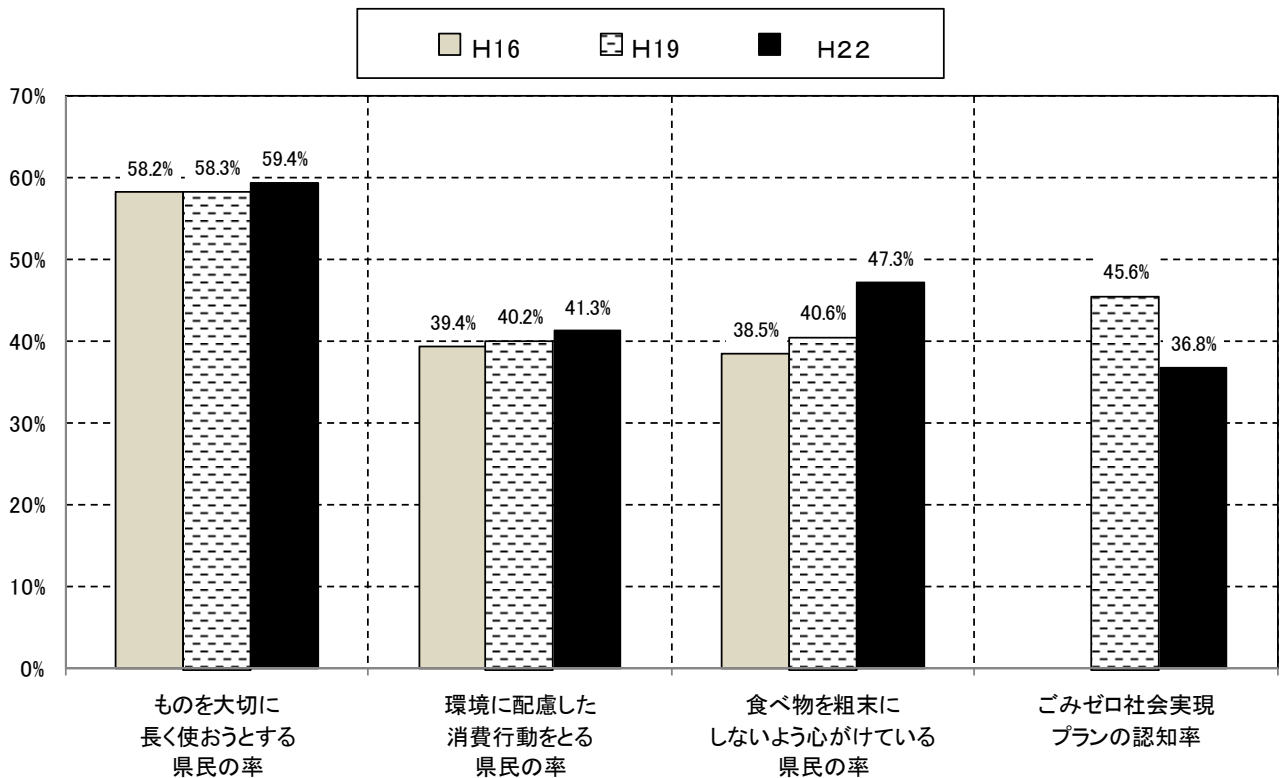


図 3-1 目標指標の達成状況

3-4 目標指標別、市町別に見た平成 19 年度との比較

① ものを大切に長く使おうとする県民の率

ものを大切に長く使おうとする県民の率は 50%を超えており、平成 22 年度では、平成 19 年度との差が-3.5%から 7.0%となっている。

ものを大切に長く使おう とする県民の率		平成 19 年度	平成 22 年度	
		率	率	平成 19 年度との差
1	津市	52.4%	58.2%	5.7%
2	四日市市	59.8%	56.9%	-2.9%
3	伊勢市	60.8%	63.1%	2.3%
4	松阪市	59.0%	59.1%	0.2%
5	桑名市	58.1%	62.3%	4.1%
6	鈴鹿市	60.6%	57.8%	-2.7%
7	名張市	57.2%	58.7%	1.5%
8	尾鷲市	58.4%	60.4%	2.0%
9	鳥羽市	57.0%	55.4%	-1.6%
10	熊野市	62.9%	59.4%	-3.5%
11	志摩市	55.7%	62.8%	7.0%
12	伊賀市	54.1%	54.2%	0.1%
13	東員町	61.0%	59.8%	-1.2%
14	菰野町	59.5%	61.7%	2.2%
15	紀宝町	61.3%	63.9%	2.7%

表 3-4 目標指標1の市町別状況

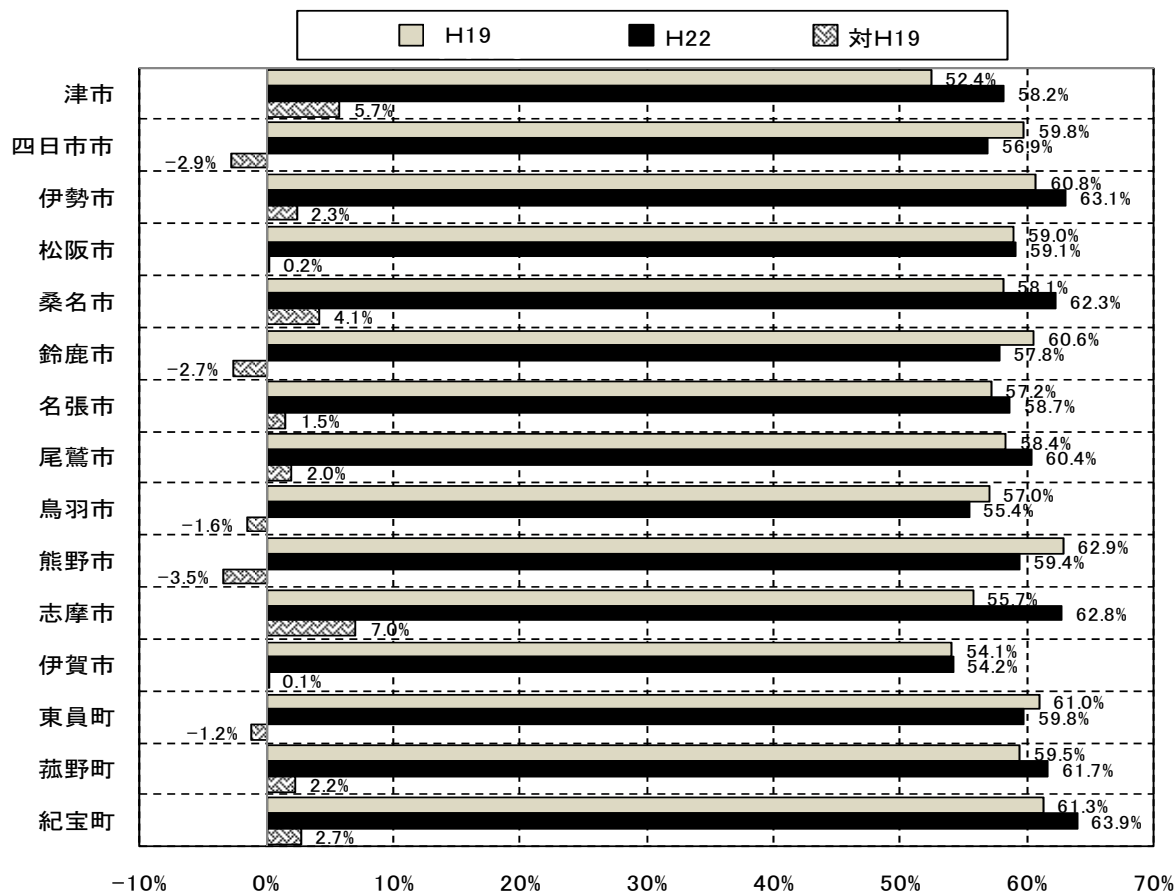


図 3-2 目標指標1の市町別状況

② 環境に配慮した消費行動をとる県民の率

環境に配慮した消費行動をとる県民の率は 30%を超えており、平成 22 年度では、平成 19 年度との差が-4.5%から 5.0%となっている。

環境に配慮した消費行動をとる県民の率		平成 19 年度		
		率	率	平成 19 年度との差
1	津市	35.7%	40.7%	5.0%
2	四日市市	42.5%	41.3%	-1.1%
3	伊勢市	40.3%	41.6%	1.3%
4	松阪市	41.3%	39.0%	-2.2%
5	桑名市	39.5%	44.1%	4.6%
6	鈴鹿市	39.2%	37.0%	-2.2%
7	名張市	36.4%	39.2%	2.8%
8	尾鷲市	44.7%	45.7%	1.1%
9	鳥羽市	40.0%	44.9%	4.9%
10	熊野市	48.0%	44.8%	-3.2%
11	志摩市	40.4%	44.3%	3.9%
12	伊賀市	34.4%	37.1%	2.6%
13	東員町	38.5%	38.0%	-0.4%
14	菰野町	40.5%	44.7%	4.2%
15	紀宝町	43.8%	39.2%	-4.5%

表 3-5 目標指標2の市町別状況

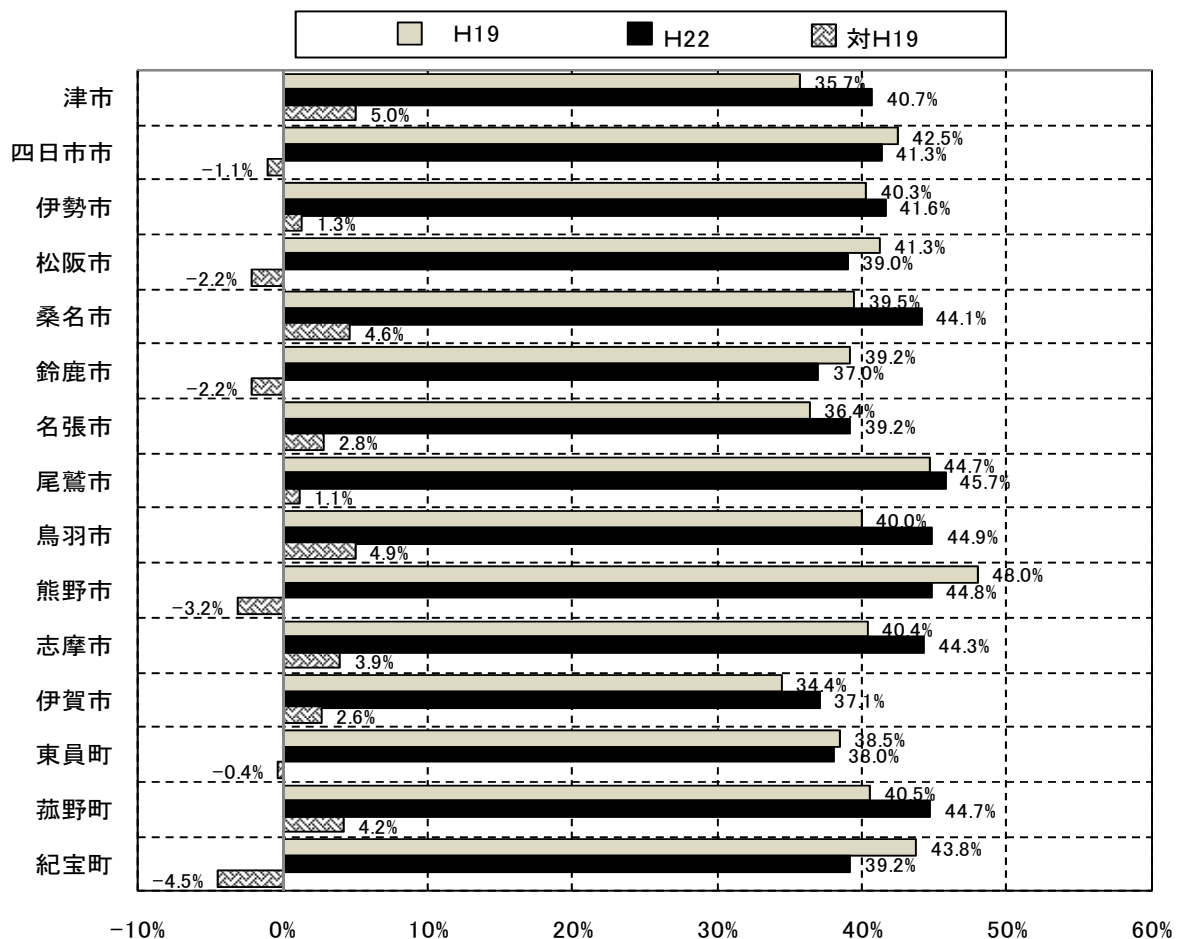


図 3-3 目標指標2の市町別状況

③ 食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率

食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率は 30%を超えており、平成 22 年度では、平成 19 年度との差が-0.9%から 11.5%となっている。

食べ物を粗末にしないよう 心がけている県民の率		平成 19 年度			平成 22 年度		
		率		率		平成 19 年度との差	
1	津市	40.4%		45.1%		4.7%	
2	四日市市	39.5%		49.5%		10.0%	
3	伊勢市	41.1%		51.2%		10.0%	
4	松阪市	37.9%		46.3%		8.3%	
5	桑名市	41.9%		45.0%		3.1%	
6	鈴鹿市	39.4%		46.6%		7.1%	
7	名張市	37.6%		49.2%		11.5%	
8	尾鷲市	41.9%		53.4%		11.5%	
9	鳥羽市	40.2%		46.4%		6.2%	
10	熊野市	43.3%		50.0%		6.7%	
11	志摩市	41.3%		47.3%		6.0%	
12	伊賀市	36.7%		43.9%		7.2%	
13	東員町	40.0%		45.4%		5.4%	
14	菰野町	42.9%		42.0%		-0.9%	
15	紀宝町	44.0%		50.8%		6.8%	

表 3-6 目標指標3の市町別状況

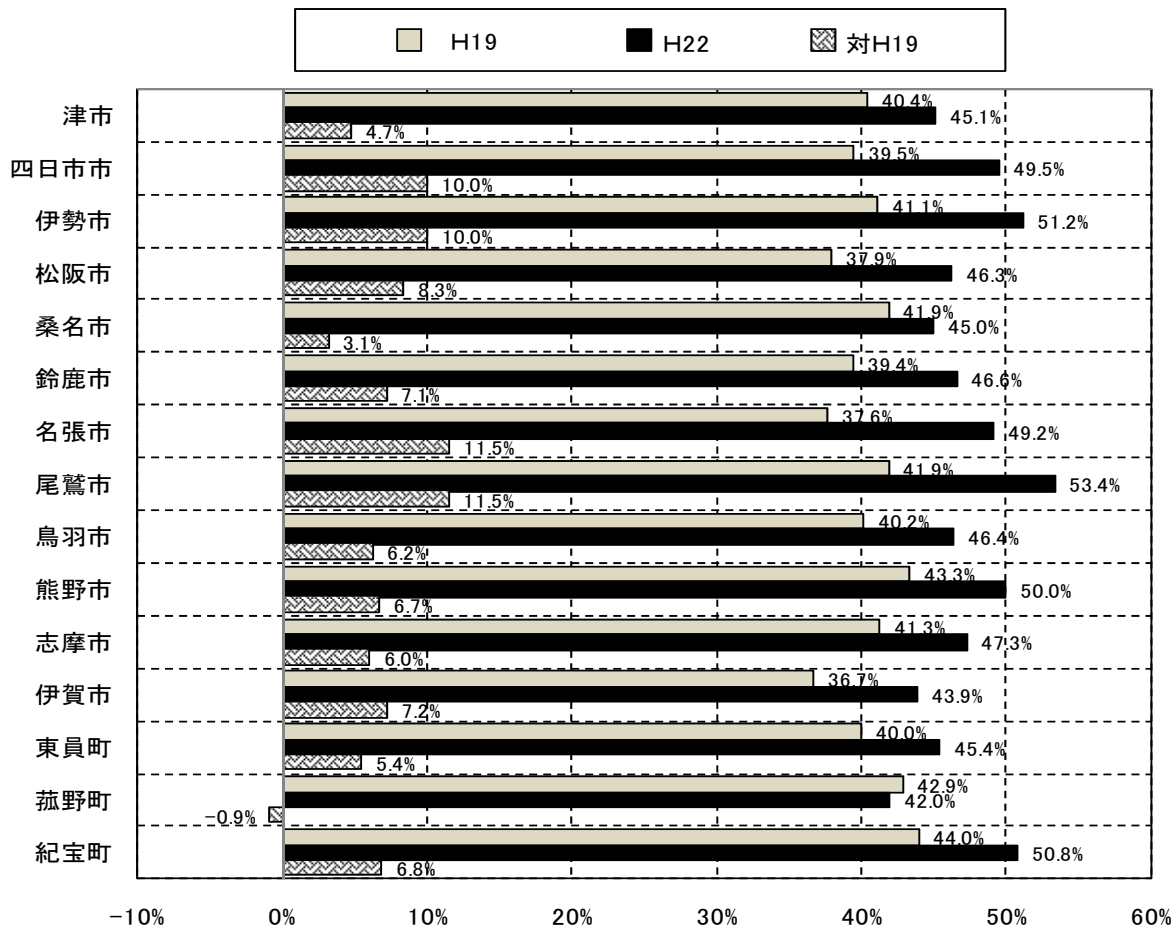


図 3-4 目標指標3の市町別状況

④ ごみゼロ社会実現プランの認知率

ごみゼロ社会実現プランの認知率は 30%を超えており、平成 22 年度では、平成 19 年度との差が-16.4%から 1.5%となっている。

ごみゼロ社会実現プランの 認知率		平成 19 年度		
		率	率	平成 19 年度との差
1	津市	46.5%	36.3%	-10.2%
2	四日市市	42.0%	33.2%	-8.8%
3	伊勢市	55.7%	39.3%	-16.4%
4	松阪市	50.0%	39.3%	-10.7%
5	桑名市	38.1%	35.5%	-2.6%
6	鈴鹿市	42.3%	31.9%	-10.4%
7	名張市	52.7%	41.5%	-11.2%
8	尾鷲市	42.8%	40.9%	-1.9%
9	鳥羽市	42.5%	37.3%	-5.2%
10	熊野市	44.4%	37.1%	-7.3%
11	志摩市	46.8%	33.7%	-13.1%
12	伊賀市	49.6%	43.9%	-5.7%
13	東員町	46.5%	34.3%	-12.2%
14	菰野町	48.3%	39.0%	-9.3%
15	紀宝町	34.3%	35.8%	1.5%

表 3-7 目標指標4の市町別状況

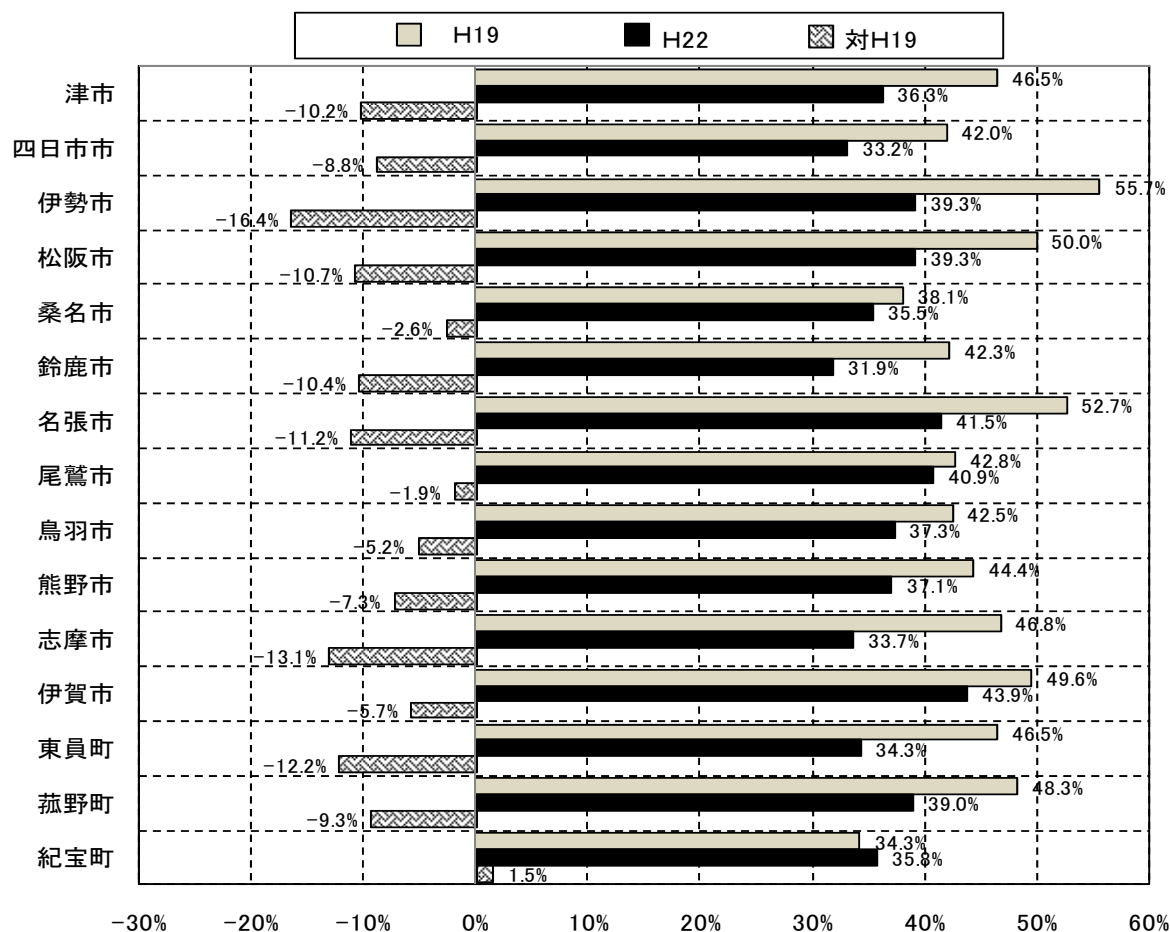


図 3-5 目標指標4の市町別状況

4 調査結果（総括：意識度）

県民アンケートの結果の総括は、意識に関する設問で、評価点方法を取り入れ意識度として評価した。

意識度の算定方法は以下の通りである。

- ①：設問に対し選択肢が4個あり、選択肢が意識程度を示すものを抽出する。
- ②：各設問の回答数を単純集計する。
- ③：集計回答数に次の評価点を乗じ、合計点を算定する。
- ④：評価点

意識レベル	非常に高い	高い	低い	非常に低い
評価点	2	1	-1	-2

- ⑤：③の合計点を総回答数で除し平均点を求める。
- ⑥：⑤の平均点を満点の2点で除し、意識度とする。

意識度はゼロ%が平均値で、プラスであれば意識度は高く、マイナスであれば意識度は低いと判断した。究極の目標値は100%である。

意識度には無回答をゼロ点として含めている。無回答が多いと意識度が下がるようにしている。

平成16年度、平成19年度の調査で平成22年度と比較できるものは、上記と同じ算定方法で意識度を求め年度間の比較を行った（p.34 4-2、p.39 4-3）。

4-1 平成22年度 意識度解析

意識度	50%以上	20 ~50%	0 ~20%	-20 ~0%	-20 ~-50%	-50%以下	計
質問数	7	6	5	4	0	2	24
割合	29.2%	25.0%	20.8%	16.7%	0.0%	8.3%	100.0%
質問数	18			6			24
割合	75.0%			25.0%			100.0%

表 4-1 平成22年度 意識度分布

平成22年度の県民調査では、意識度算定該当設問が24ある（表4-2）。内訳は、プラス意識度が18件（75%）、マイナス意識度が6件（25%）である（表4-3）。

特に意識度の高いもの（50%以上）は次の7件である。

- ・問1-2 （ものを捨てる時、つい「もったいない」と思ってしまう）：53.2%
- ・問1-3 （商品についている容器や包装材は、もっと少なくていいと思う）：73.7%
- ・問1-5 （日常生活における一人ひとりの行動が環境に大きな影響を及ぼすと思う）：80.6%
- ・問1-6 （環境問題解決のためには、技術開発や研究を一層充実させることが必要だと思う）：65.0%
- ・問8 （ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきだと思いますか？）：65.1%
- ・問15 （ごみを資源としてより有効に利用するために、資源やごみの分別数が増えることなどについてどう思われますか？）：50.0%

- ・問32-1（計画づくりには、できるだけ多くの住民が参画することが必要だと思いますか？）
：57.5%

特に意識度の低いもの（-50%以下）は次の2件である。

- ・問24（家庭から出されるごみを市町が処理するのに、どれくらい費用がかかっているかをご存知ですか？）：-64.2%
- ・問32-5（あなたが計画づくりに参画すると、時間や手間がかかり大変だと思いますか？）
：-51.9%

マイナス意識度6件に対し、適切な施策を講じてプラス意識に変化させる必要がある。

選択肢	問 1						問 2				問 4	
	問 1-1	問 1-2	問 1-3	問 1-4	問 1-5	問 1-6	問 2-1	問 2-2	問 2-3	問 2-4	問 4-1	問 4-2
1	1,013	1,098	1,882	556	2,230	1,702	204	379	533	637	402	199
2	1,535	1,626	1,078	1,364	769	1,074	988	942	1,399	1,076	1,571	1,119
3	520	357	156	878	109	303	1,205	1,185	952	883	624	886
4	71	54	17	301	19	36	738	621	248	520	541	930
5	15	19	21	55	27	39	19	27	22	38	16	20
計	3,154	3,154	3,154	3,154	3,154	3,154	3,154	3,154	3,154	3,154	3,154	3,154
選択肢	問 8	問 13	問 15	問 21	問 24	問 26	問 32					
							問 32-1	問 32-2	問 32-3	問 32-4	問 32-5	問 32-6
1	1,474	348	1,152	396	81	744	1,317	865	942	593	929	224
2	1,402	817	1,449	1,211	251	1,353	1,381	1,718	1,418	1,802	1,786	1,487
3	196	1,195	410	1,113	1,106	644	335	423	566	558	275	1,038
4	25	747	94	299	1,677	309	28	51	110	85	48	279
5	57	47	49	135	39	104	93	97	118	116	116	126
計	3,154	3,154	3,154	3,154	3,154	3,154	3,154	3,154	3,154	3,154	3,154	3,154

表 4-2 平成22年度 回答数

平成 22 年度	問 1						問 2				問 4	
	問 1-1	問 1-2	問 1-3	問 1-4	問 1-5	問 1-6	問 2-1	問 2-2	問 2-3	問 2-4	問 4-1	問 4-2
	不要な ものが多い	捨てる ともっ たいない	包装材 は少し でよい	レンタ ル品に 抵抗感 なし	一人の 行動が 大きな 影響	技術開 発等が 重要	不要な ものを 買う	修理よ り買換 え	環境等 考えず に選ぶ	新品を 購入	食材を 捨てる	食べ残 しを捨 てる
合計点	2,899	3,357	4,652	996	5,082	4,103	1,285	727	-1,017	-427	-669	1,229
平均点	0.919	1.064	1.475	0.316	1.611	1.301	0.407	0.231	-0.322	-0.135	-0.212	0.390
意識度	46.0%	53.2%	73.7%	15.8%	80.6%	65.0%	20.4%	11.5%	-16.1%	-6.8%	-10.6%	19.5%
平成 22 年度	問 8	問 13	問 15	問 21	問 24	問 26	問 32					
							問 32-1	問 32-2	問 32-3	問 32-4	問 32-5	問 32-6
	資源と して有 効利用	処理・リ サイクル の方法	分別数 の増加	リユース カップの 使用	ごみの 処理費用	ごみ収 集の有 料化	住民 参加	要望・意 見の反 映	市町が 主体	情報 入手	時間・ 手間が かかり 大変	計画づ くりへ の参画
合計点	4,104	-1,176	3,155	292	-4,047	1,579	3,624	2,923	2,516	2,260	-3,273	339
平均点	1.301	-0.373	1.000	0.093	-1.283	0.501	1.149	0.927	0.798	0.717	-1.038	0.107
意識度	65.1%	-18.6%	50.0%	4.6%	-64.2%	25.0%	57.5%	46.3%	39.9%	35.8%	-51.9%	5.4%

表 4-3 平成22年度 算定結果

H22: 意識度

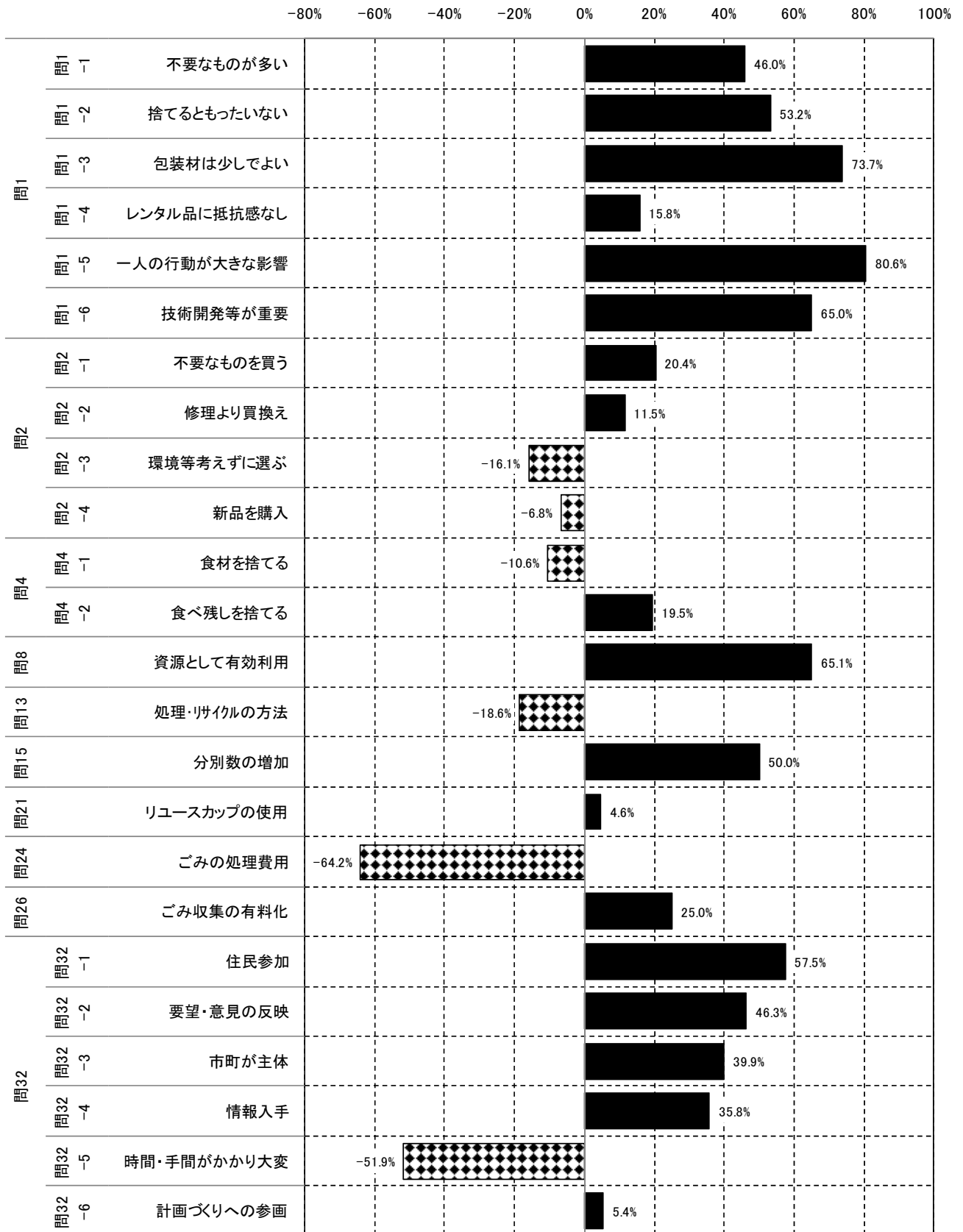


図 4-1 平成22年度 意識度

4-2 平成16年度・平成19年度・平成22年度 意識度比較

問1 次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？
それぞれの考えについて、あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

問1-1「家の中を見回してみると、あまり必要ないものがたくさんあると思う」、問1-2「ものを捨てる時、つい「もったいない」と思ってしまう。」についての意識度は年々高くなっているが、50%前後にとどまっている。
問1-3「商品についている容器や包装材は、もっと少なくていいと思う。」については、約75%で問1の中では最も高い意識度となっている。ただし、平成22年度は平成16、19年度よりも若干低下している。
問1-4「レンタル製品など多くの人が使いまわすものでも、特に抵抗感はない。」については、問1の中では15%前後で最も低い意識度となっている。
問1全体での意識度は全てプラスであり、毎日の暮らしの中での「もの」に対する意識度は比較的高いと思われる。

年度	選択肢	問1			
		問1-1	問1-2	問1-3	問1-4
		家の中を見回してみると、あまり必要ないものがたくさんあると思う。	ものを捨てる時、つい「もったいない」と思ってしまう。	商品についている容器や包装材は、もっと少なくていいと思う。	レンタル製品など多くの人が使いまわすものでも、特に抵抗感はない。
平成22年度	1 とてもそう思う	1,013	1,098	1,882	556
	2 少しそう思う	1,535	1,626	1,078	1,364
	3 あまりそうは思わない	520	357	156	878
	4 まったくそうは思わない	71	54	17	301
	5 無回答	15	19	21	55
	計	3,154	3,154	3,154	3,154
平成19年度	1 とてもそう思う	1,137	1,265	2,356	637
	2 少しそう思う	1,824	1,888	1,069	1,578
	3 あまりそうは思わない	577	375	166	1,003
	4 まったくそうは思わない	73	87	19	338
	5 無回答	71	67	72	126
	計	3,682	3,682	3,682	3,682
平成16年度	1 とてもそう思う	1,192	1,277	2,444	622
	2 少しそう思う	1,831	1,980	1,055	1,543
	3 あまりそうは思わない	587	355	161	1,118
	4 まったくそうは思わない	83	79	29	334
	5 無回答	142	144	146	218
	計	3,835	3,835	3,835	3,835

表 4-4 問1 回答数

問 1		問 1-1	問 1-2	問 1-3	問 1-4
合計点	平成 16 年度	3,462	4,021	5,724	1,001
	平成 19 年度	3,375	3,869	5,577	1,173
	平成 22 年度	2,899	3,357	4,652	996
平均点	平成 16 年度	0.9027	1.0485	1.4926	0.2610
	平成 19 年度	0.9166	1.0508	1.5147	0.3186
	平成 22 年度	0.9192	1.0644	1.4750	0.3158
意識度	平成 16 年度	45.1%	52.4%	74.6%	13.1%
	平成 19 年度	45.8%	52.5%	75.7%	15.9%
	平成 22 年度	46.0%	53.2%	73.7%	15.8%
意識度差	対平成 16 年度	0.8%	0.8%	-0.9%	2.7%
	対平成 19 年度	0.1%	0.7%	-2.0%	-0.1%

表 4-5 問1 算定結果

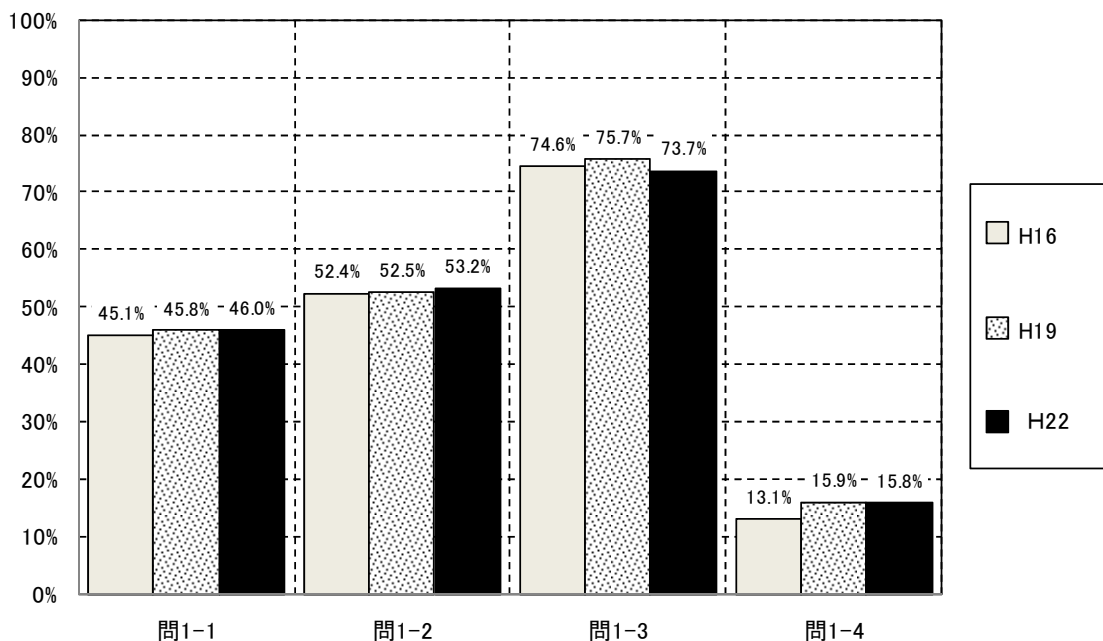


図 4-2 問1 意識度年度比較

問2

次のそれぞれの場合についてあなたはどの程度あてはまりますか？

それぞれの場合について、あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

問2-1 「特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまふ。」については、問2の中で最も高く、各年度ともに20%強で大きな差は見られない。

問2-2 「買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える。」については、各年度ともに12%前後で大きな差は見られないが、若干減少傾向である。

問2-3 「お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ。」、問2-4 「一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する。」については、意識度はマイナスであり、特に問2-3は-17%前後で低い値を示しており「環境やごみを意識した商品選び」の意識度は低い。

「購入に関する行動」の意識度は、あまり高くないと思われる。

年度	選択肢		問2			
			問2-1	問2-2	問2-3	問2-4
			特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう。	買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える。	お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ。	一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する。
平成22年度	1	よくあてはまる	204	379	533	637
	2	少しあてはまる	988	942	1,399	1,076
	3	あまりあてはまらない	1,205	1,185	952	883
	4	まったくあてはまらない	738	621	248	520
	5	無回答	19	27	22	38
			計	3,154	3,154	3,154
平成19年度	1	よくあてはまる	240	431	652	771
	2	少しあてはまる	1,131	1,108	1,601	1,209
	3	あまりあてはまらない	1,350	1,293	1,089	1,043
	4	まったくあてはまらない	888	764	260	567
	5	無回答	73	86	80	92
			計	3,682	3,682	3,682
平成16年度	1	よくあてはまる	215	455	670	789
	2	少しあてはまる	1,174	1,060	1,624	1,235
	3	あまりあてはまらない	1,450	1,432	1,121	1,050
	4	まったくあてはまらない	852	734	256	595
	5	無回答	144	154	164	166
			計	3,835	3,835	3,835

表 4-6 問2 回答数

問2		問2-1	問2-2	問2-3	問2-4
合計点	平成16年度	1,550	930	-1,331	-573
	平成19年度	1,515	851	-1,296	-574
	平成22年度	1,285	727	-1,017	-427
平均点	平成16年度	0.4042	0.2425	-0.3471	-0.1494
	平成19年度	0.4115	0.2311	-0.3520	-0.1559
	平成22年度	0.4074	0.2305	-0.3224	-0.1354
意識度	平成16年度	20.2%	12.1%	-17.4%	-7.5%
	平成19年度	20.6%	11.6%	-17.6%	-7.8%
	平成22年度	20.4%	11.5%	-16.1%	-6.8%
意識度差	対平成16年度	0.2%	-0.6%	1.2%	0.7%
	対平成19年度	-0.2%	0.0%	1.5%	1.0%

表 4-7 問2 算定結果

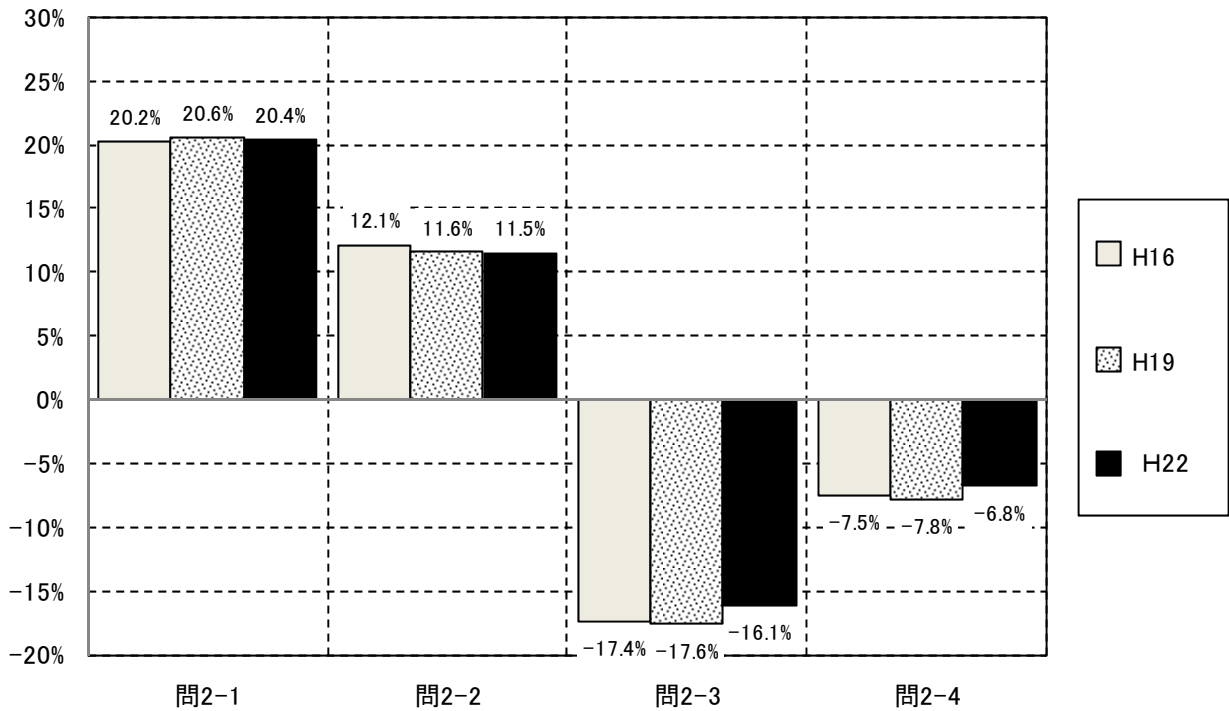


図 4-3 問2 意識度年度比較

問4	食べ物のごみについてお聞きします。(1) 使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか。(2) 食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか。それぞれについて、あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。
問8	ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきだと思いますか？あなたのお考えに最も近いものを1つ選び番号に○を付けてください。
問26	出したごみの量に応じて、多く出した者が多く負担するごみの有料化についてどう思いますか？あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

問4-1「使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか？」については、意識度は各年度でマイナスであるが年々上がってきている。食材の購入量や食材の選び方に改善が必要と思われる。

問4-2「食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか？」についての意識度は年々上がってきており、平成22年度で約20%となっている。

食材の購入量や、作る量等について改善の余地があると思われる。

問8の「ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきか」に対しては、意識度は70%前後で高いが、年々低下してきている。

問26の「出したごみの量に応じて、多く出した者が多く負担するごみの有料化」に対しては、意識度は30%前後であり、平成22年度は平成19年度に対し約10%下がっている。

年度	選択肢				問4		問8	問26
	番号	問4 選択肢	問8 選択肢	問26 選択肢	問4-1	問4-2		
					使い切れ なかったり賞味期 限が切れ たために 食材を捨 ててしま うことは ありませ うか？	食べきれ ず、料理を 捨ててし まうこと はありま すか？	ごみは手 間やコス トをかけ ても、で きるだけ 資源とし て有効利 用すべき だと思っ ますか？	出したご みの量に 応じて、多 く出した 者が多く 負担する ごみの有 料化につ いてどう 思います か？
平成 22 年度	1	よくある	とてもそう思う	賛成	402	199	1,474	744
	2	たまにある	少しそう思う	どちらかという と賛成	1,571	1,119	1,402	1,353
	3	あまりない	あまり そうは思わない	どちらかという と反対	624	886	196	644
	4	ほとんどない	まったく そうは思わない	反対	541	930	25	309
	5	無回答	無回答	無回答	16	20	57	104
	計					3,154	3,154	3,154
平成 19 年度	1	よくある	とてもそう思う	賛成	624	368	2,057	1,149
	2	たまにある	少しそう思う	どちらかという と賛成	1,843	1,410	1,333	1,474
	3	あまりない	あまり そうは思わない	どちらかという と反対	651	928	194	577
	4	ほとんどない	まったく そうは思わない	反対	502	906	26	316
	5	無回答	無回答	無回答	62	70	72	166
	計					3,682	3,682	3,682
平成 16 年度	1	よくある	とてもそう思う	賛成	651	400	2,293	1,064
	2	たまにある	少しそう思う	どちらかという と賛成	2,004	1,578	1,320	1,460
	3	あまりない	あまり そうは思わない	どちらかという と反対	642	970	142	653
	4	ほとんどない	まったく そうは思わない	反対	494	845	28	400
	5	無回答	無回答	無回答	44	42	52	258
	計					3,835	3,835	3,835

表 4-8 問4・問8・問26 回答数

		問4-1	問4-2	問8	問26
合計点	平成16年度	-1,676	282	5,708	2,135
	平成19年度	-1,436	594	5,201	2,563
	平成22年度	-669	1,229	4,104	1,579
平均点	平成16年度	-0.4370	0.0735	1.4884	0.5567
	平成19年度	-0.3900	0.1613	1.4125	0.6961
	平成22年度	-0.2121	0.3897	1.3012	0.5006
意識度	平成16年度	-21.9%	3.7%	74.4%	27.8%
	平成19年度	-19.5%	8.1%	70.6%	34.8%
	平成22年度	-10.6%	19.5%	65.1%	25.0%
意識度差	対平成16年	11.2%	15.8%	-9.4%	-2.8%
	対平成19年	8.9%	11.4%	-5.6%	-9.8%

表 4-9 問4・問8・問26 算定結果

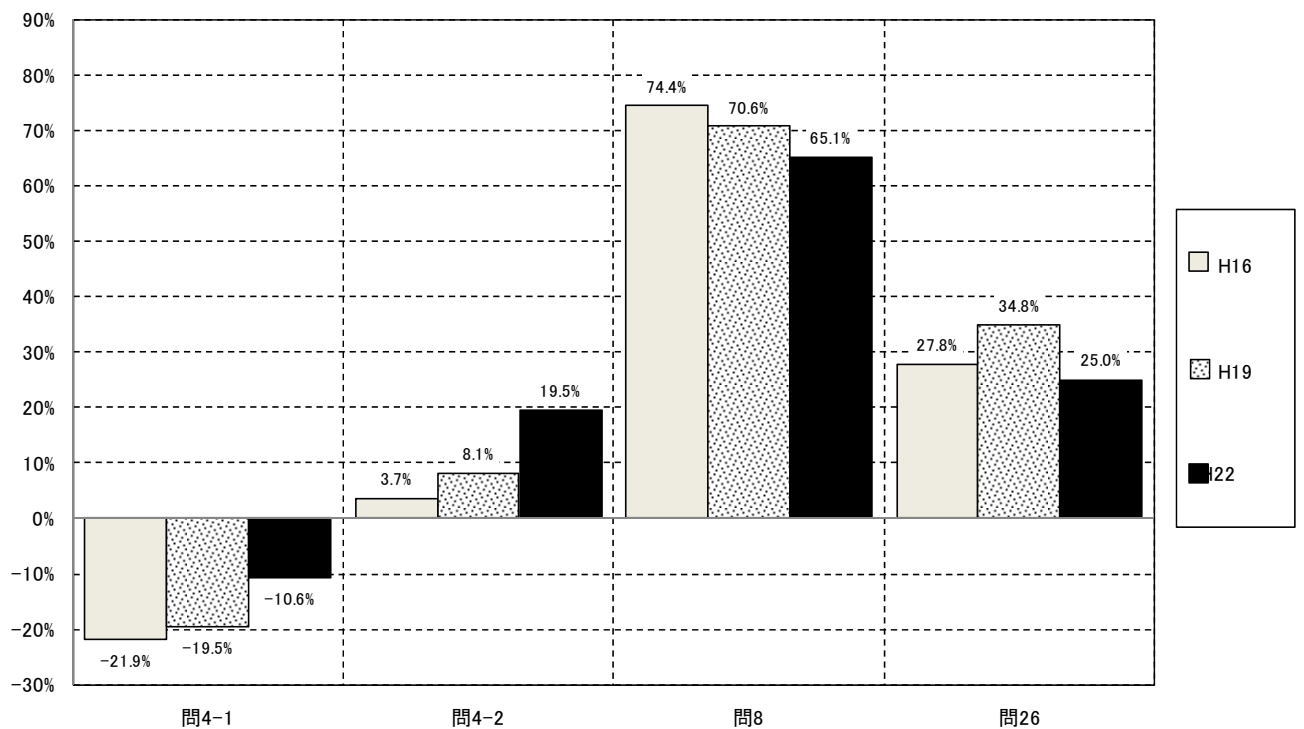


図 4-4 問4・問8・問26 意識度年度比較

4-3 平成19年度・平成22年度 意識度比較

問15	<p>ごみを資源としてより有効に利用するために、資源やごみの分別数が増えることなどについてどう思われますか？</p> <p>あなたのお考えに最も近いものを1つ選び番号に○を付けてください。</p>
問32 1・2・3	<p>ごみ処理のあり方や具体的にごみ減量化施策について定めた市町の「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画についてあなたの意見をお聞きます。</p> <p>それぞれの意見について、あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。</p>

問15「ごみを資源としてより有効に利用するために、資源やごみの分別数が増えることなどについてどう思われますか？」については、賛成の意識度は50%強である。分別に対しては、かなり高い意識度と思われるが、平成22年度は平成19年度より若干低下している。

問32-1「計画づくりには、できるだけ多くの住民が参画することが必要だと思いますか？」については、「住民参画が必要」の意識度は60%前後で比較的高いが、平成22年度は平成19年度に対し、約4%低下している。

問32-2「計画づくりに住民が参画すれば、住民の要望や意見を反映できると思いますか？」についての意識度47%前後であるが、問32-1と同様に平成22年度は平成19年度に対し、約2.4%低下している。

問32-3「計画は市町が主体的につくる方がよいと思いますか？」についての意識度は40%弱であり、平成22年度は平成19年度に対し、5.5%上昇している。

年度	選択肢			問 15	問 32		
				ごみを資源としてより有効に利用するために、資源やごみの分別数が増えることなどについてどう思われますか？	問 32-1	問 32-2	問 32-3
	番号	問 15 選択肢	問 32 選択肢				
平成22年度	1	賛成	とてもそう思う	1,152	1,317	865	942
	2	どちらかという 賛成	少しそう思う	1,449	1,381	1,718	1,418
	3	どちらかという 反対	あまり そうは思わない	410	335	423	566
	4	反対	まったく そうは思わない	94	28	51	110
	5	無回答	無回答	49	93	97	118
	計			3,154	3,154	3,154	3,154
平成19年度	1	賛成	とてもそう思う	1,411	1,715	1,172	1,077
	2	どちらかという 賛成	少しそう思う	1,584	1,466	1,835	1,495
	3	どちらかという 反対	あまり そうは思わない	446	320	481	747
	4	反対	まったく そうは思わない	70	37	54	185
	5	無回答	無回答	171	144	140	178
	計			3,682	3,682	3,682	3,682

表 4-10 問15・問32-1・2・3 回答数

		問 15	問 32-1	問 32-2	問 32-3
合計点	平成 19 年度	3,820	4,502	3,590	2,532
	平成 22 年度	3,155	3,624	2,923	2,516
平均点	平成 19 年度	1.0375	1.2227	0.9750	0.6877
	平成 22 年度	1.0003	1.1490	0.9268	0.7977
意識度	平成 19 年度	51.9%	61.1%	48.8%	34.4%
	平成 22 年度	50.0%	57.5%	46.3%	39.9%
意識度差	対平成 19 年度	-1.9%	-3.7%	-2.4%	5.5%

表 4-11 問15・問32-1・2・3 算定結果

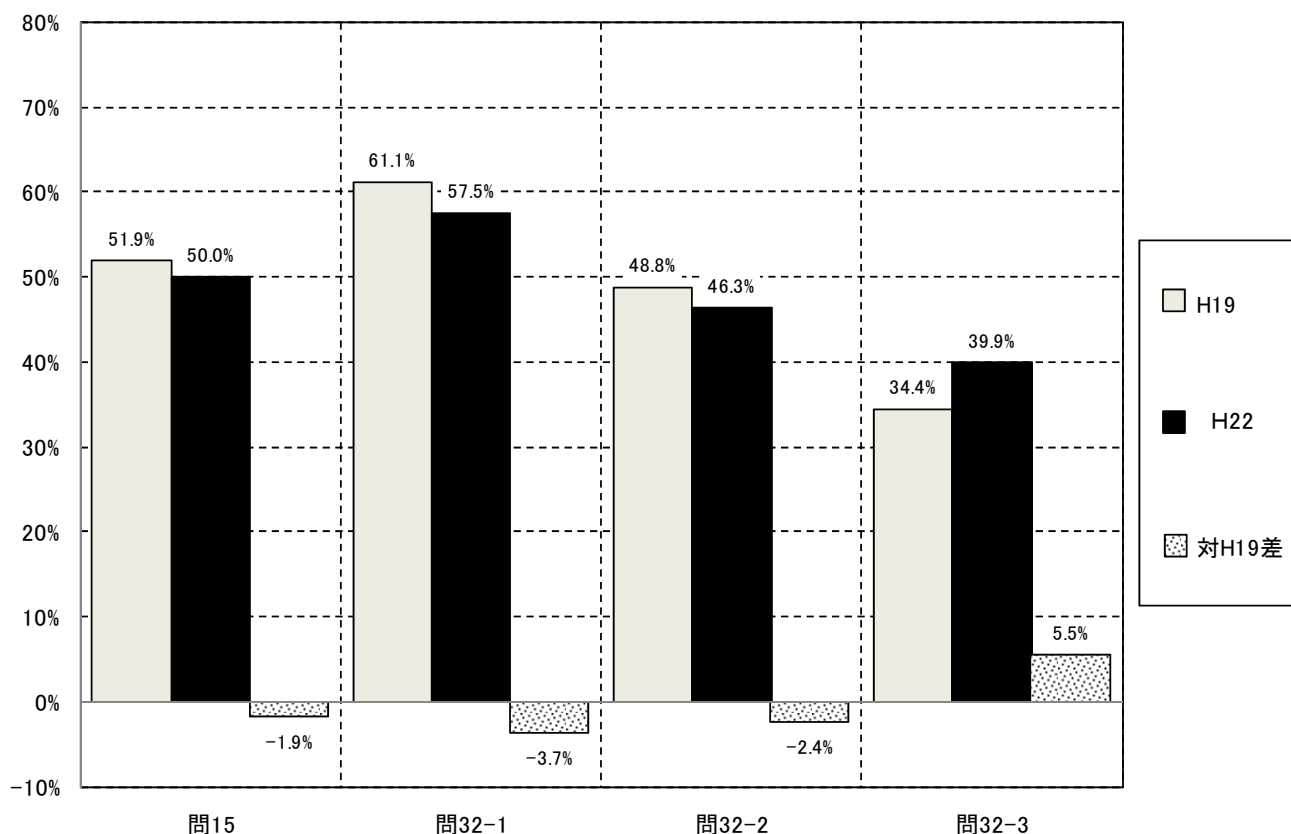


図 4-5 問15・問32-1・2・3 意識度年度比較

<p>問 32 4・5・6</p>	<p>ごみ処理のあり方や具体的なごみ減量化施策について定めた市町の「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画についてあなたの意見をお聞きします。</p> <p>それぞれの意見について、あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。</p>
-------------------------------------	---

問32-4「あなたが計画づくりに参画することで、様々な情報を入手できると思いますか？」については、平成19・22年度ともに意識度は36%前後であるが、平成22年度は平成19年度対比で1.2%下がっている。

問32-5「あなたが計画づくりに参画すると、時間や手間がかかり大変だと思いますか？」については、平成19・22年度ともに意識度は-51%前後でかなり低い。平成22年度は平成19年度対比で1.2%下がっている。

問32-6「今後、このような計画づくりに住民参画の機会があった場合、あなたは参画したいですか？」については、平成19・22年度ともに意識度は10%に達せず、平成22年度は平成19年度の約半分に下がっている。

年度	選択肢		問 32		
			問 32-4	問 32-5	問 32-6
			あなたが計画づくりに参画すること で、様々な情報を入 手できると思いま すか？	あなたが計画づくりに参画すると、時 間や手間がかかり 大変だと思います か？	今後、このような計 画づくりに住民参 画の機会があった 場合、あなたは参画 したいですか？
平成 22 年度	1	とてもそう思う	593	929	224
	2	少しそう思う	1,802	1,786	1,487
	3	あまりそうは思わない	558	275	1,038
	4	まったくそうは思わない	85	48	279
	5	無回答	116	116	126
			計	3,154	3,154
平成 19 年度	1	とてもそう思う	809	1,063	323
	2	少しそう思う	1,955	2,061	1,772
	3	あまりそうは思わない	671	327	1,134
	4	まったくそうは思わない	88	65	277
	5	無回答	159	166	176
			計	3,682	3,682

表 4-12 問32-4・5・6 回答数

		問 32-4	問 32-5	問 32-6
合計点	平成 19 年度	2,726	-3,730	730
	平成 22 年度	2,260	-3,273	339
平均点	平成 19 年度	0.7404	-1.0130	0.1983
	平成 22 年度	0.7166	-1.0377	0.1075
意識度	平成 19 年度	37.0%	-50.7%	9.9%
	平成 22 年度	35.8%	-51.9%	5.4%
意識度差	対平成 19 年度差	-1.2%	-1.2%	-4.5%

表 4-13 問32-4・5・6 算定結果

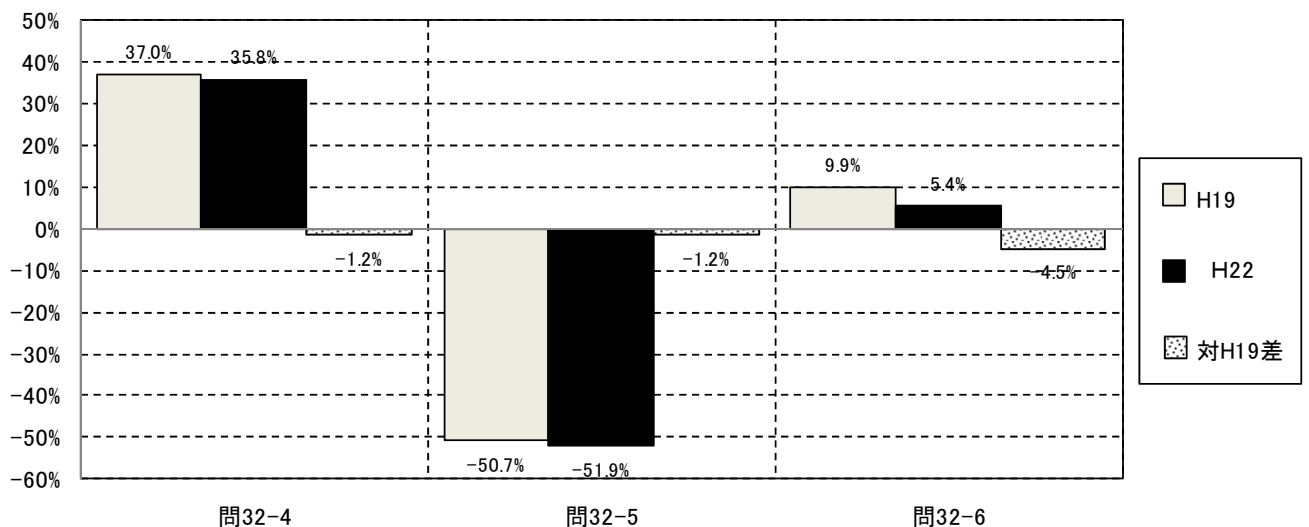


図 4-6 問32-4・5・6 意識度年度比較

5 調査結果（詳細）

5-1 暮らしの中での関心事や考えられる行動について

問 1 次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？（○は1つずつ）

(1) 家の中を見回してみると、あまり必要ないものがたくさんあると思う。

「あまり必要ないものがたくさんあると思うか」という問いに対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」の計が80.8%となっている。

市町別では、上記の計が78.7%から84.3%で大きな偏りはみられない。

年代別では、上記の計が78.1%から84.6%で大きな隔たりはみられない。

分別行動別では、上記の計が78.1%から82.1%で大きな偏りはみられない。

全体的に、「あまり必要ないものがたくさんある」が高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	1,013	32.1%
2	少しそう思う	1,535	48.7%
3	あまりそうは思わない	520	16.5%
4	まったくそうは思わない	71	2.3%
99	無回答	15	0.5%
有効回答数		3154	100.0%

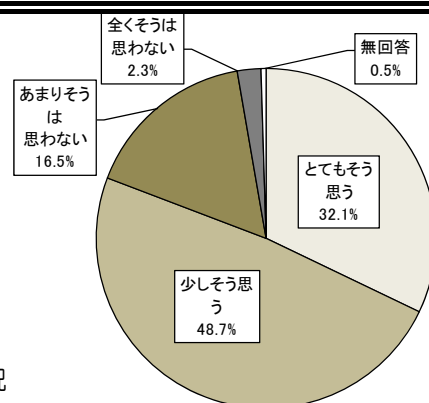


表 5-1-1 「あまり必要ないものがたくさんある」回答状況

図 5-1-1 「あまり必要ないものがたくさんある」回答率

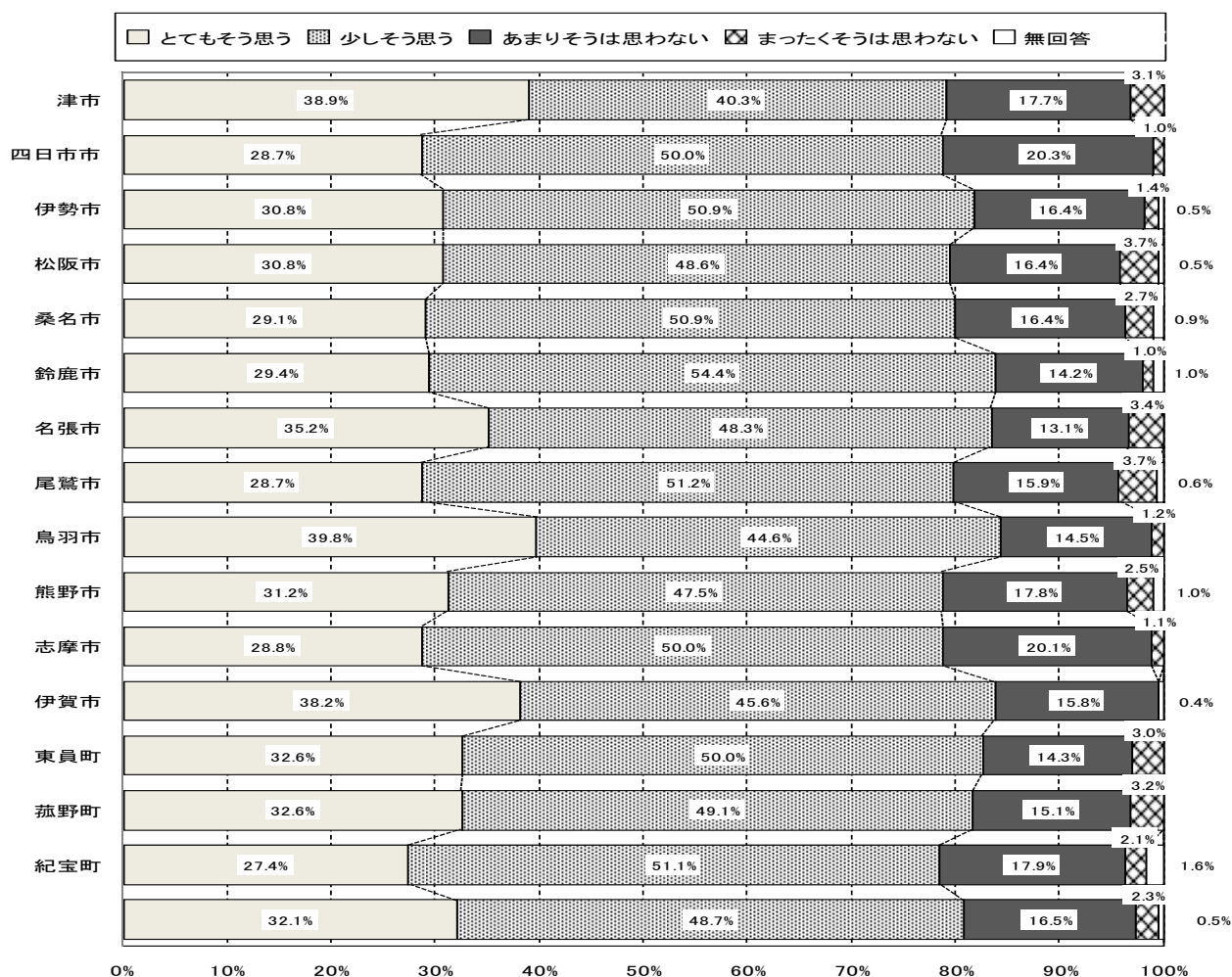


図 5-1-2 「あまり必要ないものがたくさんある」市町別回答率

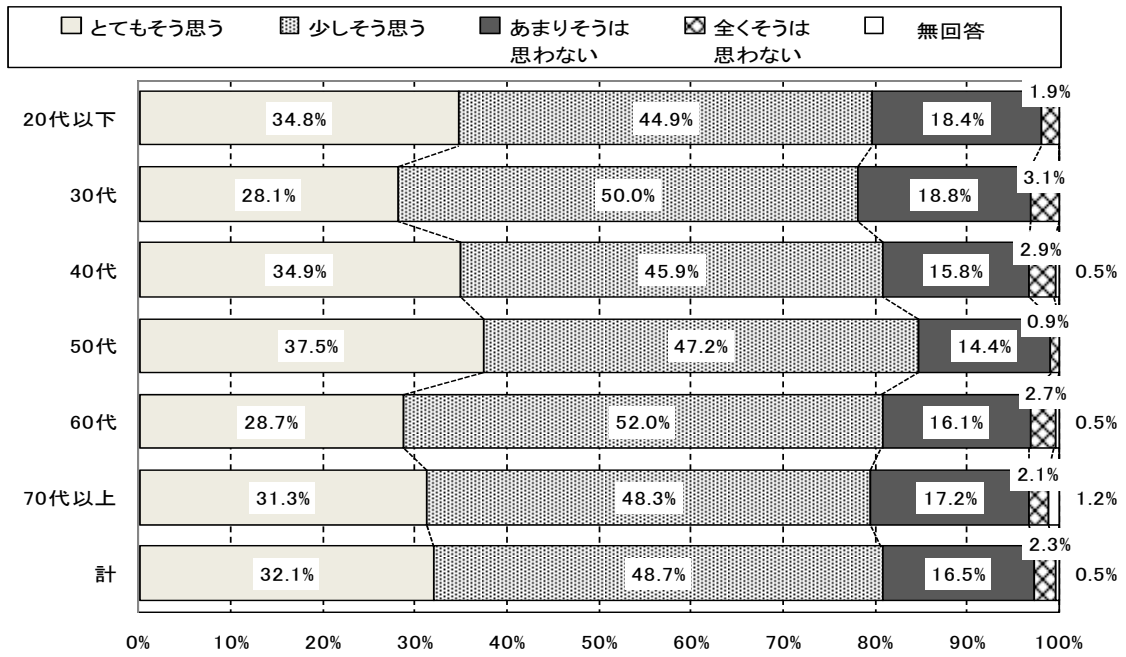


図 5-1-3 「あまり必要ないものがたくさんある」年代別回答率

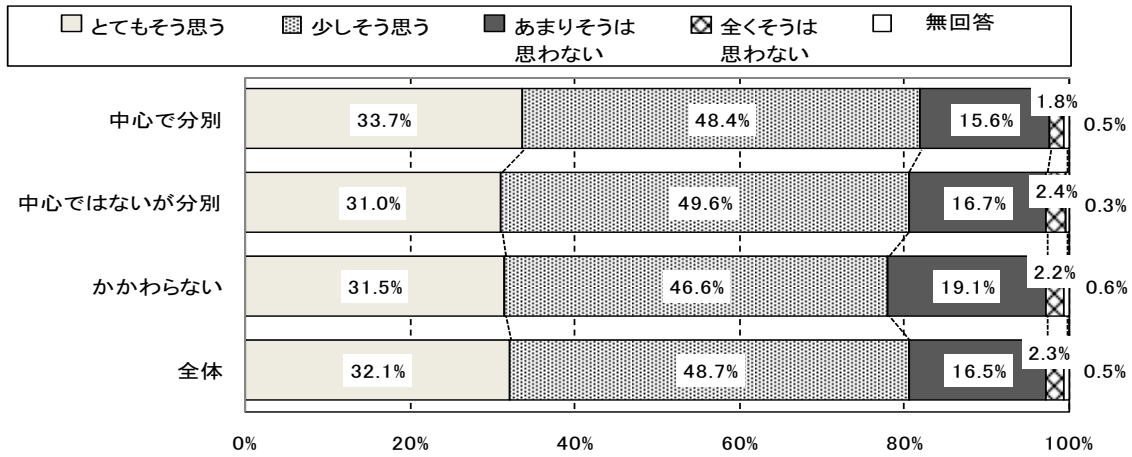


図 5-1-4 「あまり必要ないものがたくさんある」分別行動別回答率

(2) ものを捨てる時、つい「もったいない」と思う。

「ものを捨てるときに『もったいない』と思うか」という問いに対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」の計が86.4%となっている。
 市町別では、上記の計が82.6%から89.9%で大きな偏りはみられない。
 年代別では、上記の計が82.0%から88.9%で大きな隔たりはみられないが、70代以上では「とてもそう思う」が他の年代よりも高くなっている。
 分別行動別では、上記の計が84.7%から88.4%で大きな偏りはみられない。
 全体的に「ものを捨てる時、つい『もったいない』と思う」が高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	1,098	34.8%
2	少しそう思う	1,626	51.6%
3	あまりそうは思わない	357	11.3%
4	まったくそうは思わない	54	1.7%
99	無回答	19	0.6%
全体		3,154	100%

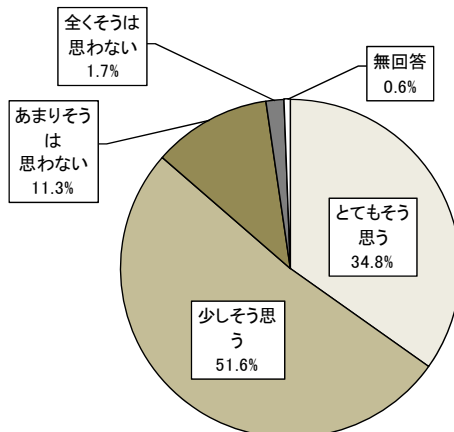


表 5-1-2 「捨てる時『もったいない』と思う」回答状況

図 5-1-5 「捨てる時『もったいない』と思う」回答率

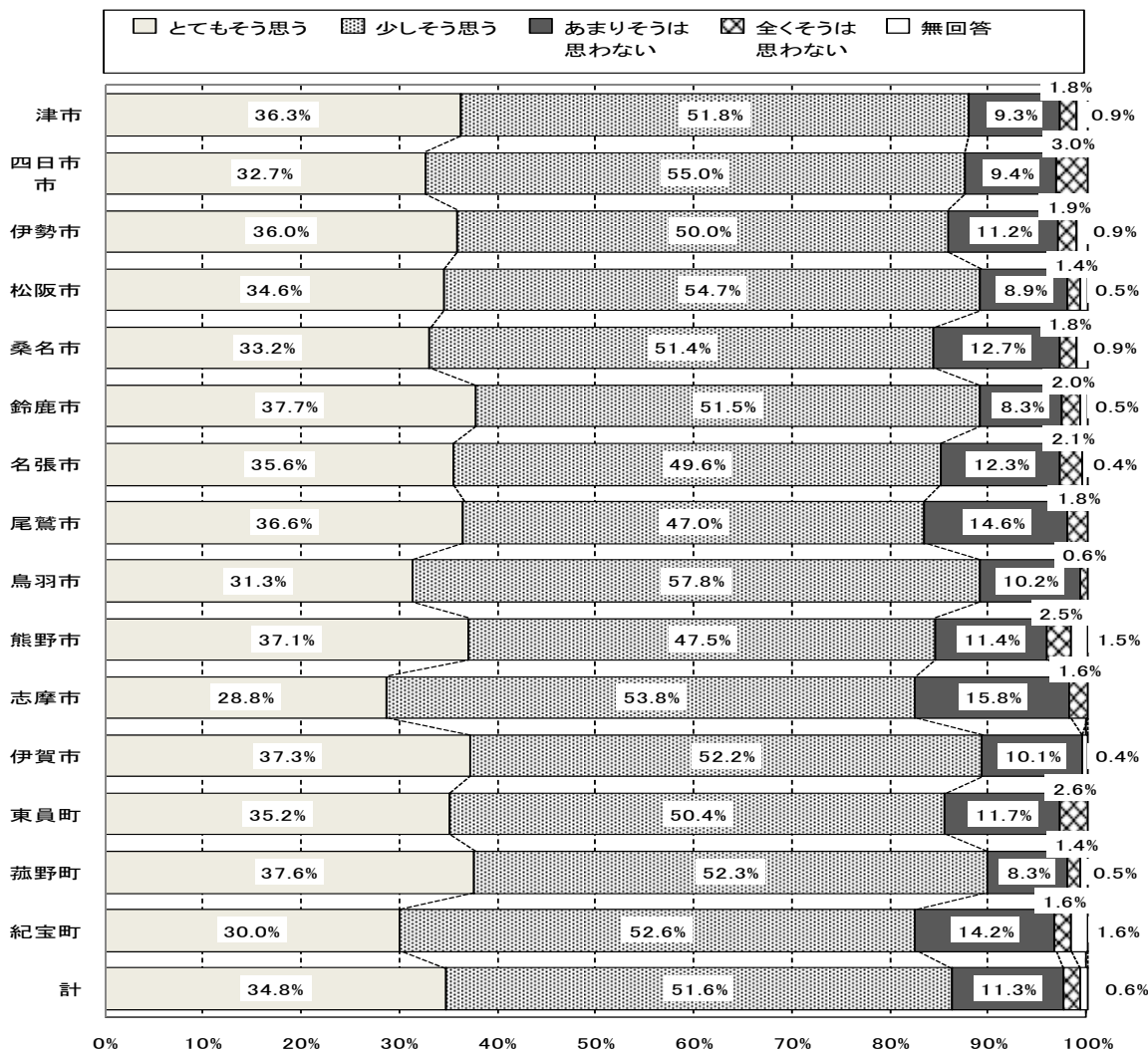


図 5-1-6 「捨てる時『もったいない』と思う」市町別回答率

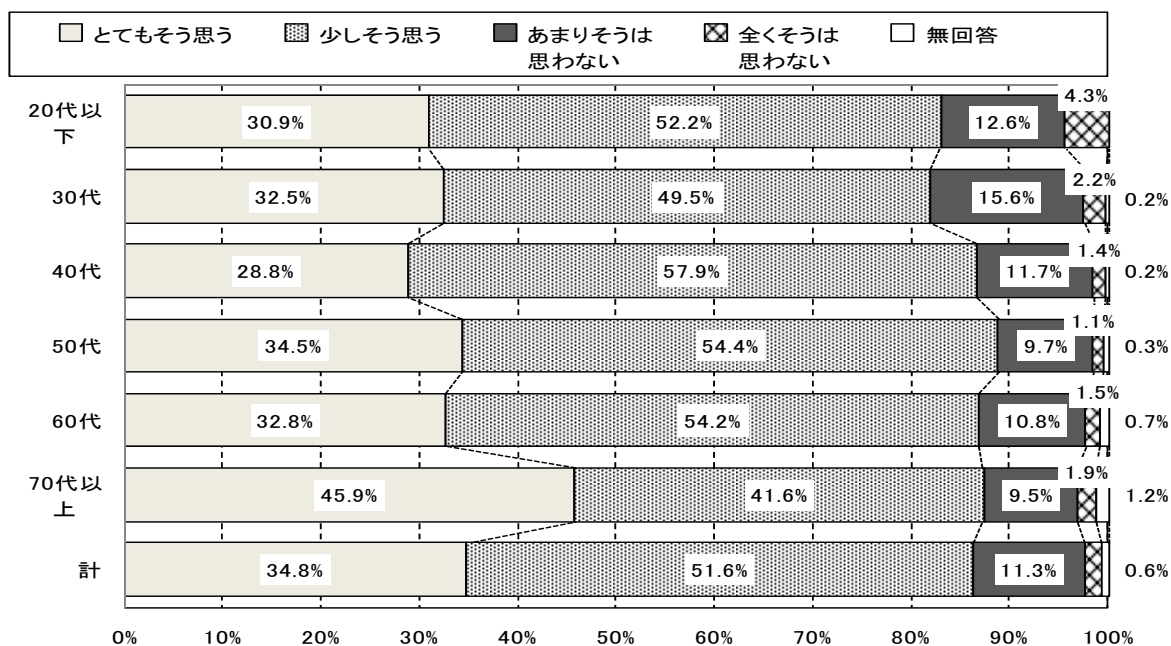


表 5-1-7 「捨てる時『もったいない』と思う」年代別回答率

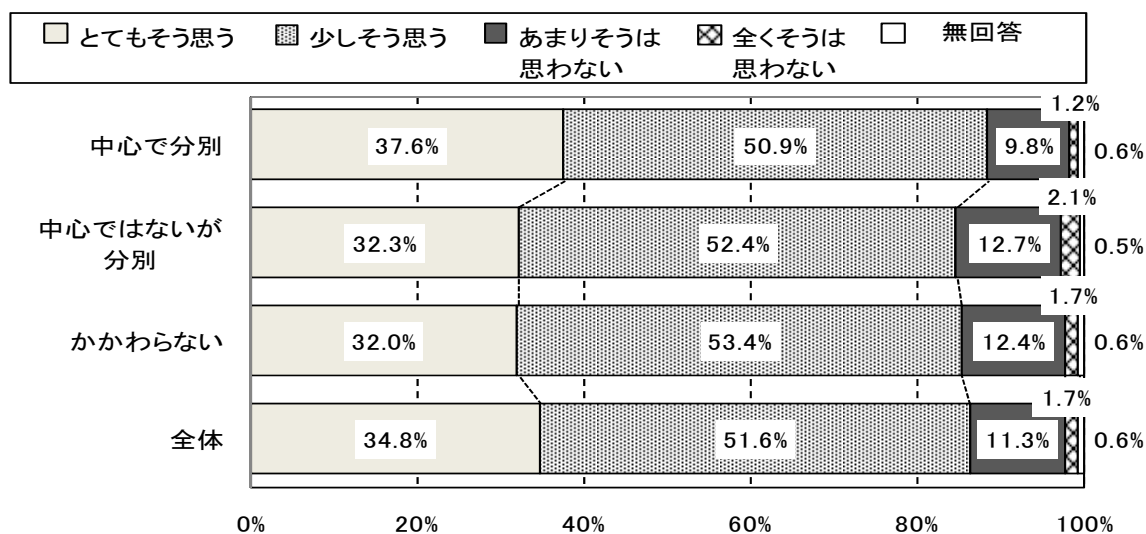


図 5-1-8 「捨てる時『もったいない』と思う」分別行動別回答率

(3) 商品についている容器や包装材は、もっと少なくていいと思う。

商品の過剰包装については、「とてもそう思う」、「少しそう思う」の計が93.9%となっている。市町別では、上記の計が90.9%から97.5%で大きな偏りはみられないが、鳥羽市では「とてもそう思う」が他の市町よりも高い。年代別では、上記の計が90.3%から95.9%で大きな隔たりはみられないが、「分別にかかわらない」ほど、「とてもそう思う」の比率が低くなっている。分別行動別では、上記の計が89.9%から94.8%で大きな偏りはみられない。全体的に「容器や包装材はもっと少なくていい」が高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	1,882	59.7%
2	少しそう思う	1,078	34.2%
3	あまりそうは思わない	156	4.9%
4	まったくそうは思わない	17	0.5%
99	無回答	21	0.7%
有効回答数		3,154	100.0%

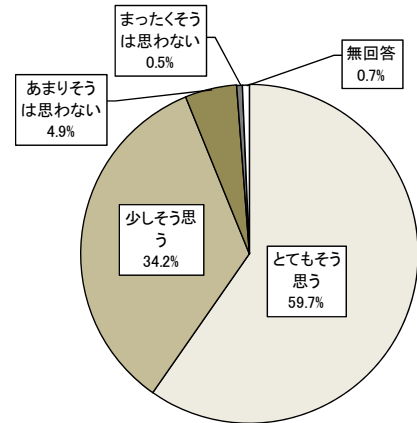


表 5-1-3 「容器や包装材は少なくていい」回答状況

図 5-1-9 「容器や包装材は少なくていい」回答率

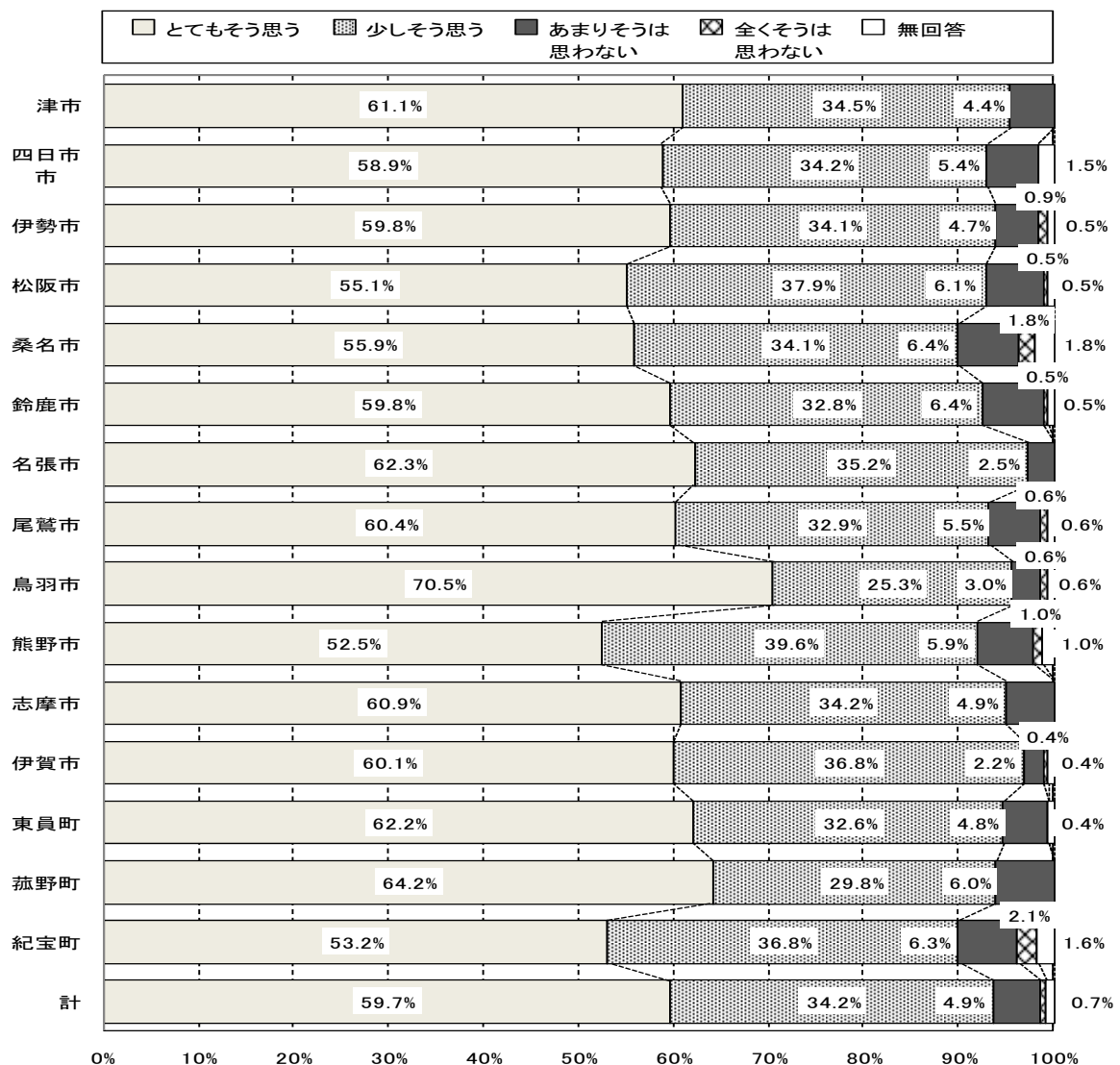


図 5-1-10 「容器や包装材は少なくていい」市町別回答率

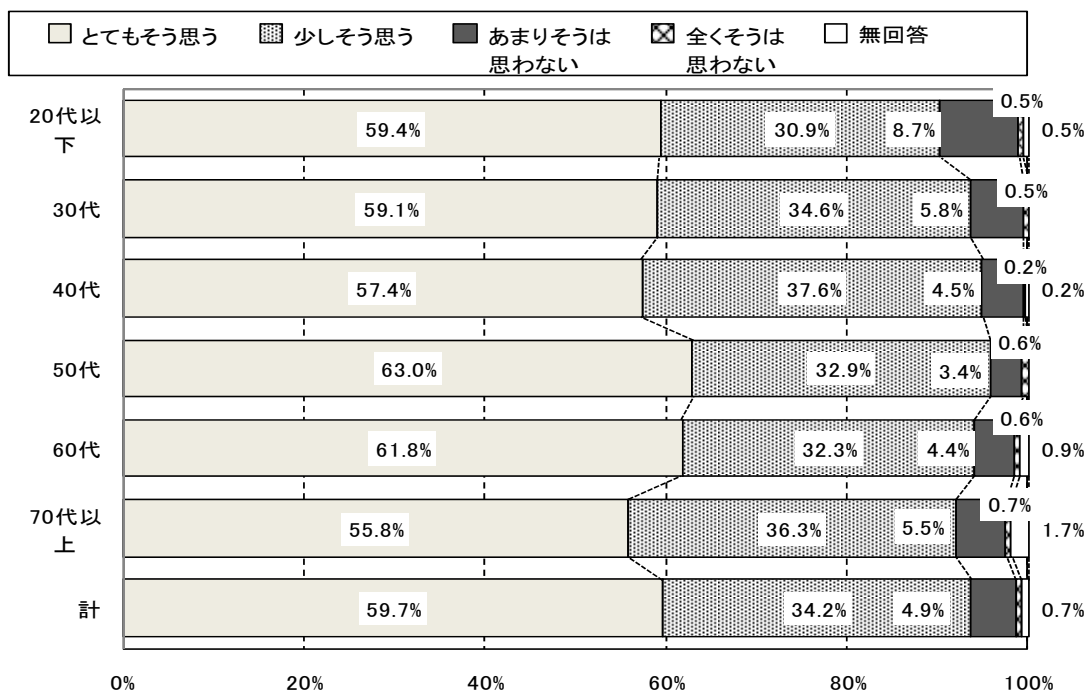


図 5-1-11 「容器や包装材は少なくていい」年代別回答率

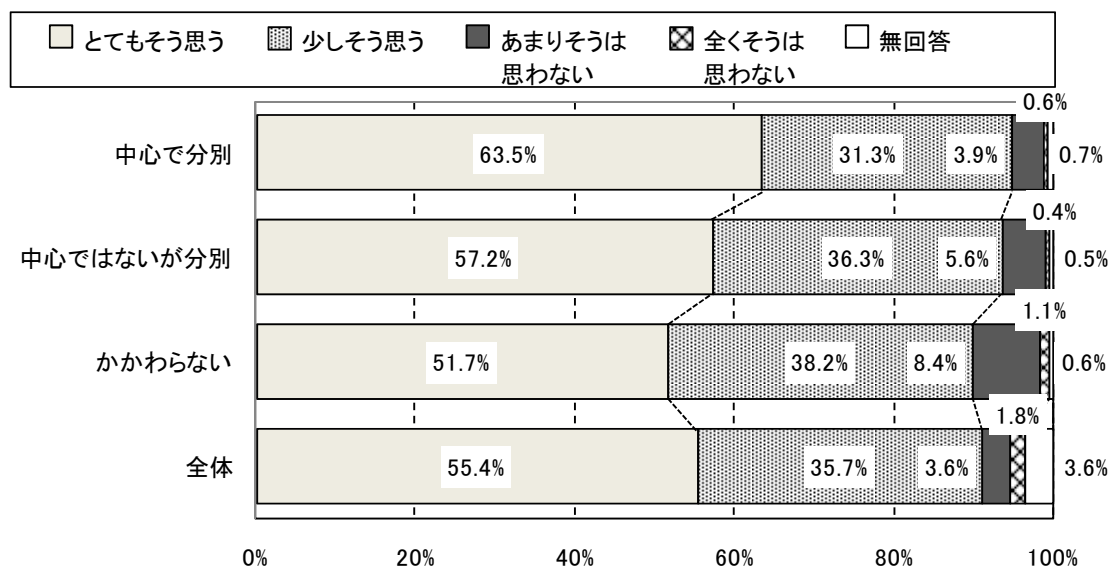


図 5-1-12 「容器や包装材は少なくていい」分別行動別回答率

(4) レンタル製品など多くの人が使いまわすものでも、特に抵抗感はない。

「多くの人が使いまわすものに抵抗感はないか」という問いに対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」の計が60.8%となっている。
 市町別では、上記の計が55.3%から64.5%で大きな偏りはみられない。
 年代別では、上記の計が57.9%から63.6%で大きな隔たりはみられないが、若い世代ほど「とてもそう思う」が高い傾向になっている。
 分別行動別では、上記の計が51.1%から62.5%であり、分別にかかわる人ほど高くなる傾向が見られる。
 全体的に「使いまわすものでも、抵抗感はない」がやや高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	556	17.6%
2	少しそう思う	1,364	43.2%
3	あまりそうは思わない	878	27.8%
4	まったくそうは思わない	301	9.5%
99	無回答	55	1.7%
有効回答数		3,154	100.0%

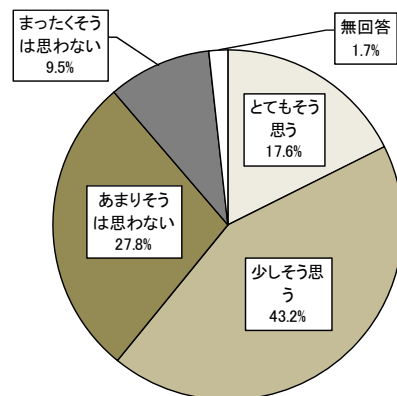


表 5-1-4 「使いまわすものでも、抵抗感はない」回答状況

図 5-1-13 「使いまわすものでも、抵抗感はない」回答率

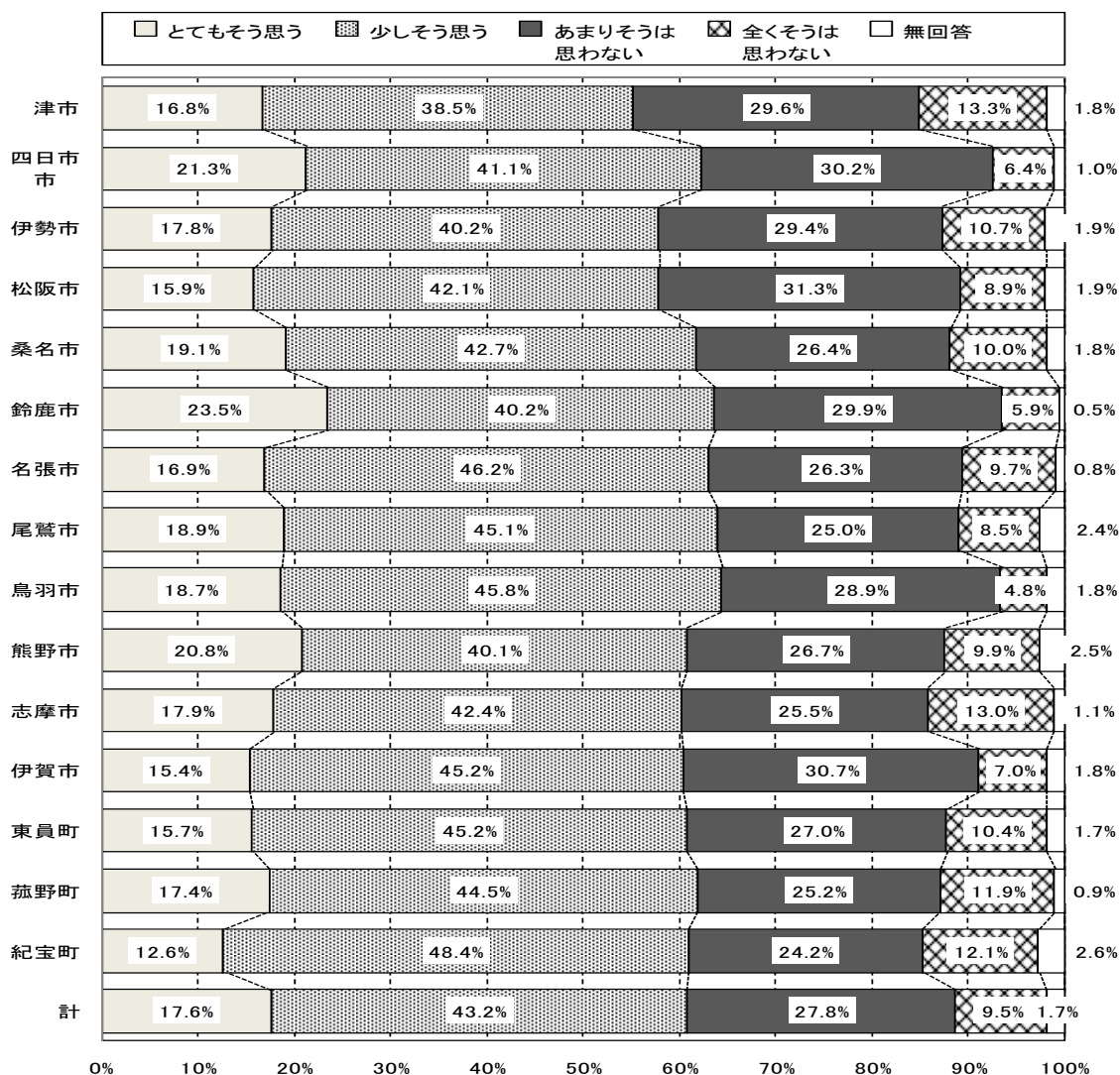


表 5-1-14 「使いまわすものでも、抵抗感はない」市町別回答状況

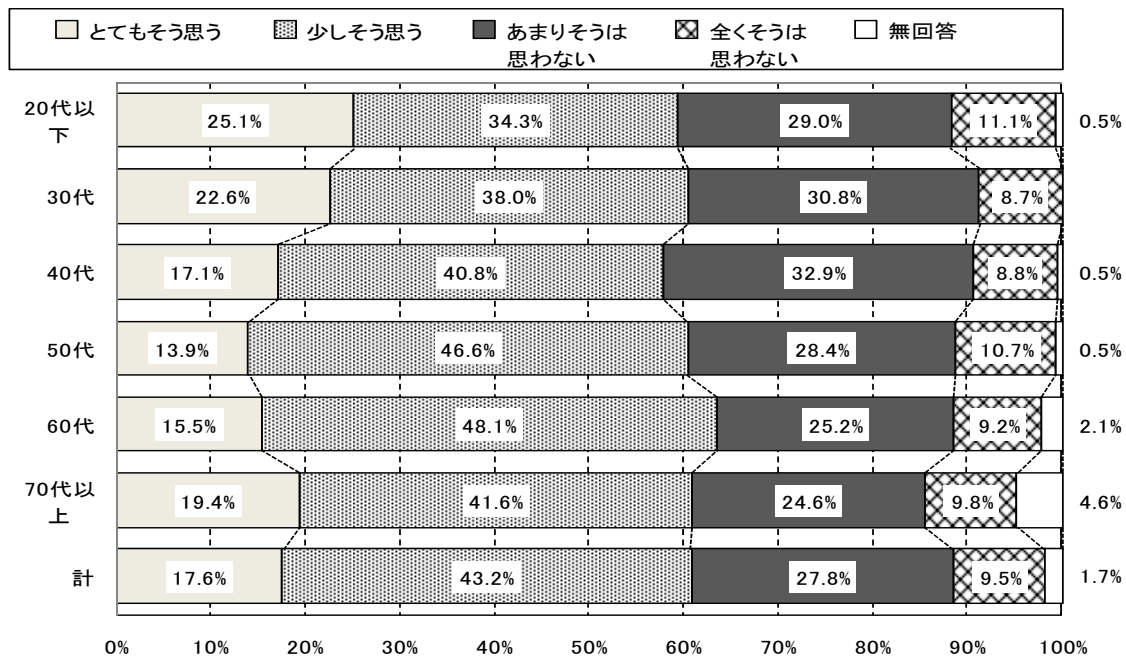


表 5-1-15 「使いまわすものでも、抵抗感はない」年代別回答率

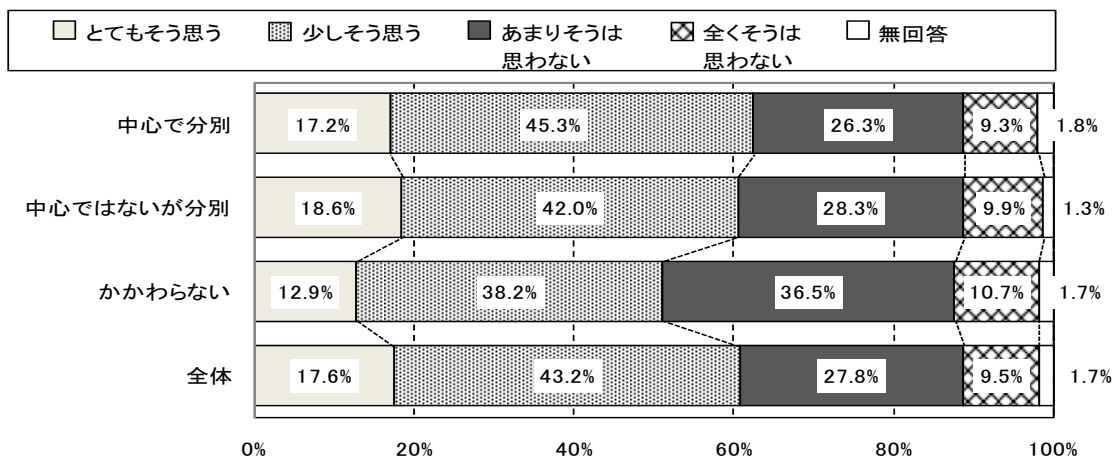


図 5-1-16 「使いまわすものでも、抵抗感はない」分別行動別回答率

(5) 日常生活における一人ひとりの行動が環境に大きな影響を及ぼすと思う。

「一人ひとりの行動が環境に影響を及ぼすと思う」という問いに対しては、「とてもそう思う」、「少しそう思う」の計が94.8%となっている。
 市町別では、上記の計が91.5%から97.8%で大きな偏りはみられない。
 年代別では、上記の計が91.2%から96.6%で大きな隔たりはみられない。
 分別行動別では、上記の計が89.9%から96.1%であり、分別にかかわる人ほど高くなる傾向が見られる。
 全体的に「一人ひとりの行動が環境に影響を及ぼすと思う」が高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	2,230	70.7%
2	少しそう思う	769	24.4%
3	あまりそうは思わない	109	3.5%
4	まったくそうは思わない	19	0.6%
99	無回答	27	0.9%
有効回答数		3,154	100.0%

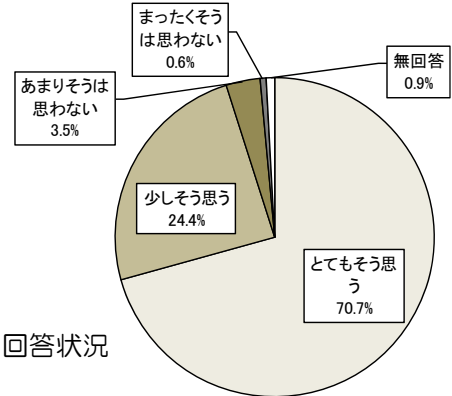


表 5-1-5 「一人ひとりの行動が環境に影響を及ぼすと思う」回答状況

図 5-1-17 「一人ひとりの行動が環境に影響を及ぼすと思う」回答率

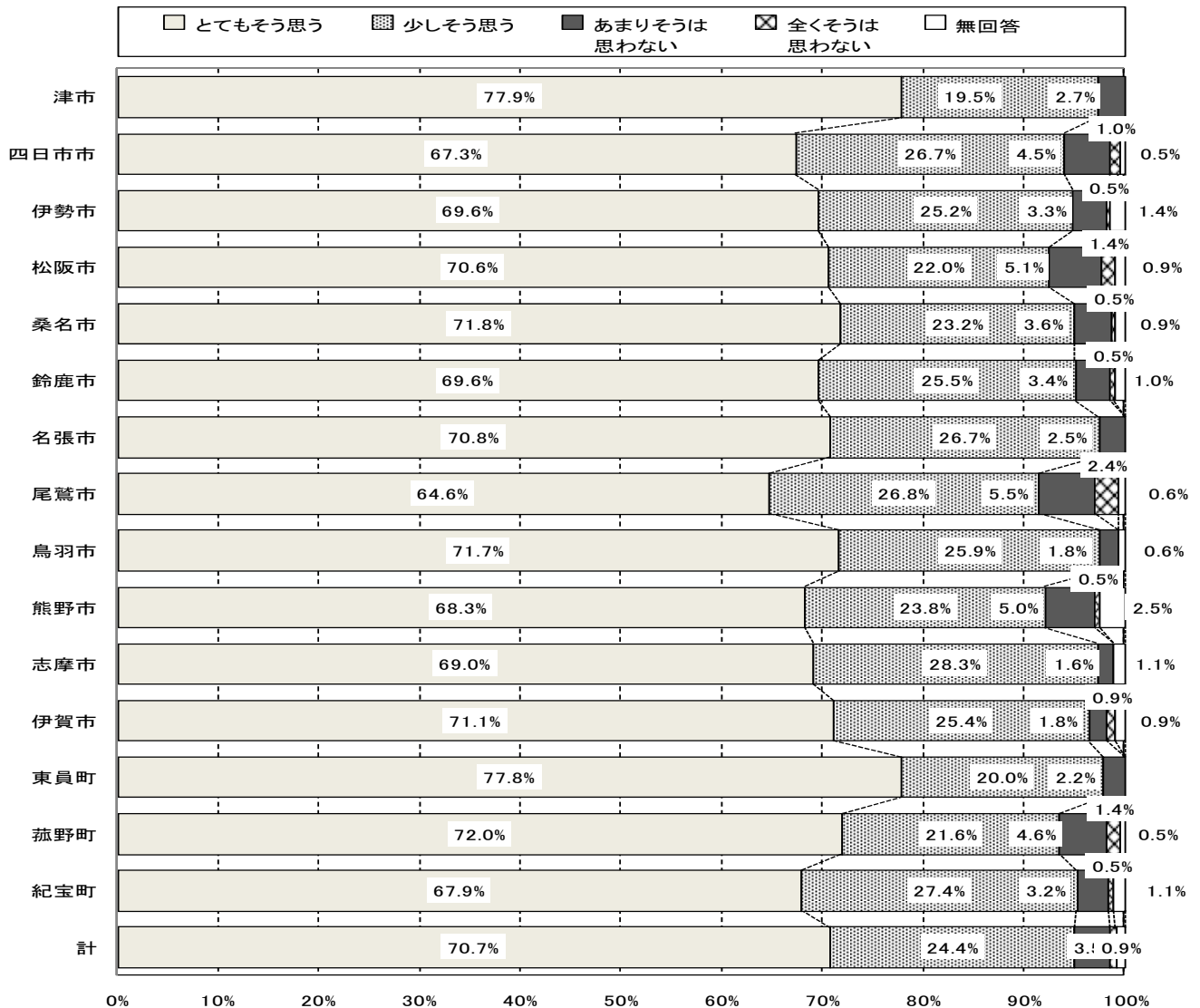


図 5-1-18 「一人ひとりの行動が環境に影響を及ぼすと思う」市町別回答率

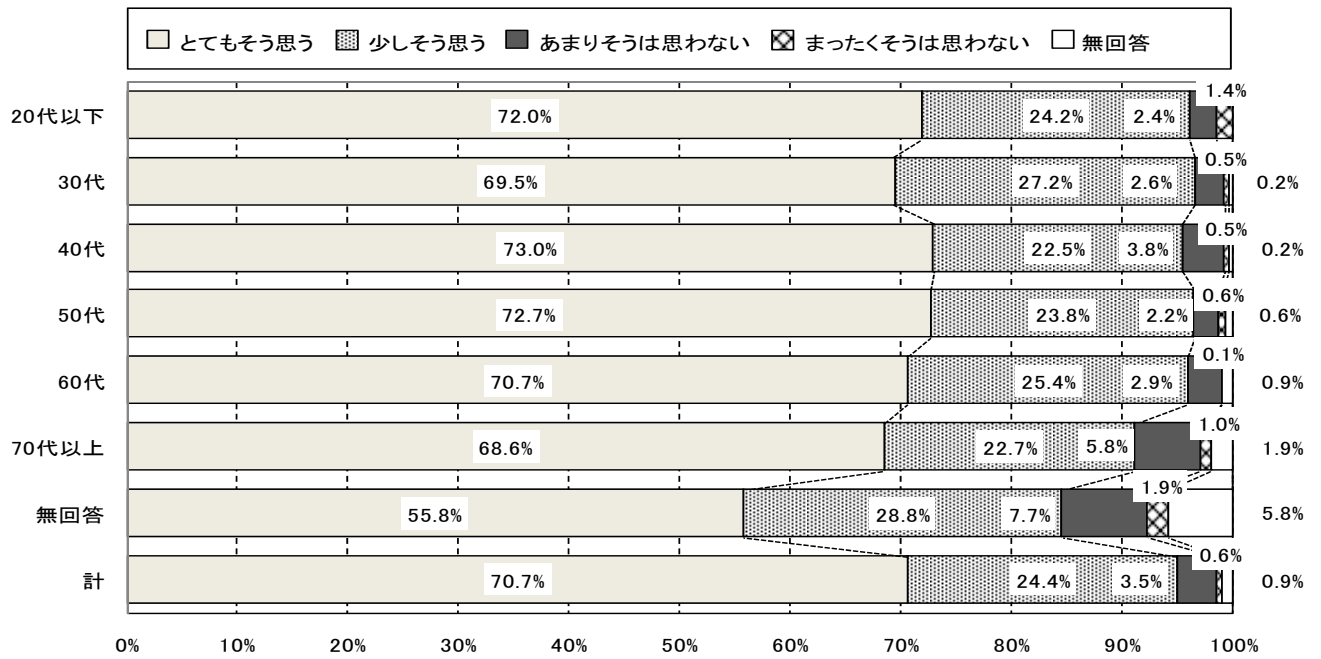


表 5-1-19 「一人ひとりの行動が環境に影響を及ぼすと思う」年代別回答率

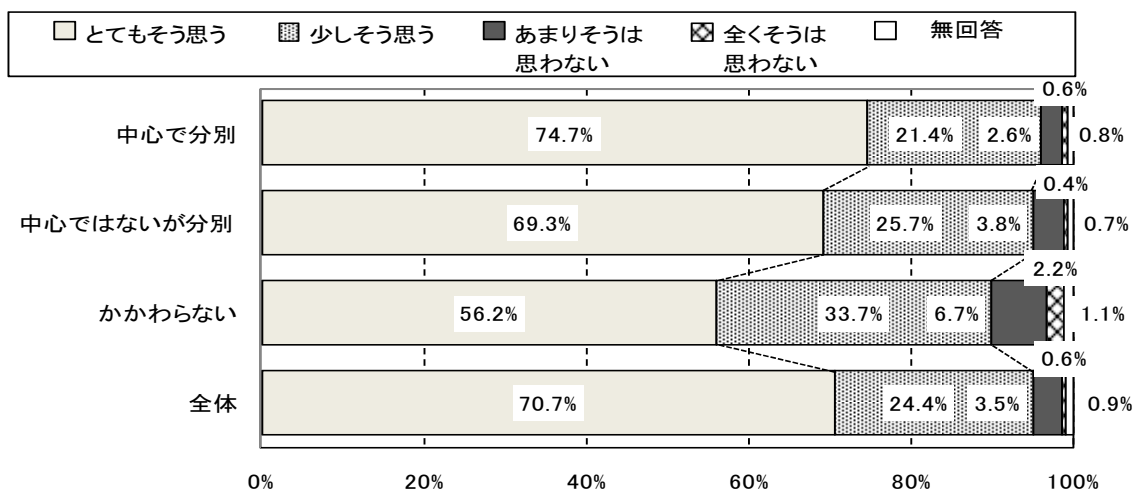


図 5-1-20 「一人ひとりの行動が環境に影響を及ぼすと思う」分別行動別回答率

(6) 環境問題解決のためには、技術開発や研究を一層充実させることが必要だと思う。

「環境問題解決のためには、技術開発や研究を一層充実させることが必要だと思う」という問いに対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」の計が88.1%となっている。
 市町別では、上記の計が82.6%から92.1%で大きな偏りは見られない。
 年代別では、上記の計が81.6%から92.3%で大きな隔たりは見られないが、年代が高くなるほど「とてもそう思う」が高くなる傾向が見られる。
 分別行動別では、上記の計が87.9%から88.8%で大きな偏りは見られないが、分別にかかわる人ほど「とてもそう思う」が高くなっている。
 全体的に「技術開発や研究の充実が必要と思う」が高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	1,702	54.0%
2	少しそう思う	1,074	34.1%
3	あまりそうは思わない	303	9.6%
4	まったくそうは思わない	36	1.1%
99	無回答	39	1.2%
有効回答数		3,154	100.0%

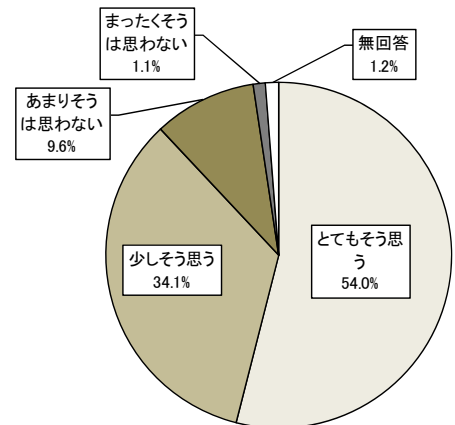


表 5-1-6 「技術開発や研究の充実が必要と思う」回答状況

図 5-1-21 「技術開発や研究の充実が必要と思う」回答率

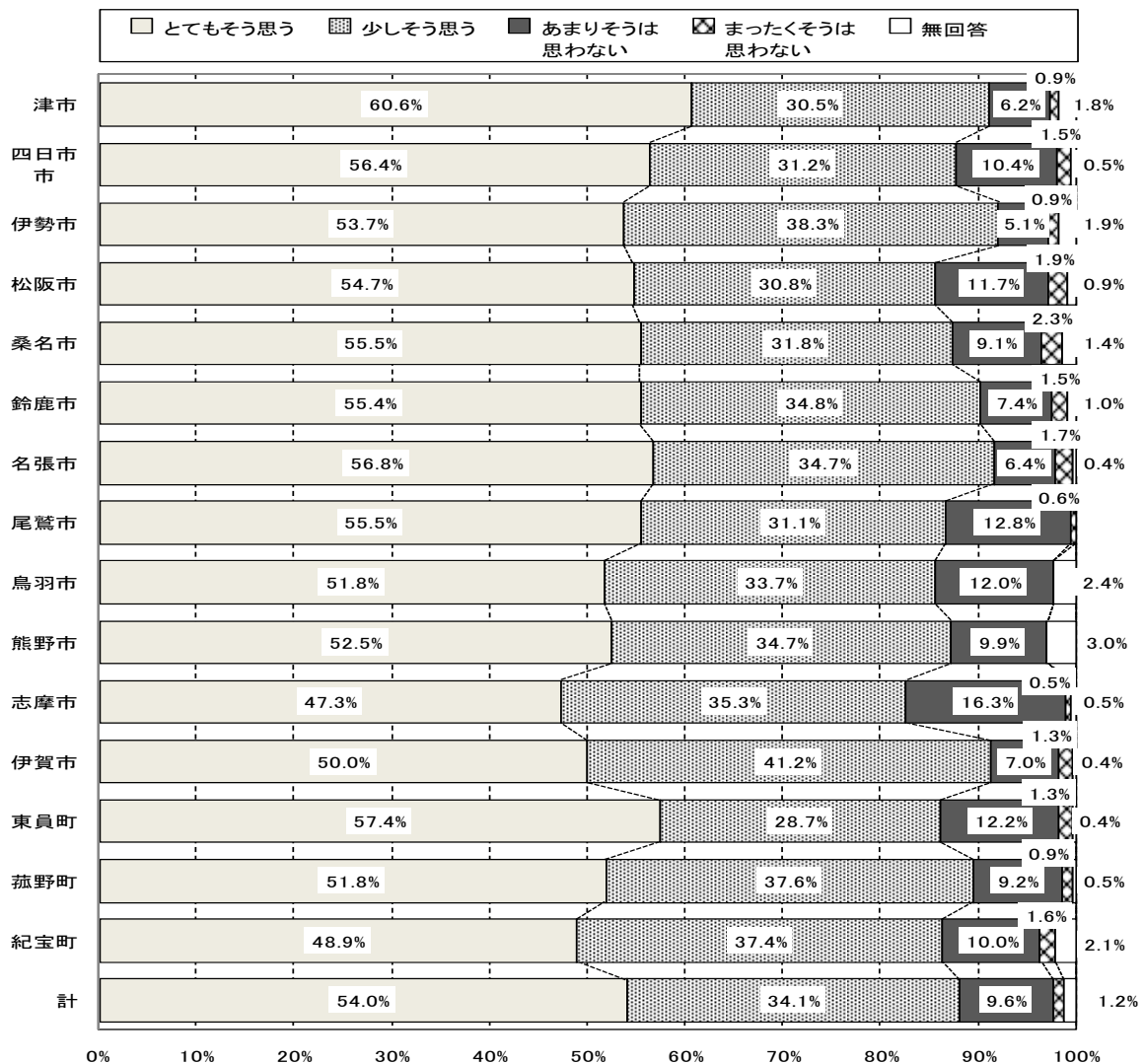


図 5-1-22 「技術開発や研究の充実が必要と思う」市町別回答状況

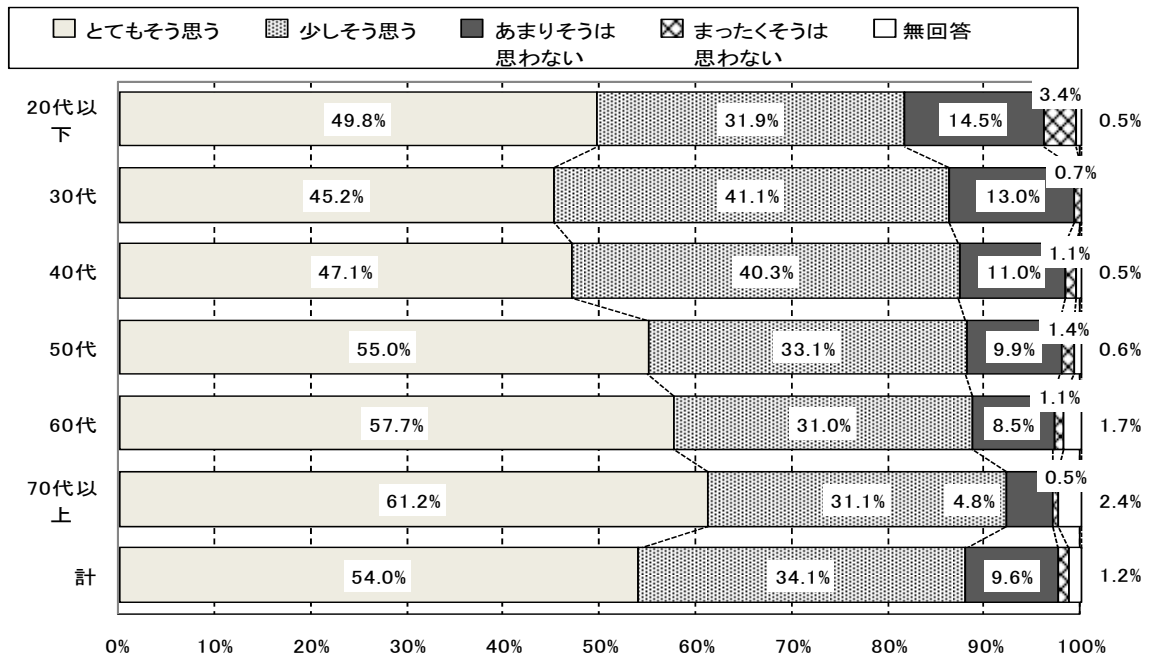


表 5-1-23 「技術開発や研究の充実が必要と思う」年代別回答率

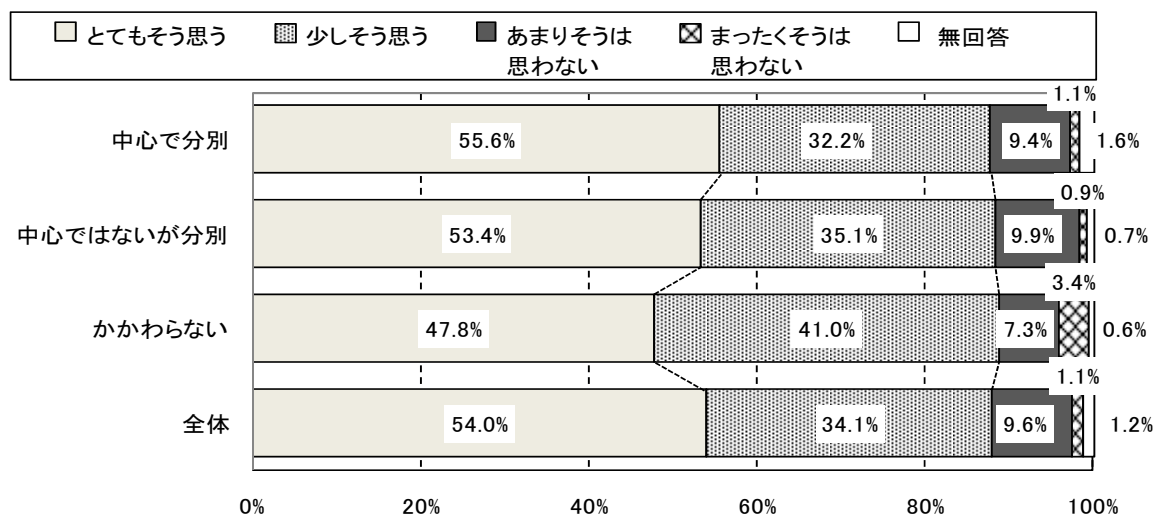


図 5-1-24 「技術開発や研究の充実が必要と思う」別行動別回答率

問 2 次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？（〇は1つずつ）

(1) 特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまおう。

「特価品や新商品をすぐには必要なくても買ってしまおうか」については、「よくあてはまる」、「少しあてはまる」の計が37.8%となっている。
 市町別では、上記の計が32.1%から42.5%で大きな偏りはみられない。
 年代別では、上記の計が33.0%から44.4%で大きな隔たりはみられない。
 分別行動別では、上記の計が36.8%から40.4%で大きな偏りはみられない。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	よくあてはまる	204	6.5%
2	少しあてはまる	988	31.3%
3	あまりあてはまらない	1,205	38.2%
4	まったくあてはまらない	738	23.4%
99	無回答	19	0.6%
有効回答数		3,154	100.0%

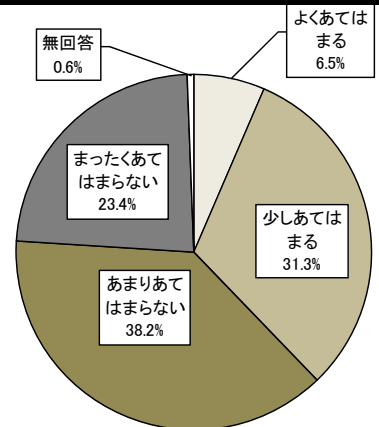


表 5-1-7 「必要なくても買ってしまおう」回答状況

図 5-1-25 「必要なくても買ってしまおう」回答率

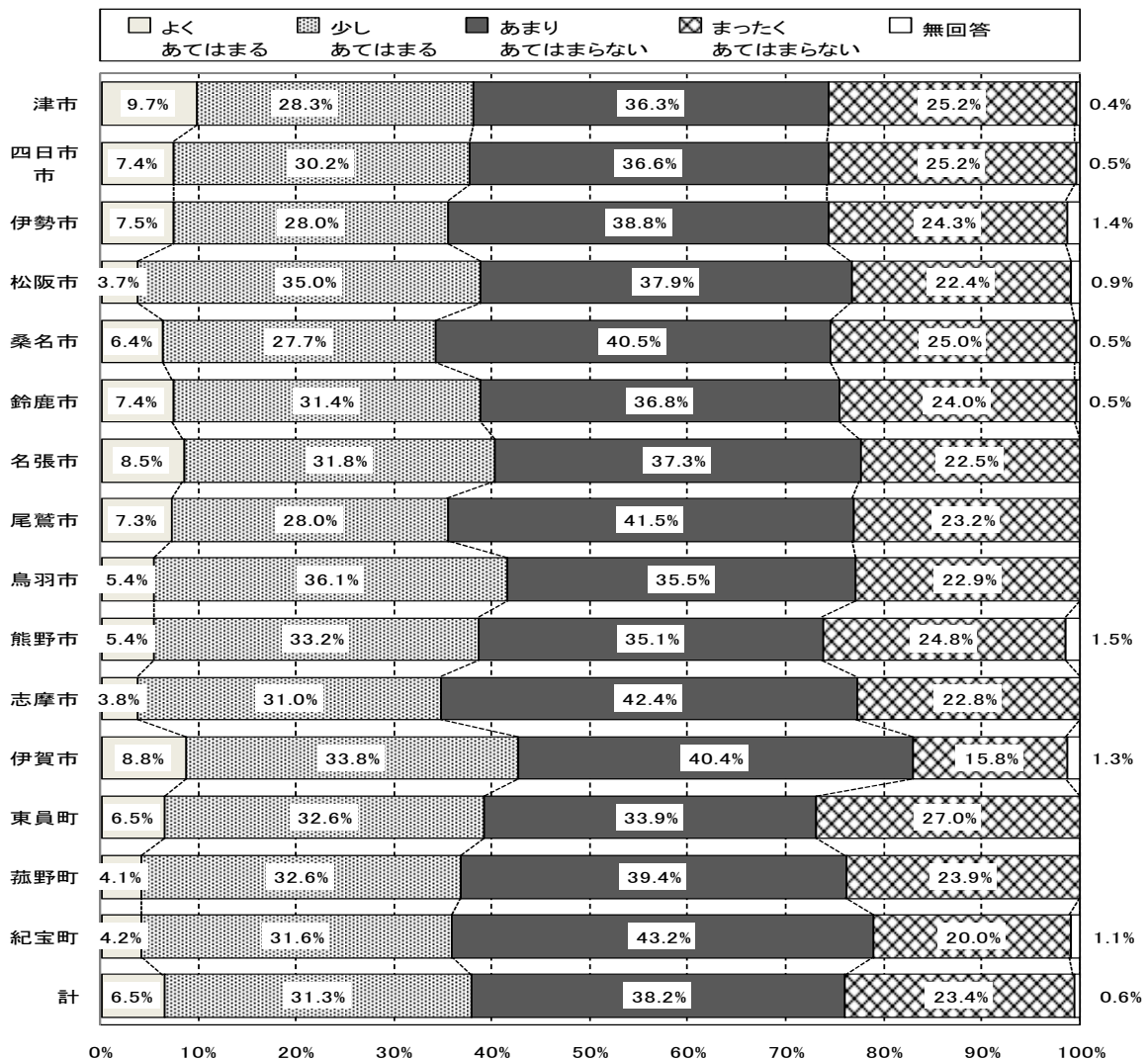


図 5-1-26 「必要なくても買ってしまおう」市町別回答率

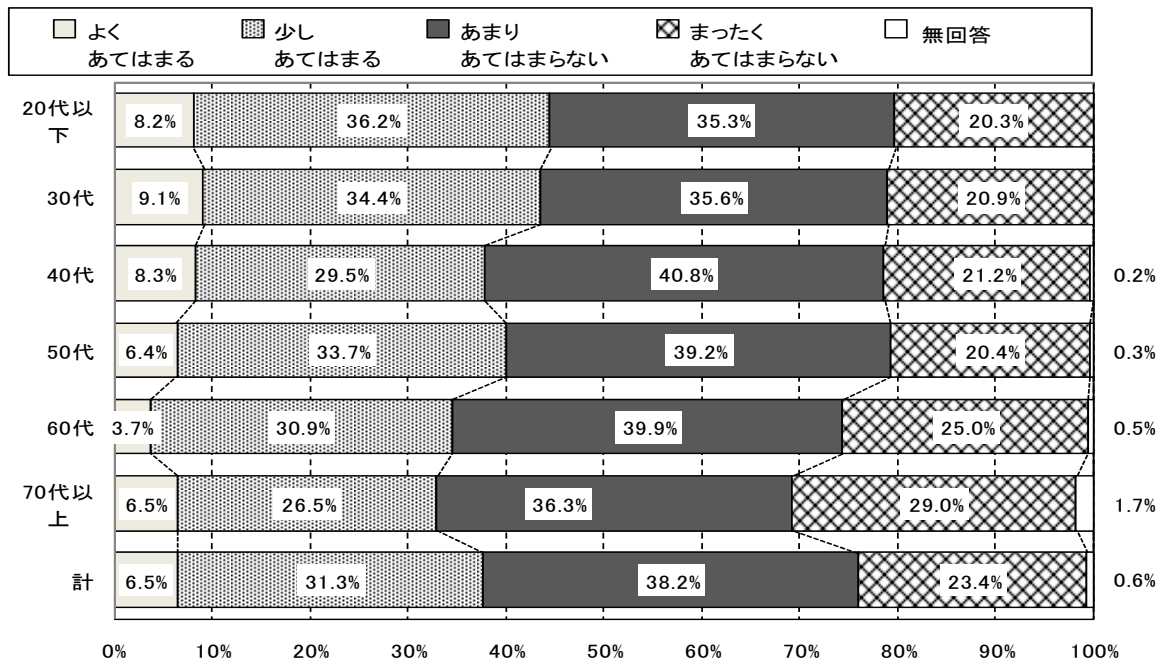


図 5-1-27 「必要なくても買ってしまおう」年代別回答率

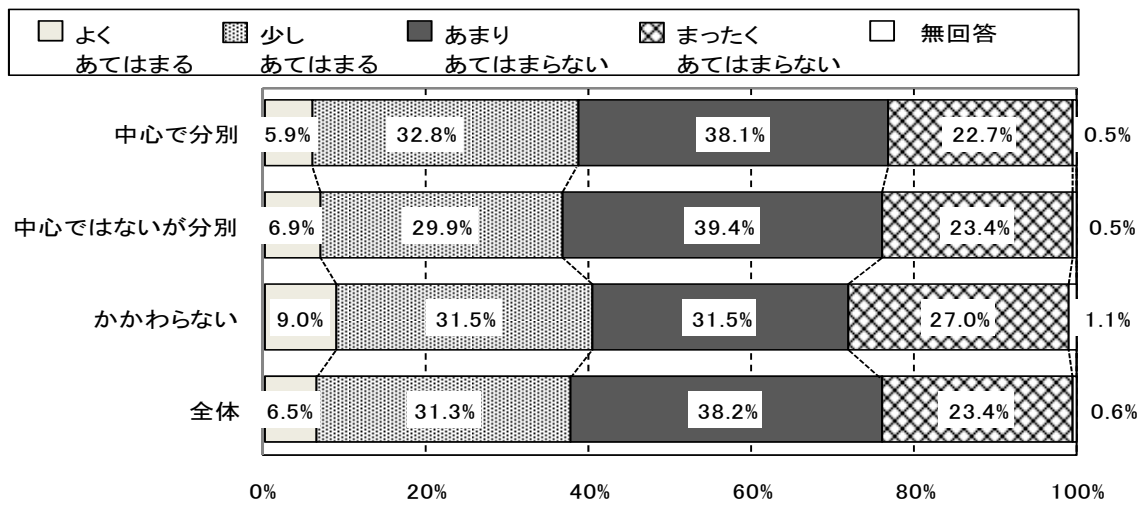


図 5-1-28 「必要なくても買ってしまおう」分別行動別回答率

(2) 買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える。

「壊れたら修理するより買い替えるか」については、「よくあてはまる」、「少しあてはまる」の計が41.9%となっている。

市町別では、上記の計が33.7%から47.6%で大きな偏りは見られないが、「よくあてはまる」では、紀宝町で6.3%に対し、鳥羽市では16.3%であり2倍以上の差が見られる。

年代別では、上記の計が39.0%から45.9%で大きな隔たりは見られない。

分別行動別では、上記の計が38.7%から44.9%であり、「ごみの分別にかかわらない」では、「よくあてはまる」が一番高くなっている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	よくあてはまる	379	12.0%
2	少しあてはまる	942	29.9%
3	あまりあてはまらない	1,185	37.6%
4	まったくあてはまらない	621	19.7%
99	無回答	27	0.9%
有効回答数		3,154	100.0%

表 5-1-8 「修理するより買い替える」回答状況

図 5-1-29 「修理するより買い替える」回答率

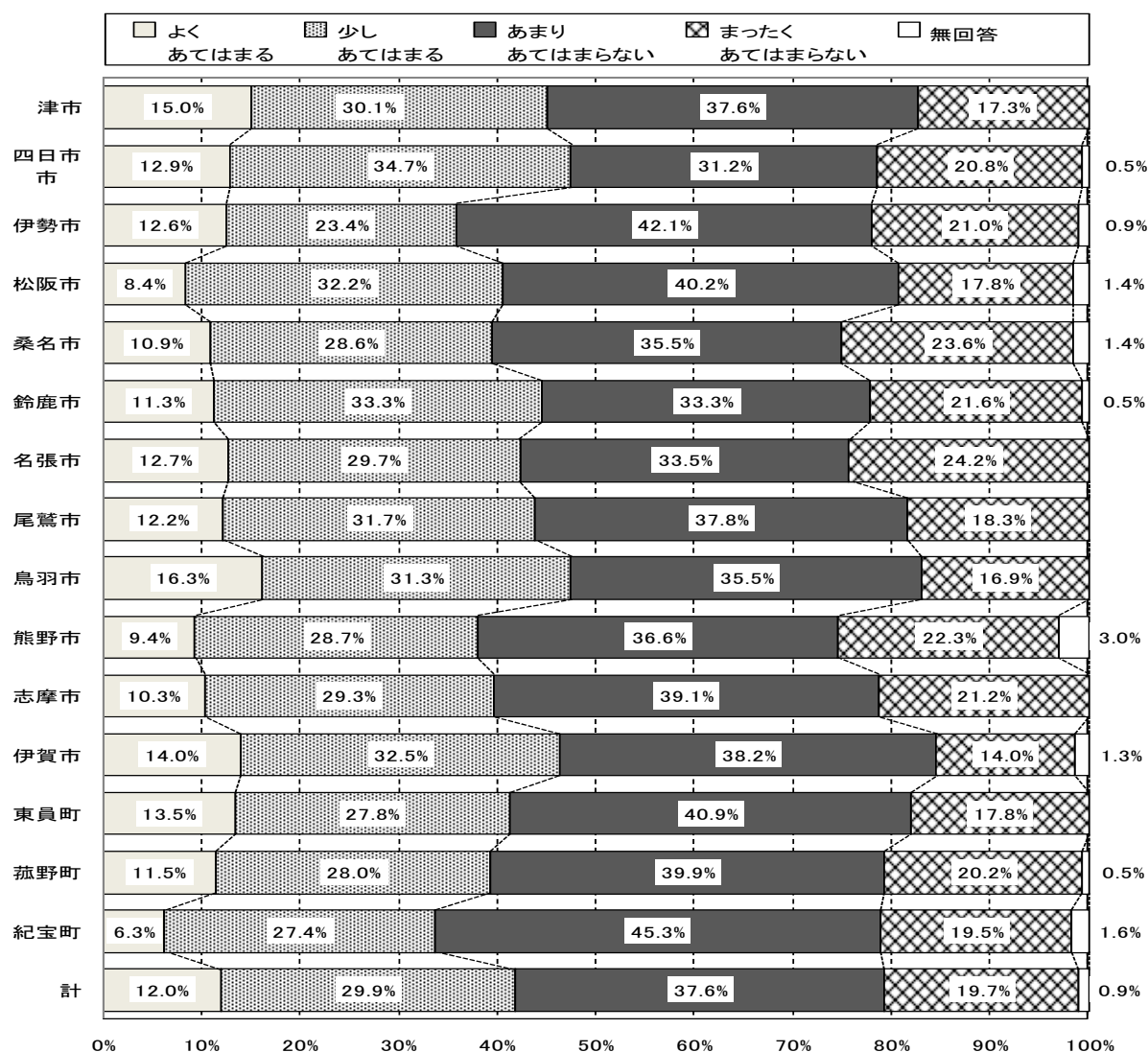


図 5-1-30 「修理するより買い替える」市町別回答率

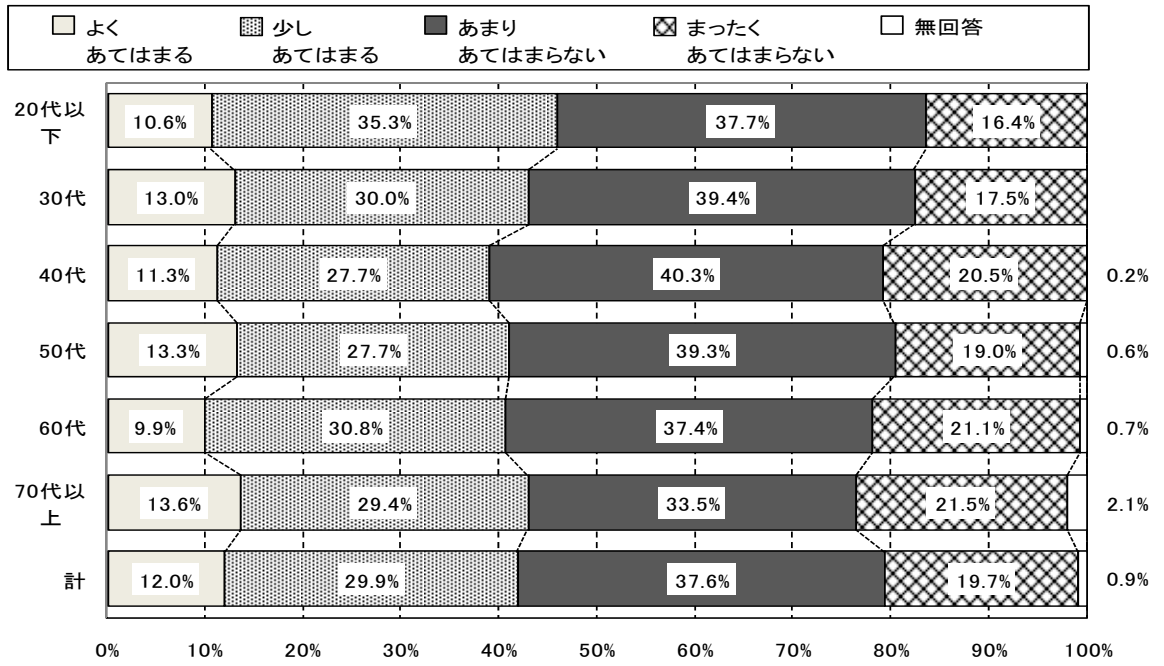


図 5-1-31 「修理するより買い替える」年代別回答率

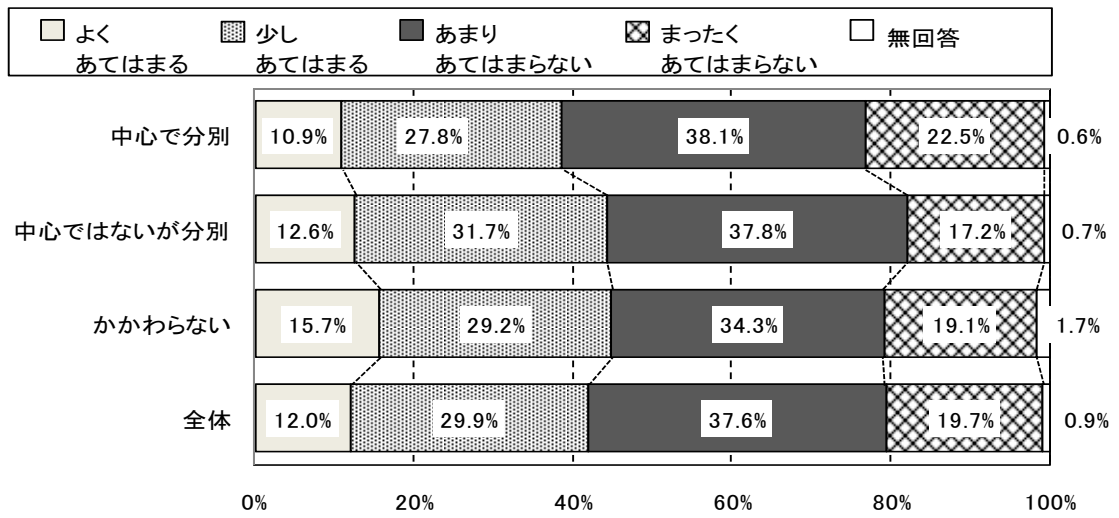


図 5-1-32 「修理するより買い替える」分別行動別回答率

(3) お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ。

「環境やごみのことを考えずに商品を選ぶか」という問いに対して、「よくあてはまる」、「少しあてはまる」の計が61.3%となっている。

市町別では、上記の計が58.4%から64.6%で大きな偏りはみられない。

年代別では、上記の計が57.0%から68.6%で若い世代ほど高くなっている傾向がみられる。

分別行動別では、上記の計が57.7%から69.7%で分別に関わらない人ほど高くなっている傾向がみられる。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	よくあてはまる	533	16.9%
2	少しあてはまる	1,399	44.4%
3	あまりあてはまらない	952	30.2%
4	まったくあてはまらない	248	7.9%
99	無回答	22	0.7%
有効回答数		3,154	100.0%

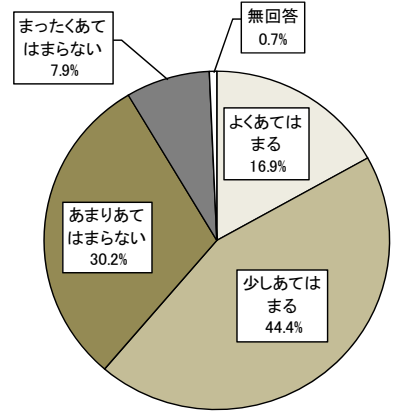


表 5-1-9 「環境等を考えずに商品を選ぶ」回答状況

図 5-1-33 「環境等を考えずに商品を選ぶ」回答率

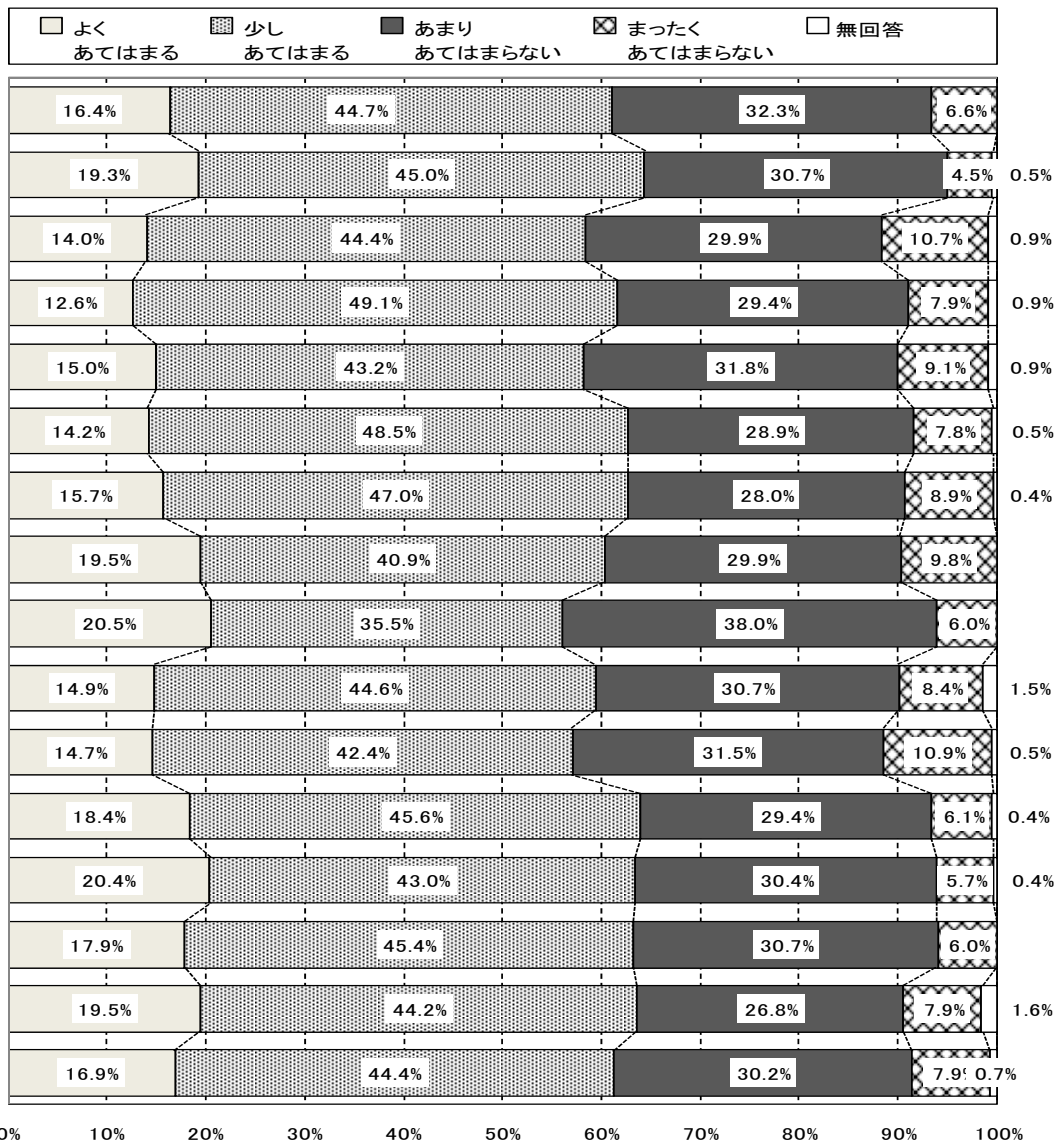


図 5-1-34 「環境等を考えずに商品を選ぶ」市町別回答率

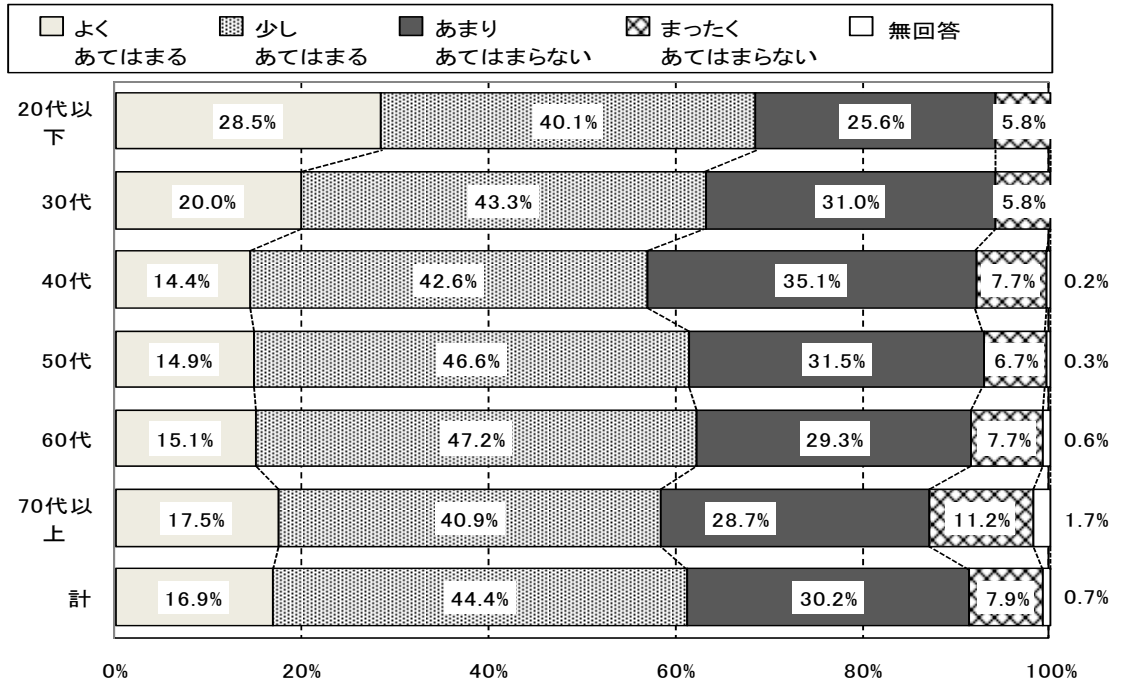


図 5-1-35 「環境等を考えずに商品を選ぶ」年代別回答率

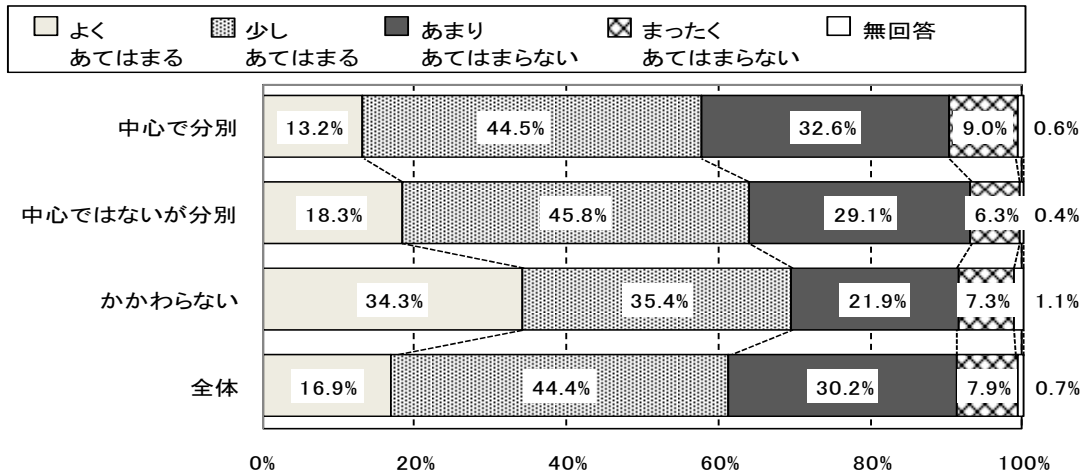


図 5-1-36 「環境等を考えずに商品を選ぶ」分別行動別回答率

(4) 一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する。

「レンタル品などは使わず、新品を購入するか」については、「よくあてはまる」、「少しあてはまる」の計が54.3%となっている。

市町別では、上記の計が45.5%から61.3%であり、大きな偏りはみられない。

年代別では、上記の計が44.8%から59.7%であり、年代が高くなるほど「まったくあてはまらない」が高くなっており、2倍以上の差が見られる。

分別行動別では、上記の計が54.7%から57.3%であり「分別にかかわらない」人ほど「よくあてはまる」が高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	よくあてはまる	637	20.2%
2	少しあてはまる	1,076	34.1%
3	あまりあてはまらない	883	28.0%
4	まったくあてはまらない	520	16.5%
99	無回答	38	1.2%
有効回答数		3,154	100.0%

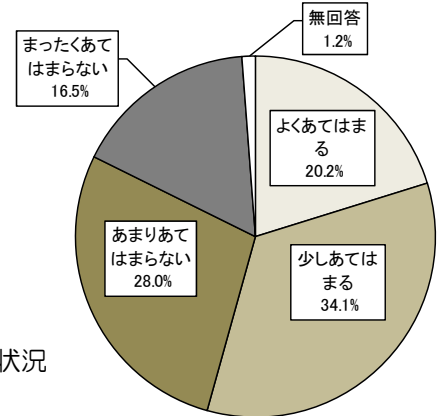


表 5-1-10 「レンタル品などは使わず、新品を購入する」回答状況

図 5-1-37 「レンタル品などは使わず、新品を購入する」回答率

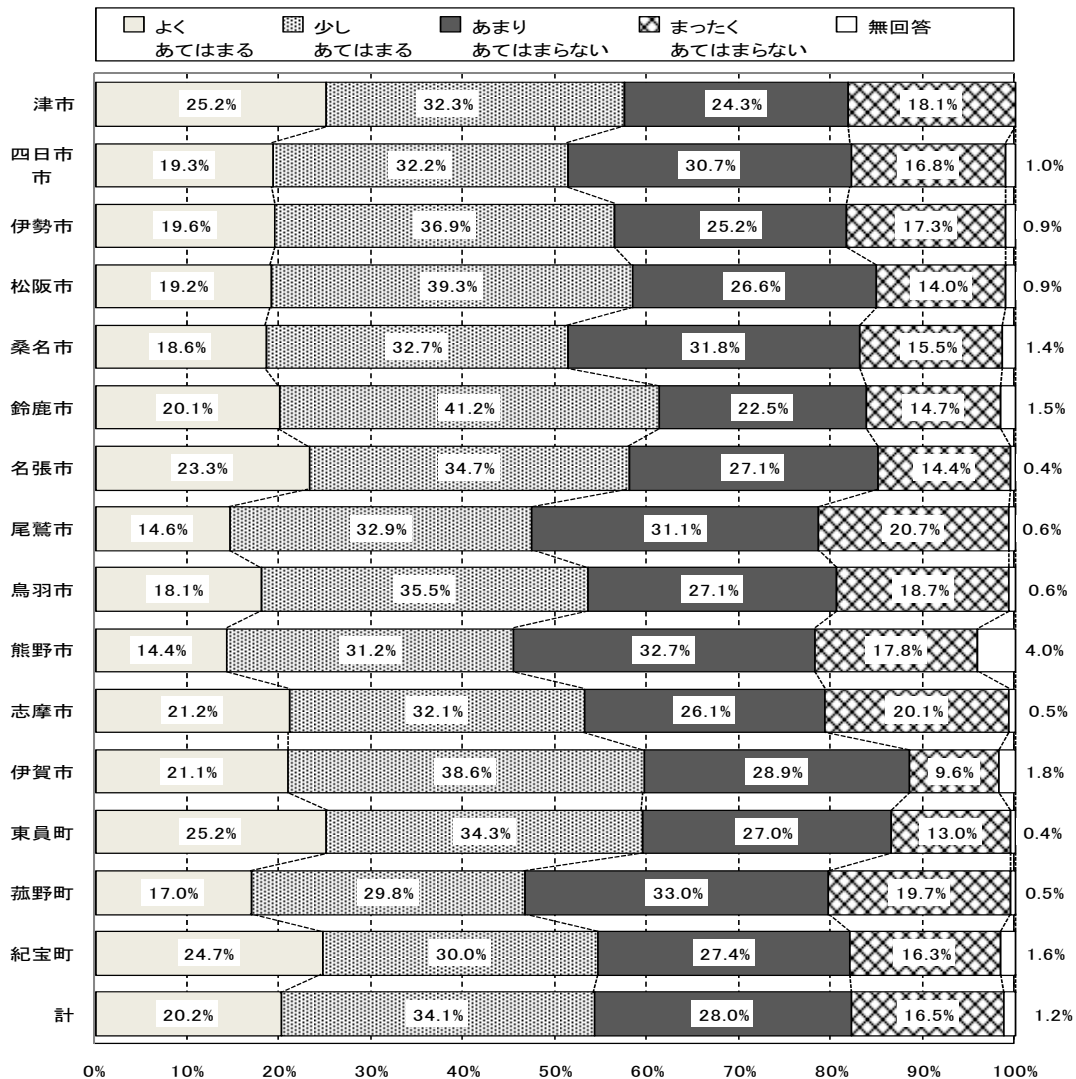


図 5-1-38 「レンタル品などは使わず、新品を購入する」市町別回答率

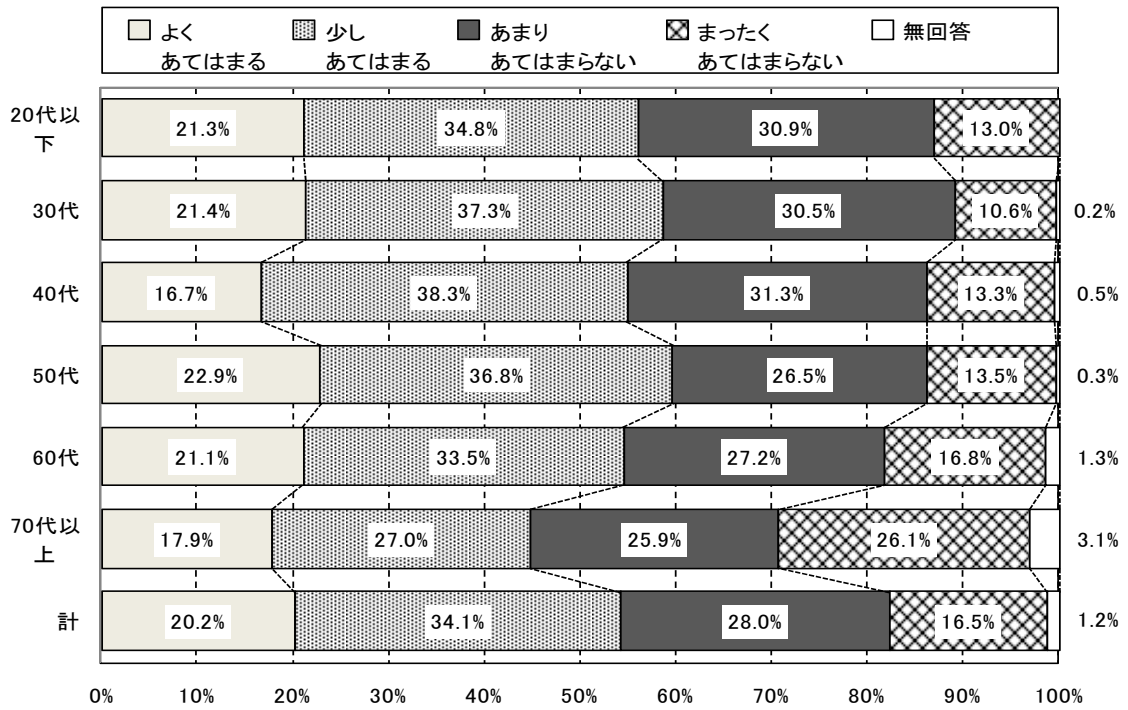


図 5-1-39 「レンタル品などは使わず、新品を購入する」年代別回答率

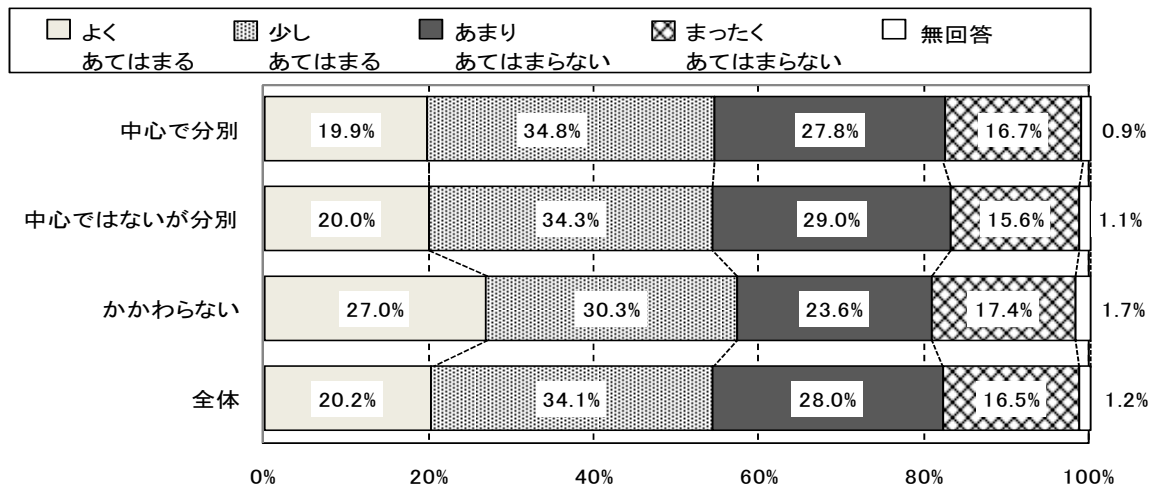


図 5-1-40 「レンタル品などは使わず、新品を購入する」分別行動別回答率

問 3 物を買うときの環境への配慮について、あなたはどのように感じていますか？（〇は1つ）

「物を買うときの環境への配慮」については、「環境保全のために良いことなので、常に意識している」、「習慣になっており、特に意識することではない」、「店頭で環境配慮の情報が明示されていれば考慮する」の計で80.5%となっている。
 市町別では、上記の計が74.7%から84.1%と大きな偏りはみられない。
 年代別では、上記の計が74.9%から85.6%であり、年代が高いほど「環境保全のために良いことなので、常に意識している」、「習慣になっており、特に意識することではない」が高い傾向となっている。また、「店頭で環境配慮の情報が明示されていれば考慮する」は「70代以上」で一番低い。
 分別行動別では、上記の計が66.3%から84.5%であり、「分別にかかわる」人ほど高くなっている。また、「手間や時間がかかる・面倒だ」は「分別にかかわらない」が一番高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	環境保全のために良いことなので、常に意識している	466	14.8%
2	習慣になっており、特に意識することではない	549	17.5%
3	店頭で環境配慮の情報が明示されていれば考慮する	1513	48.2%
4	家計の圧迫につながるのを避けたい	184	5.9%
5	手間や時間がかかる・面倒だ	72	2.3%
6	生活の便利さや快適さを損なう	32	1.0%
7	その他	58	1.8%
8	わからない	227	7.2%
9	無回答	39	1.2%
	有効回答数	3,154	100.0%

表 5-1-11 「物を買うときの環境への配慮」回答状況

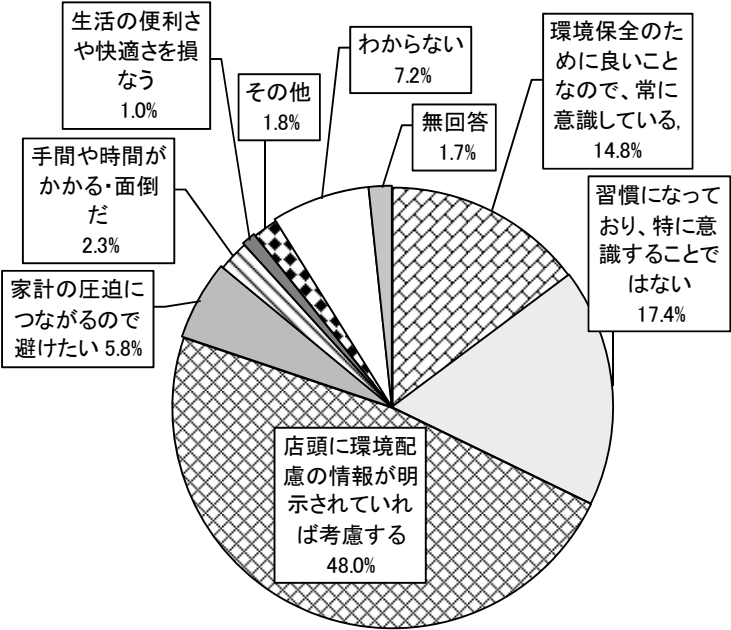


図 5-1-41 「物を買うときの環境への配慮」回答率

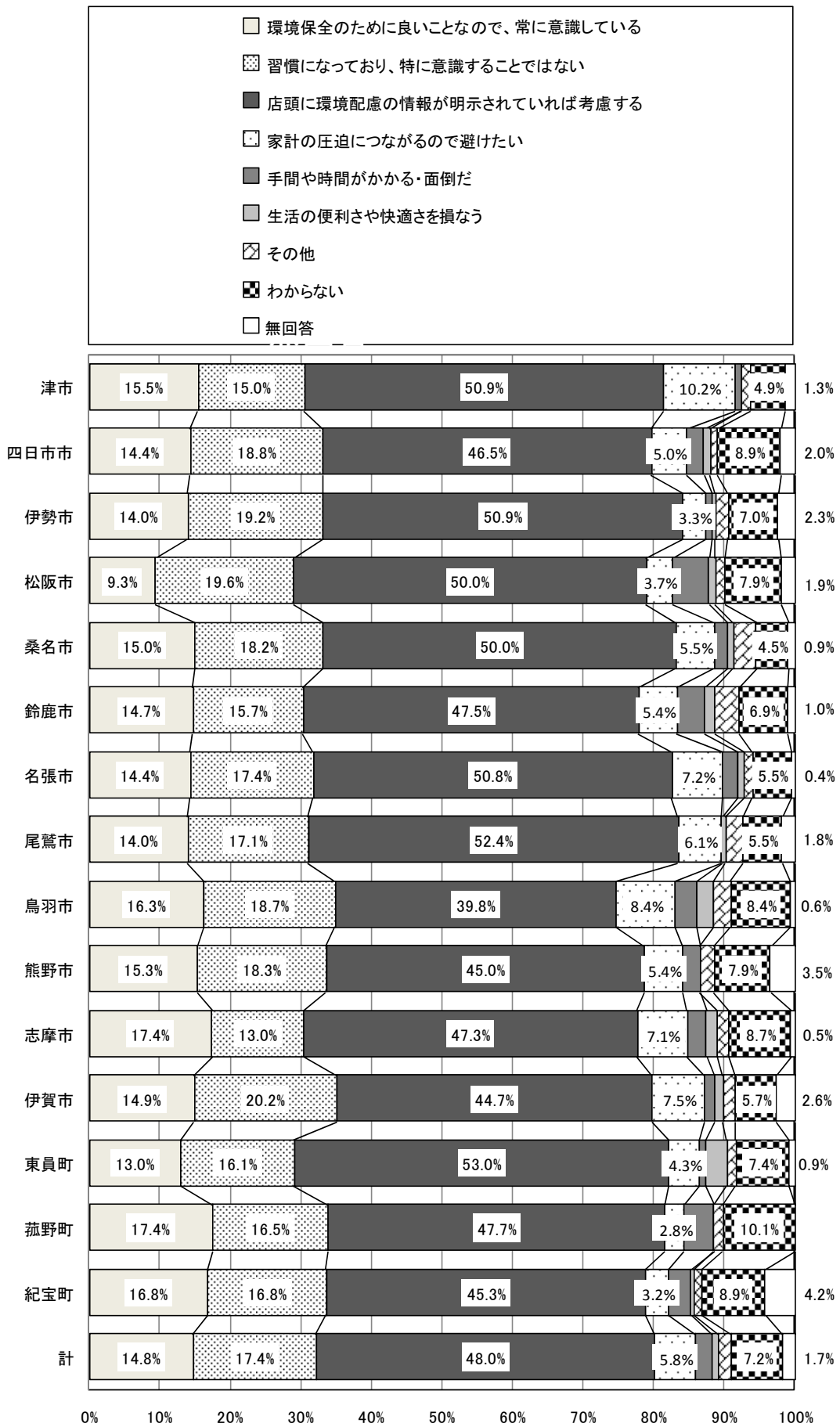


図 5-1-42 「物を買うときの環境への配慮」市町別回答率

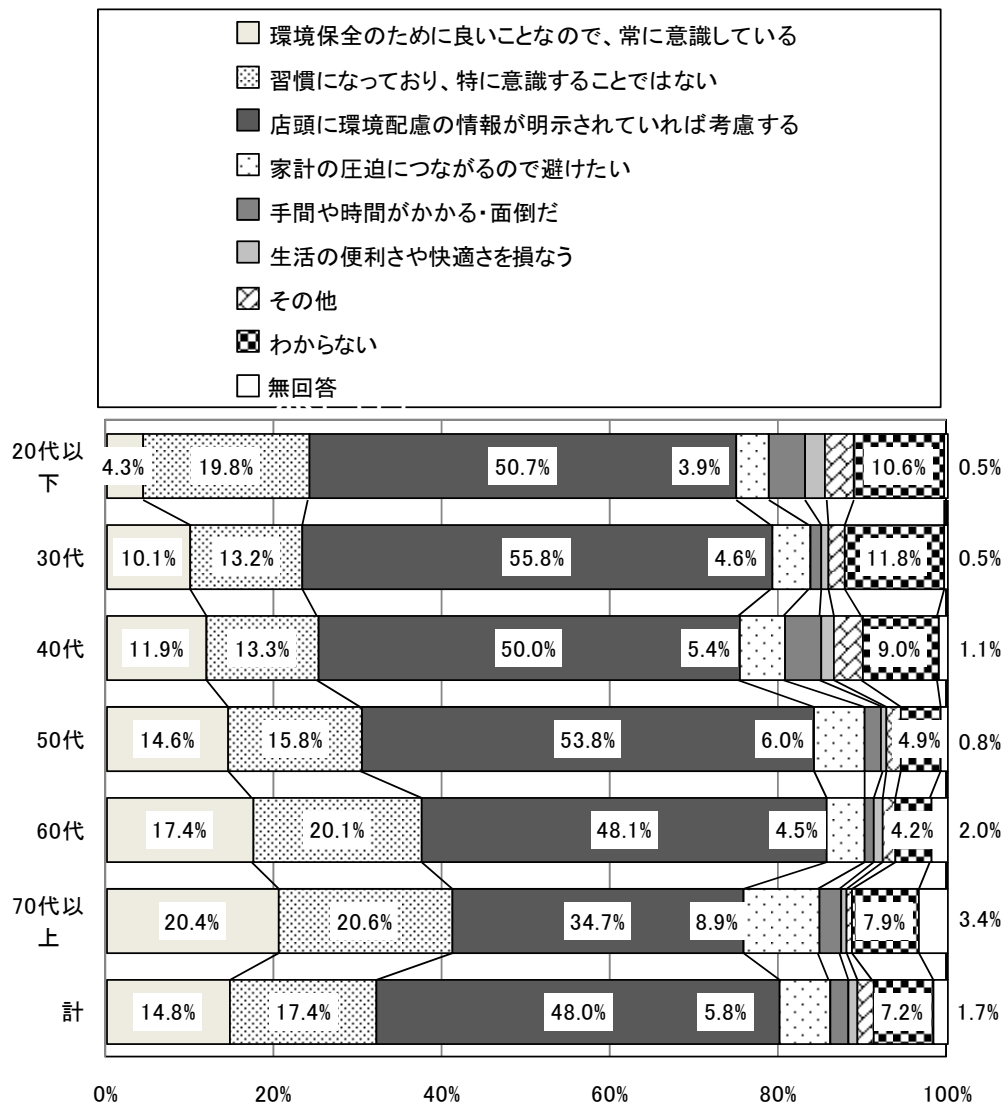


図 5-1-43 「物を買うときの環境への配慮」年代別回答率

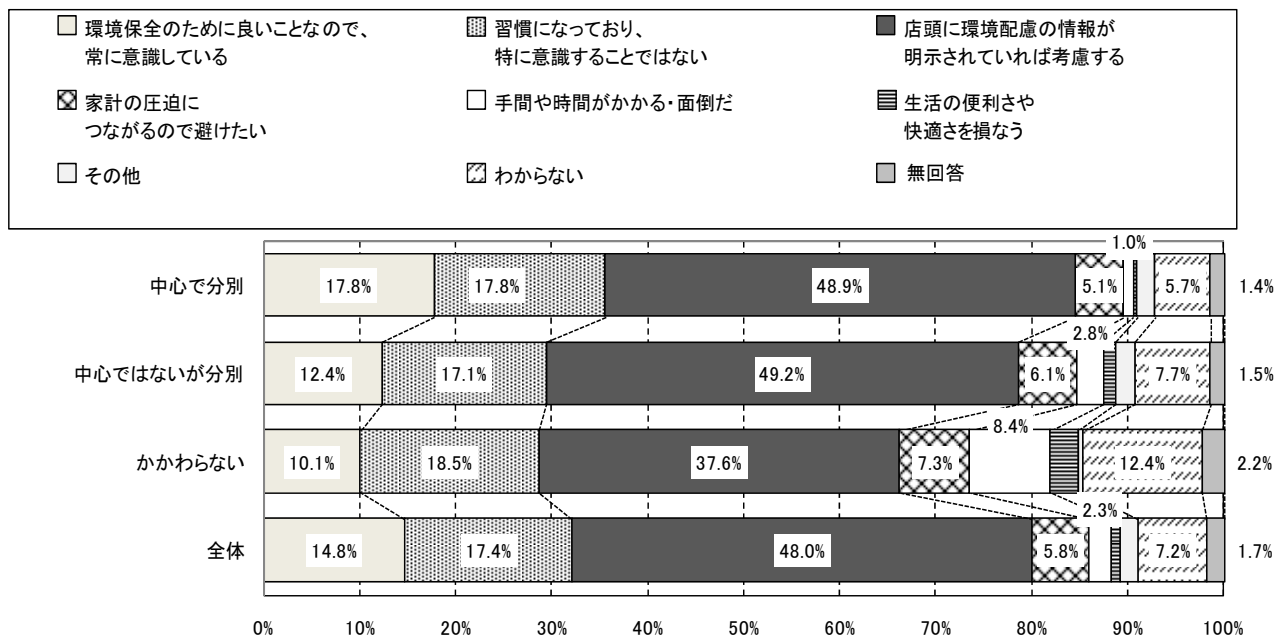


図 5-1-44 「物を買うときの環境への配慮」分別行動別回答率

問 4 食べ物のごみについてお聞きします。(〇は1つずつ)

(1) 使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか？

「食材を捨ててしまうことがあるか」については、「よくある」、「たまにある」、の計で62.5%となっている。全体的に「食材を捨ててしまう」は「たまにある」人の割合が大きい。市町別では、上記の計が58.9%から70.2%であり、大きな偏りはみられない。年代別では、上記の計が52.2%から69.6%であり、「70代以上」は「ほとんどない」が高い。分別行動別では、上記の計が61.5%から68.5%であり、「分別にかかわらない」人ほど「よくある」が高い。世帯人員別では、上記の計が58.7%から69.5%であり、一人暮らしの人は「ほとんどない」が高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	よくある	402	12.7%
2	たまにある	1,571	49.8%
3	あまりない	624	19.8%
4	ほとんどない	541	17.2%
99	無回答	16	0.5%
有効回答数		3,154	100.0%

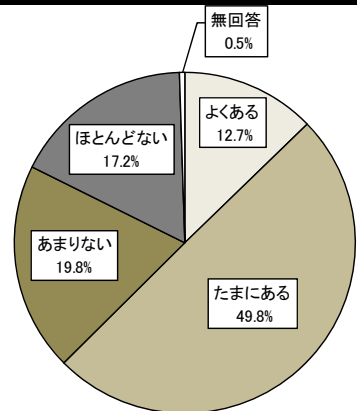


表 5-1-12 「食材を捨ててしまうことがある」回答状況

図 5-1-45 「食材を捨ててしまうことがある」回答率

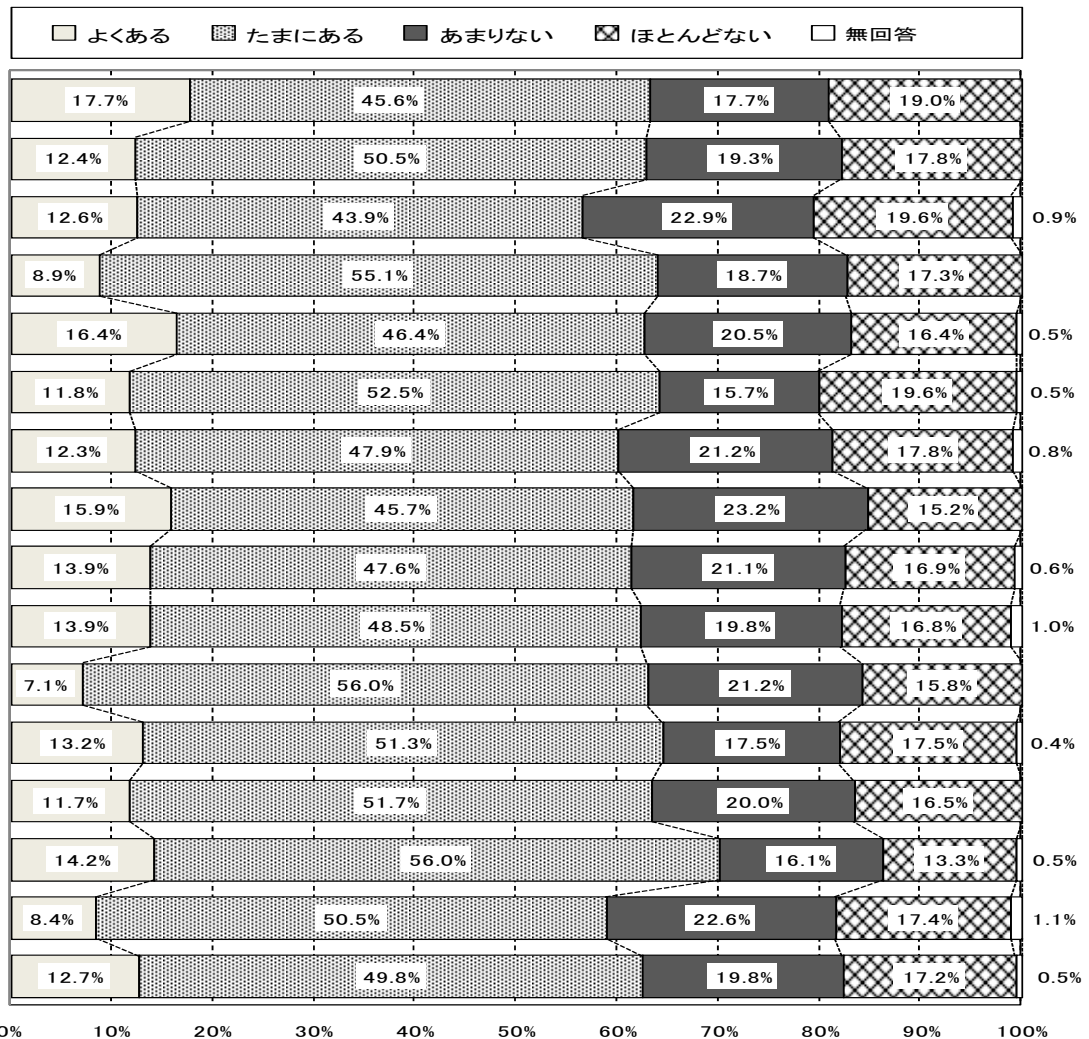


図 5-1-46 「食材を捨ててしまうことがある」市町別回答率

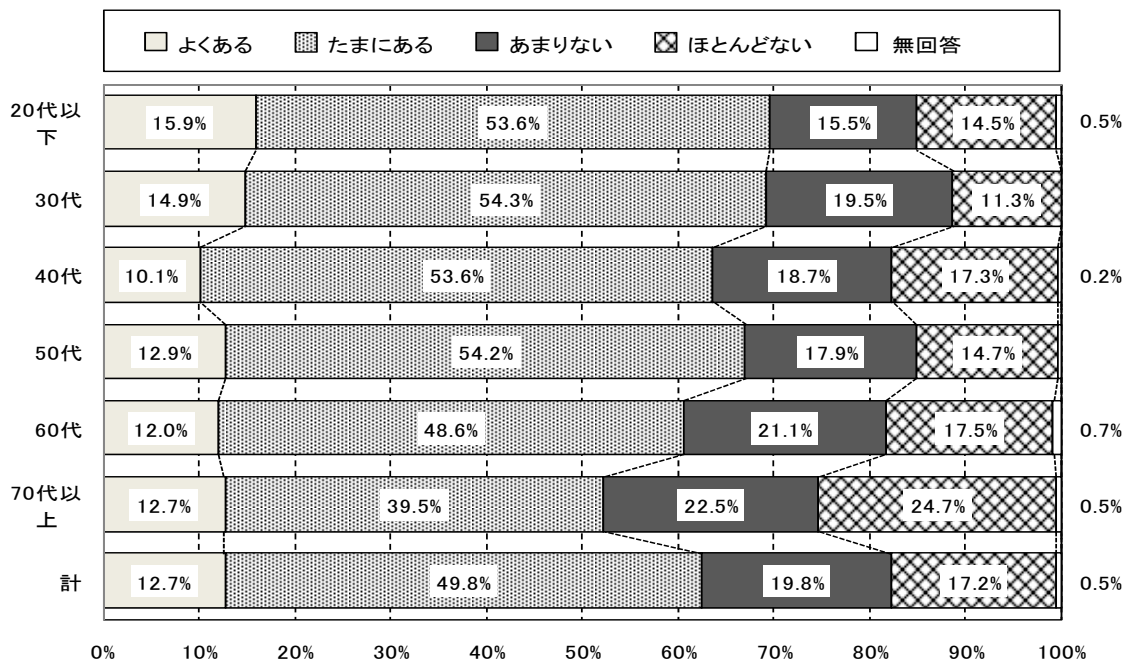


図 5-1-47 「食材を捨ててしまうことがある」年代別回答率

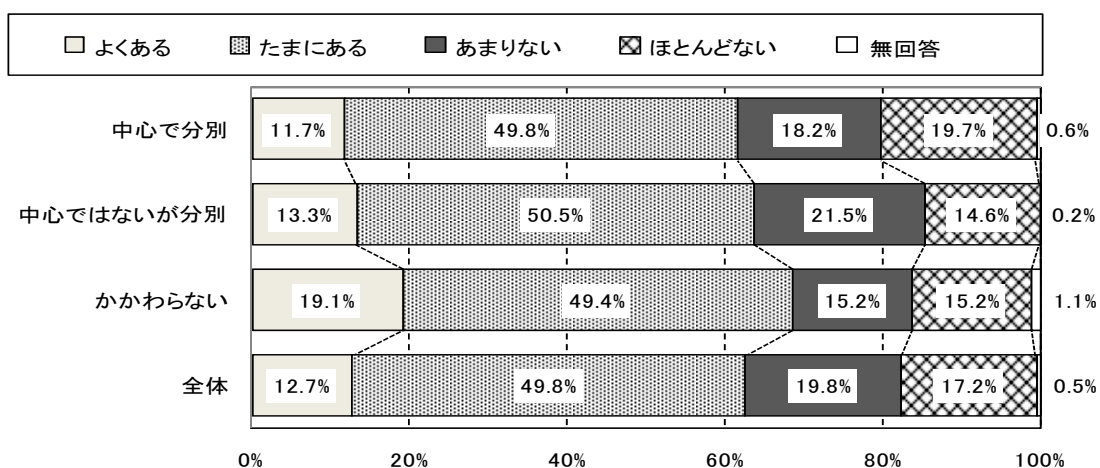


図 5-1-48 「食材を捨ててしまうことがある」分別行動別回答率

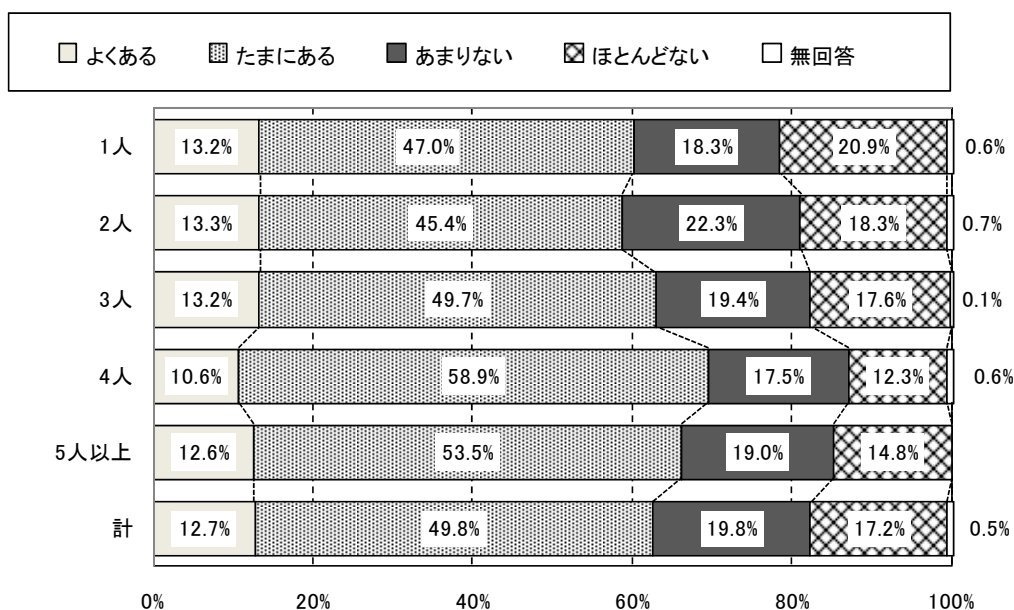


図 5-1-49 「食材を捨ててしまうことがある」世帯人員別回答率

(2) 食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか？

「料理を捨ててしまうことがあるか」については、「よくある」、「たまにある」の計が 41.8% となっている。

市町別では、上記の計が 30.5%から 46.9%であり、大きな偏りはみられない。

年代別では、上記の計が 35.9%から 47.6%であり、「70 代以上」は「ほとんどない」が高い。

分別行動別では、上記の計が 37.6%から 48.3%であり、分別にかかわらない人ほど高い。

世帯人員別では、上記の計が 36.4%から 48.0%となっており、人員が多くなるほど高い。

全体的に「料理を捨ててしまうことがある」は、「よくある」の割合は低い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	よくある	199	6.3%
2	たまにある	1,119	35.5%
3	あまりない	886	28.1%
4	ほとんどない	930	29.5%
99	無回答	20	0.6%
有効回答数		3,154	100.0%

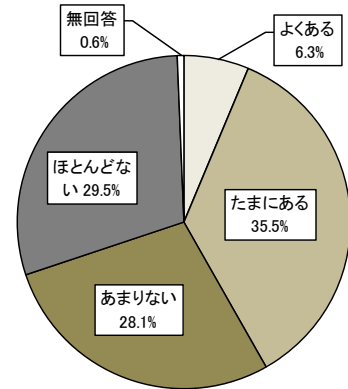


表 5-1-13 「料理を捨ててしまうことがある」回答状況

図 5-1-50 「料理を捨ててしまうことがある」回答率

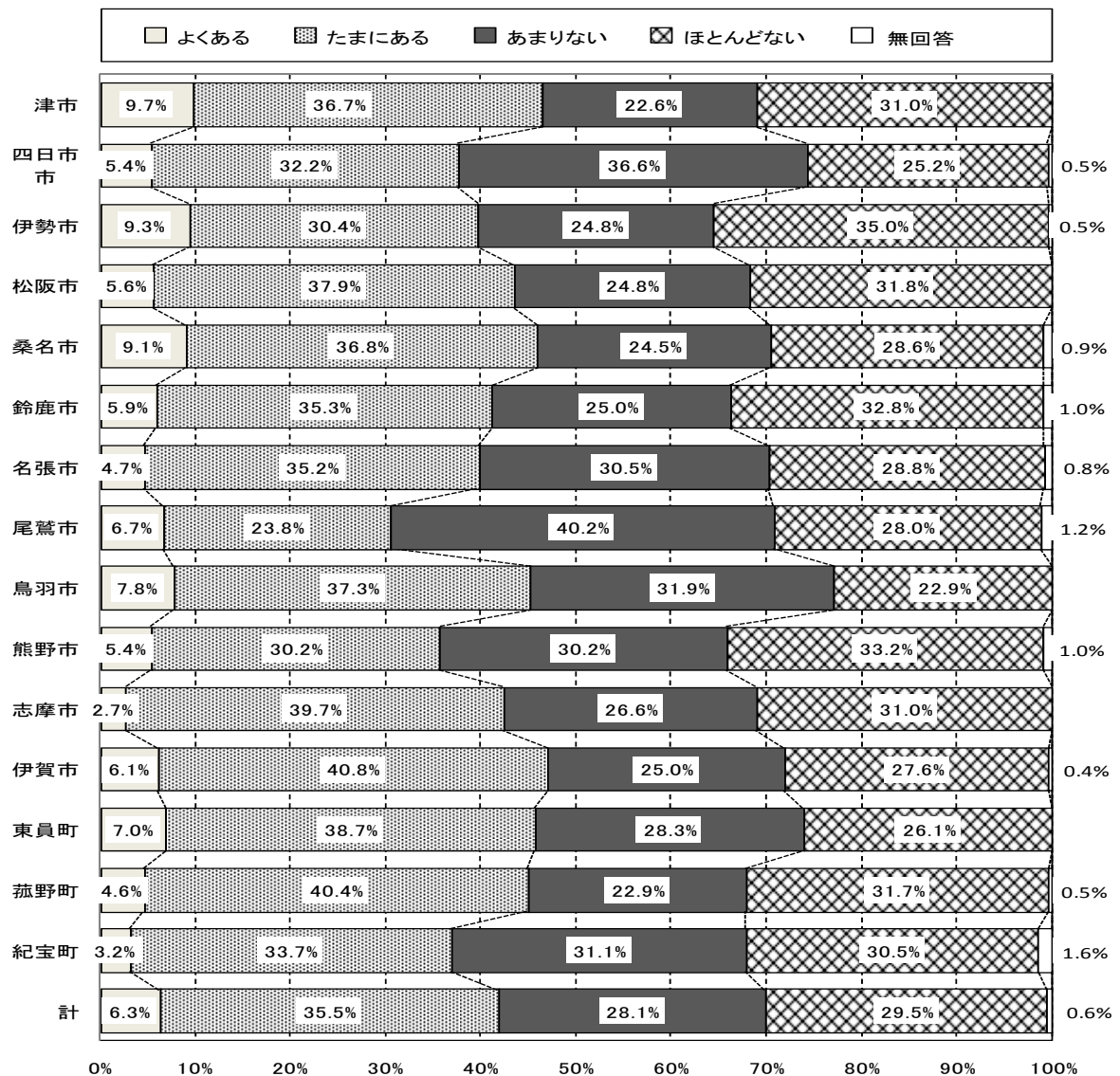


図 5-1-51 「料理を捨ててしまうことがある」市町別回答率

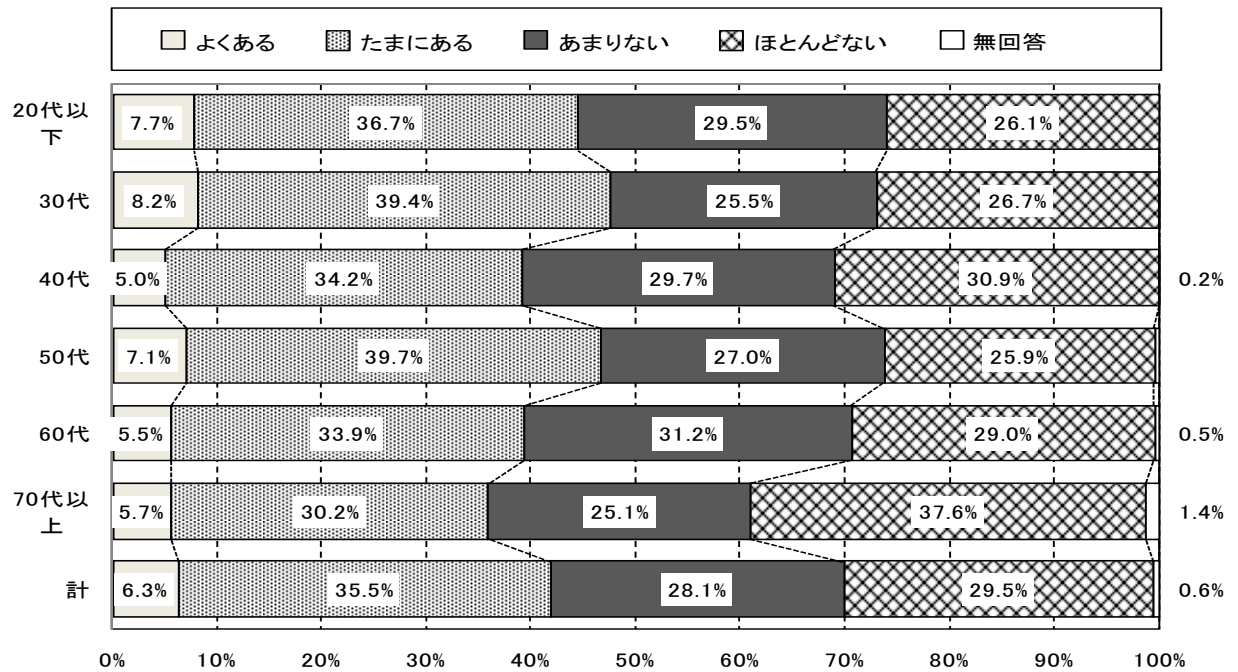


図 5-1-52 「料理を捨ててしまうことがある」年代別回答率

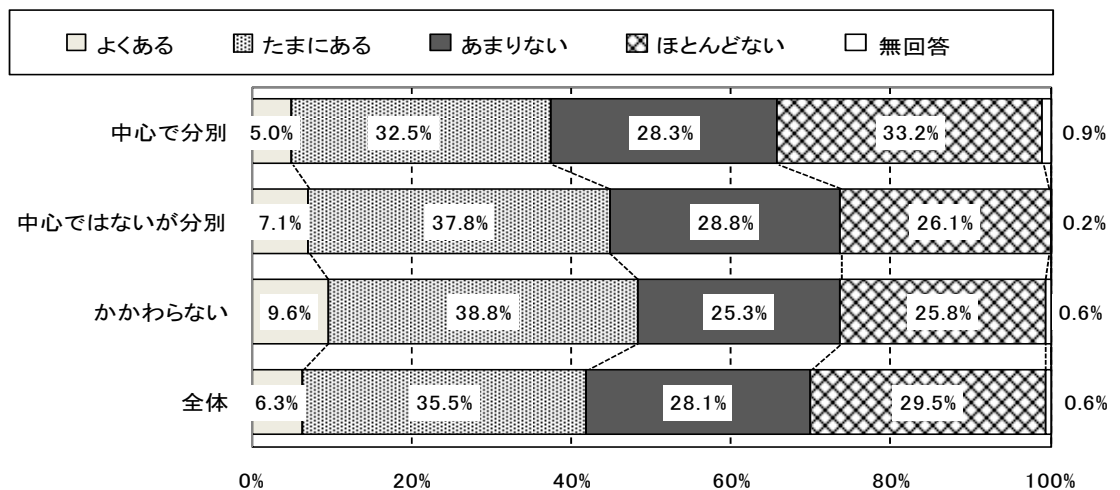


図 5-1-53 「料理を捨ててしまうことがある」分別行動別回答率

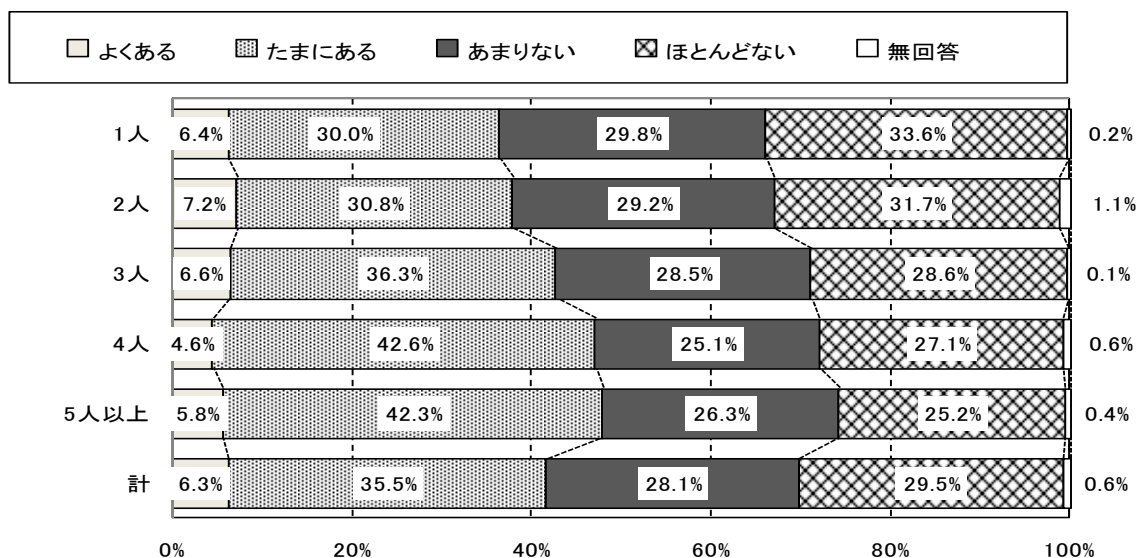


図 5-1-54 「料理を捨ててしまうことがある」世帯人員別回答率

問 5 次のうち、だいたい意味がわかる言葉はどれですか？（あてはまるものすべてに○）

「意味がわかる言葉」については、「リサイクル」（91.6%）、「マイバッグ」（93.3%）、「レジ袋の有料化」（95.5%）の回答率が90%より大きくなっている。市町別、年代別についても、「リサイクル」、「マイバッグ」、「レジ袋の有料化」の割合が高い。しかし、70代以上では、他の年代と比べるとこれらの回答率が低くなっている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	循環型社会	1,407	44.6%
2	低炭素社会	647	20.5%
3	ごみゼロ社会	2,401	76.1%
4	リデュース	849	26.9%
5	リユース	1,204	38.2%
6	リサイクル	2,890	91.6%
7	3R(さんアール、スリーアール)	676	21.4%
8	エコライフ	2,351	74.5%
9	スローライフ	1,406	44.6%
10	容器包装リサイクル法	1,971	62.5%
11	家電リサイクル法	2,712	86.0%
12	食品リサイクル法	1,168	37.0%
13	排出者責任	976	30.9%
14	拡大生産者責任	324	10.3%
15	マイバッグ	2,944	93.3%
16	レジ袋の有料化	3,013	95.5%
17	ごみの有料化	2,557	81.1%
18	どれも知らない	5	0.2%
総回答数		29,501	935.4%
有効回答数		3,154	-

表 5-1-14 「だいたい意味がわかる言葉」回答状況

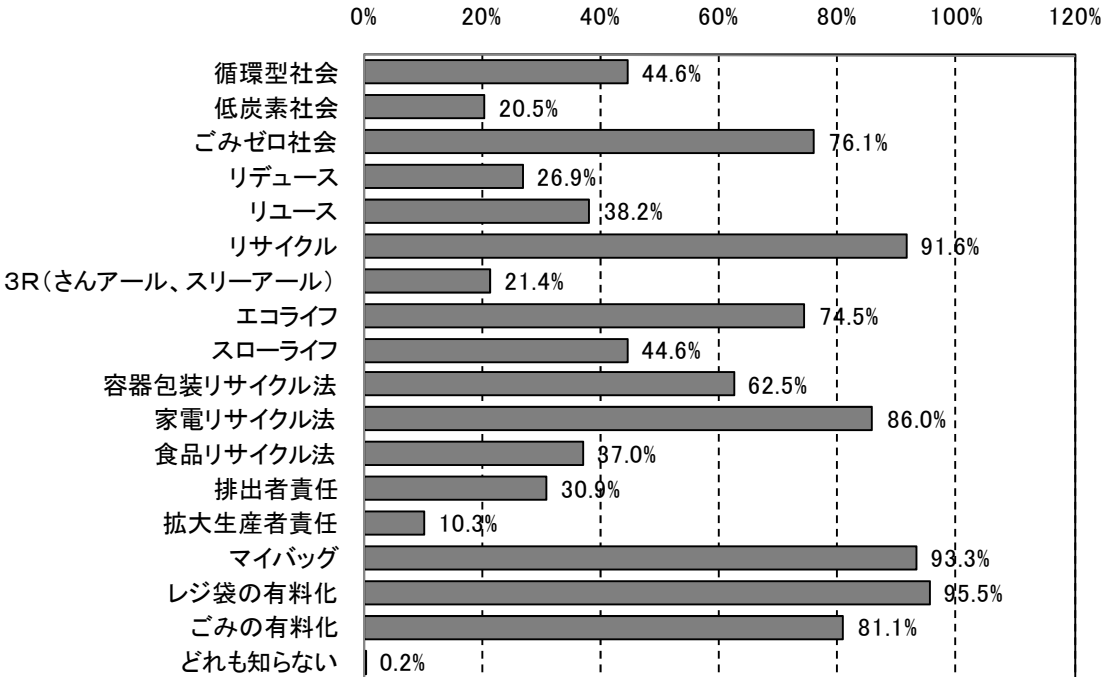


図 5-1-55 「だいたい意味がわかる言葉」回答率

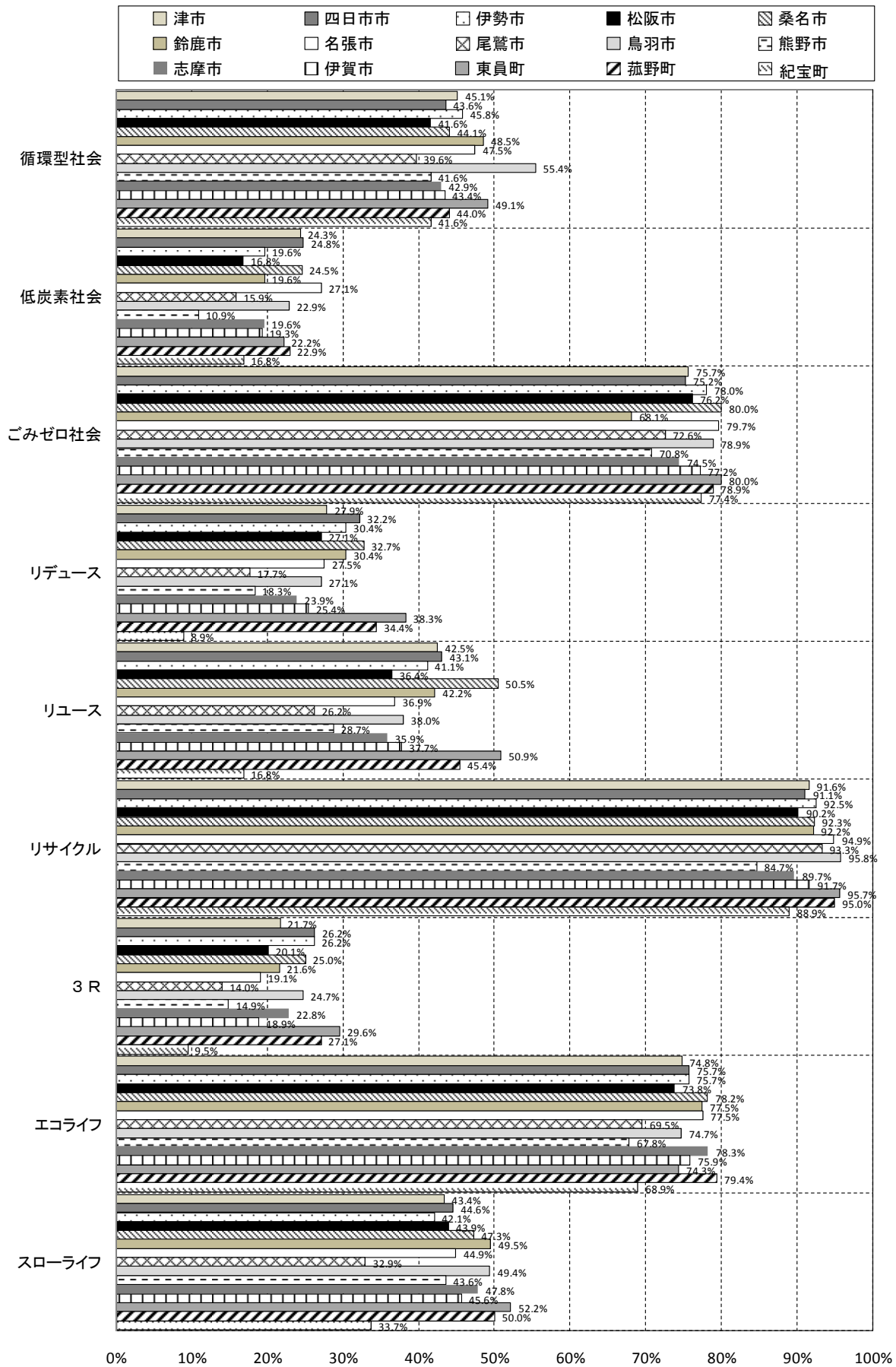


図 5-1-56 (1/2) 「だいたい意味がわかる言葉」市町別回答率

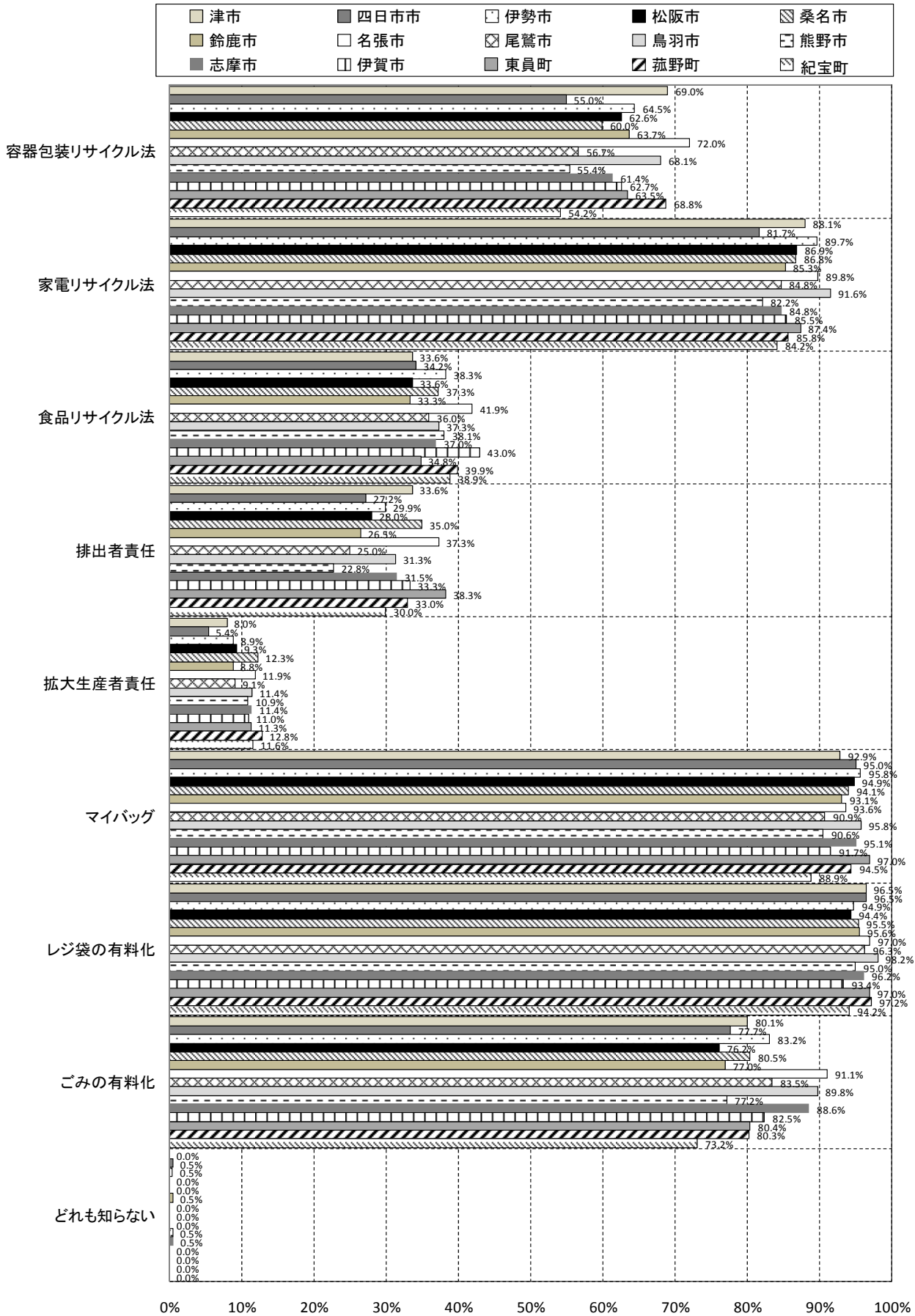


図 5-1-56 (2/2) 「だいたい意味がわかる言葉」市町別回答率

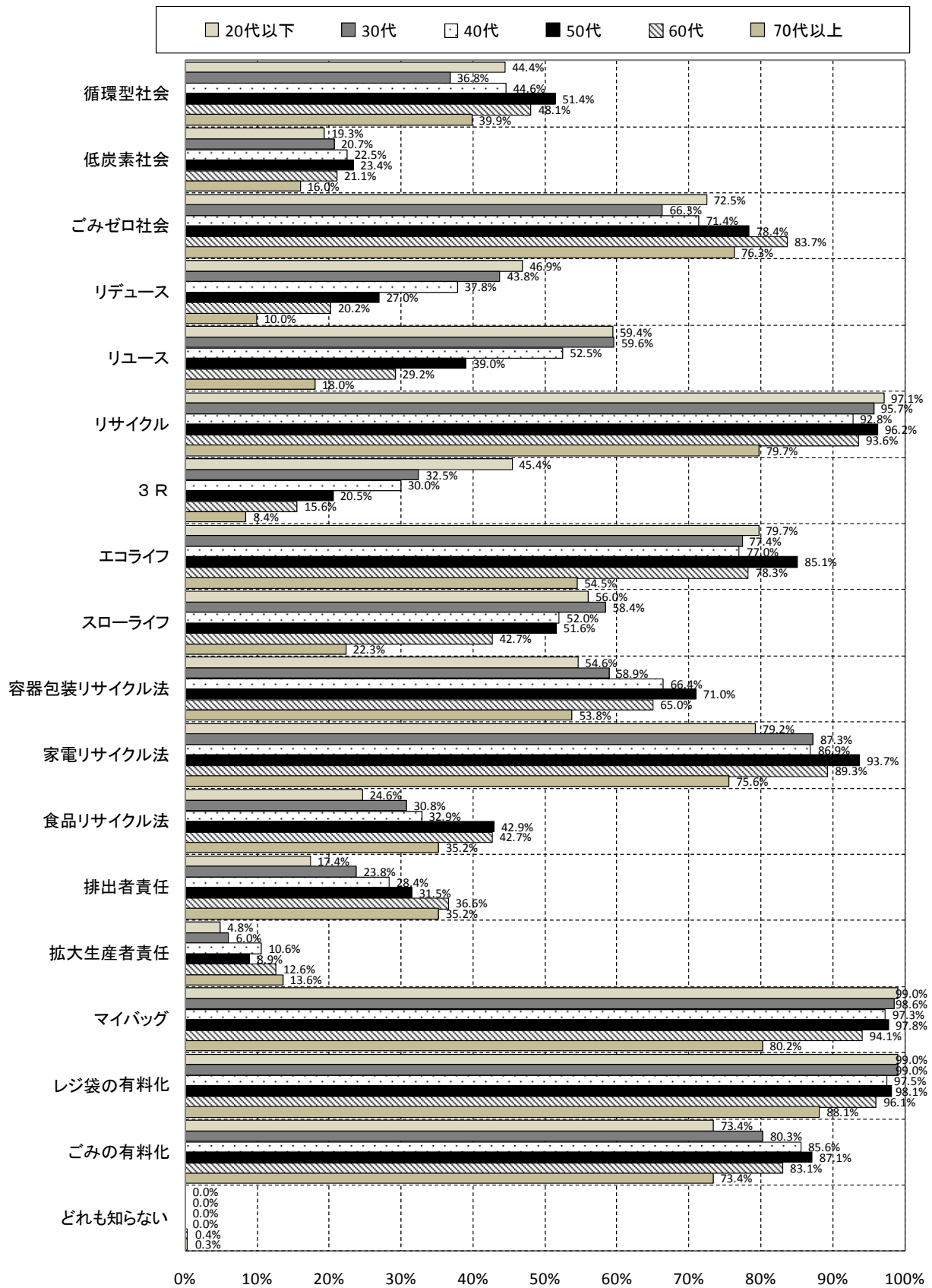


図 5-1-57 「だいたい意味がわかる言葉」年代別回答率

問 6	あなたは、ごみ問題について、どのようなことを知っていますか？（あてはまるものすべてに○）
-----	--

① 単純集計

「ごみ問題について知っていること」については、「野山や河原等への不法投棄が大きな社会問題になっている」（83.7%）、「海岸に漂着したごみなどにより、海岸の景観が損なわれたり、生態系などに影響を及ぼしている」（80.6%）の回答率が80%より高くなっている。

市町別に見ると、これら2つの選択肢はいずれも回答率が高い。しかし、「ごみ処理施設は必要だが、自分の近くに建設することには反対すると考えている人が多い」については、一番高い津市で81.3%に対し、紀宝町では54.2%、また「ごみの最終処分場の容量が残り少なくなっている」では、一番高い津市で71.7%に対し、一番低い紀宝町では34.7%と大きな差が見られる。

年代別については、いずれの選択肢についても「50代」、「60代」が高い。

分別行動別については、いずれの選択肢についても、ごみの分別に関わっている人は高い。

番号	選択肢	回答数	回答率
1	ごみの最終処分場の容量が残り少なくなっている	1,817	57.6%
2	ごみ処理施設は必要だが、自分の近くに建設することには反対すると考えている人が多い	2,177	69.0%
3	規制の強化によりダイオキシン類の排出量が大幅に削減されている	1,344	42.6%
4	野山や河原等への不法投棄が大きな社会問題になっている	2,641	83.7%
5	私有地に廃タイヤやパチンコ台などが将来リサイクルするとの名目で、放置されている	1,225	38.8%
6	海岸に漂着したごみなどにより、海岸の景観が損なわれたり、生態系などに影響を及ぼしている	2,542	80.6%
7	稲わらや間伐材など、資源として利用できるものを活かしていないものがある	1,165	36.9%
8	テレビやパソコンなどの身近な使用済み家電が海外へ輸出され、その一部が不適正に処理されることによる環境汚染が生じている	1,300	41.2%
9	その他	43	1.4%
10	特に知っているものはない	56	1.8%
総回答数		14,310	453.7%
有効回答数		3,154	-

表 5-1-15 「ごみ問題について知っていること」回答状況

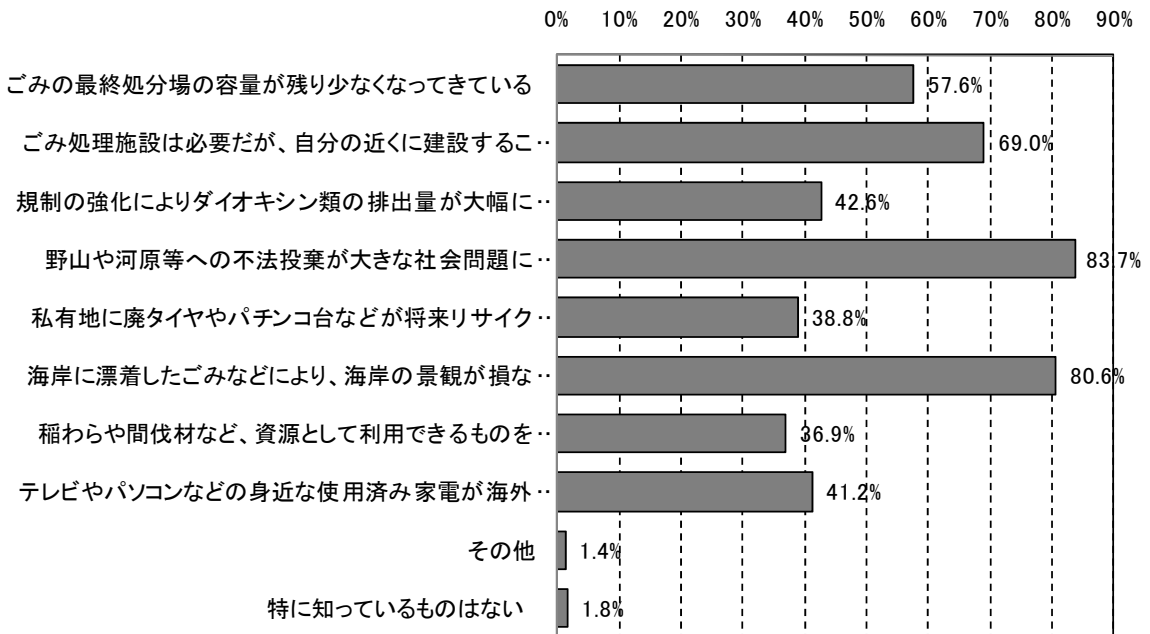


図 5-1-58 「ごみ問題について知っていること」回答率

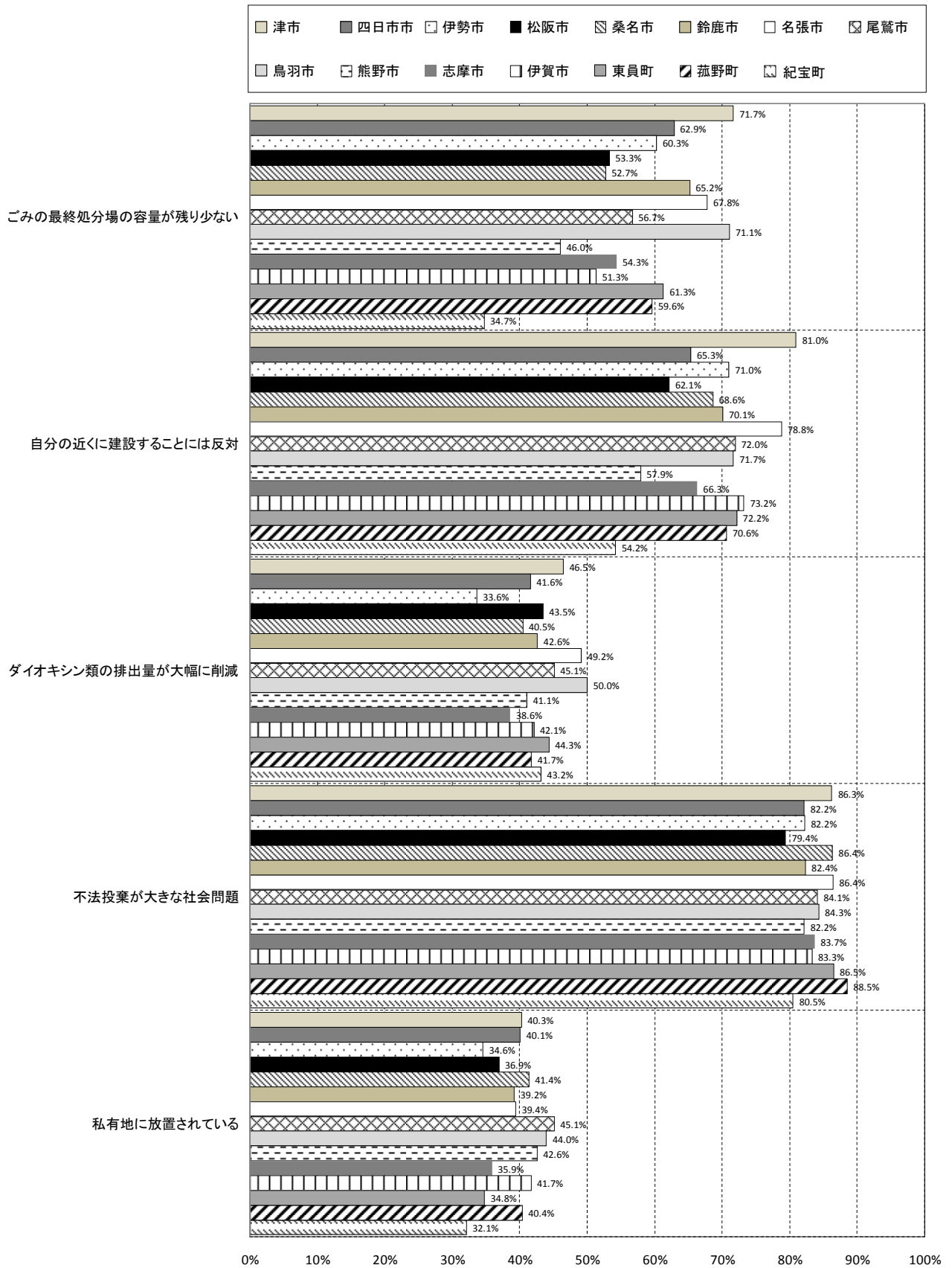


図 5-1-59 (1/2) 「ごみ問題について知っていること」市町別回答率

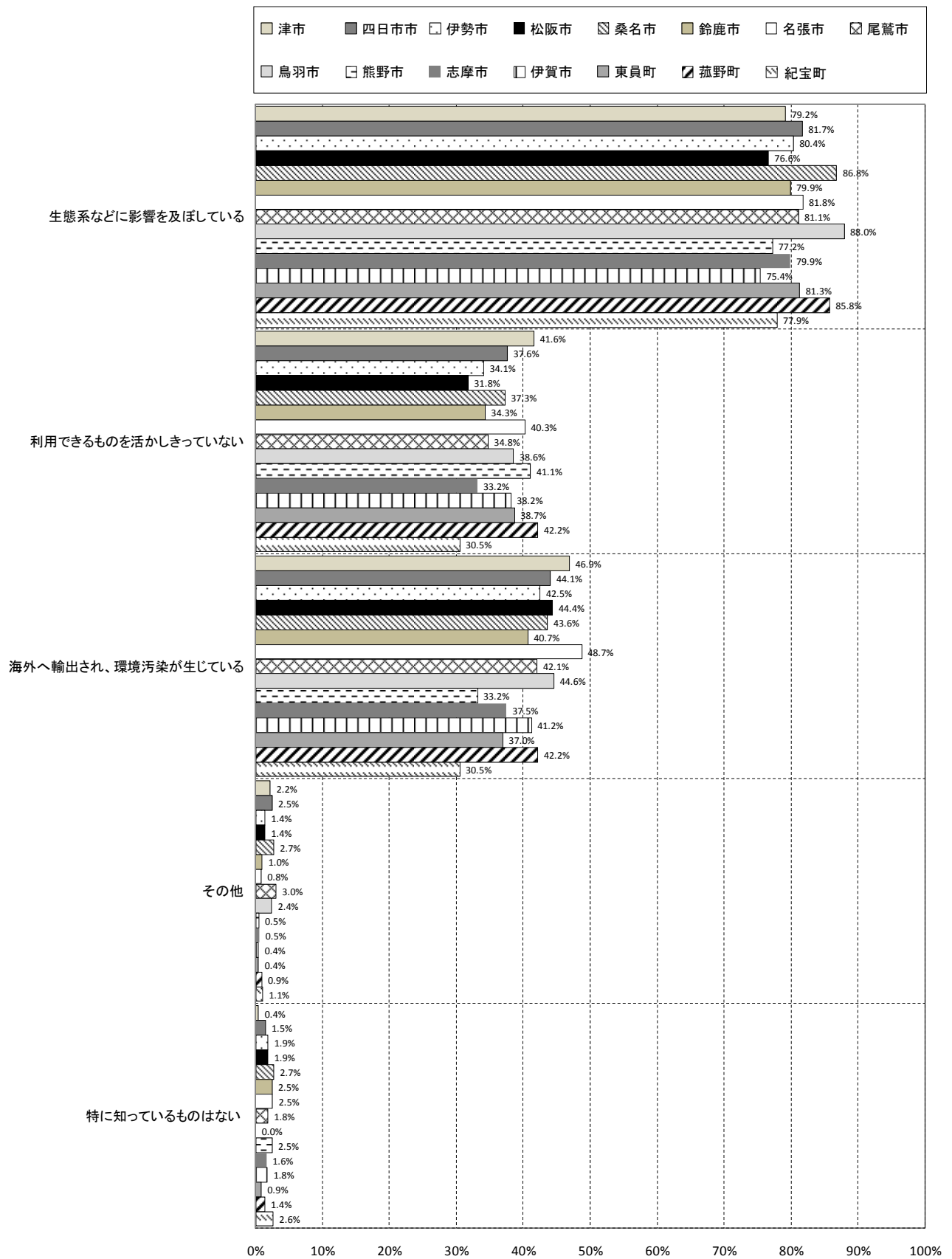


図 5-1-59 (2/2) 「ごみ問題について知っていること」市町別回答率

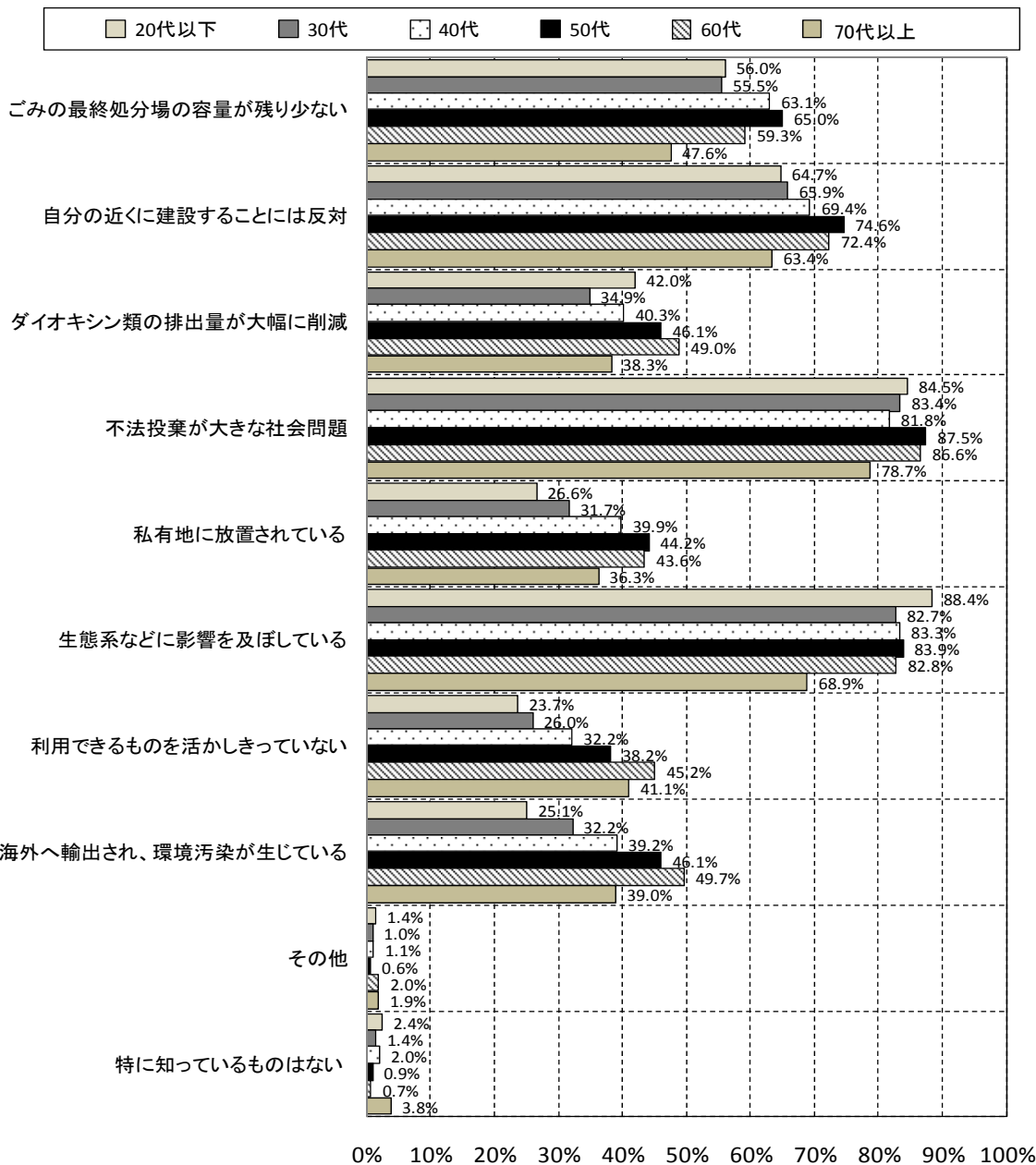


図 5-1-60 「ごみ問題について知っていること」年代別回答率

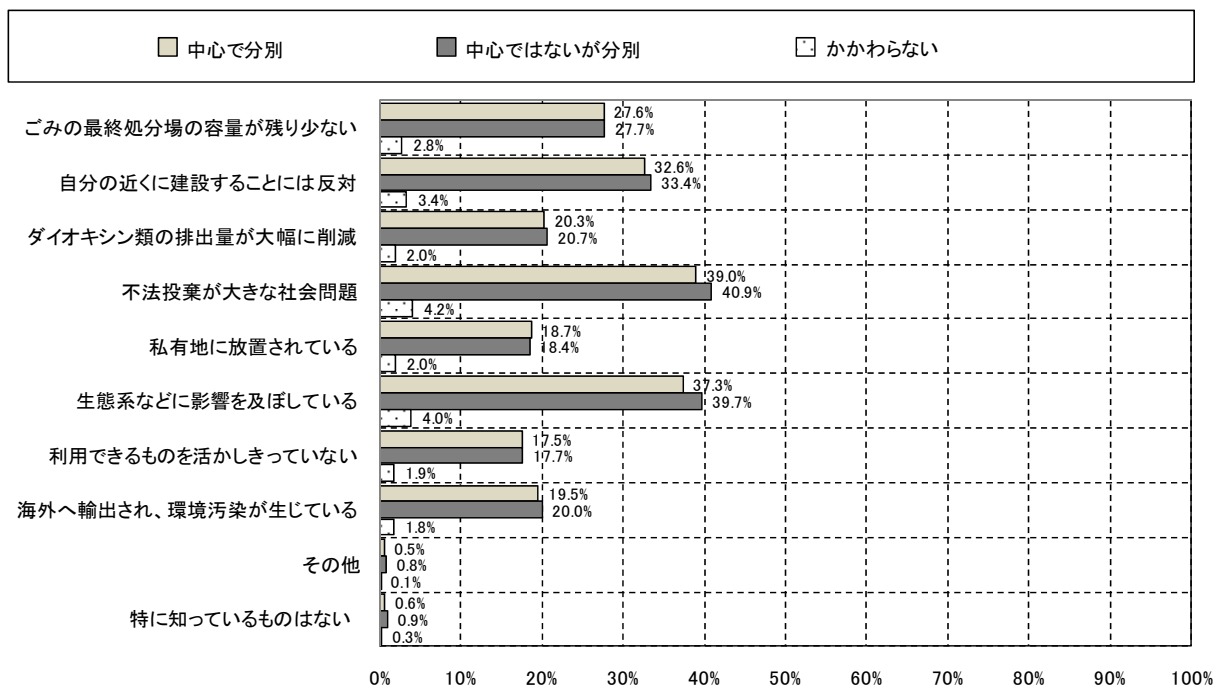


図 5-1-61 「ごみ問題について知っていること」分別行動別回答率

問 7	使い捨て商品が身の回りにあふれ、その結果としてごみが大量に捨てられる現代の社会を、あなたはどのように感じていますか？（〇は1つ）
-----	--

「使い捨て商品があふれる現代の社会をどう感じているか」に対し、「どちらかという、将来のことを考えると『このままでいいのか』という疑問を感じる」が86.9%となっている。市町別では、上記が78.9%から94.0%であり、大きな偏りはみられない。年代別では、上記が82.1%から92.0%であり、年代が高くなるほど高くなる傾向がみられる。また、「特に疑問は感じていない」が20代以下では9.2%と他の年代より高くなっている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	どちらかという、便利で暮らしやすく、特に疑問は感じていない	141	4.5%
2	どちらかという、将来のことを考えると「このままでいいのか」という疑問を感じる	2,741	86.9%
3	よくわからない	226	7.2%
99	無回答	46	1.5%
有効回答数		3,154	100.0%

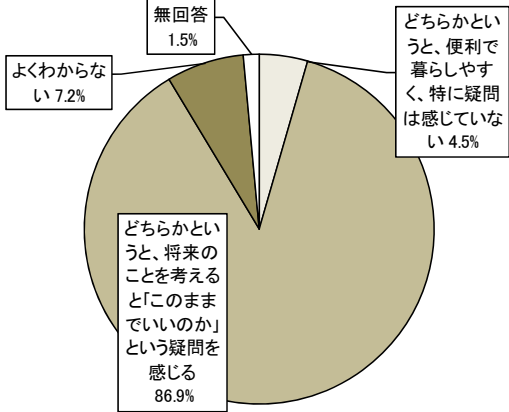


表 5-1-16 「使い捨て商品があふれる現代の社会をどう感じているか」回答状況

図 5-1-62 「使い捨て商品があふれる現代の社会をどう感じているか」回答率

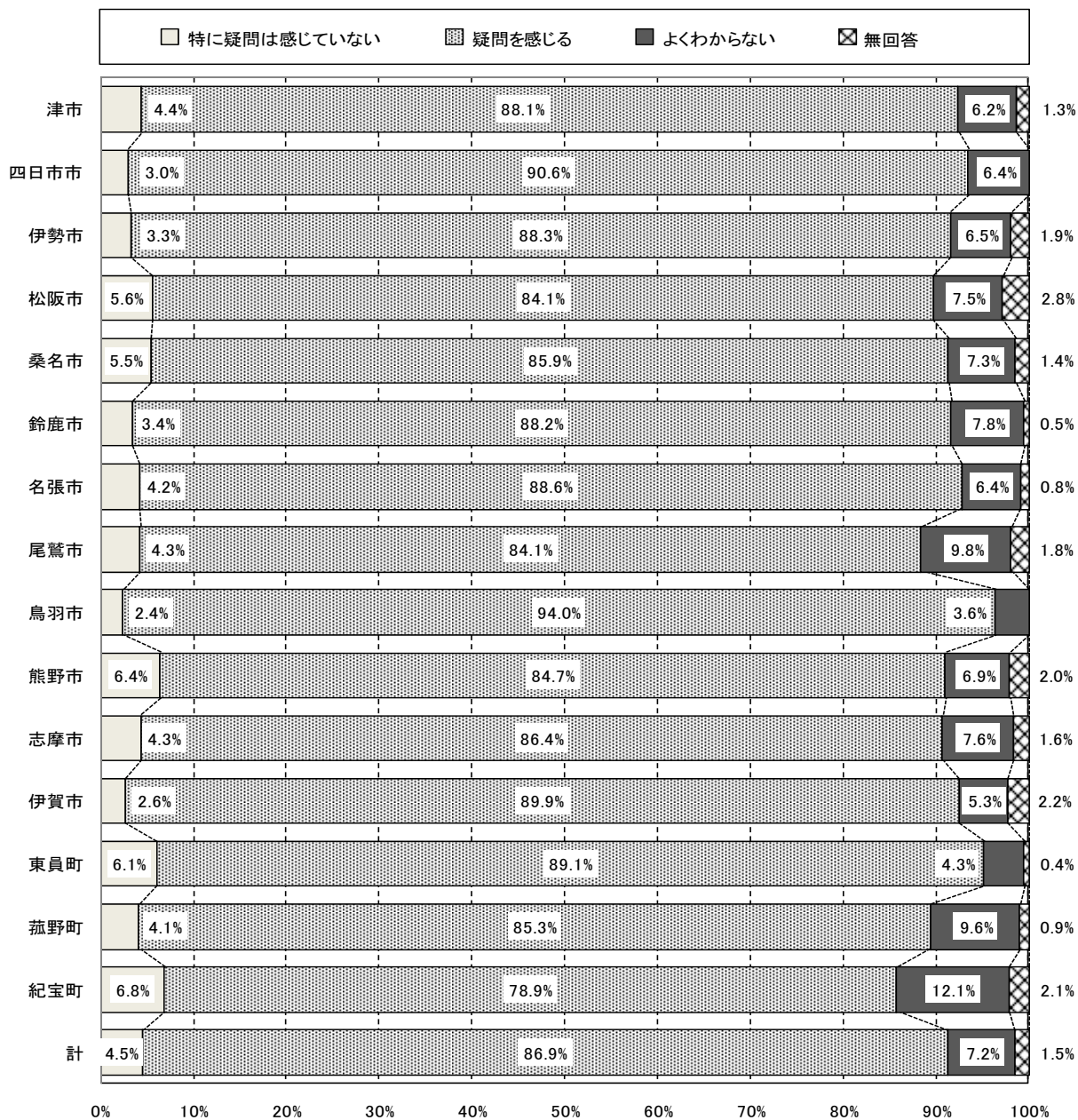


図 5-1-63 「使い捨て商品があふれる現代の社会をどう感じているか」市町別回答率

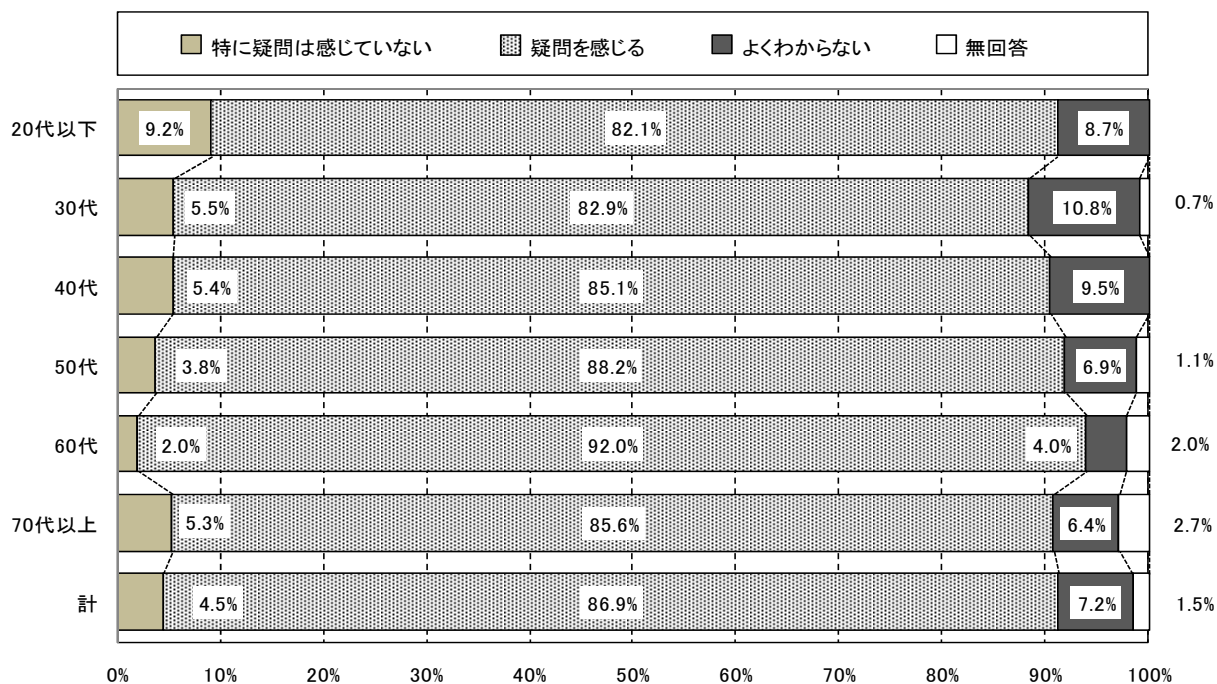


図 5-1-64 「現代の社会をどう感じているか」年代別回答率

問 8	ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきだと思いますか？（○は1つ）
-----	---

「手間やコストをかけてでもごみは有効利用すべきか」については、「とてもそう思う」、「少しそう思う」の計が 91.2%となっており、「ごみは有効利用すべき」という意識が高いと考えられる。

市町別では、上記の計が 87.6%から 95.6%であり、大きな偏りはみられない。

年代別では、上記の計が 86.5%から 92.3%であり、「とてもそう思う」では年代が高いほど高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	1,474	46.7%
2	少しそう思う	1,402	44.5%
3	あまりそうは思わない	196	6.2%
4	まったくそうは思わない	25	0.8%
5	無回答	57	1.8%
有効回答数		3,154	100.0%

表 5-1-17 「ごみは有効利用すべきか」回答状況

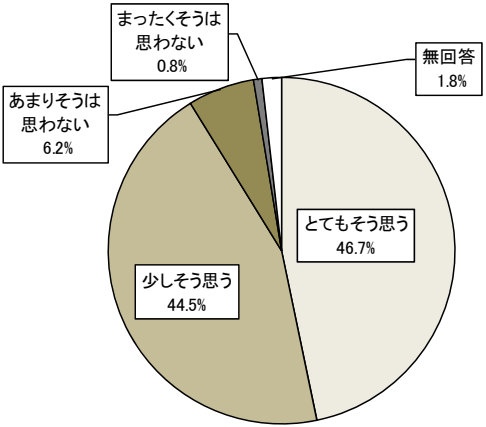


図 5-1-65 「ごみは有効利用すべきか」回答率

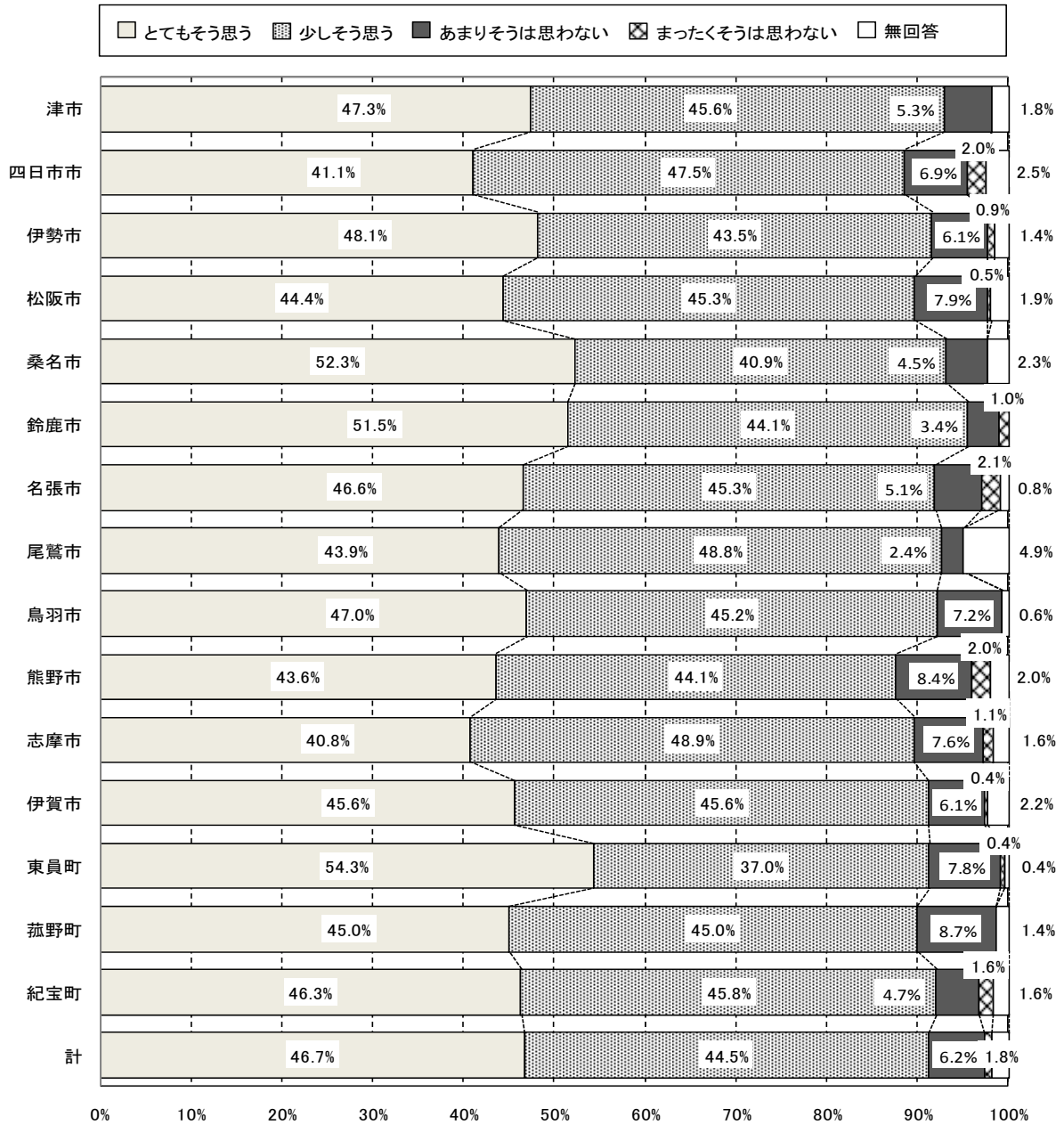


図 5-1-66 「ごみは有効利用すべきか」市町別回答率

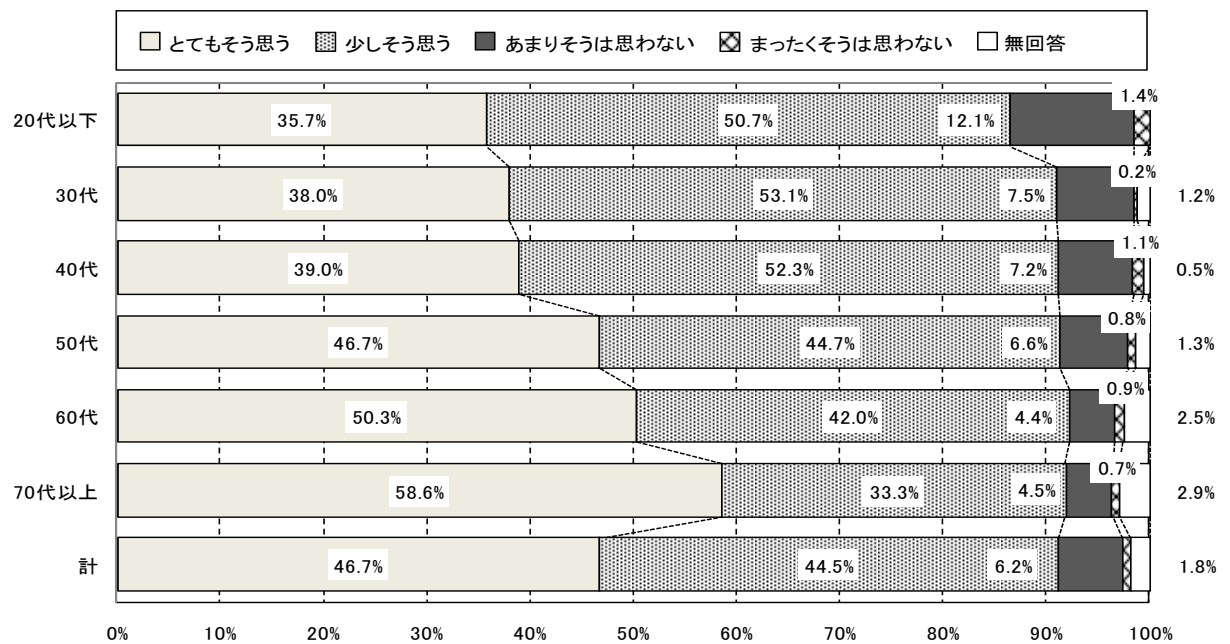


図 5-1-67 「ごみは有効利用すべきか」年代別回答率

5-2 現在行っているごみ減量やリサイクルの取組について

問 9 ごみを減らす取組の中でどれが大切だと思いますか？（○は1つずつ）

「ごみを減らす取組の中で最も大切なこと」については、「ごみそのものの発生を減らすこと」の割合が57.4%で最も高い。

市町別では、上記の計が、51.9%から63.7%であり、大きな偏りはみられない。

年代別では、上記の計が、46.6%から62.7%であり、「20代以下」と「70代以上」では50%程度であるが、それ以外の世代は60%程度となっている。

また、「ごみを減らす取組の中で次に大切なこと」については、「ごみではなく資源として分別し、再び原材料として有効利用すること」が38.4%と高く、次いで「まだ使える製品や容器などを、くり返し使うこと」の35.3%となっている。

「ごみそのものの発生を減らすこと」という意識は比較的高いと考えられる。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	ごみそのものの発生を減らすこと	1,811	57.4%
2	まだ使える製品や容器などを、くり返し使うこと	451	14.3%
3	ごみではなく資源として分別し、再び原材料として有効利用すること	791	25.1%
4	無回答	101	3.2%
有効回答数		3,154	100.0%

表 5-2-1 「取組の中で最も大切なこと」回答状況

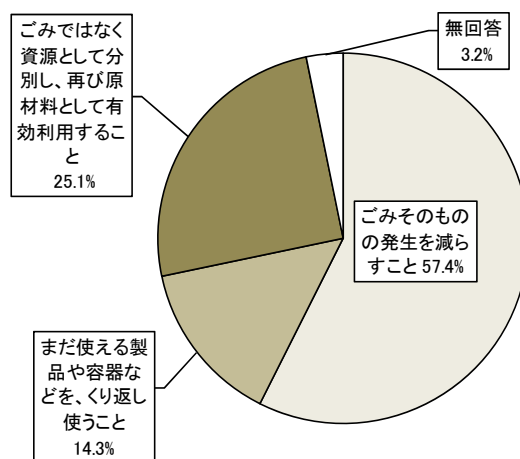


図 5-2-1 「取組の中で最も大切なこと」回答率

番号	選択肢	回答数	回答率
1	ごみそのものの発生を減らすこと	481	15.3%
2	まだ使える製品や容器などを、くり返し使うこと	1,114	35.3%
3	ごみではなく資源として分別し、再び原材料として有効利用すること	1,211	38.4%
4	無回答	348	11.0%
有効回答数		3,154	100.0%

表 5-2-2 「取組の中で次に大切なこと」回答状況

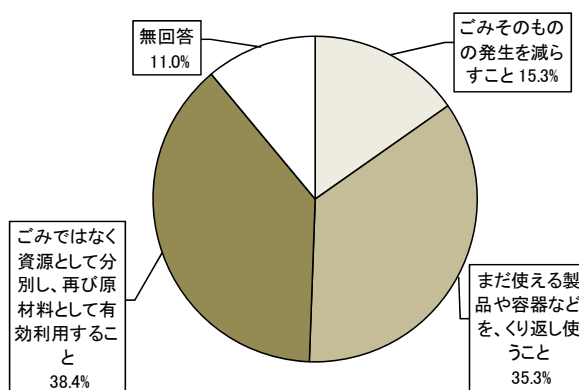


図 5-2-2 「取組の中で次に大切なこと」回答率

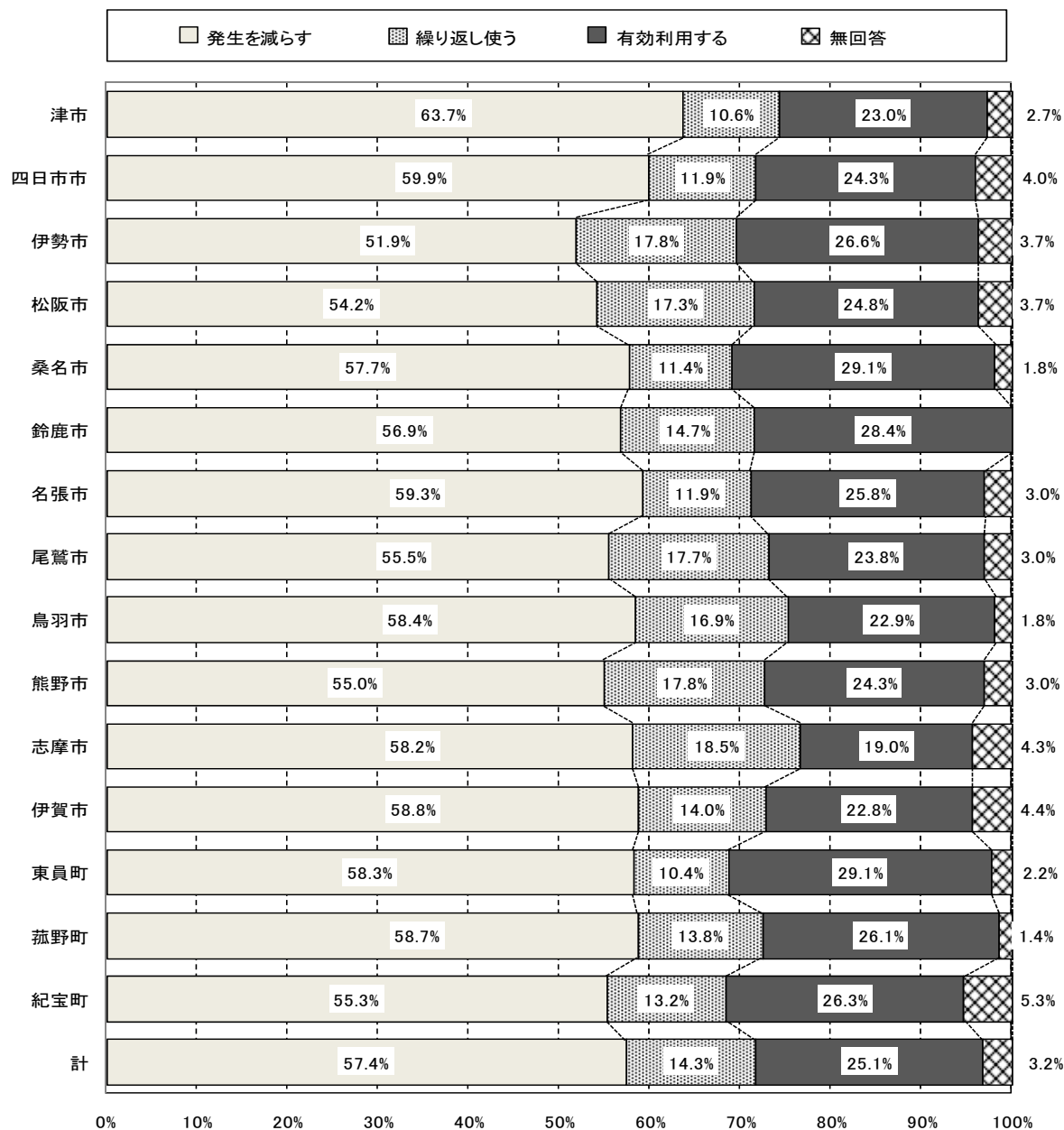


図 5-2-3 「取組の中で最も大切なこと」市町別回答率

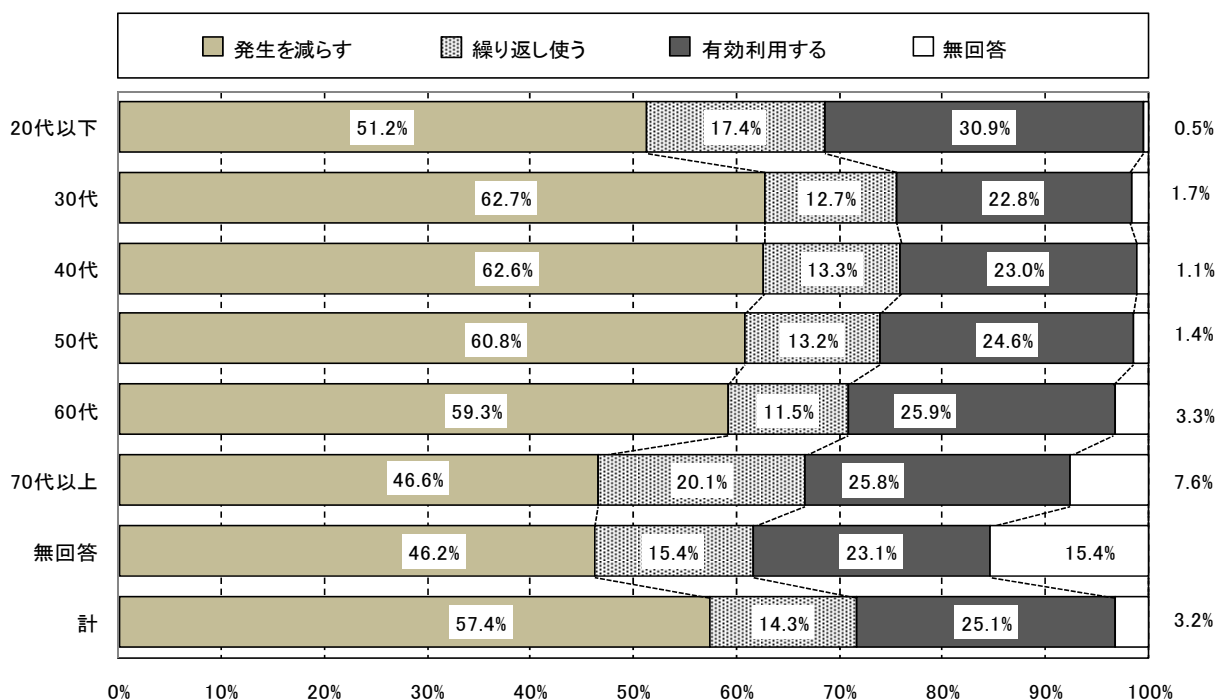


図 5-2-4 「取組の中で最も大切なこと」年代別回答率

問 10	あなたのご家庭では、次のうち、資源ごみとして市町の収集に出している品目はどれですか？（あてはまるものすべてに○）
------	--

「資源ごみとして市町の収集に出している品目」については、「アルミ缶」（86.0%）、「空きびん」（86.0%）、「ペットボトル」（84.6%）、「新聞」（81.4%）、「雑誌」（80.6%）の回答率が80%より高くなっている。

市町別について見ると、上記のいずれの品目も数値の差はあるものの高い。その一方で、牛乳パック、古布や衣類、食品トレイ、蛍光管及び電池類では、市町間での差が大きい。また、伊勢市、名張市、菟野町ではすべての品目で6割以上となっている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	新聞	2,567	81.4%
2	雑誌	2,542	80.6%
3	牛乳パック	1,811	57.4%
4	古布や衣類	2,133	67.6%
5	食品トレイ	1,863	59.1%
6	ペットボトル	2,669	84.6%
7	アルミ缶	2,711	86.0%
8	スチール缶	2,464	78.1%
9	空きびん	2,713	86.0%
10	蛍光管	1,716	54.4%
11	電池類	2,066	65.5%
12	あてはまるものなし	36	1.1%
総回答数		25,291	801.9%
有効回答数		3,154	100.0%

表 5-2-3 「資源ごみとして市町の収集に出している品目」回答状況

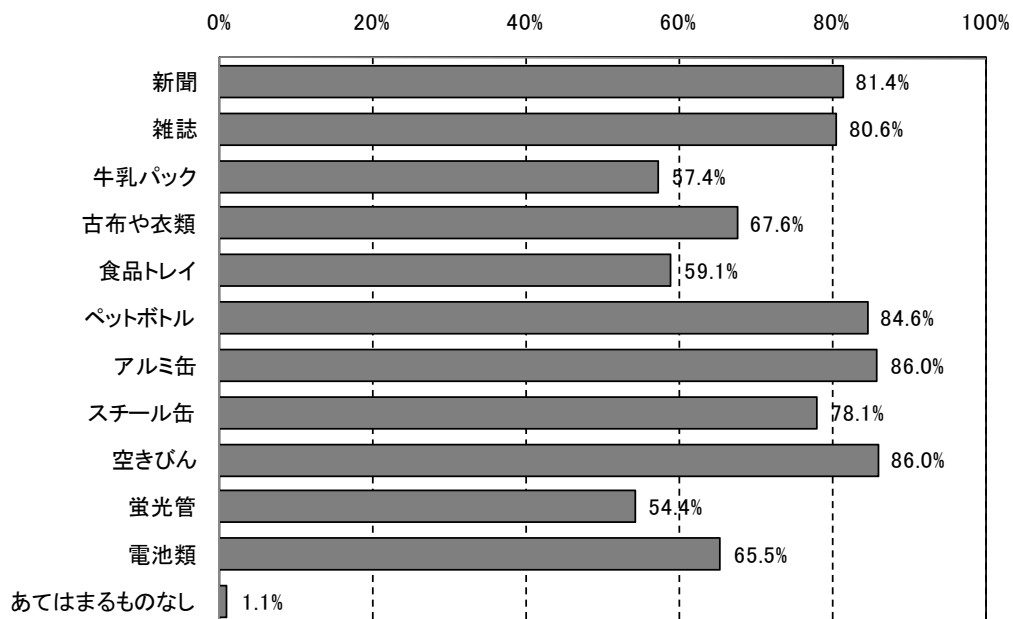


図 5-2-5 「資源ごみとして市町の収集に出している品目」回答率

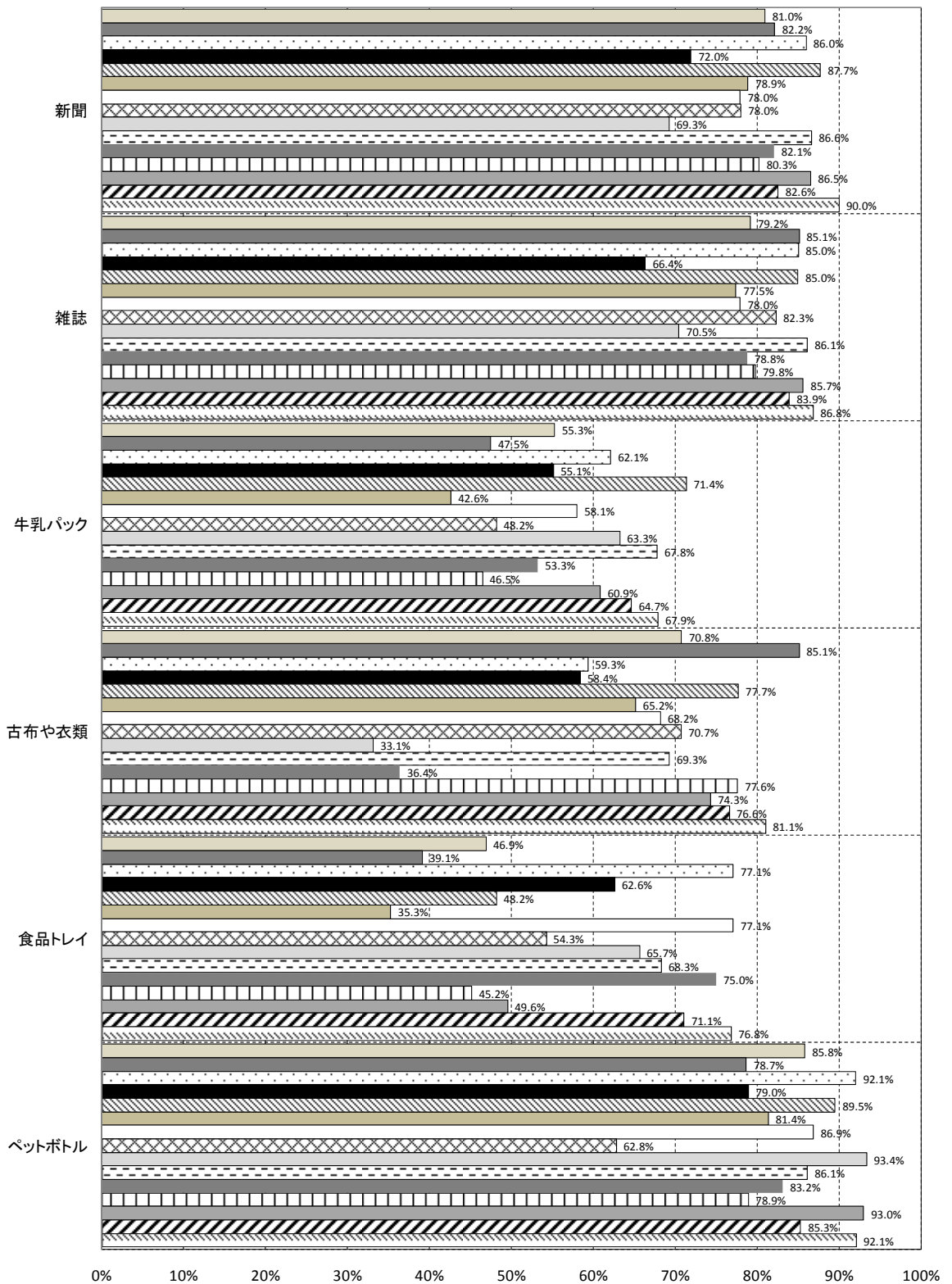
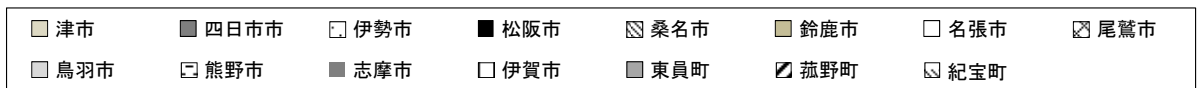


図 5-2-6 (1/2) 「資源ごみとして市町の収集に出している品目」市町別回答率

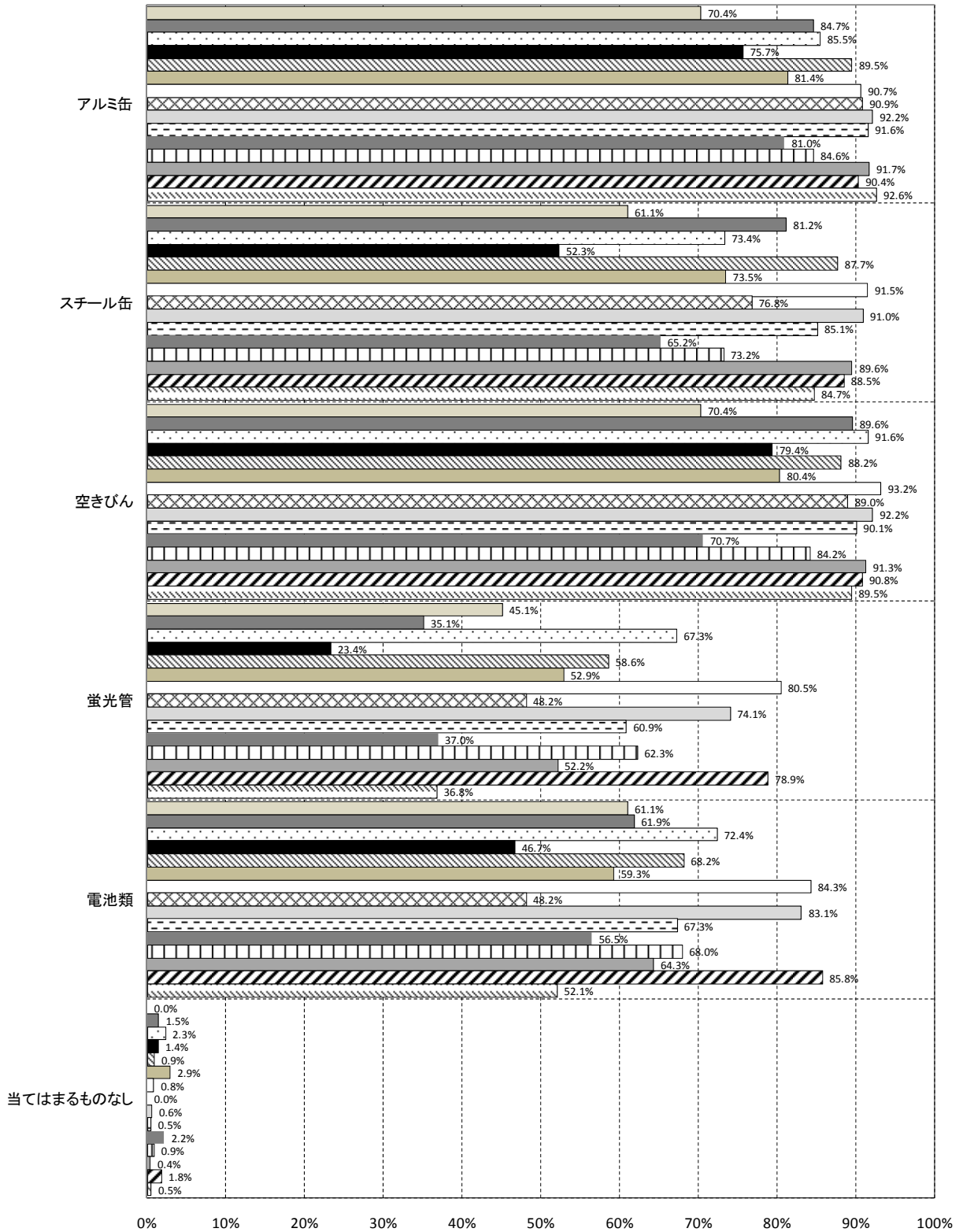
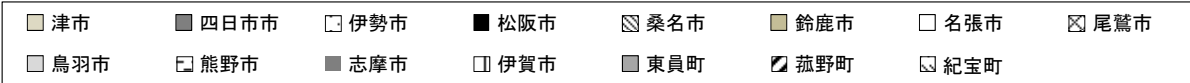


図 5-2-6 (2/2) 「資源ごみとして市町の収集に出している品目」市町別回答率

問 11	あなたのご家庭では、次のうち、お店に持って行って回収してもらっている品目はどれですか？（あてはまるものすべてに○）
------	---

「お店で回収してもらっている品目」については、「食品トレイ」（41.2%）、「ペットボトル」（32.6%）の回答率が30%より高くなっている。

市町別では、ほとんどの市町で上記2品目の割合が高くなっているが、数値としてはかなり差がある。尾鷲市では、上記2品目に加え、「蛍光管」、「電池類」についても5割を超えており、「あてはまるものなし」も7.9%と市町間で一番低い。一方、紀宝町では、上記2品目も含めていずれも2割に満たず、「あてはまるものなし」が53.2%と市町間で一番高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	新聞	288	9.1%
2	雑誌	226	7.2%
3	牛乳パック	899	28.5%
4	古布や衣類	134	4.2%
5	食品トレイ	1298	41.2%
6	ペットボトル	1029	32.6%
7	アルミ缶	619	19.6%
8	スチール缶	321	10.2%
9	空きびん	355	11.3%
10	蛍光管	288	9.1%
11	電池類	453	14.4%
12	あてはまるものなし	943	29.9%
総回答数		6,853	217.3%
有効回答数		3,154	100.0%

表 5-2-4 「お店で回収してもらっている品目」回答状況

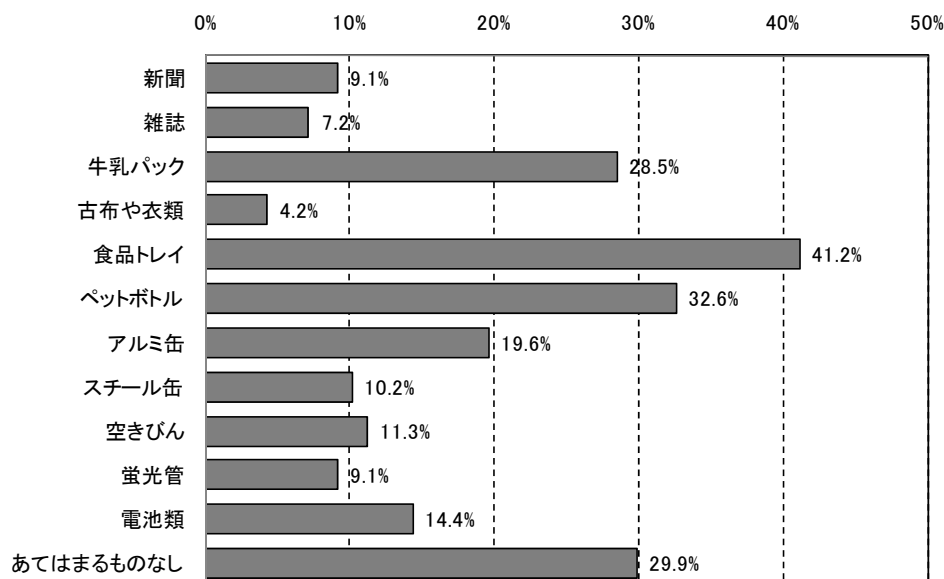


図 5-2-7 「お店で回収してもらっている品目」回答率

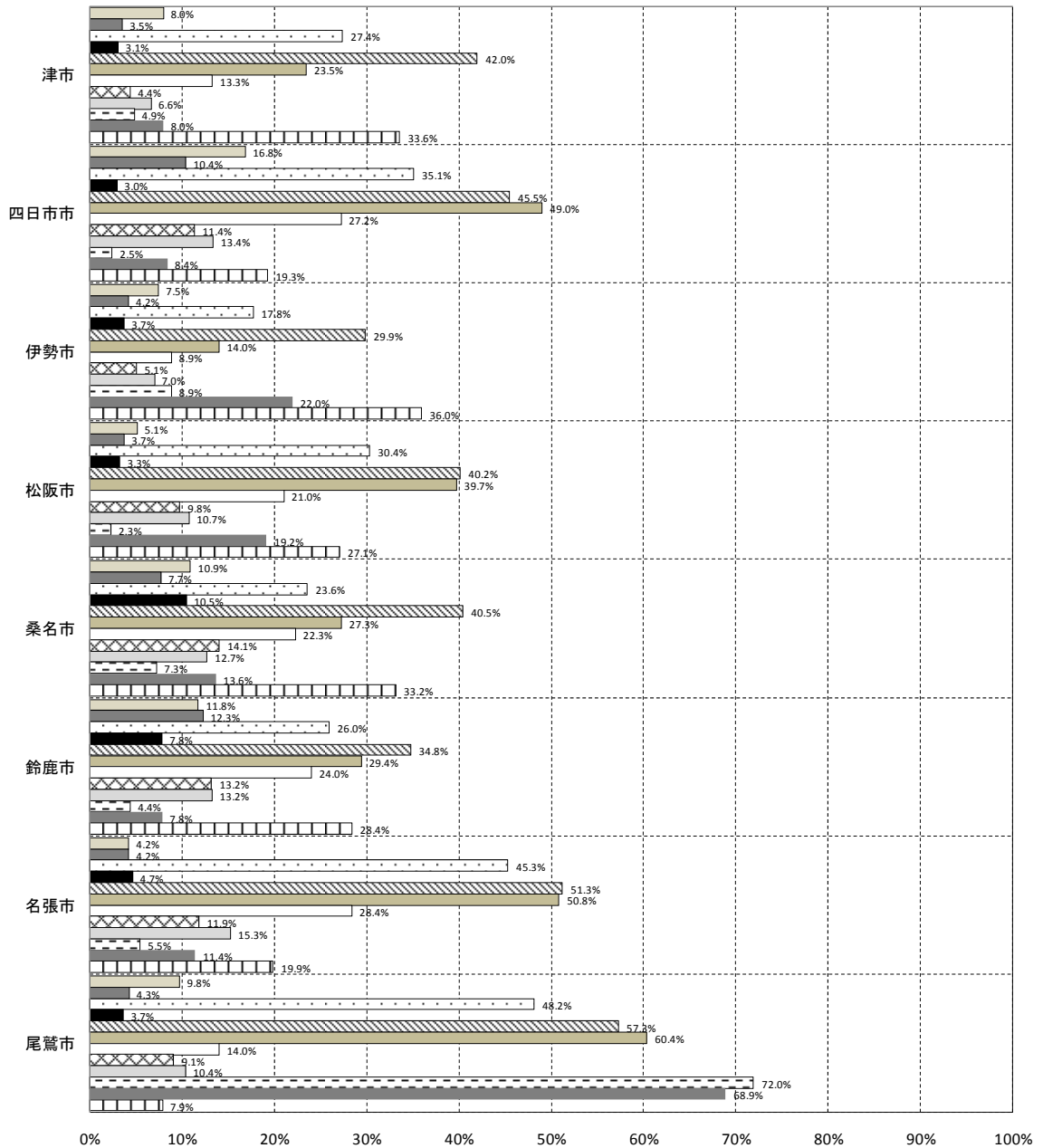
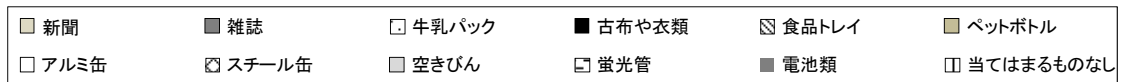


図 5-2-8 (1/2) 「お店で回収してもらっている品目」市町別回答率

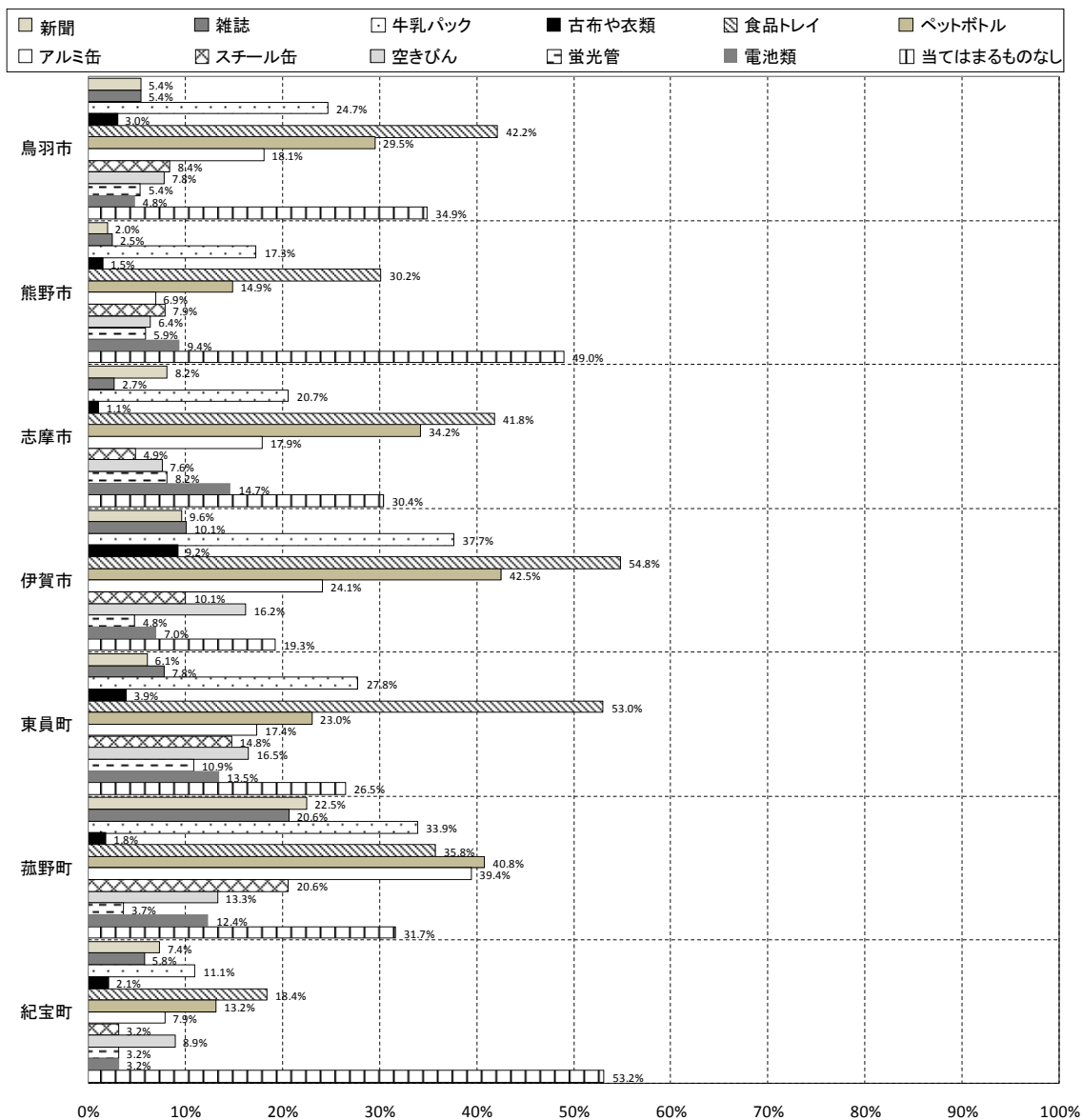


図 5-2-8 (2/2) 「お店で回収してもらっている品目」市町別回答率

問 12	あなたのご家庭では、次のうち、地域で行われる廃品回収（集団回収）に出している品目はどれですか？（あてはまるものすべてに○）
------	---

地域の廃品回収（集団回収）に出している品目について、「新聞」（62.1%）、「雑誌」（56.9%）の回答率が50%より高くなっている。
市町別に見ると上記2品目はいずれの市町でも高い割合となっているが、最も高い名張市と低い紀宝町では倍以上の開きがあるなど、市町によってかなり差がある。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	新聞	1,958	62.1%
2	雑誌	1,794	56.9%
3	牛乳パック	765	24.3%
4	古布や衣類	1170	37.1%
5	食品トレイ	580	18.4%
6	ペットボトル	969	30.7%
7	アルミ缶	1367	43.3%
8	スチール缶	967	30.7%
9	空きびん	1140	36.1%
10	蛍光管	675	21.4%
11	電池類	715	22.7%
12	あてはまるものなし	696	22.1%
総回答数		6,853	405.7%
有効回答数		3,154	100.0%

表 5-2-5 「廃品回収に出している品目」回答状況

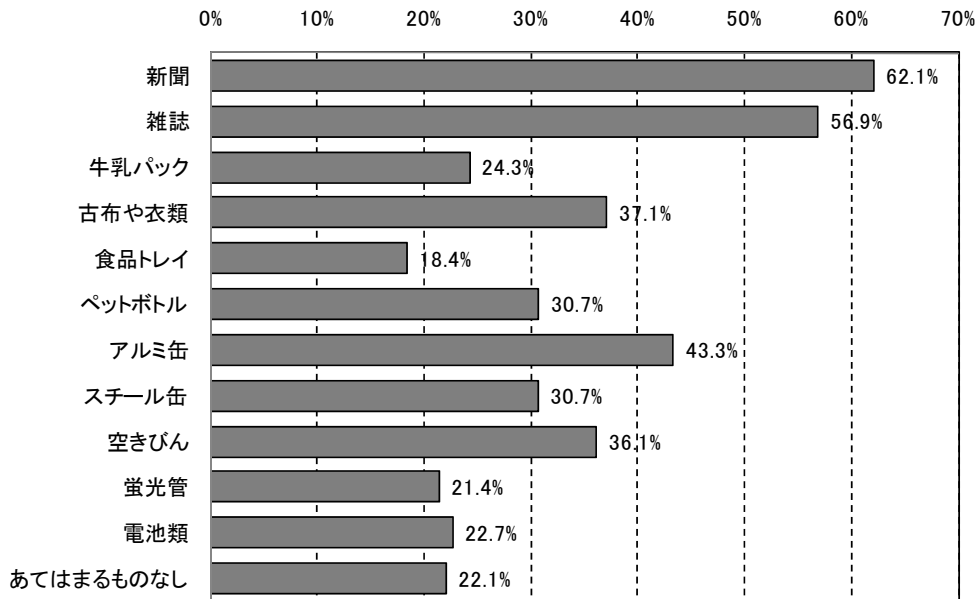


図 5-2-9 「廃品回収に出している品目」回答率

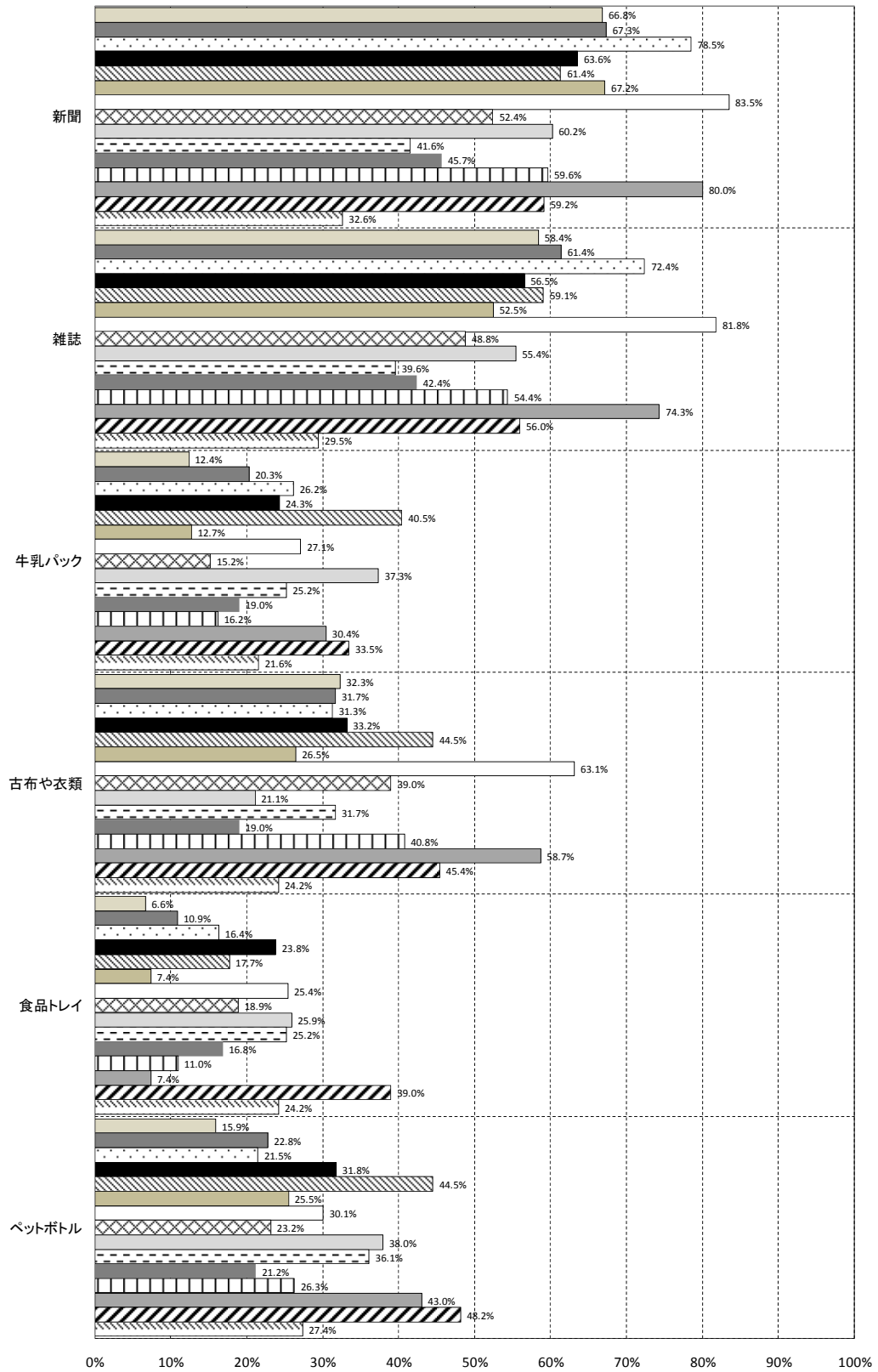
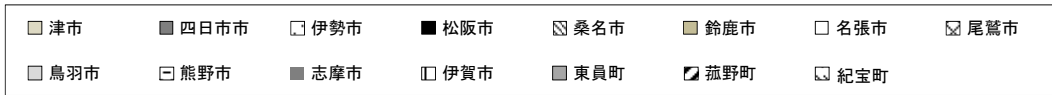


図 5-2-10 (1/2) 「廃品回収に出している品目」市町別回答率

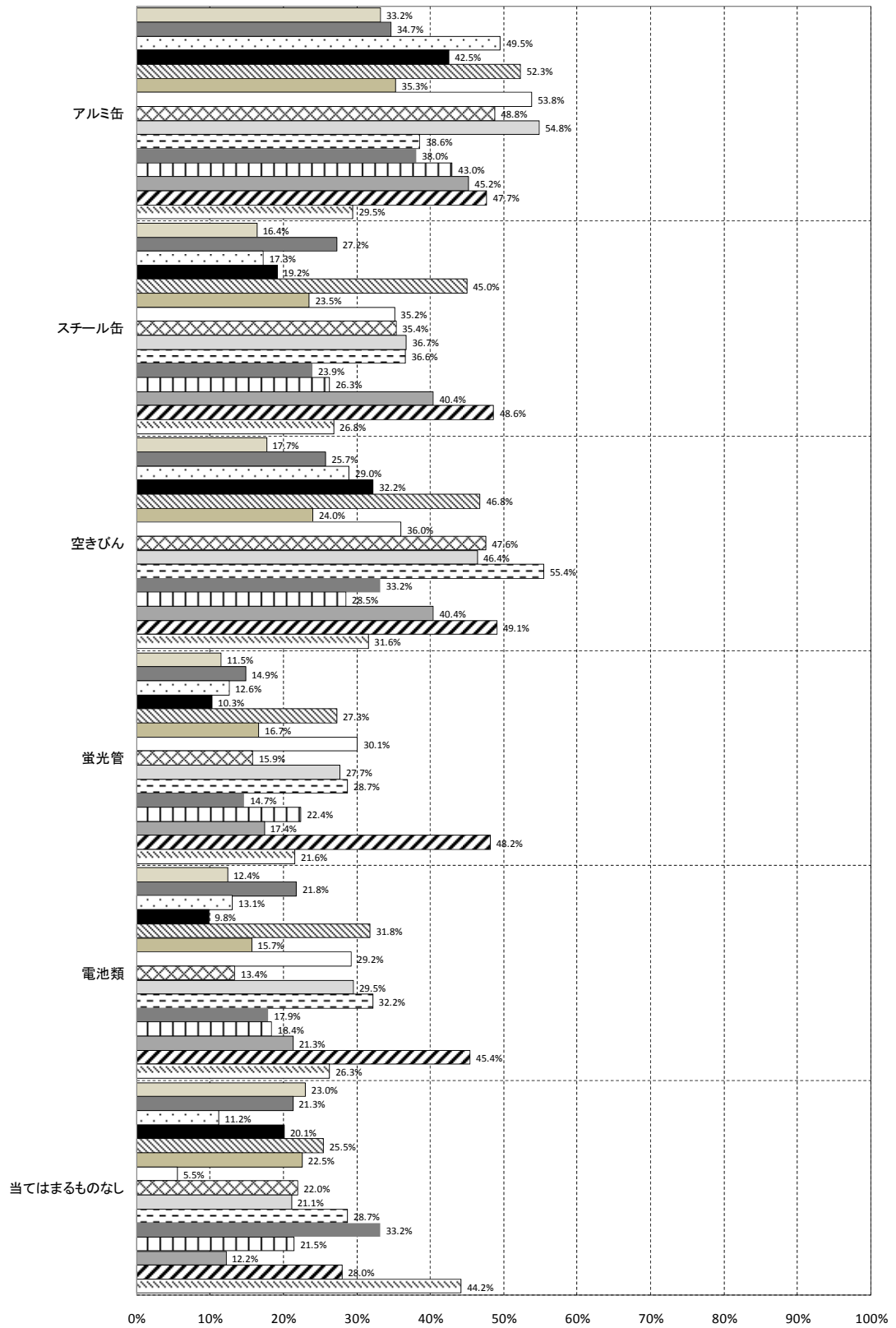
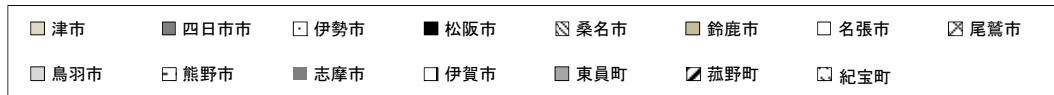


図 5-2-10 (2/2) 「廃品回収に出している品目」市町別回答率

問 13 あなたは、分別したごみがあなただの市町でどのように処理・リサイクルされるかご存知ですか？（〇は1つ）

「ごみの処理・リサイクルの仕方」については、「あまり知らない」、「まったく知らない」、の計で61.6%となっている。
 市町別では、上記の計が47.6%から69.8%であり、市町により差が生じている。また、「紀宝町」、「熊野市」及び「鳥羽市」では「知っている」が比較的高い。
 年代別では、上記の計が46.0%から79.2%であり、年代が低いほど高い。
 分別行動別では、上記の計が60.9%から74.9%であり、分別にかかわらないほど高く、「まったく知らない」が41.0%と非常に高い。

① 単純集計

番号		回答数	回答率
1	知っている	348	11.0%
2	少し知っている	817	25.9%
3	あまり知らない	1195	37.9%
4	まったく知らない	747	23.7%
5	無回答	47	1.5%
有効回答数		3,154	100.0%

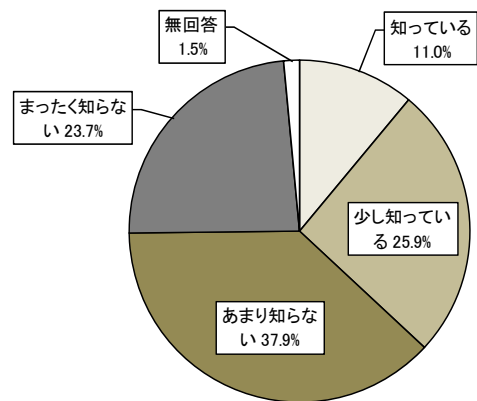


表 5-2-6 「ごみの処理・リサイクルの仕方」回答状況

図 5-2-11 「ごみの処理・リサイクルの仕方」回答率

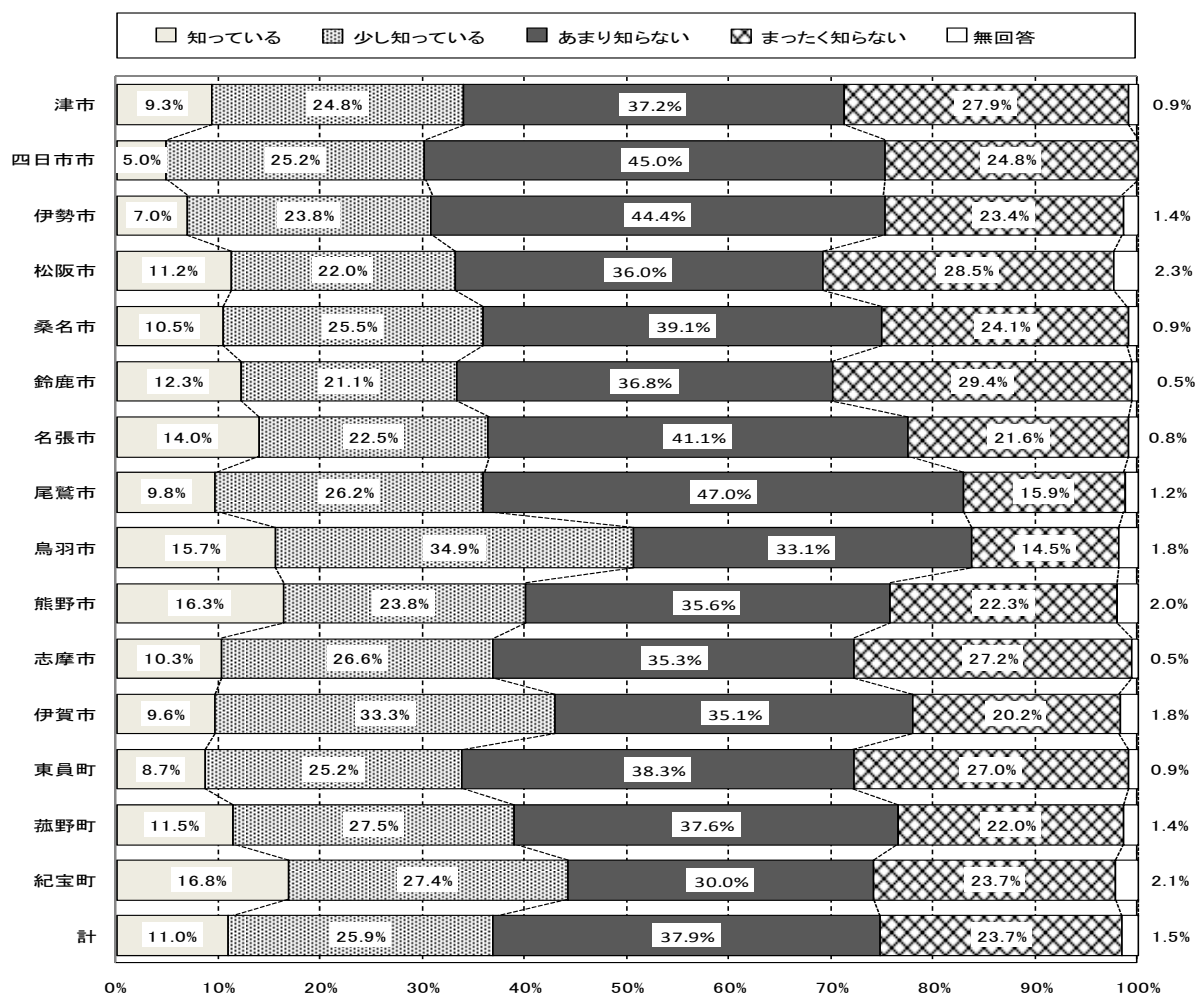


図 5-2-12 「ごみの処理・リサイクルの仕方」市町別回答率

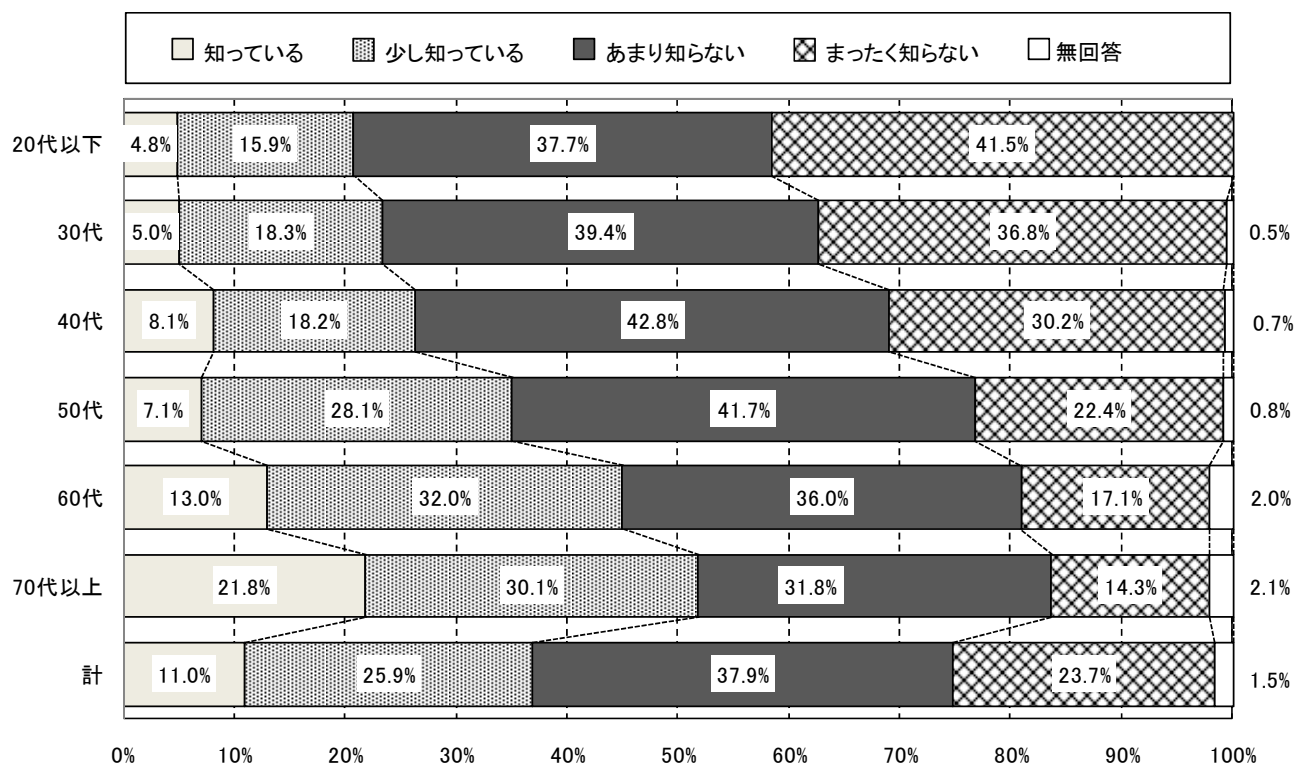


図 5-2-13 「ごみの処理・リサイクルの仕方」年代別回答率

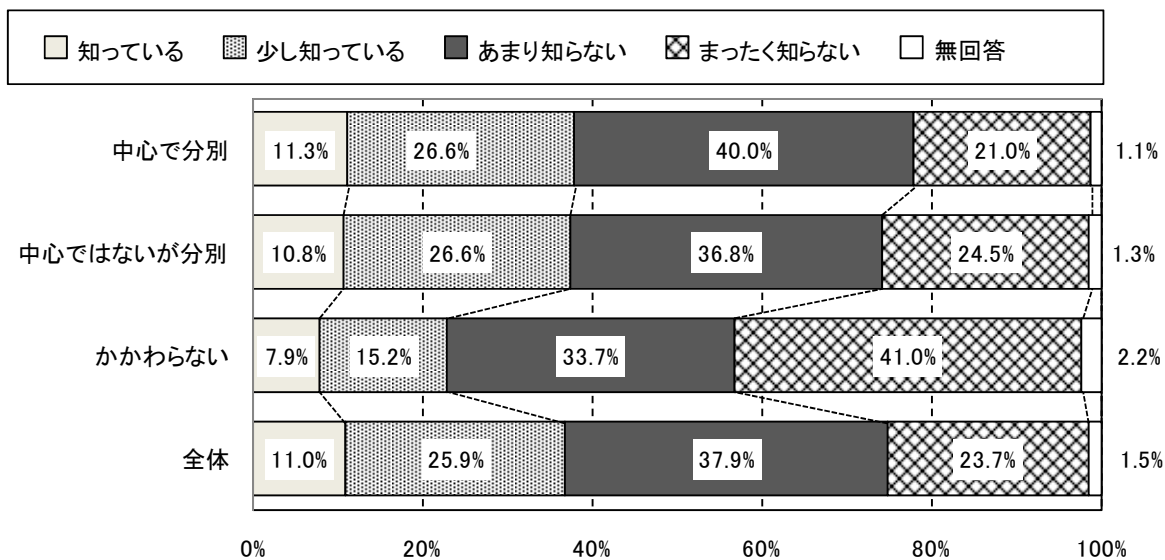


図 5-2-14 「ごみの処理・リサイクルの仕方」分別行動別回答率

問 14 ごみを分別するのに、あなたは1日あたりおよそどのくらいの時間をかけていると思いますか？（〇は1つ）

家庭内でごみの分別に要している時間は、「数分程度」が45.4%と高く、次いで「10分～30分くらい」が27.7%となっている。
 市町別については、大きな偏りはみられない。
 世帯特徴別については、A-5「夫婦共働き、就学前の乳幼児がいる、小中学生がいる」は「1時間以上」が高い。

① 単純集計

番号		回答数	回答率
1	1時間以上	269	8.5%
2	30分～1時間くらい	173	5.5%
3	10分～30分くらい	874	27.7%
4	数分程度	1433	45.4%
5	ほとんどかけていない	341	10.8%
6	無回答	64	2.0%
有効回答数		3,154	100.0%

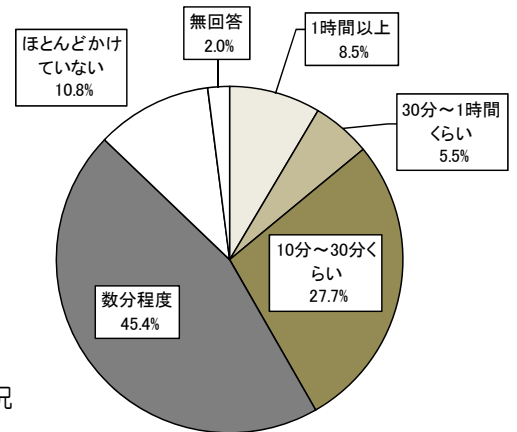


表 5-2-7 「ごみを分別するのにかけている時間」回答状況

図 5-2-15 「ごみを分別するのにかけている時間」回答率

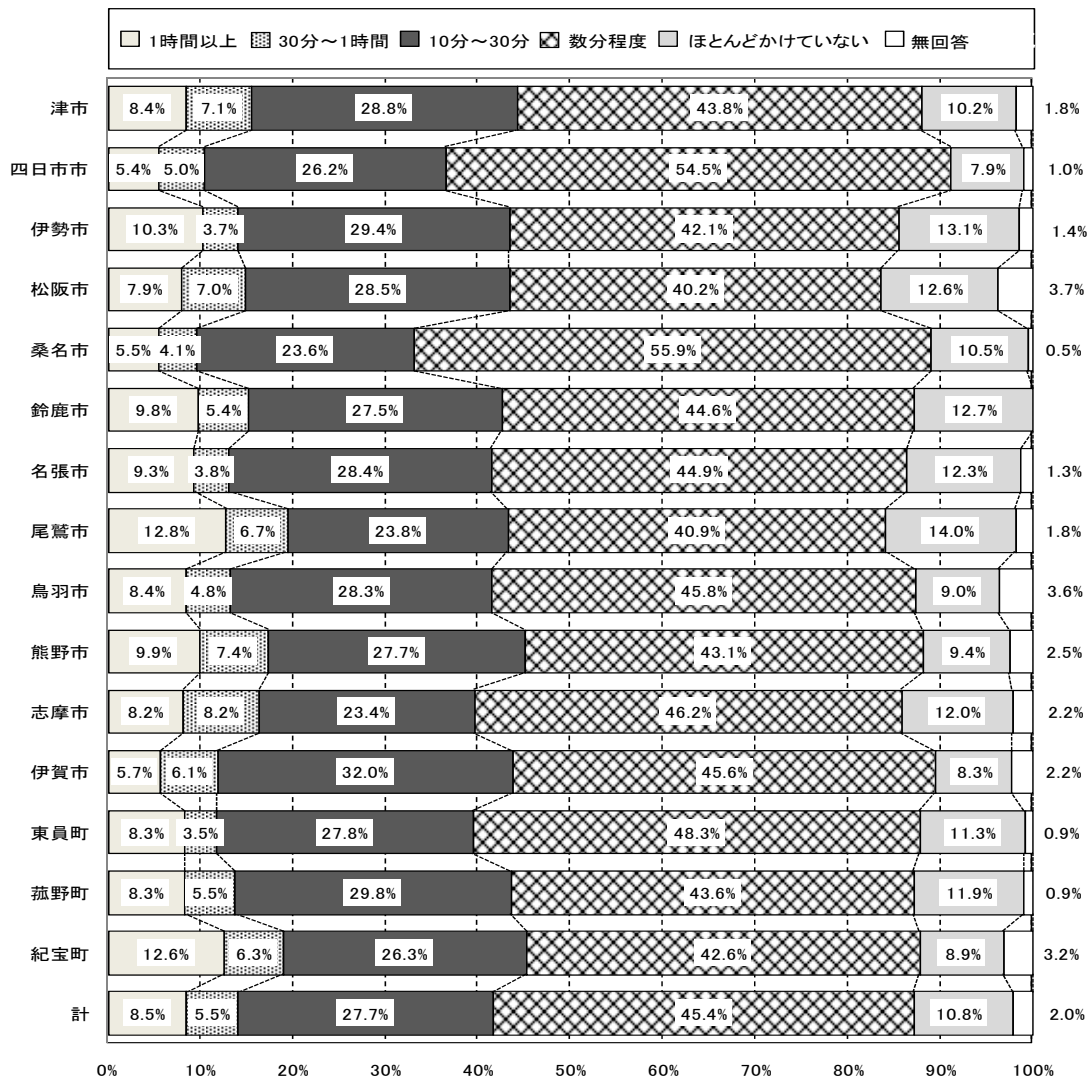
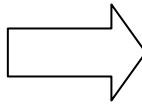


図 5-2-16 「ごみを分別するのにかけている時間」市町別回答率

1	夫婦共働き
2	就学前の乳幼児がいる
3	小中学生がいる
4	家族は全員60歳以上
5	いずれにもあてはまらない



記号	世帯特徴
A-1	夫婦共働き
A-2	夫婦共働き、就学前の乳幼児がいる
A-3	夫婦共働き、小中学生がいる
A-4	夫婦共働き、家族は全員60歳以上
A-5	夫婦共働き、就学前の乳幼児がいる、小中学生がいる
B-1	就学前の乳幼児がいる
B-2	就学前の乳幼児がいる、小中学生がいる
C	小中学生がいる
D	家族は全員60歳以上
E	いずれにもあてはまらない

調査票は上の表のたすね方をしており、回答の組み合わせにより、右のような分類をし、集計している。

表 5-2-8 「ごみを分別するのにかけている時間」世帯特徴別回答率

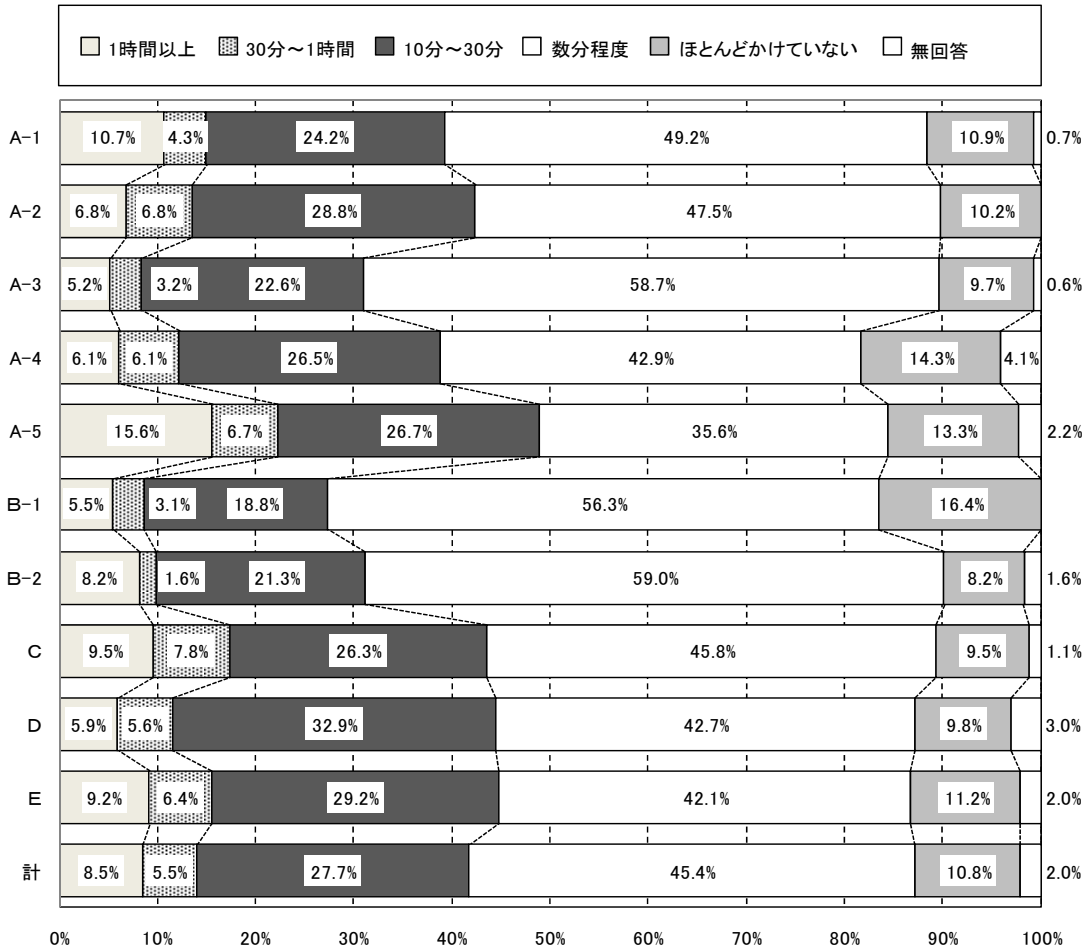


図 5-2-17 「ごみを分別するのにかけている時間」世帯特徴別回答率

問 15 ごみを資源としてより有効に利用するために、資源やごみの分別数が増えることなどについてどう思われますか？（〇は1つ）

ごみの分別数が増えることについて、「賛成」、「どちらかという賛成」の計で 82.4%となっている。
 市町別では、上記の計が 79.2%から 90.9%となっており、大きな偏りはみられない。
 世帯特徴別では、上記の計が 73.5%から 89.4%となっており、A-4「夫婦共働き、家族は全員 60 歳以上」は、上記の計が一番低い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	賛成	1,152	36.5%
2	どちらかという賛成	1,449	45.9%
3	どちらかという反対	410	13.0%
4	反対	94	3.0%
99	無回答	49	1.6%
有効回答数		3,154	100.0%

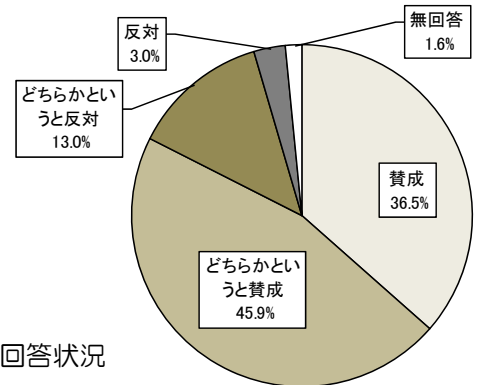


表 5-2-9 「資源やごみの分別が増えることなどについて」回答状況

図 5-2-18 「資源やごみの分別が増えることなどについて」回答率

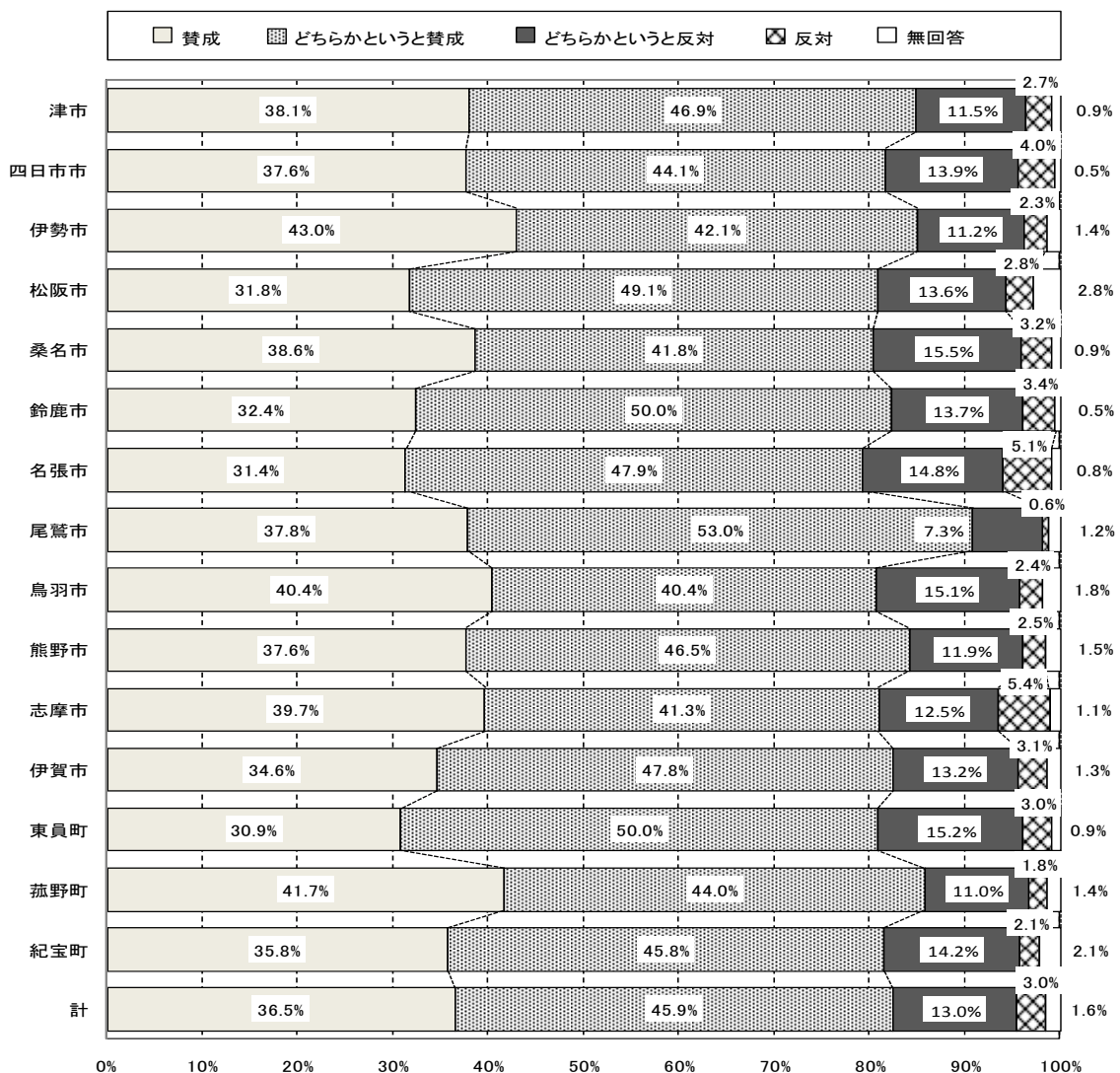
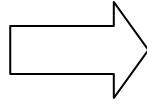


図 5-2-19 「資源やごみの分別が増えることなどについて」市町別回答率

1	夫婦共働き
2	就学前の乳幼児がいる
3	小中学生がいる
4	家族は全員60歳以上
5	いずれにもあてはまらない



記号	世帯特徴
A-1	夫婦共働き
A-2	夫婦共働き、就学前の乳幼児がいる
A-3	夫婦共働き、小中学生がいる
A-4	夫婦共働き、家族は全員60歳以上
A-5	夫婦共働き、就学前の乳幼児がいる、小中学生がいる
B-1	就学前の乳幼児がいる
B-2	就学前の乳幼児がいる、小中学生がいる
C	小中学生がいる
D	家族は全員60歳以上
E	いずれにもあてはまらない

調査票は上の表のたすね方をしており、回答の組み合わせにより、右のような分類をし、集計している。

表 5-2-10 「資源やごみの分別が増えることなどについて」世帯特徴別回答率

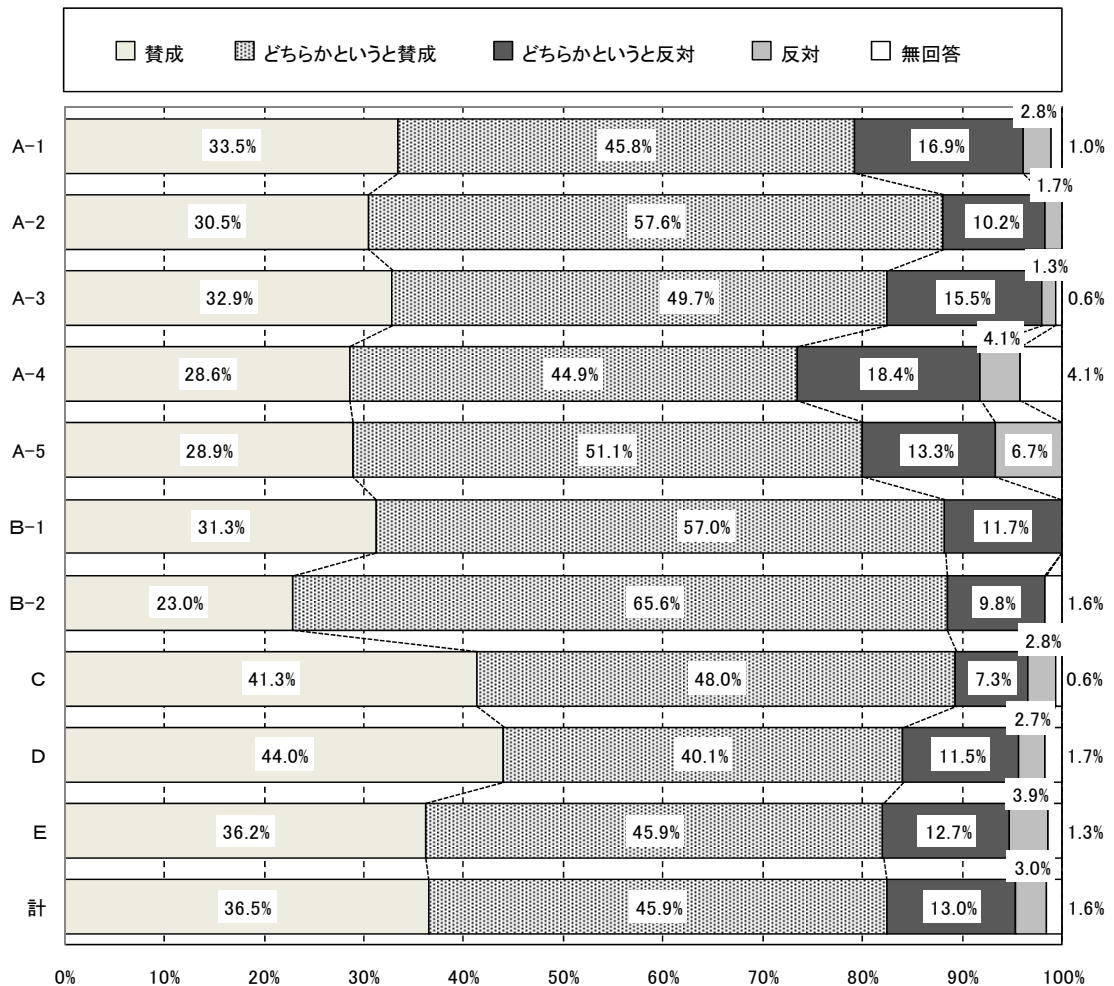


図 5-2-20 「資源やごみの分別が増えることなどについて」世帯特徴別回答率

問 16	次のうち、あなたのご家庭でやっていることはどれですか？（あてはまるものすべてに○）
------	---

家庭で実践していることとしては、「買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない」の回答率が91.6%で最も高く、次いで、「台所ごみの水切りをしている」（84.9%）となっている。「食事を食べ残さないようにしている」（69.8%）、「資源とごみの分別を徹底している」（60.6%）、「食品は買いすぎないように注意している」（59.9%）、「地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している」（56.2%）も5割を超えている。

市町別についても、上記項目はいずれも高いが、「レジ袋をもらわない」では菟野町が、「店頭回収を利用している」では、熊野市及び紀宝町が他市町と比べて低い。

これら以外について高いものとして、「市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している」の鳥羽市（11.4%）、「生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている」の志摩市（24.5%）、「不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている」の鈴鹿市（27.5%）等がある。

世帯特徴別については、大きな偏りはみられない。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	台所ごみの水切りをしている	2,678	84.9%
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	419	13.3%
3	台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理	332	10.5%
4	市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	74	2.3%
5	台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	197	6.2%
6	生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	417	13.2%
7	紙くすなどを庭や畑で焼却している	244	7.7%
8	買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない	2,889	91.6%
9	詰め替え容器を使用した商品を買っている	1,876	59.5%
10	ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う	482	15.3%
11	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでいる	335	10.6%
12	包装を断ったり、簡易包装を依頼している	1,192	37.8%
13	食品は買いすぎないように注意している	1,890	59.9%
14	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにしている	156	4.9%
15	食事を食べ残さないようにしている	2,202	69.8%
16	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりして	544	17.2%
17	資源とごみの分別を徹底している	1,911	60.6%
18	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	1,774	56.2%
19	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている	301	9.5%
20	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている	859	27.2%
21	マイ箸を携帯している	310	9.8%
22	携帯電話の店頭回収に協力している	646	20.5%
23	その他	30	1.0%
24	これらいずれもやっていない	4	0.1%
総回答数		21,762	690.0%
有効回答数		3,154	-

表 5-2-11 「あなたの家庭でやっていることについて」回答状況

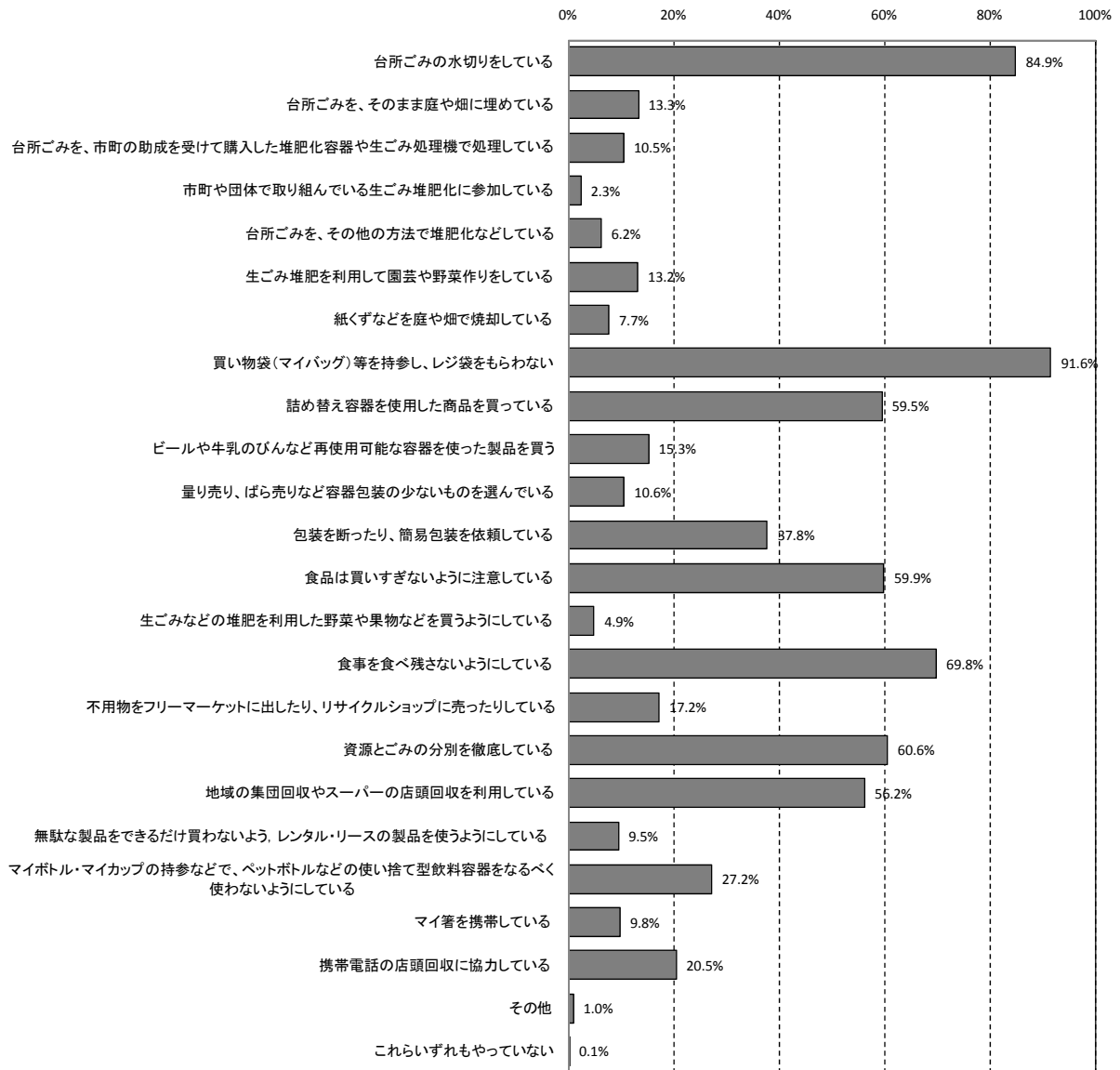


図 5-2-21 「あなたの家庭でやっていることについて」回答率

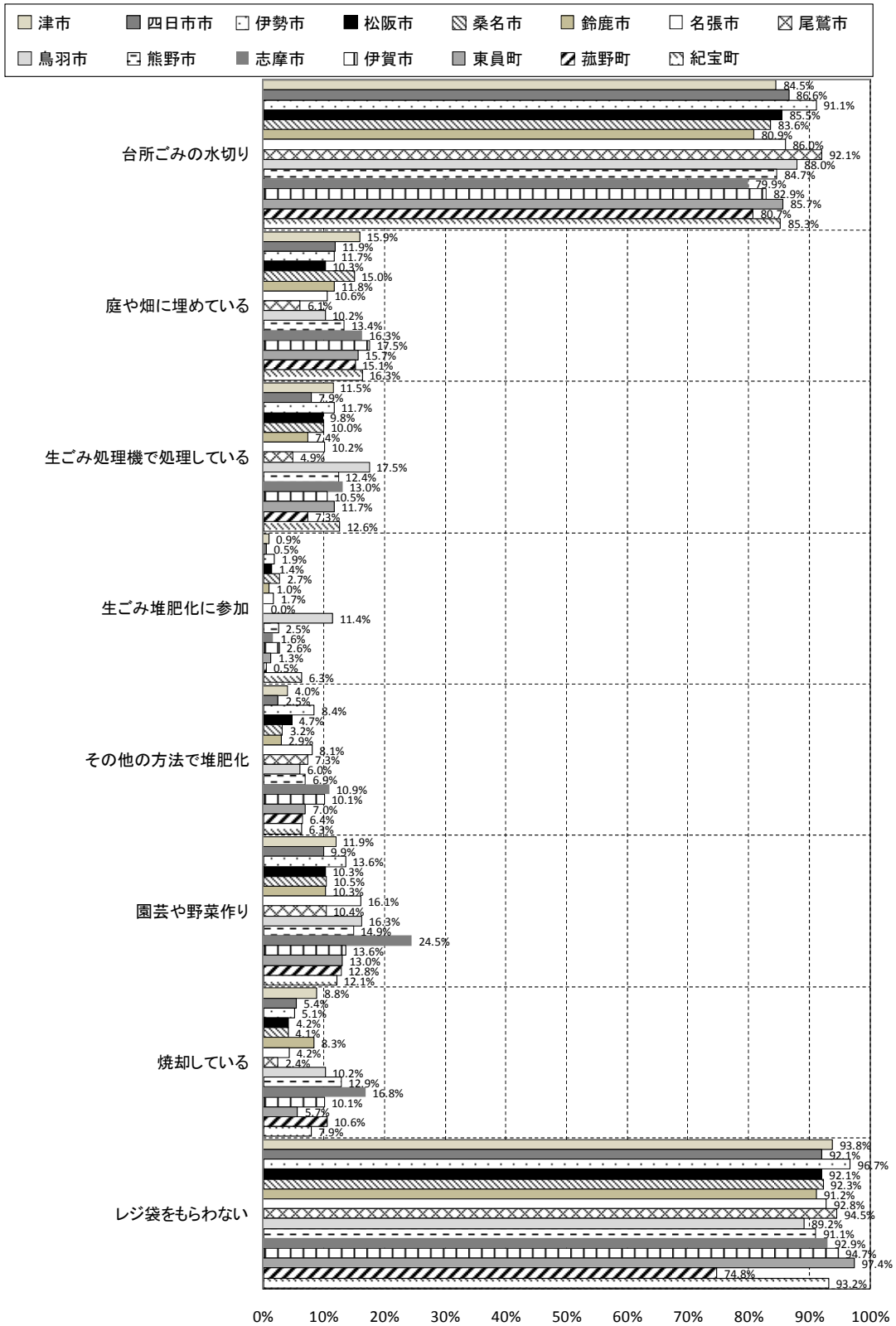


図 5-2-22 (1/3) 「あなたの家庭でやっていることについて」市町別回答率

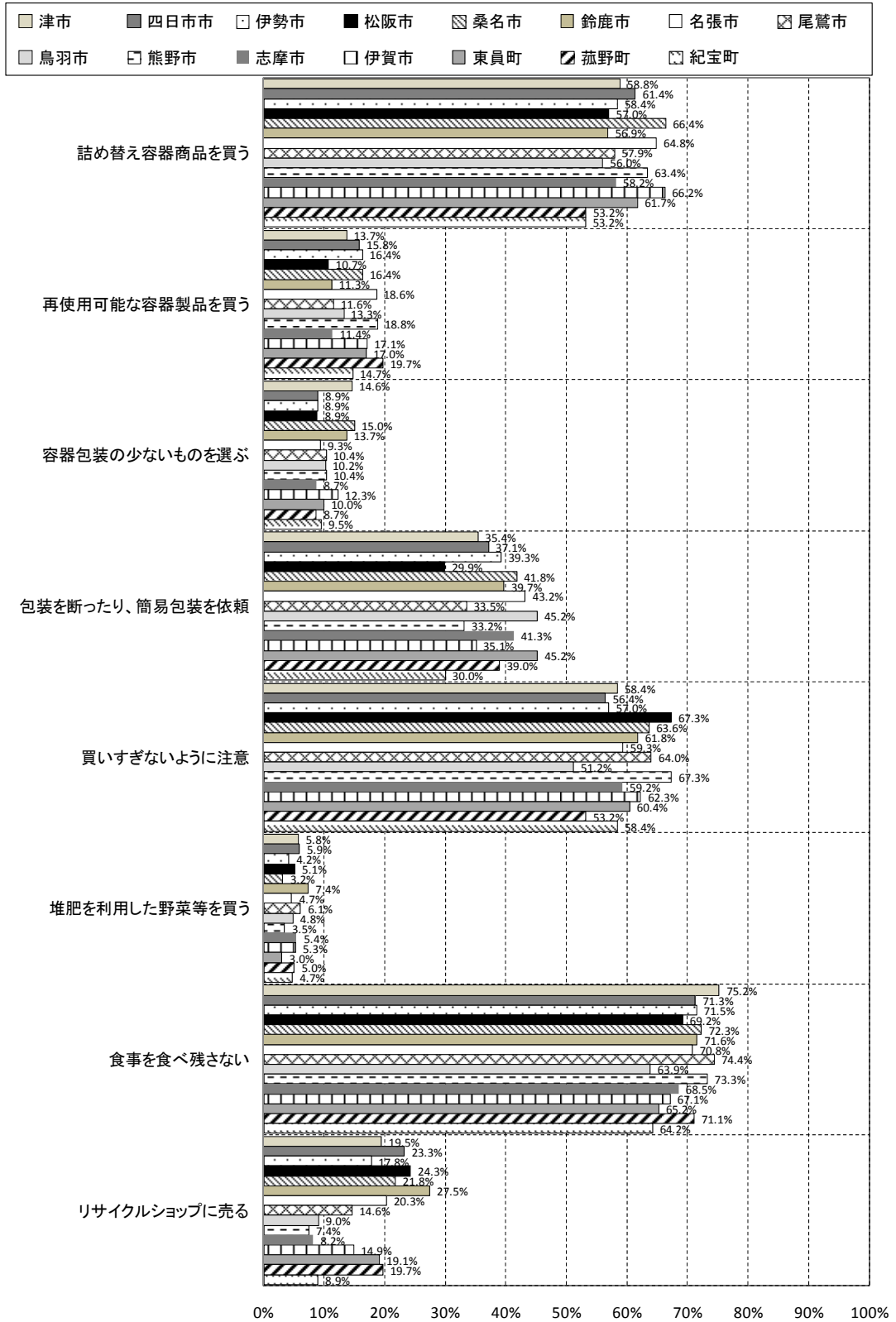


図 5-2-22 (2/3) 「あなたの家庭でやっていることについて」市町別回答率

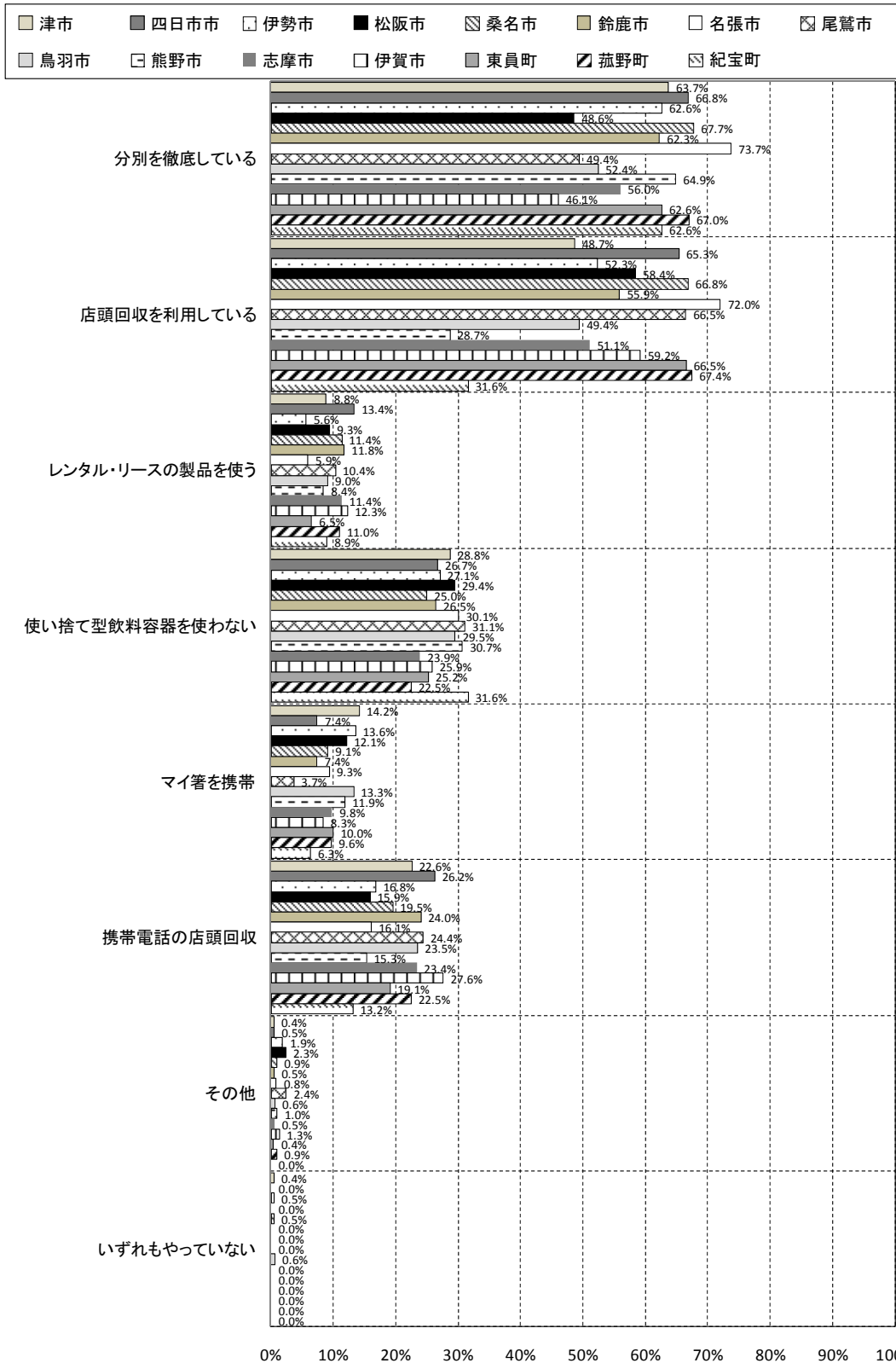
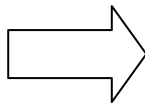


図 5-2-22 (3/3) 「あなたの家庭でやっていることについて」市町別回答率

1	夫婦共働き
2	就学前の乳幼児がいる
3	小中学生がいる
4	家族は全員60歳以上
5	いずれにもあてはまらない



記号	世帯特徴
A-1	夫婦共働き
A-2	夫婦共働き、就学前の乳幼児がいる
A-3	夫婦共働き、小中学生がいる
A-4	夫婦共働き、家族は全員60歳以上
A-5	夫婦共働き、就学前の乳幼児がいる、小中学生がいる
B-1	就学前の乳幼児がいる
B-2	就学前の乳幼児がいる、小中学生がいる
C	小中学生がいる
D	家族は全員60歳以上
E	いずれにもあてはまらない

調査票は上の表のたずね方をしており、回答の組み合わせにより、右のような分類をし、集計している。

表 5-2-12 「あなたの家庭でやっていることについて」世帯特徴別回答率

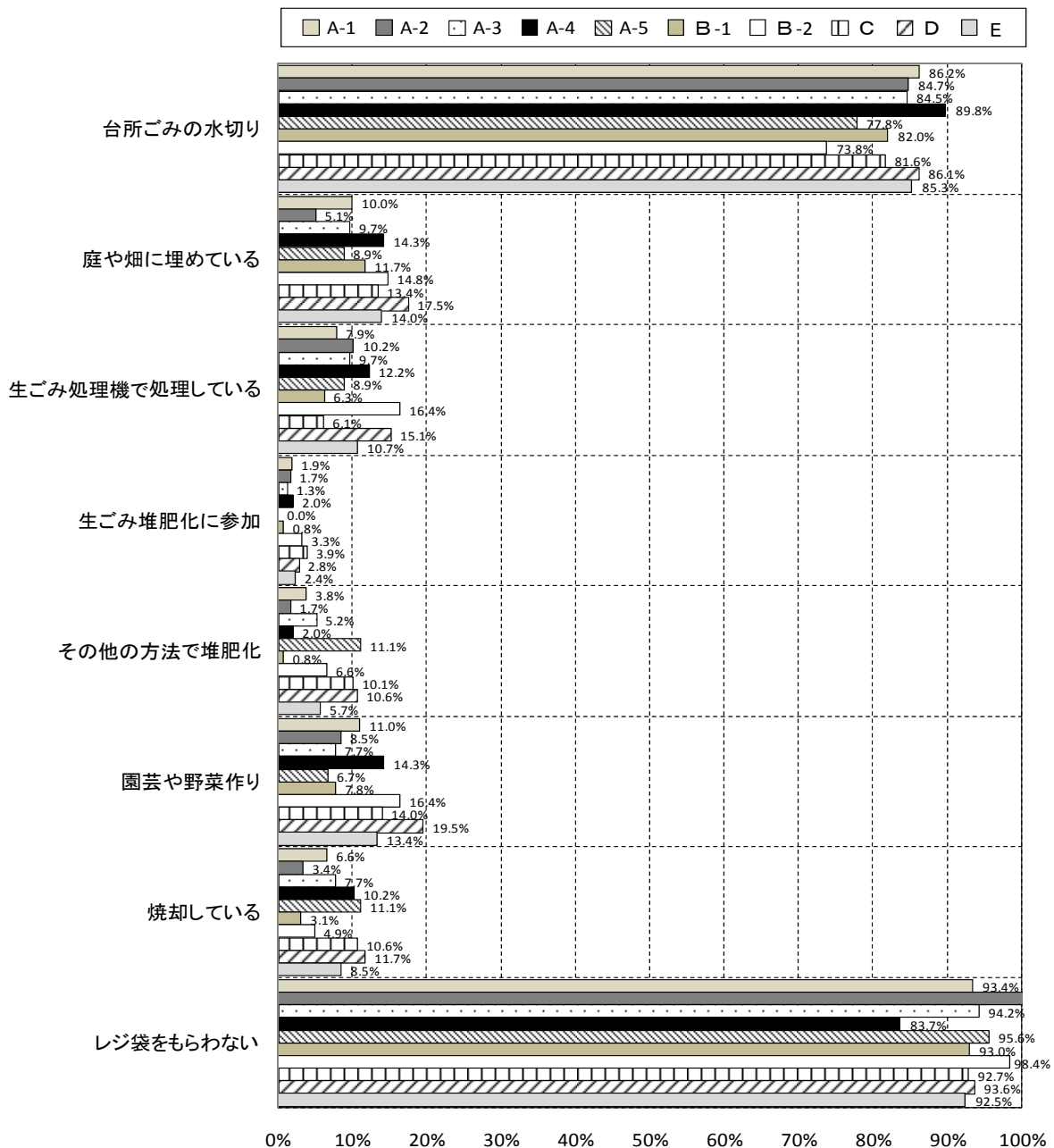


図 5-2-23 (1/3) 「あなたの家庭でやっていることについて」世帯特徴別回答率

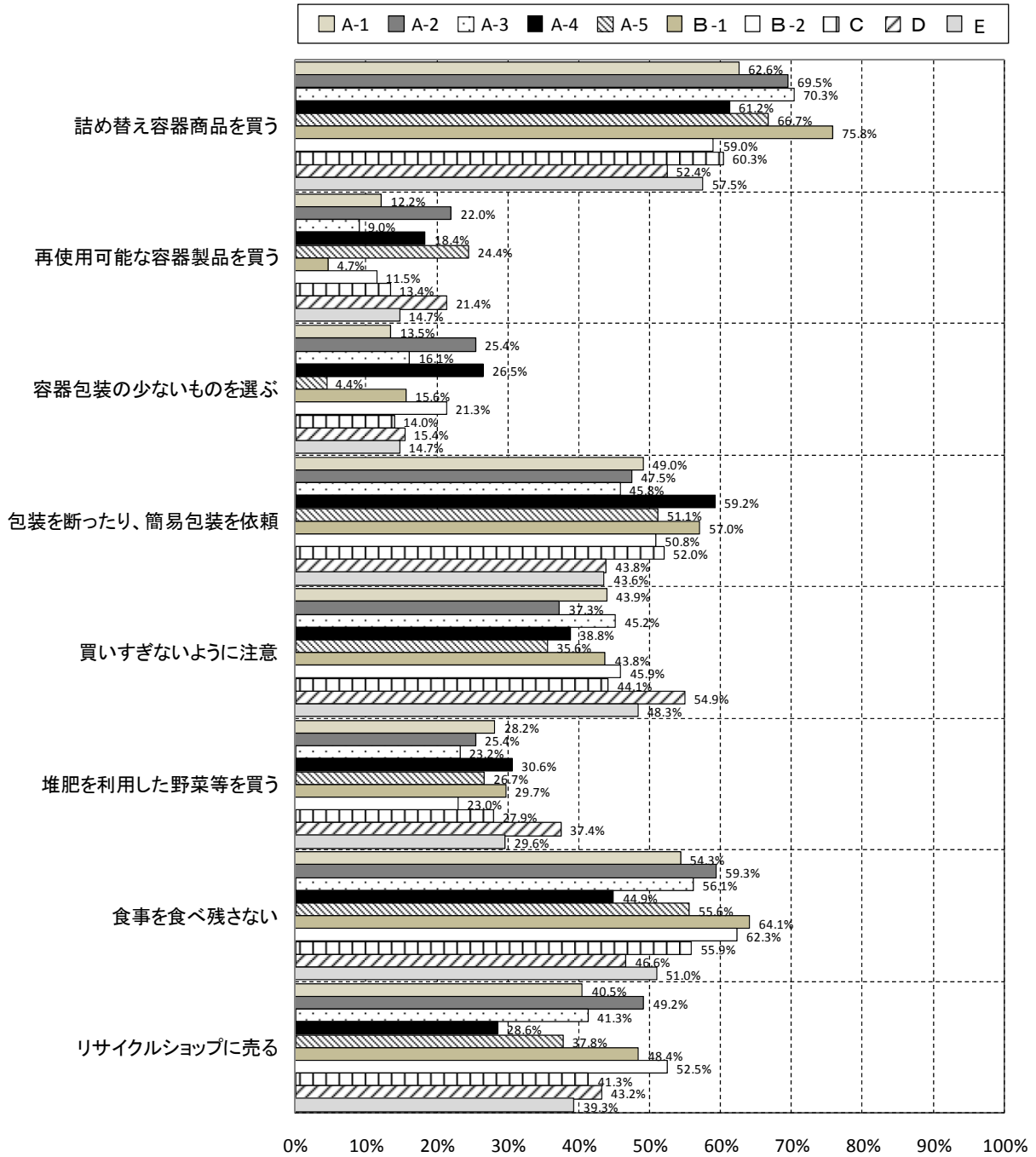


図 5-2-23 (2/3) 「あなたの家庭でやっていることについて」世帯特徴別回答率

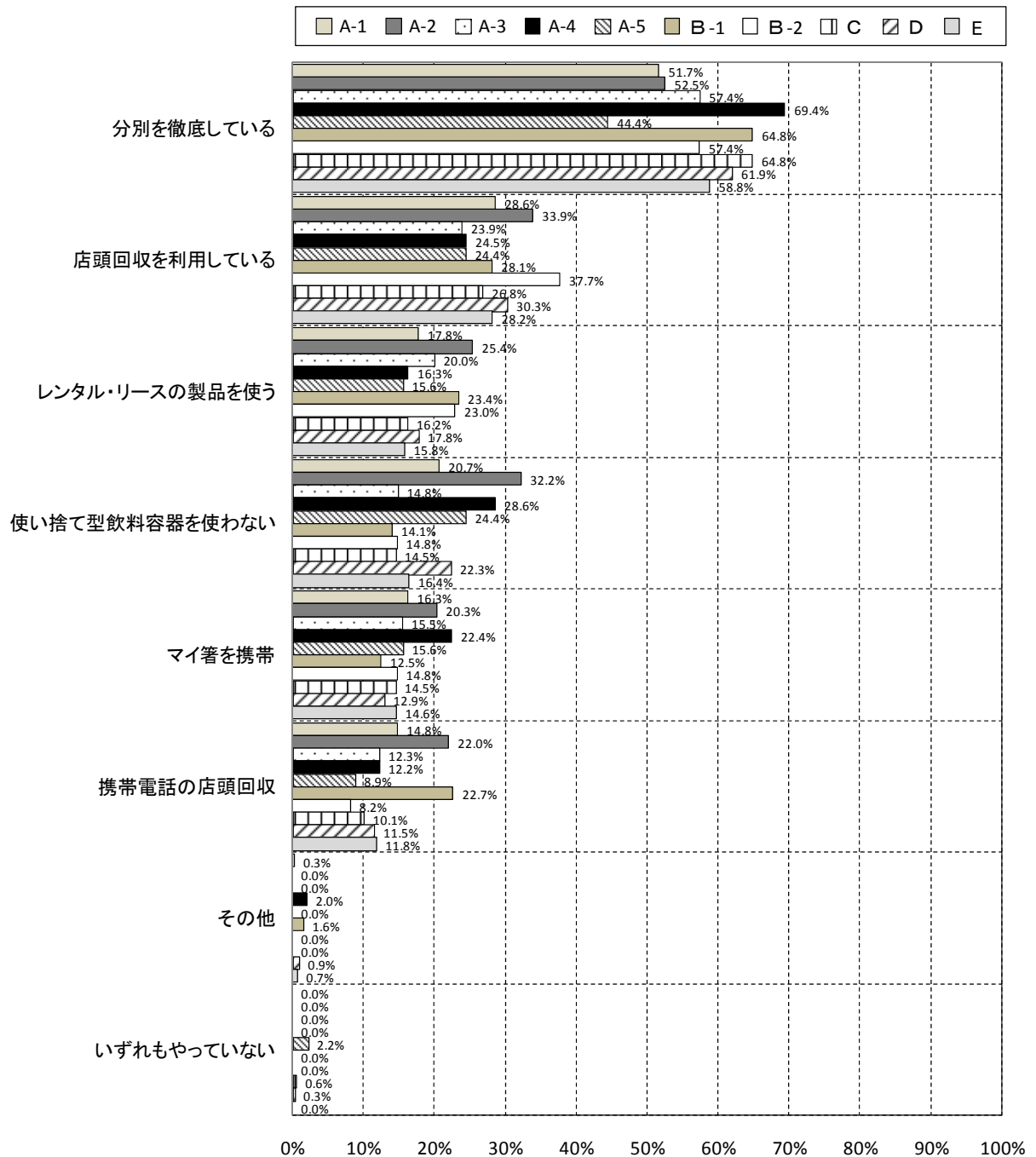


図 5-2-23 (3/3) 「あなたの家庭でやっていることについて」世帯特徴別回答率

問 17	あなたのご家庭では、ごみを出すにあたり、どのような問題がありますか？（〇は3つまで）
------	--

ごみ出しで困っていることについては、「収集日時が限られている」（38.0%）、「特に問題はない」（31.7%）の回答率が30%より高くなっている。

市町別については、いずれの市町においても、「収集日時が限られている」が最も高い。また、「分別ルールが複雑でわかりにくい」では、伊賀市及び鈴鹿市で3割を超え、尾鷲及び熊野市で1割に満たないなど市町により差が生じている。

年代別については、年代が低いほど「分別ルールが複雑でわかりにくい」、「市町ごとにルールが異なり覚えにくい」、「次の収集日までごみを保管しておく場所がない」が高くなっている。

分別行動別については、「次の収集日までごみを保管しておく場所がない」と「特に問題はない」を除くと「分別にかかわる」人ほど低い。

世帯特徴別については、「次の収集日までごみを保管しておく場所がない」で「家族は全員 60 歳以上」が低いことを除いては、大きな偏りはみられない。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	分別ルールが複雑でわかりにくい	700	22.2%
2	市町ごとにルールが異なり覚えにくい	378	12.0%
3	次の収集日までごみを保管しておく場所がない	639	20.3%
4	収集日時が限られている	1,197	38.0%
5	ごみ集積所（ステーション）まで遠い	284	9.0%
6	洗ったり束ねたり手間がかかる	753	23.9%
7	その他	137	4.3%
8	特に問題はない	1,000	31.7%
総回答数		5,088	161.3%
有効回答数		3,154	-

表 5-2-13 「ごみ出しで困っていること」回答状況

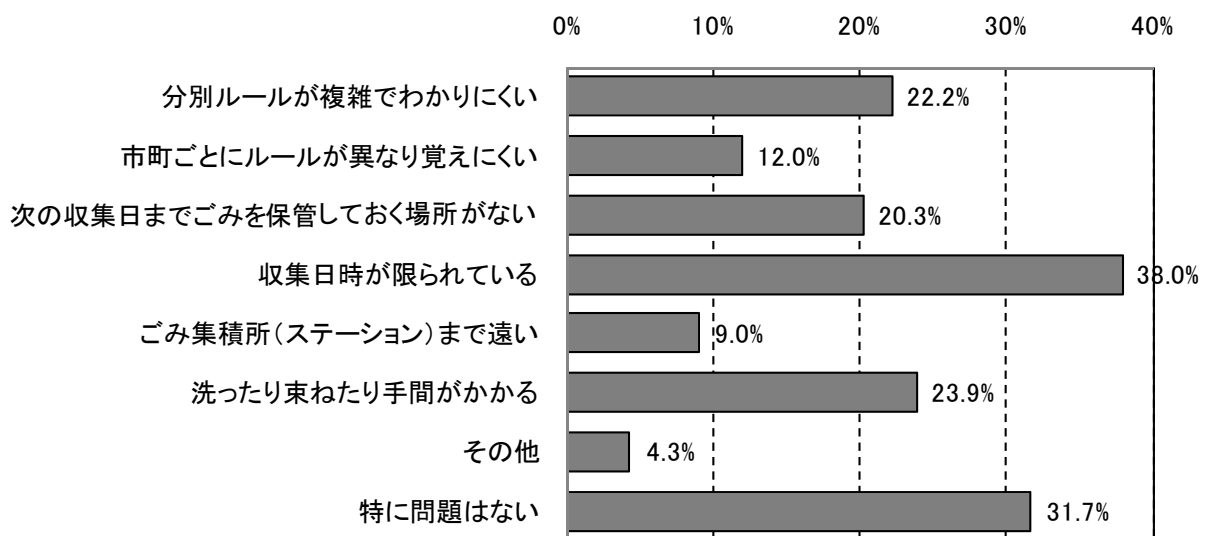


図 5-2-24 「ごみ出しで困っていること」回答率

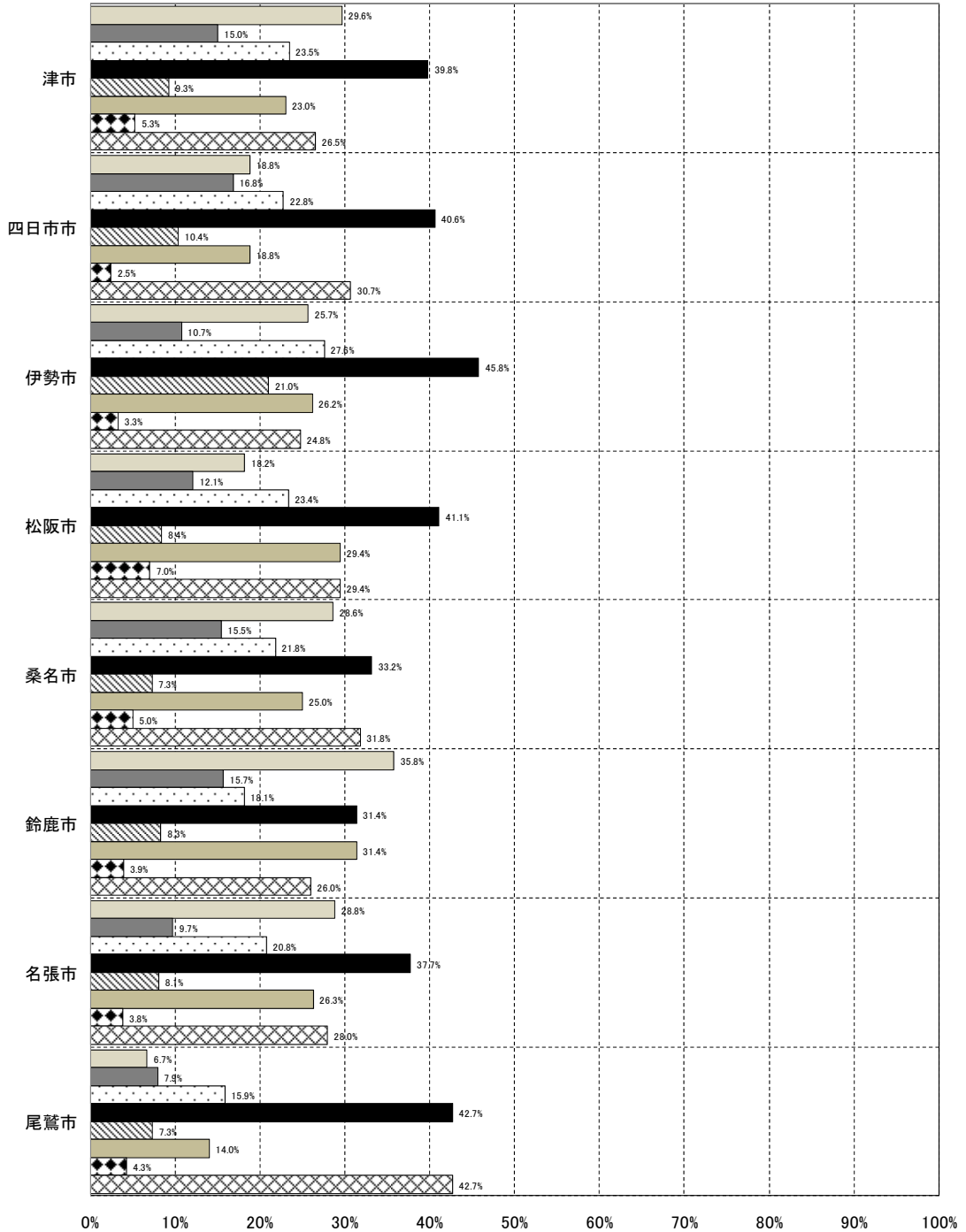
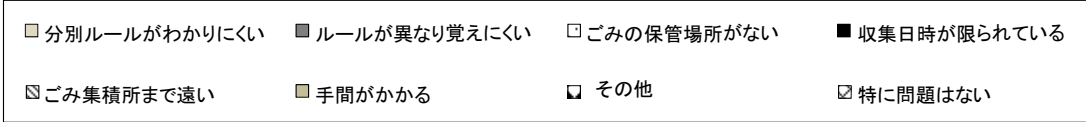


図 5-2-25-2 (1/2) 「ごみ出しで困っていること」市町別回答率

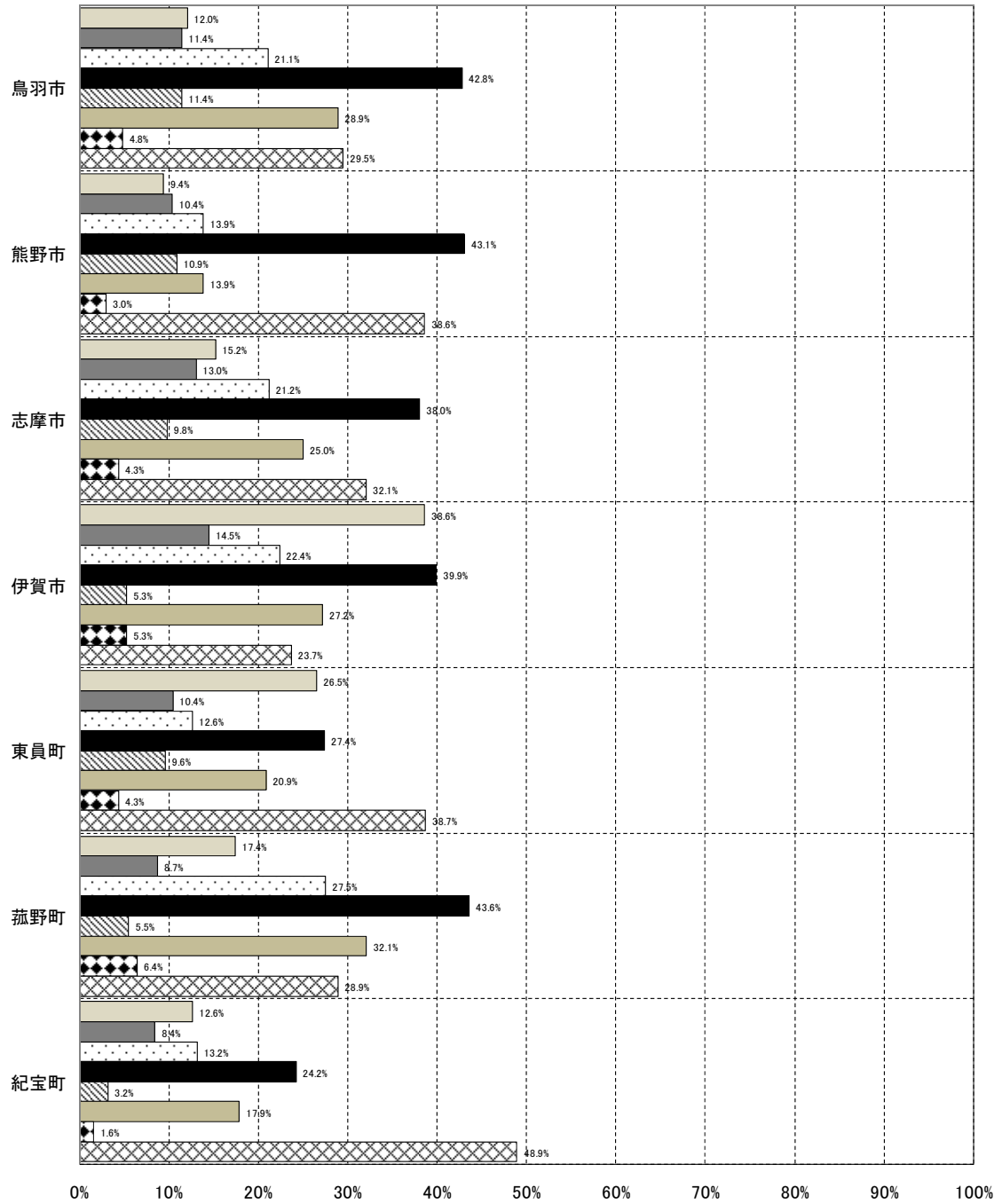
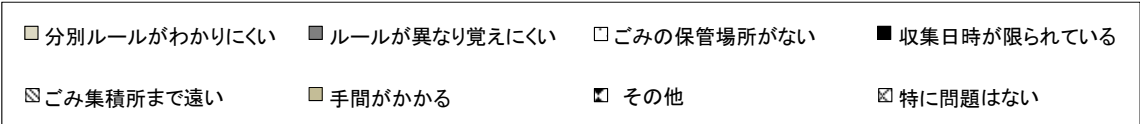


図 5-2-25 (2/2) 「ごみ出で困っていること」市町別回答率

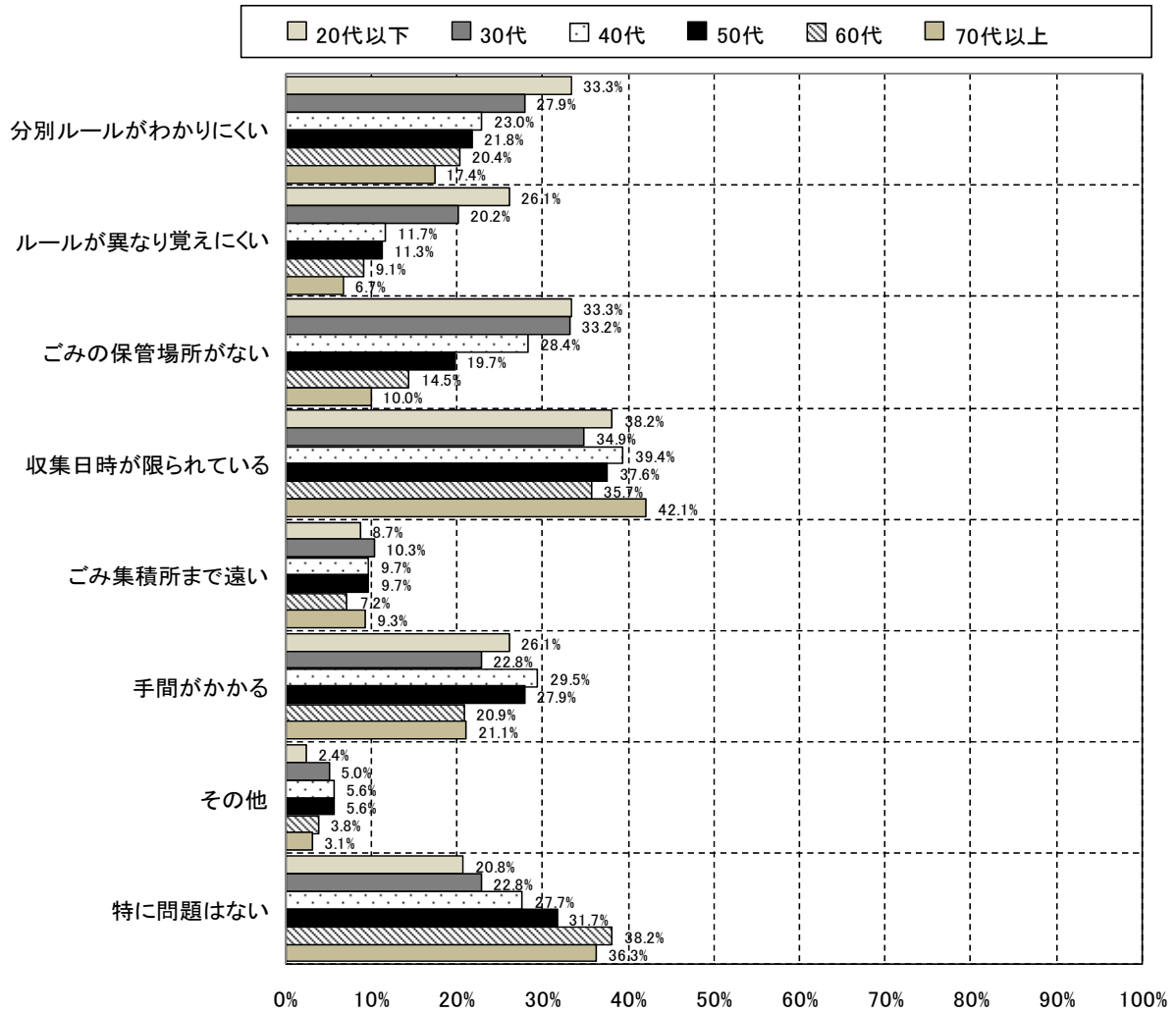


図 5-2-26 「ごみ出しで困っていること」年代別回答率

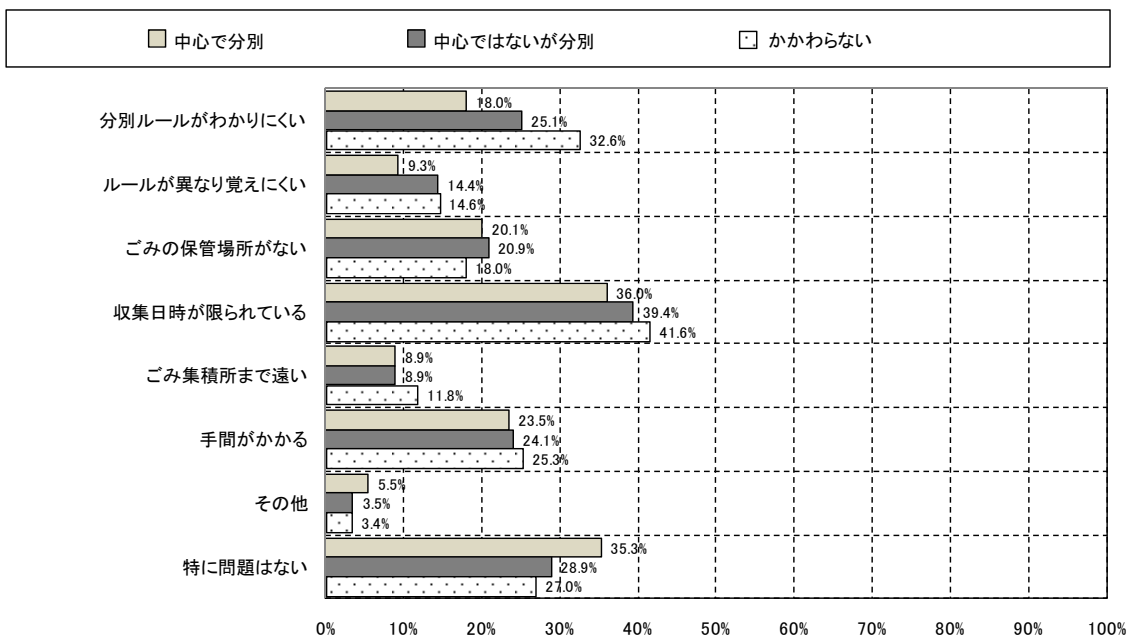
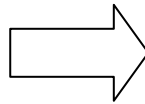


図 5-2-27 「ごみ出しで困っていること」分別行動別回答率

1	夫婦共働き
2	就学前の乳幼児がいる
3	小中学生がいる
4	家族は全員60歳以上
5	いずれにもあてはまらない



記号	世帯特徴
A-1	夫婦共働き
A-2	夫婦共働き、就学前の乳幼児がいる
A-3	夫婦共働き、小中学生がいる
A-4	夫婦共働き、家族は全員60歳以上
A-5	夫婦共働き、就学前の乳幼児がいる、小中学生がいる
B-1	就学前の乳幼児がいる
B-2	就学前の乳幼児がいる、小中学生がいる
C	小中学生がいる
D	家族は全員60歳以上
E	いずれにもあてはまらない

調査票は上の表のたずね方をしており、回答の組み合わせにより、右のような分類をし、集計している。

表 5-2-14 「ごみ出しで困っていること」世帯特徴別回答率

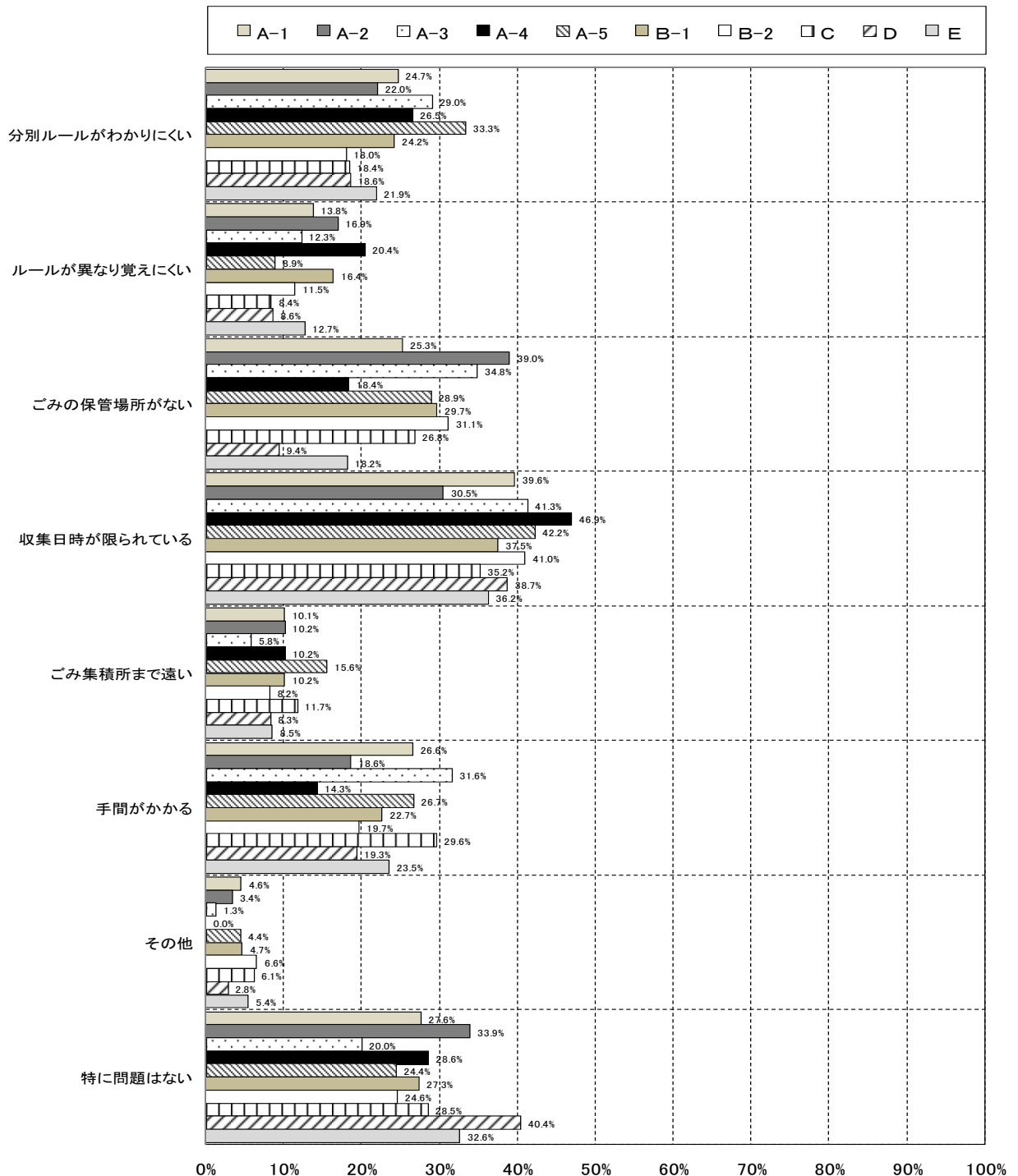


図 5-2-28 「ごみ出しで困っていること」世帯特徴別回答率

5-3 今後の方策に対する意向について

問 18 今後あなたが、暮らしの工夫によって「家庭から出る量を減らせる」と思えるものはどれですか？（あてはまるものすべてに○）

暮らしの工夫で減らせるごみについては、「食べ残し」の割合が高く 63.4%であり、次いで「賞味期限切れ食品」（60.4%）、「調理くず」（45.4%）の順となっている。
市町別、年代別については、それぞれ項目により傾向に違いが生じているものの、大きな偏りは見られない。
世帯人員別については、「食べ残し」について「5人以上」の家庭が一番高く 70%近くを占めている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	調理くず	1,432	45.4%
2	食べ残し	2,001	63.4%
3	賞味期限切れ食品	1,906	60.4%
4	紙容器、紙袋や包装紙	906	28.7%
5	新聞	371	11.8%
6	チラシ	597	18.9%
7	雑誌	586	18.6%
8	段ボール	487	15.4%
9	紙パック	383	12.1%
10	古着類	701	22.2%
11	ペットボトル	900	28.5%
12	レジ袋	1,404	44.5%
13	プラスチック容器	611	19.4%
14	びん	376	11.9%
15	缶	431	13.7%
16	粗大ごみ	623	19.8%
17	その他	63	2.0%
総回答数		13,778	436.8%
有効回答数		3,154	-

表 5-3-1 「暮らしの工夫で減らせるごみ」回答状況

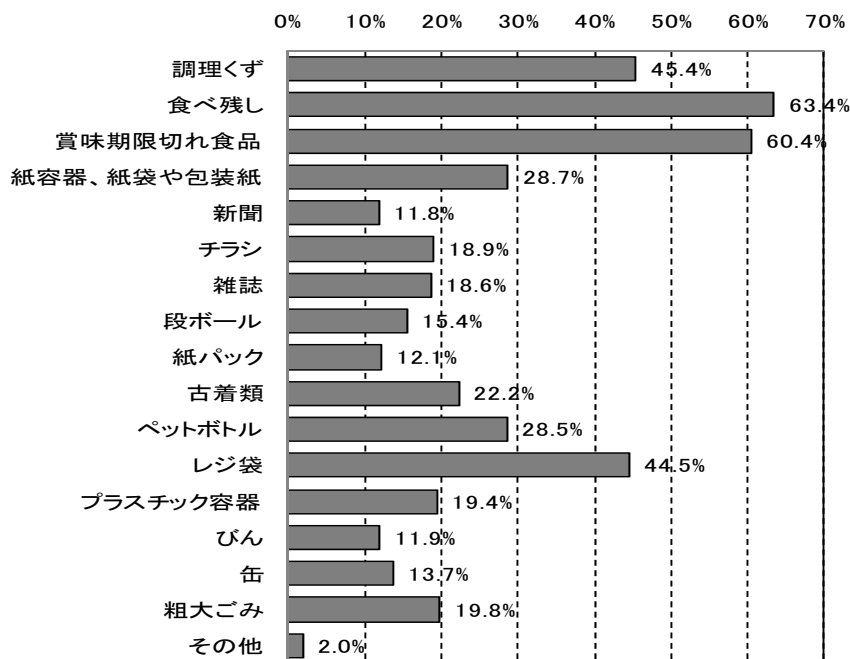


図 5-3-1 「暮らしの工夫で減らせるごみ」回答率

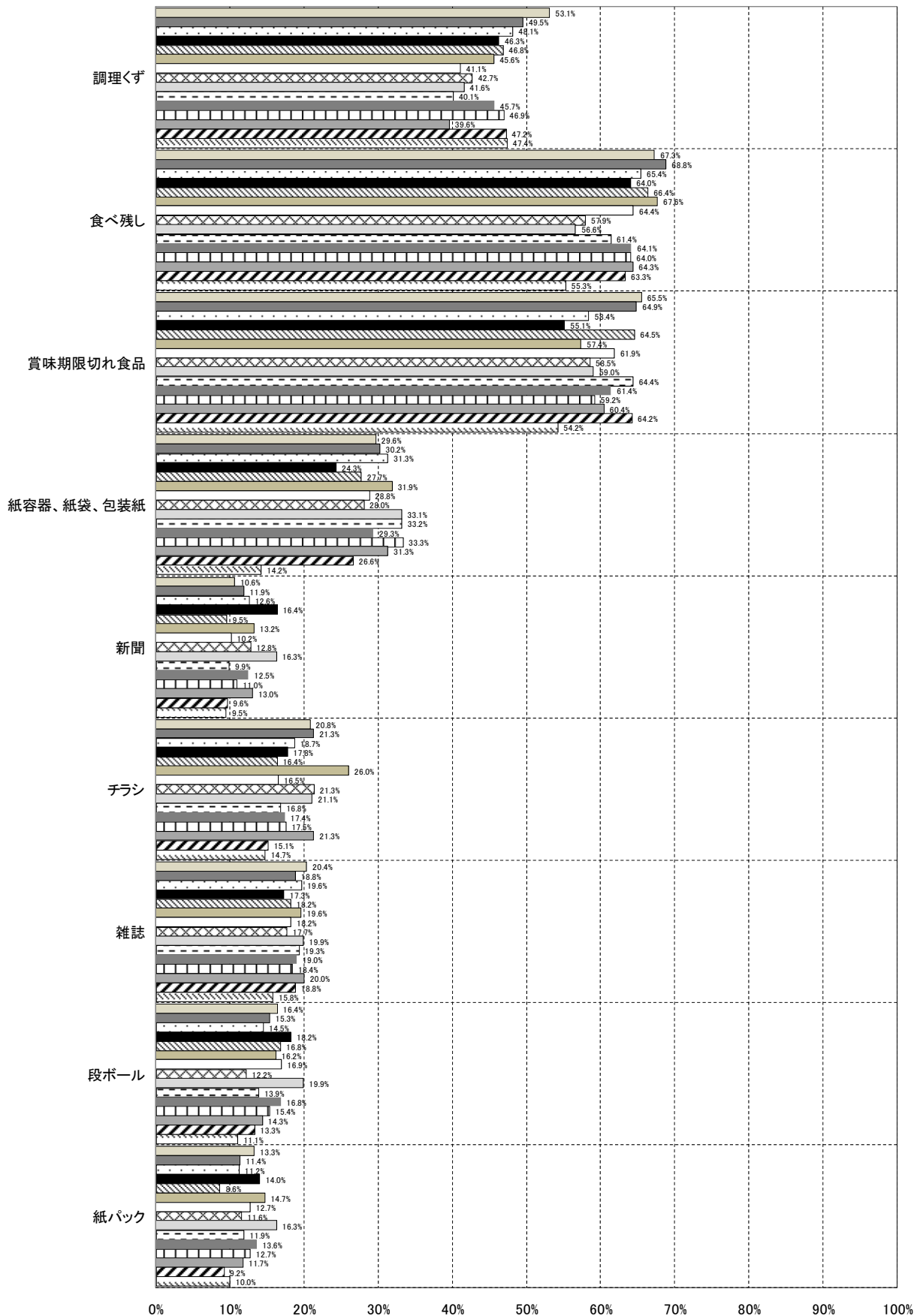
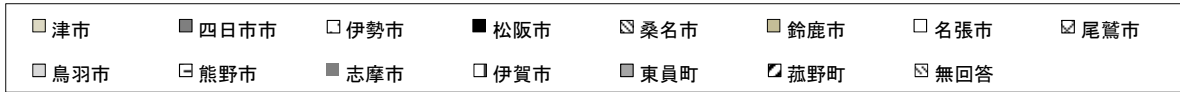


図 5-3-2 (1/2) 「暮らしの工夫で減らせるごみ」市町別回答率

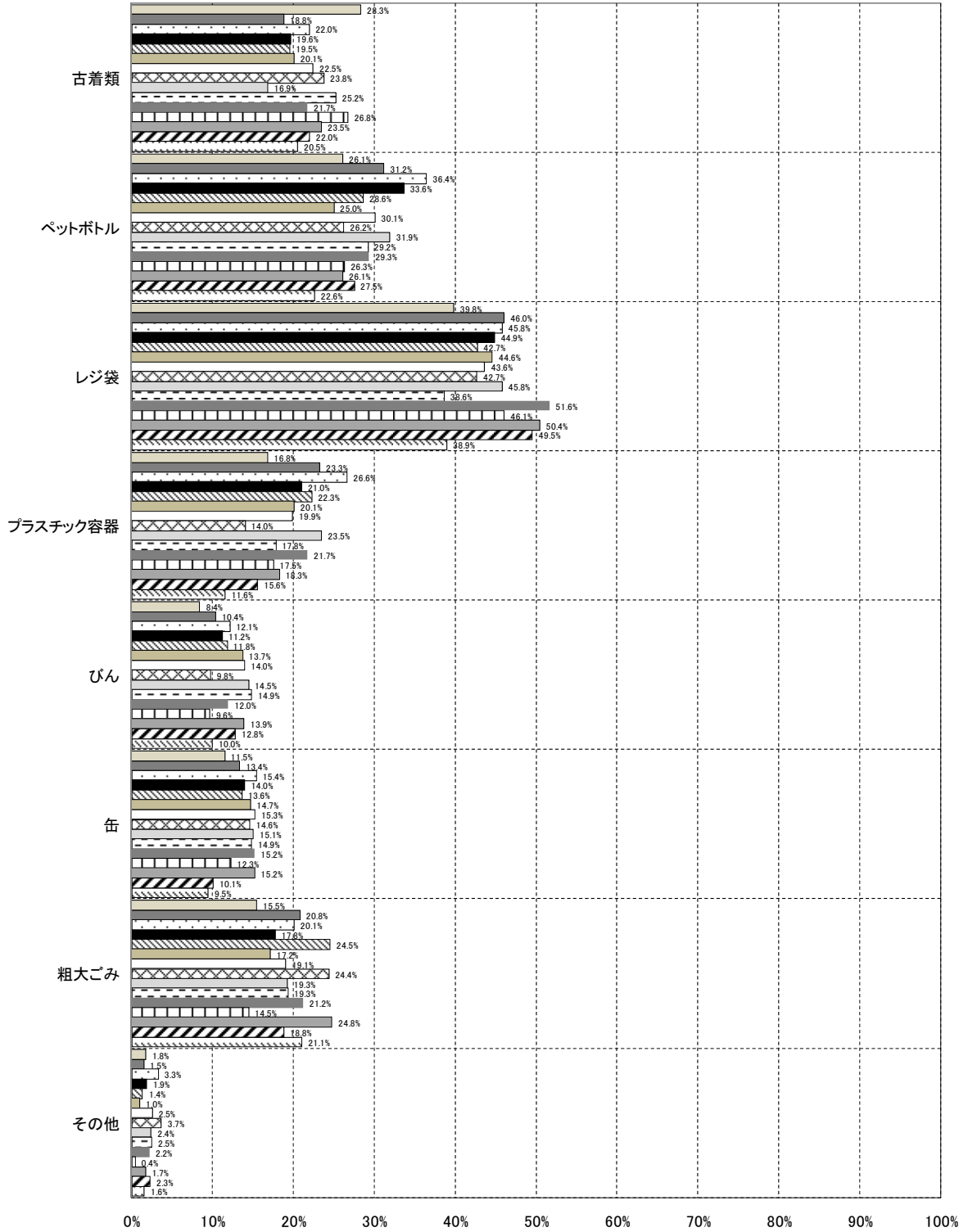
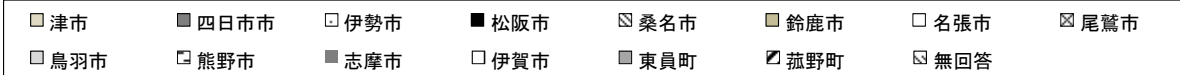


図 5-3-2 (2/2) 「暮らしの工夫で減らせるごみ」市町別回答率

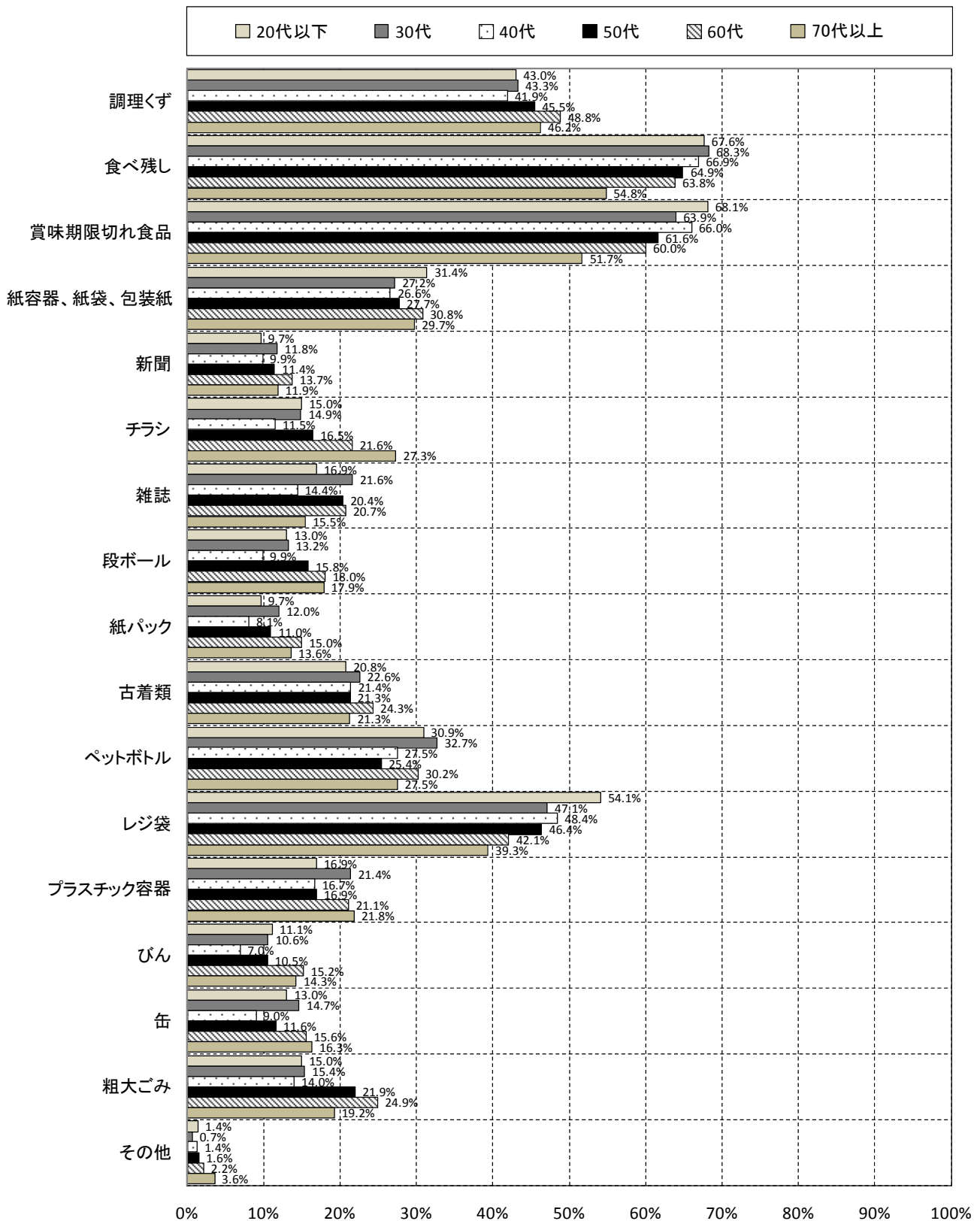


図 5-3-3 「暮らしの工夫で減らせるごみ」年代別回答率

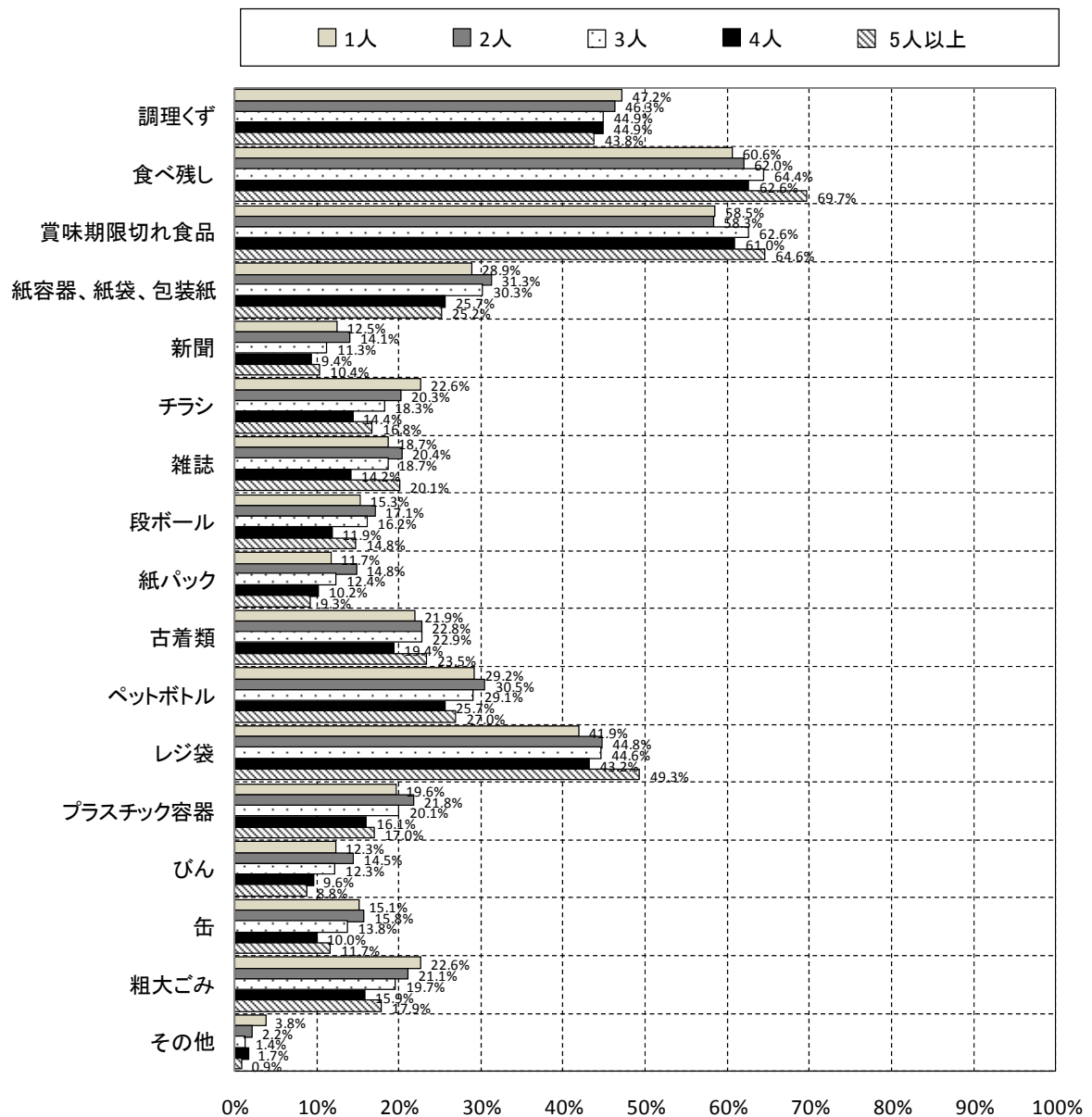


図 5-3-4 「暮らしの工夫で減らせるごみ」世帯人員別回答率

問 19	ごみに関する情報を、あなたはどのような方法で手に入れていますか？（あてはまるものすべてに○）
------	--

ごみ関連情報の入手方法として、「市町の広報や分別マニュアルを通じて」の回答率が 84.6%と最も高く、次いで「地域の回覧板や掲示物を通じて」が 51.8%、「新聞などマスコミを通じて」が 31.9%となっている。

市町別については、いずれの市町においても上記項目の割合が高いが、「地域の回覧板や掲示物を通じて」は、29.3%から 64.8%の範囲にわたっている。

年代別については、「20 代以下」では、「新聞などマスコミを通じて」、「家族や友人・知人を通じて」が最も高く、「市町の広報や分別マニュアルを通じて」、「地域の回覧板や掲示物を通じて」が最も低い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	市町の広報や分別マニュアルを通じて	2,669	84.6%
2	市町のホームページを通じて	296	9.4%
3	公共施設などでのポスターやチラシを通じて	544	17.2%
4	地域の回覧板や掲示物を通じて	1,635	51.8%
5	防災無線や広報スピーカーで	175	5.5%
6	住民説明会を通じて	194	6.2%
7	新聞などマスコミを通じて	1,006	31.9%
8	企業の広告、広報誌、パンフレット、環境報告書で	295	9.4%
9	家族や友人・知人を通じて	586	18.6%
10	子供（学校などの情報）を通じて	89	2.8%
11	書籍で	78	2.5%
12	スーパーマーケットなど地域の店舗や流通業者を通じて	372	11.8%
13	エコ製品やサービスを展示するイベントを通じて	222	7.0%
14	PTA・自治会などの地域の活動を通じて	487	15.4%
15	勤務先・取引先など仕事を通じて	223	7.1%
16	環境保護団体・環境 NGO の広報誌やパンフレットを通じて	111	3.5%
17	生協活動・ボランティア活動など社会活動を通じて	128	4.1%
18	シンポジウムや講演会、市民大学などで	27	0.9%
19	その他	12	0.4%
20	あてはまるものなし	28	0.9%
総回答数		9,177	291.0%
有効回答数		3,154	100.0%

表 5-3-2 「情報をどのような方法で手に入れているか」回答状況

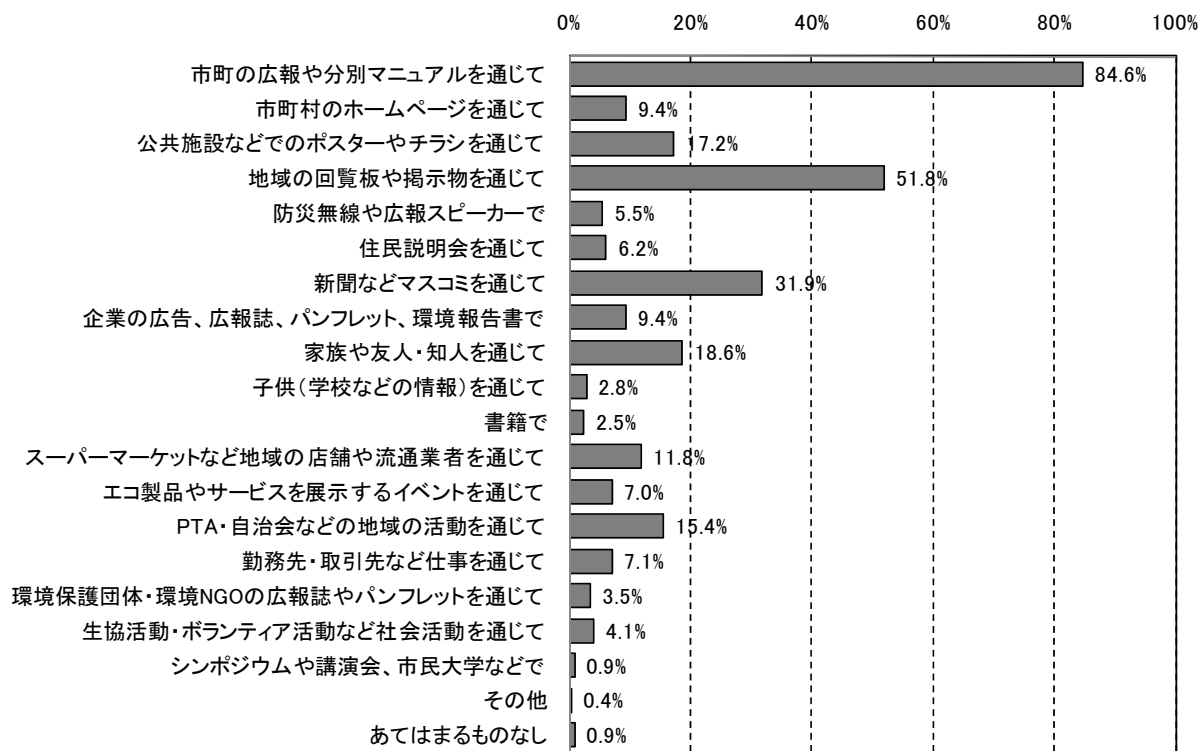


図 5-3-5 「情報をどのような方法で手に入れているか」回答率

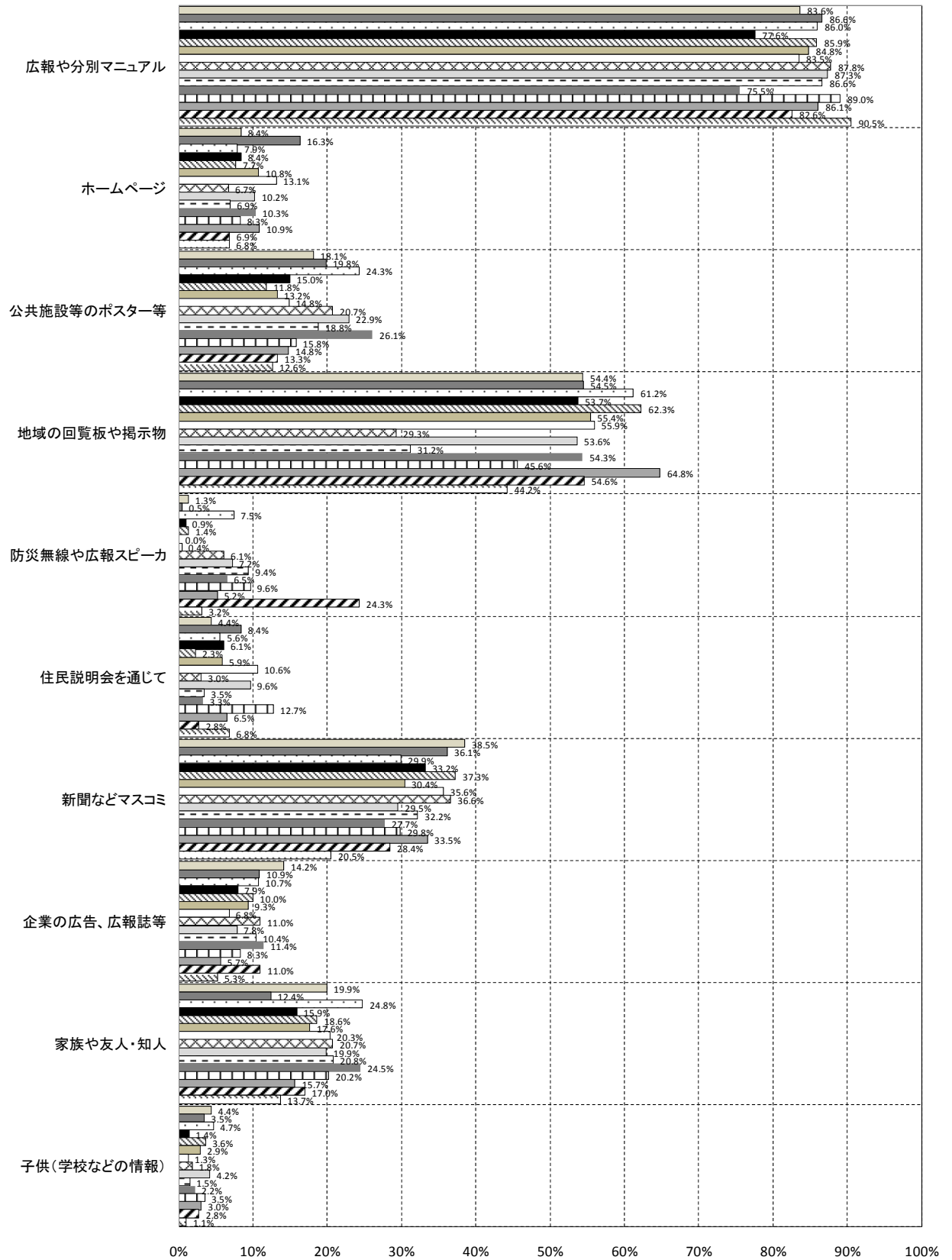
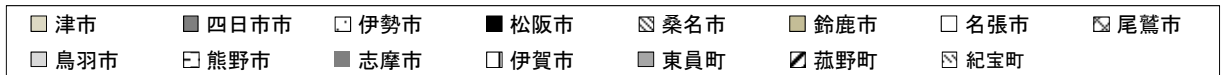


図 5-3-6 (1/2) 「情報をどのような方法で手に入れているか」市町別回答率

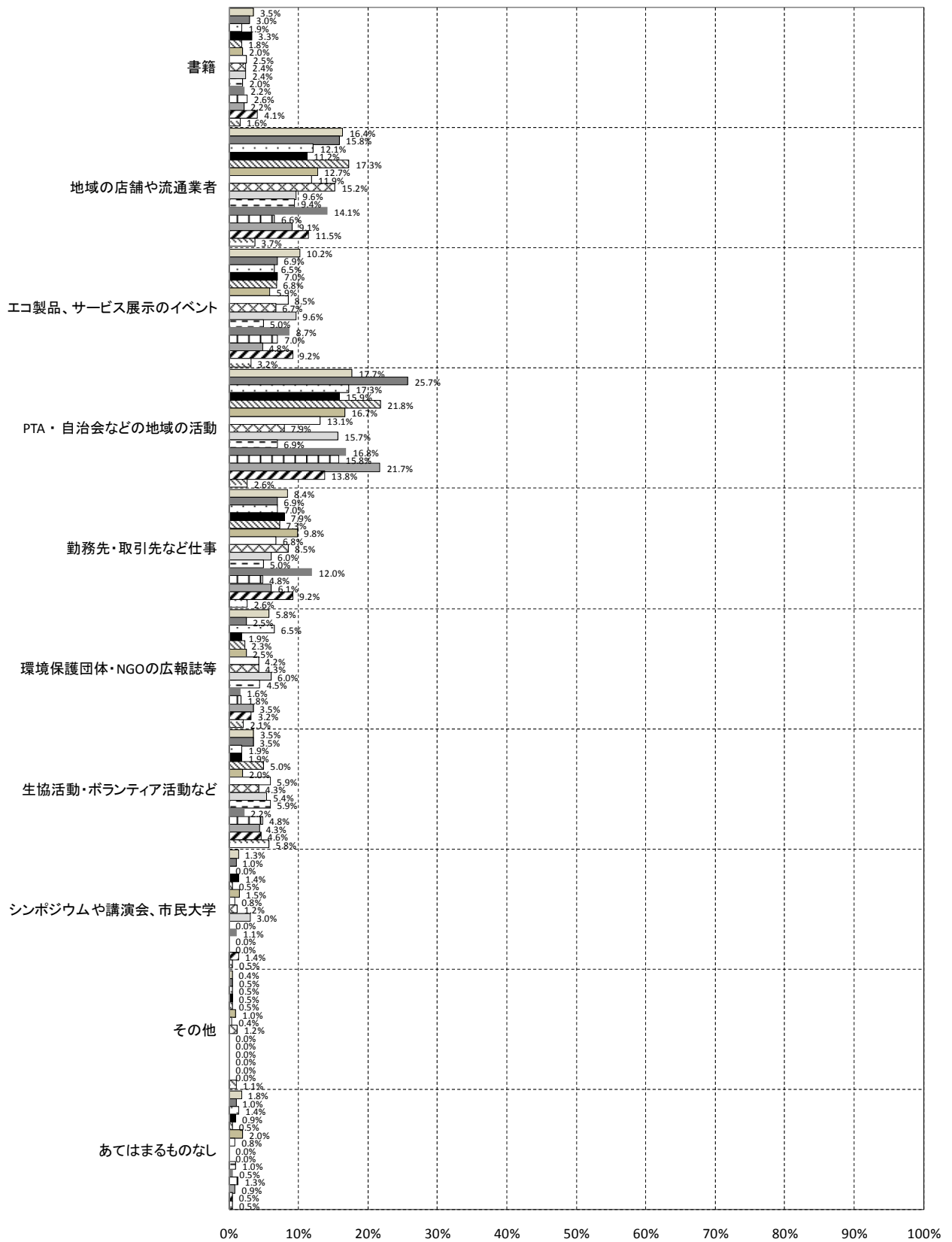
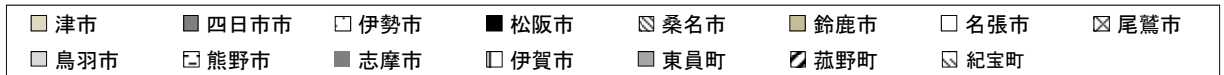


図 5-3-6 (2/2) 「情報をどのような方法で手に入れているか」市町別回答率

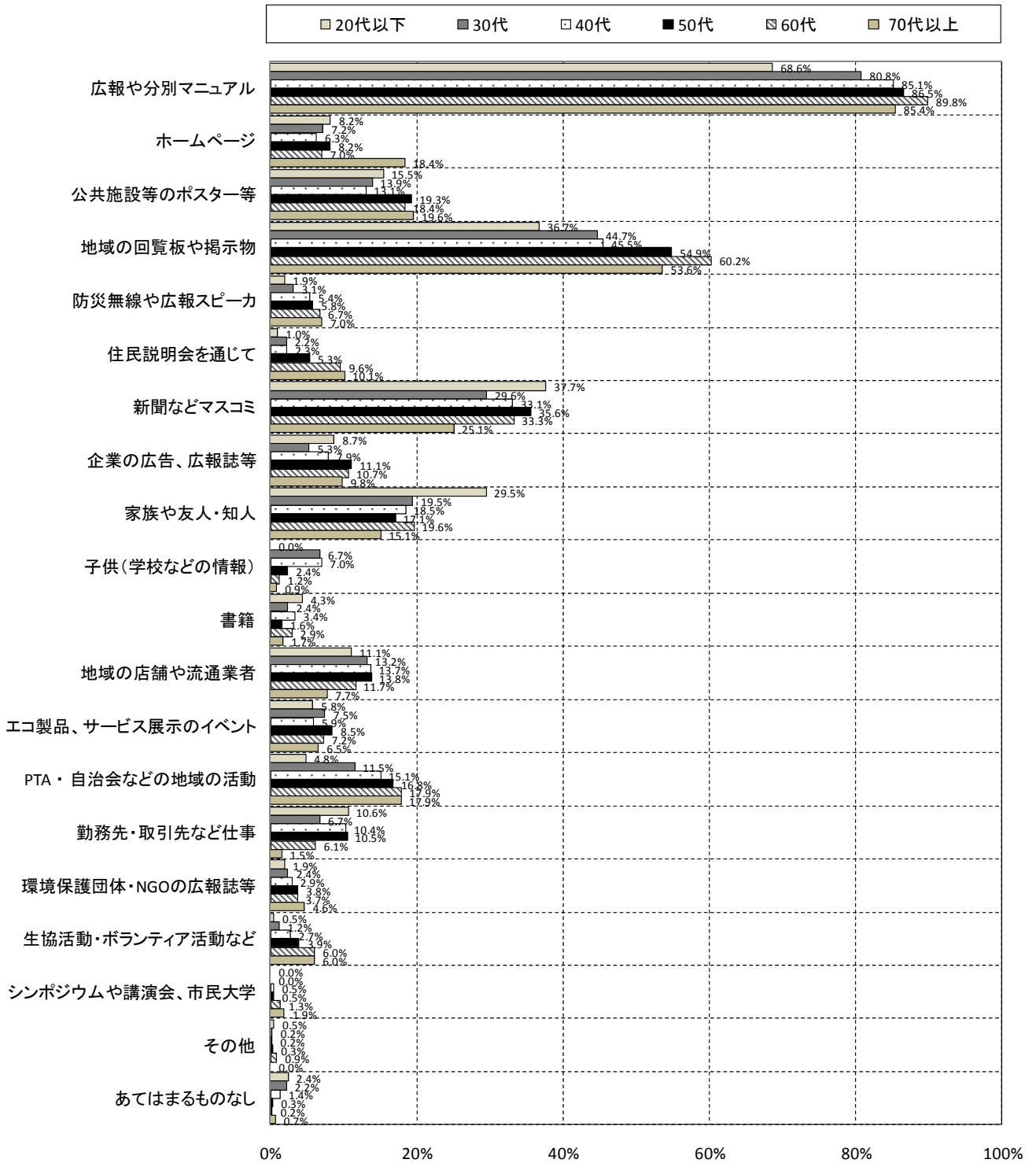


図 5-3-7 「情報をどのような方法で手に入れているか」年代別回答率

問 20 今後、ごみに関してどのような情報がほしいですか？（あてはまるものすべてに○）

「どのような情報がほしいか」については、「わかりやすい分別方法」の回答率が 59.1%と大きく、次いで「ごみの減量方法」が 38.6%、「市町のごみの量やリサイクル率などのごみ処理状況」が 24.6%となっている。

市町別については、「わかりやすい分別方法」は 41.5%から 74.6%の範囲にわたっており、「津市」（72.1%）、「伊賀市」（74.6%）では 70%を超えている。

年代別については、「わかりやすい分別方法」は 54.1%から 70.5%の範囲にわたっており、60代以下では、年代が低くなるほど高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	わかりやすい分別方法	1,863	59.1%
2	ごみ処理コスト	550	17.4%
3	ごみの減量方法	1,216	38.6%
4	地域の集団回収（資源回収）	645	20.5%
5	生ごみ処理機等の購入費助成制度	502	15.9%
6	ごみ減量・リサイクル推進活動団体の紹介	153	4.9%
7	ごみ減量・リサイクルに関する講座・セミナー	178	5.6%
8	ごみ減量によるCO ₂ 削減量を表示するなど、地球温暖化防止効果の見える化	441	14.0%
9	市町のごみの量やリサイクル率などのごみ処理状況	776	24.6%
10	その他	66	2.1%
11	あてはまるものなし	184	5.8%
総回答数		6,574	208.4%
有効回答数		3,154	-

表 5-3-3 「どのような情報がほしいか」回答状況

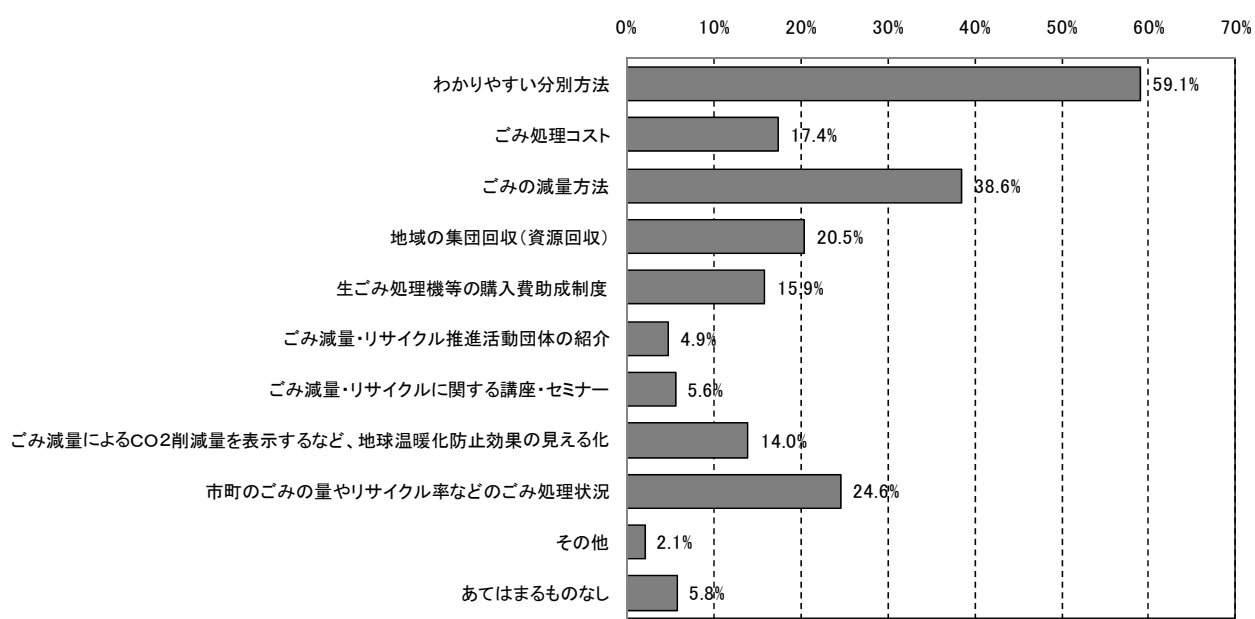


図 5-3-8 「どのような情報がほしいか」回答率

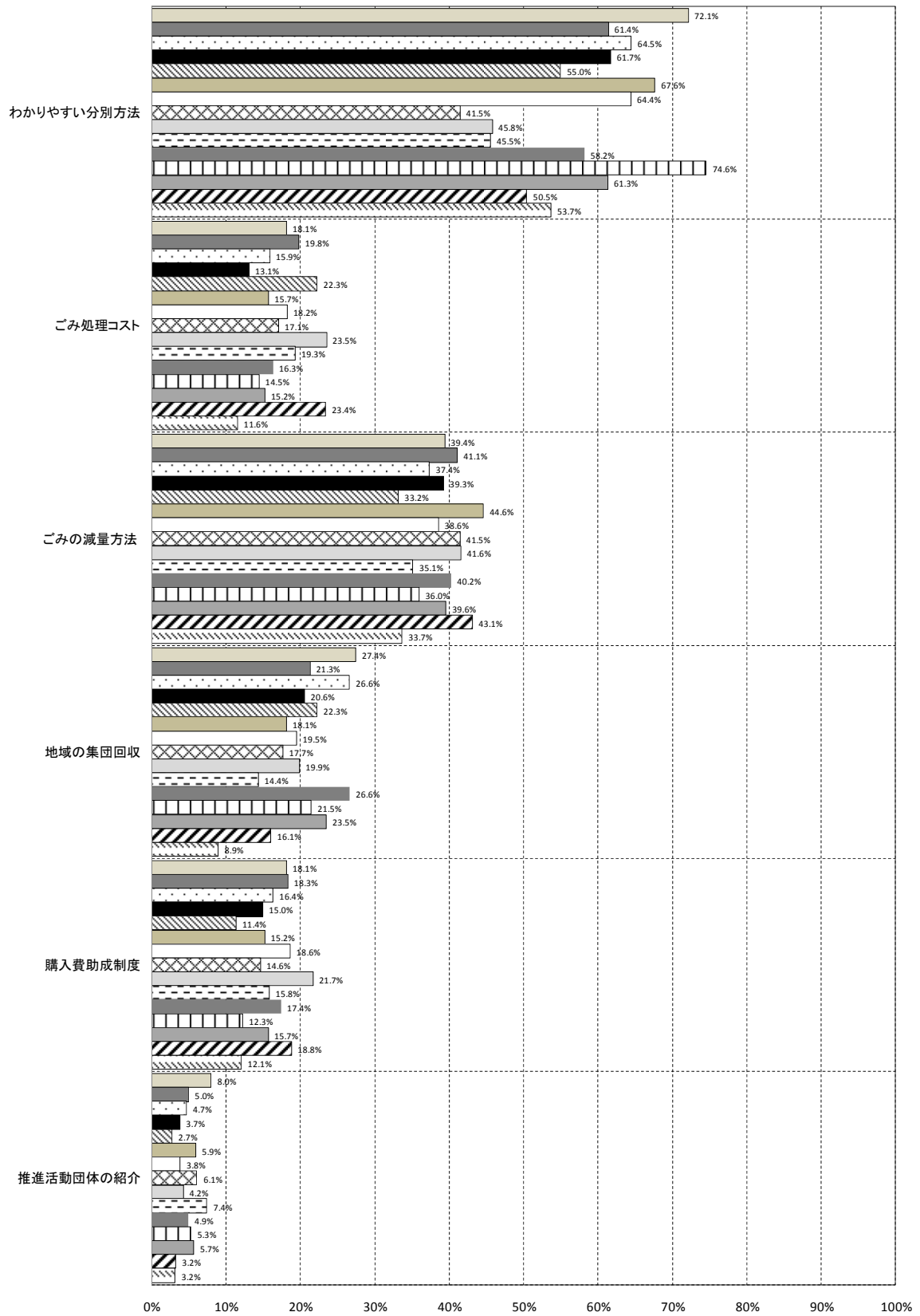
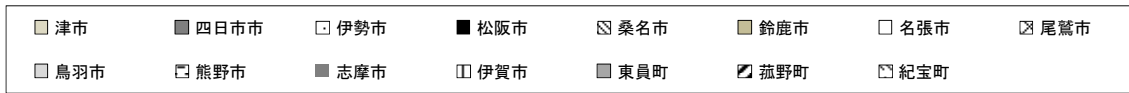


図 5-3-9 (1/2) 「どのような情報がほしいか」市町別回答率

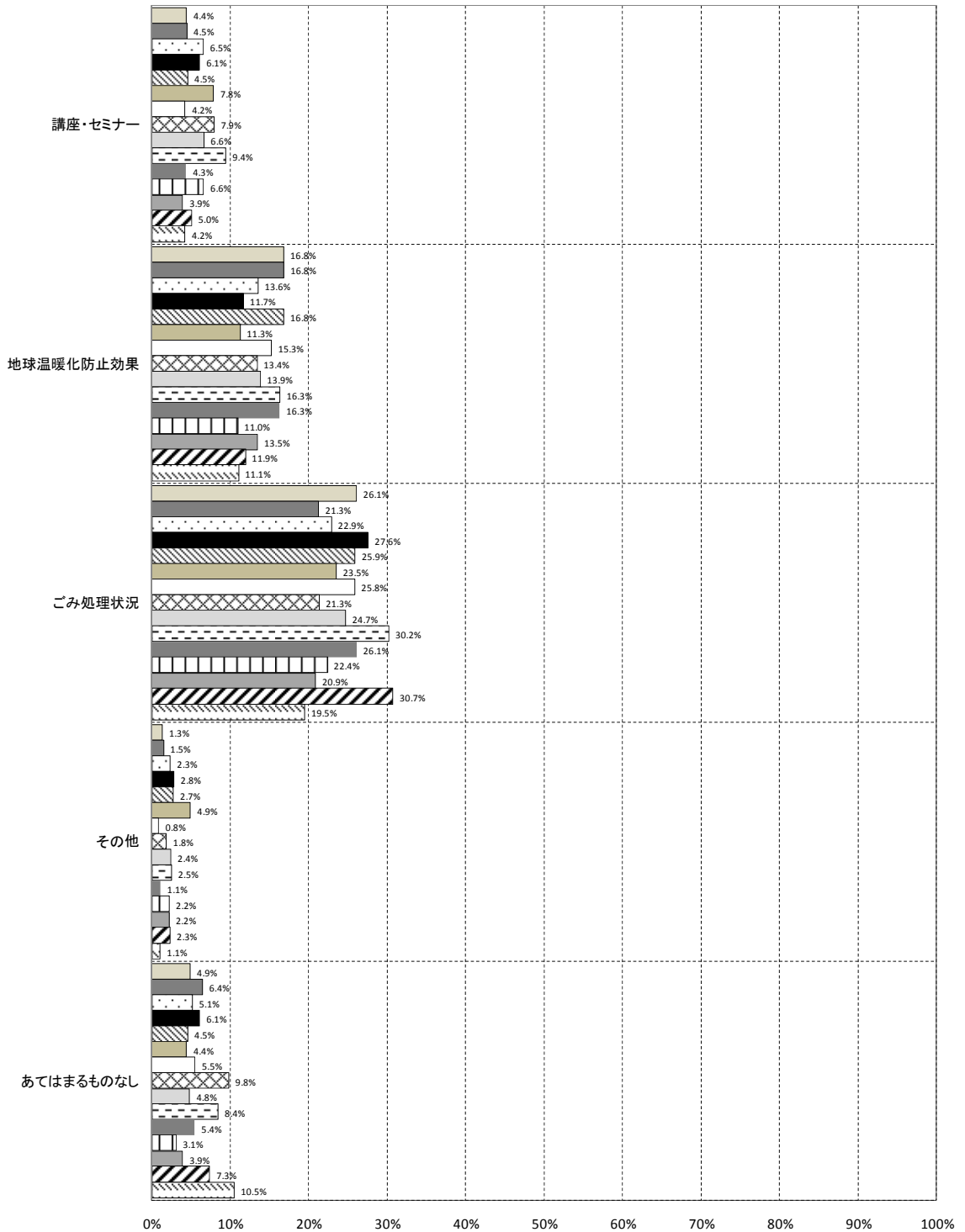
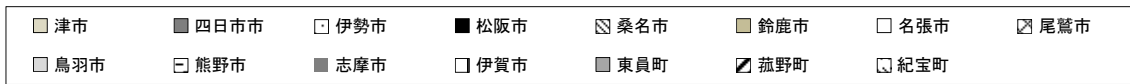


図 5-3-9 (2/2) 「どのような情報がほしいか」市町別回答率

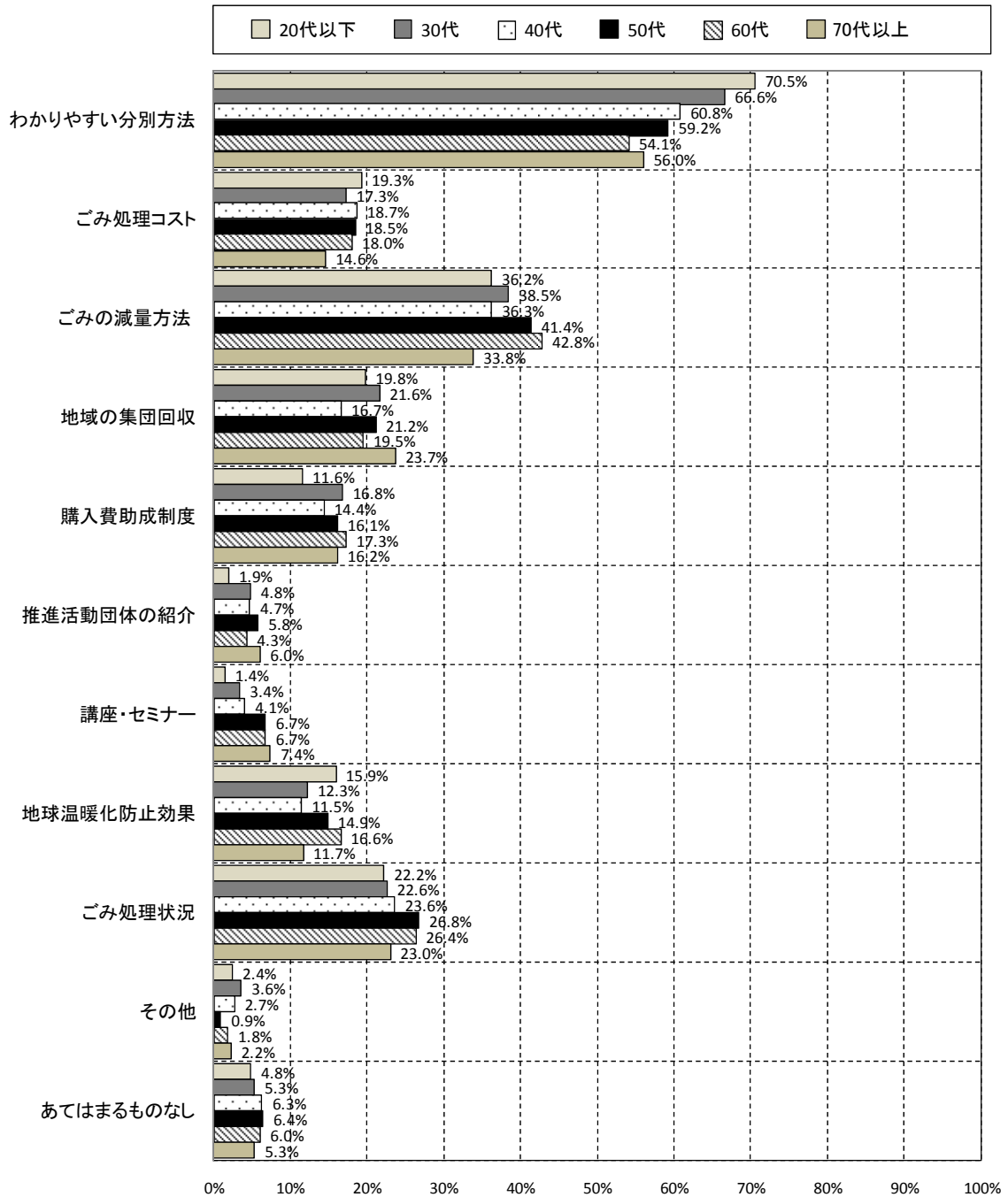


図 5-3-10 「どのような情報がほしいか」年代別回答率

問 21 イベント等において、使い捨てコップの代わりに洗って繰り返し再利用できるプラスチック製のカップ（リユースカップ）を使うことについて、あなたはどのように思いますか？（〇は1つ）

「リユースカップ」については、「ぜひ使うべきである」と「できれば使った方がよい」の計が51.0%、「どちらかというってほしくない」と「使うべきでない」の計が44.8%となっている。「賛成派」、「反対派」で、意見がわかれている。
市町別及び年代別についても同じ傾向であるが、「20代以下」と「30代」では、「ぜひ使うべきである」がやや高い。
分別行動別については、「分別にかかわらない」人は「使うべきでない」が高い。

① 単純集計

	選択肢	回答数	回答率
1	ぜひ使うべきである	396	12.6%
2	できれば使った方がよい	1,211	38.4%
3	どちらかというってほしくない	1,113	35.3%
	使うべきでない	299	9.5%
99	無回答	135	4.3%
	有効回答数	3,154	100.0%

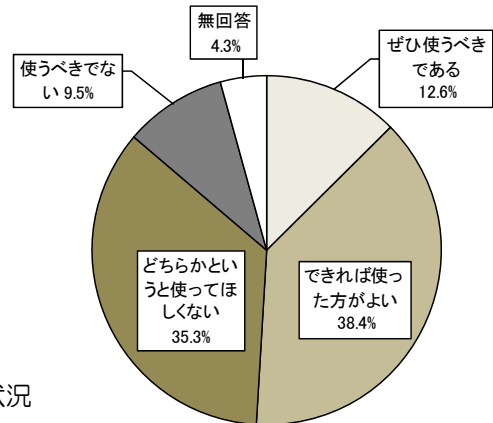


表 5-3-4 「リユースカップを使うことについて」回答状況

図 5-3-11 「リユースカップを使うことについて」回答率

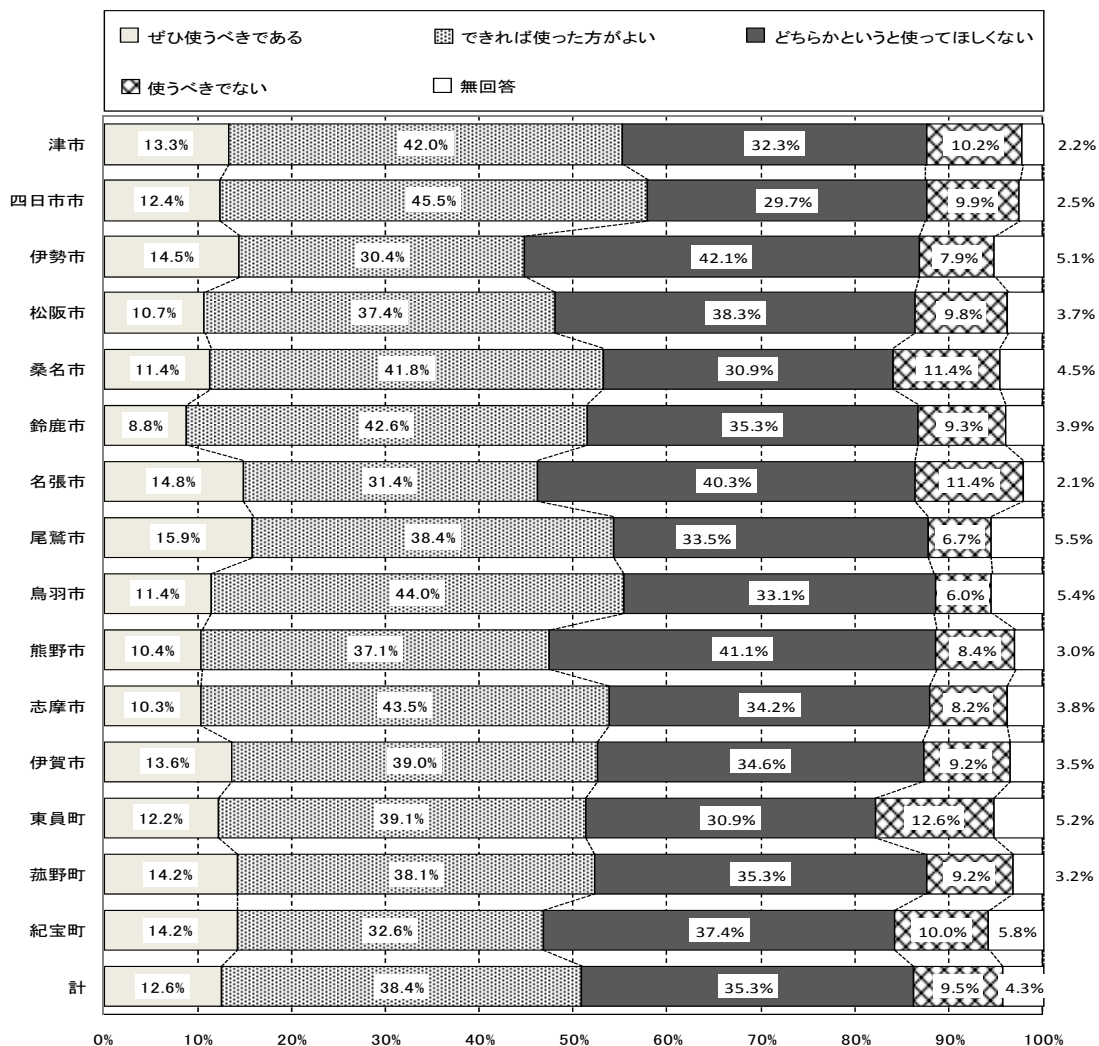


図 5-3-12 「リユースカップを使うことについて」市町別回答率

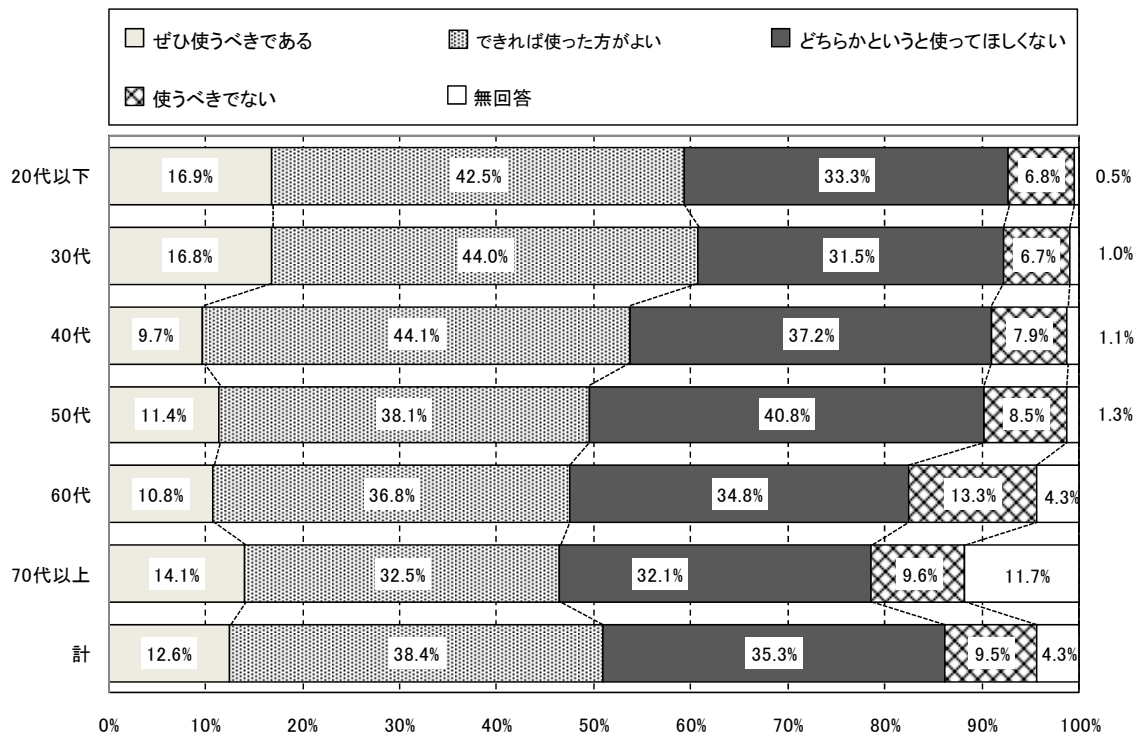


図 5-3-13 「リユースカップを使うことについて」年代別回答率

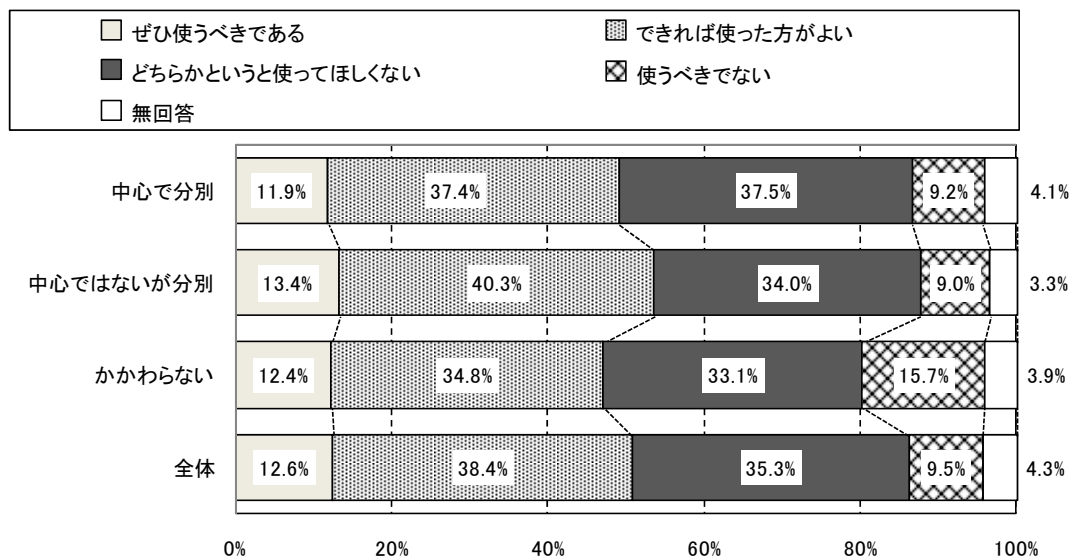


図 5-3-14 「リユースカップを使うことについて」別行動別回答率

問 22	(問 21 で「1 ぜひ使うべきである」「2 できれば使った方がよい」と答えた方のみ) 「ぜひ使うべきである」又は「できれば使った方がよい」と思う理由はなんですか？ (あてはまるものすべてに○)
------	--

「ぜひ使うべきである」又は「できれば使った方がよい」と思う理由については、「資源の有効利用につながるから(使い捨てコップはもったいない)」と「ごみの減量化につながるから」の回答率が約 8 割となっている。

市町別については、大きな偏りはみられない。

年代別については、「資源の有効利用につながるから(使い捨てコップはもったいない)」「ごみの減量化につながるから」は年代が低くなるほど高くなる傾向にある。

分別行動別については、どの項目も分別にかかわる人の回答率が高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	資源の有効利用につながるから(使い捨てコップはもったいない)	1,253	78.0%
2	ごみの減量化につながるから	1,354	84.3%
3	利用者にとっては特に大きな負担にならないから	490	30.5%
4	環境問題への意識向上に役立つから	696	43.3%
5	リユースカップで飲む方がおいしく感じられるから	31	1.9%
6	その他	28	1.7%
7	特にない	3	0.2%
総回答数		3,855	239.9%
有効回答数		1,607	100.0%

表 5-3-5 「『ぜひ使うべきである』又は『できれば使った方がよい』理由」回答状況

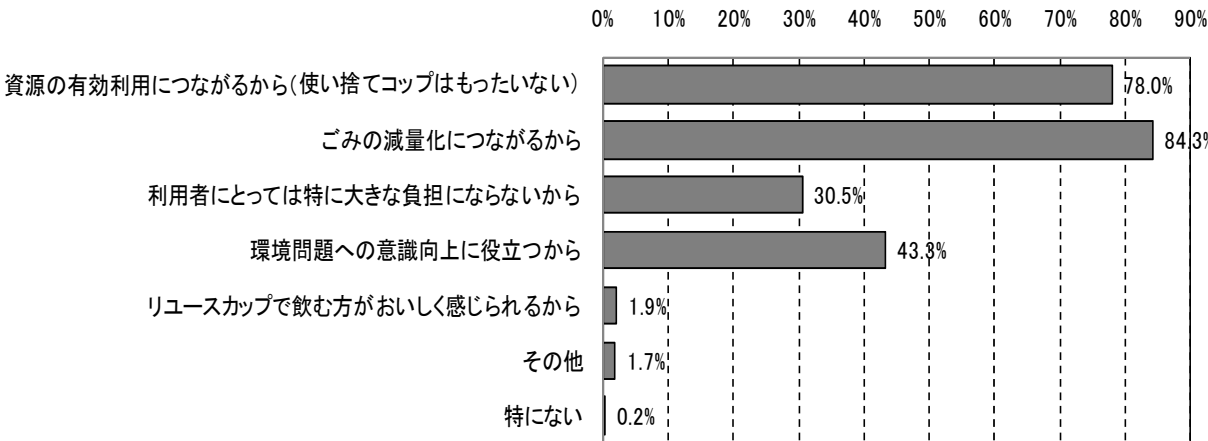


図 5-3-15 「『ぜひ使うべきである』又は『できれば使った方がよい』理由」回答率

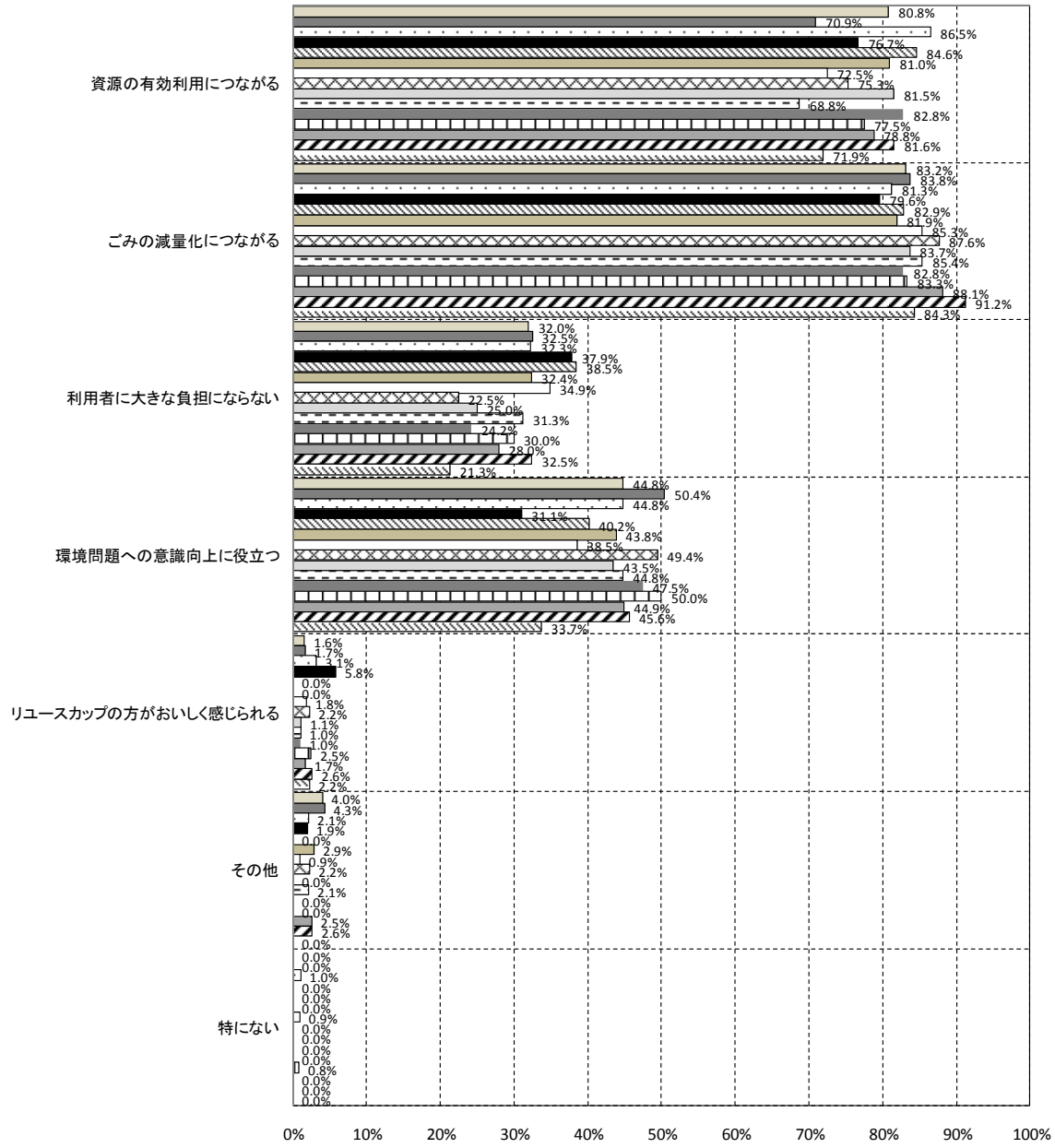
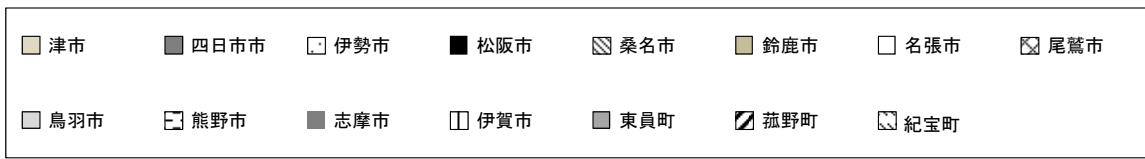


図 5-3-16 「『ぜひ使うべきである』又は『できれば使った方がよい』理由」市町別回答率

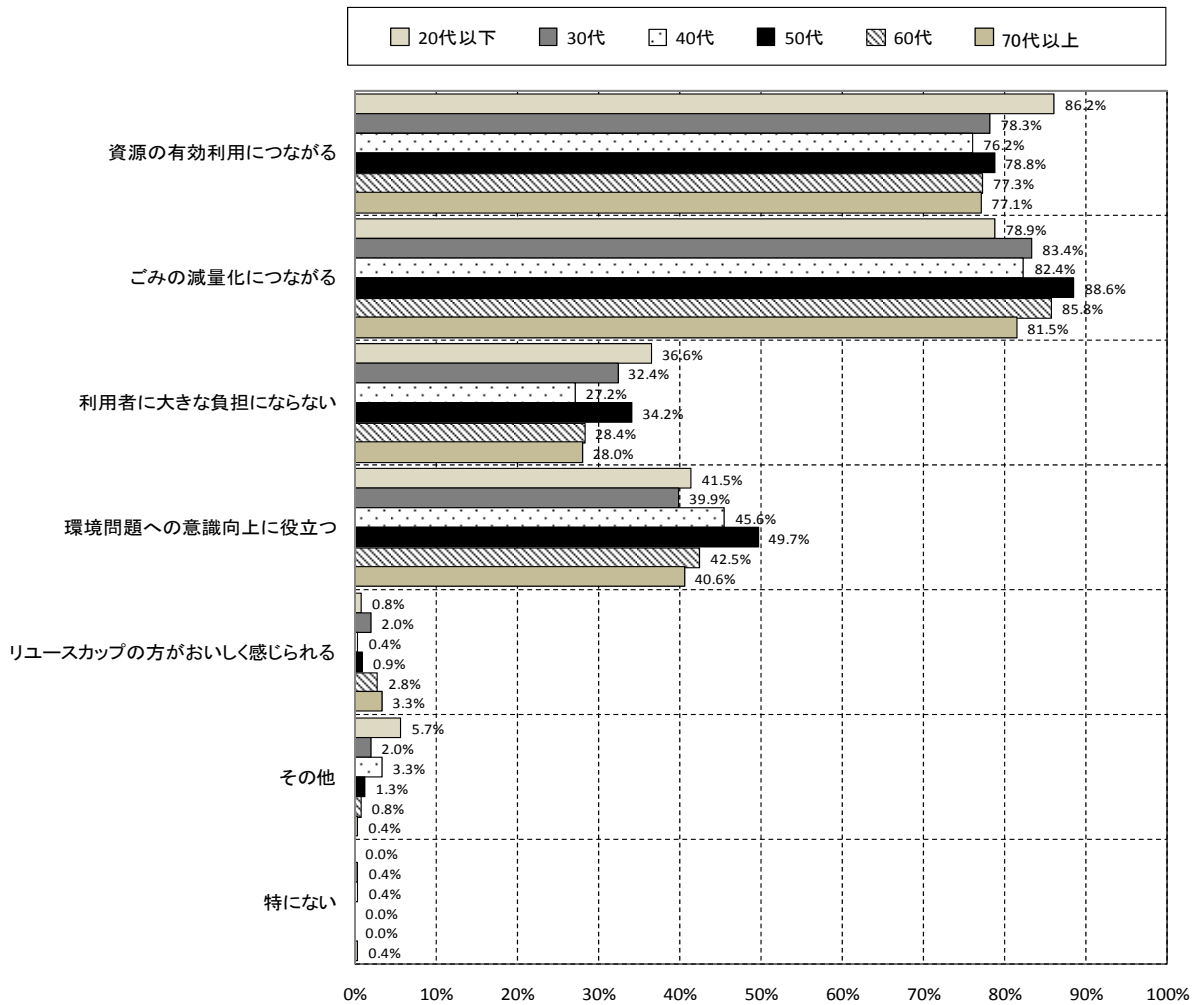


図 5-3-17 「『ぜひ使うべきである』又は『できれば使った方がよい』理由」年代別回答率

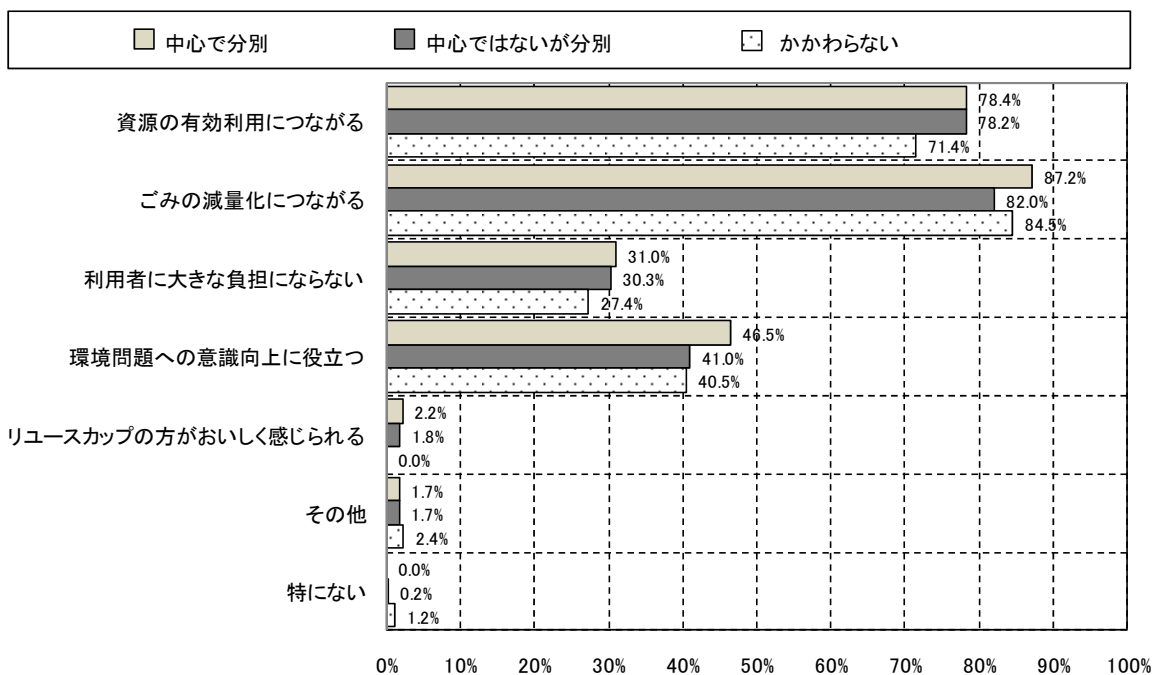


図 5-3-18 「『ぜひ使うべきである』又は『できれば使った方がよい』理由」分別行動別回答率

問 23	(問 21 で「3 どちらかというと思ってほしくない」「4 使うべきでない」と答えた方のみ) 「どちらかというと思ってほしくない」又は「使うべきでない」と思う理由はなんで すか? (あてはまるものすべてに○)
------	--

「どちらかというと思ってほしくない」又は「使うべきでない」と思う理由については、「衛生上の不安があるから」の回答率が89%と高くなっている。

市町別については、大きな偏りはみられない。

年代別については、「衛生上の不安があるから」は、50代から60代が高い。

分別行動別については、大きな偏りはみられない。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	指定場所への返却など、手間がかかるから	107	7.6%
2	商品の値上げにつながる可能性があるから	42	3.0%
3	衛生上の不安があるから	1,257	89.0%
4	リユースカップの回収率が低い場合や洗浄のことを考えると、使い捨てコップの方が結果的に環境への負荷が小さいと思うから	595	42.1%
5	使い捨てコップで飲む方がおいしく感じられるから	95	6.7%
6	その他	57	4.0%
7	特になし	9	0.6%
総回答数		2,162	153.1%
有効回答数		1,412	100.0%

表 5-3-6 「『どちらかというと思ってほしくない』又は『使うべきでない』理由」回答状況

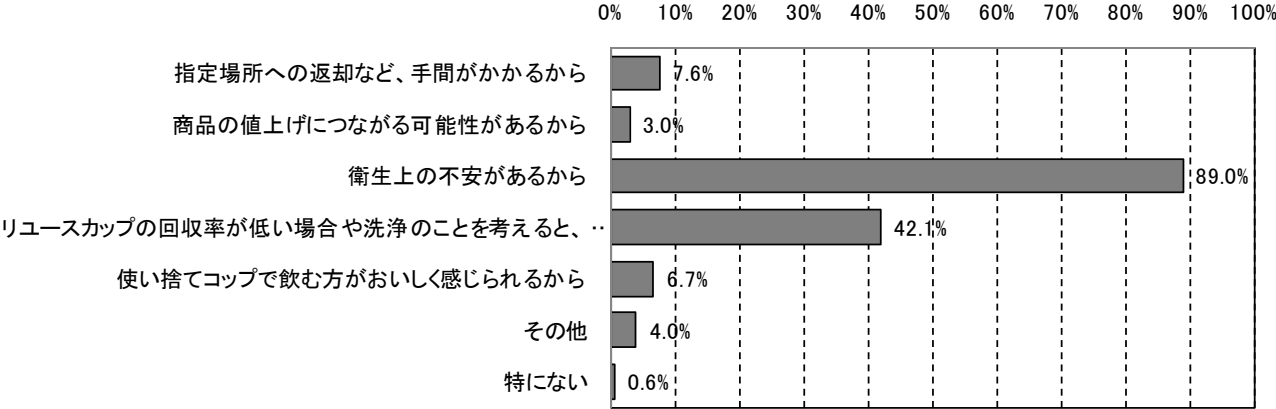


図 5-3-19 「『どちらかというと思ってほしくない』又は『使うべきでない』理由」回答率

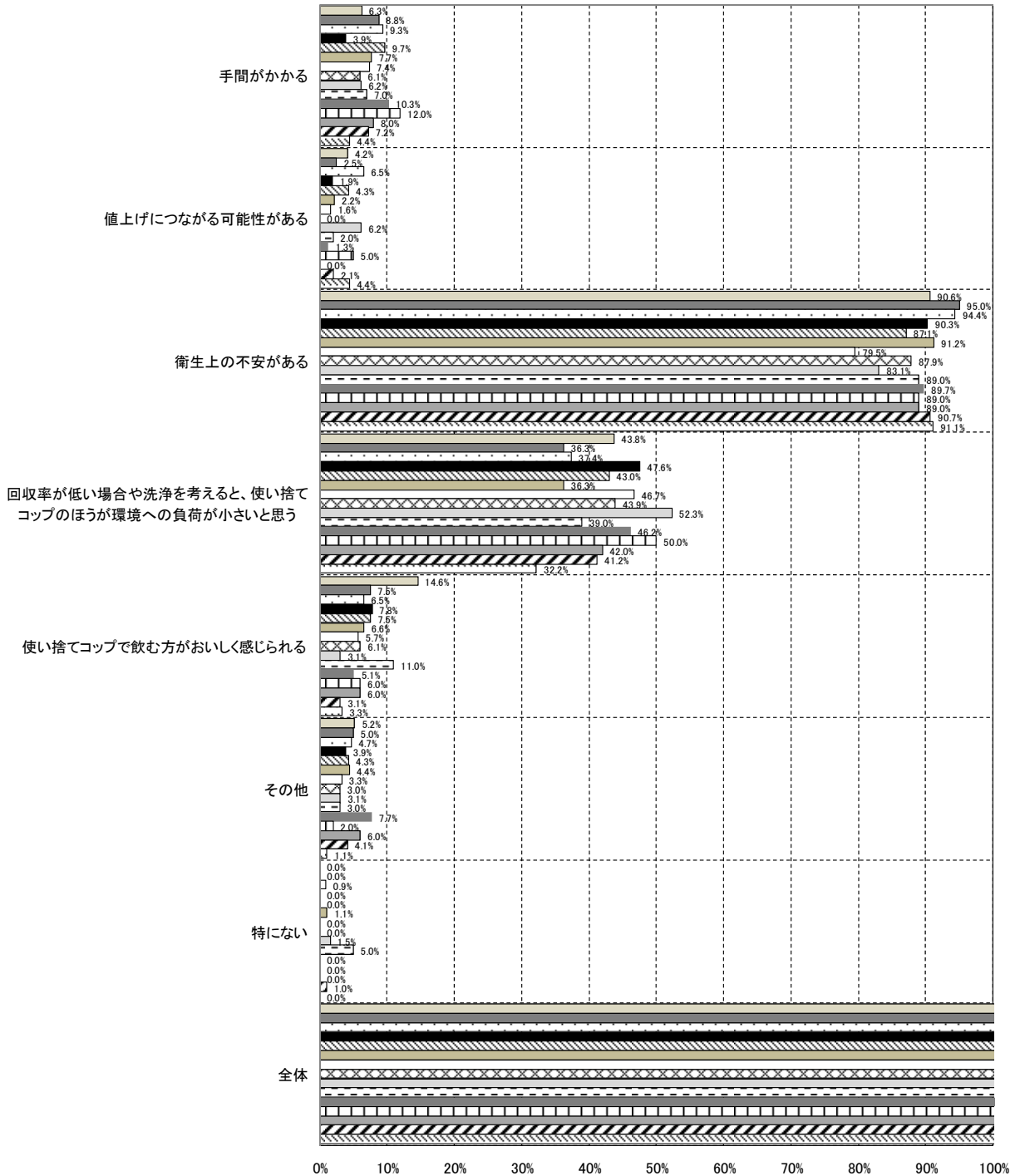
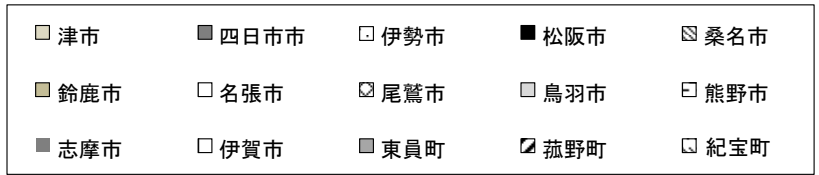


図 5-3-20 「『どちらかというって使ってほしくない』又は『使うべきでない』理由」市町別回答率

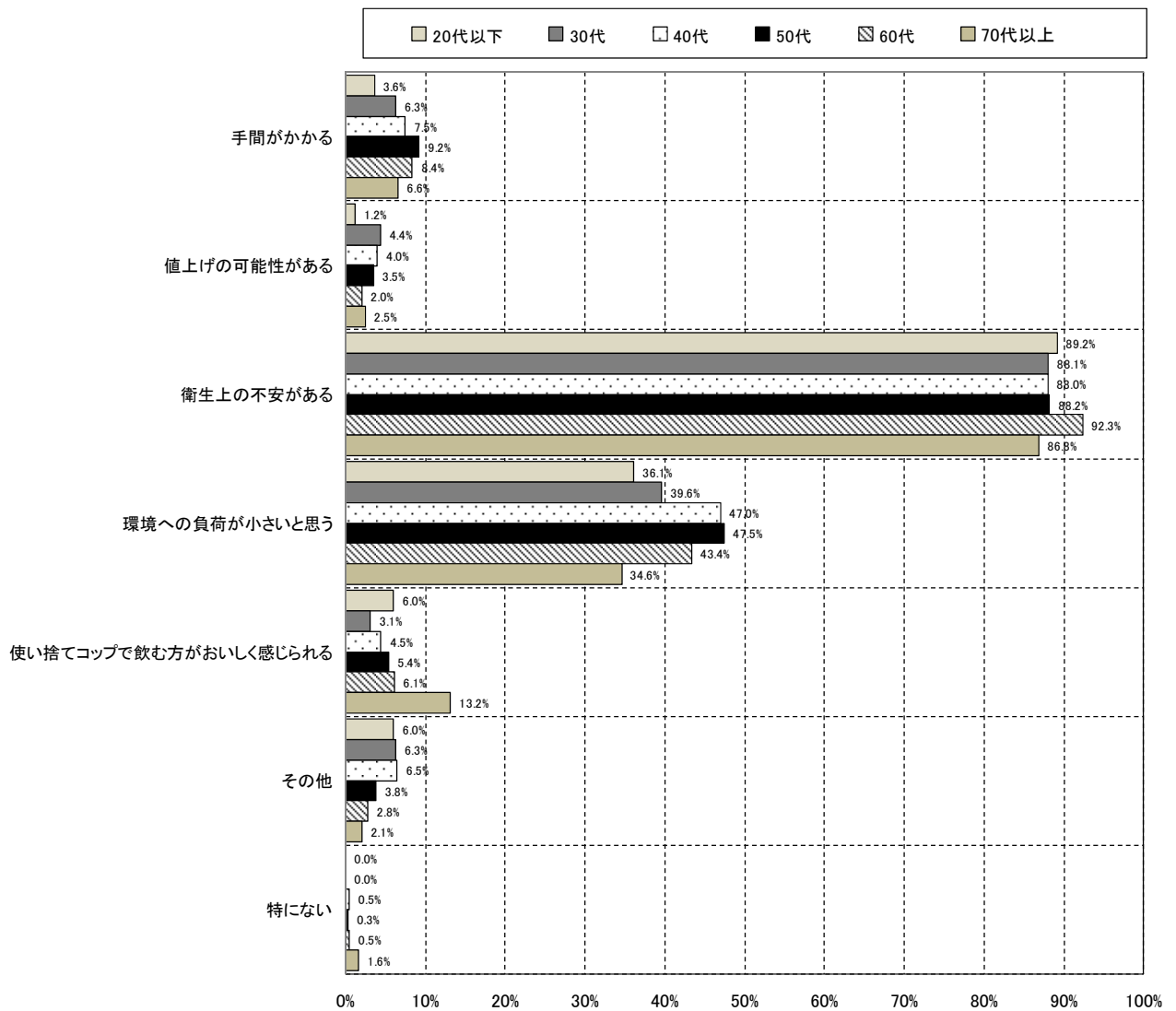


図 5-3-21 「『どちらかというってほしくない』又は『使うべきでない』理由」年代別回答率

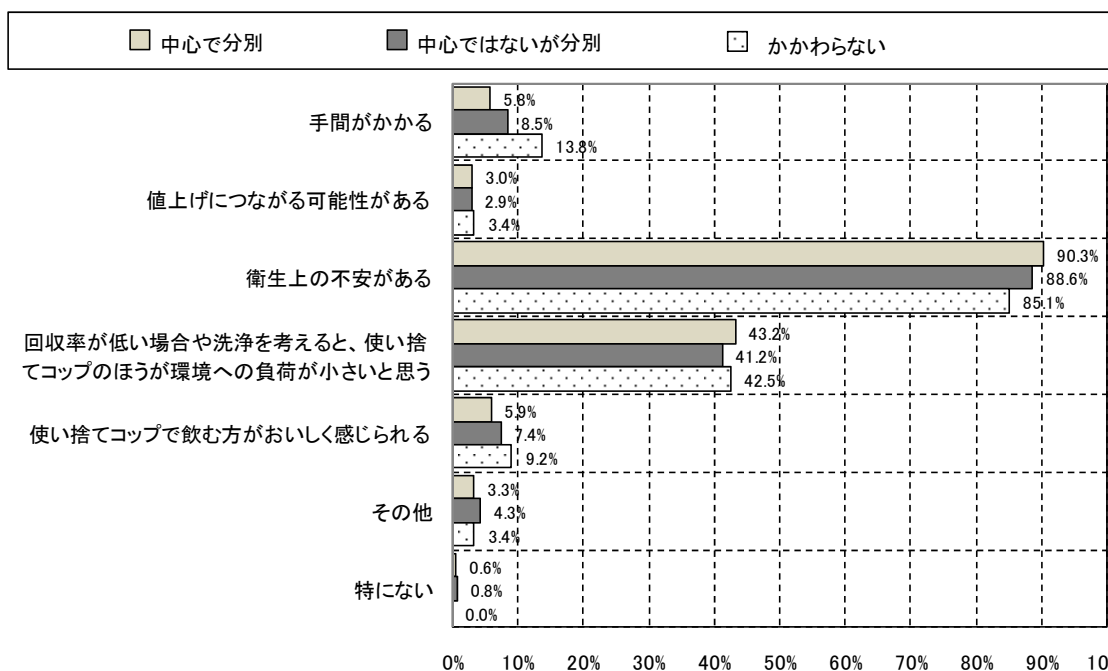


図 5-3-22 「『どちらかというってほしくない』又は『使うべきでない』理由」分別行動別回答率

問 24 家庭から出されるごみを市町が処理するのに、どれくらい費用がかかっているかをご存知ですか？（〇は1つ）

「ごみ処理費用を知っているか」については、「あまり知らない」、「まったく知らない」の計が88.3%となっている。
 市町別では、上記の計が84.2%から92.9%であり、大きな偏りはみられない。
 年代別では、上記の計が79.4%から94.2%であり、年代が低い方が知らない傾向がみられる。
 分別行動別では、上記の計が87.6%から89.9%となっており、特に「分別にかかわらない」では、「まったく知らない」が71.3%と非常に高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	知っている	81	2.6%
2	少し知っている	251	8.0%
3	あまり知らない	1106	35.1%
4	まったく知らない	1677	53.2%
99	無回答	39	1.2%
有効回答数		3,154	100.0%

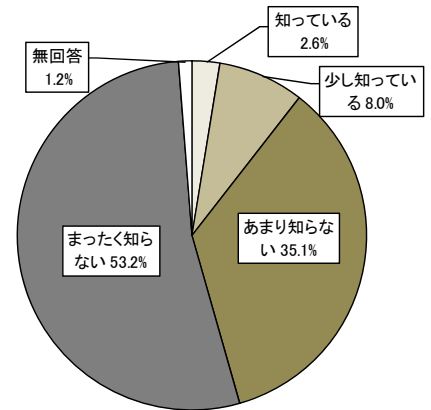


表 5-3-7 「ごみ処理費用を知っているか」回答状況

図 5-3-23 「ごみ処理費用を知っているか」回答率

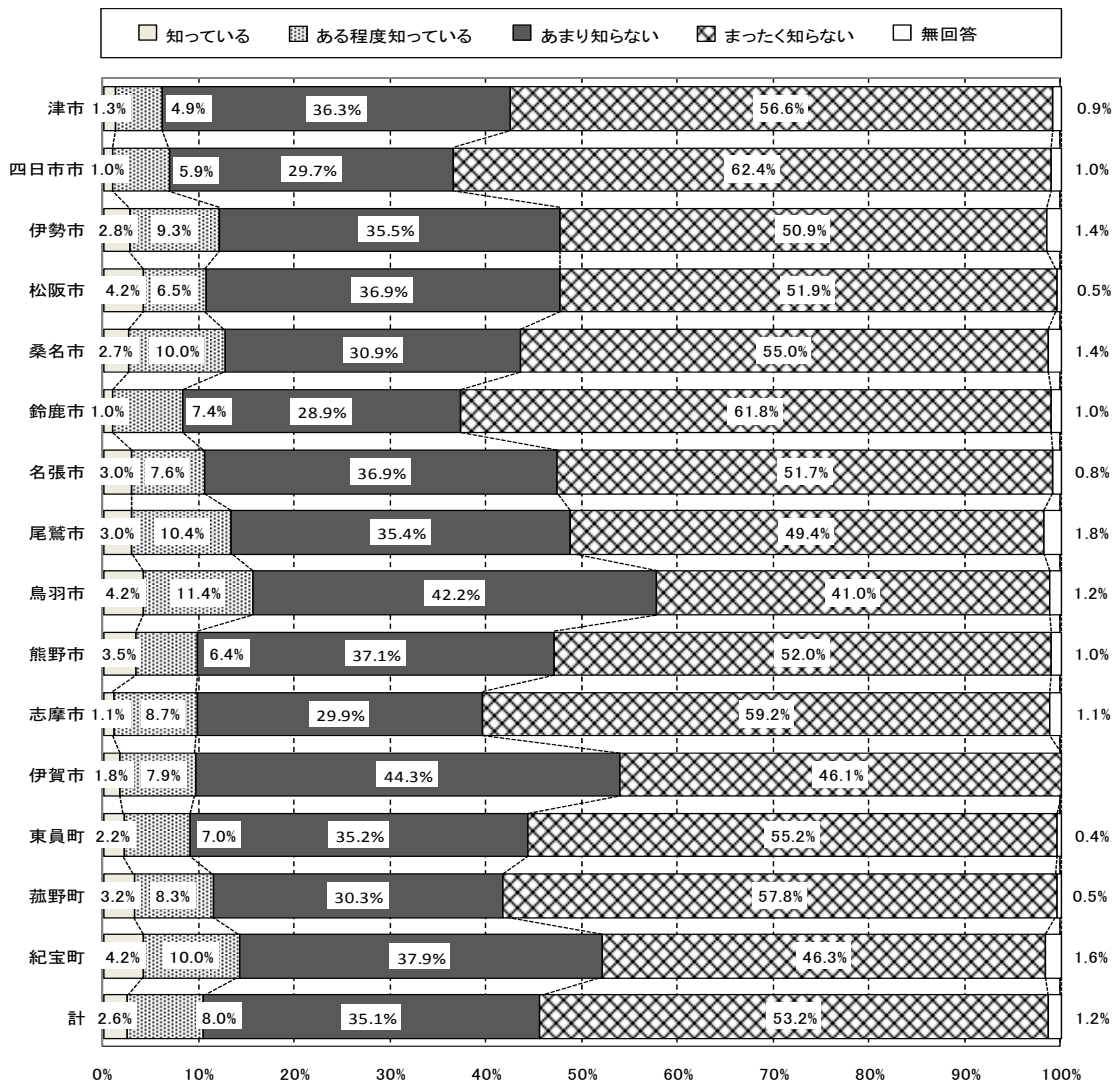


図 5-3-24 「ごみ処理費用を知っているか」市町別回答率

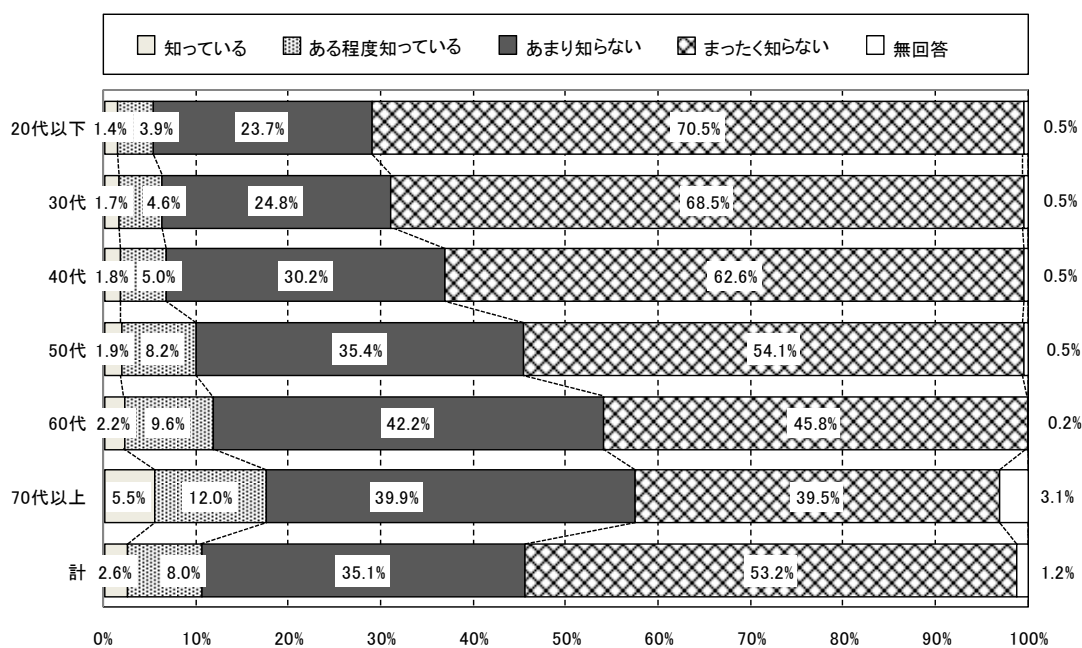


図 5-3-25 「ごみ処理費用を知っているか」年代別回答率

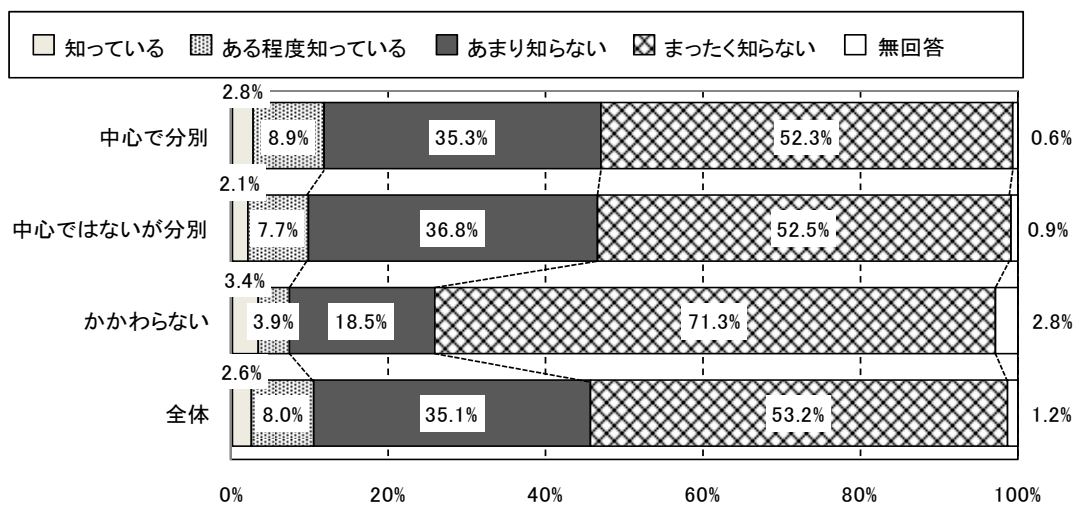


図 5-3-26 「ごみ処理費用を知っているか」分別行動別回答率

問 25	<p>増え続けるごみを減らすため、ごみ（可燃ごみ）の排出に料金を課す市町が増えています。</p> <p>税金を使ってごみ処理を行うことについてどう思いますか？（〇は1つ）</p>
------	---

「税金を使ってごみ処理を行うこと」については、「最低限のごみ処理は税金で行い、それ以上のごみ処理は量に応じ出す人が負担するのがよい」が46.8%と高くなっている。市町別では、上記が38.4%から51.8%であり、大きな偏りはみられない。年代別では、上記が41.5%から50.3%であり、大きな隔たりはみられない。分別行動別では、上記が37.1%から48.9%であり、「分別にかかわらない」ほど低くなっている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	ごみ処理は公共サービスなので、税金で処理するのがよい	773	24.5%
2	最低限のごみ処理は税金で行い、それ以上のごみ処理は量に応じ出す人が負担するのがよい	1,475	46.8%
3	ごみ処理費用はごみの量に応じて出す人が負担する仕組みとすることで、これまでごみ処理に使っていた税金を福祉や教育などにまわすのがよい	372	11.8%
4	よくわからない	403	12.8%
99	その他	53	1.7%
有効回答数		3,154	100.0%

表 5-3-8 「税金を使ってごみ処理を行うことについて」回答状況

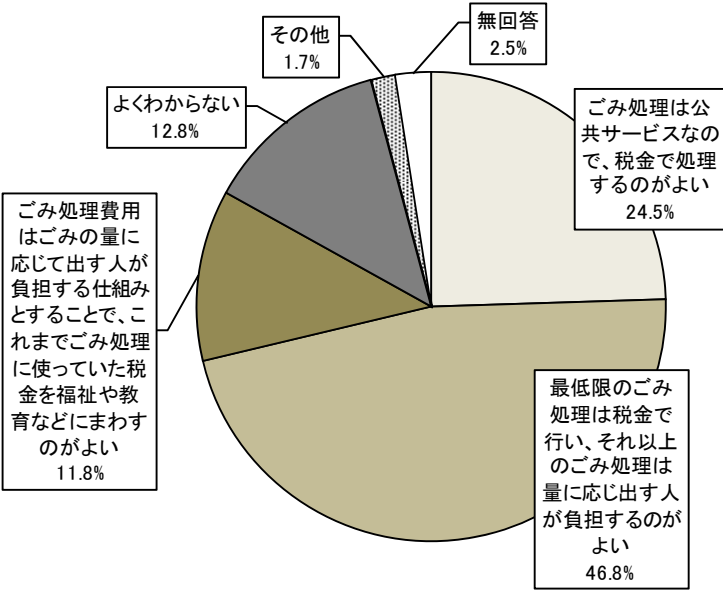


図 5-3-27 「税金を使ってごみ処理を行うことについて」回答率

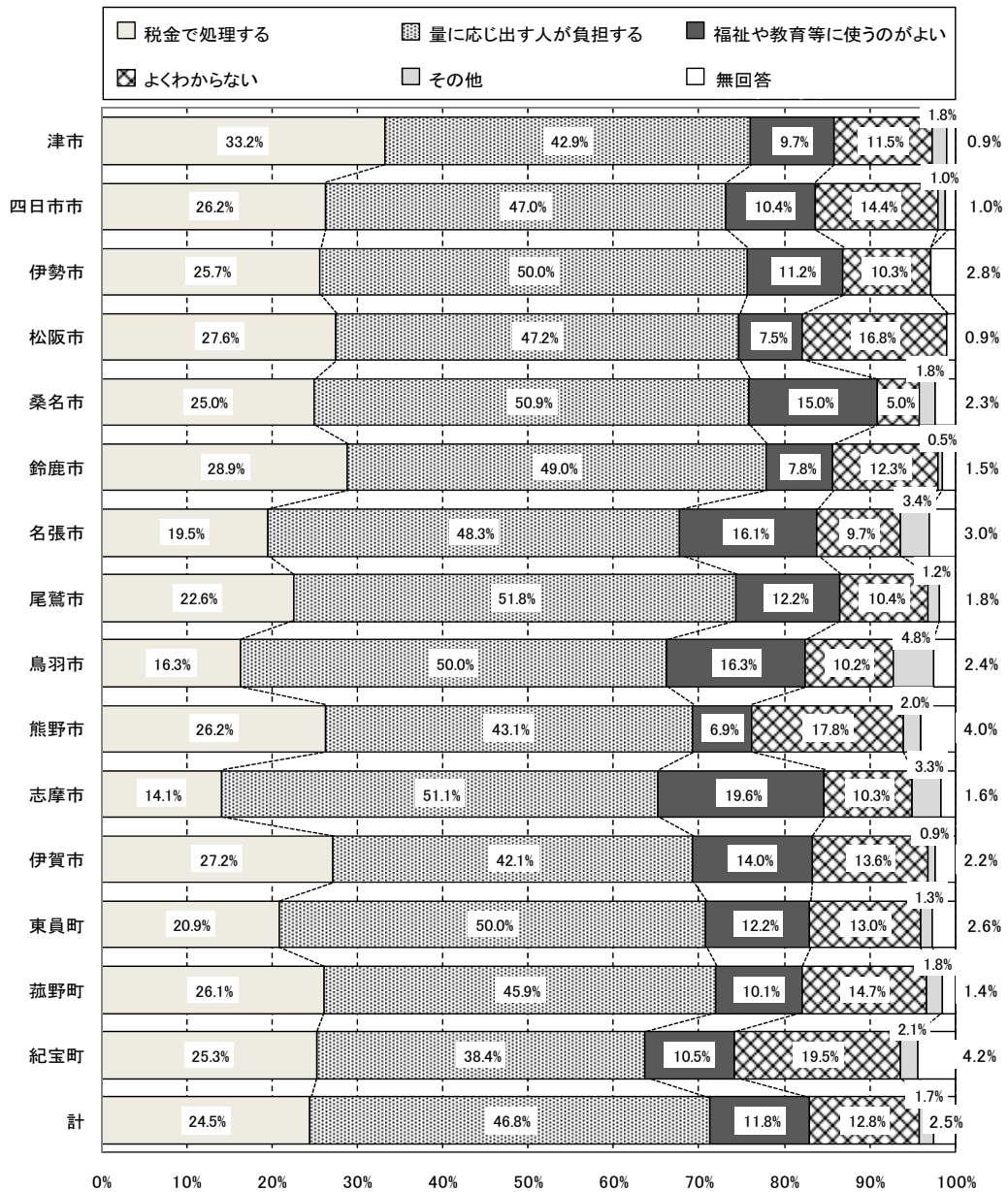


図 5-3-28 「税金を使ってごみ処理を行うことについて」市町別回答率

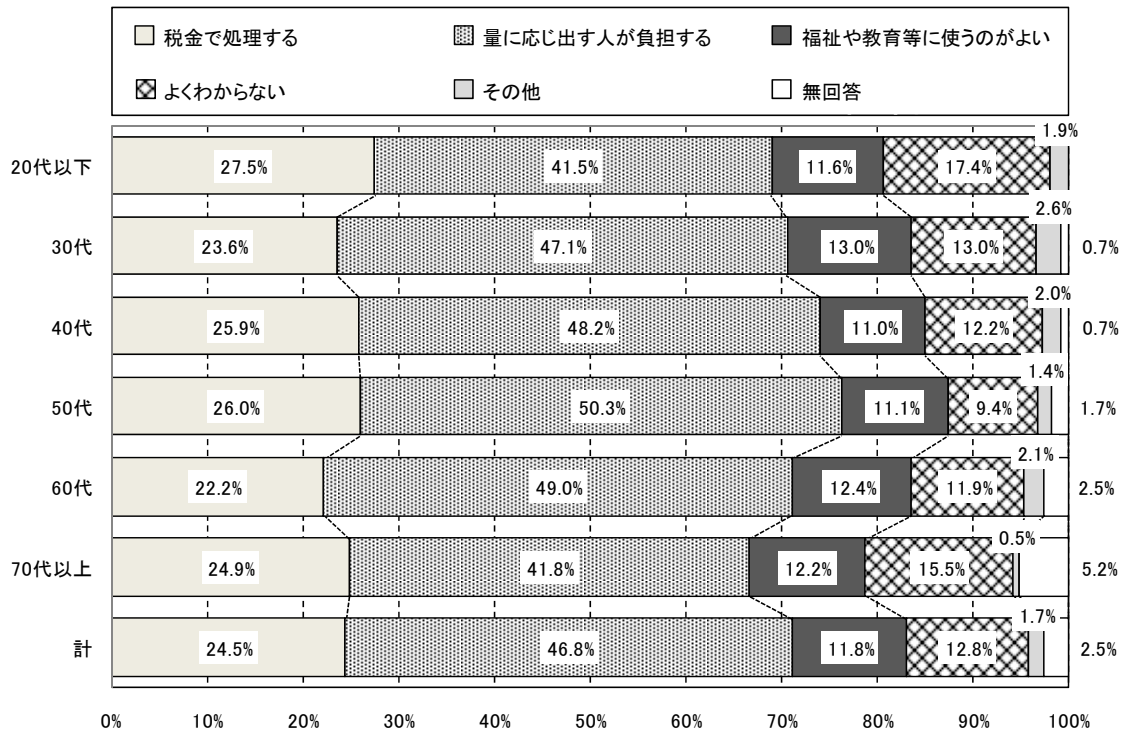


図 5-3-29 「税金を使ってごみ処理を行うことについて」年代別回答率

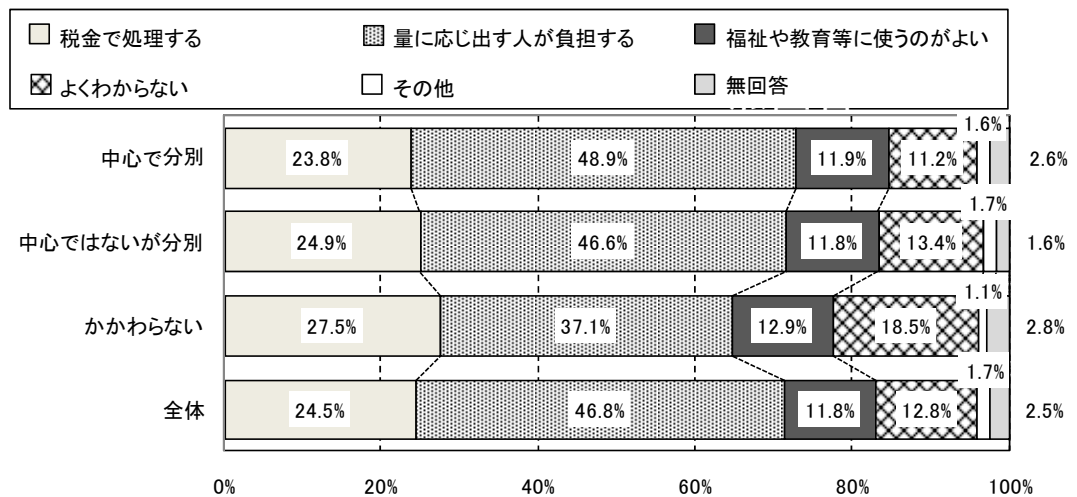


図 5-3-30 「税金を使ってごみ処理を行うことについて」分別行動別回答率

問 26 出したごみの量に応じて、多く出した者が多く負担するごみの有料化についてどう思いますか？（〇は1つ）

「ごみの有料化」については、「賛成」と「どちらかという賛成」の計が 66.5%となっている。
 市町別では、上記の計が 56.8%から 81.5%であり、志摩市では 8 割以上（81.5%）を占めている。
 年代別では、上記の計が 65.2%から 68.0%であり、大きな隔たりはみられない。
 分別行動別では、上記の計が 61.2%から 67.8%となっており、分別に関わる人ほど大きくなっている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	賛成	744	23.6%
2	どちらかという賛成	1,353	42.9%
3	どちらかという反対	644	20.4%
4	反対	309	9.8%
5	無回答	104	3.3%
有効回答数		3,154	100.0%

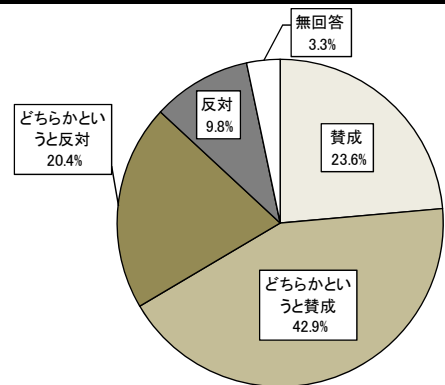


表 5-3-9 「ごみの有料化について」回答状況

図 5-3-31 「ごみの有料化について」回答率

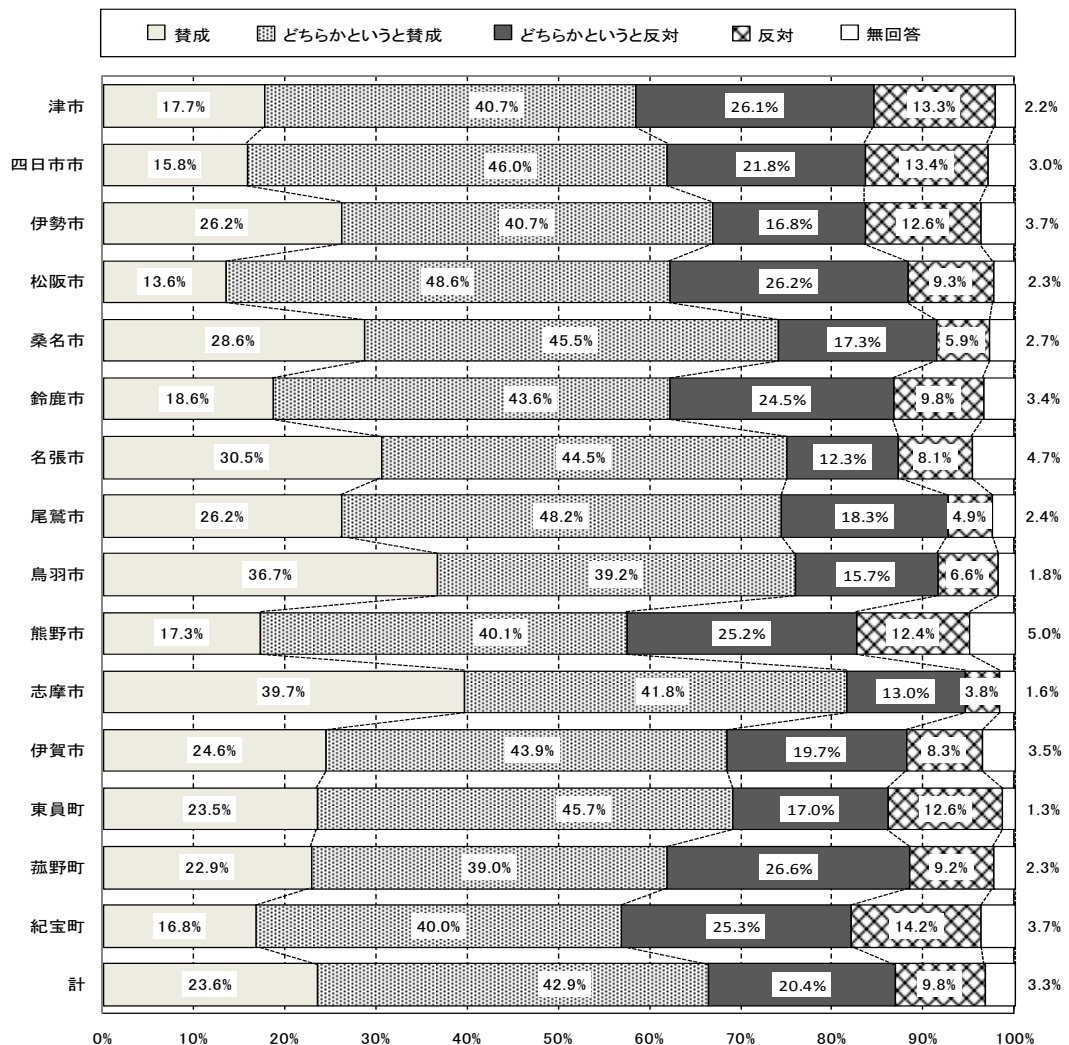


図 5-3-32 「ごみの有料化について」市町別回答率

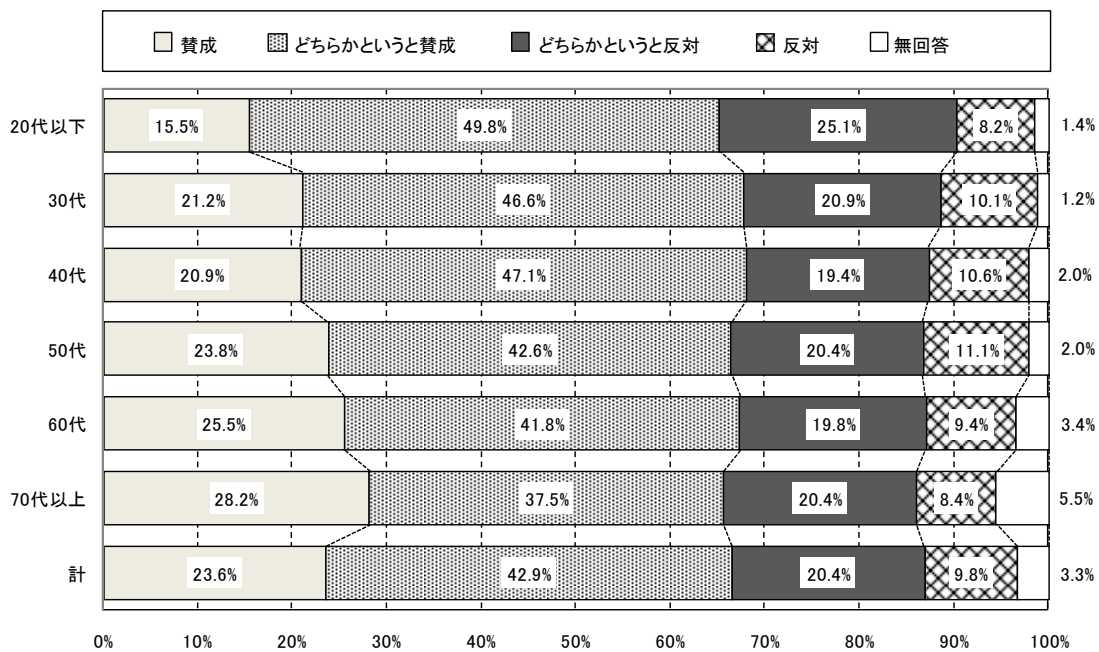


図 5-3-33 「ごみの有料化について」年代別回答率

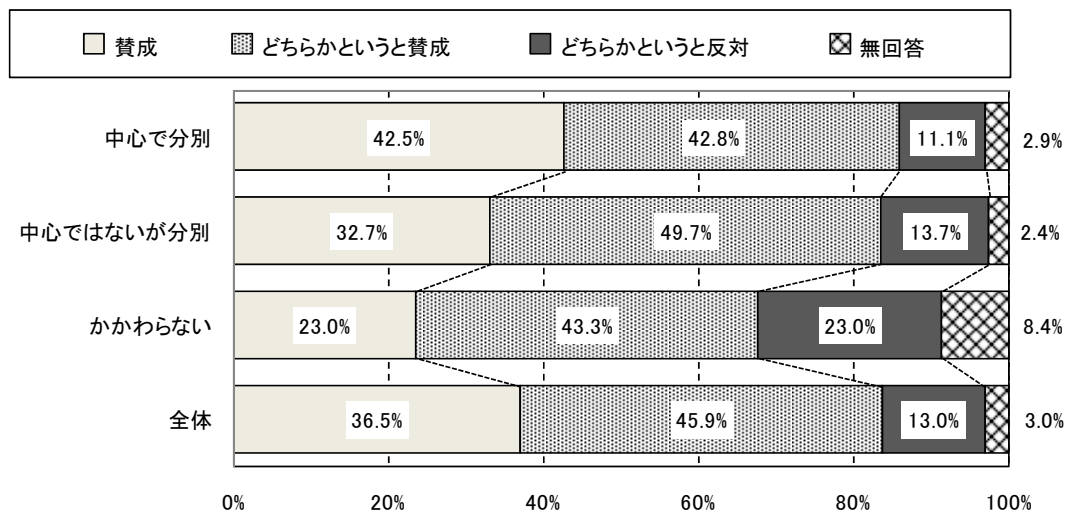


図 5-3-34 「ごみの有料化について」分別行動別回答率

問 27	ごみ有料化を検討する場合、どのようなことを重視すべきだと思いますか？（〇は3つまで）
------	--

「有料化を検討する場合、重視すべきこと」については、「家計への負担が少ない料金とすること」の回答率が一番高く52.0%となっており、次いで「ルール違反（不法投棄など）を許さないこと」（42.2%）、「ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること」（36.8%）となっている。

市町別については、大きな隔たりはみられない。

年代別については、「家計への負担が少ない料金とすること」が「70代以上」の42.6%から「20代以下」の63.3%と年代が低いほど高くなっている。

分別行動別では、「家計への負担が少ない料金とすること」は「かかわらない」が高く、60.7%になっている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	ごみを多く出す人ほどたくさん支払う公平なくみとすること	1,092	34.6%
2	家計への負担が少ない料金とすること	1,641	52.0%
3	ごみ減量に効果があるよう、ごみを出すたびにある程度の負担が感じられる料金とすること	404	12.8%
4	一人ひとりが取り組めるごみ減量メニューを配布すること	669	21.2%
5	有料化によって得られた成果をきちんと説明すること	1,017	32.2%
6	ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること	1,160	36.8%
7	ルール違反（不法投棄など）を許さないこと	1,332	42.2%
8	有料化だけでなく、他のごみを減らすための方法を併せて検討すること	715	22.7%
9	有料化により減ったごみ処理分の税金を、他の用途（福祉や教育等）に使うことを検討すること	338	10.7%
10	その他	59	1.9%
総回答数		8,427	267.2%
有効回答数		3,154	100.0%

表 5-3-10 「有料化を検討する場合、重視すべきこと」回答状況

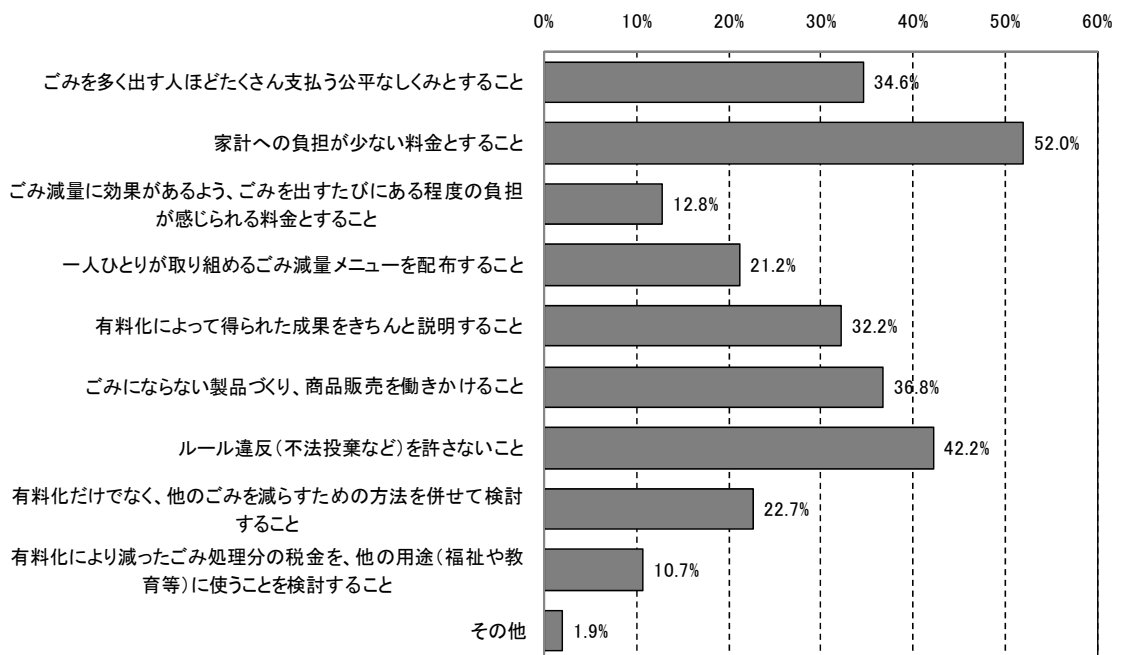


図 5-3-35 「有料化を検討する場合、重視すべきこと」回答率

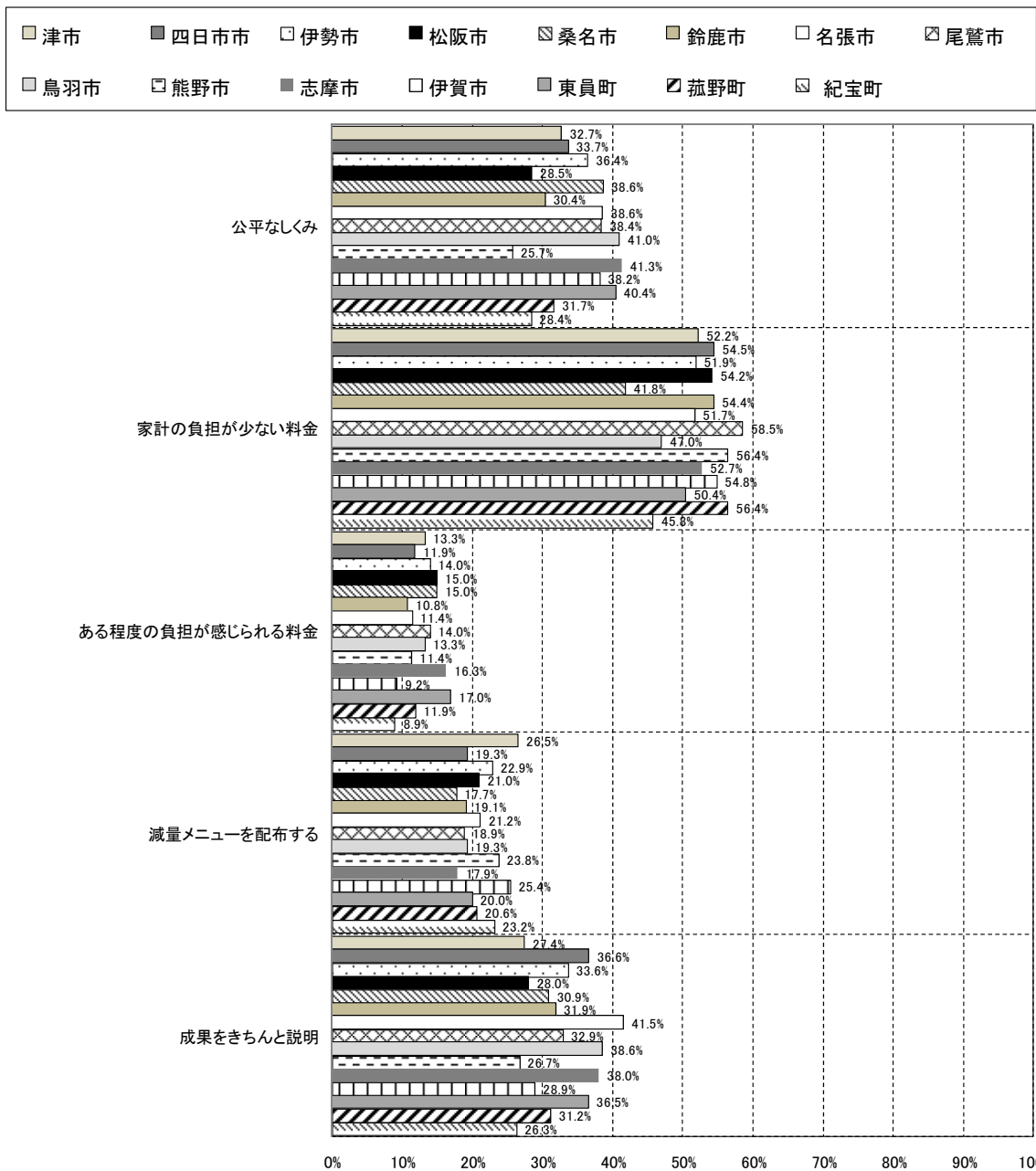


図 5-3-36 (1/2) 「有料化を検討する場合、重視すべきこと」市町別回答率

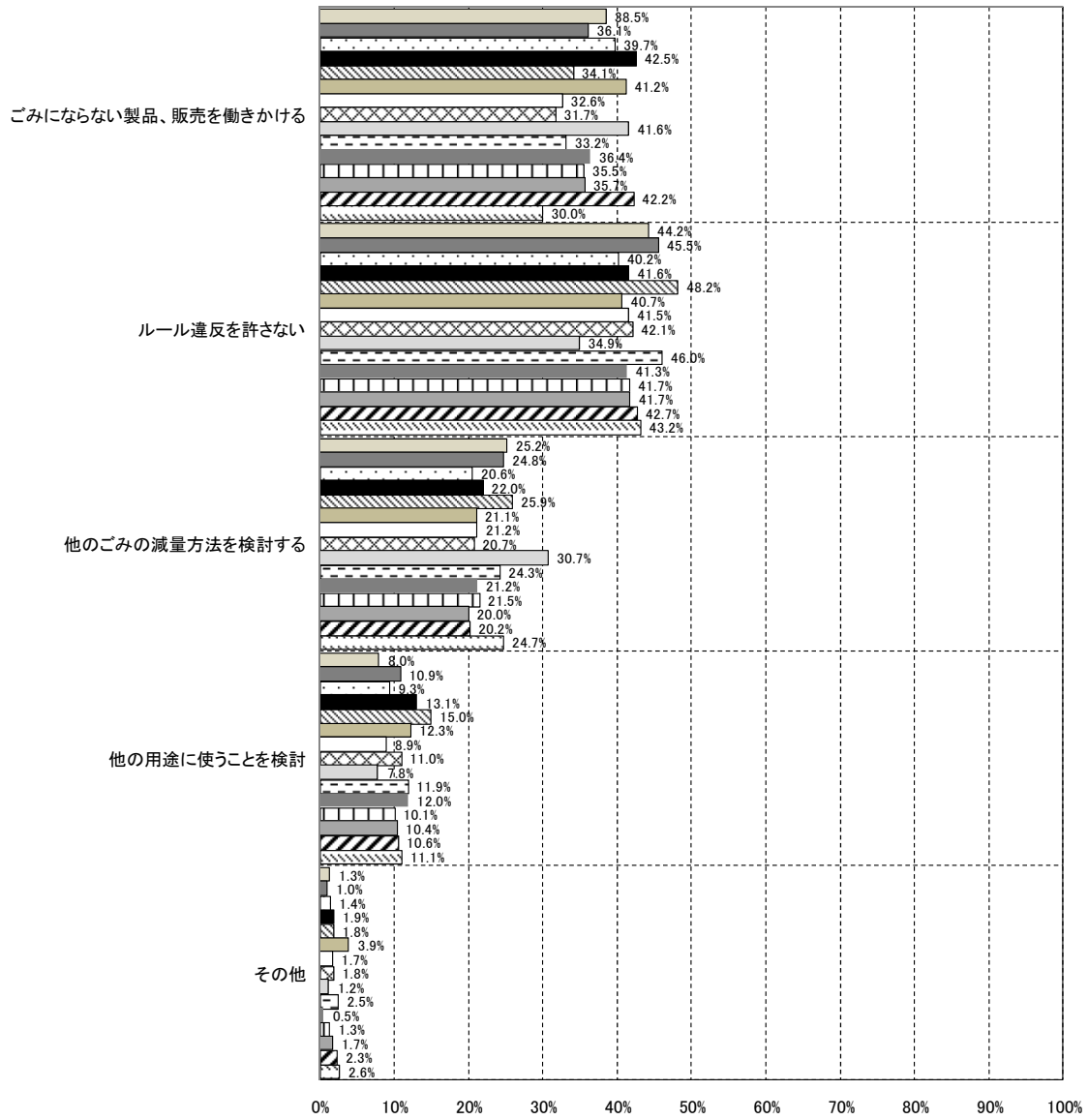
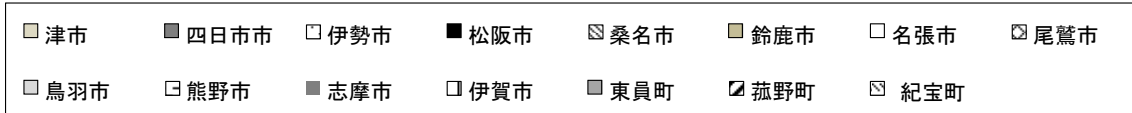


図 5-3-36 (2/2) 「有料化を検討する場合、重視すべきこと」市町別回答率

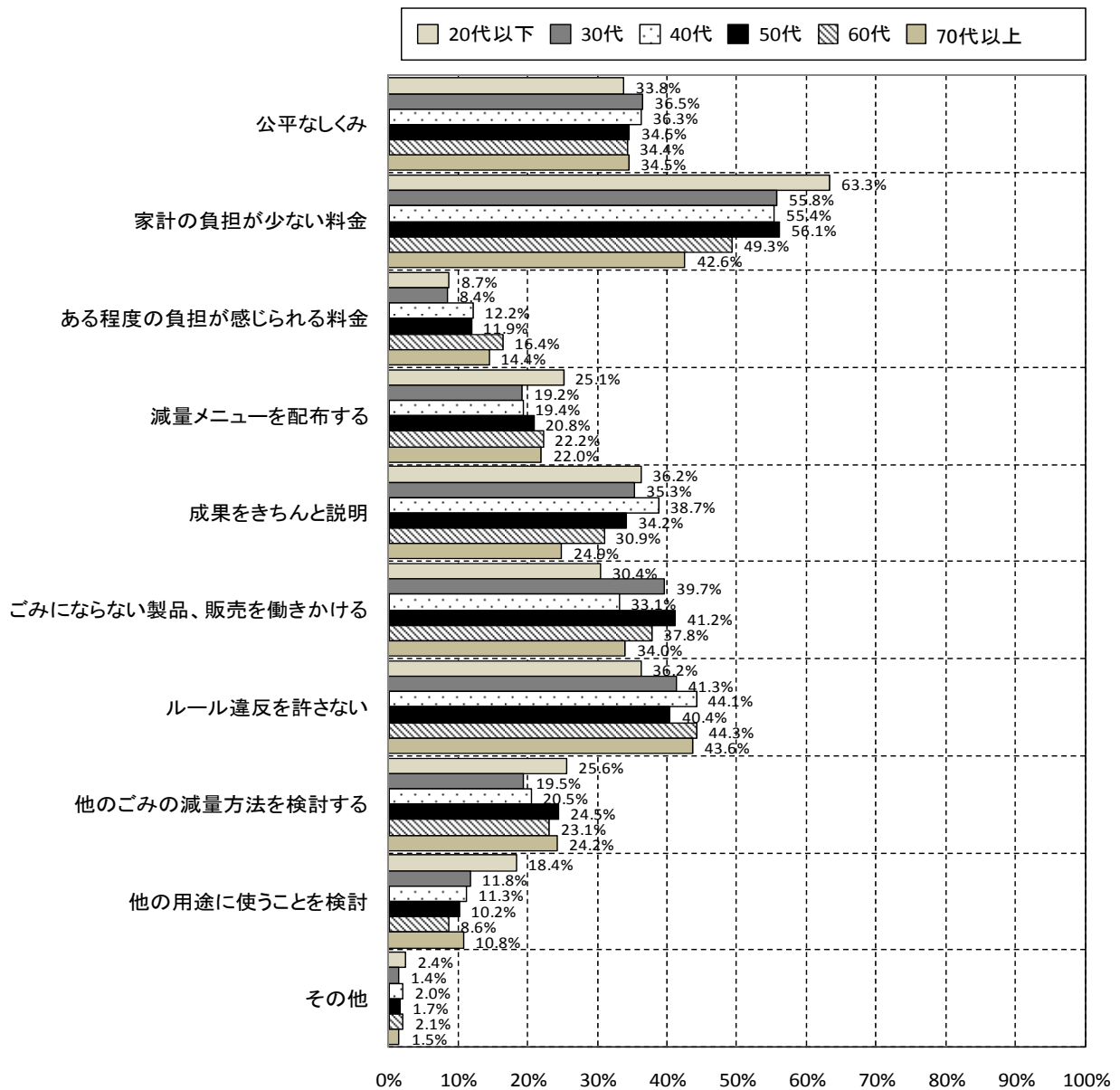


図 5-3-37 「有料化を検討する場合、重視すべきこと」年代別回答率

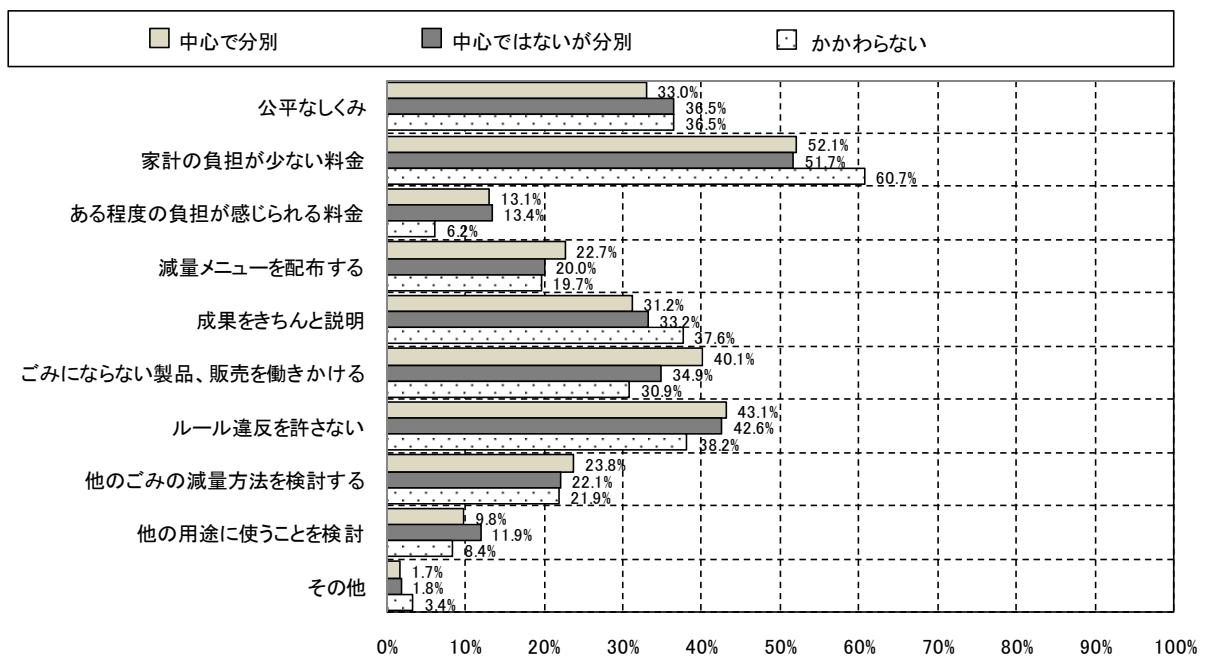


図 5-3-38 「有料化を検討する場合、重視すべきこと」分別行動別回答率

問 28 ごみ処理を有料化した市町では、料金を「指定のごみ袋」を購入するという形で支払うことが多く、「指定のごみ袋」は普通のごみ袋に比べて値段が高くなっています。有料化する場合、その料金としていくらまでなら受け入れられますか？（〇は1つ）

「有料化する場合、いくらまで受け入れられるか」については、「ごみ袋大（45リットル）が1袋10円」の回答率が55.6%と一番高くなっており、次いで「ごみ袋大が一袋50円程度」が28.5%となっている。全体的に安い料金の回答が多くなっている。名張市、鳥羽市及び志摩市については、「ごみ袋大が一袋50円程度」が一番高く、それ以外の市町では「ごみ袋大が一袋10円」が一番高くなっている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	ごみ袋大（45リットル）が1袋10円	1,755	55.6%
2	ごみ袋大が一袋50円程度	900	28.5%
3	ごみ袋大が一袋100円程度	258	8.2%
4	ごみ袋大が一袋200円程度	50	1.6%
5	それ以上	11	0.3%
6	無回答	180	5.7%
有効回答数		3,154	100.0%

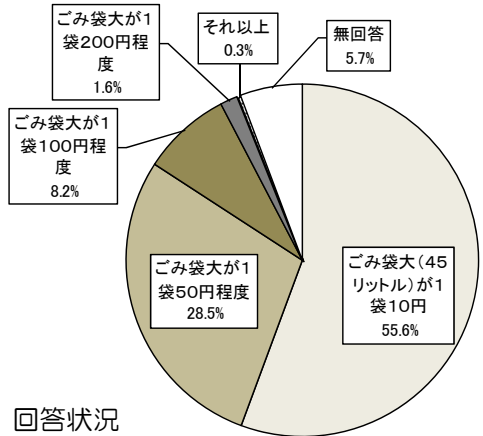


表 5-3-11 「有料化する場合、いくらまで受け入れられるか」回答状況

図 5-3-39 「有料化する場合、いくらまで受け入れられるか」回答率

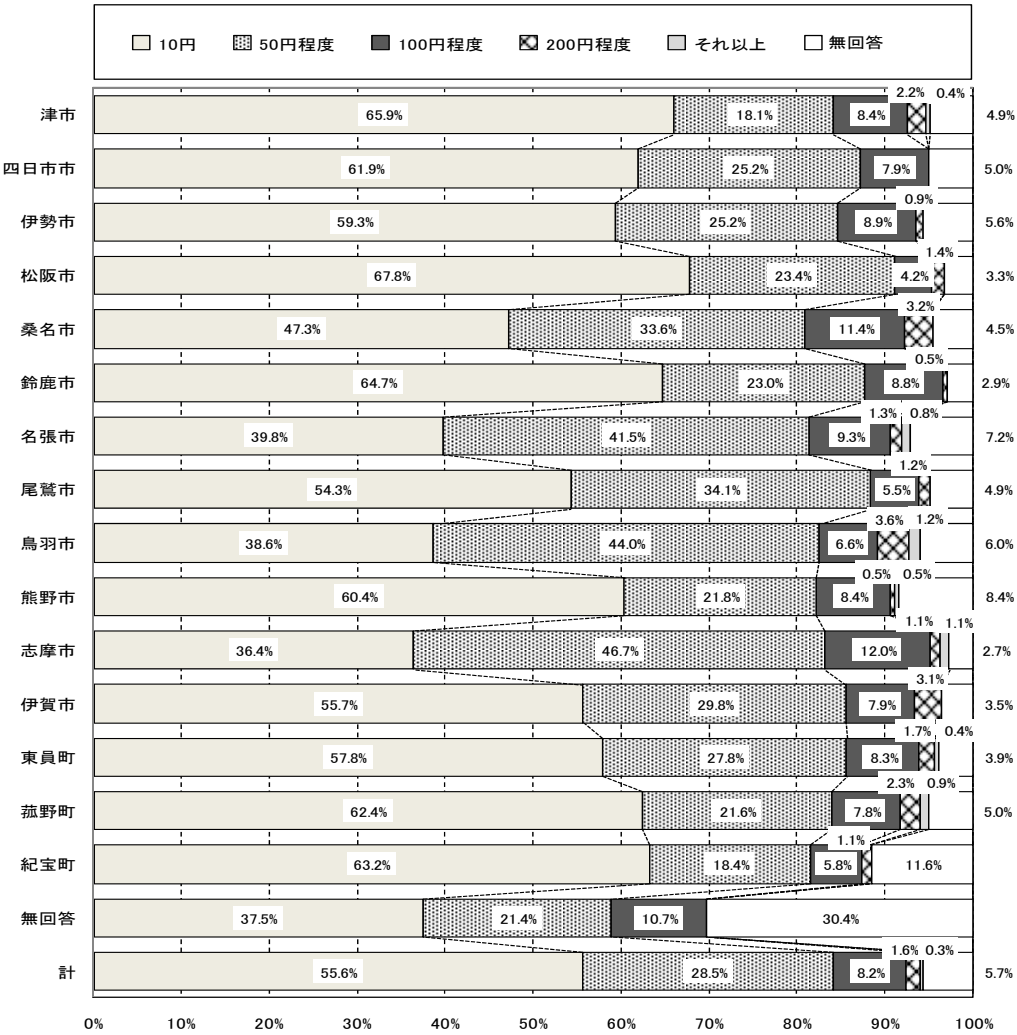


図 5-3-40 「有料化する場合、いくらまで受け入れられるか」市町別回答率

問 29	あなたの市町でごみの有料化が実施された場合、どのようにごみを減らしますか？ (あてはまるものすべてに○)
------	---

「有料化された場合、どのようにごみを減らすか」については、「買い物袋（マイバッグ）等を持参しレジ袋をもらわない」の回答率が一番高く 81.6%を占め、次いで「食事を食べ残さないようにする」が 70.4%、「食品は買いすぎないように注意する」が 66.3%、「台所ごみの水切りをする」が 65.1%となっている。

市町別については、大きな偏りはみられない。

年代別については、「詰め替え容器を使用した商品を買う」、「包装を断ったり、簡易包装を依頼する」、「不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりする」は年代が低いほど高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	台所ごみの水切りをする	2,052	65.1%
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋める	612	19.4%
3	台所ごみを堆肥化处理する	905	28.7%
4	紙くすなど少量のごみを庭や畑で焼却する	495	15.7%
5	買い物袋（マイバッグ）等を持参しレジ袋をもらわない	2,573	81.6%
6	詰め替え容器を使用した商品を買う	1,793	56.8%
7	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選ぶ	915	29.0%
8	包装を断ったり、簡易包装を依頼する	1,662	52.7%
9	食品は買いすぎないように注意する	2,092	66.3%
10	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにする	309	9.8%
11	食事を食べ残さないようにする	2,220	70.4%
12	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりする	872	27.6%
13	資源とごみの分別をより徹底する	1,686	53.5%
14	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用する	1,694	53.7%
15	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにする	649	20.6%
16	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにする	1,253	39.7%
17	マイ箸を携帯する	625	19.8%
18	その他	49	1.6%
19	これらいずれもしない	12	0.4%
総回答数		22,468	712.4%
有効回答数		3,154	100.0%

表 5-3-12 「有料化された場合、どのようにごみを減らすか」回答状況

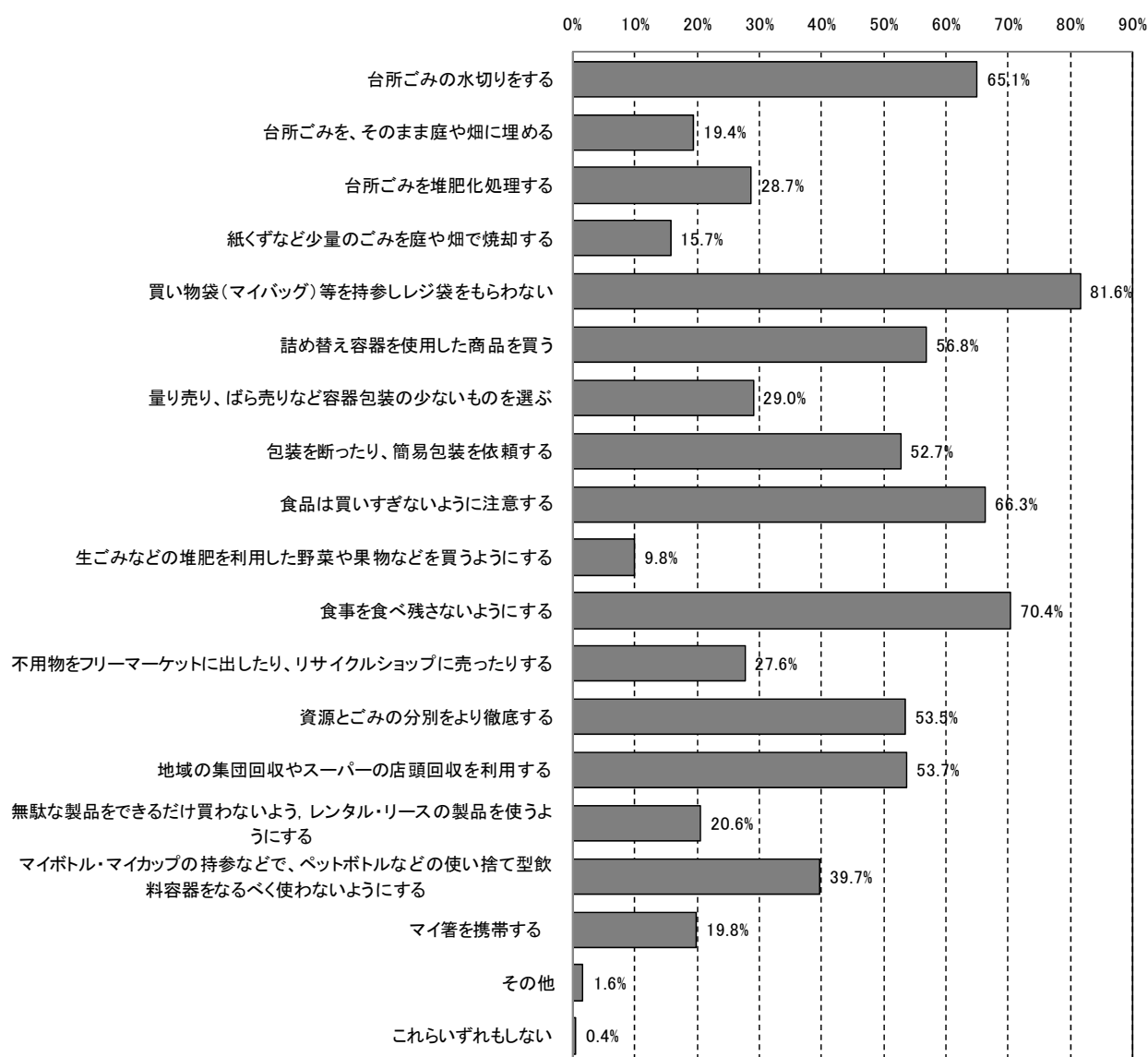


図 5-3-41 「有料化された場合、どのようにごみを減らすか」回答率

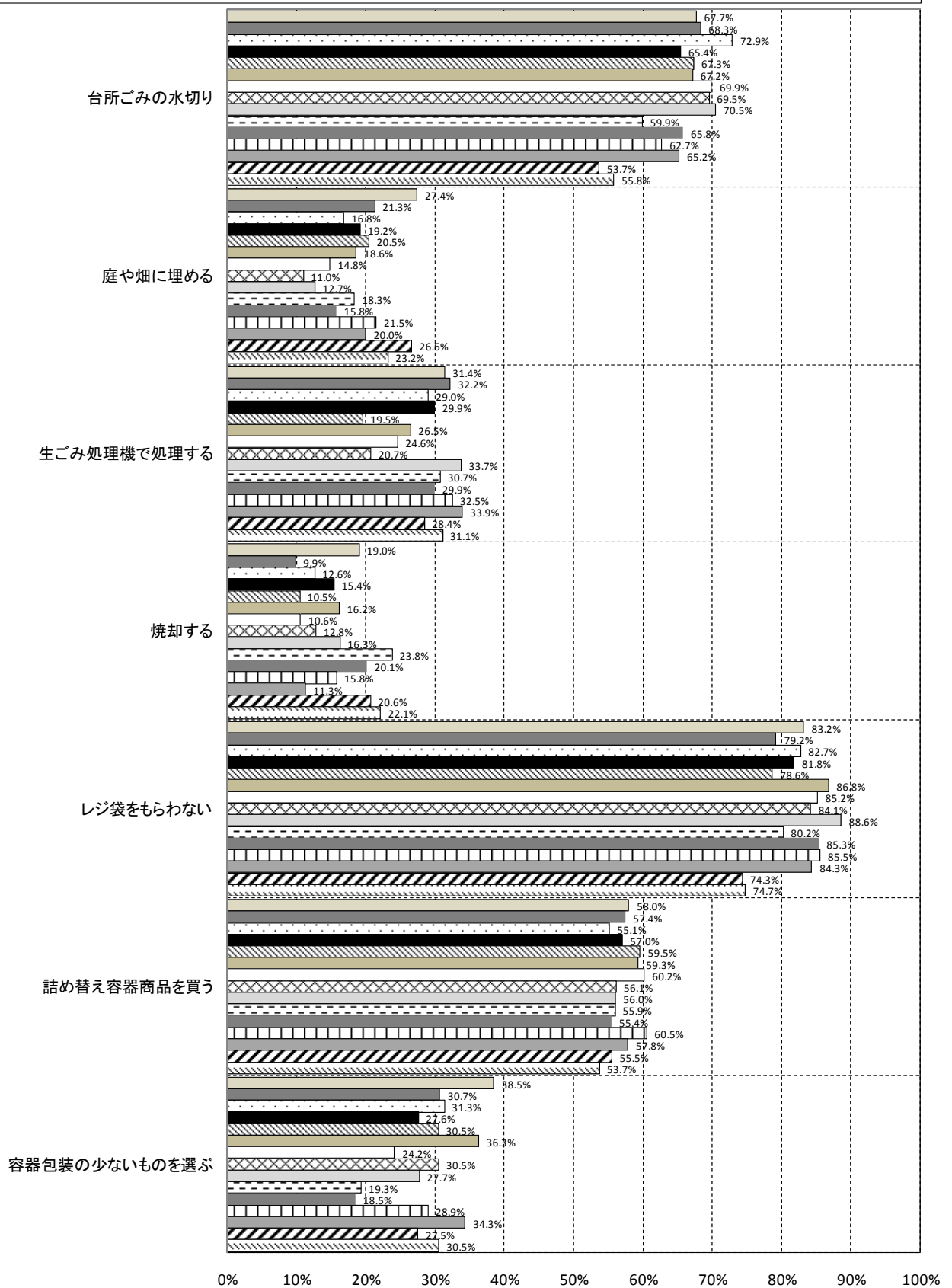
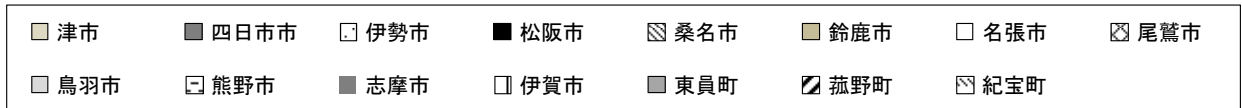


図 5-3-42 (1/3) 「有料化された場合、どのようにごみを減らすか」市町別回答率

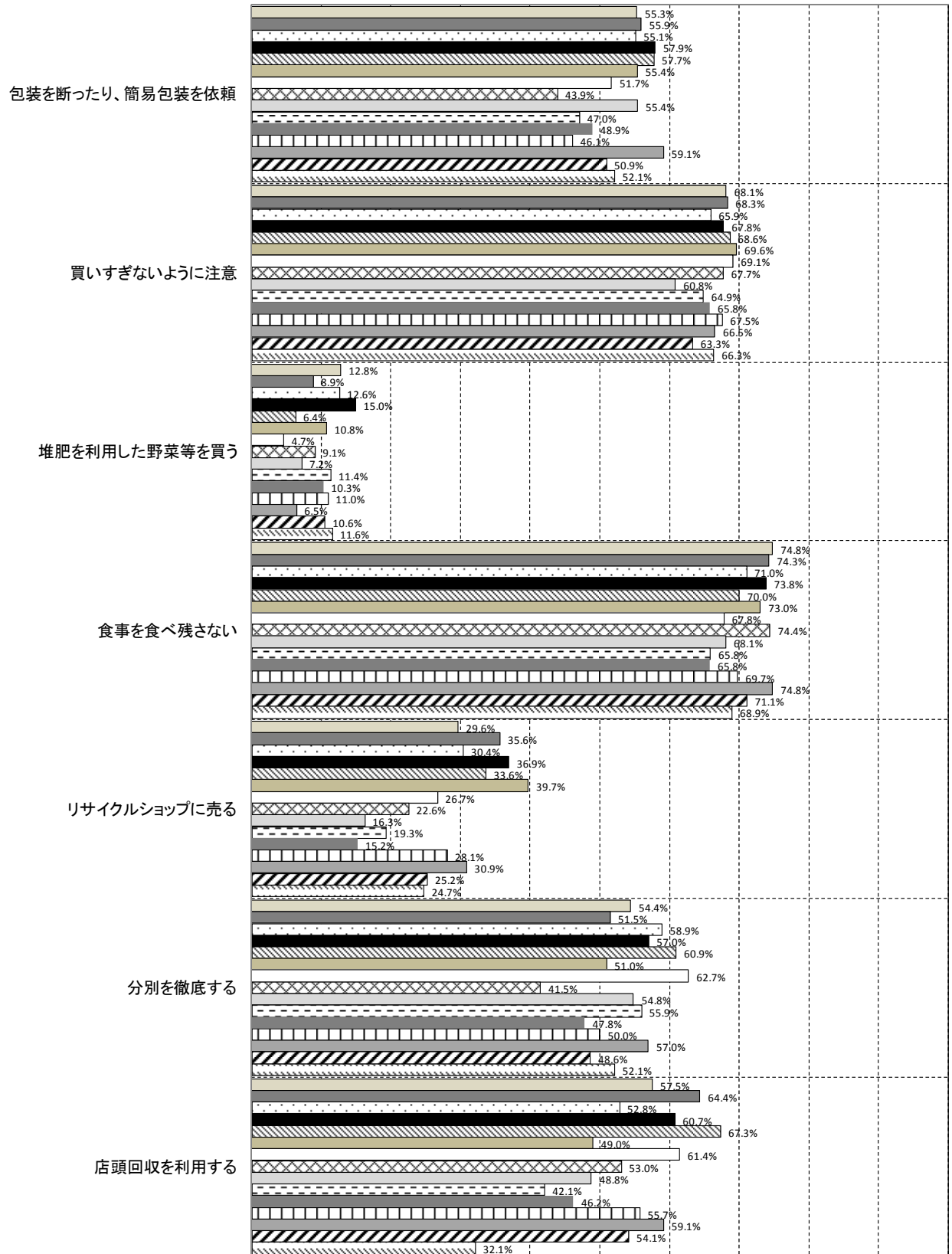
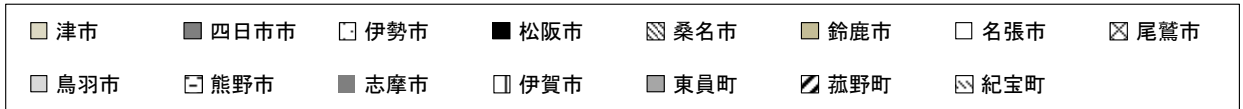


図 5-3-42 (2/3) 「有料化された場合、どのようにごみを減らすか」市町別回答率

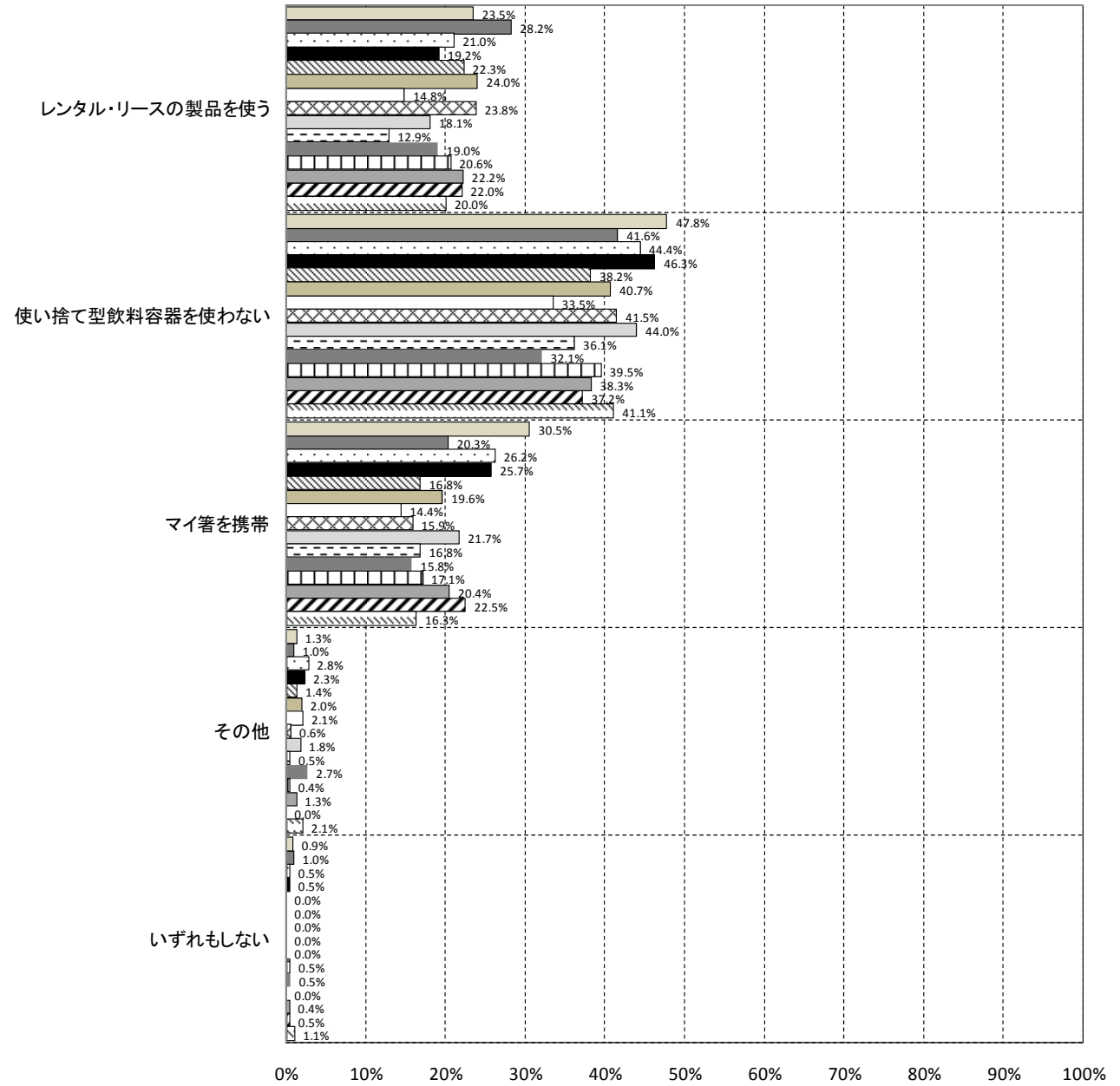
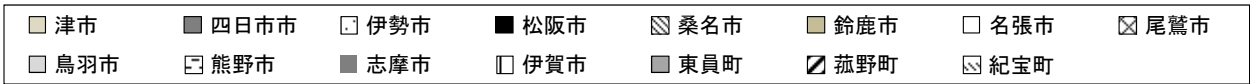


図 5-3-42 (3/3) 「有料化された場合、どのようにごみを減らすか」市町別回答率

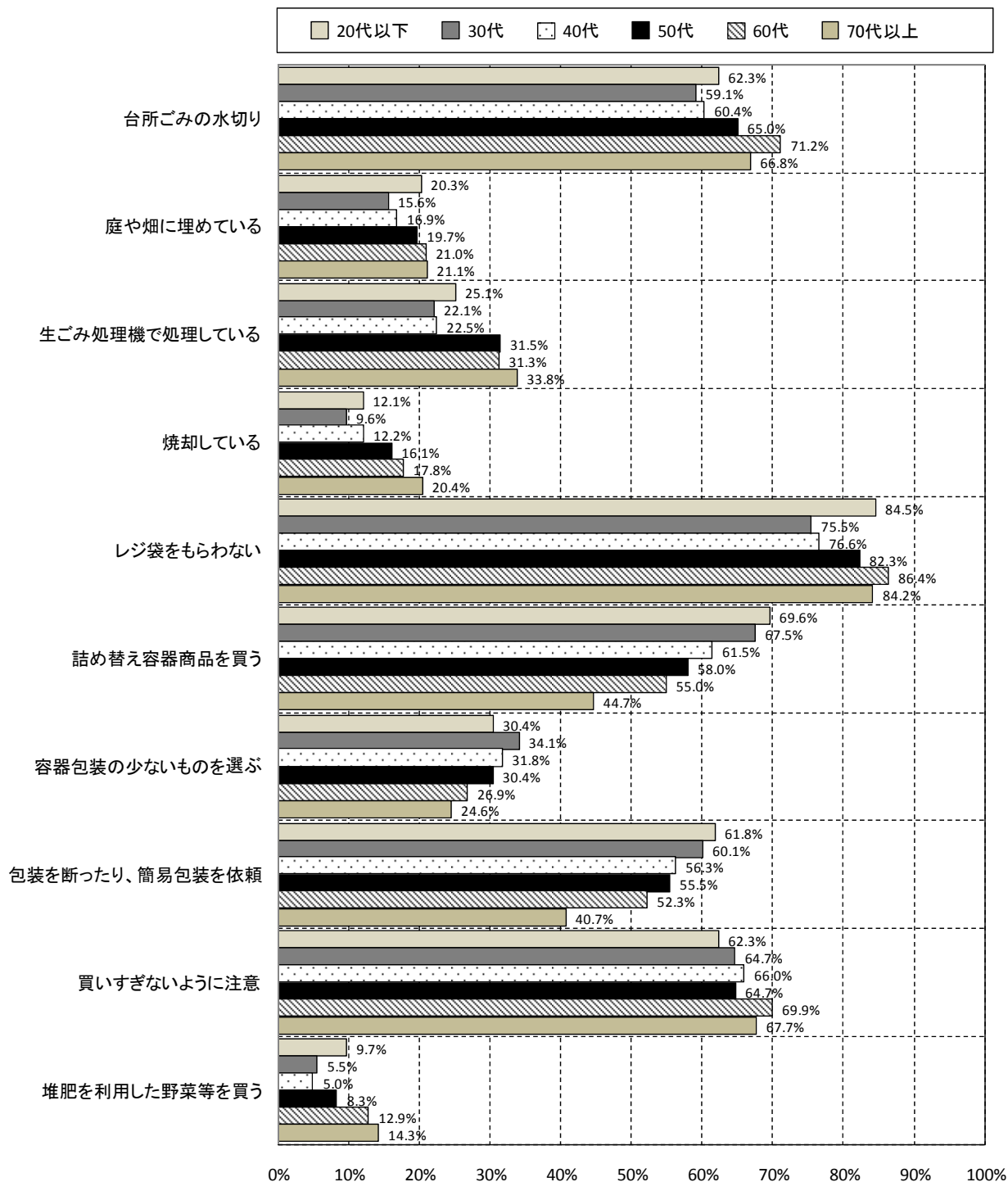


図 5-3-43 (1/2) 「有料化された場合、どのようにごみを減らすか」年代別回答

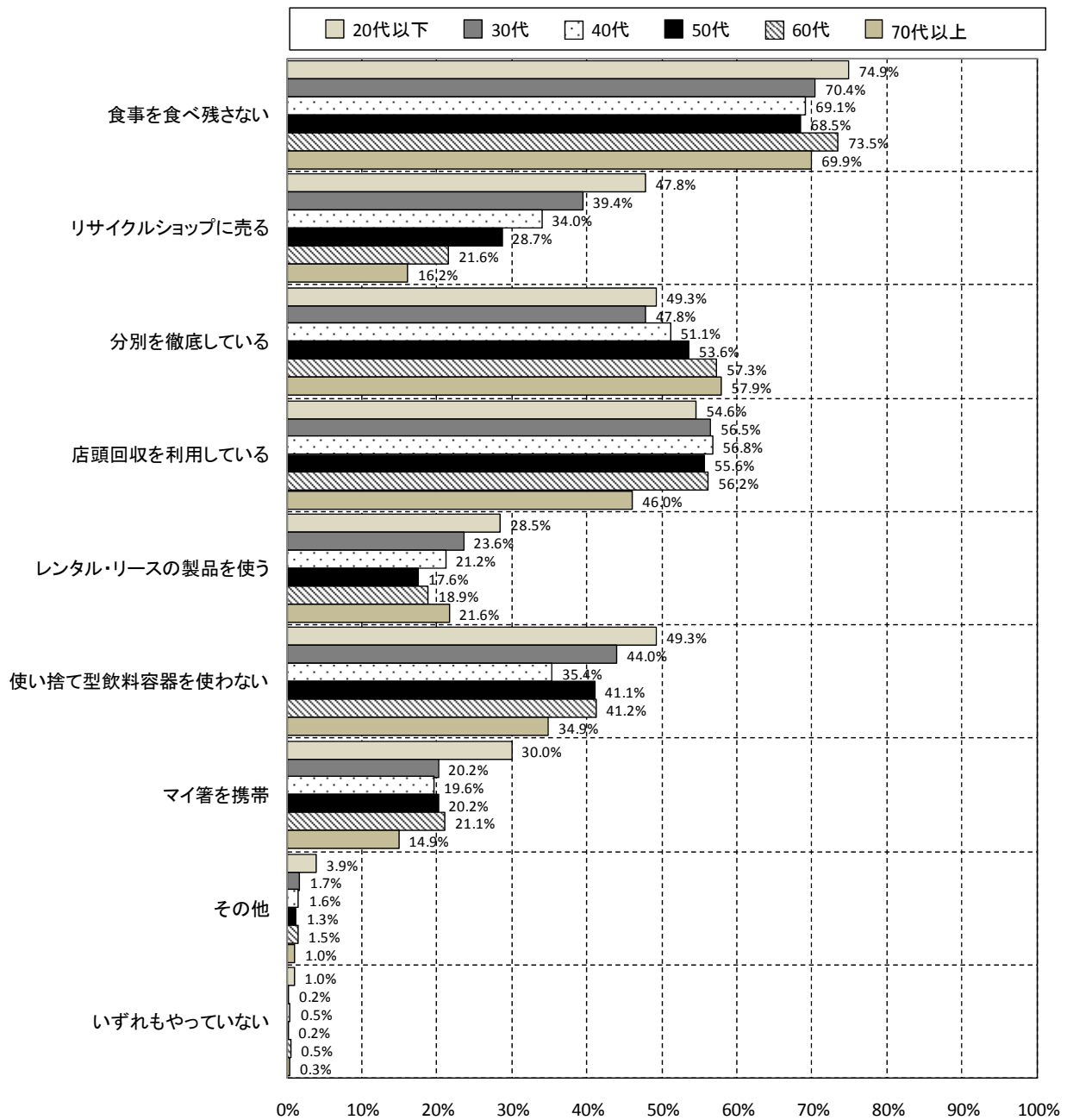


図 5-3-43 (2/2) 「有料化された場合、どのようにごみを減らすか」年代別回答

問 30	あなたの家の近くに中古の家電製品や家具を扱うお店（リサイクルショップ）ができたとします。この店がどんな店だったら、あなたは足を運んでみようと思いますか？（〇は3つまで）
------	--

「どんなリサイクルショップなら足を運んでみようと思うか」については、「品質など信頼できる」の回答率が一番高く67.0%であり、次いで、「取り扱っている商品がきれい」の回答が57.8%となっている。

市町別についても同様の傾向であるが、「品質など信頼できる」が58.9%から74.7%と差がみられる。また、「店舗がきれい、明るい」が21.1%から40.6%と約2倍の開きがある。

年代別についても、全体と同じ傾向であるが、「販売金額は安く、買取金額は高め」は年代が低い方が高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	店舗がきれい、明るい	1,104	35.0%
2	取り扱っている商品がきれい	1,823	57.8%
3	商品の品ぞろえがある	1,196	37.9%
4	商品が探しやすい	362	11.5%
5	品質など信頼できる	2,113	67.0%
6	販売金額は安く、買取金額は高め	1,111	35.2%
7	その他	44	1.4%
8	どんな店でも足は運ばないと思う	165	5.2%
総回答数		7,918	251.0%
有効回答数		3,154	100.0%

表 5-3-13 「どんなリサイクルショップなら足を運んでみようと思うか」回答状況

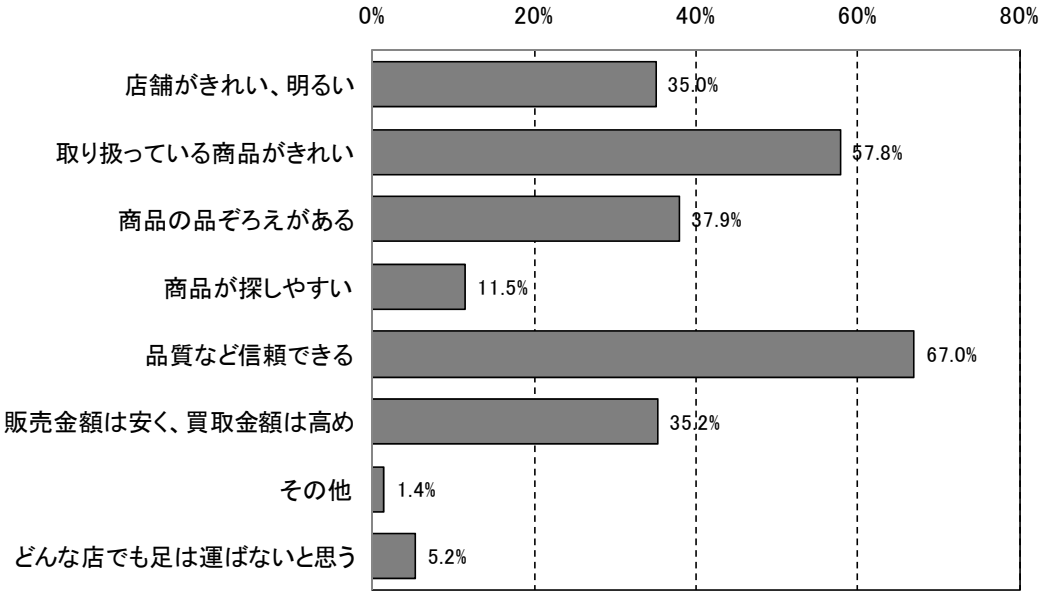


図 5-3-44 「どんなリサイクルショップなら足を運んでみようと思うか」回答率

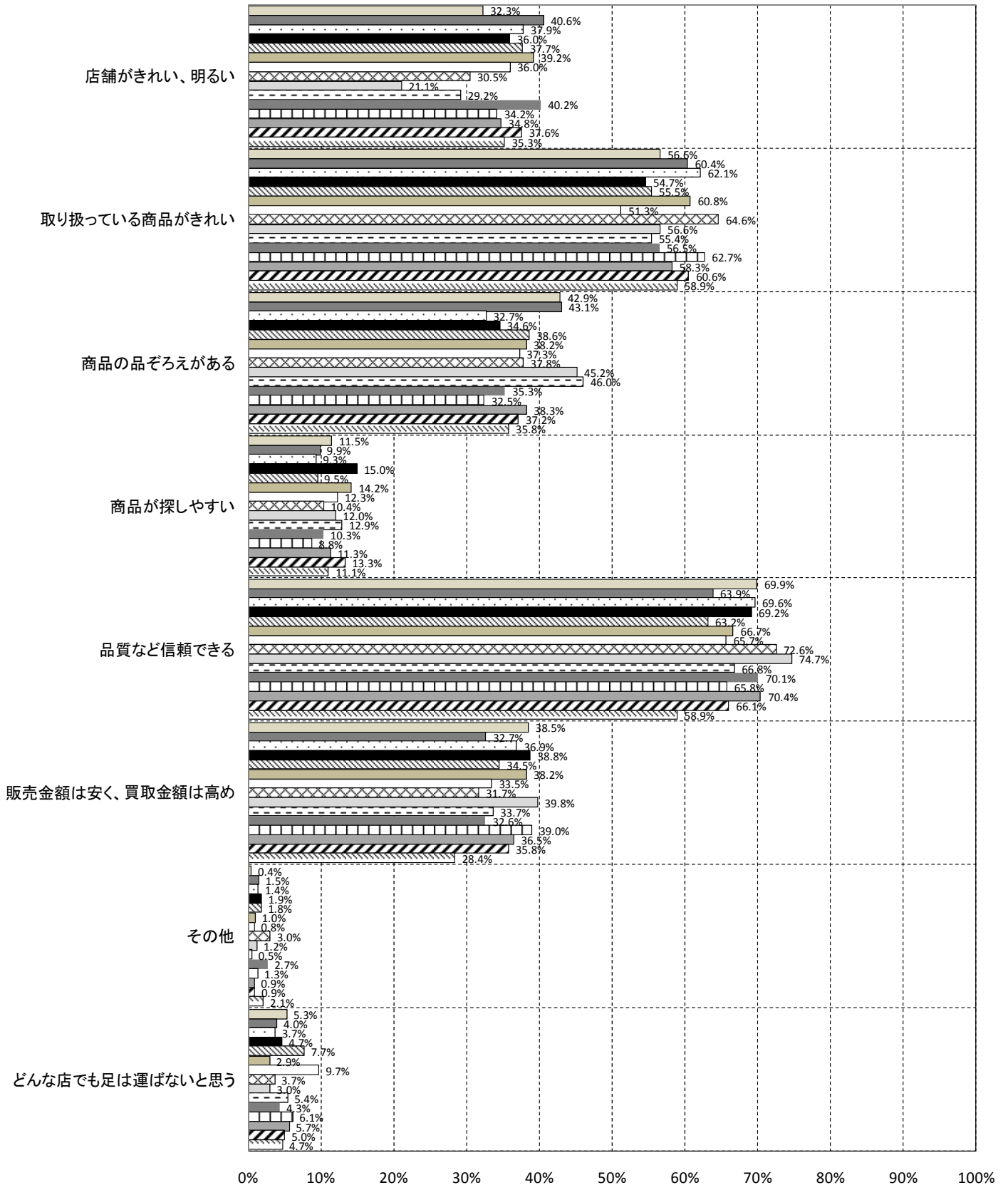
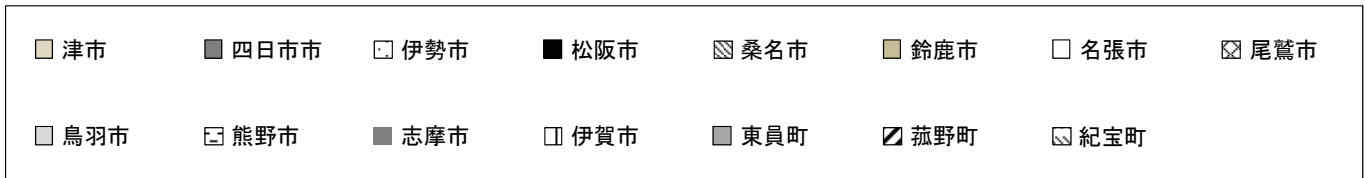


図 5-3-45 「どんなリサイクルショップなら足を運んでみようと思うか」市町別回答率

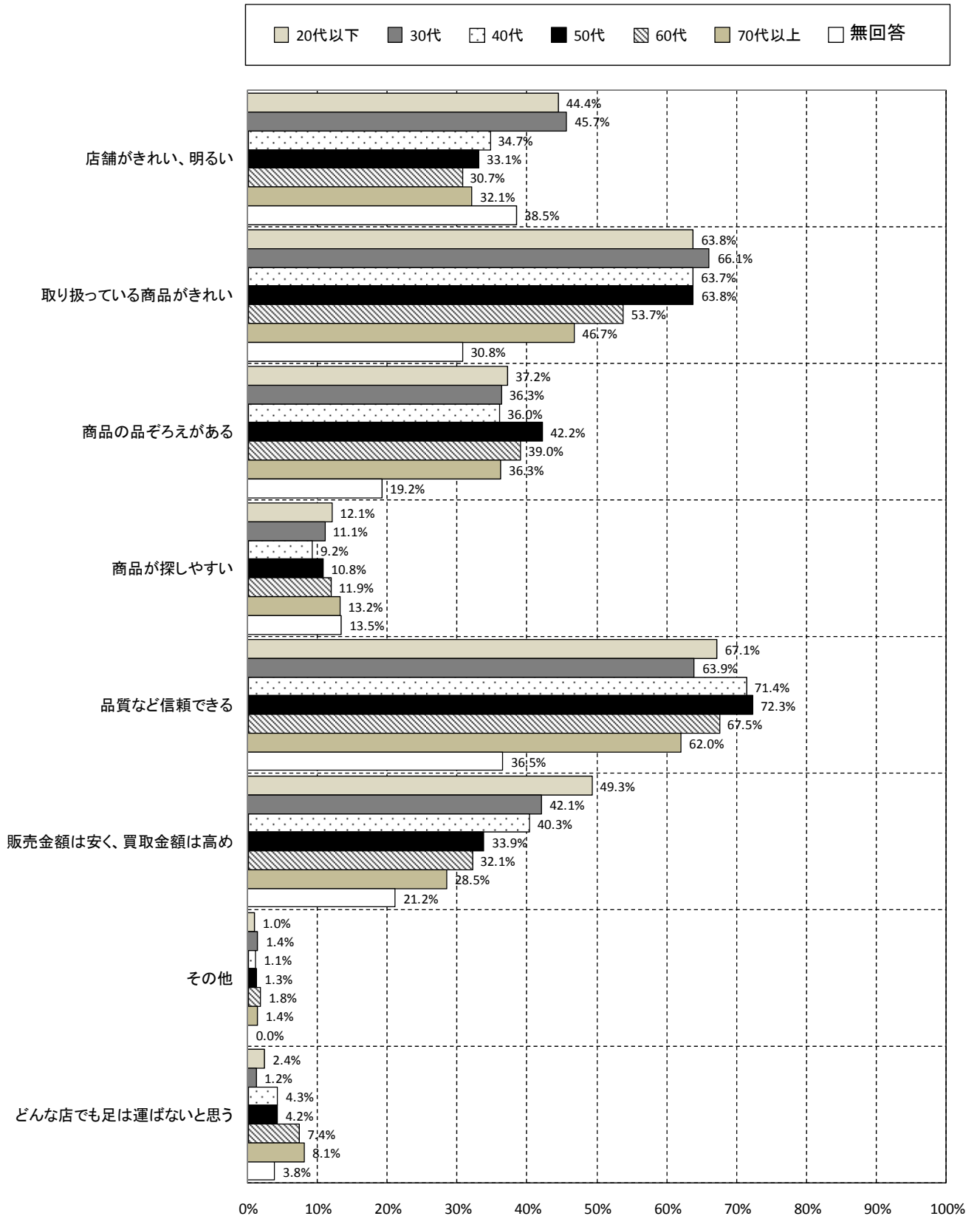


図 5-3-46 「どんなリサイクルショップなら足を運んでみようと思うか」年代別回答率

問 31	あなたのご家庭から出る可燃ごみに限っていえば、努力によりどれだけ減らせると 思いますか？（〇は1つ）
------	---

「可燃ごみはどれだけ減らせるか」については、「10%~30%」の回答率が51.6%と一番高く、次いで、「10%未満」が23.5%となっており、これらの計が75.1%となっている。
市町別では、上記の計が70.0%から80.9%であり、大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が65.6%から81.7%であり、「70代以上」が低い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	10%未満	740	23.5%
2	10%~30%	1,629	51.6%
3	30%~50%	347	11.0%
4	50%~80%	70	2.2%
5	80%以上	17	0.5%
6	これ以上は減らせない	256	8.1%
7	無回答	95	3.0%
有効回答数		3,154	100.0%

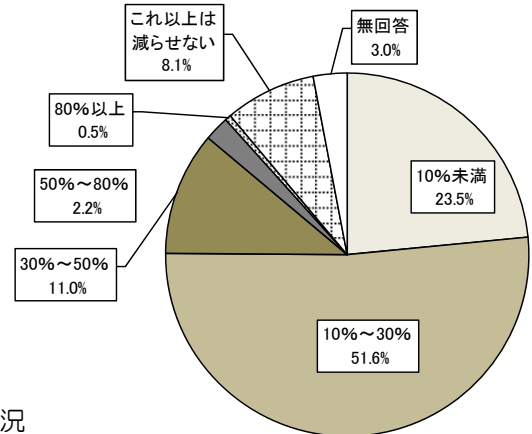


表 5-3-14 「可燃ごみはどれだけ減らせるか」回答状況

図 5-3-47 「可燃ごみはどれだけ減らせるか」回答率

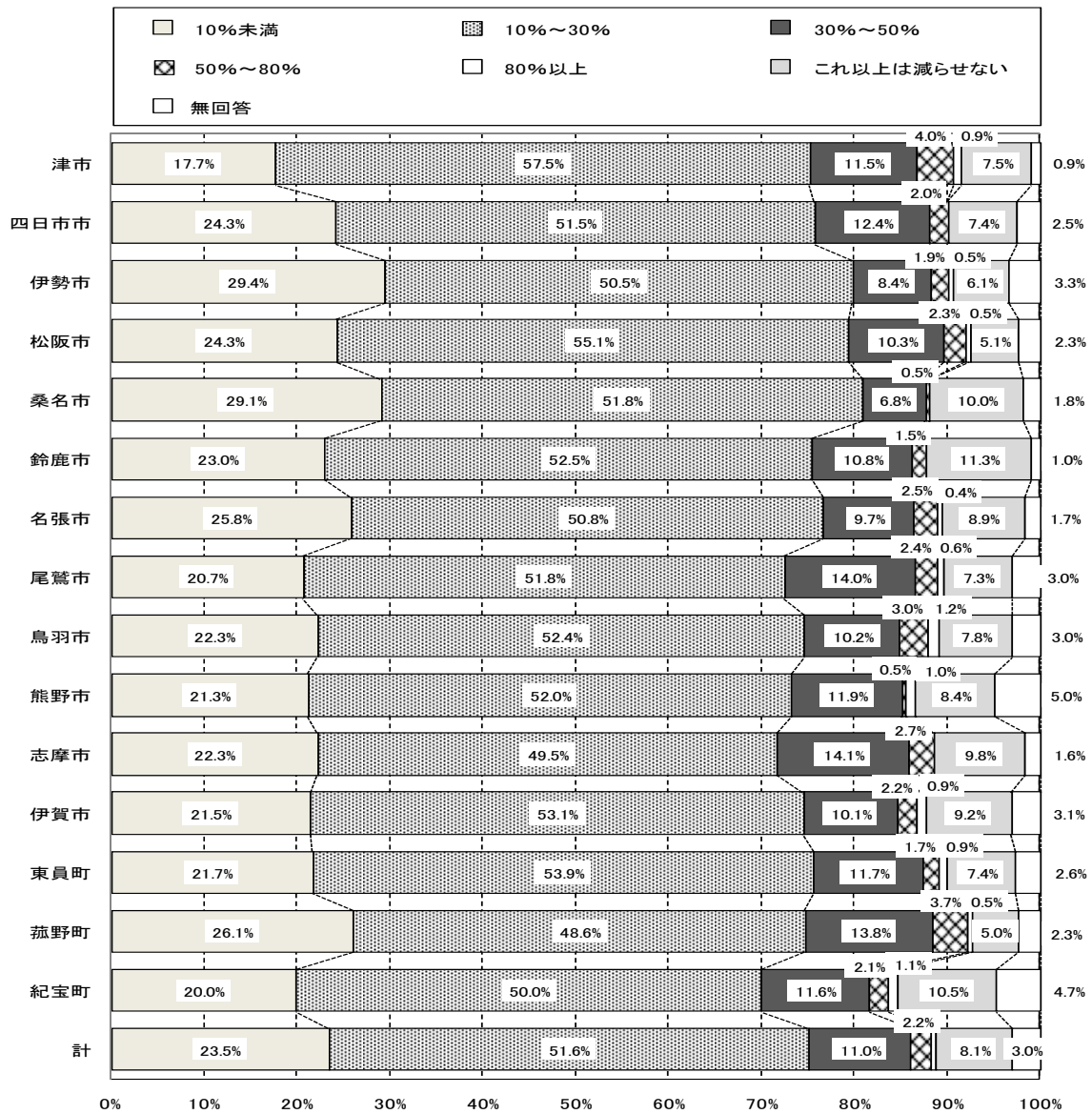


図 5-3-48 「可燃ごみはどれだけ減らせるか」市町別回答率

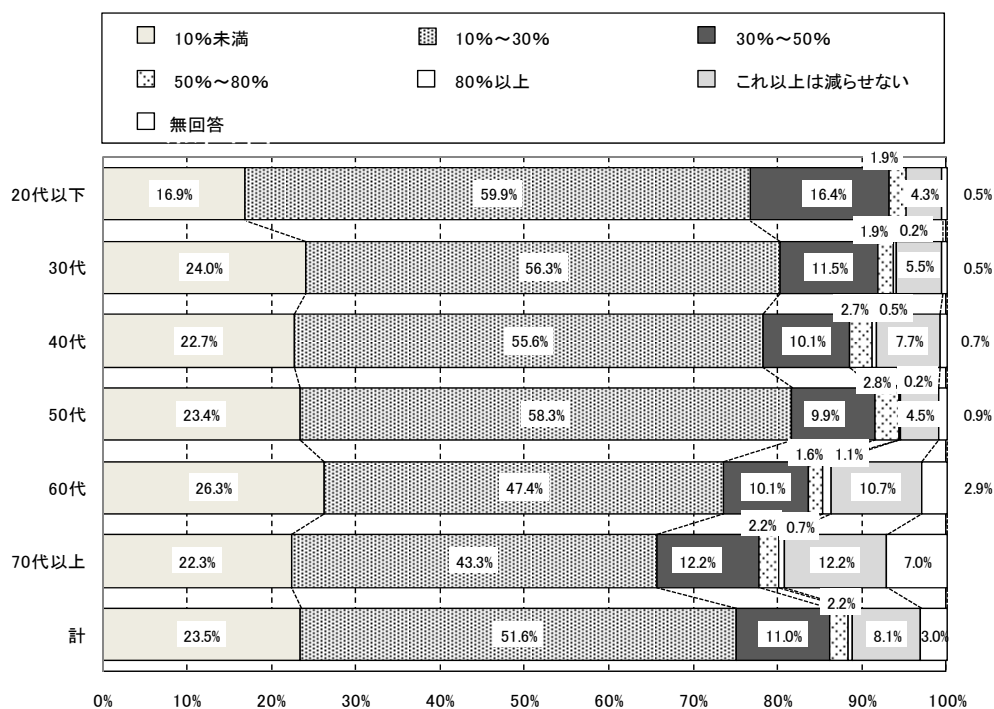


図 5-3-49 「可燃ごみはどれだけ減らせるか」年代別回答率

5-4 「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画について

問 32	ごみ処理のあり方や具体的なごみ減量化施策について定めた市町の「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画についてあなたの意見をお聞きます。(〇は1つずつ)
------	--

(1) 計画づくりには、できるだけ多くの住民が参画することが必要だと思いますか？

「計画づくりには、多くの住民が参画することが必要か」については、「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計が85.6%となっている。

市町別では、上記の計が83.5%から90.2%であり、大きな偏りはみられない。

年代別では、上記の計が84.9%から90.1%であり、大きな隔たりはみられない。

① 単純集計

番号		回答数	回答率
1	とてもそう思う	1,317	41.8%
2	少しそう思う	1,381	43.8%
3	あまりそうは思わない	335	10.6%
4	まったくそうは思わない	28	0.9%
99	無回答	93	2.9%
有効回答数		3154	100.0%

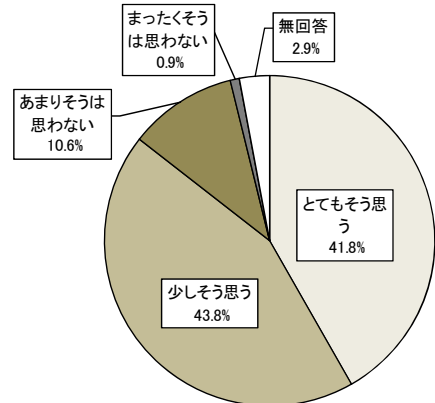


表 5-4-1 「多くの住民が参画することが必要か」回答状況

図 5-4-1 「多くの住民が参画することが必要か」回答率

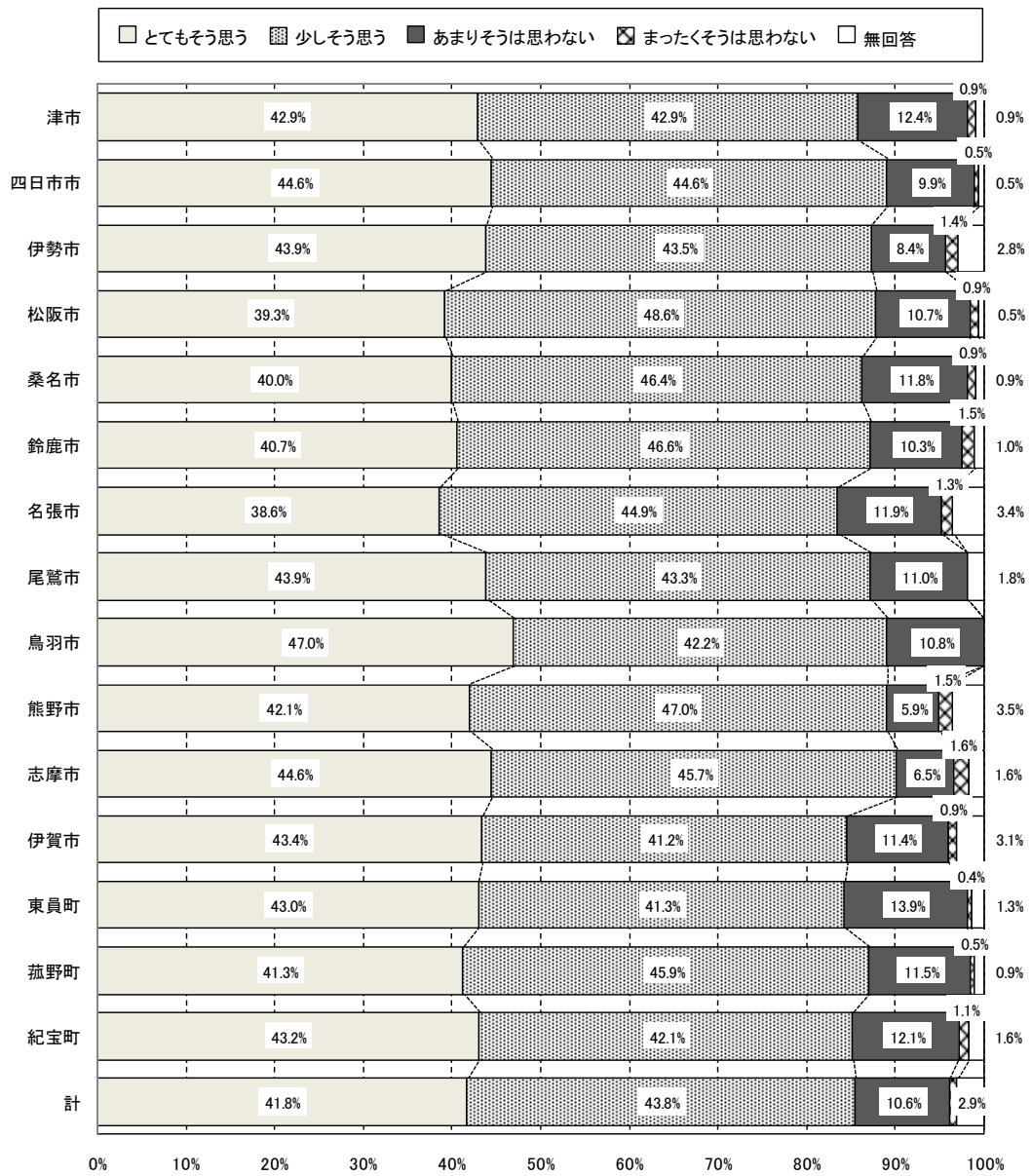


図 5-4-2 「多くの住民が参画することが必要か」市町別回答率

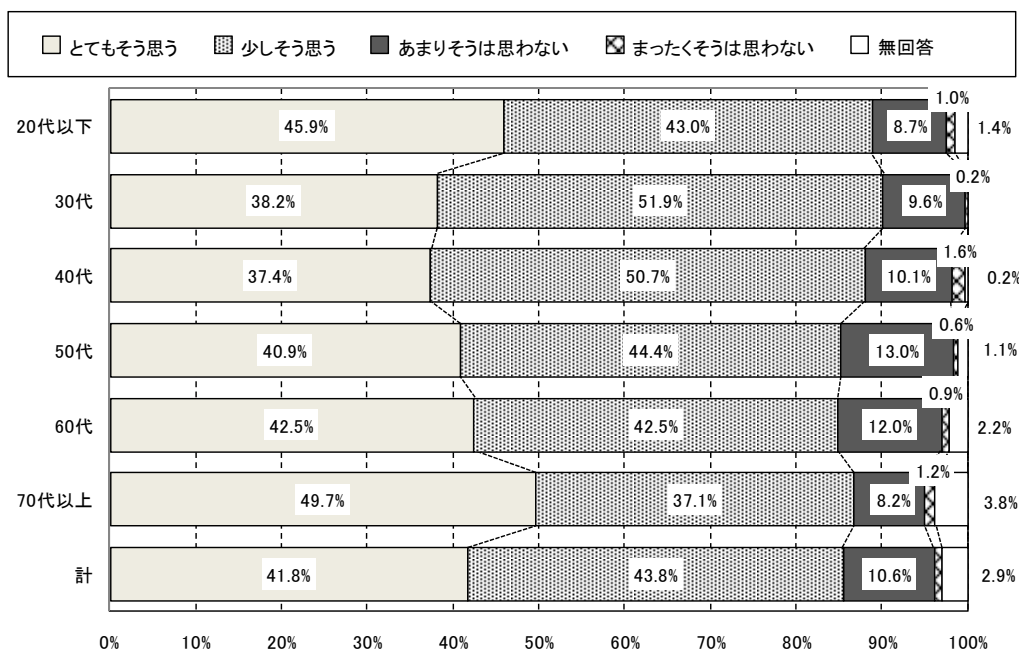


図 5-4-3 「多くの住民が参画することが必要か」年代別回答率

(2) 計画づくりに住民が参画すれば、住民の要望や意見を反映できると思いますか？

「住民参画すれば要望等を反映できるか」については、「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計が81.9%となっている。
 市町別では、上記の計が78.8%から87.5%であり、大きな偏りはみられない。
 年代別では、上記の計が81.3%から85.1%であり、大きな隔たりはみられない。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	865	27.4%
2	少しそう思う	1,718	54.5%
3	あまりそうは思わない	423	13.4%
4	まったくそうは思わない	51	1.6%
99	無回答	97	3.1%
有効回答数		3154	100.0%

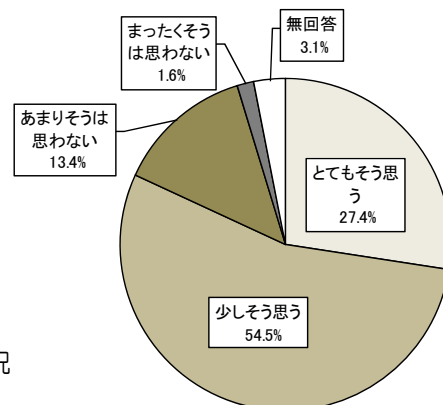


表 5-4-2 「住民参画すれば要望等を反映できるか」回答状況

図 5-4-4 「住民参画すれば要望等を反映できるか」回答率

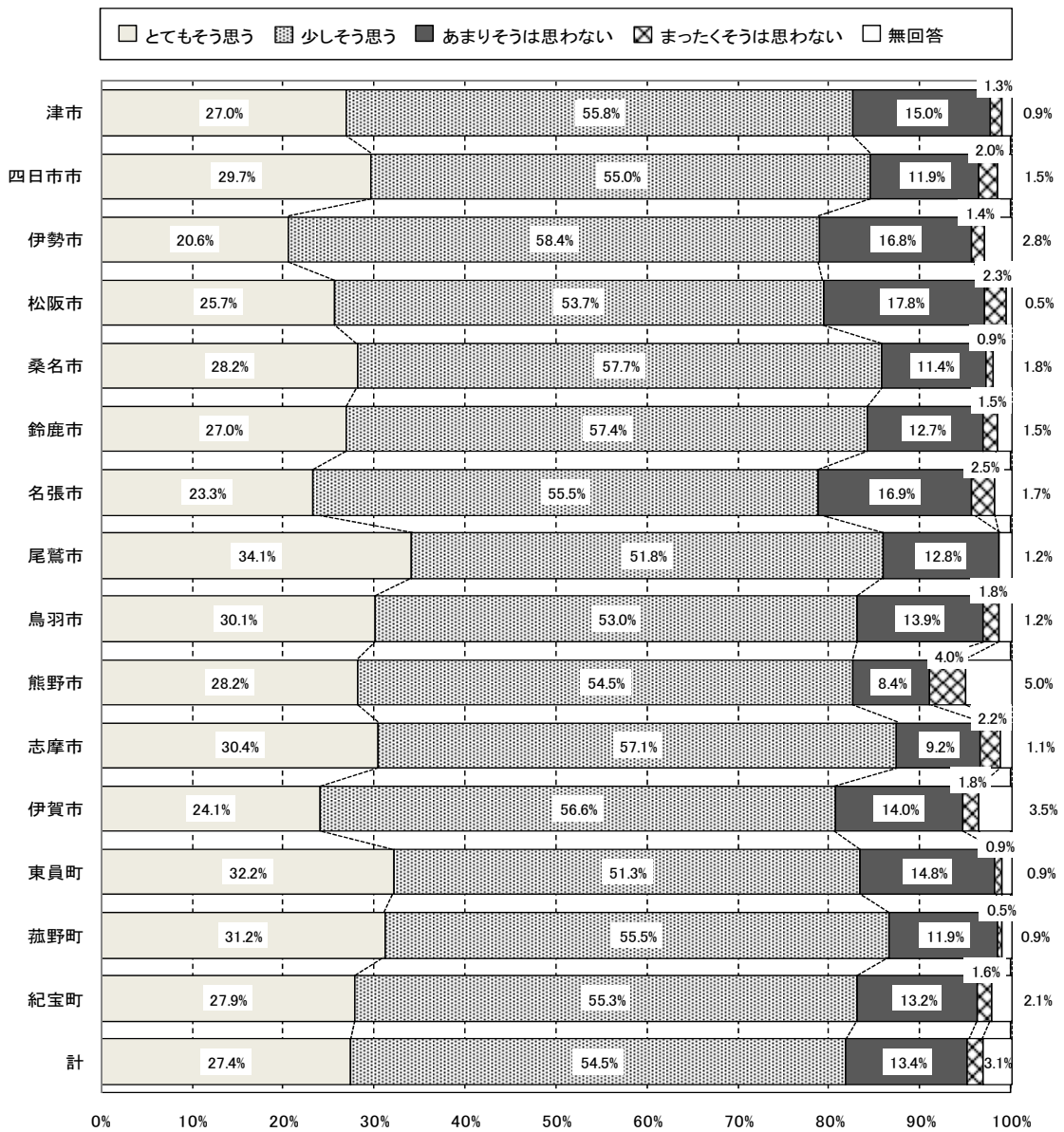


図 5-4-5 「住民参画すれば要望等を反映できるか」市町別回答率

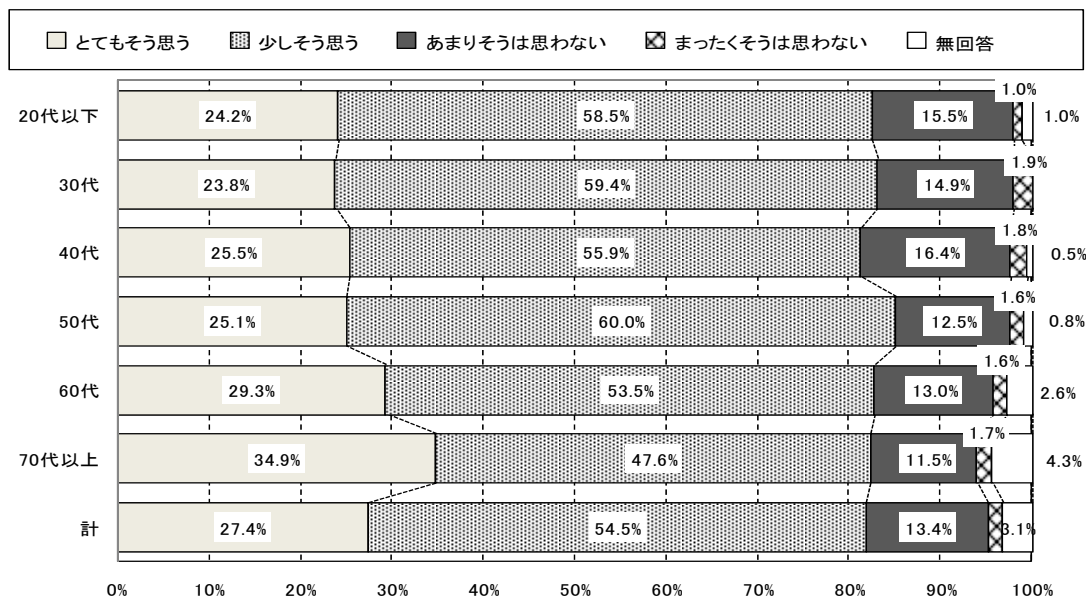


図 5-4-6 「住民参画すれば要望等を反映できるか」年代別回答率

(3) 計画は市町が主体的につくる方がよいと思いますか？

「計画は市町が主体的につくる方がよいか」については、「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計が74.9%となっている。
 市町別では、上記の計が66.1%から81.7%と、市町間で差があり、「四日市市」（81.7%）と「伊勢市」（80.8%）では80%を超えている。
 年代別では、上記の計が71.5%から80.1%であり、「とてもそう思う」は「70代以上」が高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	942	29.9%
2	少しそう思う	1,418	45.0%
3	あまりそうは思わない	566	17.9%
4	まったくそうは思わない	110	3.5%
99	無回答	118	3.7%
有効回答数		3154	100.0%

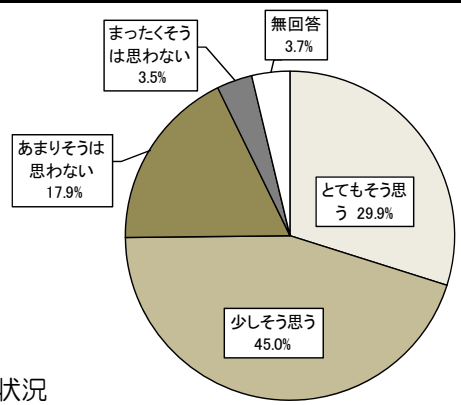


表 5-4-3 「計画は市町が主体的につくる方がよいか」回答状況

図 5-4-7 「計画は市町が主体的につくる方がよいか」回答率

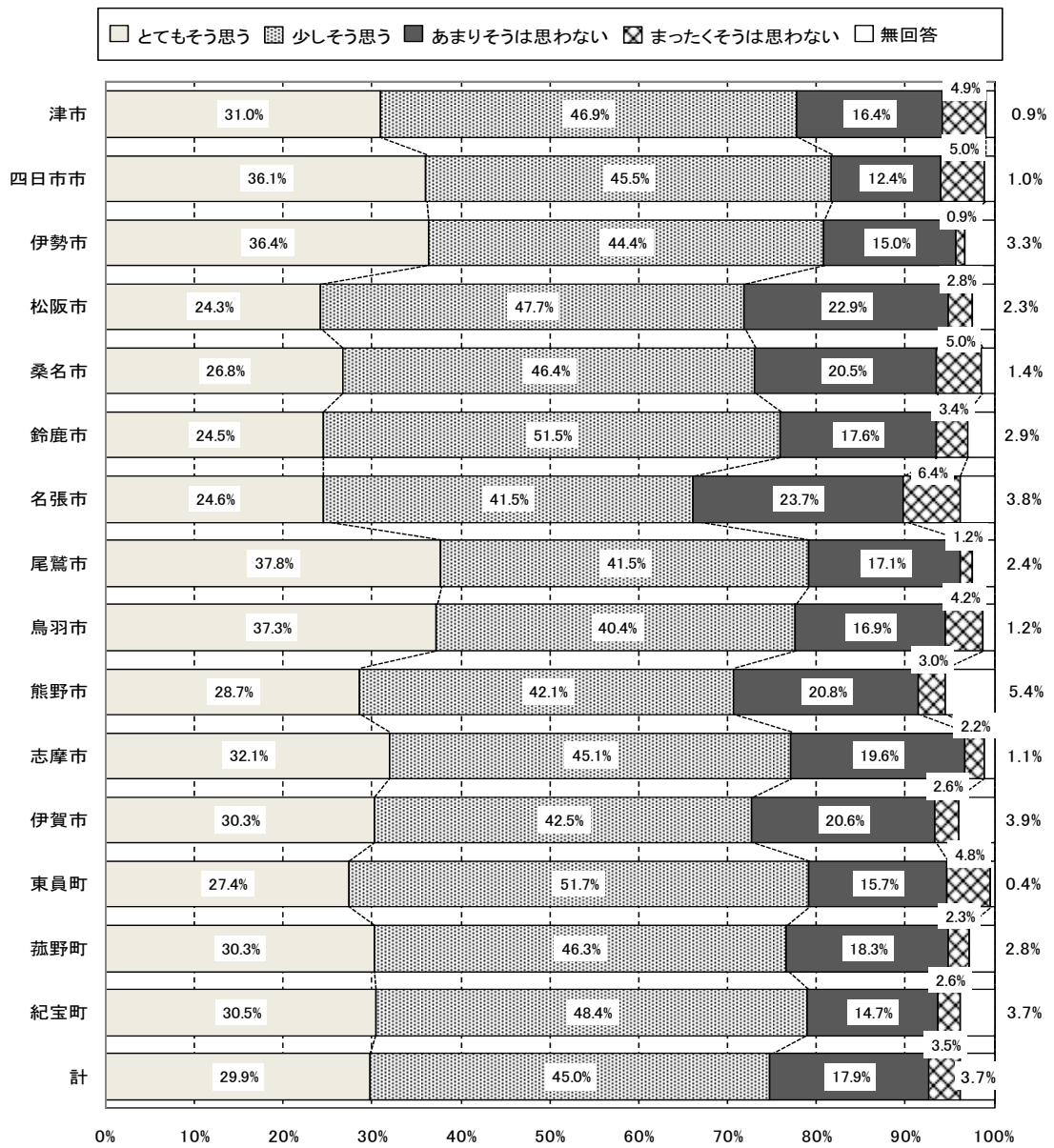


図 5-4-8 「計画は市町が主体的につくる方がよいか」市町別回答率

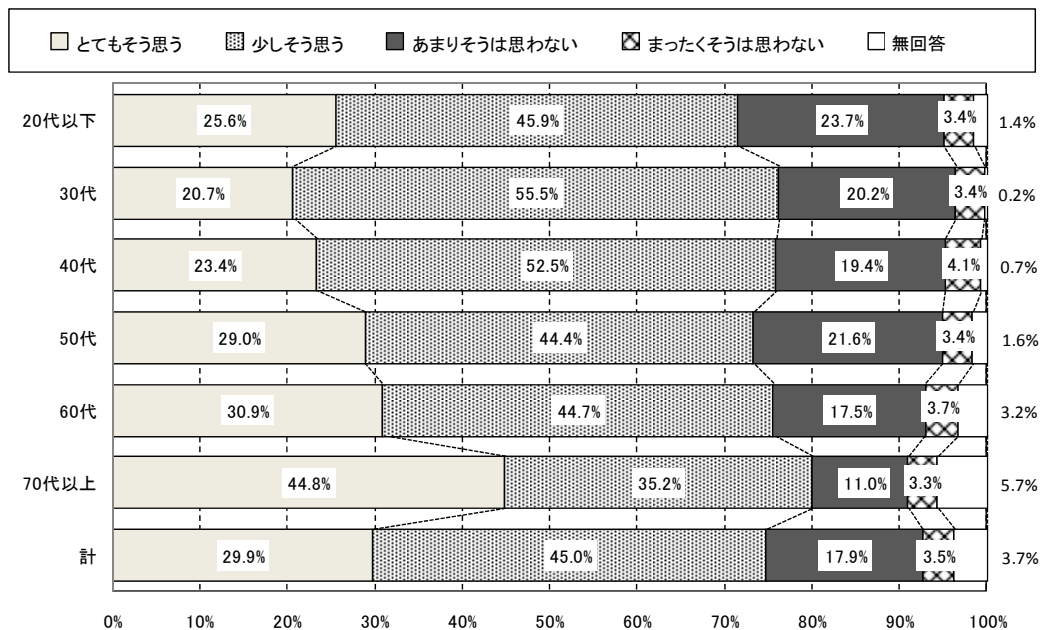


図 5-4-9 「計画は市町が主体的につくる方がよいか」年代別回答率

(4) あなたが計画づくりに参画することで、様々な情報を入手できると思いますか？

「計画づくりに参画することで様々な情報を入手できると思うか」については、「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計が75.9%となっている。
 市町別では、上記の計が71.6%から82.6%であり、大きな偏りはみられない。
 年代別では、上記の計が73.2%から79.2%であり、大きな隔たりはみられない。

① 単純集計

番号		回答数	回答率
1	とてもそう思う	593	18.8%
2	少しそう思う	1,802	57.1%
3	あまりそうは思わない	558	17.7%
4	まったくそうは思わない	85	2.7%
99	無回答	116	3.7%
有効回答数		3154	100.0%

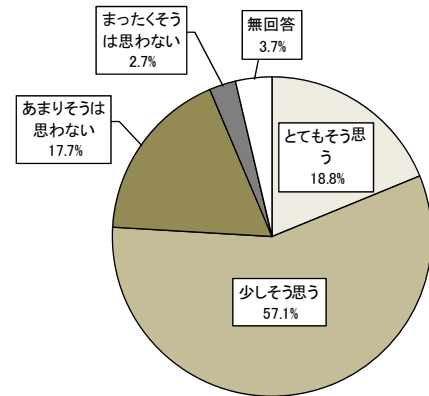


表 5-4-4 「様々な情報を入手できると思うか」回答状況

図 5-4-10 「様々な情報を入手できると思うか」回答率

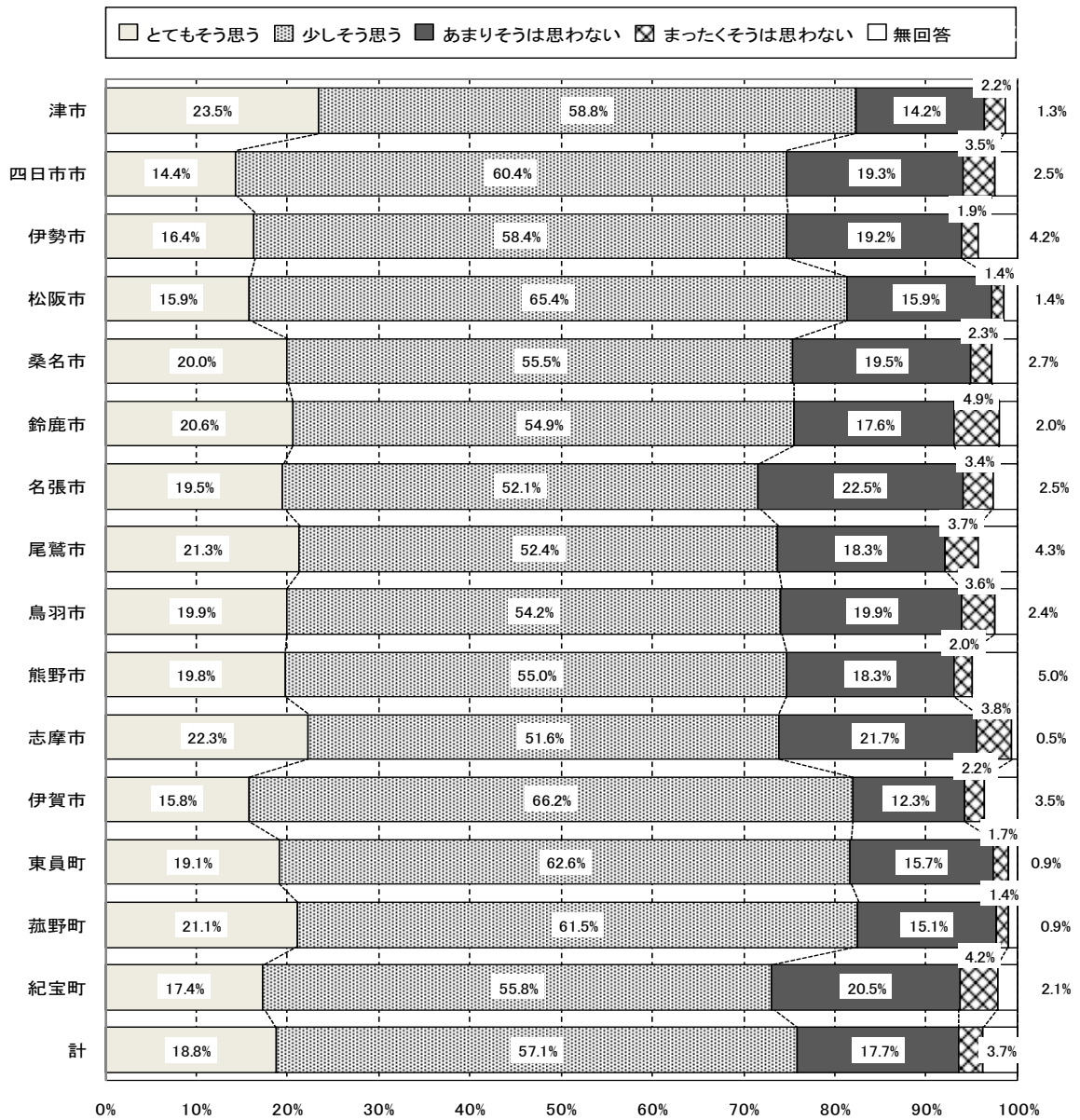


図 5-4-11 「様々な情報を入手できると思うか」市町別回答率

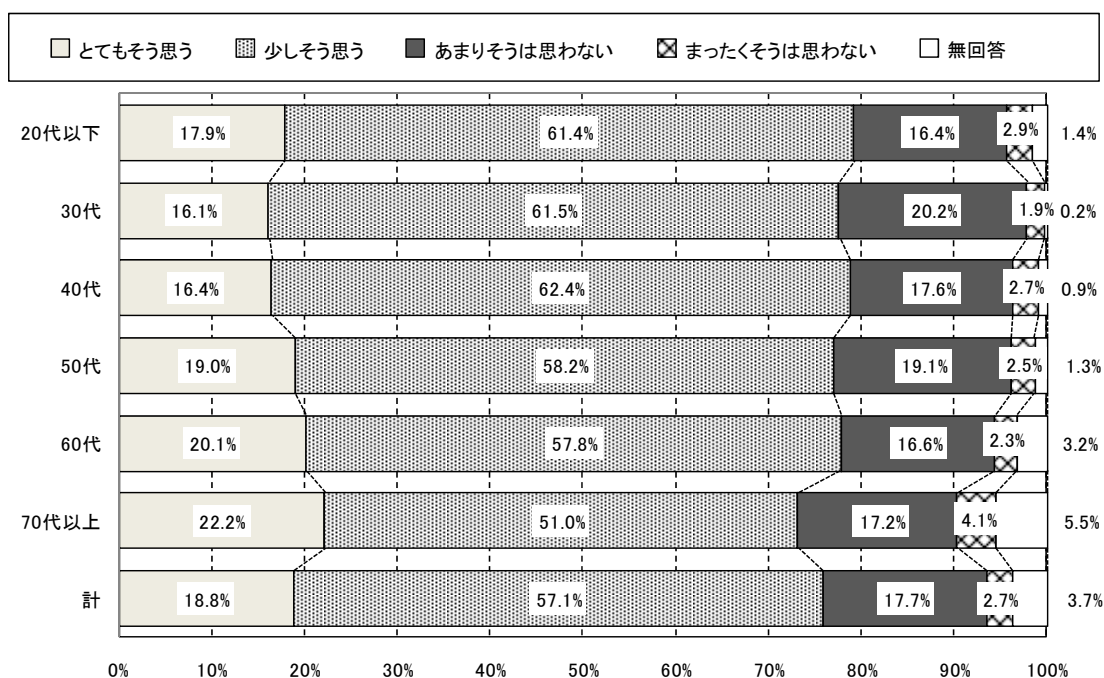


図 5-4-12 「様々な情報を入手できると思うか」年代別回答率

(5) あなたが計画づくりに参画すると、時間や手間がかかり大変だと思いますか？

「計画づくりへの参加は時間や手間がかかり大変だと思うか」については、「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計が86.1%となっている。
 市町別では、上記の計が83.9%から91.7%であり、大きな偏りはみられない。
 年代別では、上記の計が78.4%から91.8%であり、「70代以上」では低い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	929	29.5%
2	少しそう思う	1,786	56.6%
3	あまりそうは思わない	275	8.7%
4	まったくそうは思わない	48	1.5%
99	無回答	116	3.7%
有効回答数		3,154	100.0%

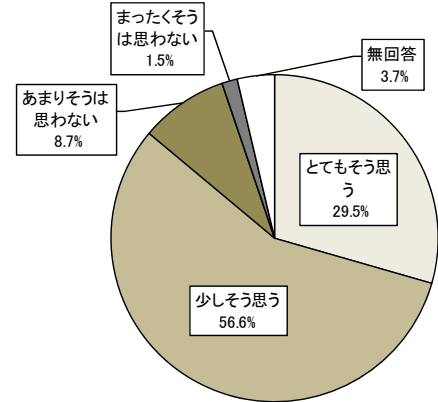


表 5-4-5 「時間や手間がかかり大変だと思うか」回答状況

図 5-4-13 「時間や手間がかかり大変だと思うか」回答率

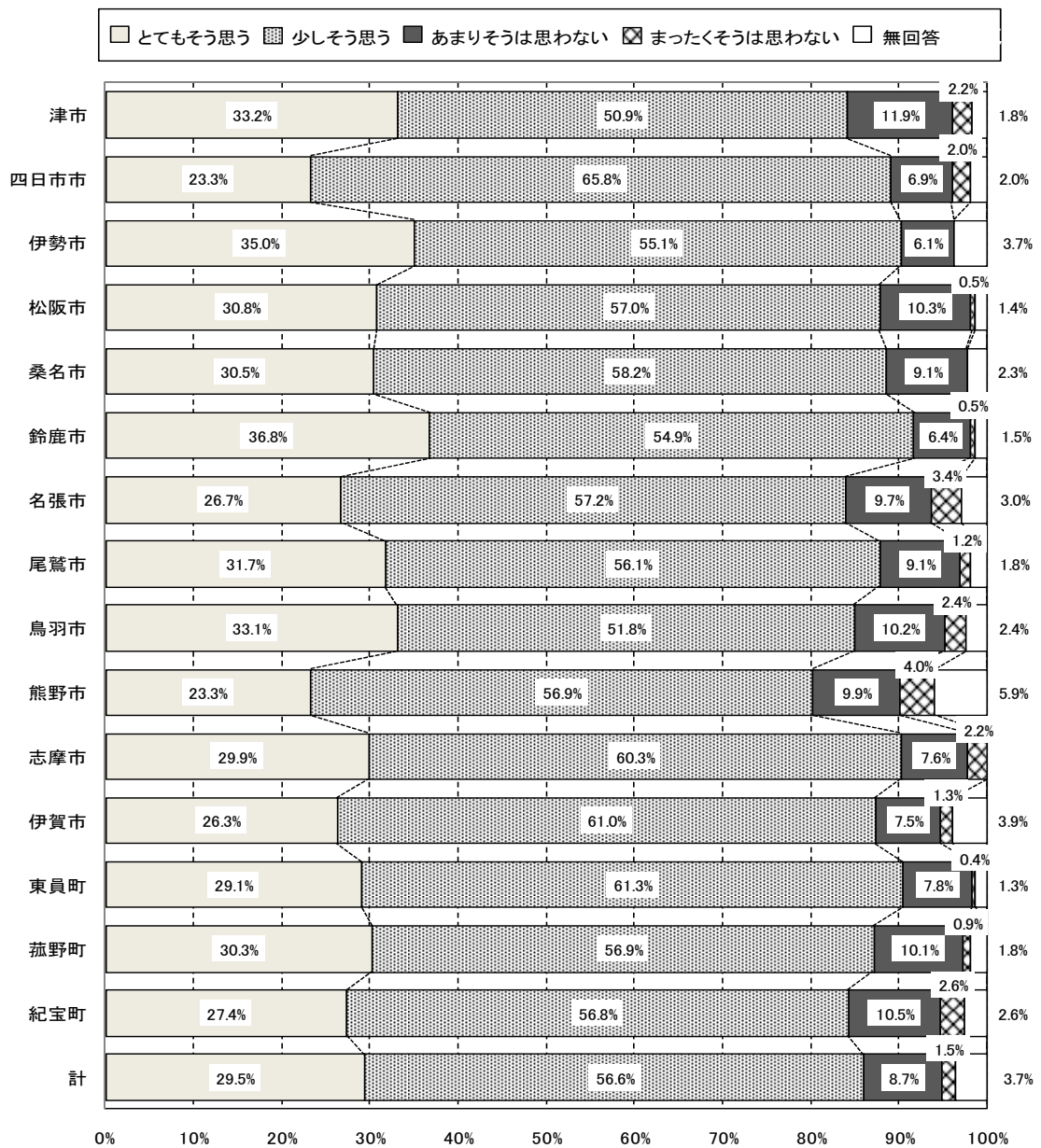


図 5-4-14 「時間や手間がかかり大変だと思うか」市町別回答率

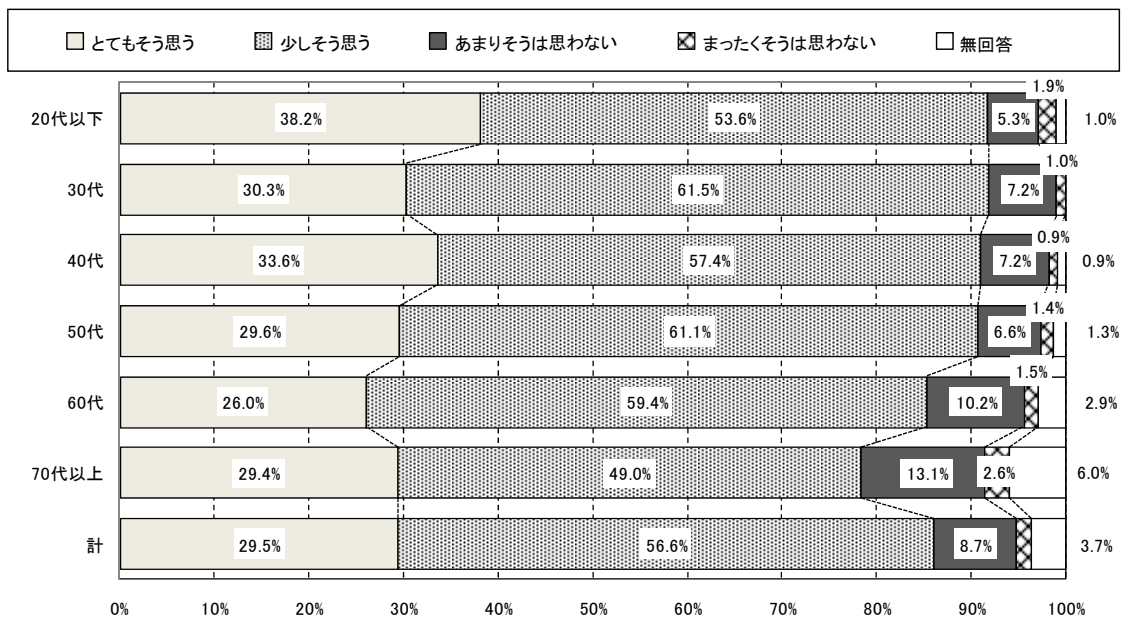


図 5-4-15 「時間や手間がかかり大変だと思うか」年代別回答率

(6) 今後、このような計画づくりに住民参画の機会があった場合、あなたは参画したいですか？

「住民参画の機会があれば、参画したいか」については、「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計が54.2%となっている。
 市町別では、上記の計が50.5%から59.5%であり、大きな偏りはみられない。
 性別では、上記の計が53.4%から57.7%であり、大きな隔たりはみられない。
 年代別では、上記の計が43.0%から61.3%であり、年代が高いほど高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	224	7.1%
2	少しそう思う	1,487	47.1%
3	あまりそうは思わない	1,038	32.9%
4	まったくそうは思わない	279	8.8%
99	無回答	126	4.0%
有効回答数		3,154	100.0%

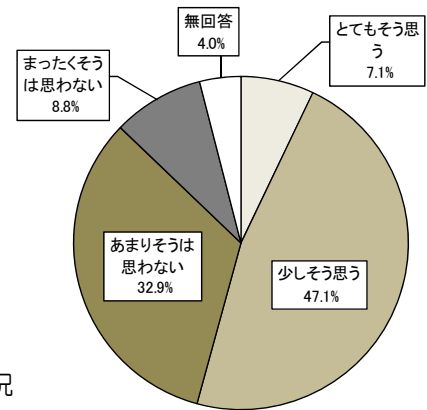


表 5-4-6 「住民参画の機会があれば、参画したいか」回答状況

図 5-4-16 「住民参画の機会があれば、参画したいか」回答

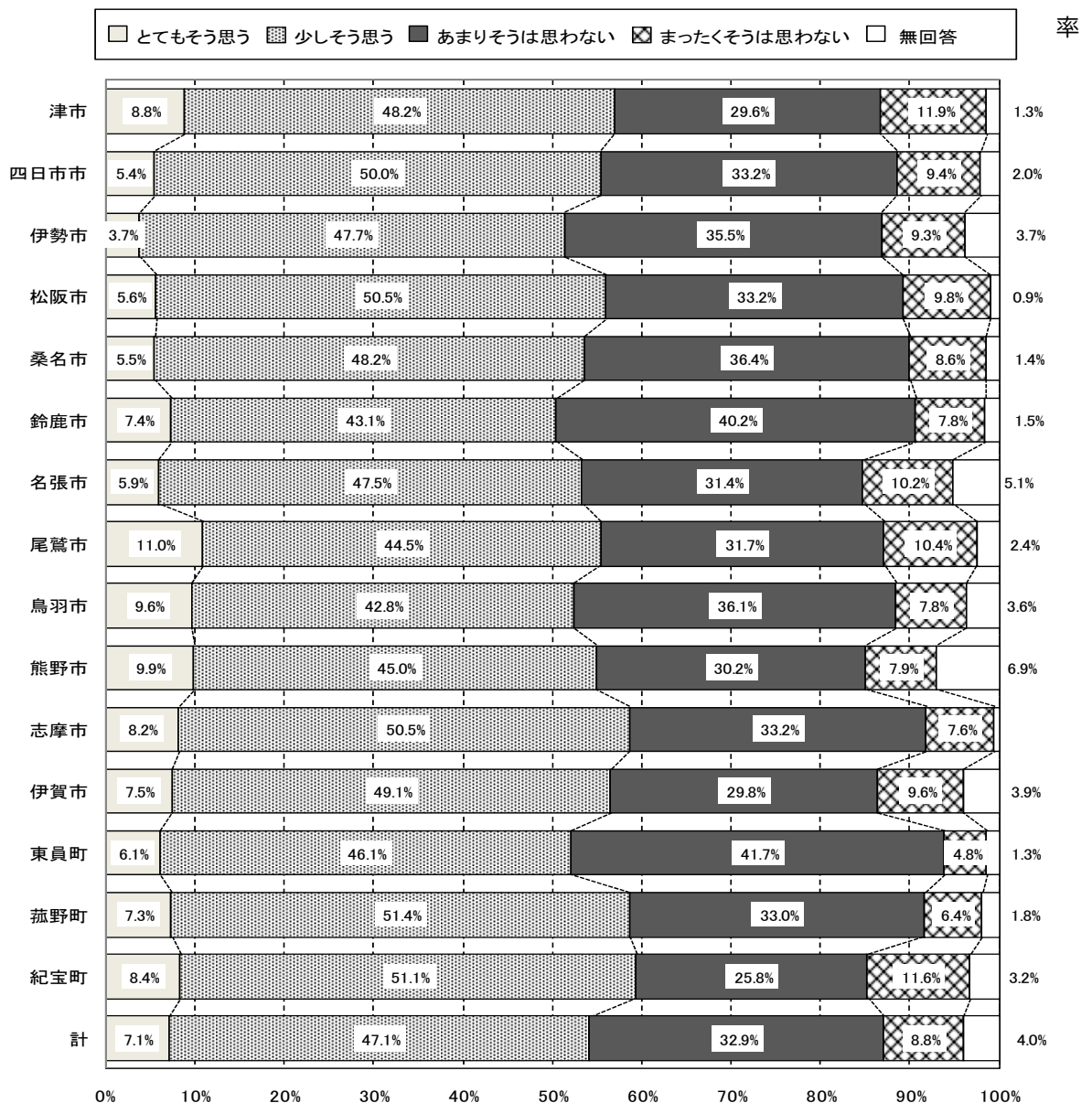


図 5-4-17 「住民参画の機会があれば、参画したいか」市町別回答率

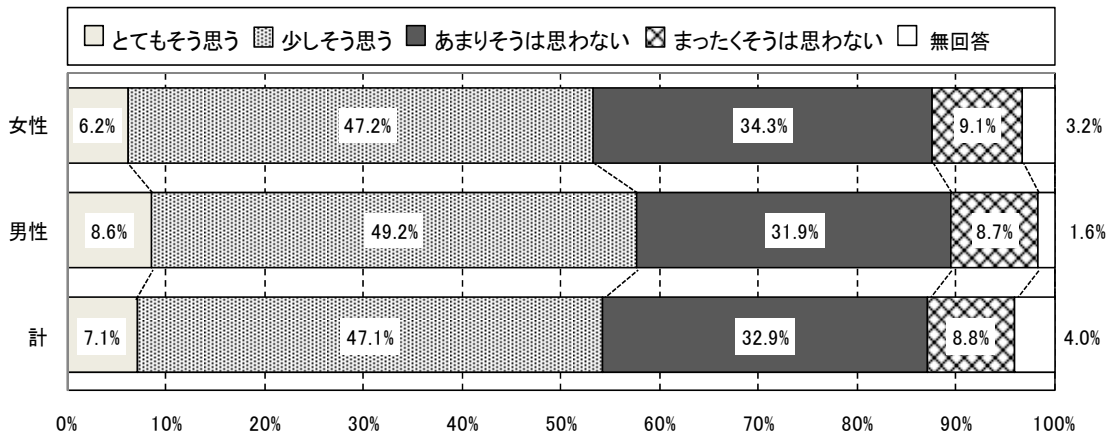


図 5-4-18 「住民参画の機会があれば、参画したいか」性別回答率

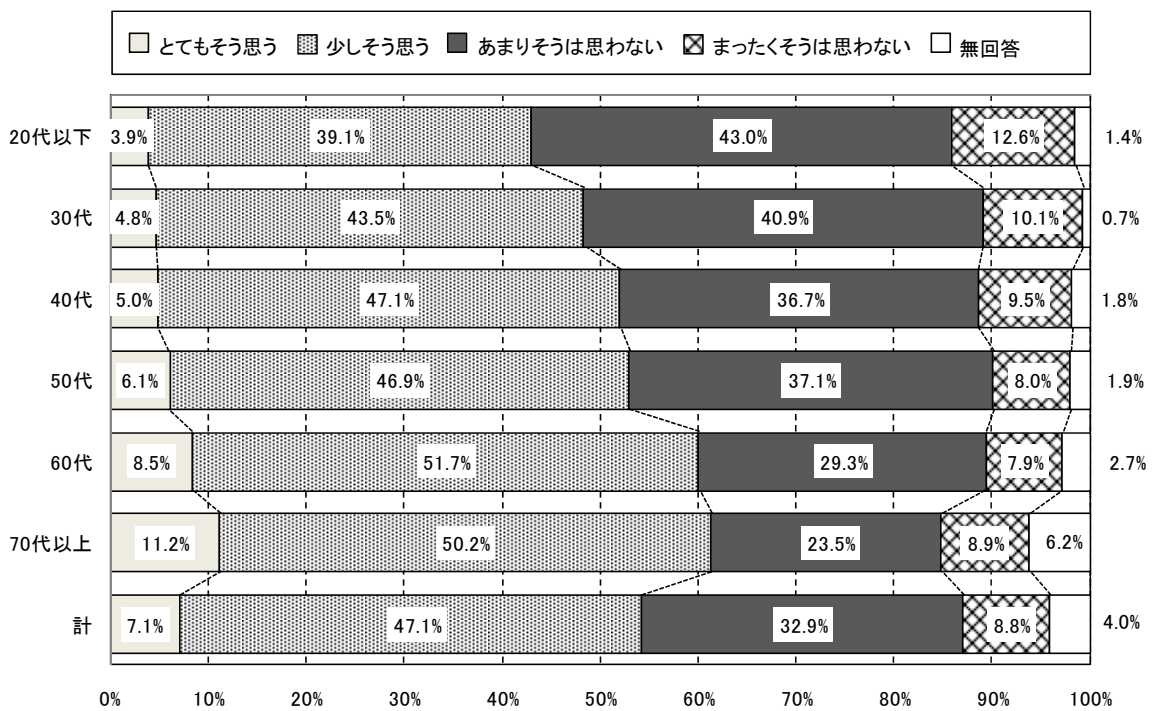


図 5-4-19 「住民参画の機会があれば、参画したいか」年代別回答率

5-5 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」について

問 33 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」をご存じですか？（〇は1つ）

「ごみゼロ社会実現プランを知っているか」については、「知らない」が60.9%を占め、次いで「名前は聞いたことがある」が31.9%となっている。
市町別については、「知っている」と「名前は聞いたことがある」の計が31.9%から43.9%であり、市町によって少し幅がある。
年代別については、上記の計が「70代以上」で高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	知っている	156	4.9%
2	名前は聞いたことがある	1,006	31.9%
3	知らない	1,920	60.9%
4	無回答	72	2.3%
有効回答数		3,154	100.0%

表 5-5-1 「プランを知っているか」回答状況

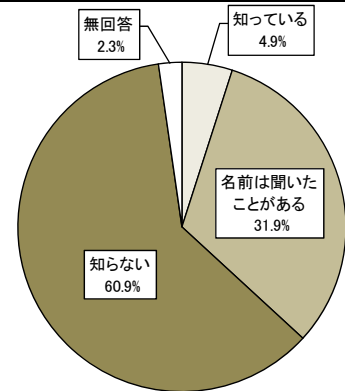


図 5-5-1 「プランを知っているか」回答率

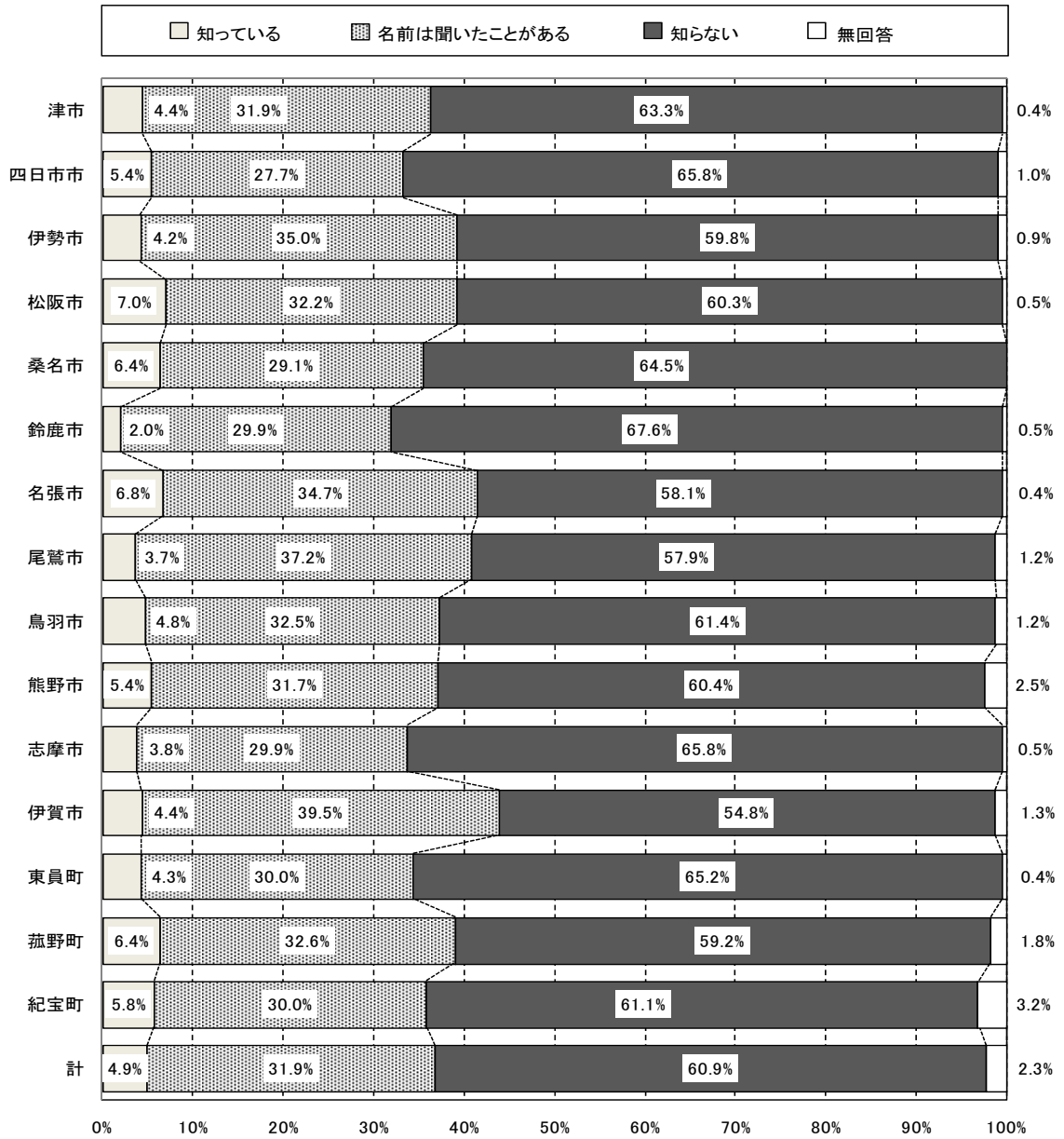


図 5-5-2 「プランを知っているか」市町別回答率

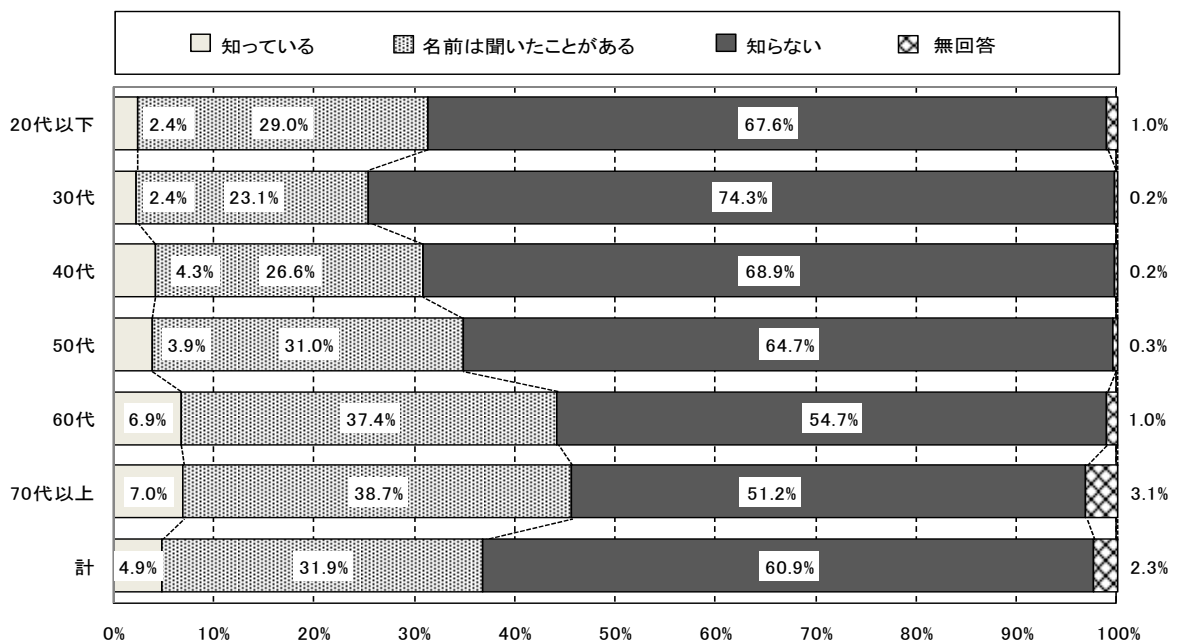


図 5-5-3 「プランを知っているか」年代別回答率

問 34 三重県のごみゼロキャラクター「ゼロ吉」をご存じですか？（〇は1つ）

「三重県のごみゼロキャラクター『ゼロ吉』を知っているか」については、「知らない」が78.8%を占め、次いで「見たことはあるが、三重県のごみゼロキャラクターであることは知らなかった」が14.0%となっている。
 市町別については、大きな隔たりはみられない。
 年代別については、「知らない」が「70代以上」で69.6%と一番低い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	知っている	162	5.1%
2	見たことはあるが、三重県のごみゼロキャラクターであることは知らなかった	440	14.0%
3	知らない	2485	78.8%
4	無回答	67	2.1%
有効回答数		3,154	100.0%

表 5-5-2 「『ゼロ吉』を知っているか」回答状況

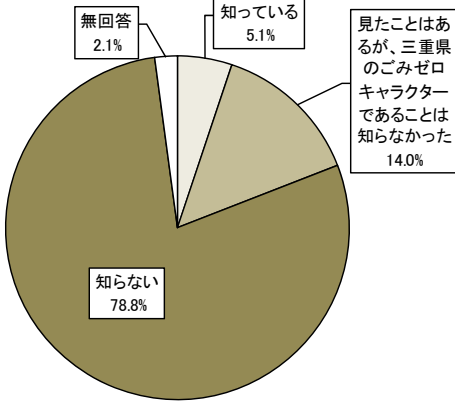
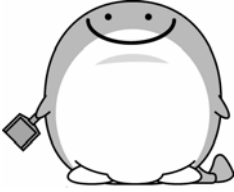


図 5-5-4 「『ゼロ吉』を知っているか」回答率



三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」

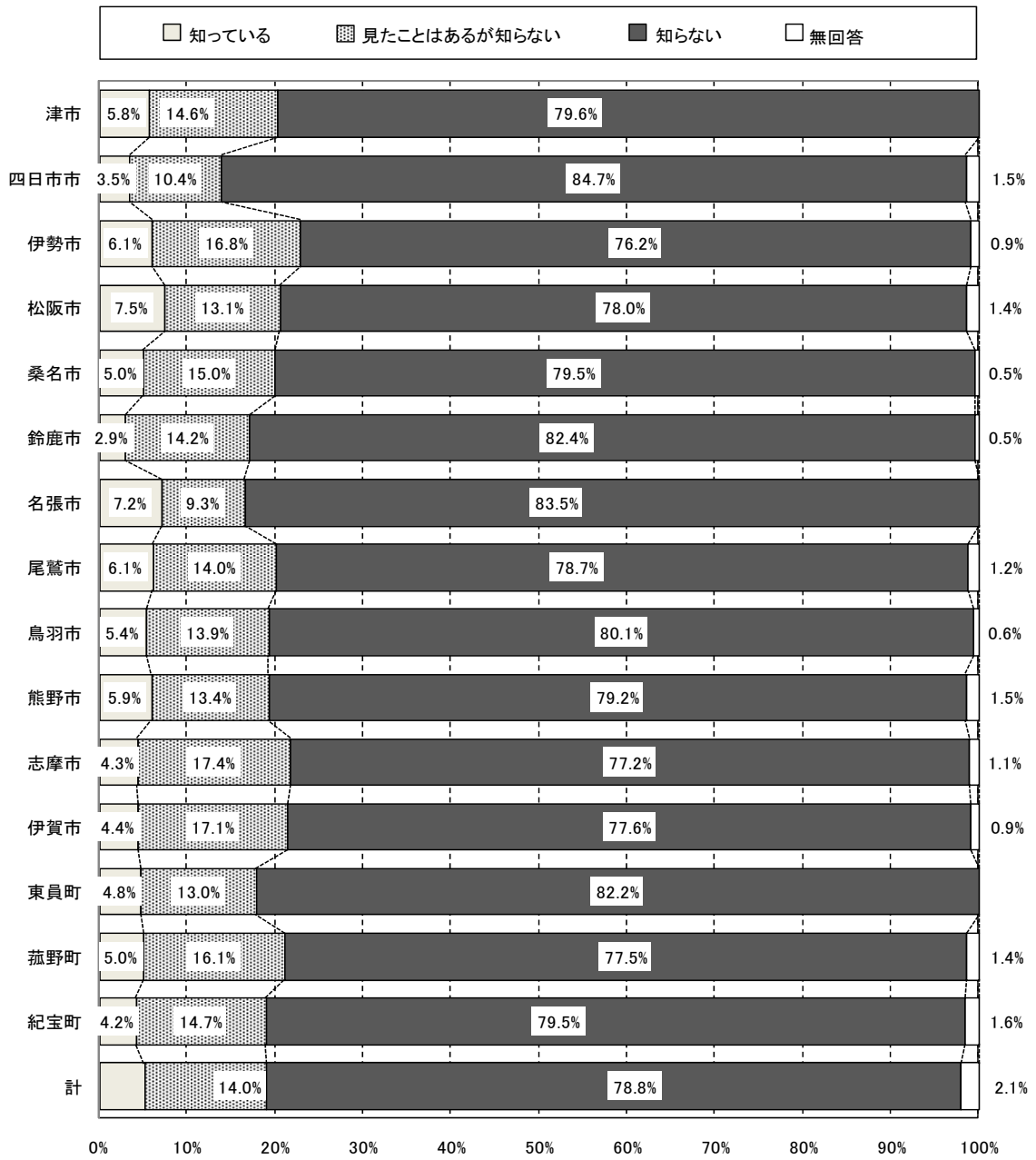


図 5-5-5 「『ゼロ吉』を知っているか」市町別回答率

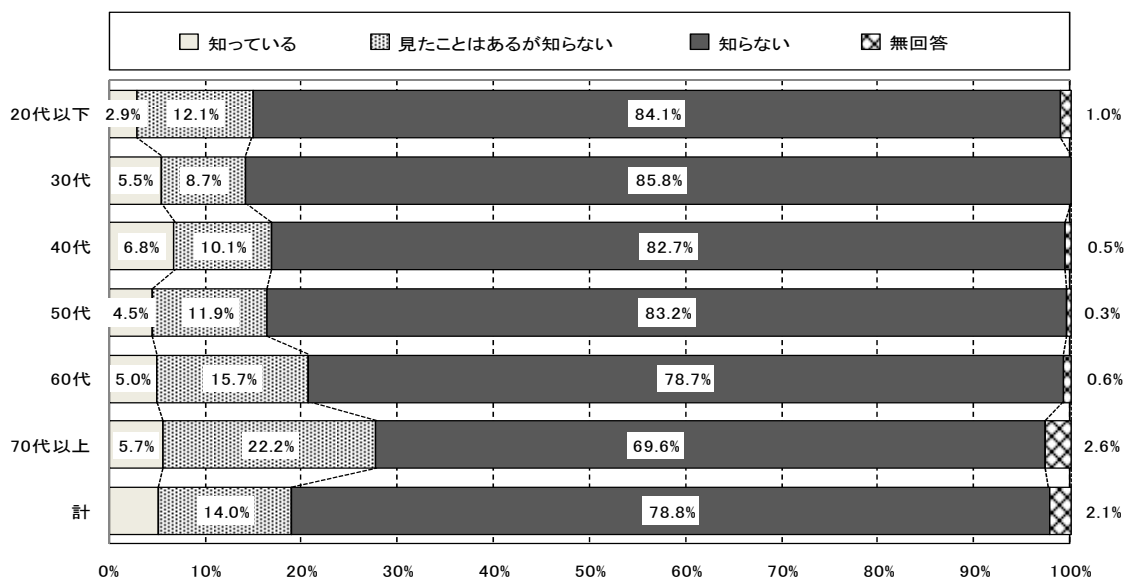


図 5-5-6 「『ゼロ吉』を知っているか」年代別回答率

問 35 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」に関する県民参画の取組に参加したいと思いませんか？（あてはまるものすべてに○）

「三重県の『ごみゼロ社会実現プラン』に関する取組に参加したいか」については、「アンケートなどに協力したい」が一番高く 36.5%であり、次いで「いずれにも参加したいとは思わない」（24.2%）、「ごみゼロの取組をまとめた「ごみゼロレポート」を読みたい」（23.5%）となっている。
市町別及び性別については、大きな差はみられない。
年代別については、「20代以下」と「30代」で「アンケートなどに協力したい」がやや高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	地域ごみゼロ交流会に参加したい	289	9.2%
2	ごみゼロに関する講演会やセミナーに参加したい	352	11.2%
3	ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい	619	19.6%
4	ごみゼロメールマガジンを読みたい	215	6.8%
5	ごみゼロの取組をまとめた「ごみゼロレポート」を読みたい	741	23.5%
6	アンケートなどに協力したい	1,152	36.5%
7	自分の意見をFAXなどで県に寄せたい	68	2.2%
8	ごみゼロプランの進捗状況などを評価検証する「ごみゼロプラン推進委員会」を傍聴したい	92	2.9%
9	いずれにも参加したいとは思わない	762	24.2%
10	その他	82	2.6%
総回答数		4,372	138.6%
有効回答数		3,154	100.0%

表 5-5-3 「県民参画の取組に参加したいか」回答状況

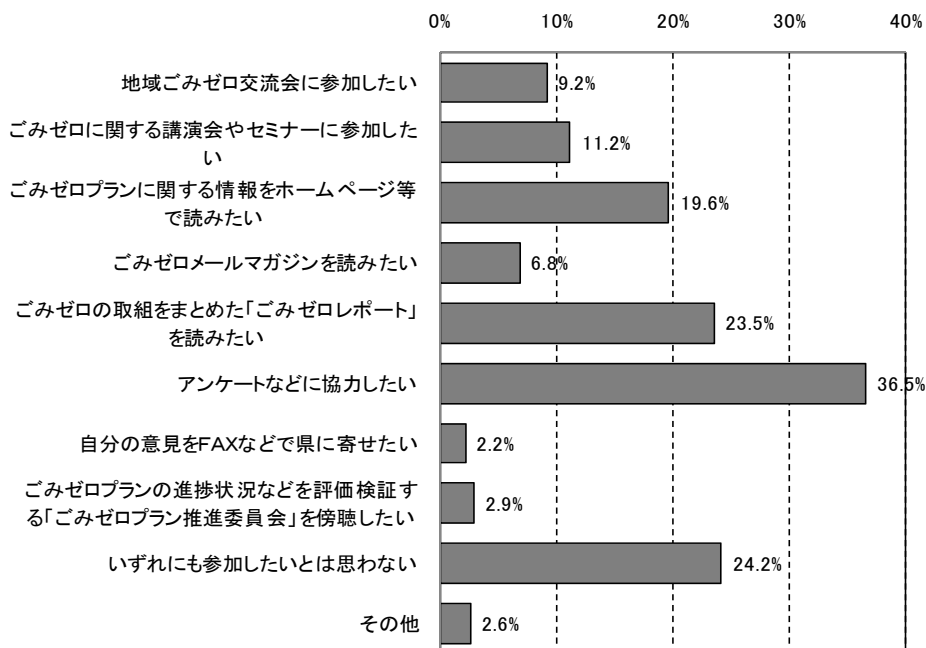


図 5-5-7 「県民参画の取組に参加したいか」回答率

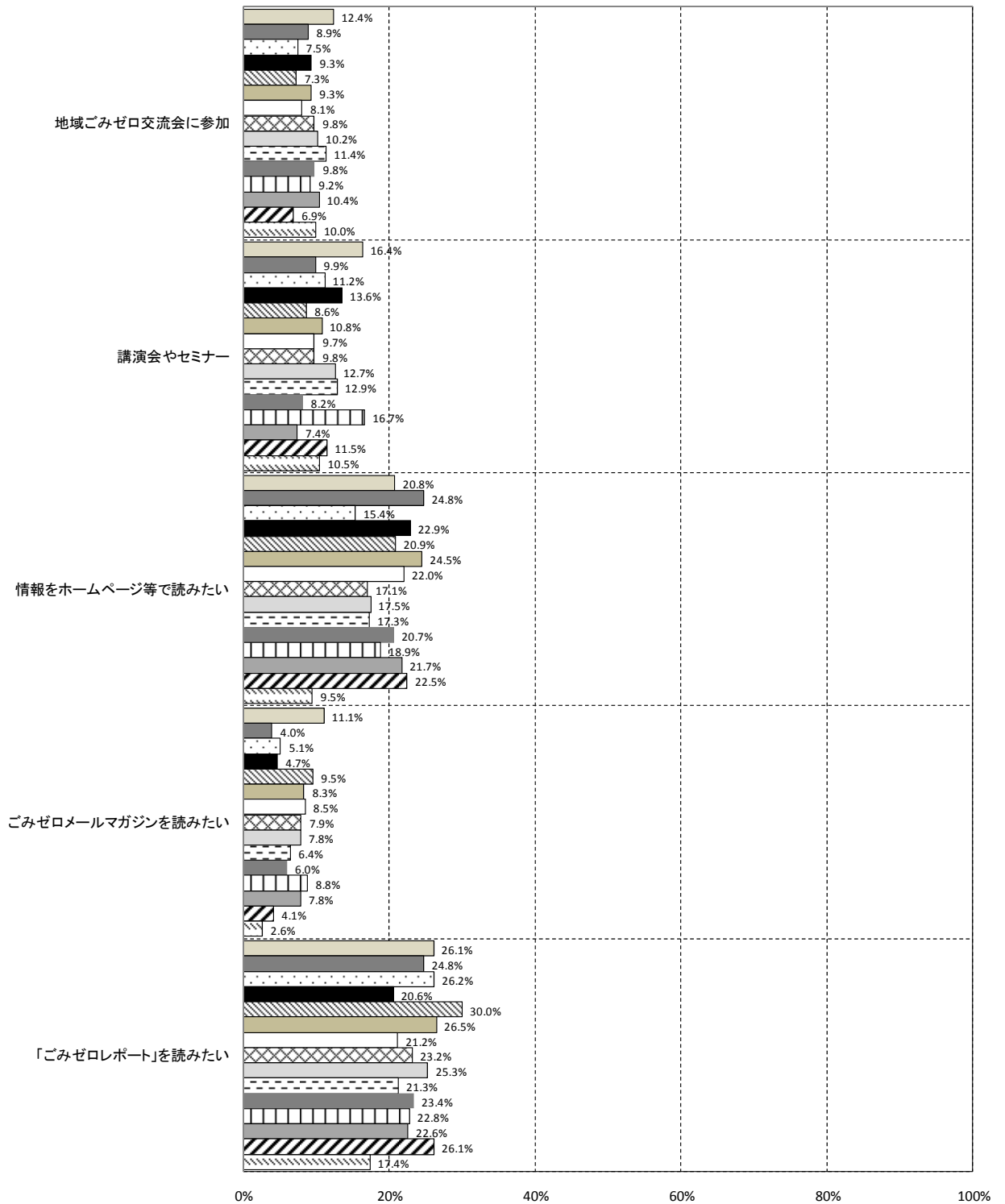
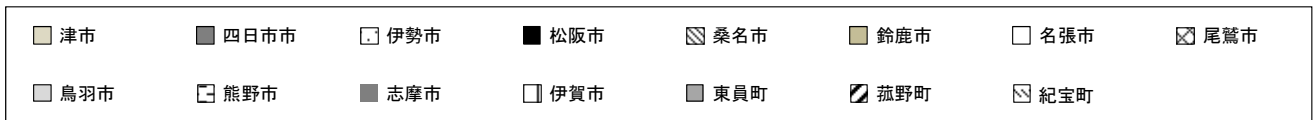


図 5-5-8 (1/2) 「県民参画の取組に参加したいか」市町別回答率

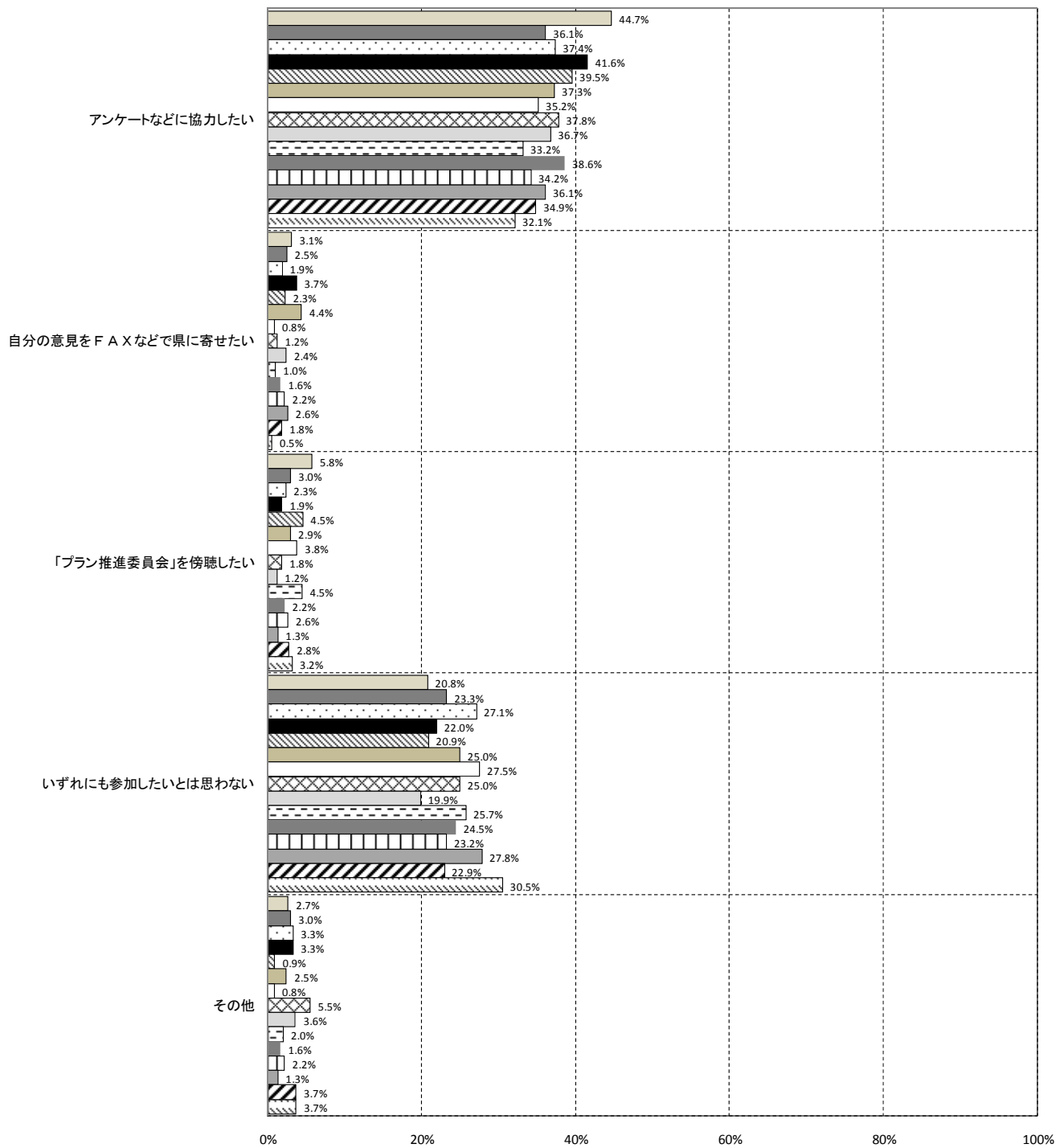
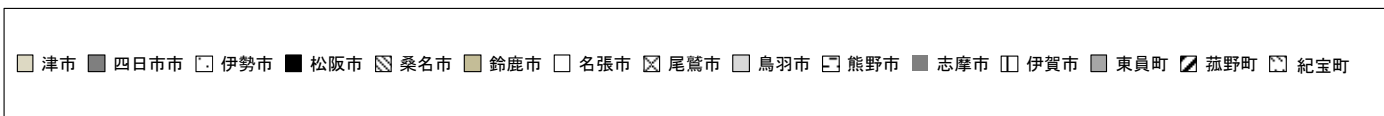


図 5-5-8 (2/2) 「県民参画の取組に参加したいか」市町別回答率

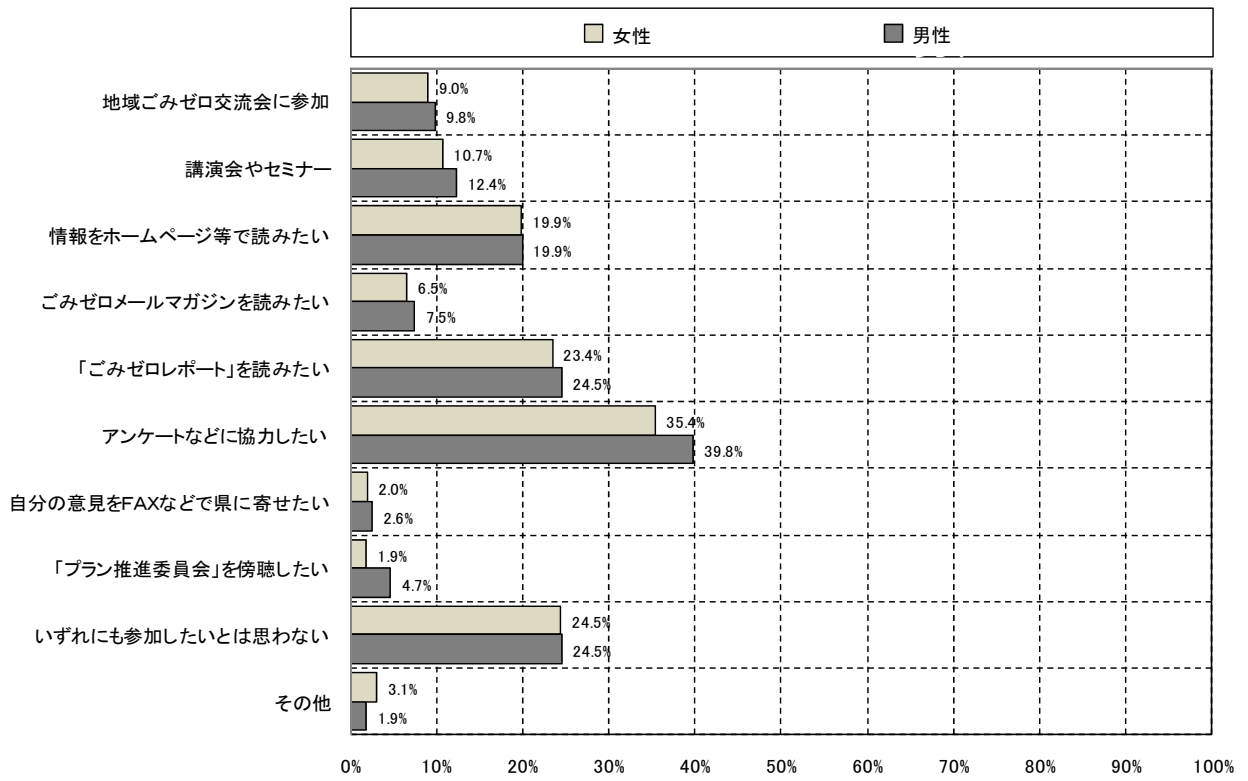


図 5-5-9 「県民参画の取組に参加したいか」性別回答率

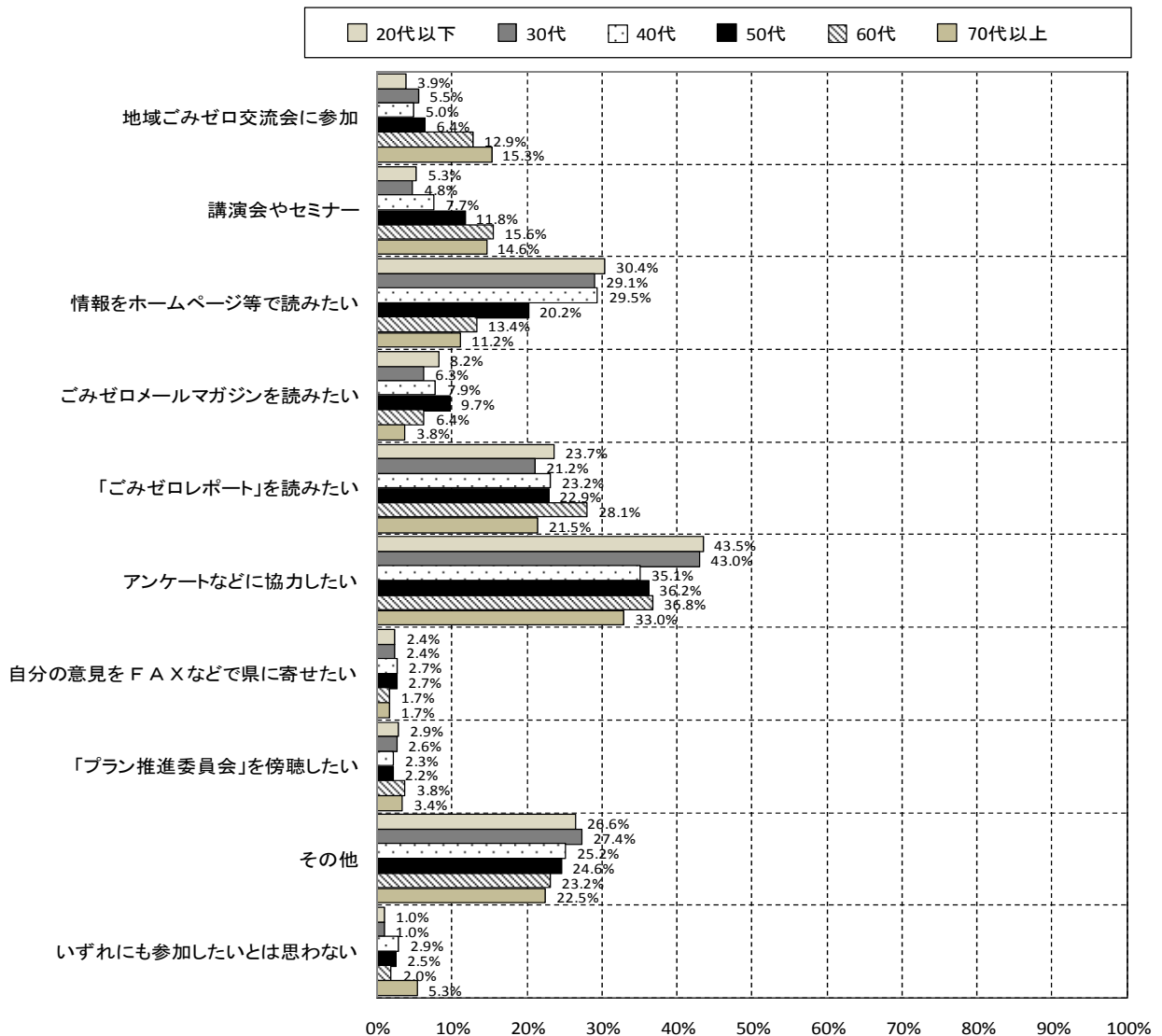


図 5-5-10 「県民参画の取組に参加したいか」年代別回答率

6 意識・行動解析

6-1 目標指標の達成状況の違いによる県民の行動及び意識の差の分析

ここでは、目標指標の達成状況の違いによる県民の行動及び意識の差の分析を行い、差が解消されることで目標指標の達成率の向上に資すると仮定して、今後県民に普及・周知を図るべき項目を検討する。計算方法は平成19年度調査と同じである。

目標指標の達成状況の違いによる県民の行動及び意識の差の計算方法

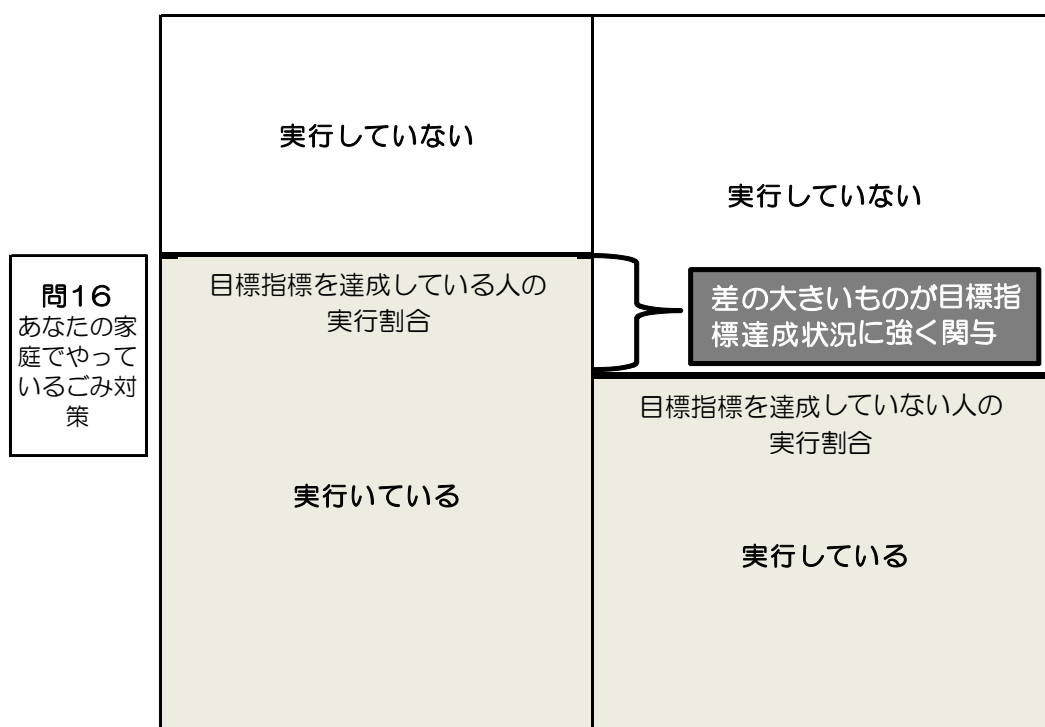
(問16 と問2-(1)における目標指標達成状況との相関で例示する)

- a. 問2-(1)「特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまふ」について、目標指標を達成している人（「③あまり当てはまらない」＋「④まったく当てはまらない」）、目標指標を達成していない人（「①よく当てはまる」＋「②少し当てはまる」）ごとに回答数を計算し、それぞれについて回答者数を母数にして比率にする。
- b. aで出た比率を元に、目標指標を達成している人と目標指標を達成していない人の差をみる。

問2-(1) 価品や新製品をみると、
すぐには必要なくてもつい買ってしまふ

目標指標を達成している人
(「③あまり当てはまらない」＋
「④まったく当てはまらない」)

目標指標を達成していない人
(「①よく当てはまる」＋
「②少し当てはまる」)



1) 問16と問2-(1)における目標指標達成状況との相関

問16「あなたの家庭でやっているごみ対策」について、「問2-(1)特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまおう」における目標指標の達成状況をみる。
 目標指標を達成している人の方が実行している割合が5ポイント以上高かったのは「13：食品は買いすぎないように注意している」、「17：資源とごみの分別を徹底している」の2項目であった。一方、目標指標を達成している人の方が実行している割合が低かった項目が「9：詰め替え容器を使用した商品を買っている」、「16：不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている」など6項目あった。

番号	問 16 選択肢	A	B	C	B-C
		全体	目標指標達成している	目標指標達成していない	差
1	台所ごみの水切りをしている	84.9%	85.0%	85.2%	-0.1%
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	13.3%	13.3%	13.3%	0.1%
3	台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している	10.5%	11.3%	9.2%	2.0%
4	市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	2.3%	2.2%	2.4%	-0.2%
5	台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	6.2%	6.4%	6.0%	0.4%
6	生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	13.2%	13.7%	12.1%	1.7%
7	紙くすなどを庭や畑で焼却している	7.7%	7.8%	7.7%	0.1%
8	買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない	91.6%	91.5%	92.3%	-0.8%
9	詰め替え容器を使用した商品を買っている	59.5%	58.6%	61.1%	-2.5%
10	ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う	15.3%	16.4%	13.4%	3.0%
11	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでいる	10.6%	11.5%	9.0%	2.6%
12	包装を断ったり、簡易包装を依頼している	37.8%	39.5%	35.4%	4.1%
13	食品は買いすぎないように注意している	59.9%	65.3%	51.4%	13.9%
14	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにしている	4.9%	5.4%	4.4%	1.0%
15	食事を食べ残さないようにしている	69.8%	71.1%	68.0%	3.1%
16	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている	17.2%	16.5%	18.6%	-2.2%
17	資源とごみの分別を徹底している	60.6%	63.0%	56.9%	6.1%
18	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	56.2%	56.8%	55.6%	1.2%
19	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている	9.5%	10.9%	7.4%	3.5%
20	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている	27.2%	27.8%	26.2%	1.6%
21	マイ箸を携帯している	9.8%	9.9%	9.6%	0.3%
22	携帯電話の店頭回収に協力している	20.5%	21.4%	19.1%	2.2%
23	その他	1.0%	1.0%	0.8%	0.2%
24	これらいずれもやっていない	0.1%	0.1%	0.2%	-0.1%

表 6-1-1 問16と問2-(1)の相関表

2) 問16と問2- (2) における目標指標達成状況との相関

問16「あなたの家庭でやっているごみ対策」について、「問2-(2)買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える」における目標指標の達成状況をみる。

目標指標を達成している人の方が実行している割合が5ポイント以上高かったのは「9：詰め替え容器を使用した商品を買っている」、「12：包装を断ったり、簡易包装を依頼している」、「13：食品は買いすぎないように注意している」、「15：食事を食べ残さないようにしている」、「17：資源とごみの分別を徹底している」、「20：マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている」の6項目であった。一方、目標指標を達成している人の方が実行している割合が低かった項目は「7：紙くすなどを庭や畑で焼却している」であった。

番号	問 16 選択肢	A	B	C	B-C
		全体	目標指標達成している	目標指標達成していない	差
1	台所ごみの水切りをしている	84.9%	86.0%	83.9%	2.1%
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	13.3%	13.5%	13.1%	0.4%
3	台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している	10.5%	11.1%	9.5%	1.5%
4	市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	2.3%	2.3%	2.2%	0.1%
5	台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	6.2%	6.4%	5.9%	0.5%
6	生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	13.2%	14.3%	11.6%	2.7%
7	紙くすなどを庭や畑で焼却している	7.7%	7.3%	8.4%	-1.1%
8	買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない	91.6%	93.0%	90.2%	2.8%
9	詰め替え容器を使用した商品を買っている	59.5%	62.1%	56.3%	5.7%
10	ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う	15.3%	16.8%	13.3%	3.5%
11	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでいく	10.6%	11.6%	9.0%	2.6%
12	包装を断ったり、簡易包装を依頼している	37.8%	42.0%	32.5%	9.6%
13	食品は買いすぎないように注意している	59.9%	63.1%	55.7%	7.4%
14	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにしている	4.9%	5.1%	4.8%	0.3%
15	食事を食べ残さないようにしている	69.8%	73.2%	65.5%	7.7%
16	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている	17.2%	17.6%	16.8%	0.8%
17	資源とごみの分別を徹底している	60.6%	63.3%	57.1%	6.2%
18	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	56.2%	58.2%	54.3%	3.9%
19	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている	9.5%	11.2%	7.0%	4.1%
20	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている	27.2%	29.3%	24.4%	5.0%
21	マイ箸を携帯している	9.8%	10.0%	9.8%	0.2%
22	携帯電話の店頭回収に協力している	20.5%	20.9%	19.9%	1.0%
23	その他	1.0%	1.2%	0.7%	0.5%
24	これらいずれもやっていない	0.1%	0.1%	0.2%	0.0%

表 6-1-2 問16と問2- (2) の相関表

3) 問16と問2-(3)における目標指標達成状況との相関

問16 「あなたの家庭でやっているごみ対策」について、「問2-(3) お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ」における目標指標の達成状況をみってみる。

目標指標を達成している人の方が実行している割合が5ポイント以上高かったのは「12：包装を断ったり、簡易包装を依頼している」、「13：食品は買いすぎないように注意している」、「15：食事を食べ残さないようにしている」、「17：資源とごみの分別を徹底している」、「18：地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している」、「20：マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている」の6項目であった。一方、目標指標を達成している人の方が実行している割合が低かった項目は「4：市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している」など2項目であった。

番号	問 16 選択肢	A	B	C	B-C
		全体	目標指標達成している	目標指標達成していない	差
1	台所ごみの水切りをしている	84.9%	86.5%	84.3%	2.2%
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	13.3%	16.3%	11.5%	4.7%
3	台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している	10.5%	13.1%	8.9%	4.2%
4	市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	2.3%	2.2%	2.3%	-0.2%
5	台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	6.2%	6.7%	6.0%	0.7%
6	生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	13.2%	14.6%	12.3%	2.3%
7	紙くすなどを庭や畑で焼却している	7.7%	8.3%	7.4%	0.9%
8	買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない	91.6%	92.6%	91.4%	1.2%
9	詰め替え容器を使用した商品を買っている	59.5%	61.4%	58.5%	2.9%
10	ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う	15.3%	18.3%	13.5%	4.7%
11	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでいく	10.6%	13.7%	8.7%	4.9%
12	包装を断ったり、簡易包装を依頼している	37.8%	45.1%	33.5%	11.6%
13	食品は買いすぎないように注意している	59.9%	66.9%	56.0%	11.0%
14	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにしている	4.9%	5.3%	4.8%	0.6%
15	食事を食べ残さないようにしている	69.8%	75.2%	67.0%	8.2%
16	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている	17.2%	18.8%	16.4%	2.5%
17	資源とごみの分別を徹底している	60.6%	65.0%	58.1%	6.9%
18	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	56.2%	60.3%	54.1%	6.2%
19	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている	9.5%	12.4%	7.8%	4.6%
20	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている	27.2%	30.7%	25.2%	5.5%
21	マイ箸を携帯している	9.8%	11.4%	9.0%	2.5%
22	携帯電話の店頭回収に協力している	20.5%	22.8%	19.1%	3.7%
23	その他	1.0%	1.4%	0.7%	0.7%
24	これらいずれもやっていない	0.1%	0.1%	0.2%	-0.1%

表 6-1-3 問16と問2-(3)の相関表

4) 問16と問2-(4)における目標指標達成状況との相関

問16 「あなたの家庭でやっているごみ対策」について、「問2-(4)一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する」における目標指標の達成状況別にみている。

目標指標を達成している人の方が実行している割合が5ポイント以上高かったのは「13：食品は買いすぎないように注意している」、「15：食事を食べ残さないようにしている」、「無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている」の3項目であった。一方、目標指標を達成している人の方が実行している割合が低かった項目は「9：詰め替え容器を使用した商品を買っている」、「8：買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない」など3項目であった。

番号	問 16 選択肢	A	B	C	B-C
		全体	目標指標達成している	目標指標達成していない	差
1	台所ごみの水切りをしている	84.9%	85.1%	85.2%	-0.1%
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	13.3%	14.8%	12.2%	2.6%
3	台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している	10.5%	11.7%	9.5%	2.2%
4	市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	2.3%	2.9%	1.8%	1.0%
5	台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	6.2%	7.1%	5.5%	1.6%
6	生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	13.2%	15.0%	11.6%	3.4%
7	紙くすなどを庭や畑で焼却している	7.7%	8.1%	7.5%	0.6%
8	買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない	91.6%	90.9%	92.6%	-1.7%
9	詰め替え容器を使用した商品を買っている	59.5%	57.1%	61.9%	-4.8%
10	ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う	15.3%	17.2%	13.8%	3.4%
11	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでいる	10.6%	12.1%	9.3%	2.8%
12	包装を断ったり、簡易包装を依頼している	37.8%	39.8%	36.5%	3.2%
13	食品は買いすぎないように注意している	59.9%	64.7%	56.2%	8.5%
14	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにしている	4.9%	6.0%	4.1%	1.8%
15	食事を食べ残さないようにしている	69.8%	73.4%	67.4%	6.0%
16	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている	17.2%	19.5%	15.5%	4.0%
17	資源とごみの分別を徹底している	60.6%	62.9%	59.0%	4.0%
18	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	56.2%	58.3%	54.9%	3.4%
19	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている	9.5%	15.2%	4.8%	10.3%
20	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている	27.2%	29.2%	25.9%	3.4%
21	マイ箸を携帯している	9.8%	11.6%	8.5%	3.1%
22	携帯電話の店頭回収に協力している	20.5%	20.6%	20.6%	0.0%
23	その他	1.0%	1.5%	0.5%	1.0%
24	これらいずれもやっていない	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%

表 6-1-4 問16と問2-(4)の相関表

5) 問16と問4-（1）における目標指標達成状況との相関

問16「あなたの家庭でやっているごみ対策」について、「問4-(1)使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか」における目標指標の達成状況をみる。

目標指標を達成している人の方が実行している割合が5ポイント以上高かったのは「6：生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている」、「12：包装を断ったり、簡易包装を依頼している」、「13：食品は買いすぎないように注意している」、「15：食事を食べ残さないようにしている」、「17：資源とごみの分別を徹底している」、「18：地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している」、「19：無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている」、「20：マイボトル・マイカップの持参などでペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている」の8項目であった。特に「15：食事を食べ残さないようにしている」は20.8%と高かった。一方、目標指標を達成している人の方が実行している割合が低かった項目は「9：詰め替え容器を使用した商品を買っている」など3項目であった。

番号	問 16 選択肢	A	B	C	B-C
		全体	目標指標達成している	目標指標達成していない	差
1	台所ごみの水切りをしている	84.9%	86.0%	84.5%	1.5%
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	13.3%	16.2%	11.7%	4.6%
3	台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している	10.5%	11.5%	10.0%	1.5%
4	市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	2.3%	2.6%	2.2%	0.3%
5	台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	6.2%	7.3%	5.6%	1.7%
6	生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	13.2%	16.8%	11.1%	5.7%
7	紙くすなどを庭や畑で焼却している	7.7%	7.7%	7.8%	0.0%
8	買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない	91.6%	93.5%	90.7%	2.8%
9	詰め替え容器を使用した商品を買っている	59.5%	59.0%	60.0%	-1.0%
10	ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う	15.3%	18.1%	13.6%	4.5%
11	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでいる	10.6%	12.4%	9.5%	2.8%
12	包装を断ったり、簡易包装を依頼している	37.8%	41.4%	35.8%	5.6%
13	食品は買いすぎないように注意している	59.9%	69.3%	54.7%	14.5%
14	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにしている	4.9%	5.8%	4.5%	1.3%
15	食事を食べ残さないようにしている	69.8%	83.1%	62.2%	20.8%
16	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている	17.2%	18.7%	16.4%	2.3%
17	資源とごみの分別を徹底している	60.6%	67.5%	56.6%	10.9%
18	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	56.2%	59.7%	54.3%	5.4%
19	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている	9.5%	12.8%	7.6%	5.2%
20	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている	27.2%	32.4%	24.2%	8.3%
21	マイ箸を携帯している	9.8%	10.9%	9.2%	1.7%
22	携帯電話の店頭回収に協力している	20.5%	20.3%	20.7%	-0.4%
23	その他	1.0%	1.5%	0.6%	0.9%
24	これらいずれもやっていない	0.1%	0.1%	0.2%	-0.1%

表 6-1-5 問16と問4-（1）の相関表

6) 問16と問4-(2) における目標指標達成状況との相関

問16「あなたの家庭でやっているごみ対策」について、「問4-(2) 食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか」における目標指標の達成状況をみている。

目標指標を達成している人の方が実行している割合が5 ポイント以上高かったのは、「2：台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている」、「6：生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている」、「12：包装を断ったり、簡易包装を依頼している」、「13：食品は買いたすぎないように注意している」、「15：食事を食べ残さないようにしている」、「17：資源とごみの分別を徹底している」、「18：地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している」、「19：無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている」、「20：マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている」の9項目であった。特に「15：食事を食べ残さないようにしている」は33.0%と高い。

番号	問 16 選択肢	A	B	C	B-C
		全体	目標指標達成している	目標指標達成していない	差
1	台所ごみの水切りをしている	84.9%	86.6%	82.9%	3.7%
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	13.3%	15.8%	10.0%	5.8%
3	台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している	10.5%	11.4%	9.3%	2.1%
4	市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	2.3%	2.9%	1.6%	1.3%
5	台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	6.2%	7.4%	4.6%	2.8%
6	生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	13.2%	15.4%	10.3%	5.0%
7	紙くすなどを庭や畑で焼却している	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%
8	買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない	91.6%	93.3%	89.6%	3.7%
9	詰め替え容器を使用した商品を買っている	59.5%	60.9%	57.8%	3.1%
10	ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う	15.3%	17.2%	12.7%	4.4%
11	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでいる	10.6%	11.9%	8.7%	3.2%
12	包装を断ったり、簡易包装を依頼している	37.8%	40.4%	34.4%	6.0%
13	食品は買いたすぎないように注意している	59.9%	67.5%	49.8%	17.6%
14	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにしている	4.9%	5.9%	3.6%	2.4%
15	食事を食べ残さないようにしている	69.8%	83.9%	50.9%	33.0%
16	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている	17.2%	18.3%	15.9%	2.4%
17	資源とごみの分別を徹底している	60.6%	66.7%	52.1%	14.6%
18	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	56.2%	59.8%	51.4%	8.4%
19	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている	9.5%	11.7%	6.6%	5.1%
20	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている	27.2%	32.0%	20.7%	11.3%
21	マイ箸を携帯している	9.8%	10.7%	8.8%	1.9%
22	携帯電話の店頭回収に協力している	20.5%	20.8%	20.2%	0.6%
23	その他	1.0%	1.2%	0.6%	0.6%
24	これらいずれもやっていない	0.1%	0.1%	0.2%	-0.2%

表 6-1-6 問16と問4-(2) の相関表

7) 目標指標達成状況による差

目標指標を達成している人と達成していない人の差について全体的にみても、すべてが5ポイント以上は「13：食品は買いすぎないように注意している」となっている。

5ポイント以上が5つあるのは、「15：食事を食べ残さないようにしている」、「17：資源とごみの分別を徹底している」の2項目であった。

5ポイント以上が4つあるのは、「12：包装を断ったり、簡易包装を依頼している」、「20：マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている」の2項目であった。

以上の5項目の行動は、目標指標の達成と相関が強いといえる。

番号	目標指標	ものを大切に長く使おうとする県民の率		環境に配慮した消費行動をとる県民の率		食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率	
	質問番号	問 2-1	問 2-2	問 2-3	問 2-4	問 4-1	問 4-2
1	台所ごみの水切りをしている	-0.1%	2.1%	2.2%	-0.1%	1.5%	3.7%
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	0.1%	0.4%	4.7%	2.6%	4.6%	5.8%
3	台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している	2.0%	1.5%	4.2%	2.2%	1.5%	2.1%
4	市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	-0.2%	0.1%	-0.2%	1.0%	0.3%	1.3%
5	台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	0.4%	0.5%	0.7%	1.6%	1.7%	2.8%
6	生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	1.7%	2.7%	2.3%	3.4%	5.7%	5.0%
7	紙くすなどを庭や畑で焼却している	0.1%	-1.1%	0.9%	0.6%	0.0%	0.0%
8	買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない	-0.8%	2.8%	1.2%	-1.7%	2.8%	3.7%
9	詰め替え容器を使用した商品を買っている	-2.5%	5.7%	2.9%	-4.8%	-1.0%	3.1%
10	ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う	3.0%	3.5%	4.7%	3.4%	4.5%	4.4%
11	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでいる	2.6%	2.6%	4.9%	2.8%	2.8%	3.2%
12	包装を断ったり、簡易包装を依頼している	4.1%	9.6%	11.6%	3.2%	5.6%	6.0%
13	食品は買いすぎないように注意している	13.9%	7.4%	11.0%	8.5%	14.5%	17.6%
14	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにしている	1.0%	0.3%	0.6%	1.8%	1.3%	2.4%
15	食事を食べ残さないようにしている	3.1%	7.7%	8.2%	6.0%	20.8%	33.0%
16	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている	-2.2%	0.8%	2.5%	4.0%	2.3%	2.4%
17	資源とごみの分別を徹底している	6.1%	6.2%	6.9%	4.0%	10.9%	14.6%
18	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	1.2%	3.9%	6.2%	3.4%	5.4%	8.4%
19	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている	3.5%	4.1%	4.6%	10.3%	5.2%	5.1%
20	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている	1.6%	5.0%	5.5%	3.4%	8.3%	11.3%
21	マイ箸を携帯している	0.3%	0.2%	2.5%	3.1%	1.7%	1.9%
22	携帯電話の店頭回収に協力している	2.2%	1.0%	3.7%	0.0%	-0.4%	0.6%
23	その他	0.2%	0.5%	0.7%	1.0%	0.9%	0.6%
24	これらいずれもやっていない	-0.1%	0.0%	-0.1%	0.2%	-0.1%	-0.2%

表 6-1-7 目標指標達成状況による差

6-2 意識と行動の相関分析

ここでは、意識と行動の相関を点数化した。意識と行動の相関を見ることにより、どのような意識が行動に結びつくか、また、行動を高めるためにはどのような意識を向上させる必要があるかを分析する。

意識パターンと行動パターンの相関を下表に示した。

意識と行動の相関		行動パターン				
		1	2	3	4	
		よく当てはまる	少し当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	
意識パターン	1	とてもそう思う	全く相関なし	相関なし	相関あり	強い相関あり
	2	少しそう思う	相関なし	相関あり	強い相関あり	相関あり
	3	あまりそうは思わない	相関あり	強い相関あり	相関あり	相関なし
	4	全くそうは思わない	強い相関あり	相関あり	相関なし	全く相関なし

表 6-2-1 意識と行動の相関表

相関点数は、「強い相関あり」を2点、「相関あり」を1点、「相関なし」を-1点、「全く相関なし」を-2点とした。

意識と行動の相関		行動パターン				
		1	2	3	4	
		よく当てはまる	少し当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	
意識パターン	1	とてもそう思う	-2	-1	1	2
	2	少しそう思う	-1	1	2	1
	3	あまりそうは思わない	1	2	1	-1
	4	全くそうは思わない	2	1	-1	-2

表 6-2-2 意識と行動の相関点数表

6-2-1 計算例：問1-1 vs 問2-1

1) 問1-1と問2-1のクロス集計で回答数を算定する。

回答数		1	2	3	4	99	計
		よく当てはまる	少し当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	無回答	
1	とてもそう思う	99	370	353	188	3	1,013
2	少しそう思う	87	499	612	333	4	1,535
3	あまりそうは思わない	15	107	219	177	2	520
4	全くそうは思わない	2	11	20	38		71
99	無回答	1	1	1	2	10	15
計		204	988	1,205	738	19	3,154

表 6-2-3 問1-1 vs 問2-1 クロス集計

2) 表 6-2-3の回答数に表 6-2-2の相関点数を乗する。

相関点数の計を総回答数で除して平均相関点数を求める。

平均相関点数を相関点数の満点である2点で除して相関点数率を算定する。

相関点数		1	2	3	4	99	計	平均相関点数 相関点数計÷総回答数
		よく当てはまる	少し当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	無回答		
1	とてもそう思う	-198	-370	353	376	0	161	
2	少しそう思う	-87	499	1,224	333	0	1,969	
3	あまりそうは思わない	15	214	219	-177	0	271	
4	全くそうは思わない	4	11	-20	-76	0	-81	
99	無回答	0	0	0	0	0	0	
計		-266	354	1,776	456	0	2,320	0.74
相関点数率（平均相関点数/相関点数満点：2点）								36.8%

表 6-2-4 問1-1 v s 問2-1 相関点数表

以下同様の手段で、問1-1～6（意識に関する質問）と問2-1～4及び問4-1、2（行動に関する質問）の相関点数を求めることにより意識と行動の相関を分析した。

6-2-2 意識と行動の相関分析

1) 問1-1「家の中を見回してみると、あまり必要ないものがたくさんあると思う」と行動の相関

意識：問1-1と行動の相関は、問2-1「特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまおう」が最も高く、問4-1「使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか」が最も低い。最大と最小の差は0.26あり、ばらつきが大きい。

			相関点数	率
問 1-1 あまり必要ないものがたくさんあると思う	問 2-1	特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまおう	0.74	36.8%
	問 2-2	買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える	0.69	34.7%
	問 2-3	お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ	0.55	27.6%
	問 2-4	一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する	0.49	24.4%
	問 4-1	使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか	0.48	23.8%
	問 4-2	食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか	0.68	34.1%
	最大値と最小値の差			0.26

表 6-2-5 問1-1と行動のまとめ

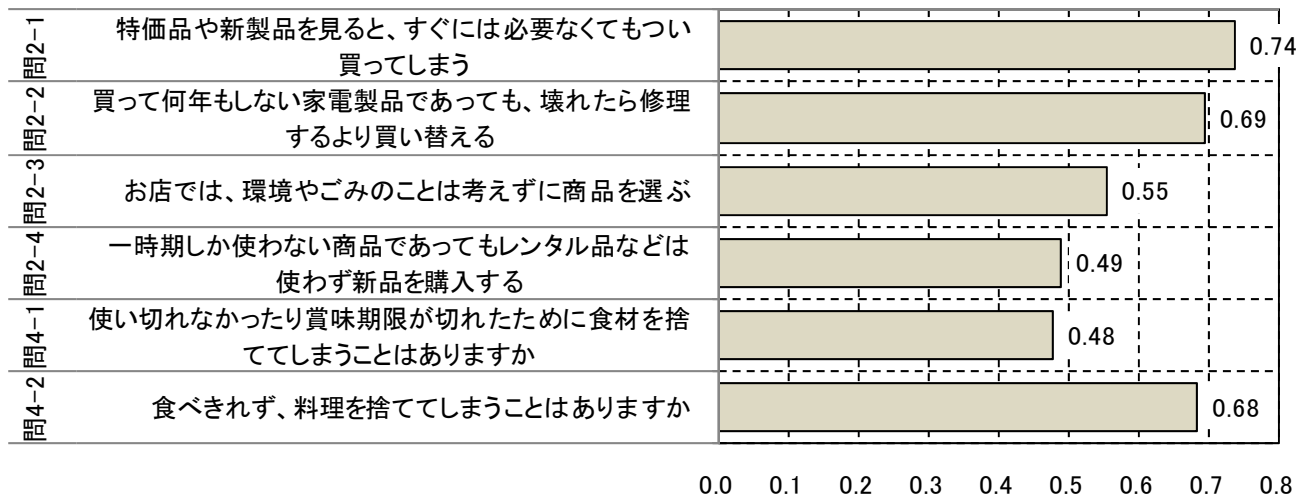


図 6-2-1 問1-1と行動のまとめ

2) 問1-2「ものを捨てる時、つい「もったいない」と思ってしまふ」と行動の相関

意識：問1-2と行動の相関は、問4-2「食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか？」が最も高く、問2-4「一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する」が最も低い。最大と最小の差は0.32あり、ばらつきが大きい。

			相関点数	率
問1-2 ものを捨てる時、つい「もったいない」と思ってしまふ	問2-1	特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまふ	0.81	40.7%
	問2-2	買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える	0.78	39.2%
	問2-3	お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ	0.57	28.3%
	問2-4	一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する	0.52	26.0%
	問4-1	使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか	0.55	27.7%
	問4-2	食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか	0.84	42.2%
	最大値と最小値の差			0.32

表 6-2-6 問1-2と行動のまとめ

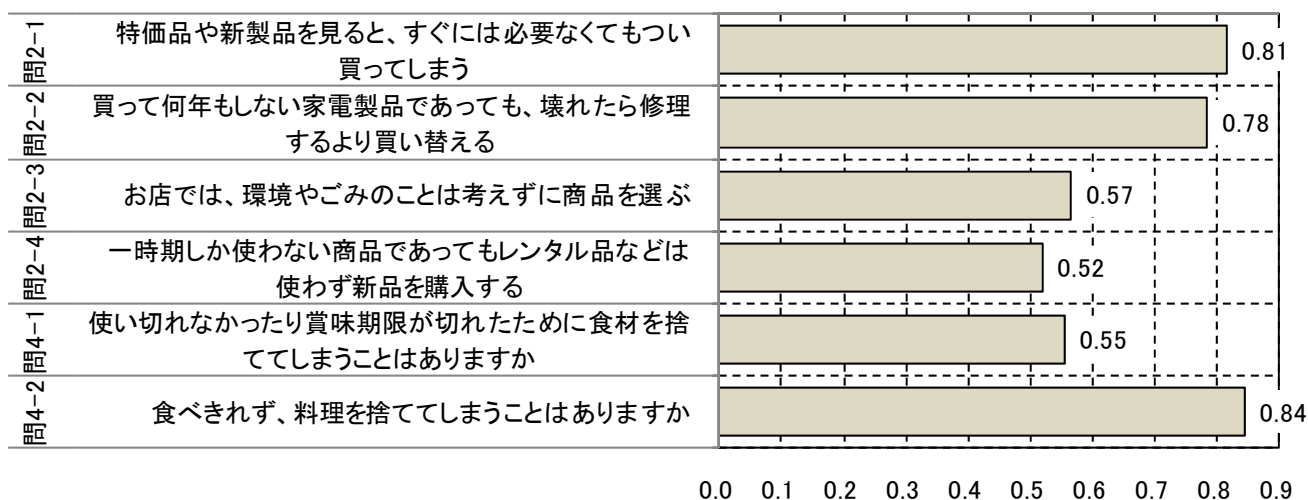


図 6-2-2 問1-2と行動のまとめ

3) 問1-3「商品についている容器や包装材は、もっと少なくていいと思う」と行動の相関

意識：問1-3と行動の相関は、問2-1「特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまおう」が最も高く、問2-3「お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ」が最も低い。最大と最小の差は0.50あり、ばらつきがかなり大きい。

			相関点数	率
問 1-3 商品について いる容器や包 装材は、もっ と少なくてい いと思う	問 2-1	特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまおう	0.73	36.7%
	問 2-2	買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える	0.62	30.8%
	問 2-3	お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ	0.23	11.5%
	問 2-4	一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する	0.31	15.4%
	問 4-1	使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか	0.29	14.5%
	問 4-2	食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか	0.70	34.8%
	最大値と最小値の差			0.50

表 6-2-7 問1-3と行動のまとめ

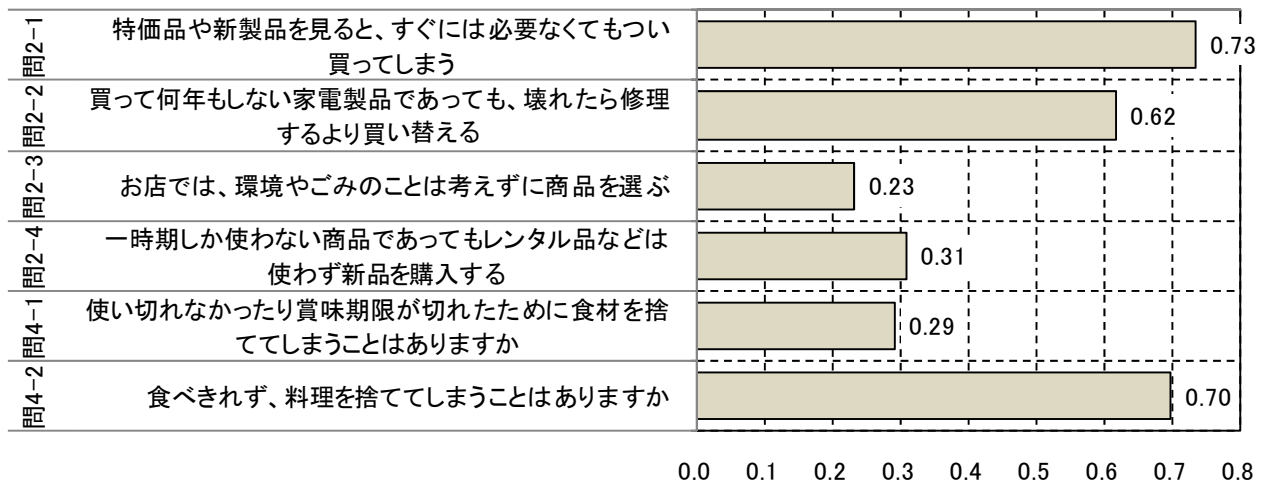


図 6-2-3 問1-3と行動のまとめ

4) 問1-4「レンタル製品など多くの人が使いまわすものでも、特に抵抗感はない」と行動の相関

意識：問1-4と行動の相関は、問2-1「特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまおう」が最も高く、問2-3「お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ」が最も低い。最大と最小の差は0.09であり、ばらつきは小さい。

			相関点数	率
問 1-4 レンタル製品 など多くの人 が使いまわす ものでも、特 に抵抗感はない	問 2-1	特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまおう	0.83	41.7%
	問 2-2	買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える	0.80	39.9%
	問 2-3	お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ	0.79	39.5%
	問 2-4	一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する	0.80	39.9%
	問 4-1	使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか	0.75	37.3%
	問 4-2	食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか	0.78	39.1%
	最大値と最小値の差			0.09

表 6-2-8 問1-4と行動のまとめ

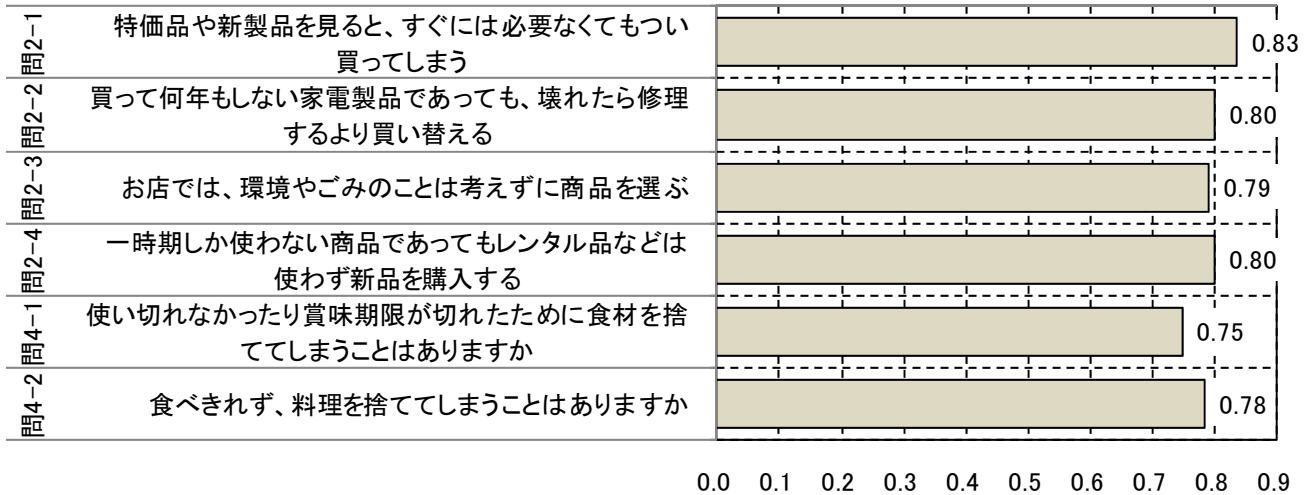


図 6-2-4 問1-4と行動のまとめ

5) 問1-5「日常生活における一人ひとりの行動が環境に大きな影響を及ぼすと思う」と行動の相関

意識：問1-5と行動の相関は、問2-1「特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまふ」が最も高く、問2-3「お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ」が最も低い。最大と最小の差は0.55あり、ばらつきはかなり大きい。最大値も0.62と低く、意識と行動の相関はかなり低いと思われる。

			相関点数	率
問1-5 日常生活における一人ひとりの行動が環境に大きな影響を及ぼすと思う	問2-1	特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまふ	0.62	31.0%
	問2-2	買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える	0.49	24.7%
	問2-3	お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ	0.07	3.5%
	問2-4	一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する	0.14	7.2%
	問4-1	使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか	0.15	7.3%
	問4-2	食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか	0.60	30.0%
	最大値と最小値の差			0.55

表 6-2-9 問1-5と行動のまとめ

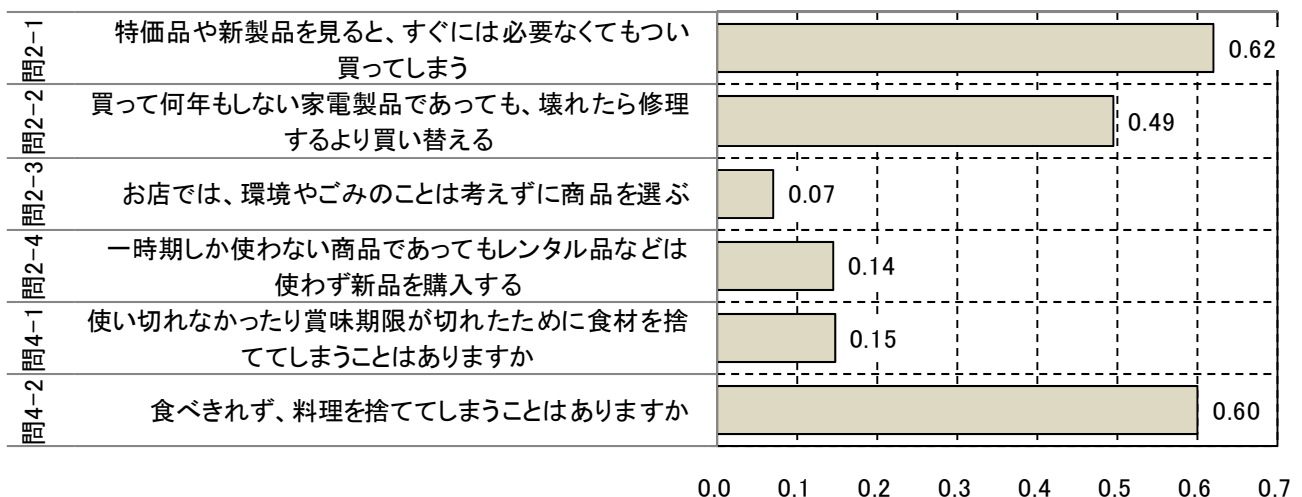


図 6-2-5 問1-5と行動のまとめ

6) 問1-6「環境問題解決のためには、技術開発や研究を一層充実させることが必要だと思う」と行動の相関

意識：問1-6と行動の相関は、問2-1「特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまふ」が最も高く、問2-3「お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ」が最も低い。最大と最小の差は0.43あり、ばらつきはかなり大きい。

			相関点数	率
問 1-6 環境問題解決のためには、 技術開発や研究を一層充実させることが必要だと思う	問 2-1	特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまふ	0.71	35.7%
	問 2-2	買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える	0.58	29.0%
	問 2-3	お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ	0.28	14.2%
	問 2-4	一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する	0.31	15.6%
	問 4-1	使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか	0.34	16.8%
	問 4-2	食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか	0.66	33.1%
	最大値と最小値の差			0.43

表 6-2-10 問1-6と行動のまとめ

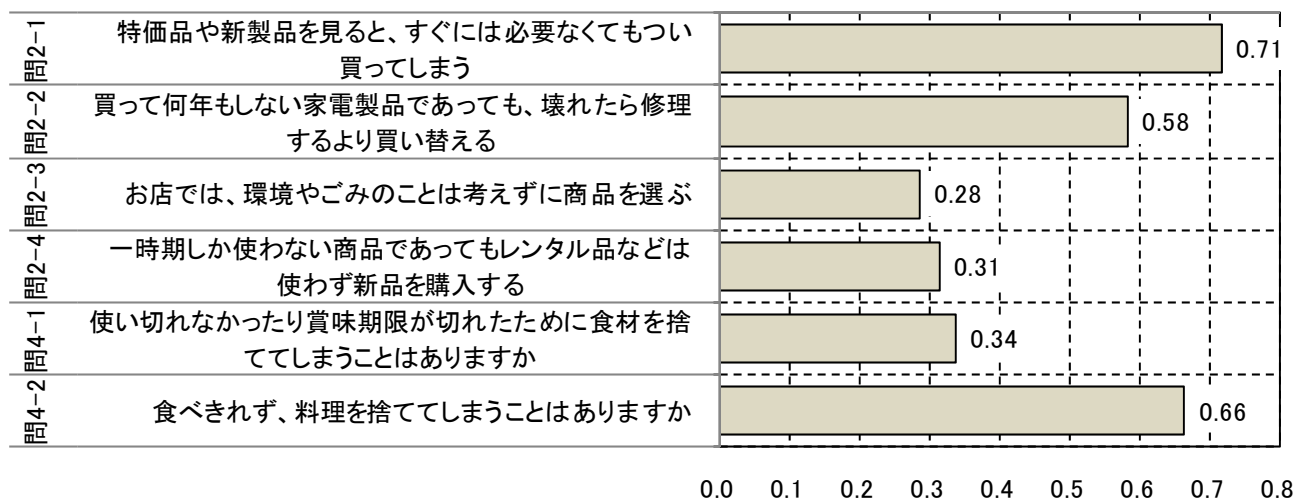


図 6-2-6 問1-6と行動のまとめ

7) 意識と行動の相関まとめ（意識・行動の相関点数の平均値）

意識から行動の相関をみると、問1-4「レンタル製品に抵抗感ない」の意識が行動に対し0.79と最も高い相関を示している。次いで問1-2「捨てるともったいない（0.68）」、問1-1「不要なものが多い（0.60）」となっている。

相関が最も低い意識は、問1-5「一人ひとりの行動が影響を及ぼす」で0.35、次いで問1-3「容器・包装材は少なくてよい（0.48）」、問1-6「技術開発・研究が大事（0.48）」となっている。

行動から意識をみると、相関の高い行動は、問2-1「必要なくても買ってしまおう（0.74）」、問4-2「食べきれず料理を捨てる（0.11）」、問2-2「修理より買い替える（0.66）」となっている。

相関が低い行動は、問2-3「環境・ごみを考えず商品を選ぶ」、問4「期限切れで食材を捨てる」となっている。

意識・行動 相関		問 2-1	問 2-2	問 2-3	問 2-4	問 4-1	問 4-2	平均値
		必要なくても買ってしまおう	修理より買い替え	環境・ごみを考えず商品を選ぶ	レンタル製品でなく新品を購入	期限切れで食材を捨てる	食べきれず料理を捨てる	
問 1-1	不要なものが多い	0.74	0.69	0.55	0.49	0.48	0.68	0.60
問 1-2	捨てるともったいない	0.81	0.78	0.57	0.52	0.55	0.84	0.68
問 1-3	容器・包装材は少なくてよい	0.73	0.62	0.23	0.31	0.29	0.70	0.48
問 1-4	レンタル製品に抵抗感ない	0.83	0.80	0.79	0.80	0.75	0.78	0.79
問 1-5	一人ひとりの行動が影響を及ぼす	0.62	0.49	0.07	0.14	0.15	0.60	0.35
問 1-6	技術開発・研究が大事	0.71	0.58	0.28	0.31	0.34	0.66	0.48
平均		0.74	0.66	0.42	0.43	0.42	0.71	0.56

表 6-2-9 意識と行動の相関まとめ 平均値

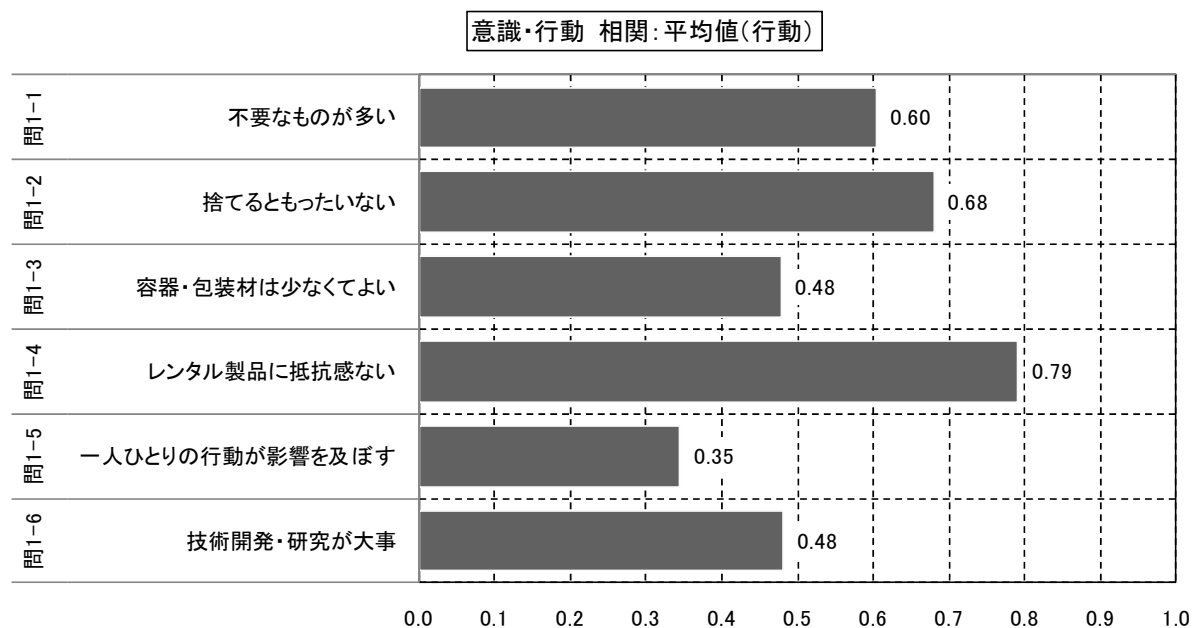


図 6-2-7 意識と行動の相関まとめ 平均値

7 平成 16 年度・平成 19 年度・平成 22 年度比較

平成 16 年度・平成 19 年度・平成 22 年度比較は、同一設問について行った。同一設問でも選択肢のことなるものは、除外してある。

7-1 属性

1) 年代

年代構成比率は、20 代以下、50 代、60 代で若干差はあるものの、調査年度での大きな差異はない。

年代		平成 22 年度		平成 19 年度		平成 16 年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	20 代以下	207	6.6%	233	6.3%	99	2.6%
2	30 代	416	13.2%	466	12.7%	421	11.0%
3	40 代	444	14.1%	572	15.5%	604	15.7%
4	50 代	638	20.2%	847	23.0%	991	25.8%
5	60 代	815	25.8%	808	21.9%	910	23.7%
6	70 代以上	582	18.5%	646	17.5%	614	16.0%
99	無回答	52	1.6%	110	3.0%	196	5.1%
計		3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-1-1 年度別年代 構成比率

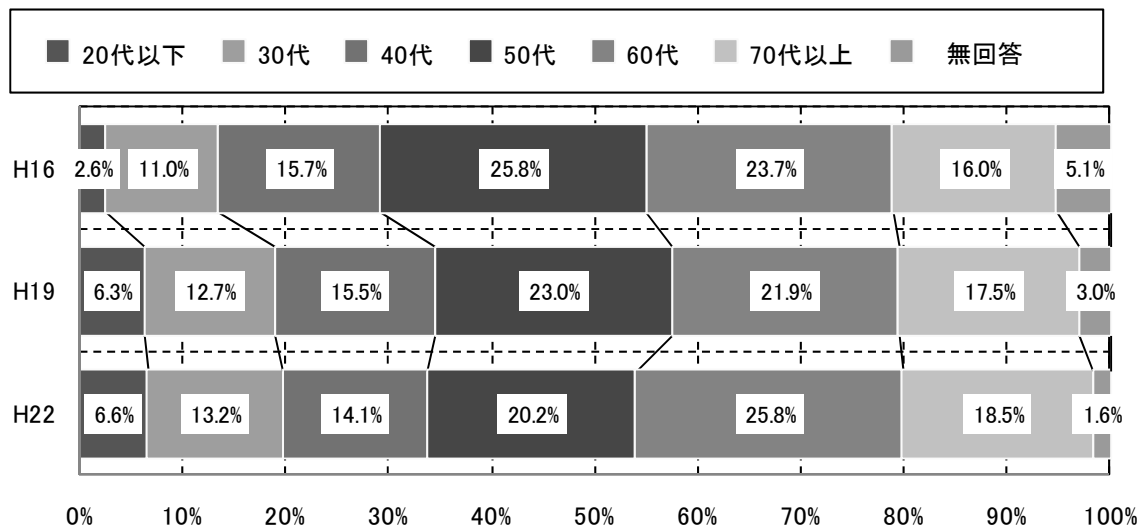


図 7-1-1 年度別年代 構成比率

2) 性別

性別は、調査年度ごとに女性の比率が高くなってきている。

性別		平成 22 年度		平成 19 年度		平成 16 年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	女性	1,881	59.6%	2,097	57.0%	1,655	43.2%
2	男性	1,214	38.5%	1,461	39.7%	1,966	51.3%
99	無回答	59	1.9%	124	3.4%	214	5.6%
計		3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-1-2 年度別性別 構成比率

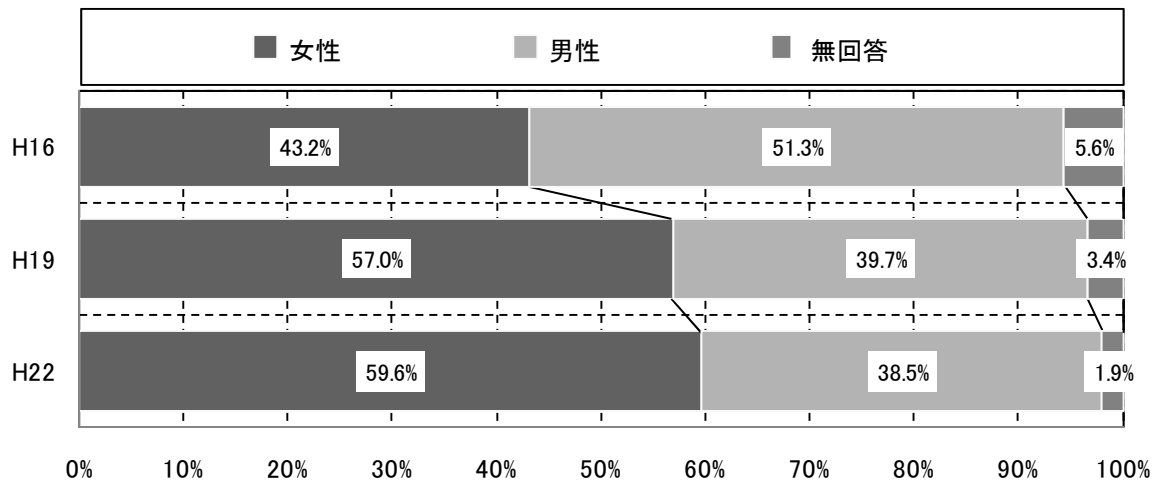


図 7-1-2 年度別性別 構成比率

3) 職業

職業の構成比率は、調査年度での大きな差は見られない。

職業	平成 22 年度		平成 19 年度		平成 16 年度	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 会社員・公務員	854	27.1%	1,014	27.6%	1,087	28.3%
2 パート・アルバイト	461	14.6%	519	14.1%	421	11.0%
3 農林水産業	74	2.3%	81	2.2%	157	4.1%
4 自営業	261	8.3%	389	10.6%	510	13.3%
5 家事・家事手伝い	360	11.4%	400	10.9%	288	7.5%
6 学生	30	1.0%	40	1.1%	17	0.4%
7 無職	927	29.4%	968	26.3%	996	26.0%
8 その他	128	4.1%	143	3.9%	147	3.8%
99 無回答	59	1.9%	120	3.3%	212	5.5%
計	3,154	100%	3,674	100%	3,835	100%

表 7-1-3 年度別職業 構成比率

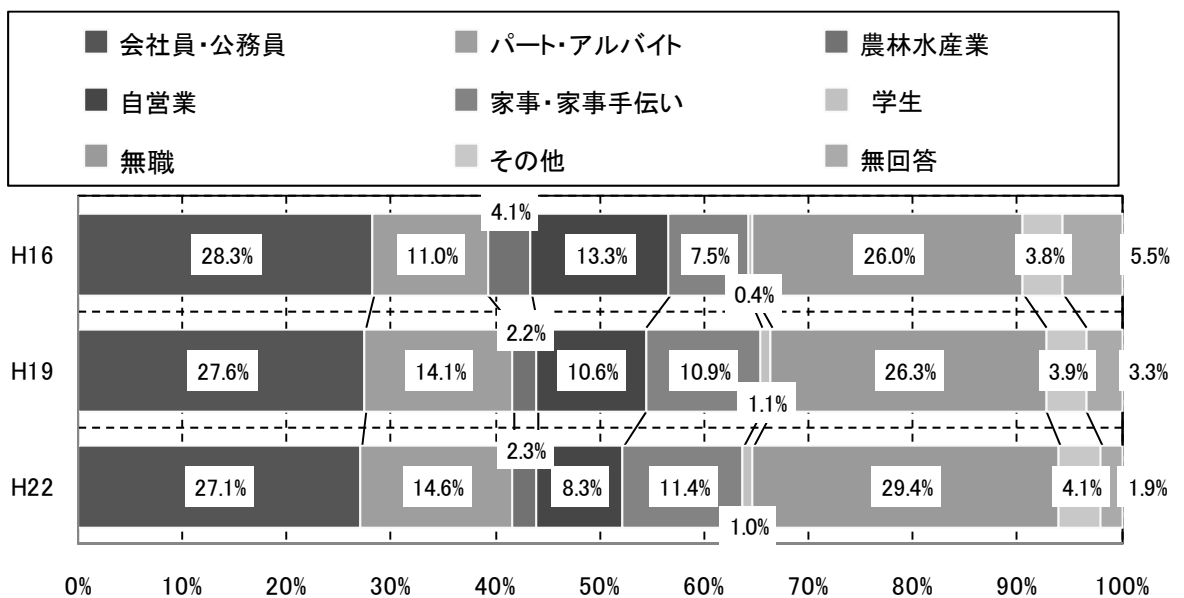


図 7-1-3 年度別職業 構成比率

4) 世帯人員

世帯人員の構成比率は、調査年度ごとに少人数世帯比率が年々増加し、多人数世帯が年々減少している

世帯人員	平成 22 年度		平成 19 年度		平成 16 年度	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 1人	530	16.8%	517	14.0%	343	8.9%
2 2人	918	29.1%	1,033	28.1%	972	25.3%
3 3人	717	22.7%	837	22.7%	874	22.8%
4 4人	479	15.2%	593	16.1%	663	17.3%
5 5人以上	452	14.3%	575	15.6%	789	20.6%
99 無回答	58	1.8%	127	3.4%	194	5.1%
計	3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-1-4 年度別世帯人員 構成比率

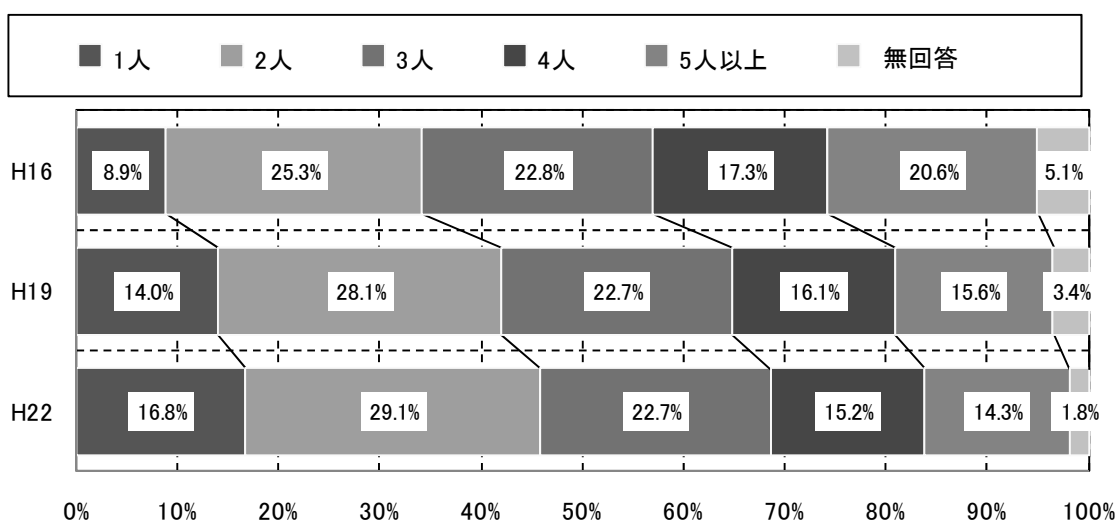


図 7-1-4 年度別世帯人員 構成比率

7-2 暮らしの中での関心ごとや考えられる行動について

7-2-1 問 1 次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？

1) 家の中を見回してみると、あまり必要ないものがたくさんあると思う。

「身の回りに必要でないものがある」という意識は、「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計が調査年度ごとに増加してきている。

問 1-1	平成 22 年度		平成 19 年度		平成 16 年度	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 とてもそう思う	1,013	32.1%	1,137	30.9%	1,192	31.1%
2 少しそう思う	1,535	48.7%	1,824	49.5%	1,831	47.7%
1+2	2,548	80.8%	2,961	80.4%	3,023	78.8%
3 あまりそうは思わない	520	16.5%	577	15.7%	587	15.3%
4 まったくそうは思わない	71	2.3%	73	2.0%	83	2.2%
99 無回答	15	0.5%	71	1.9%	142	3.7%
計	3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-2-1 年度別「必要でないもの」 構成比率

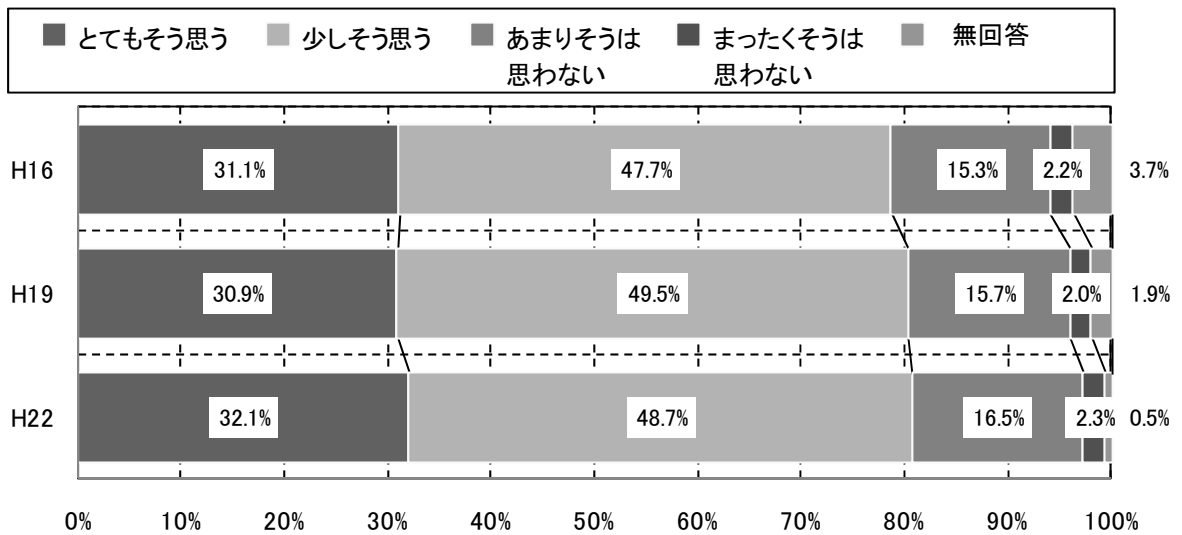


図 7-2-1 年度別「必要ないもの」 構成比率

2) ものを捨てる時、つい「もったいない」と思ってしまう。

「もったいない」の意識は、「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計が調査年度ごとに増加してきている。

問 1-2		平成 22 年度		平成 19 年度		平成 16 年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	とてもそう思う	1,098	34.8%	1,265	34.4%	1,277	33.3%
2	少しそう思う	1,626	51.6%	1,888	51.3%	1,980	51.6%
1+2		2,724	86.4%	3,153	85.7%	3,257	84.9%
3	あまりそうは思わない	357	11.3%	375	10.2%	355	9.3%
4	まったくそうは思わない	54	1.7%	87	2.4%	79	2.1%
99	無回答	19	0.6%	67	1.8%	144	3.8%
計		3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-2-2 年度別「もったいない」 構成比率

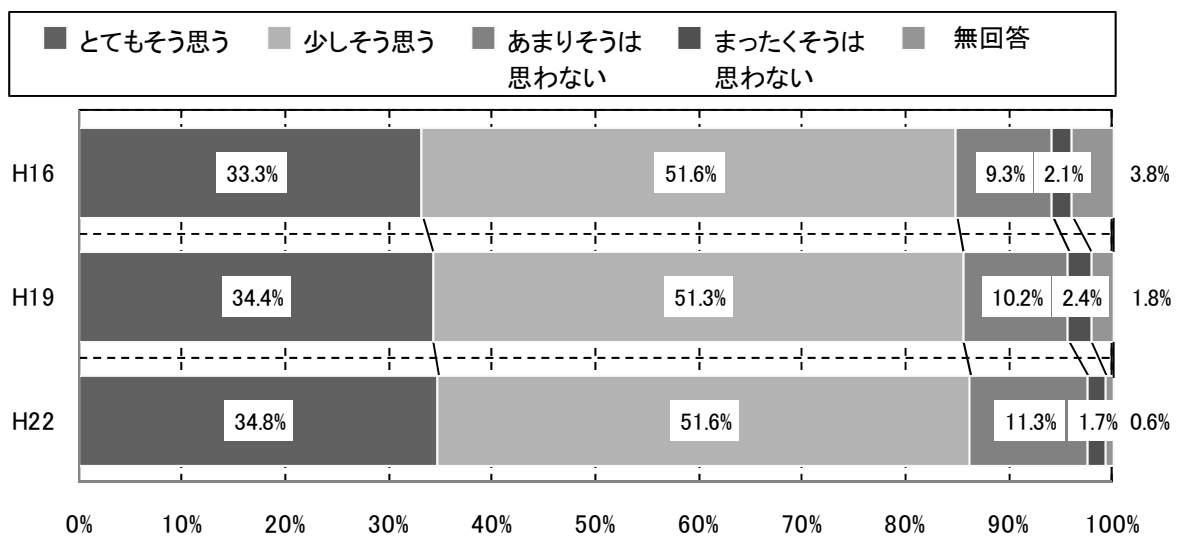


図 7-2-2 年度別「もったいない」 構成比率

3) 商品についている容器や包装材は、もっと少なくていいと思う。

「過剰容器や包装材」の意識は、「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計が調査年度ごとに増加してきている。

問 1-3		平成 22 年度		平成 19 年度		平成 16 年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	とてもそう思う	1,882	59.7%	2,356	64.0%	2,444	63.7%
2	少しそう思う	1,078	34.2%	1,069	29.0%	1,055	27.5%
1+2		2,960	93.9%	3,425	93.0%	3,499	91.2%
3	あまりそうは思わない	156	4.9%	166	4.5%	161	4.2%
4	まったくそうは思わない	17	0.5%	19	0.5%	29	0.8%
99	無回答	21	0.7%	72	2.0%	146	3.8%
計		3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-2-3 年度別「過剰容器や包装材」 構成比率

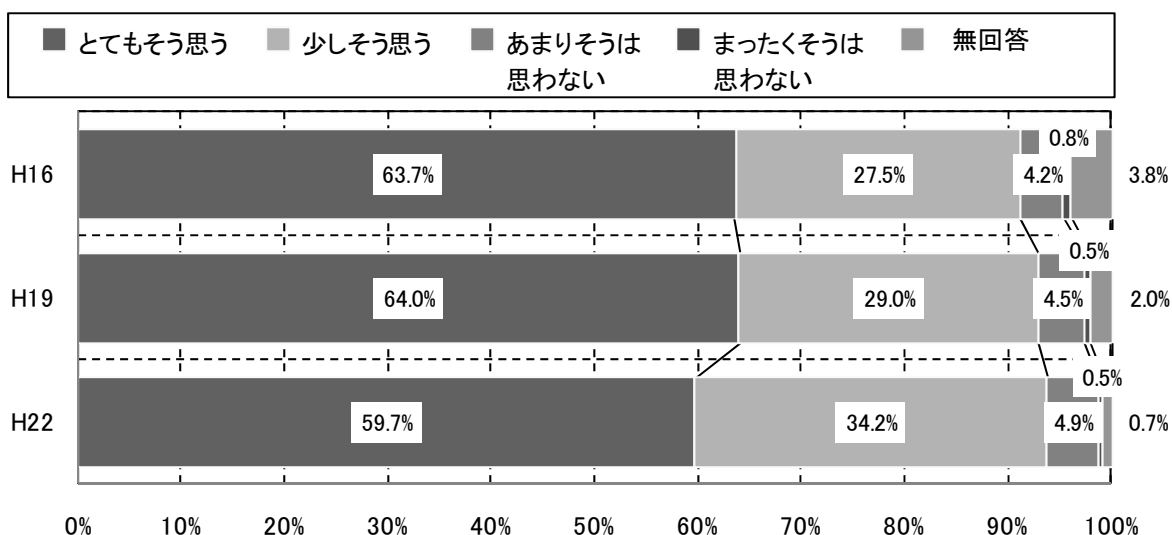


図 7-2-3 年度別「過剰容器や包装材」 構成比率

4) レンタル製品など多くの人が使いまわすものでも、特に抵抗感はない。

「レンタル製品等への抵抗感はない」の意識は、「とてもそう思う」と「少しそう思う」ともに調査年度ごとに増加している。

問 1-4		平成 22 年度		平成 19 年度		平成 16 年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	とてもそう思う	556	17.6%	637	17.3%	622	16.2%
2	少しそう思う	1,364	43.2%	1,578	42.9%	1,543	40.2%
3	あまりそうは思わない	878	27.8%	1,003	27.2%	1,118	29.2%
4	まったくそうは思わない	301	9.5%	338	9.2%	334	8.7%
99	無回答	55	1.7%	126	3.4%	218	5.7%
計		3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-2-4 年度別「レンタル製品等への抵抗感」 構成比率

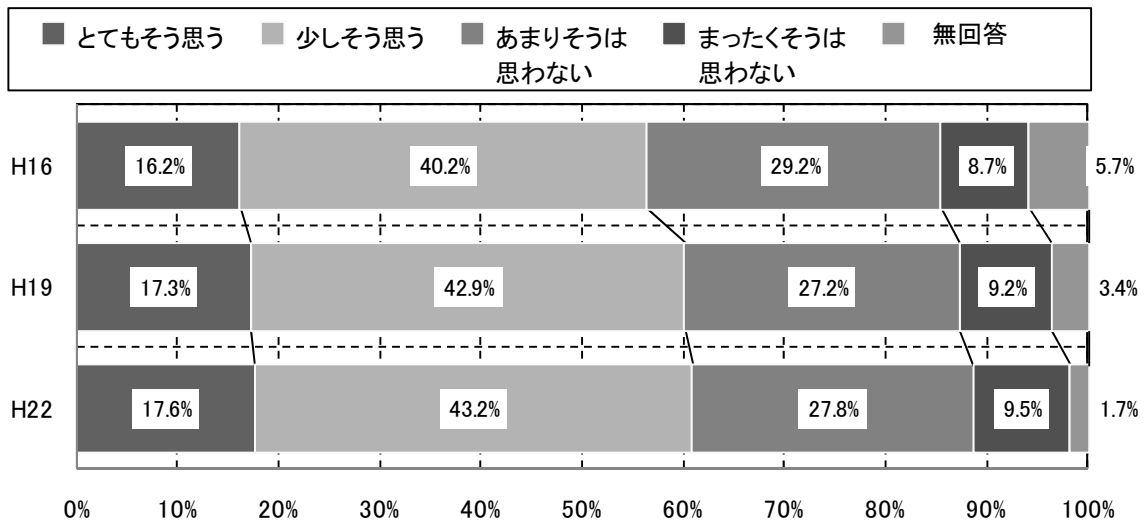


図 7-2-4 年度別「レンタル製品等への抵抗感」 構成比率

7-2-2 問2 次のそれぞれの場合についてあなたはどの程度あてはまりますか？

- 1) 特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまおう。

「必要なくても買ってしまおう」は、「あまりあてはまらない」と「まったくあてはまらない」の計が調査年度ごとに増加してきている。

問2-1		平成22年度		平成19年度		平成16年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	よくあてはまる	204	6.5%	240	6.5%	215	5.6%
2	少しあてはまる	988	31.3%	1,131	30.7%	1,174	30.6%
3	あまりあてはまらない	1,205	38.2%	1,350	36.7%	1,450	37.8%
4	まったくあてはまらない	738	23.4%	888	24.1%	852	22.2%
3+4		1,943	61.6%	2,238	60.8%	2,302	60.0%
99	無回答	19	0.6%	73	2.0%	144	3.8%
計		3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-2-5 年度別「必要なくても買ってしまおう」 構成比率

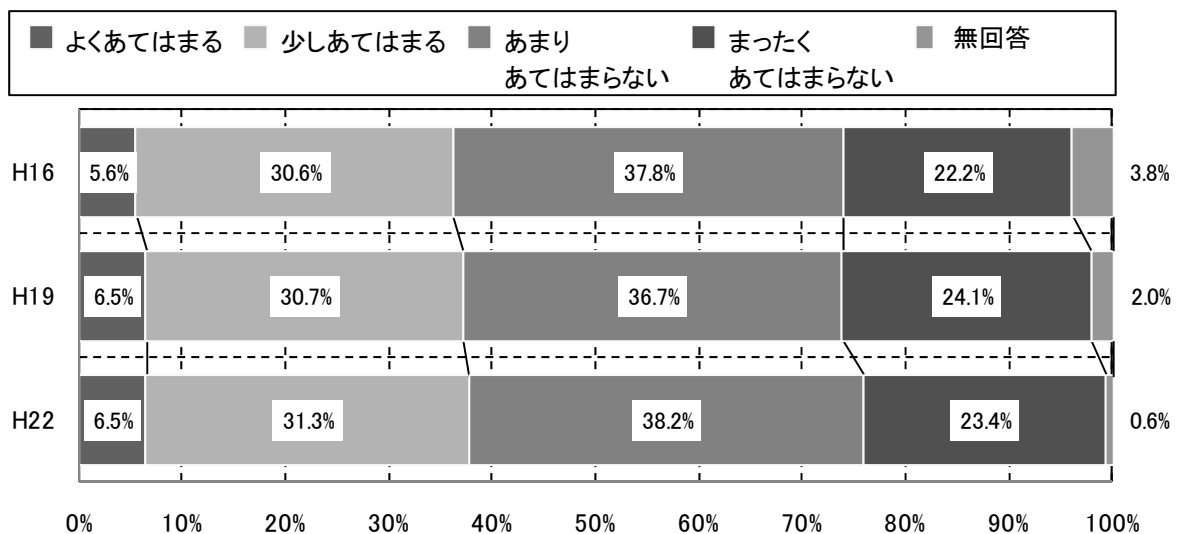


図 7-2-5 年度別「必要なくても買ってしまおう」 構成比率

2) 買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える。

「修理より買い替える」は、「あまりあてはまらない」と「まったくあてはまらない」の計が平成 22 年度は平成 19 年度より若干増加した。

問 2-2		平成 22 年度		平成 19 年度		平成 16 年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	よくあてはまる	379	12.0%	431	11.7%	455	11.9%
2	少しあてはまる	942	29.9%	1,108	30.1%	1,060	27.6%
3	あまりあてはまらない	1,185	37.6%	1,293	35.1%	1,432	37.3%
4	まったくあてはまらない	621	19.7%	764	20.7%	734	19.1%
3+4		1,806	57.3%	2,057	55.8%	2,166	56.4%
99	無回答	27	0.9%	86	2.3%	154	4.0%
計		3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-2-6 年度別「修理より買い替え」 構成比率

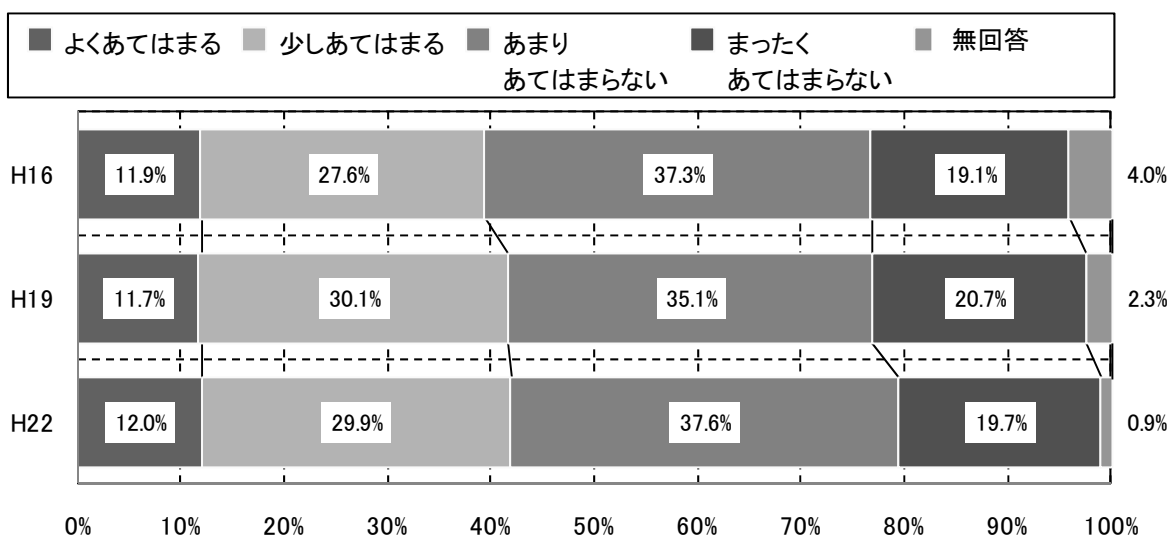


図 7-2-6 年度別「修理より買い替え」 構成比率

3) お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ。

「環境やごみを考えずに商品を選ぶ」は、「あまりあてはまらない」と「まったくあてはまらない」の計が増加してきている。

問 2-3		平成 22 年度		平成 19 年度		平成 16 年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	よくあてはまる	533	16.9%	652	17.7%	670	17.5%
2	少しあてはまる	1,399	44.4%	1,601	43.5%	1,624	42.3%
3	あまりあてはまらない	952	30.2%	1,089	29.6%	1,121	29.2%
4	まったくあてはまらない	248	7.9%	260	7.1%	256	6.7%
3+4		1,200	38.1%	1,349	36.7%	1,377	35.9%
99	無回答	22	0.7%	80	2.2%	164	4.3%
計		3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-2-7 年度別「環境やごみを考えずに商品を選ぶ」 構成比率

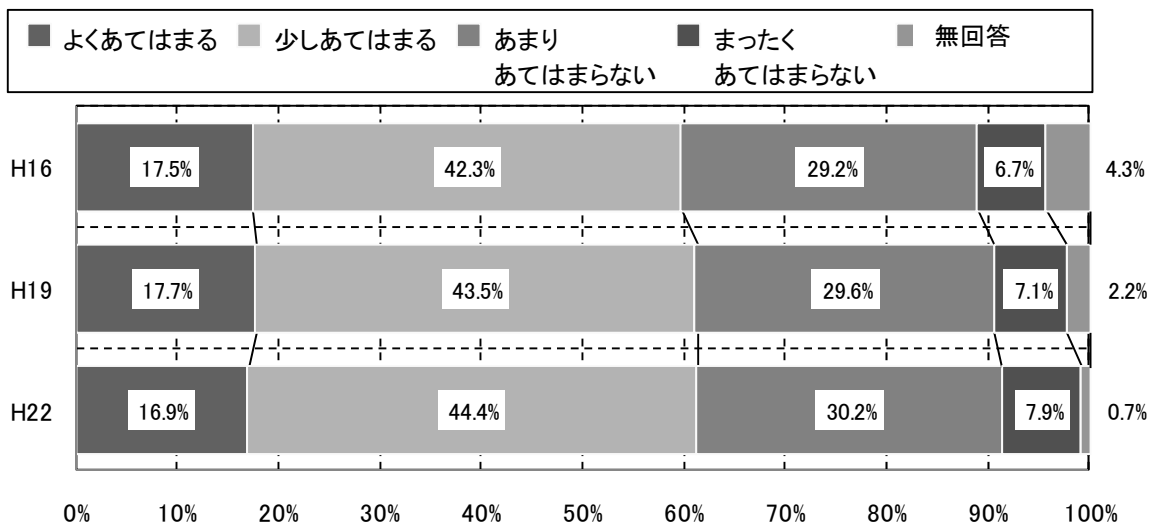


図 7-2-7 年度別「環境やごみを考えず商品を選ぶ」 構成比率

4) 一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する。

「レンタルよりも新品購入」は、「あまりあてはまらない」と「まったくあてはまらない」の計が調査年度ごとに増加してきている。

問2-4		平成22年度		平成19年度		平成16年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	よくあてはまる	637	20.2%	771	20.9%	789	20.6%
2	少しあてはまる	1,076	34.1%	1,209	32.8%	1,235	32.2%
3	あまりあてはまらない	883	28.0%	1,043	28.3%	1,050	27.4%
4	まったくあてはまらない	520	16.5%	567	15.4%	595	15.5%
3+4		1,403	44.5%	1,610	43.7%	1,645	42.9%
99	無回答	38	1.2%	92	2.5%	166	4.3%
計		3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-2-8 年度別「レンタルよりも新品購入」 構成比率

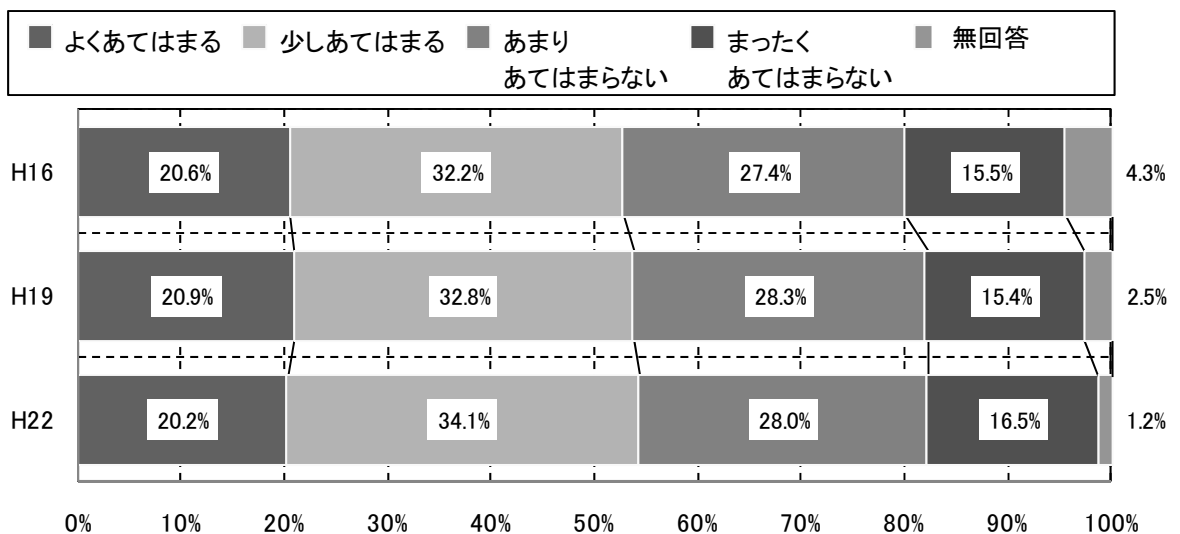


図 7-2-8 年度別「レンタルよりも新品購入」 構成比率

7-2-3 問4 食べ物のごみについてお聞きします。

1) 使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか？

「食材を捨てる」は、「あまりない」と「ほとんどない」とも増加してきている。

問4-1		平成22年度		平成19年度		平成16年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	よくある	402	12.7%	624	16.9%	651	17.0%
2	たまにある	1,571	49.8%	1,843	50.1%	2,004	52.3%
3	あまりない	624	19.8%	651	17.7%	642	16.7%
4	ほとんどない	541	17.2%	502	13.6%	494	12.9%
99	無回答	16	0.5%	62	1.7%	44	1.1%
計		3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-2-9 年度別「食材を捨てる」 構成比率

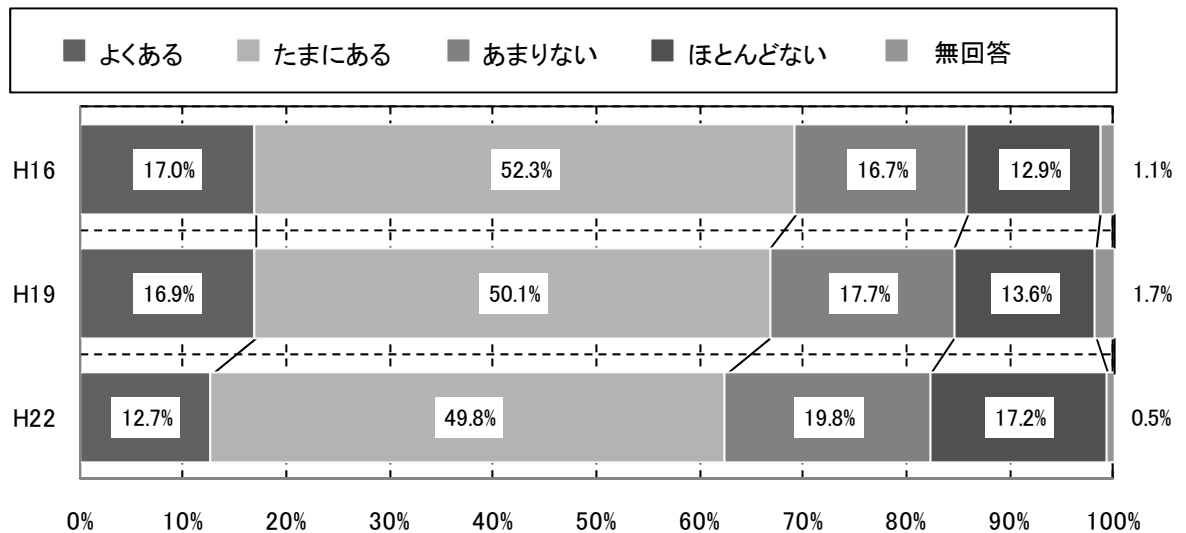


図 7-2-9 年度別「食材を捨てる」 構成比率

2) 食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか？

「食べきれず料理を捨てる」は、「あまりない」と「ほとんどない」とも大幅に増加してきている。

問4-2		平成22年度		平成19年度		平成16年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	よくある	199	6.3%	368	10.0%	400	10.4%
2	たまにある	1,119	35.5%	1,410	38.3%	1,578	41.1%
3	あまりない	886	28.1%	928	25.2%	970	25.3%
4	ほとんどない	930	29.5%	906	24.6%	845	22.0%
99	無回答	20	0.6%	70	1.9%	42	1.1%
計		3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-2-10 年度別「食べきれず料理を捨てる」 構成比率

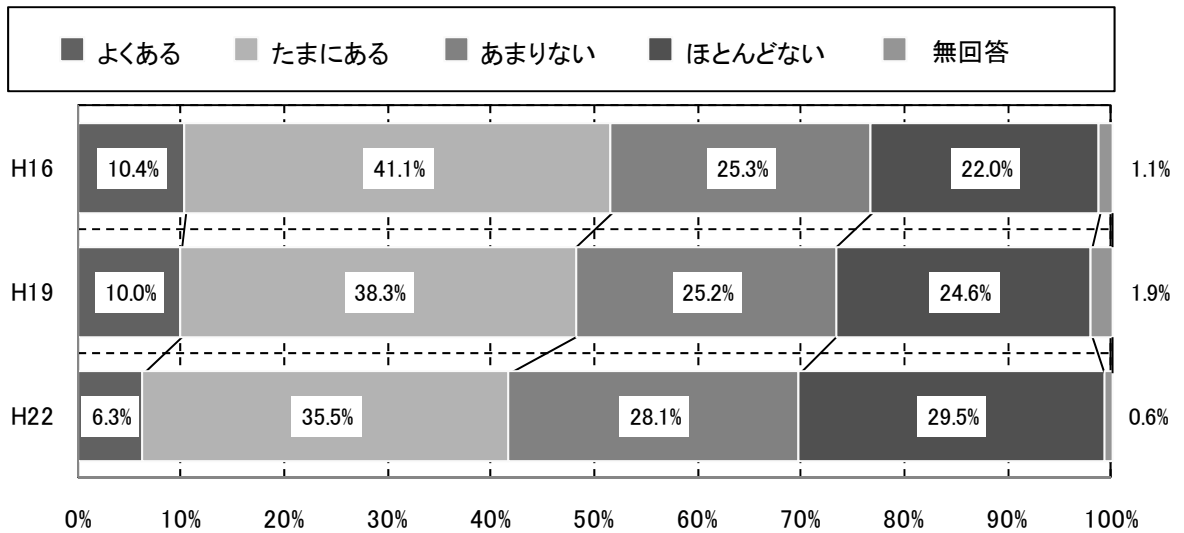


図 7-2-10 年度別「食べきれず料理を捨てる」 構成比率

7-2-4 問7 使い捨て商品が身の回りにあふれ、その結果としてごみが大量に捨てられる現代の社会を、あなたはどのように感じていますか？

使い捨て商品と大量のごみでは、「どちらかというと疑問を感じる」が減少してきている。

問7		平成22年度		平成19年度		平成16年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	特に疑問は感じていない	137	4.5%	131	3.6%	152	4.0%
2	どちらかというと疑問を感じる	2,641	86.9%	3,298	89.6%	3,463	90.3%
3	よくわからない	216	7.1%	173	4.7%	166	4.3%
99	無回答	44	1.4%	80	2.2%	54	1.4%
計		3,038	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-2-11 年度別「使い捨て商品と大量のごみ」 構成比率

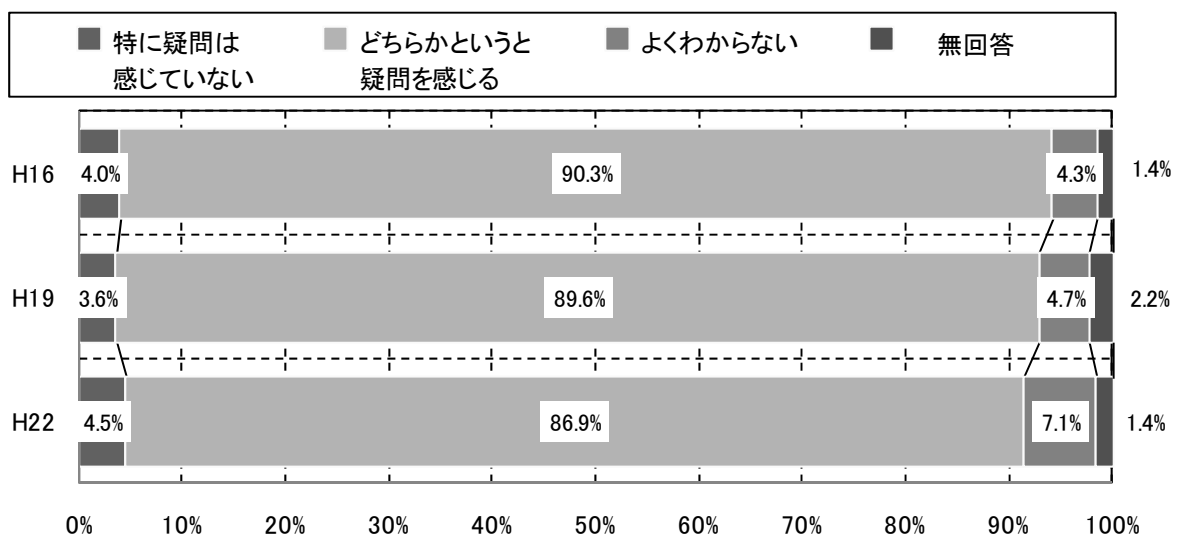


図 7-2-11 年度別「使い捨て商品と大量のごみ」 構成比率

7-2-5 問8 ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきだと思いますか？

コストをかけた資源としての有効活用については、「とてもそう思う」が年々大幅に減少し、「少しそう思う」は年々増加している。「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計は年度ごとに減少している。

問8		平成22年度		平成19年度		平成16年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	とてもそう思う	1,420	46.7%	2,057	55.9%	2,293	59.8%
2	少しそう思う	1,353	44.5%	1,333	36.2%	1,320	34.4%
1+2		2,773	91.2%	3,390	92.1%	3,613	94.2%
3	あまりそうは思わない	186	6.1%	194	5.3%	142	3.7%
4	まったくそうは思わない	24	0.8%	26	0.7%	28	0.7%
99	無回答	55	1.8%	72	2.0%	52	1.4%
計		3,038	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-2-12 年度別「コストをかけた資源としての有効活用」 構成比率

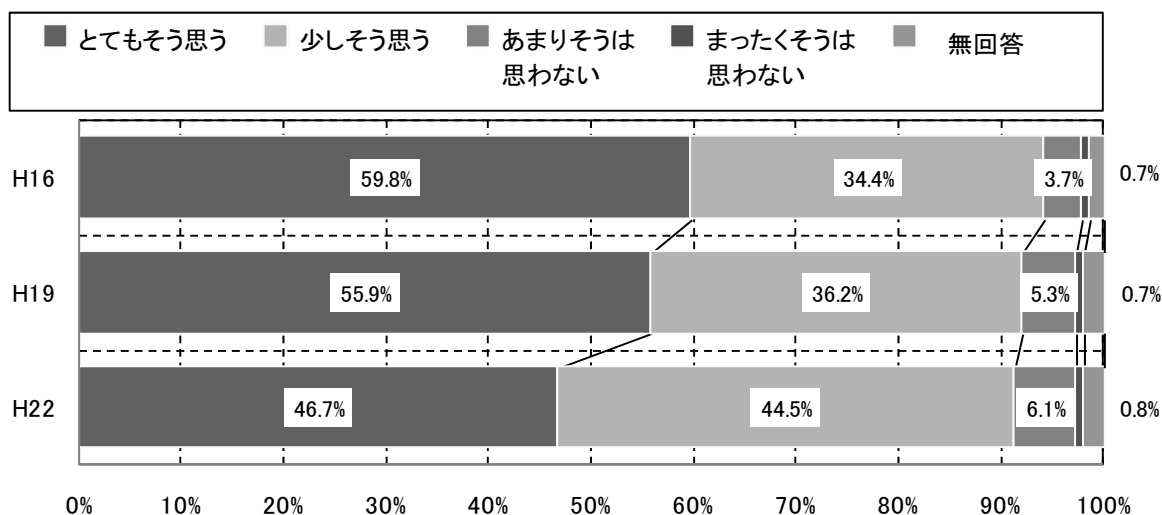


図 7-2-12 年度別「コストをかけた資源としての有効活用」 構成比率

7-3 現在行っているごみ減量やリサイクルの取組について

7-3-1 問9 ごみを減らす取組の中でどれが大切だと思いますか？

1) 最も大切だと思うごみを減らす取組

いずれの年度においても「最も大切な取組」は、「ごみの発生を減らすこと」が最も高い。

問9-1		平成22年度		平成19年度		平成16年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	ごみの発生を減らすこと	1,811	57.4%	2,149	58.4%	2,146	56.0%
2	製品等を繰り返し使うこと	451	14.3%	490	13.3%	522	13.6%
3	原材料として有効利用すること	791	25.1%	703	19.1%	838	21.9%
99	無回答	101	3.2%	340	9.2%	329	8.6%
計		3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-3-1 年度別「最も大切な取組」 構成比率

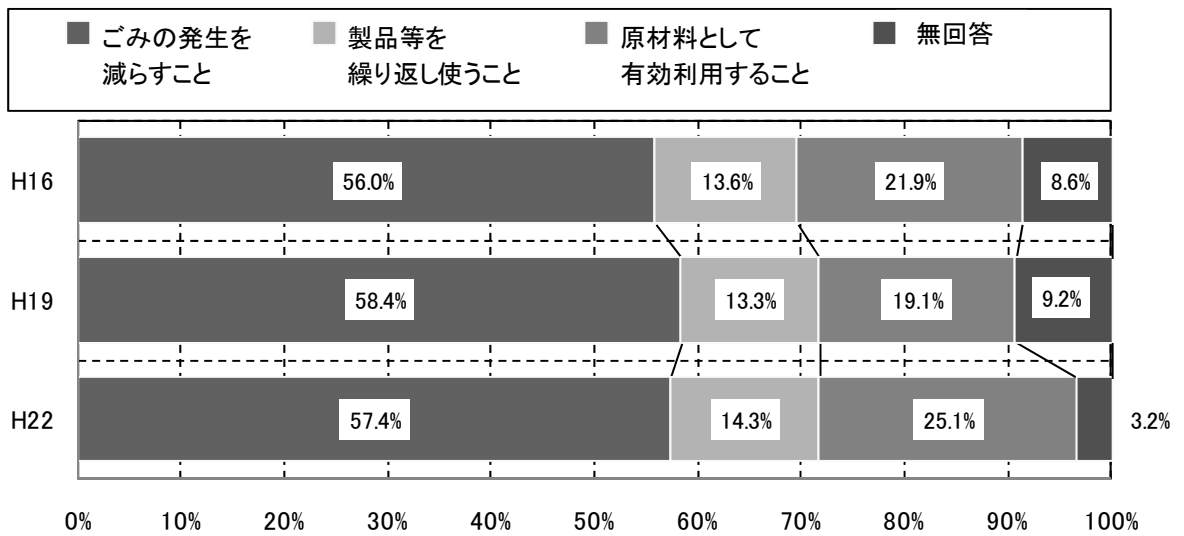


図 7-3-1 年度別「最も大切な取組」 構成比率

2) 次に大切だと思うごみを減らす取組

いずれの年度においても「次に大切な取組」は、「原材料として有効利用すること」が最も高い。

問9-2		平成 22 年度		平成 19 年度		平成 16 年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	ごみの発生を減らすこと	481	15.3%	433	11.8%	491	12.8%
2	製品等を繰り返し使うこと	1,114	35.3%	1,228	33.4%	1,036	27.0%
3	原材料として有効利用すること	1,211	38.4%	1,541	41.9%	1,551	40.4%
99	無回答	348	11.0%	480	13.0%	757	19.7%
計		3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-3-2 年度別「次に大切な取組」 構成比率

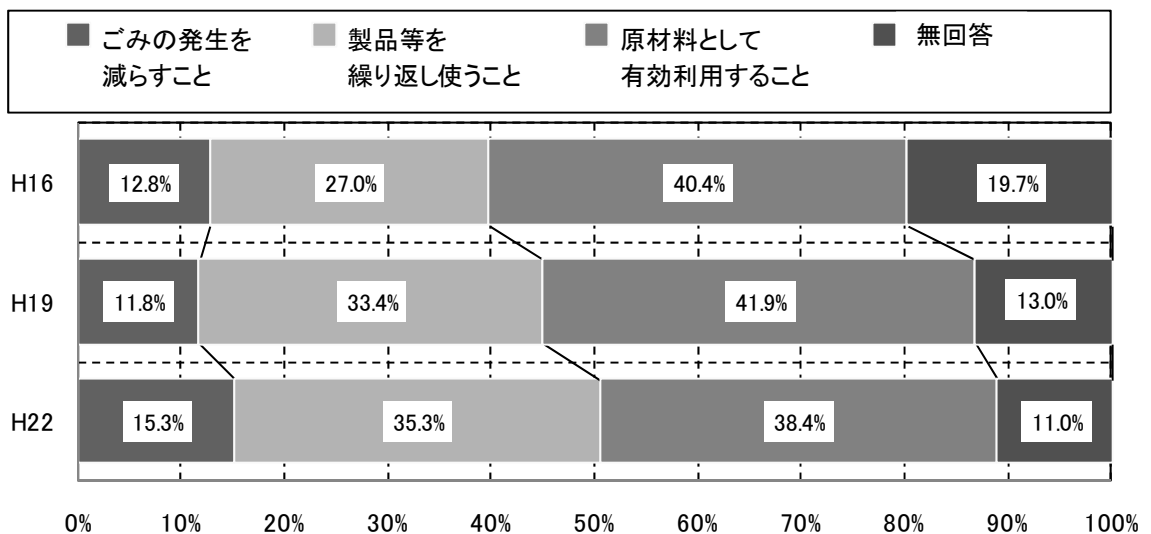


図 7-3-2 年度別「次に大切な取組」 構成比率

7-3-2 問 10 あなたのご家庭では、次のうち、資源ごみとして市町の収集に出している品目はどれですか？

「市町の収集に資源ごみとして出している品目」の各年度の上位 5 品目は、順位は変化しているが、「空きびん」、「アルミ缶」、「ペットボトル」、「新聞」、「雑誌」で、いずれもほぼ8割と高い割合になっている。

問 10		平成 16 年度		平成 19 年度		平成 22 年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	新聞	3,168	82.6%	3,001	81.5%	2,567	81.4%
2	雑誌	2,967	77.4%	2,872	78.0%	2,542	80.6%
3	牛乳パック	2,165	56.5%	1,957	53.2%	1,811	57.4%
4	古布や衣類	2,144	55.9%	2,282	62.0%	2,133	67.6%
5	食品トレイ	2,197	57.3%	1,957	53.2%	1,863	59.1%
6	ペットボトル	3,042	79.3%	2,996	81.4%	2,669	84.6%
7	アルミ缶	3,201	83.5%	3,039	82.5%	2,711	86.0%
8	スチール缶	2,841	74.1%	2,677	72.7%	2,464	78.1%
9	空きびん	3,111	81.1%	2,983	81.0%	2,713	86.0%
10	蛍光管	1,630	42.5%	1,598	43.4%	1,716	54.4%
11	電池類	1,977	51.6%	1,920	52.1%	2,066	65.5%
12	あてはまるものなし	50	1.3%	40	1.1%	36	1.1%
総回答数		28,493	743.0%	27,322	742.0%	25,291	801.9%
有効回答数		3,835		3,682		3,154	

表 7-3-3 年度別「市町の収集に出している品目」 回答状況

問 10 順位表		平成 16 年度	平成 19 年度	平成 22 年度
1	空きびん	3	4	1
2	アルミ缶	1	1	2
3	ペットボトル	4	3	3
4	新聞	2	2	4
5	雑誌	5	5	5
6	スチール缶	6	6	6
7	古布や衣類	9	7	7
8	電池類	10	10	8
9	食品トレイ	7	8	9
10	牛乳パック	8	9	10
11	蛍光管	11	11	11
12	あてはまるものなし	12	12	12

表 7-3-4 年度別「市町の収集に出している品目」 順位表

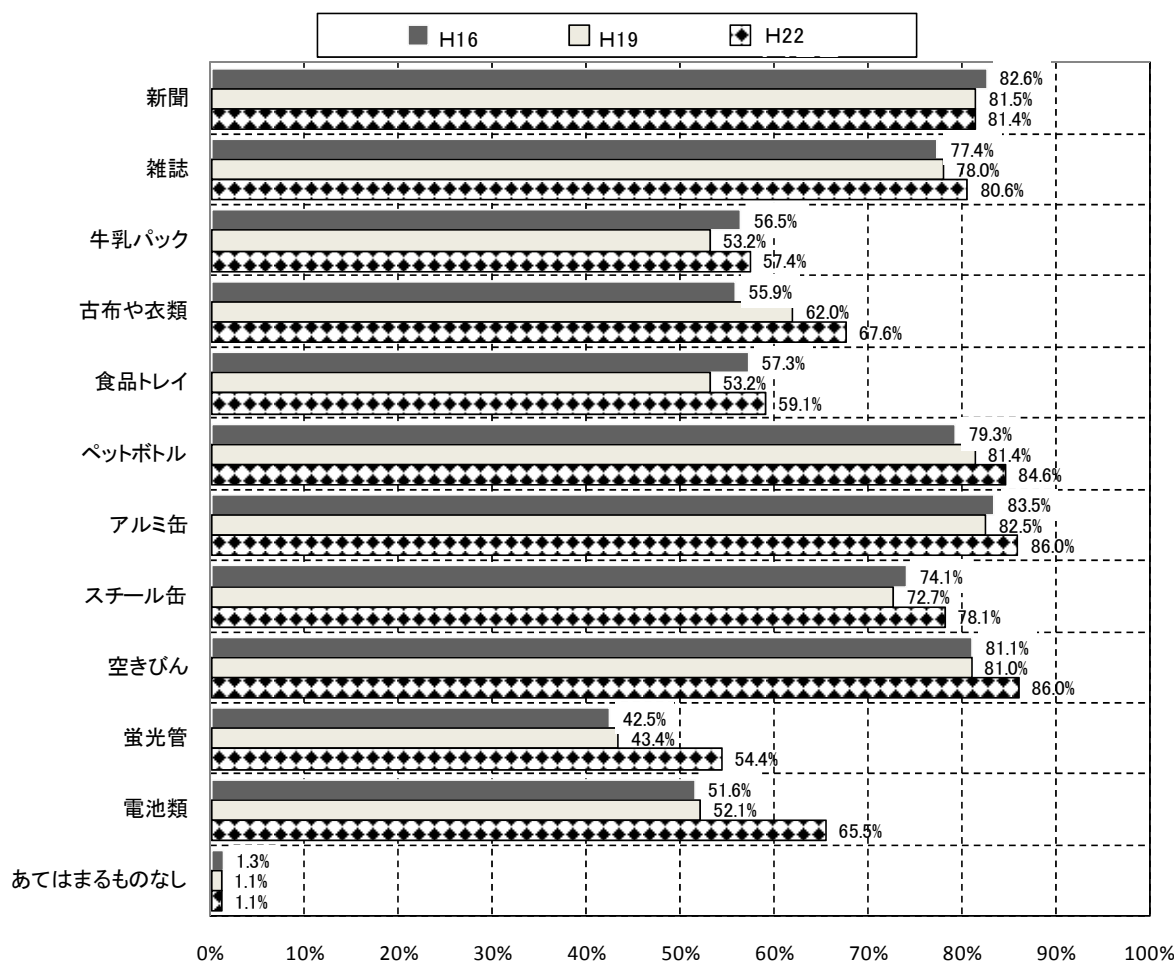


図 7-3-3 年度別「市町の収集に出している品目」 回答率

7-3-3 問 11 あなたのご家庭では、次のうち、お店に持って行って回収してもらっている品目はどれですか？

「店頭で回収してもらっている品目」は、いずれの年度も上位3品目は順位は変化しているが、「食品トレイ」、「ペットボトル」、「牛乳パック」となっている。

問 11	平成 16 年度		平成 19 年度		平成 22 年度	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 新聞	179	4.7%	215	5.8%	288	9.1%
2 雑誌	126	3.3%	163	4.4%	226	7.2%
3 牛乳パック	1,070	27.9%	1,018	27.6%	899	28.5%
4 古布や衣類	60	1.6%	83	2.3%	134	4.2%
5 食品トレイ	1,487	38.8%	1,364	37.0%	1,298	41.2%
6 ペットボトル	1,073	28.0%	1,126	30.6%	1,029	32.6%
7 アルミ缶	507	13.2%	569	15.5%	619	19.6%
8 スチール缶	277	7.2%	270	7.3%	321	10.2%
9 空きびん	549	14.3%	444	12.1%	355	11.3%
10 蛍光管	354	9.2%	297	8.1%	288	9.1%
11 電池類	592	15.4%	506	13.7%	453	14.4%
12 あてはまるものなし	1,119	29.2%	1,107	30.1%	943	29.9%
総回答数	7,393	192.8%	7,162	194.5%	6,853	217.3%
有効回答数	3,835		3,682		3,154	

表 7-3-5 年度別「店頭で回収してもらっている品目」 回答状況

問 11 順位表		平成 16 年度	平成 19 年度	平成 22 年度
1	食品トレイ	1	1	1
2	ペットボトル	3	2	2
3	あてはまるものなし	2	3	3
4	牛乳パック	4	4	4
5	アルミ缶	7	5	5
6	電池類	5	6	6
7	空きびん	6	7	7
8	スチール缶	9	9	8
9	蛍光管	8	8	9
10	新聞	10	10	10
11	雑誌	11	11	11
12	古布や衣類	12	12	12

表 7-3-6 年度別「店頭で回収してもらっている品目」 順位表

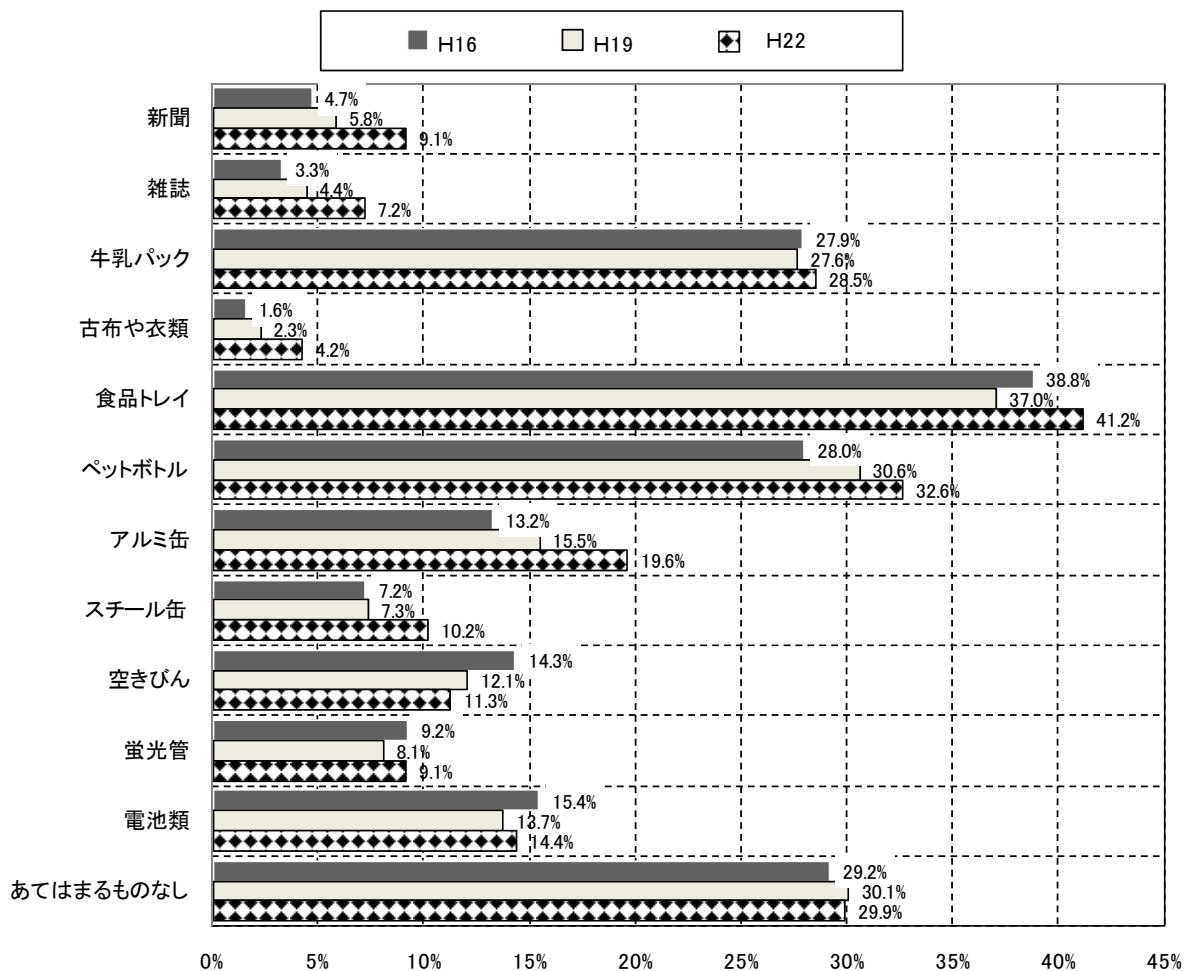


図 7-3-4 年度別「店頭で回収してもらっている品目」 回答率

7-3-4 問 12 あなたのご家庭では、次のうち、地域で行われる廃品回収（集団回収）に出している品目はどれですか？

「集団回収に出している品目」は、上位5品目の順位は同じである。

問 12		平成 16 年度		平成 19 年度		平成 22 年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	新聞	2,445	63.8%	2,169	58.9%	1,958	62.1%
2	雑誌	2,102	54.8%	1,884	51.2%	1,794	56.9%
3	牛乳パック	783	20.4%	760	20.6%	765	24.3%
4	古布や衣類	1,295	33.8%	1,225	33.3%	1,170	37.1%
5	食品トレイ	621	16.2%	536	14.6%	580	18.4%
6	ペットボトル	893	23.3%	885	24.0%	969	30.7%
7	アルミ缶	1,528	39.8%	1,364	37.0%	1,367	43.3%
8	スチール缶	976	25.4%	882	24.0%	967	30.7%
9	空きびん	1,255	32.7%	1,083	29.4%	1,140	36.1%
10	蛍光管	579	15.1%	584	15.9%	675	21.4%
11	電池類	644	16.8%	655	17.8%	715	22.7%
12	あてはまるものなし	684	17.8%	808	21.9%	696	22.1%
総回答数		13,805	360.0%	12,835	348.6%	12,796	405.7%
有効回答数		3,835		3,682		3,154	

表 7-3-7 年度別「集団回収に出している品目」 回答状況

問 12 順位表		平成 16 年度	平成 19 年度	平成 22 年度
1	新聞	1	1	1
2	雑誌	2	2	2
3	アルミ缶	3	3	3
4	古布や衣類	4	4	4
5	空きびん	5	5	5
6	ペットボトル	7	6	6
7	スチール缶	6	7	7
8	牛乳パック	8	9	8
9	電池類	10	10	9
10	あてはまるものなし	9	8	10
11	蛍光管	12	11	11
12	食品トレイ	11	12	12

表 7-3-8 年度別「集団回収に出している品目」 順位表

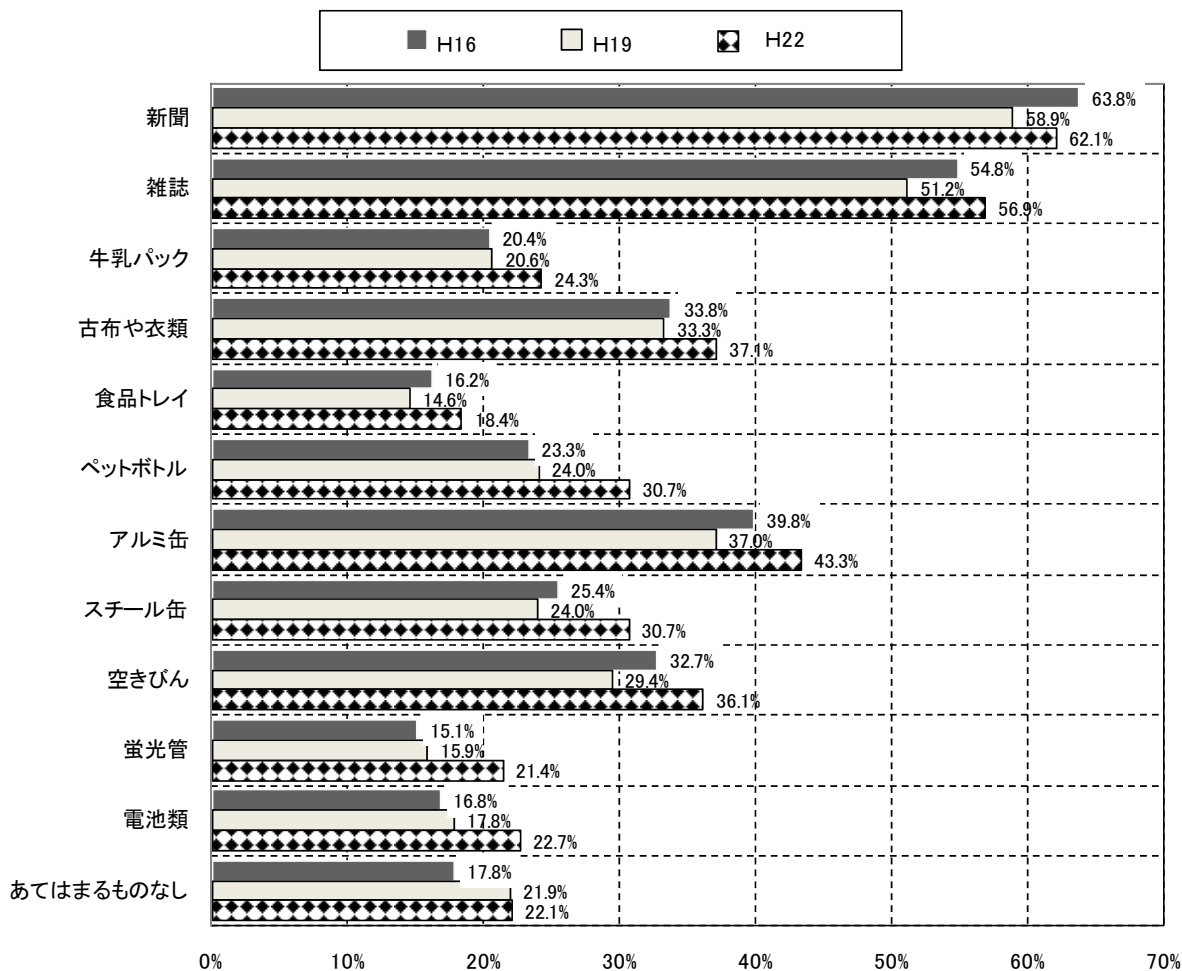


図 7-3-5 年度別「集団回収に出している品目」 回答率

7-3-5 問 14 ごみを分別するのに、あなたは1日あたりおよそどのくらいの時間をかけていると思いますか？

平成 22 年度の「ごみの分別時間」は、他の年度と比較すると「1 時間以上」が約 6%増加し、「ほとんどかけていない」が約 6%減少している。他の時間帯はほとんど変化がない。

問 14		平成 22 年度		平成 19 年度		平成 16 年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	1 時間以上	269	8.5%	73	2.0%	66	1.7%
2	30 分～1 時間	173	5.5%	170	4.6%	195	5.1%
3	10 分～30 分	874	27.7%	958	26.0%	1,131	29.5%
4	数分程度	1,433	45.4%	1,740	47.3%	1,704	44.4%
5	ほとんどかけていない	341	10.8%	609	16.5%	615	16.0%
99	無回答	64	2.0%	132	3.6%	124	3.2%
計		3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-3-9 年度別「ごみの分別時間」 回答状況

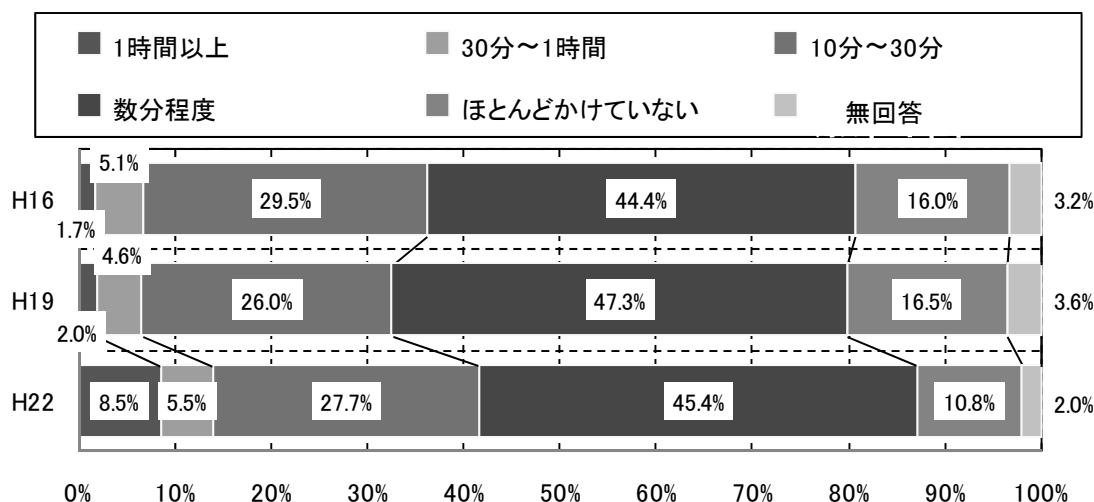


図 7-3-6 年度別「ごみの分別時間」 回答率

7-3-6 問 17 あなたのご家庭では、ごみを出すにあたり、どのような問題がありますか？

「ごみを出すにあたっての問題」は、「収集日時が限られている」が各年度で最も高いが、徐々に減少している。各年度の順位は多少の変化はあるが、上位 4 項目は同じである。

問 17		平成 16 年度		平成 19 年度		平成 22 年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	分別ルールが複雑でわかりにくい	770	20.1%	701	19.0%	700	22.2%
2	市町ごとにルールが異なり覚えにくい	327	8.5%	356	9.7%	378	9.9%
3	次の収集日までごみを保管しておく場所がない	900	23.5%	693	18.8%	639	16.7%
4	収集日時が限られている	1,609	42.0%	1,384	37.6%	1,197	31.2%
5	ごみ集積所（ステーション）まで遠い	401	10.5%	350	9.5%	284	7.4%
6	洗ったり束ねたり手間がかかる	1,216	31.7%	975	26.5%	753	19.6%
7	その他	408	10.6%	313	8.5%	137	3.6%
8	特に問題はない	-	-	-	-	1,000	26.1%
総回答数		5,631		4,772		5,088	
有効回答数		3,835	146.8%	3,682	129.6%	3,154	136.6%

表 7-3-10 年度別「ごみを出すにあたっての問題」 回答状況

問 17 順位表		平成 16 年度	平成 19 年度	平成 22 年度
1	収集日時が限られている	1	1	1
2	洗ったり束ねたり手間がかかる	2	2	2
3	分別ルールが複雑でわかりにくい	4	3	3
4	次の収集日までごみを保管しておく場所がない	3	4	4
5	市町ごとにルールが異なり覚えにくい	7	5	5
6	ごみ集積所（ステーション）まで遠い	6	6	6
7	その他	5	7	7

表 7-3-11 年度別「ごみを出すにあたっての問題」 順位表

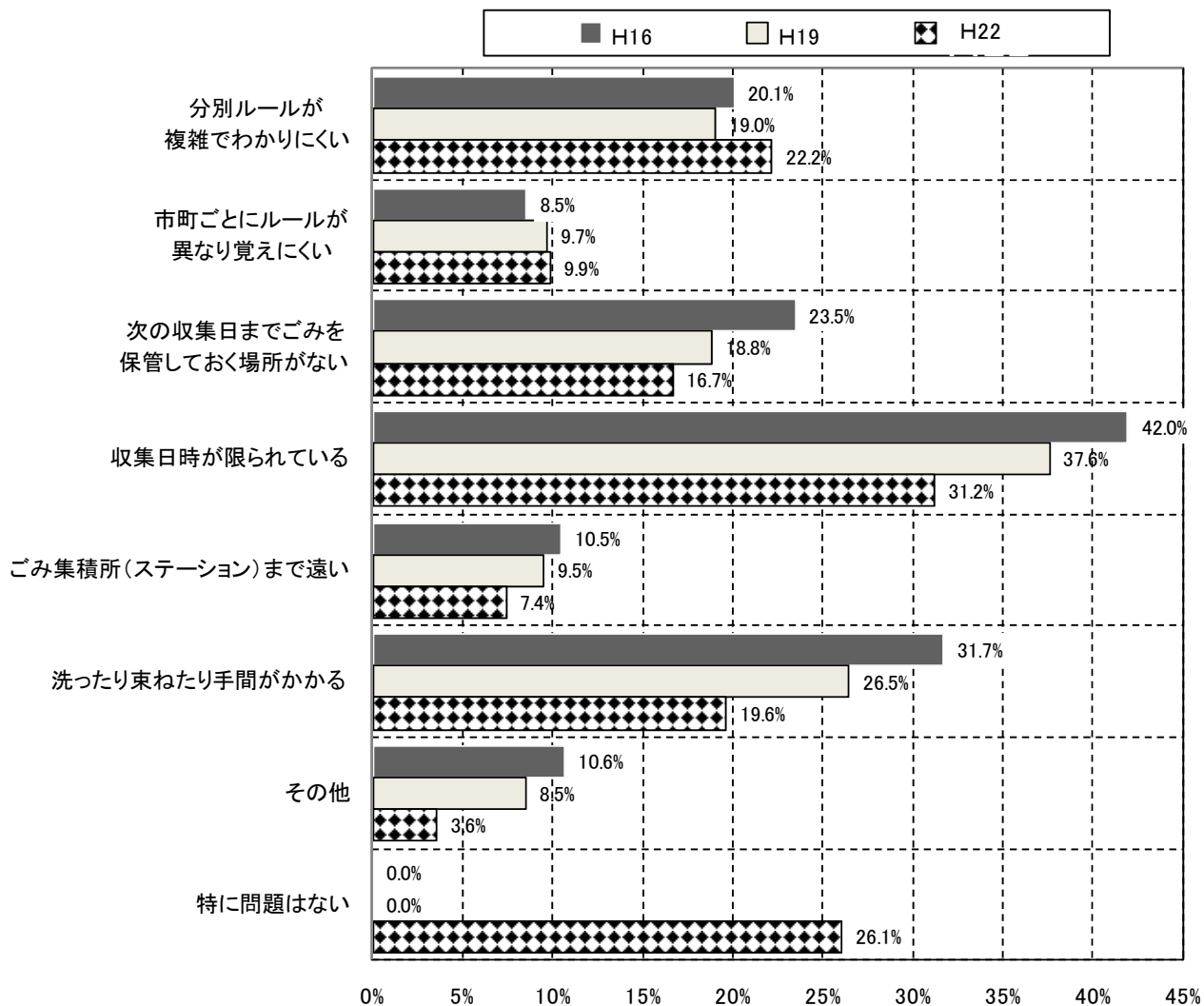


図 7-3-7 年度別「問題」 回答率

7-4 今後の方策に対する意向について

7-4-1 問 18 今後あなたが、暮らしの工夫によって「家庭から出る量を減らせる」と思えるものはどれですか？

「家庭から出る量を減らせるごみ」の各年度の上位 5 項目を比較すると、「食べ残し」、「調理くず」、「賞味期限切れ食品」といった食べもののごみが上位を占めている。また、「レジ袋」は平成 16 年度及び平成 19 年度では 50%程度であったが、平成 22 年度では 1.5%と低下している。このことから「レジ袋」の有料化とマイバッグ運動の効果があらわれているのではないかとと思われる。

問 18		平成 16 年度		平成 19 年度		平成 22 年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	調理くず	1,653	43.1%	1,512	41.1%	1,432	45.4%
2	食べ残し	2,131	55.6%	2,173	59.0%	2,001	63.4%
3	賞味期限切れ食品	2,143	55.9%	2,060	55.9%	1,030	32.7%
4	紙容器、紙袋や包装紙	1,262	32.9%	1,201	32.6%	286	9.1%
5	新聞	381	9.9%	386	10.5%	98	3.1%
6	チラシ	658	17.2%	675	18.3%	137	4.3%
7	雑誌	613	16.0%	645	17.5%	89	2.8%
8	段ボール	501	13.1%	501	13.6%	10	0.3%
9	紙パック	381	9.9%	383	10.4%	9	0.3%
10	古着類	780	20.3%	809	22.0%	35	1.1%
11	ペットボトル	722	18.8%	802	21.8%	30	1.0%
12	レジ袋	1,754	45.7%	1,883	51.1%	47	1.5%
13	プラスチック容器	671	17.5%	706	19.2%	14	0.4%
14	びん	414	10.8%	435	11.8%	4	0.1%
15	缶	372	9.7%	386	10.5%	1	0.0%
16	粗大ごみ	686	17.9%	688	18.7%	26	0.8%
17	その他	64	1.7%	49	1.3%	29	0.9%
総回答数		15,186	396.0%	15,294	415.4%	5,278	167.3%
有効回答数		3,835		3,682		3,154	

表 7-4-1 年度別「家庭から出る量を減らせるごみ」 回答状況

年度別順位表	平成 16 年度	平成 19 年度	平成 22 年度
食べ残し	2	1	1
調理くず	4	4	2
賞味期限切れ食品	1	2	3
紙容器、紙袋や包装紙	5	5	4
チラシ	10	10	5
新聞	14	14	6
雑誌	11	11	7
レジ袋	3	3	8
古着類	6	6	9
ペットボトル	7	7	10
その他	17	17	11
粗大ごみ	8	9	12
プラスチック容器	9	8	13
段ボール	12	12	14
紙パック	15	16	15
びん	13	13	16
缶	16	15	17

表 7-4-2 年度別「家庭から出る量を減らせるごみ」 順位表

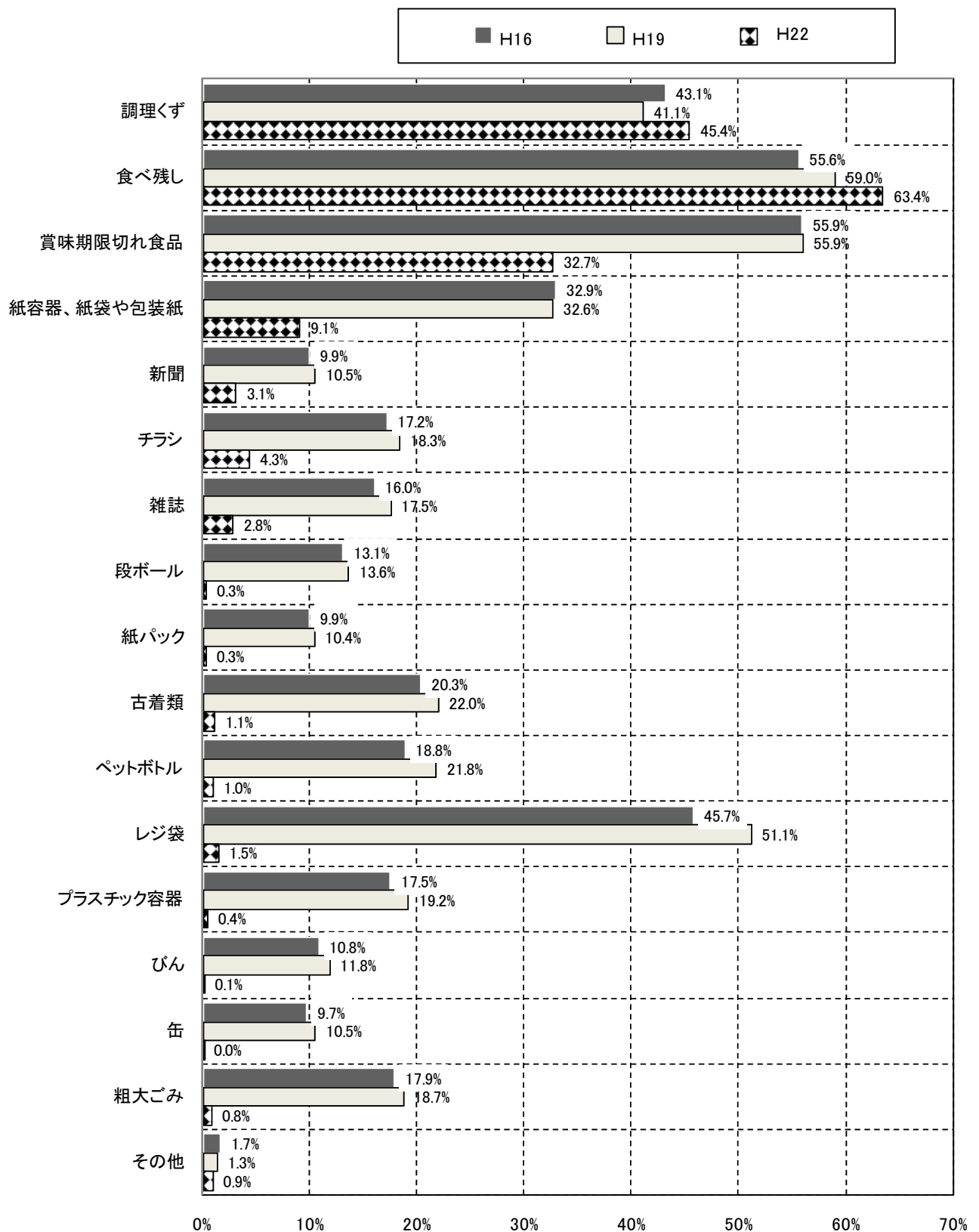


図 7-4-1 年度別「家庭から出る量を減らせるごみ」 回答率

7-4-2 問 25 増え続けるごみを減らすため、ごみ（可燃ごみ）の排出に料金を課す市町が増えています。税金を使ってごみ処理を行うことについてどう思いますか？

「税金を使ってごみ処理を行うこと」は、「量に応じ出す人が負担する」が各年度で最も高い。「税金で処理する」が27.6%⇒22.1%⇒24.5%、また、「量に応じ出す人が負担する」は、44.8%⇒49.5%⇒46.8%と変化している。

問 25		平成 22 年度		平成 19 年度		平成 16 年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	税金で処理する	773	24.5%	815	22.1%	1,058	27.6%
2	量に応じ出す人が負担する	1,475	46.8%	1,821	49.5%	1,718	44.8%
3	福祉や教育等に使うのがよい	372	11.8%	521	14.1%	485	12.6%
4	よくわからない	403	12.8%	076	2.1%	80	2.1%
5	その他	53	1.7%	292	7.9%	241	6.3%
99	無回答	78	2.5%	157	4.3%	253	6.6%
計		3,154	100%	3,682	100.0%	3,835	100%

表 7-4-3 年度別「税金を使ってごみ処理を行うこと」 回答状況

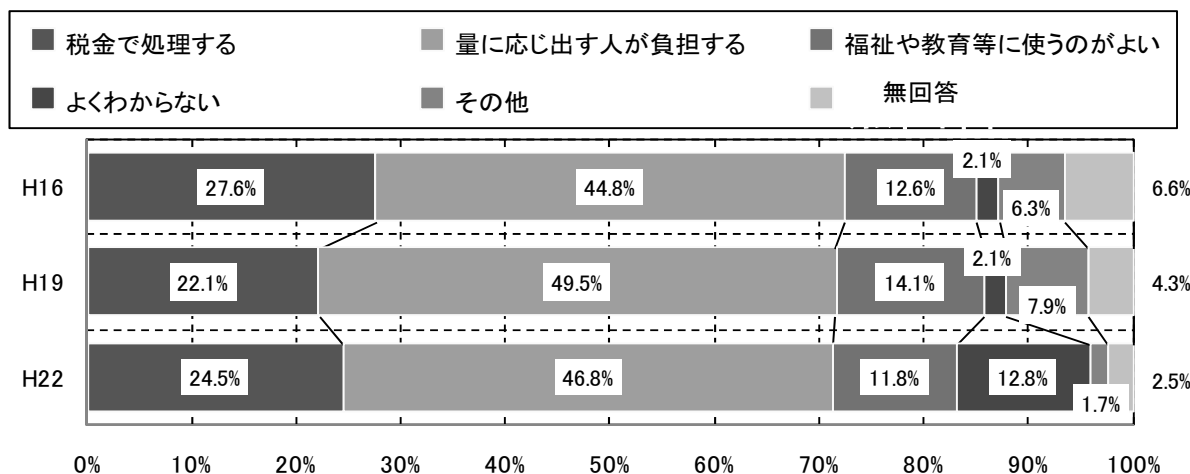


図 7-4-2 年度別「税金を使ってごみ処理を行うこと」 回答率

7-4-3 問 26 出したごみの量に応じて、多く出した者が多く負担するごみの有料化についてどう思いますか？

「ごみの量に応じたごみの有料化」は、「賛成（“賛成”＋“どちらかというと賛成”）」で各年度で65%以上となっているが、「反対（“どちらかというと反対”＋“反対”）」は平成22年度が最も高い。

問 26		平成 22 年度		平成 19 年度		平成 16 年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	賛成	744	23.6%	1,149	31.2%	1,064	27.7%
2	どちらかという賛成	1,353	42.9%	1,474	40.0%	1,460	38.1%
1+2		2,097	66.5%	2,623	71.2%	2,524	65.8%
3	どちらかという反対	644	20.4%	577	15.7%	653	17.0%
4	反対	309	9.8%	316	8.6%	400	10.4%
3+4		953	30.2%	893	24.3%	1,053	27.4%
99	無回答	104	3.3%	166	4.5%	258	6.7%
計		3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-4-4 年度別「ごみの量に応じたごみの有料化」 回答状況

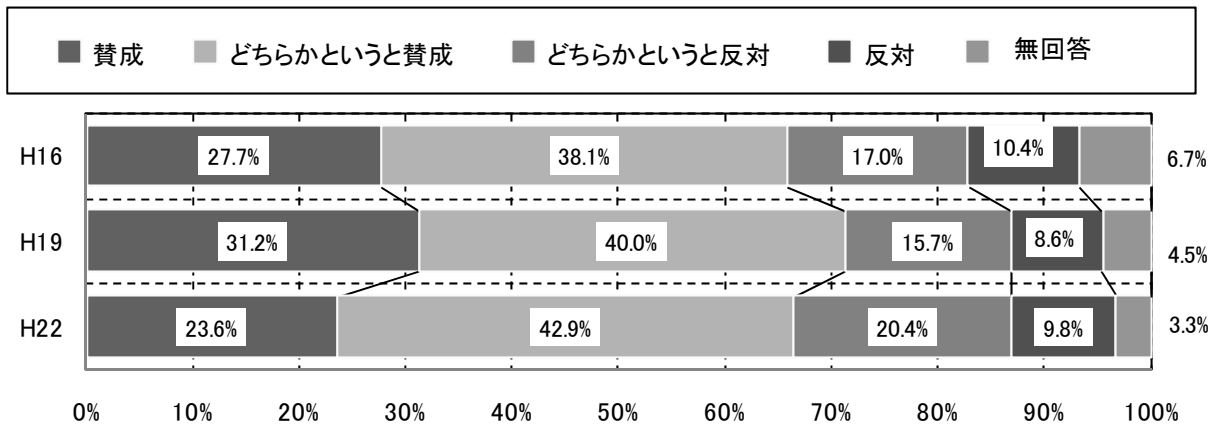


図 7-4-3 年度別「ごみの量に応じたごみの有料化」 回答率

7-4-4 問 27 ごみ有料化を検討する場合、どのようなことを重視すべきだと思いますか？

「ごみ有料化で重視すべきこと」は、「家計への負担が少ない料金とすること」、「ルール違反（不法投棄など）を許さないこと」、「ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること」が各年度いずれも上位3位となっている。

問 27		平成 16 年度		平成 19 年度		平成 22 年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	ごみを多く出す人ほどたくさん支払う公平なしくみとすること	1,104	28.8%	1,037	28.2%	1,092	34.6%
2	家計への負担が少ない料金とすること	1,655	43.2%	1,628	44.2%	1,641	52.0%
3	ごみ減量に効果があるよう、ごみを出すたびに一定程度の負担が感じられる料金とすること	459	12.0%	343	9.3%	404	12.8%
4	一人ひとりが取り組めるごみ減量メニューを配布すること	702	18.3%	710	19.3%	669	21.2%
5	有料化によって得られた成果をきちんと説明すること	961	25.1%	1,020	27.7%	1,017	32.2%
6	ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること	1,901	49.6%	1,483	40.3%	1,160	36.8%
7	ルール違反（不法投棄など）を許さないこと	1,589	41.4%	1,541	41.9%	1,332	42.2%
8	有料化だけでなく、他のごみを減らすための方法を併せて検討すること	1,227	32.0%	920	25.0%	715	22.7%
9	有料化により減ったごみ処理分の税金を、他の用途（福祉や教育等）に使うことを検討すること	399	10.4%	459	12.5%	338	10.7%
10	その他	82	2.1%	58	1.6%	59	1.9%
総回答数		10,079		9,199		8,427	
有効回答数		3,835	262.8%	3,682	249.8%	3,154	267.2%

表 7-4-5 年度別「ごみ有料化で重視すべきこと」 回答状況

問 27 順位表		平成 16 年度	平成 19 年度	平成 22 年度
1	家計への負担が少ない料金とすること	2	1	1
2	ルール違反（不法投棄など）を許さないこと	3	2	2
3	ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること	1	3	3
4	ごみを多く出す人ほどたくさん支払う公平なくみとすること	5	4	4
5	有料化によって得られた成果をきちんと説明すること	6	5	5
6	有料化だけでなく、他のごみを減らすための方法を併せて検討すること	4	6	6
7	一人ひとりが取り組めるごみ減量メニューを配布すること	7	7	7
8	ごみ減量に効果があるよう、ごみを出すたびにある程度の負担が感じられる料金とすること	8	9	8
9	有料化により減ったごみ処理分の税金を、他の用途（福祉や教育等）に使うことを検討すること	9	8	9
10	その他	10	10	10

表 7-4-6 年度別「ごみ有料化で重視すべきこと」 順位表

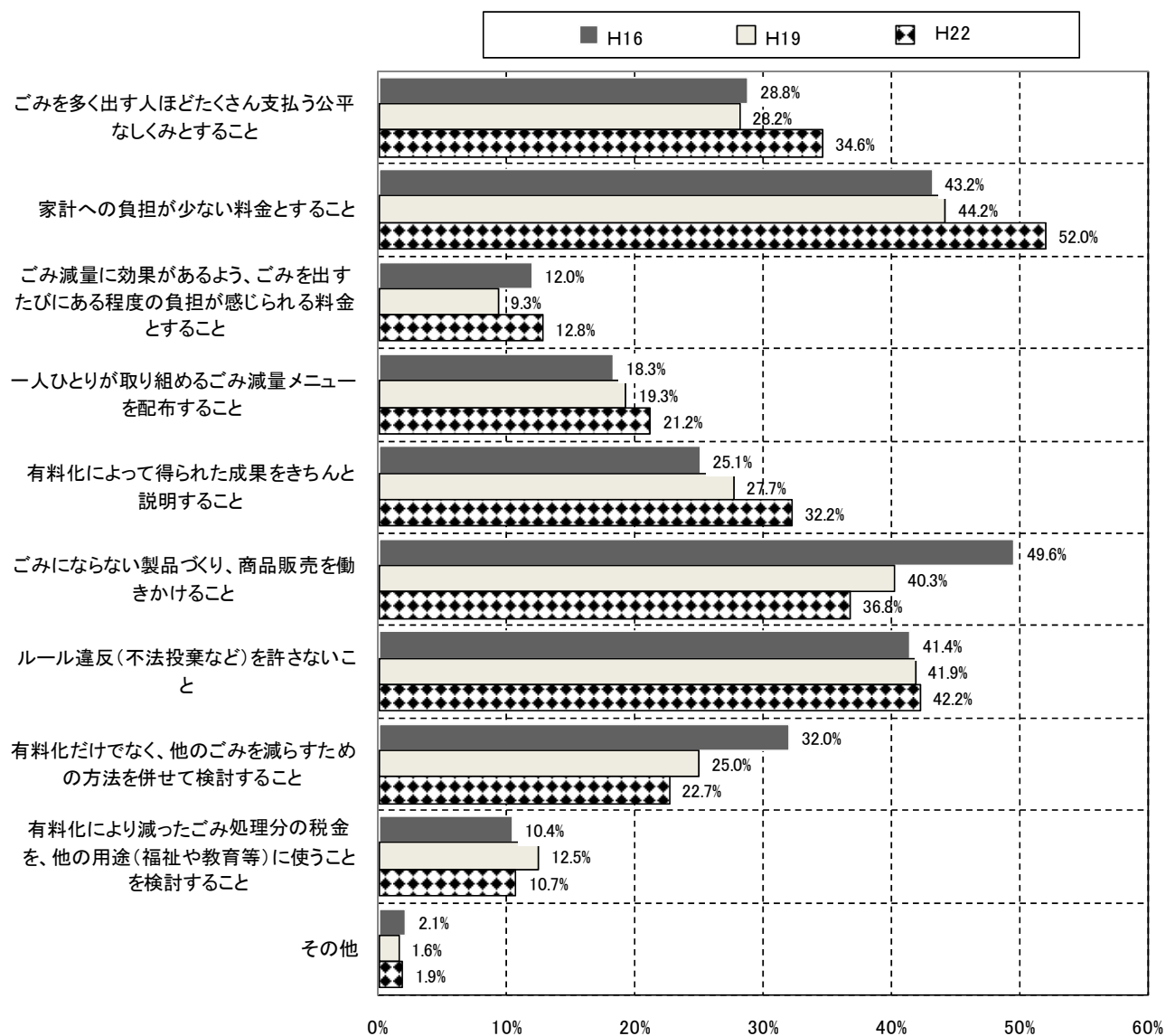


図 7-4-4 年度別「ごみ有料化で重視すべきこと」 回答率

7-4-5 問 28 ごみ処理を有料化した市町では、料金を「指定のごみ袋」を購入するという形で支払うことが多く、「指定のごみ袋」は普通のごみ袋に比べて値段が高くなっています。有料化する場合、その料金としていくらまでなら受け入れられますか？

「ごみ有料化の料金」は、「10円」が各年度55%前後で最も高く、次いで「50円程度」が28%強となっている。

問 28		平成 22 年度		平成 19 年度		平成 16 年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	10円	1,755	55.6%	2,095	56.9%	2,038	53.1%
2	50円程度	900	28.5%	1,041	28.3%	1,097	28.6%
3	100円程度	258	8.2%	258	7.0%	349	9.1%
4	200円程度	50	1.6%	38	1.0%	32	0.8%
5	それ以上	11	0.3%	12	0.3%	24	0.6%
99	無回答	180	5.7%	238	6.5%	295	7.7%
計		3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-4-7 年度別「ごみ有料化の料金」 回答状況

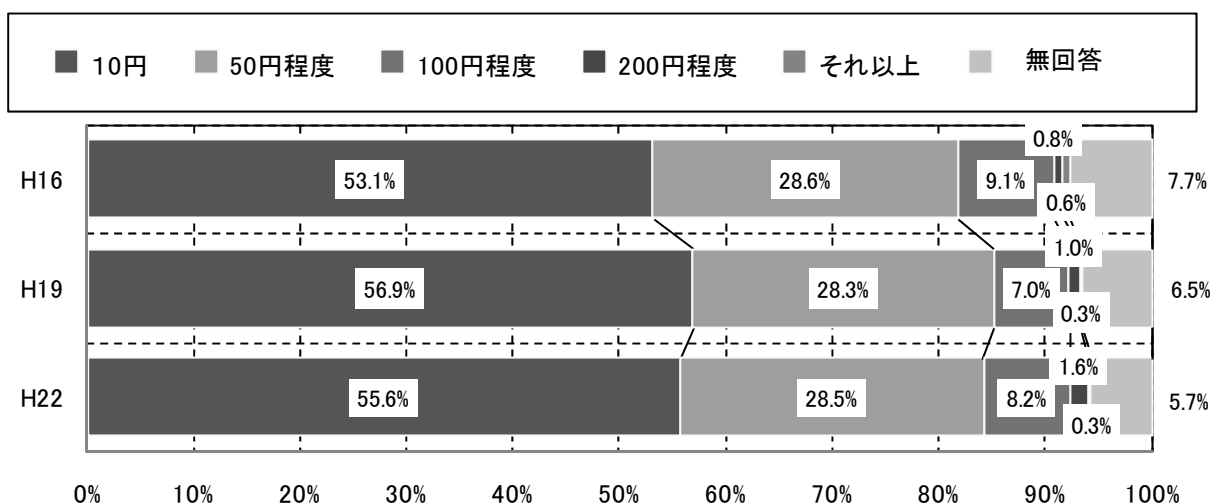


図 7-4-5 年度別「ごみ有料化の料金」 回答率

7-4-6 問 31 あなたのご家庭から出る可燃ごみに限っていえば、努力によりどれだけ減らせるとお考えですか？

「ごみの減らせる量」は、「10%～30%」が各年度いずれも 50%前後で最も高く、次いで「10%未満」が 20%台となっている。

問 31		平成 22 年度		平成 19 年度		平成 16 年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	10%未満	740	23.5%	757	20.6%	969	25.3%
2	10%～30%	1,629	51.6%	1,832	49.8%	1,802	47.0%
3	30%～50%	347	11.0%	516	14.0%	430	11.2%
4	50%～80%	70	2.2%	93	2.5%	99	2.6%
5	80%以上	17	0.5%	32	0.9%	24	0.6%
6	減らせない	256	8.1%	279	7.6%	306	8.0%
7	無回答	95	3.0%	173	4.7%	205	5.3%
計		3,154	100%	3,682	100%	3,835	100%

表 7-4-8 年度別「ごみの減らせる量」 回答状況

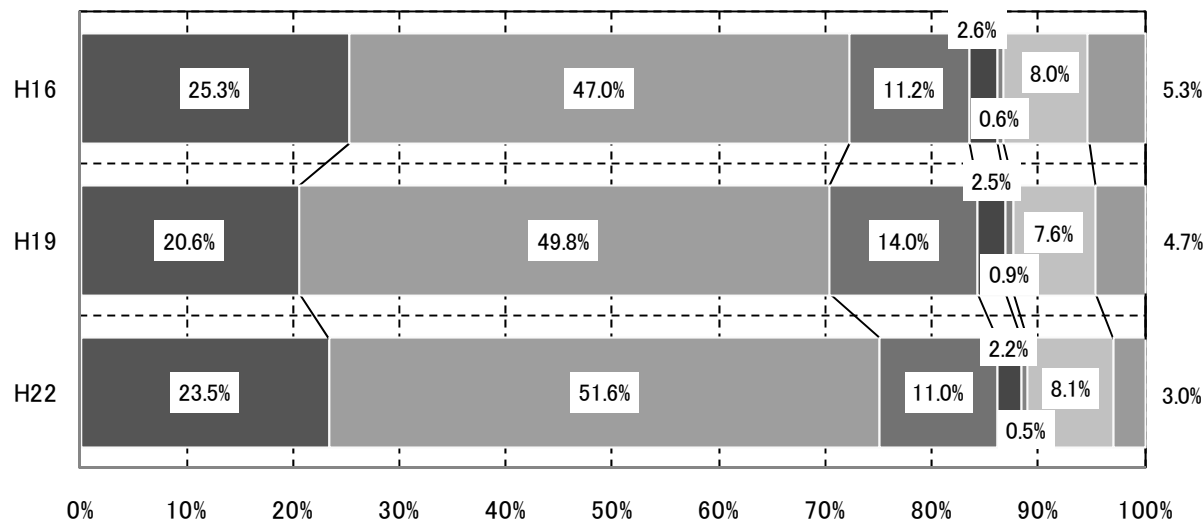
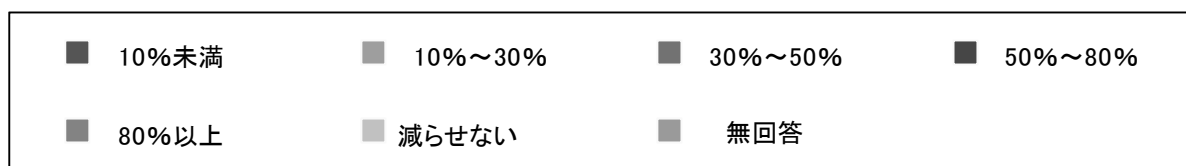


図 7-4-6 年度別「ごみの減らせる量」 回答率

8 平成 19 年度・平成 22 年度比較

8-1 現在行っているごみ減量やりサイクルの取組について

8-1-1 問 15 ごみを資源としてより有効に利用するために、資源やごみの分別数が増えることなどについてどう思われますか？

年度別「分別数の増加について」は、「賛成（「賛成」＋「どちらかという賛成」）」、「反対（「反対」＋「どちらかという反対」）」ともに平成 22 年度が増加している。

問 15		1	2	1+2 賛成	3	4	3+4 反対	5	計
		賛成	どちらか という 賛成		どちらか という 反対	反対		無回答	
平成 22 年 度	回答数	1,152	1,449	2,601	410	94	504	49	3,154
	回答率	36.5%	45.9%	82.5%	13.0%	3.0%	16.0%	1.6%	100.0%
平成 19 年 度	回答数	1,411	1,584	2,995	446	70	516	171	3,682
	回答率	38.3%	43.0%	81.3%	12.1%	1.9%	14.0%	4.6%	100.0%

表 8-1-1 年度別「分別数の増加について」 回答状況

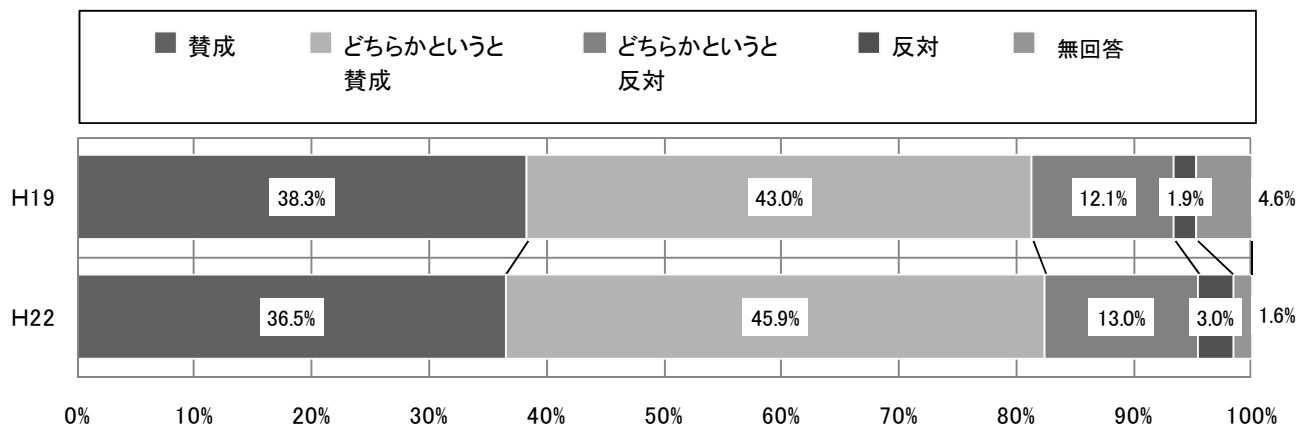


図 8-1-1 年度別「分別数の増加について」 回答率

8-2 「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画について

8-2-1 問 32 ごみ処理のあり方や具体的なごみ減量化施策について定めた市町の「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画についてあなたの意見をお聞きます。

1) 計画づくりには、できるだけ多くの住民が参画することが必要だと思いますか？

「ごみ処理基本計画への住民参画」は、平成 22 年度は平成 19 年度と比較して、「思う（“とてもそう思う” + “少しそう思う”）」は 0.9%減少し、「思わない（“あまりそうは思わない” + “まったくそうは思わない”）」は 1.8%増加している。

問 32-1		1	2	1+2 思う	3	4	3+4 思わない	5	計
		とてもそう 思う	少しそう 思う		あまりそう は 思わない	まったくそ うは 思わない		無回答	
平成 22 年度	回答数	1,317	1,381	2,698	335	28	363	93	3,154
	回答率	41.8%	43.8%	85.5%	10.6%	0.9%	11.5%	2.9%	100.0%
平成 19 年度	回答数	1,715	1,466	3,181	320	37	357	144	3,682
	回答率	46.6%	39.8%	86.4%	8.7%	1.0%	9.7%	3.9%	100.0%

表 8-2-1 年度別「ごみ処理基本計画への住民参画」 回答状況

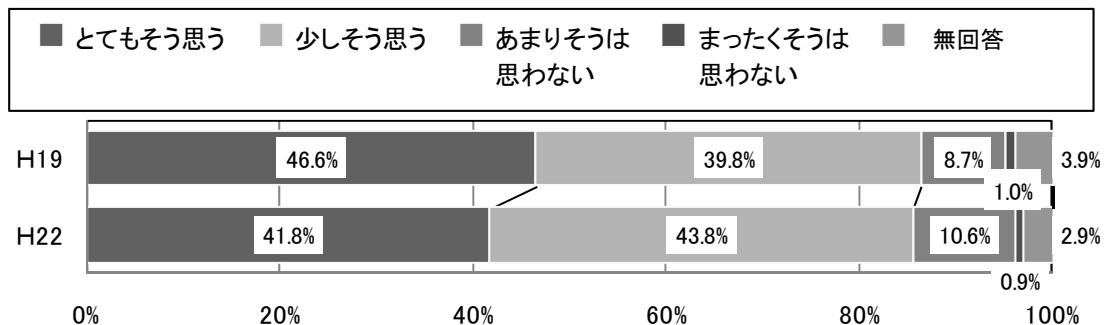


図 8-2-1 年度別「ごみ処理基本計画への住民参画」 回答率

2) 計画づくりに住民が参画すれば、住民の要望や意見を反映できると思いますか？

「計画づくりへの住民参画による要望や意見の反映」は、平成 22 年度年度は平成 19 年度年度と比較して、「思う（“とてもそう思う” + “少しそう思う”）」、「思わない（“あまりそうは思わない” + “まったくそうは思わない”）」ともに若干増加している。

問 32-1		1	2	1+2 思う	3	4	3+4 思わない	5	計
		とてもそう 思う	少しそう 思う		あまりそう は 思わない	まったくそ うは 思わない		無回答	
平成 22 年度	回答数	865	1,718	2,583	423	51	474	97	3,154
	回答率	27.4%	54.5%	81.9%	13.4%	1.6%	15.0%	3.1%	100.0%
平成 19 年度	回答数	1,172	1,835	3,007	481	54	535	140	3,682
	回答率	31.8%	49.8%	81.7%	13.1%	1.5%	14.5%	3.8%	100.0%

表 8-2-2 年度別「計画づくりへの住民参画による要望や意見の反映」 回答状況

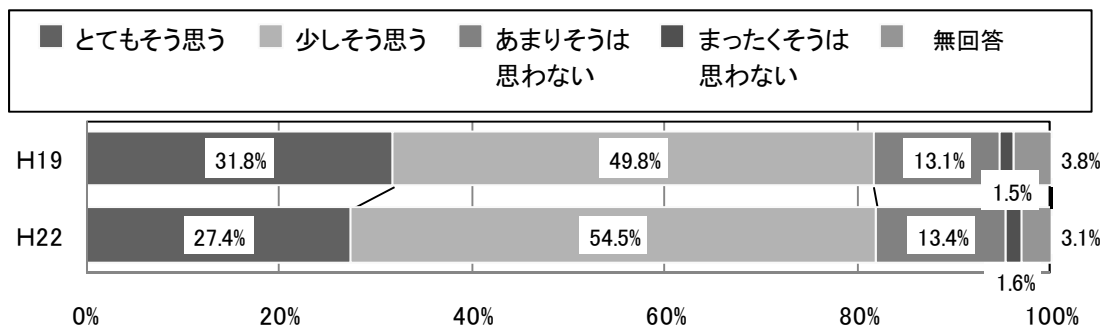


図 8-2-2 年度別「計画づくりへの住民参画による要望や意見の反映」 回答率

3) 計画は市町が主体的につくる方がよいと思いますか？

「計画は市町が主体的につくる方がよい」は、平成 22 年度は平成 19 年度と比較して、「思う（“とてもそう思う” + “少しそう思う”）」が 4.9%増加し、「思わない（“あまりそうは思わない” + “まったくそうは思わない”）」が 3.9%減少している。

問 32-1	1	2	1+2 思う	3	4	3+4 思わない	5	計	
	とてもそう 思う	少しそう 思う		あまりそう は思わない	まったく そうは思わ ない		無回答		
平成 22 年度	回答数	942	1,418	2,360	566	110	676	118	3,154
	回答率	29.9%	45.0%	74.8%	17.9%	3.5%	21.4%	3.7%	100.0%
平成 19 年度	回答数	1,077	1,495	2,572	747	185	932	178	3,682
	回答率	29.3%	40.6%	69.9%	20.3%	5.0%	25.3%	4.8%	100.0%

表 8-2-3 年度別「計画は市町が主体的につくる方がよい」 回答状況

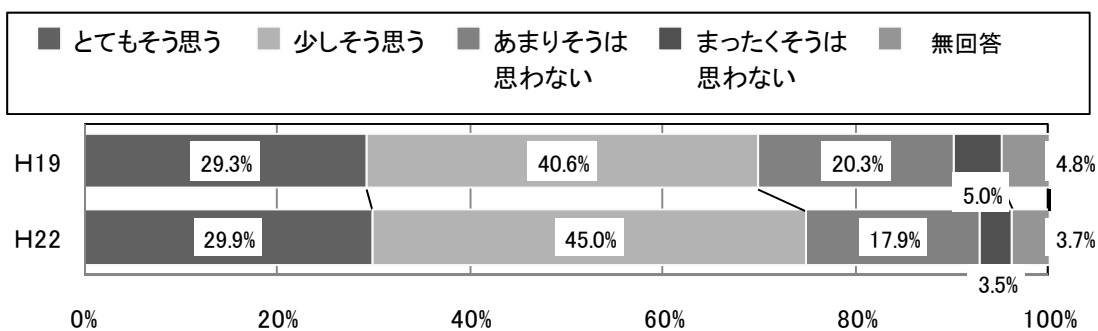


図 8-2-3 年度別「計画は市町が主体的につくる方がよい」 回答率

4) あなたが計画づくりに参画することで、様々な情報を入手できると思いますか？

「計画づくりに参画することによる情報の入手」は、平成 22 年度年度は平成 19 年度年度と比較して、「思う（“とてもそう思う” + “少しそう思う”）」が 0.8%増加し、「思わない（“あまりそうは思わない” + “まったくそうは思わない”）」が 0.2%減少している。

問 32-1		1	2	1+2 思う	3	4	3+4 思わない	5	計
		とてもそう 思う	少しそう思 う		あまりそう は 思わない	まったくそ うは 思わない		無回答	
平成 22 年度	回答数	593	1,802	2,395	558	85	643	116	3,154
	回答率	18.8%	57.1%	75.9%	17.7%	2.7%	20.4%	3.7%	100.0%
平成 19 年度	回答数	809	1,955	2,764	671	88	759	159	3,682
	回答率	22.0%	53.1%	75.1%	18.2%	2.4%	20.6%	4.3%	100.0%

表 8-2-4 年度別「計画づくりに参画することによる情報の入手」 回答状況

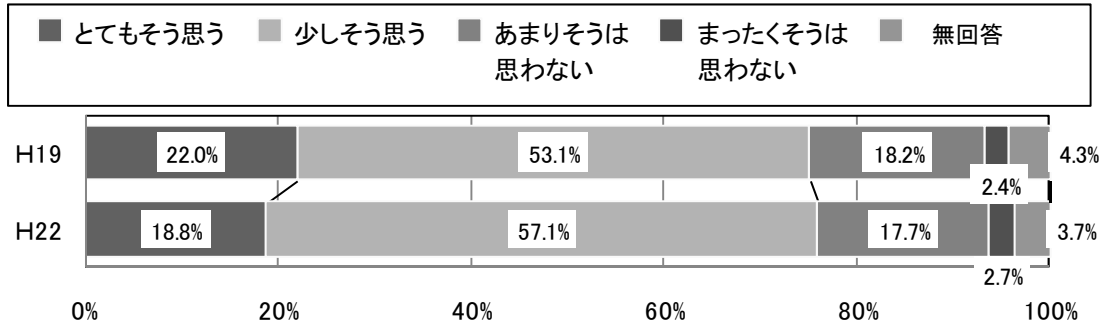


図 8-2-4 年度別「計画づくりに参画することによる情報の入手」 回答率

5) あなたが計画づくりに参画すると、時間や手間がかかり大変だと思いますか？

「計画づくりには時間や手間がかかり大変である」は、平成 22 年度は平成 19 年度と比較して、「思う（“とてもそう思う”＋“少しそう思う”）」が 1.2%増加し、「思わない（“あまりそうは思わない”＋“まったくそうは思わない”）」が 0.4%減少している。

問 32-1		1	2	1+2 思う	3	4	3+4 思わない	5	計
		とてもそう 思う	少しそう思 う		あまりそう は 思わない	まったくそ うは 思わない		無回答	
平成 22 年度	回答数	929	1,786	2,715	275	48	323	116	3,154
	回答率	29.5%	56.6%	86.1%	8.7%	1.5%	10.2%	3.7%	100.0%
平成 19 年度	回答数	1,063	2,061	3,124	327	65	392	165	3,681
	回答率	28.9%	56.0%	84.9%	8.9%	1.8%	10.6%	4.5%	100.0%

表 8-2-5 年度別「計画づくりには時間や手間がかかり大変である」 回答状況

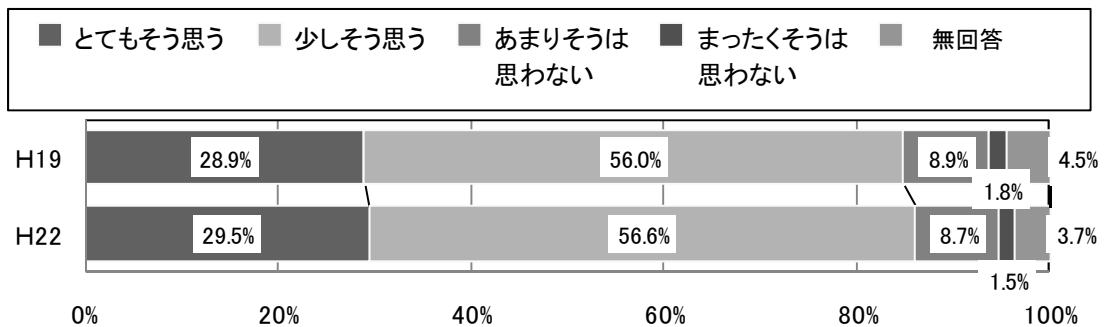


図 8-2-5 年度別「計画づくりには時間や手間がかかり大変である」 回答率

6) 今後、このような計画づくりに住民参画の機会があった場合、あなたは参画したいですか？

「計画づくりへの参画の意向」は、平成 22 年度は平成 19 年度と比較して、「思う（“とてもそう思う” + “少しそう思う”）」が 2.7%減少し、「思わない（“あまりそうは思わない” + “まったくそうは思わない”）」が 3.5%増加している。

問 32-1		1	2	1+2 思う	3	4	3+4 思わない	5	計
		とてもそう 思う	少しそう 思う		あまりそう は 思わない	まったくそ うは 思わない		無回答	
平成 22 年度	回答数	224	1,487	1,711	1,038	279	1,317	126	3,154
	回答率	7.1%	47.1%	54.2%	32.9%	8.8%	41.8%	4.0%	100.0%
平成 19 年度	回答数	323	1,772	2,095	1,134	277	1,411	176	3,682
	回答率	8.8%	48.1%	56.9%	30.8%	7.5%	38.3%	4.8%	100.0%

表 8-2-6 年度別「参加の意向」 回答状況

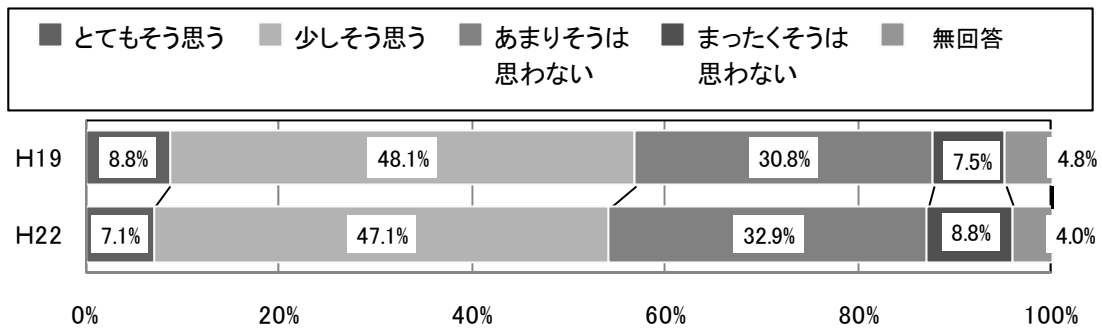


図 8-2-6 年度別「参加の意向」 回答率

8-3 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」について

8-3-1 問 33 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」をご存じですか？

1) 全体

「ごみゼロ社会実現プラン」の認知度は、全体で見ると、平成 22 年度は平成 19 年度と比較して、「知っている」、「名前は聞いたことがある」がそれぞれ 4.0%から 4.6%減少し、「知らない」が 9.6%増加している。

問 33-1：全体		平成 22 年度		平成 19 年度		回答率差 平成 22 年度- 平成 19 年度
		回答数	回答率	回答数	回答率	
1	知っている	156	4.9%	351	9.5%	-4.6%
2	名前は聞いたことがある	1,006	32.0%	1,328	36.1%	-4.0%
3	知らない	1,920	60.7%	1,882	51.1%	9.6%
99	無回答	72	2.4%	121	3.3%	-0.9%
計		3,154	100%	3,682	100%	*

表 8-3-1 年度別「ごみゼロ社会実現プランの認知度」 回答状況

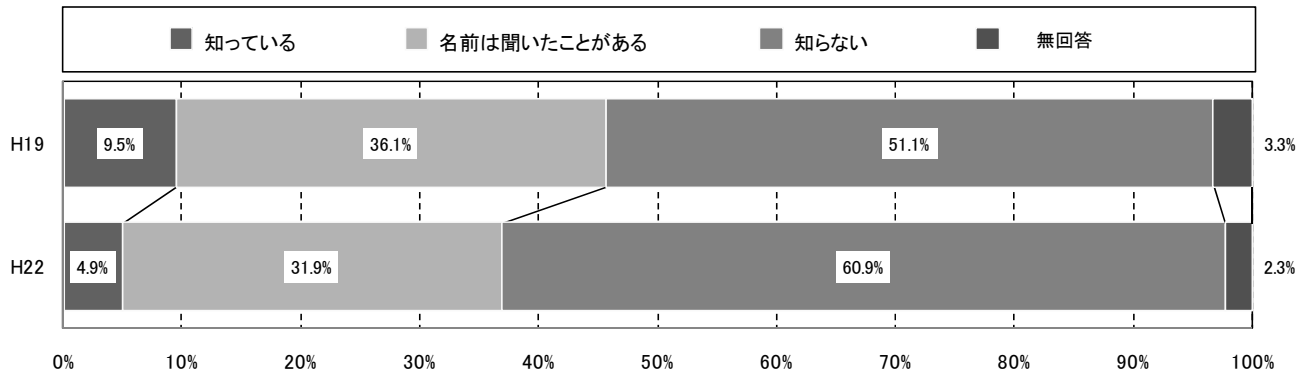


図 8-3-1 年度別「ごみゼロ社会実現プランの認知度」 回答率

2) 年代別

「ごみゼロ社会実現プラン」の認知度は、年代別で見ると、「知っている」はすべての年代で減少し、「知らない」もすべての年代で増加している。「名前は聞いたことがある」は、「20代以下」、「70代以上」で増加している。

問 33：年代別：回答数		知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答	計
20代以下	平成 19 年度	18	58	154	3	233
	平成 22 年度	5	60	140	2	207
30代	平成 19 年度	22	144	289	11	466
	平成 22 年度	10	96	309	1	416
40代	平成 19 年度	39	185	337	11	572
	平成 22 年度	19	118	306	1	444
50代	平成 19 年度	74	314	436	23	847
	平成 22 年度	25	198	413	2	638
60代	平成 19 年度	88	344	351	25	808
	平成 22 年度	56	305	446	8	815
70代以上	平成 19 年度	99	247	268	32	646
	平成 22 年度	41	225	298	18	582

表 8-3-2 年代別 年度別「ごみゼロ社会実現プランの認知度」 回答数

問 33：年代別：回答率		知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答	計
20代以下	平成 19 年度	7.7%	24.9%	66.1%	1.3%	100.0%
	平成 22 年度	2.4%	29.0%	67.6%	1.0%	100.0%
30代	平成 19 年度	4.7%	30.9%	62.0%	2.4%	100.0%
	平成 22 年度	2.4%	23.1%	74.3%	0.2%	100.0%
40代	平成 19 年度	6.8%	32.3%	58.9%	1.9%	100.0%
	平成 22 年度	4.3%	26.6%	68.9%	0.2%	100.0%
50代	平成 19 年度	8.7%	37.1%	51.5%	2.7%	100.0%
	平成 22 年度	3.9%	31.0%	64.7%	0.3%	100.0%
60代	平成 19 年度	10.9%	42.6%	43.4%	3.1%	100.0%
	平成 22 年度	6.9%	37.4%	54.7%	1.0%	100.0%
70代以上	平成 19 年度	15.3%	38.2%	41.5%	5.0%	100.0%
	平成 22 年度	7.0%	38.7%	51.2%	3.1%	100.0%

表 8-3-3 年代別 年度別「ごみゼロ社会実現プランの認知度」 回答率

問 33：年代別：回答率差		知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答
20代以下	平成 22 年度-平成 19 年度	-5.3%	4.1%	1.5%	-0.3%
30代		-2.3%	-7.8%	12.3%	-2.1%
40代		-2.5%	-5.8%	10.0%	-1.7%
50代		-4.8%	-6.0%	13.3%	-2.4%
60代		-4.0%	-5.2%	11.3%	-2.1%
70代以上		-8.3%	0.4%	9.7%	-1.9%

表 8-3-4 年代別 年度別「ごみゼロ社会実現プランの認知度」 回答率差

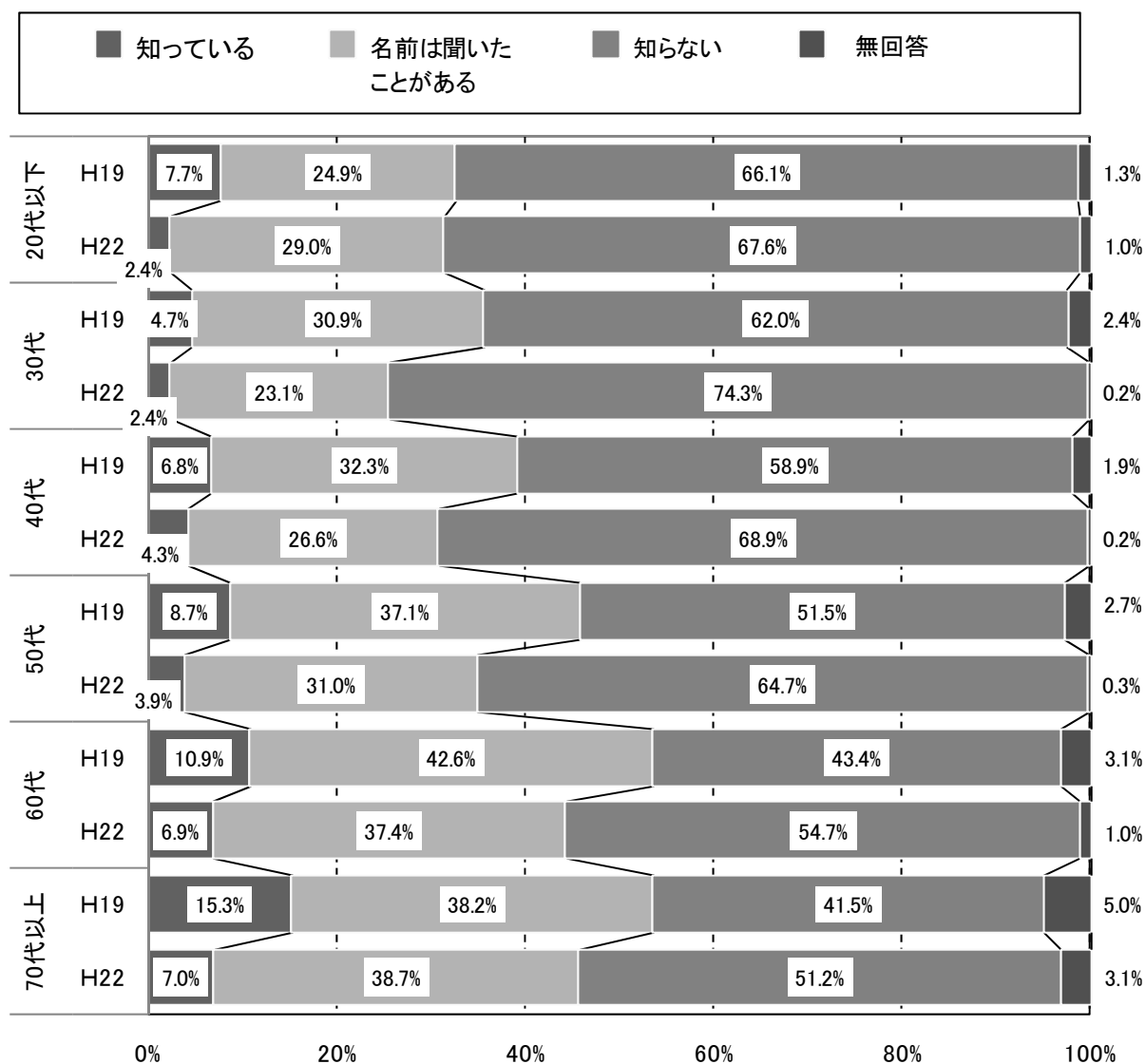


図 8-3-2 年代別 年度別「ごみゼロ社会実現プランの認知度」 回答率

3) 性別

「ごみゼロ社会実現プラン」の認知度は、性別で見ると、「知っている」、「名前は聞いたことがある」は男女ともに減少し、「知らない」も男女ともに増加している。「知っている」は、女性の方が減少率が高く、「知らない」も女性の増加率が高い。

問 33：性別別：回答数		知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答	計
女性	平成 19 年度	202	779	1049	67	2097
	平成 22 年度	80	632	1150	19	1881
男性	平成 19 年度	135	508	783	35	1461
	平成 22 年度	74	369	759	12	1214
問 33：性別：回答率		知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答	計
女性	平成 19 年度	9.6%	37.1%	50.0%	3.2%	100.0%
	平成 22 年度	4.3%	33.6%	61.1%	1.0%	100.0%
男性	平成 19 年度	9.2%	34.8%	53.6%	2.4%	100.0%
	平成 22 年度	6.1%	30.4%	62.5%	1.0%	100.0%
問 33：性別：回答率差		知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答	
女性	平成 22 年度 -平成 19 年度	-5.4%	-3.5%	11.1%	-2.2%	
男性		-3.1%	-4.4%	8.9%	-1.4%	

表 8-3-5 性別 年度別「ごみゼロ社会実現プランの認知度」 回答状況

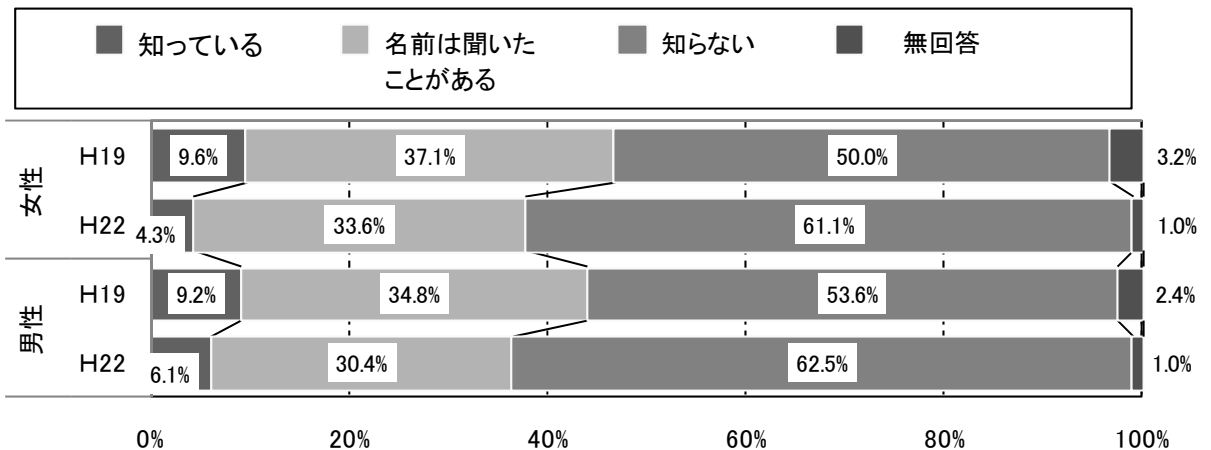


図 8-3-3 性別 年度別「ごみゼロ社会実現プランの認知度」 回答率

8-3-2 問 34 三重県のごみゼロキャラクター「ゼロ吉」をご存じですか？

1) 全体

三重県のごみゼロキャラクター「ゼロ吉」の認知度は、全体で見ると、平成 22 年度は平成 19 年度と比較して、「知っている」、「見たことはある」がそれぞれ 4.1%、4.0%減少し、「知らない」が 9.0%増加している。

問 34-1：全体		平成 22 年度		平成 19 年度		回答率差 平成 22 年度- 平成 19 年度
		回答数	回答率	回答数	回答率	
1	知っている	156	5.1%	341	9.3%	-4.1%
2	見たことはある	423	13.9%	660	17.9%	-4.0%
3	知らない	2,393	78.8%	2,569	69.8%	9.0%
99	無回答	66	2.2%	112	3.0%	-0.9%
計		3,038	100%	3,682	100%	*

表 8-3-6 全体 年度別「ゼロ吉の認知度」 回答状況

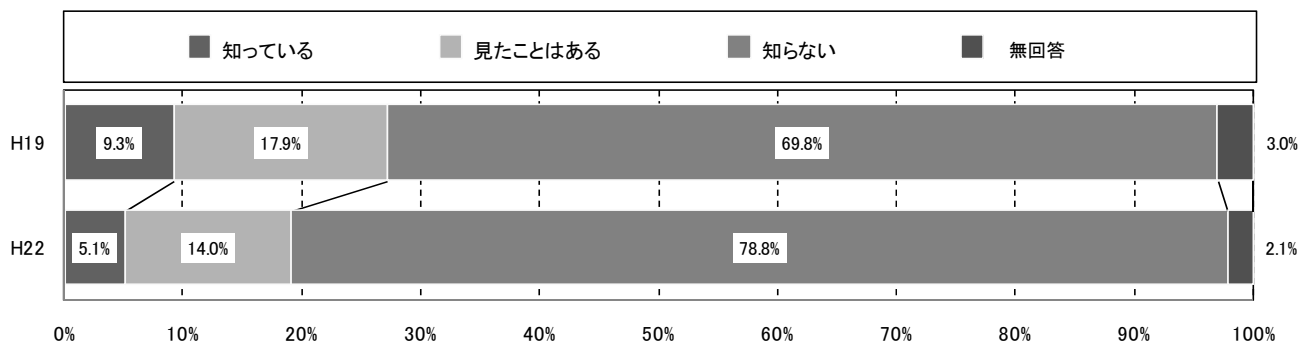


図 8-3-4 全体 年度別「ゼロ吉の認知度」 回答率

2) 年代別

認知度は、年代別で見ると、平成 22 年度は平成 19 年度と比較して、「知っている」は 2.5 から 5.8%減少し、「知らない」が 0.4 から 13.8%増加している。
「知らない」は年代が高くなるほど増加率が高くなる傾向となっている。

問 34：年代別：回答数		知っている	見たことはある	知らない	無回答	計
20 代以下	平成 19 年度	17	18	195	3	233
	平成 22 年度	6	25	174	2	207
30 代	平成 19 年度	46	36	374	10	466
	平成 22 年度	23	36	357	0	416
40 代	平成 19 年度	58	78	425	11	572
	平成 22 年度	30	45	367	2	444
50 代	平成 19 年度	60	163	602	22	847
	平成 22 年度	29	76	531	2	638
60 代	平成 19 年度	74	186	524	24	808
	平成 22 年度	41	128	641	5	815
70 代以上	平成 19 年度	74	161	383	28	646
	平成 22 年度	33	129	405	15	582

表 8-3-7 年代別 年度別「ゼロ吉の認知度」 回答数

問 34：年代別：回答率		知っている	見たことはある	知らない	無回答	計
20代以下	平成 19 年度	7.3%	7.7%	83.7%	1.3%	100.0%
	平成 22 年度	2.9%	12.1%	84.1%	1.0%	100.0%
30代	平成 19 年度	9.9%	7.7%	80.3%	2.1%	100.0%
	平成 22 年度	5.5%	8.7%	85.8%	0.0%	100.0%
40代	平成 19 年度	10.1%	13.6%	74.3%	1.9%	100.0%
	平成 22 年度	6.8%	10.1%	82.7%	0.5%	100.0%
50代	平成 19 年度	7.1%	19.2%	71.1%	2.6%	100.0%
	平成 22 年度	4.5%	11.9%	83.2%	0.3%	100.0%
60代	平成 19 年度	9.2%	23.0%	64.9%	3.0%	100.0%
	平成 22 年度	5.0%	15.7%	78.7%	0.6%	100.0%
70代以上	平成 19 年度	11.5%	24.9%	59.3%	4.3%	100.0%
	平成 22 年度	5.7%	22.2%	69.6%	2.6%	100.0%

表 8-3-8 年代別 年度別「ゼロ吉の認知度」 回答率

問 34：年代別：回答率差		知っている	見たことはある	知らない	無回答
20代以下	平成 22 年度 -平成 19 年 度	-4.4%	4.4%	0.4%	-0.3%
30代		-4.3%	0.9%	5.6%	-2.1%
40代		-3.4%	-3.5%	8.4%	-1.5%
50代		-2.5%	-7.3%	12.2%	-2.3%
60代		-4.1%	-7.3%	13.8%	-2.4%
70代以上		-5.8%	-2.8%	10.3%	-1.8%

表 8-3-9 年代別 年度別「ゼロ吉の認知度」 回答率

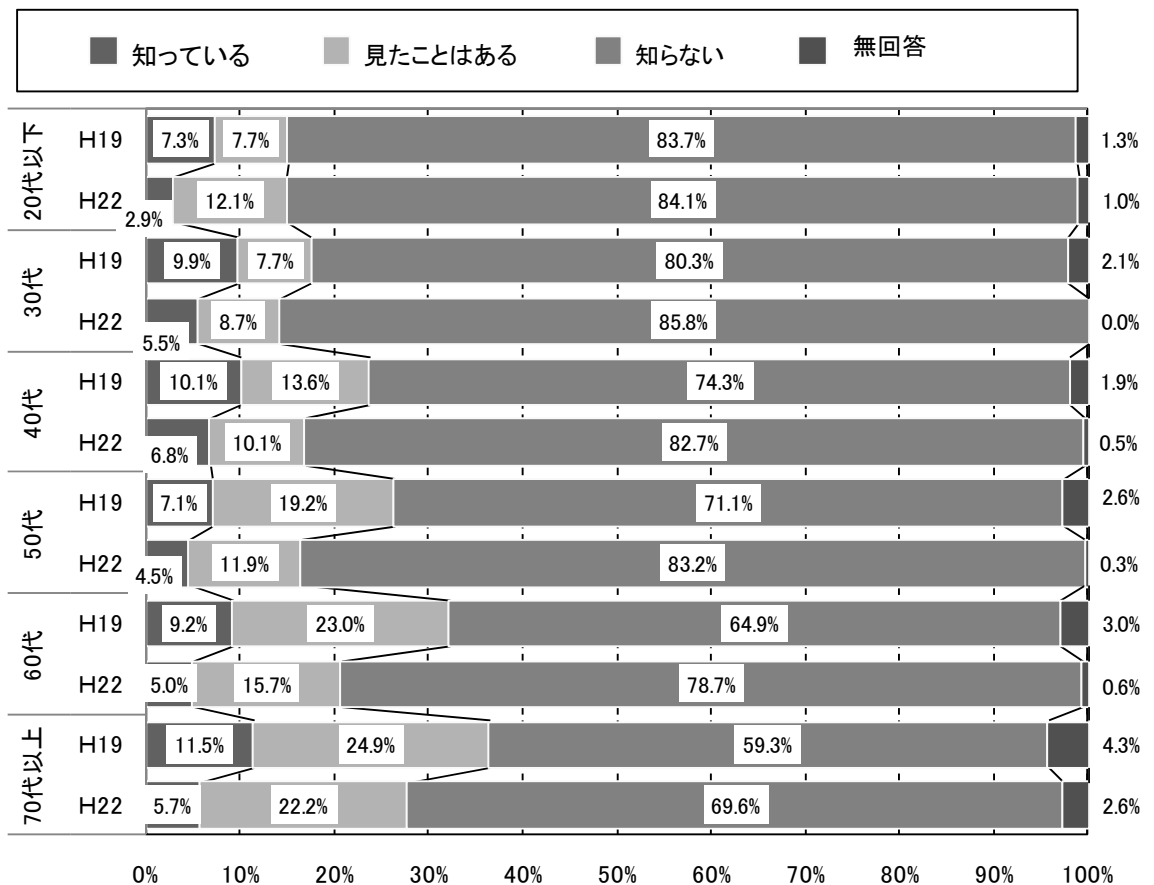


図 8-3-5 年代別 年度別「ゼロ吉の認知度」 回答率

3) 性別

認知度は、性別で見ると、平成 22 年度年度は平成 19 年度年度と比較して、「知っている」は男女ともに減少し、「知らない」も男女ともに増加している。なお、減少率、増加率ともに女性が高い。

問 34：性別別：回答数		知っている	見たことはある	知らない	無回答	計
女性	平成 19 年度	202	779	1049	67	2097
	平成 22 年度	80	632	1150	19	1881
男性	平成 19 年度	135	508	783	35	1461
	平成 22 年度	74	369	759	12	1214
問 34：性別：回答率		知っている	見たことはある	知らない	無回答	計
女性	平成 19 年度	9.6%	37.1%	50.0%	3.2%	100.0%
	平成 22 年度	4.3%	33.6%	61.1%	1.0%	100.0%
男性	平成 19 年度	9.2%	34.8%	53.6%	2.4%	100.0%
	平成 22 年度	6.1%	30.4%	62.5%	1.0%	100.0%

表 8-3-10 年代別 年度別「ゼロ吉の認知度」 回答状況

問 34：性別：回答率差		知っている	見たことはある	知らない	無回答
女性	平成 22 年度- 平成 19 年度	-5.4%	-3.5%	11.1%	-2.2%
男性	平成 22 年度- 平成 19 年度	-3.1%	-4.4%	8.9%	-1.4%

表 8-3-11 年代別 年度別「ゼロ吉の認知度」 回答率差

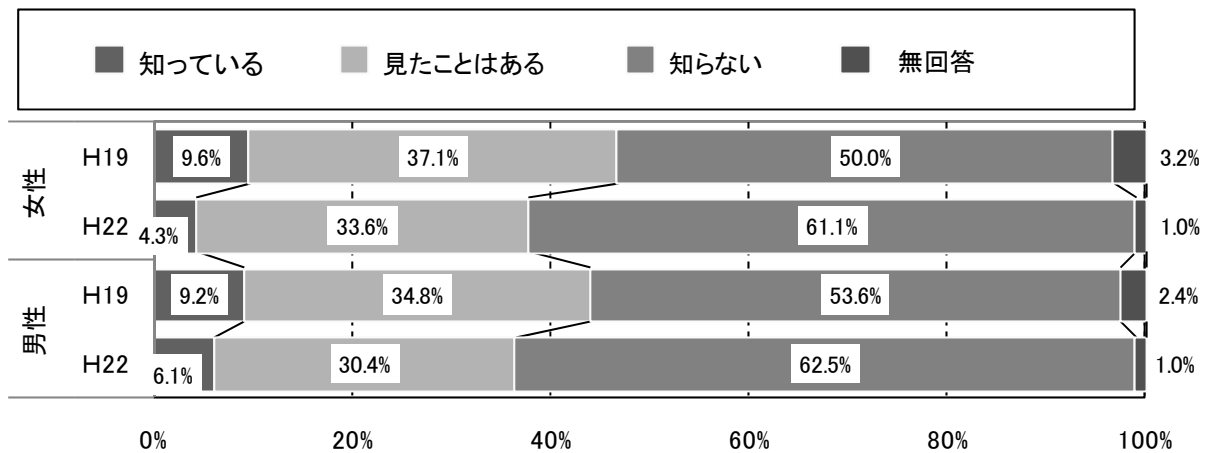
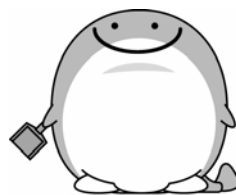


図 8-3-6 性別 年度別「ゼロ吉の認知度」 回答率



三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」

8-3-3 問 35 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」に関する県民参画の取組に参加したいと思いますか？

1) 全体

「県民参画の取組への参加」は、平成 22 年度は平成 19 年度と比較して、すべての取組項目で減少している。「いずれにも参加したいとは思わない」は 6.3%増加している。

問 35	平成 19 年度		平成 22 年度		回答率差 平成 22 年度 -平成 19 年 度	
	回答数	回答率	回答数	回答率		
1	地域ごみゼロ交流会に参加したい	421	11.4%	289	9.2%	-2.3%
2	ごみゼロに関する講演会やセミナーに参加したい	488	13.3%	352	11.2%	-2.1%
3	ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい	808	21.9%	619	19.6%	-2.3%
4	ごみゼロメールマガジンを読みたい	360	9.8%	215	6.8%	-3.0%
5	ごみゼロの取組をまとめた「ごみゼロレポート」を読みたい	993	27.0%	741	23.5%	-3.5%
6	アンケートなどに協力したい	1,382	37.5%	1,152	36.5%	-1.0%
7	自分の意見をFAXなどで県に寄せたい	112	3.0%	68	2.2%	-0.9%
8	ごみゼロプランの進捗状況などを評価検証する「ごみゼロプラン推進委員会」を傍聴したい	115	3.1%	92	2.9%	-0.2%
9	いずれにも参加したいとは思わない	657	17.8%	762	24.2%	6.3%
10	いずれにも参加したいとは思わない	82	2.2%	82	2.6%	0.4%
総回答数		5,418		4,372		
有効回答数		3,682	147.1%	3,154	138.6%	

表 8-3-12 全体 年度別「県民参画の取組への参加」 回答状況

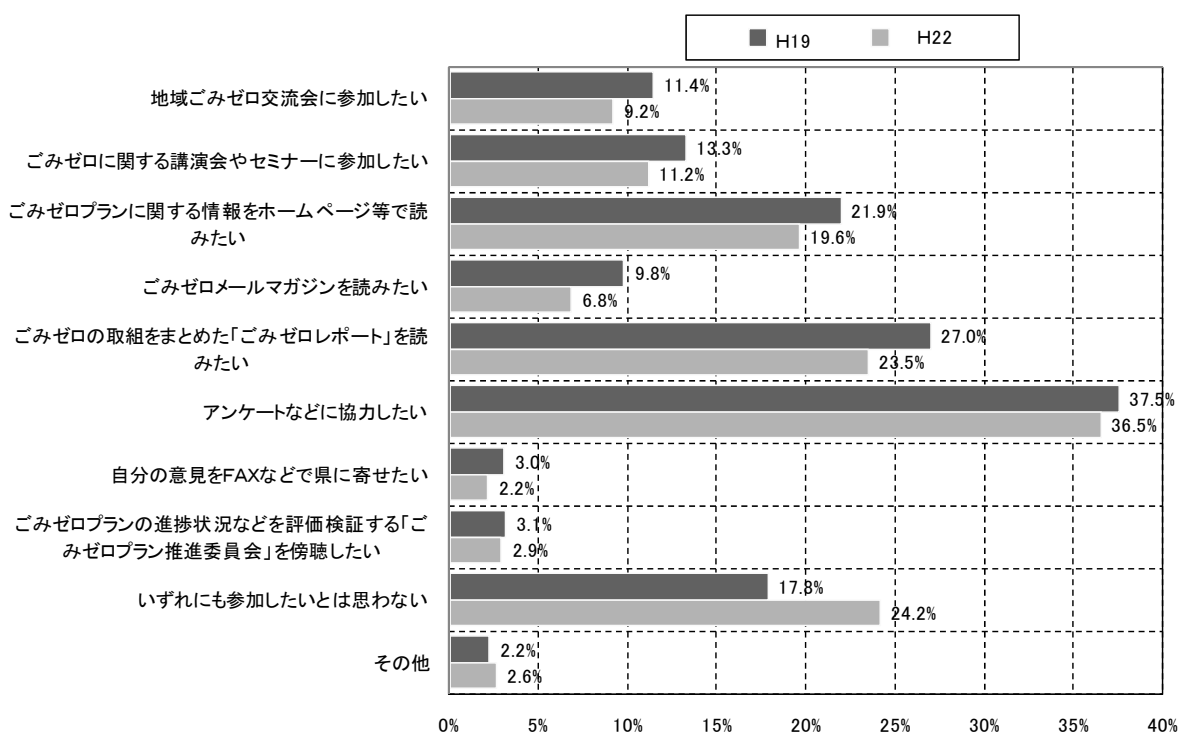


図 8-3-7 全体 年度別「県民参画の取組への参加」 回答率

2) 年代別

「県民参画の取組への参加」の年代別では、「いずれにも参加したいと思わない」が平成 22 年度は 19 年度と比較してすべての年代で 3%以上増加している。特に 40 代以下が 9%以上の増加である。
 「地域ごみゼロ交流会に参加」、「講演会やセミナーへの参加」、「『ごみゼロレポート』を読みたい」ではすべての年代で減少している。

問 35 年代別：回答率		年度	1	2	3	4	5	6	99
			20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
1	地域ごみゼロ交流会に参加	平成 22 年度	3.9%	5.5%	5.0%	6.4%	12.9%	15.3%	1.9%
		平成 19 年度	6.9%	5.8%	7.2%	9.1%	16.5%	17.0%	15.6%
2	講演会やセミナーへ参加	平成 22 年度	5.3%	4.8%	7.7%	11.8%	15.6%	14.6%	0.0%
		平成 19 年度	6.4%	9.0%	11.2%	11.9%	17.9%	16.6%	12.8%
3	情報をホームページ等で読みたい	平成 22 年度	30.4%	29.1%	29.5%	20.2%	13.4%	11.2%	1.9%
		平成 19 年度	30.5%	33.7%	30.9%	21.8%	13.1%	14.2%	18.3%
4	ごみゼロメールマガジンを読みたい	平成 22 年度	8.2%	6.3%	7.9%	9.7%	6.4%	3.8%	1.9%
		平成 19 年度	11.2%	12.9%	14.3%	11.7%	5.6%	5.7%	10.1%
5	「ごみゼロレポート」を読みたい	平成 22 年度	23.7%	21.2%	23.2%	22.9%	28.1%	21.5%	1.9%
		平成 19 年度	24.9%	24.2%	28.3%	26.8%	31.3%	24.9%	17.4%
6	アンケートなどに協力したい	平成 22 年度	43.5%	43.0%	35.1%	36.2%	36.8%	33.0%	7.7%
		平成 19 年度	44.6%	40.6%	36.7%	37.9%	38.6%	32.4%	33.9%
7	自分の意見を F A X などで県に寄せたい	平成 22 年度	2.4%	2.4%	2.7%	2.7%	1.7%	1.7%	0.0%
		平成 19 年度	4.3%	5.8%	3.5%	2.6%	1.9%	2.3%	2.8%
8	「プラン推進委員会」を傍聴したい	平成 22 年度	2.9%	2.6%	2.3%	2.2%	3.8%	3.4%	0.0%
		平成 19 年度	1.7%	4.9%	2.6%	2.6%	3.0%	3.4%	4.6%
9	いずれにも参加したいとは思わない	平成 22 年度	26.6%	27.4%	25.2%	24.6%	23.2%	22.5%	7.7%
		平成 19 年度	17.6%	17.2%	15.9%	19.4%	17.1%	19.3%	15.6%
10	その他	平成 22 年度	1.0%	1.0%	2.9%	2.5%	2.0%	5.3%	0.0%
		平成 19 年度	0.9%	1.7%	2.1%	1.9%	2.5%	3.1%	3.7%

表 8-3-13 年代別 年度別「県民参画の取組への参加」 回答率

問 35 年代別：回答差		1	2	3	4	5	6
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1	地域ごみゼロ交流会に参加	-3.0%	-0.3%	-2.2%	-2.7%	-3.6%	-1.7%
2	講演会やセミナーへの参加	-1.1%	-4.2%	-3.5%	-0.2%	-2.4%	-2.0%
3	情報をホームページ等で読みたい	0.0%	-4.6%	-1.4%	-1.6%	0.3%	-3.1%
4	ごみゼロメールマガジンを読みたい	-2.9%	-6.6%	-6.5%	-2.0%	0.8%	-1.9%
5	「ごみゼロレポート」を読みたい	-1.2%	-3.1%	-5.1%	-3.9%	-3.2%	-3.4%
6	アンケートなどに協力したい	-1.2%	2.5%	-1.6%	-1.7%	-1.8%	0.6%
7	自分の意見を F A X などで県に寄せたい	-1.9%	-3.4%	-0.8%	0.1%	-0.1%	-0.6%
8	「プラン推進委員会」を傍聴したい	1.2%	-2.3%	-0.4%	-0.4%	0.8%	0.0%
9	いずれにも参加したいとは思わない	9.0%	10.2%	9.3%	5.2%	6.1%	3.2%
10	その他	0.1%	-0.8%	0.8%	0.6%	-0.5%	2.2%

表 8-3-14 年代別 年度別「県民参画の取組への参加」 回答率差

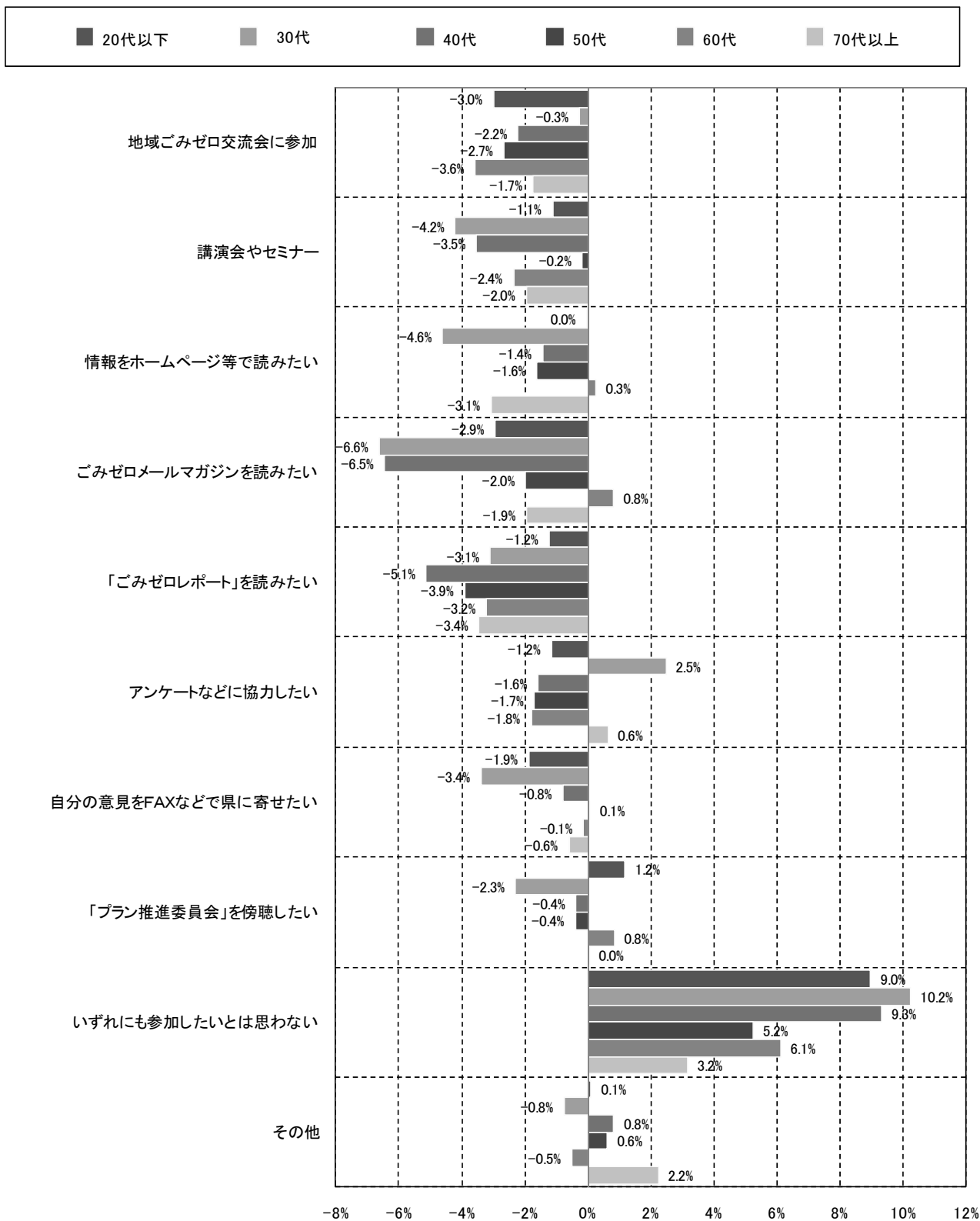


図 8-3-8 年代別 年度別「県民参画の取組への参加」 回答率差

3) 性別

「県民参画の取組への参加」の性別は、「いずれにも参加したいと思わない」が、平成22年度は、平成19年度と比較して男女ともに6%強の増加となっている。個別の取組では、「ごみゼロメールマガジンを読みたい」、「ごみゼロレポート」を読みたいで女性が3%以上減少している。

問35 性別：回答率		年度	1	2	99
			女性	男性	無回答
1	地域ごみゼロ交流会に参加	平成22年度	9.0%	9.8%	1.7%
		平成19年度	10.4%	12.5%	17.2%
2	講演会やセミナー	平成22年度	10.7%	12.4%	0.0%
		平成19年度	12.0%	15.0%	13.9%
3	情報をホームページ等で読みたい	平成22年度	19.9%	19.9%	5.1%
		平成19年度	22.2%	22.0%	15.6%
4	ごみゼロメールマガジンを読みたい	平成22年度	6.5%	7.5%	1.7%
		平成19年度	9.9%	9.7%	9.0%
5	「ごみゼロレポート」を読みたい	平成22年度	23.4%	24.5%	3.4%
		平成19年度	27.4%	27.2%	17.2%
6	アンケートなどに協力したい	平成22年度	35.4%	39.8%	5.1%
		平成19年度	36.1%	39.8%	36.1%
7	自分の意見をFAXなどで県に寄せたい	平成22年度	2.0%	2.6%	0.0%
		平成19年度	2.2%	4.1%	4.9%
8	「プラン推進委員会」を傍聴したい	平成22年度	1.9%	4.7%	0.0%
		平成19年度	2.1%	4.4%	4.9%
9	いずれにも参加したいと思わない	平成22年度	24.5%	24.5%	6.8%
		平成19年度	17.7%	18.3%	13.1%
10	その他	平成22年度	3.1%	1.9%	1.7%
		平成19年度	2.5%	1.8%	3.3%

表 8-3-15 性別 年度別「県民参画の取組への参加」 回答率

問35 性別：回答差		1	2
		女性	男性
1	地域ごみゼロ交流会に参加	-1.4%	-2.7%
2	講演会やセミナー	-1.3%	-2.6%
3	情報をホームページ等で読みたい	-2.3%	-2.1%
4	ごみゼロメールマガジンを読みたい	-3.3%	-2.2%
5	「ごみゼロレポート」を読みたい	-3.9%	-2.7%
6	アンケートなどに協力したい	-0.7%	0.0%
7	自分の意見をFAXなどで県に寄せたい	-0.2%	-1.6%
8	「プラン推進委員会」を傍聴したい	-0.2%	0.2%
9	いずれにも参加したいと思わない	6.7%	6.2%
10	その他	0.6%	0.1%

表 8-3-16 性別 年度別「県民参画の取組への参加」 回答率差

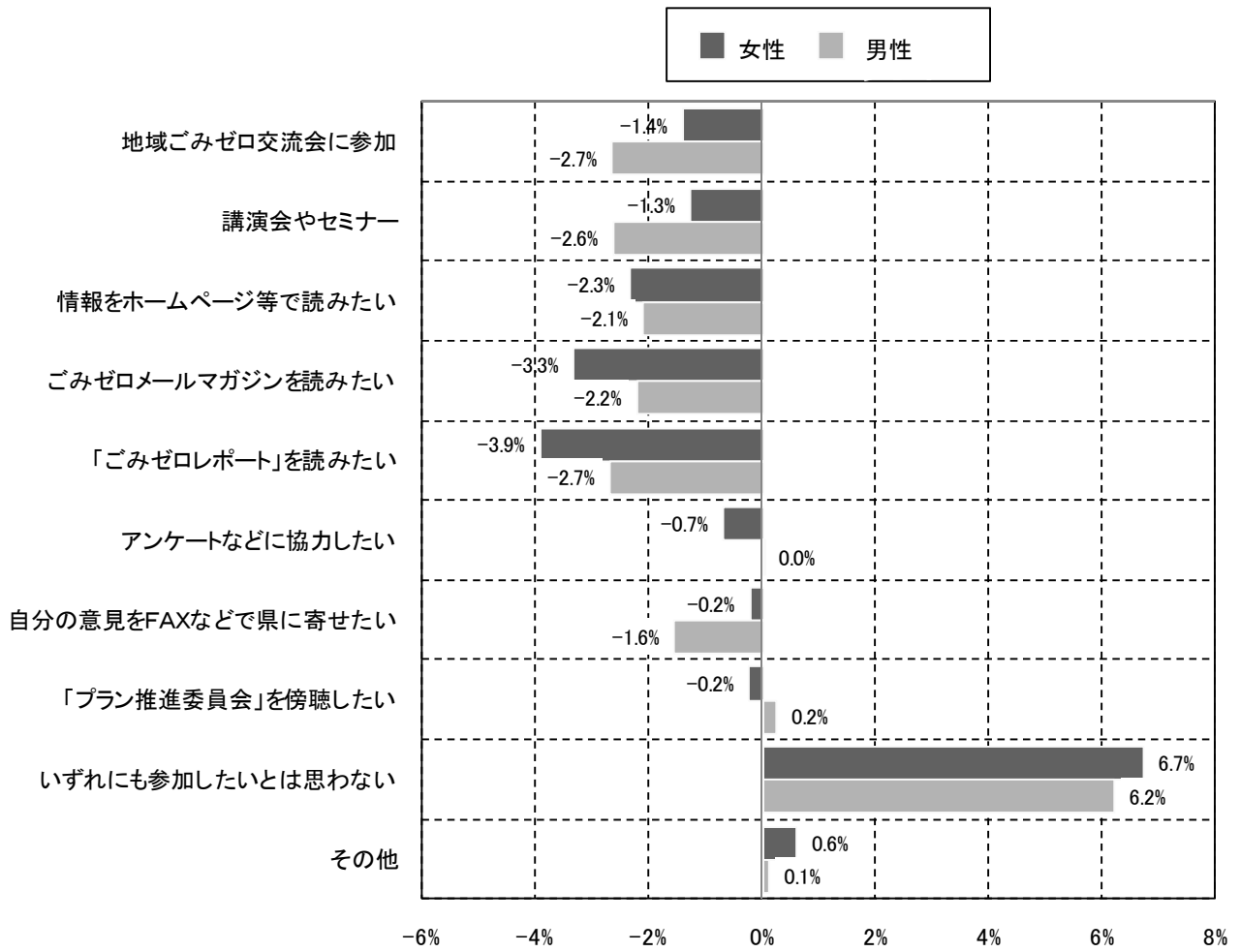


図 8-3-9 性別 年度別「県民参画の取組への参加」 回答率差

9 国との比較

国において、平成 21 年 6 月に行われた「環境問題に関する世論調査」及び同年 11 月に行われた「循環型社会に関する意識・行動調査」の調査項目と今回（平成 22 年度三重県調査）の調査項目が同じ内容のものを抽出して比較した。

9-1 暮らしの中での関心ごとや考えられる行動について

問 1	次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？ それぞれの考えについて、あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。
-----	---

(5) 日常生活における一人ひとりの行動が環境に大きな影響を及ぼすと思う。

「日常生活における一人ひとりの行動が環境に大きな影響を及ぼすと思う」での「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計は、三重県 95.1%、国 94.9%とほぼ同じであるが、「とてもそう思う」は三重県が 19.1%高い。三重県では「一人ひとりの行動が環境に大きな影響を及ぼすと思う」の割合はかなり高いと思われる。

問 1-5		1	2	3	4	5	計
		とても そう思う	少し そう思う	あまり そうは 思わない	まったく そうは 思わない	無回答	
平成 22 年 度：三重県	回答数	2,230	769	109	19	27	3,154
	回答率	70.7%	24.4%	3.5%	0.6%	0.9%	100.0%
H21:国調査	回答率	51.6%	43.3%	4.1%	1.0%	0.0%	100.0%
三重県一国調査		19.1%	-18.9%	-0.6%	-0.4%	0.9%	—
問 1-5 まとめ		思う (1+2)		思わない (3+4)		無回答	計
平成 22 年度：三重県		95.1%		4.1%		0.9%	100.0%
H21：国調査		94.9%		5.1%		0.0%	100.0%
三重県一国調査		0.2%		-1.0%		0.9%	—

表 9-1 問 1-5 回答状況

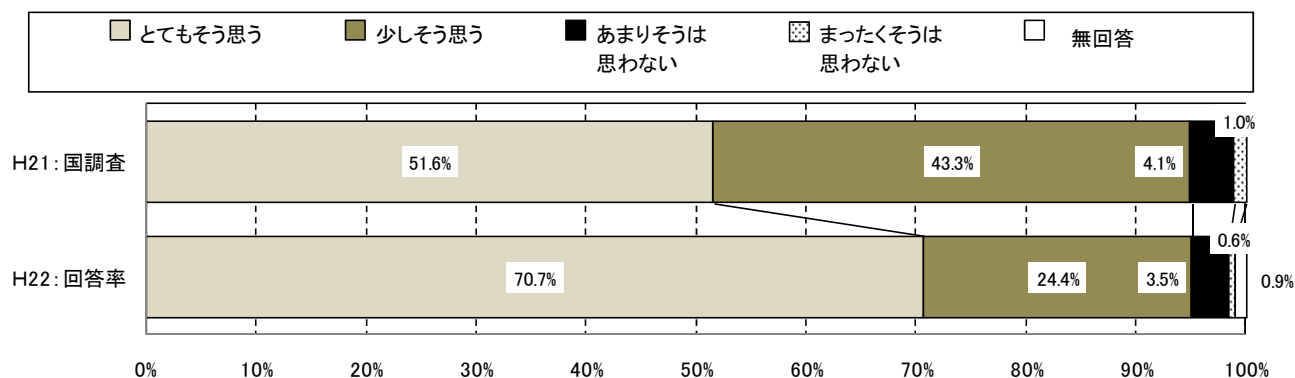


図 9-1 問 1-5 回答率

(6) 環境問題解決のためには、技術開発や研究を一層充実させることが必要だと思う。

「環境問題解決のためには、技術開発や研究を一層充実させることが必要だと思う」の「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計は、三重県 88.0%、国 94.3%と三重県が 6.3%低いですが、「とてもそう思う」は、三重県が 9.4%上回っている。

問 1-6		1	2	3	4	5	計
		とても そう思う	少し そう思う	あまり そうは 思わない	まったく そうは 思わない	無回答	
平成 22 年 度：三重県	回答数	1,702	1,074	303	36	39	3,154
	回答率	54.0%	34.1%	9.6%	1.1%	1.2%	100.0%
H21：国調査	回答率	44.6%	49.7%	5.1%	0.6%	0.0%	100.0%
三重県一國調査		9.4%	-15.6%	4.5%	0.5%	1.2%	—
問 1-6 まとめ		思う		思わない		無回答	計
平成 22 年度：三重県		88.0%		10.7%		0.9%	100.0%
H21：国調査		94.3%		5.7%		0.0%	100.0%
三重県一國調査		-6.3%		5.0%		0.9%	—

表 9-2 問 1-6 回答状況

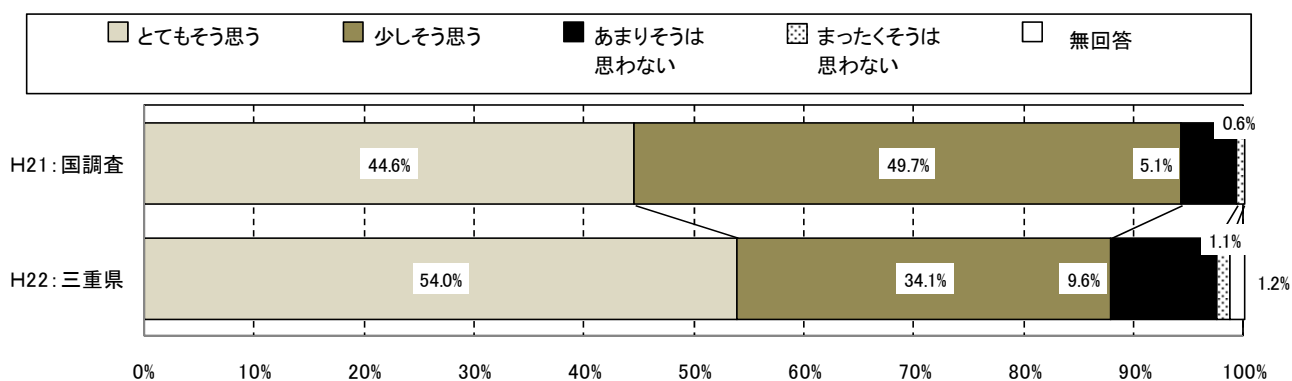


図 9-2 問 1-6 回答率

問 3 物を買うときの環境への配慮について、あなたはどう感じていますか？
最も近いものを1つ選び番号に○を付けてください。

積極的配慮（選択肢1～3の計）では、三重県は2.3%低くなっている。消極的配慮（選択肢4～6）は、国調査と同率である。

問 3	積極的配慮	消極的配慮	その他（無回答含む）
平成 22 年度：三重県調査	80.2%	9.1%	10.7%
H21：国調査	82.5%	9.1%	8.4%
三重県調査-国調査	-2.3%	0%	2.3%

表 9-3 問 3 まとめ 回答状況

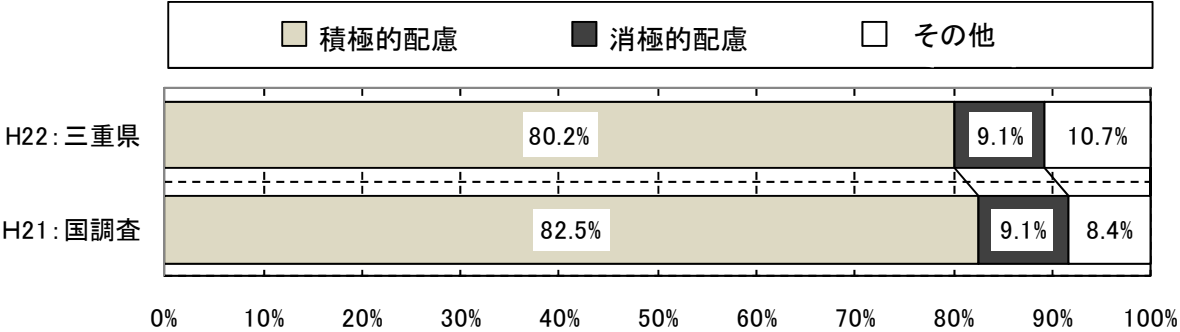


図 9-3 問 3 まとめ 回答率

問 3		1	2	3	4	5	6	7	8	8	計
		環境保全のために良いことなので、常に意識している	習慣になっており、特に意識することではない	店頭で環境配慮の情報が明示されていれば考慮する	家計の圧迫につながるのを避けた	手間や時間がかかる・面倒だ	生活の便利さや快適さを損なう	その他	わからない	無回答	
平成 22 年度： 三重県	回答数	466	549	1,513	184	72	32	58	227	53	3,154
	回答率	14.8%	17.4%	48.0%	5.8%	2.3%	1.0%	1.8%	7.2%	1.7%	100%
H21：国調査	回答率	9.5%	20.2%	52.8%	4.7%	3.5%	0.9%	1.8%	6.6%	0%	100%
三重県-国		5.3%	-2.8%	-4.8%	1.1%	-1.2%	0.1%	0.0%	0.6%	1.7%	5.3%

表 9-4 問 3 回答状況

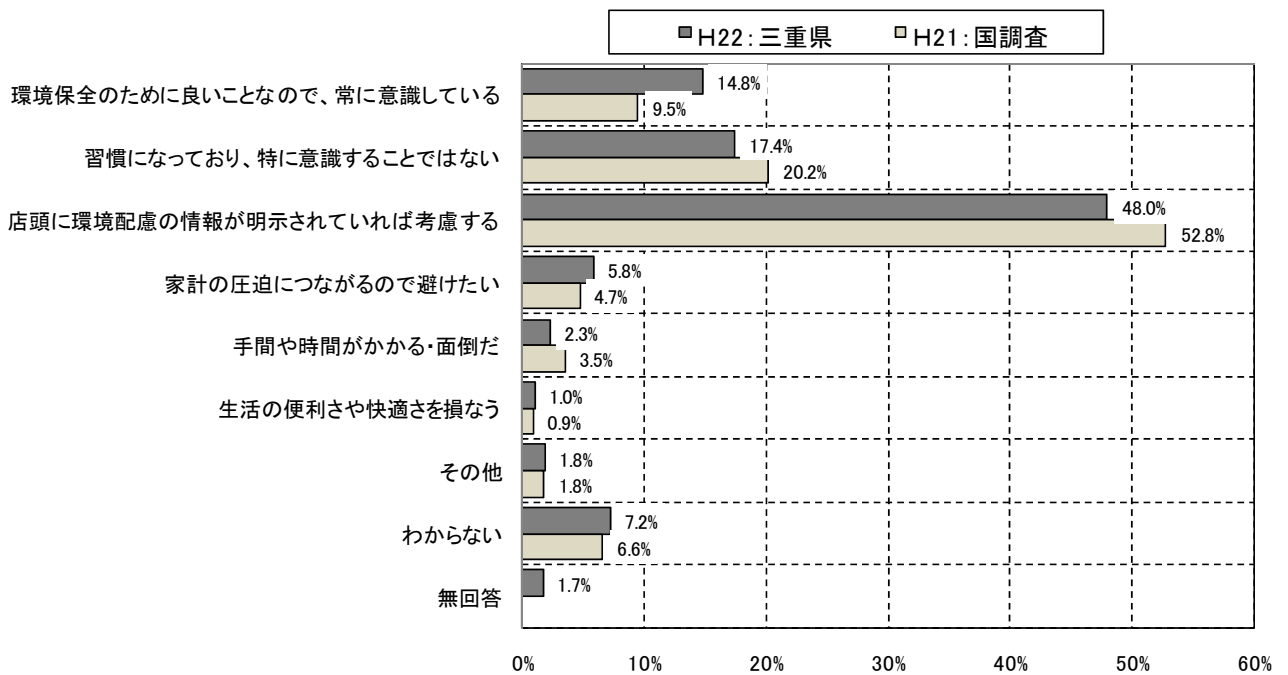


図 9-4 問3 回答率

問 6 あなたは、ごみ問題について、どのようなことを知っていますか？
あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。 (複数回答)

ごみ問題の知識では、8項目中5項目を三重県が上回っている。

番号	選択肢	平成 22 年度：三重県		H21 国調査	三重県-国
		回答数	回答率		
1	ごみの最終処分場の容量が残り少なくなってきた	1,817	57.6%	59.7%	-2.1%
2	ごみ処理施設は必要だが、自分の近くに建設することには反対すると考えている人が多い	2,177	69.0%	55.1%	13.9%
3	規制の強化によりダイオキシン類の排出量が大幅に削減されている	1,344	42.6%	41.4%	1.2%
4	野山や河原等への不法投棄が大きな社会問題になっている	2,641	83.7%	79.1%	4.6%
5	私有地に廃タイヤやパチンコ台などが将来リサイクルするとの名目で、放置されている	1,225	38.8%	40.5%	-1.7%
6	海岸に漂着したごみなどにより、海岸の景観が損なわれたり、生態系などに影響を及ぼしている	2,542	80.6%	72.1%	8.5%
7	稲わらや間伐材など、資源として利用できるものを活かしていきっていないものがある	1,165	36.9%	30.4%	6.5%
8	テレビやパソコンなどの身近な使用済み家電が海外へ輸出され、その一部が不適正に処理されることによる環境汚染が生じている	1,300	41.2%	47.1%	-5.9%
9	その他	43	1.4%	0.1%	1.3%
10	特に知っているものはない	56	1.8%	3.7%	-1.9%
総回答数		14,310	453.7%	429.2%	—
有効回答数		3,154			

表 9-5 問6 回答状況

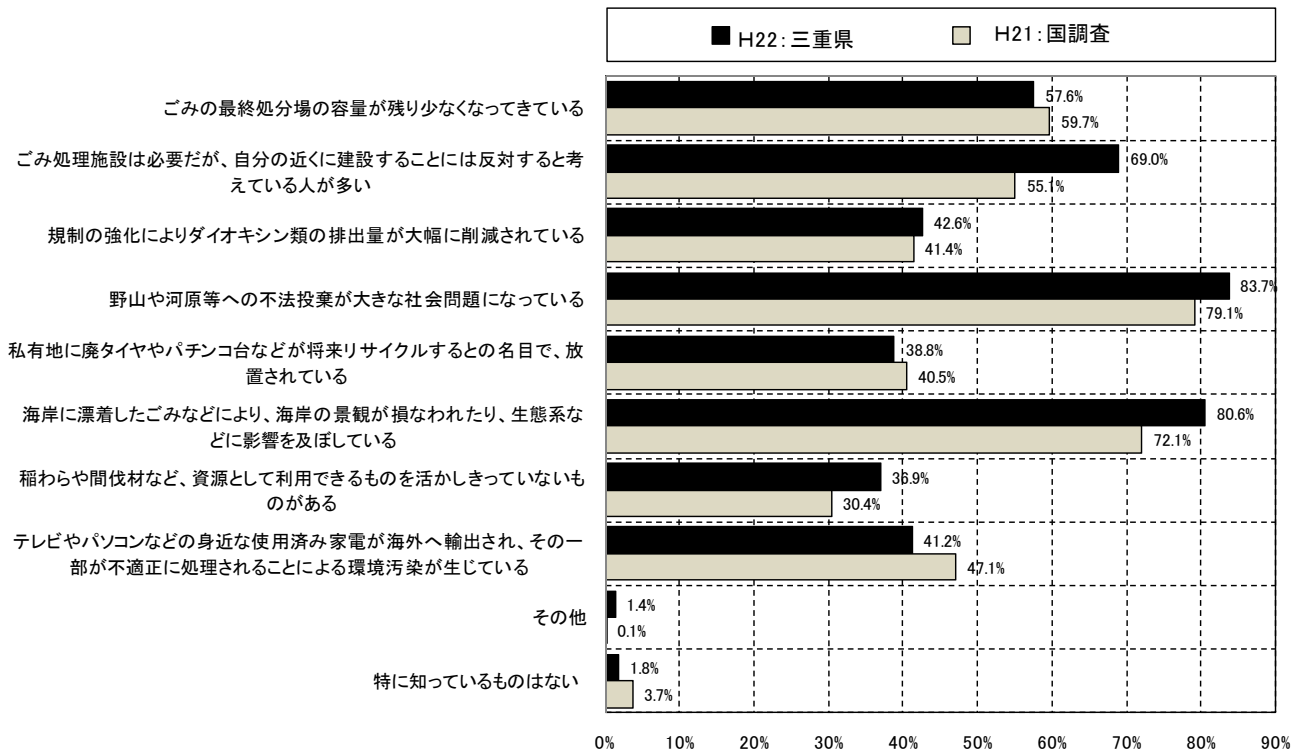


図 9-5 問6 回答率

9-2 現在行っているごみ減量やリサイクルの取組について

問 13	あなたは、分別したごみがあなたの市町でどのように処理・リサイクルされるかご存 知ですか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。
------	--

市町のごみの処理・リサイクルについて、知っている（「知っている」と「少し知っている」の計）で国調査より20.2%低い。市町のごみの処理・リサイクルの状況をもっと県民に周知する必要があると思われる。

問 13		1	2	3	4	5	計
		知っている	少し 知っている	あまり 知らない	まったく 知らない	無回答	
平成22年 度：三重県	回答数	348	817	1,195	747	47	3,154
	回答率	11.0%	25.9%	37.9%	23.7%	1.5%	100.0%
H21:国調査	回答率	7.2%	49.9%	35.1%	6.0%	1.8%	100.0%
三重県-国調査		3.8%	-24.0%	2.8%	17.7%	-0.3%	—
問 13 まとめ		知っている		知らない		無回答	計
平成22年度：三重県		36.9%		61.6%		1.5%	100.0%
H21：国調査		57.1%		41.1%		1.8%	100.0%
三重県-国調査		-20.2%		20.5%		-0.3%	—

表 9-6 問13 回答状況

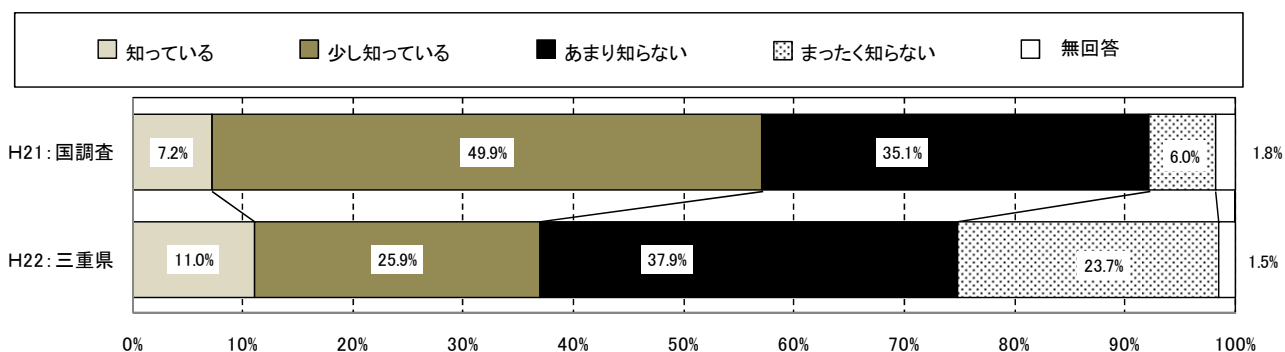


図 9-6 問 13 回答率

9-3 今後の方策に対する意向について

問 21 イベント等において、使い捨てコップの代わりに洗って繰り返し再利用できるプラスチック製のカップ（リユースカップ）を使うことについて、あなたはどのように思いますか？
あなたのお考えに最も近いものを1つ選び番号に○を付けてください。

リユースカップの使用については、「使った方がよい」（選択肢の1と2の計）では、三重県は国調査より14.8%低い。
「使わない方がよい」（選択肢の3と4の計）では、三重県は国調査より19.8%高い。
リユースカップの使用の意識は、国の調査結果とかなりギャップがある。

問 21		1	2	3	4	5	計
		ぜひ使うべきである	できれば使った方がよい	どちらかというって使ってほしくない	使うべきでない	無回答	
平成 22 年度：三重県	回答数	396	1,211	1,113	299	135	3,154
	回答率	12.6%	38.4%	35.3%	9.5%	4.3%	100.0%
H21: 国調査	回答率	19.5%	46.3%	21.3%	3.7%	9.2%	100.0%
三重県-国調査		-6.9%	-7.9%	14.0%	5.8%	-4.9%	—
問 21 まとめ		使った方がよい		使わない方がよい		無回答	計
平成 22 年度：三重県		51.0%		44.8%		4.3%	100.0%
H21：国調査		65.8%		25.0%		9.2%	100.0%
三重県-国調査		-14.8%		19.8%		-4.9%	—

表 9-7 問 21 回答状況

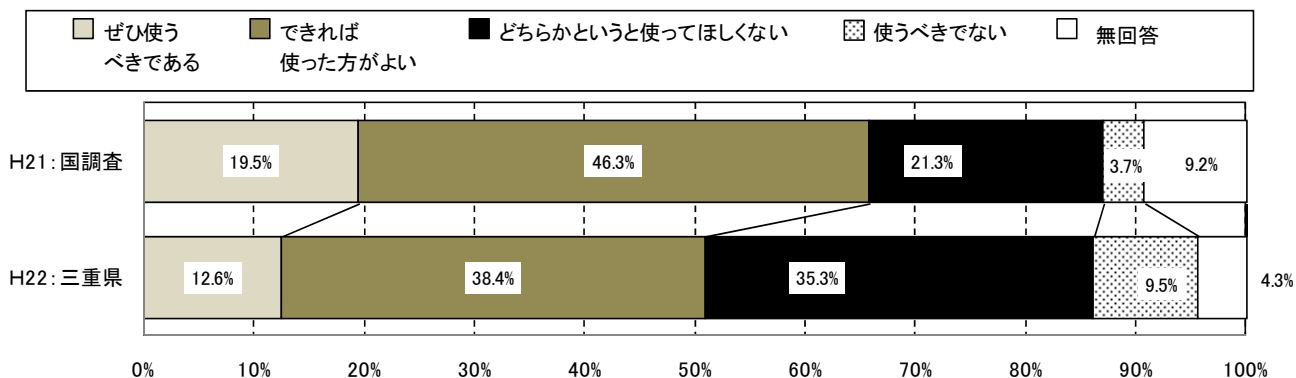


図 9-7 問 21 回答率

問 22 (問 21 で「1 ぜひ使うべきである」「2 できれば使った方がよい」と答えた方のみ)
 「ぜひ使うべきである」又は「できれば使った方がよい」と思う理由はなんですか？
 あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。(複数回答)

リユースカップの「使った方がよい」(選択肢の1と2の計)の理由では、三重県・国調査ともに「ごみの減量化につながるから」が最も多く、次いで「資源の有効利用につながるから(使い捨てコップはもったいない)」が2番目に多い。

番号	選択肢	平成 22 年度：三重県		H21 国調査	三重県-国
		回答数	回答率		
1	資源の有効利用につながるから (使い捨てコップはもったいない)	1,253	78.0%	72.9%	5.1%
2	ごみの減量化につながるから	1,354	84.3%	87.4%	-3.1%
3	利用者にとっては特に大きな負担にならないから	490	30.5%	30.5%	0.0%
4	環境問題への意識向上に役立つから	696	43.3%	44.4%	-1.1%
5	リユースカップで飲む方がおいしく感じられるから	31	1.9%	1.4%	0.5%
6	その他	28	1.7%	0.9%	0.8%
7	特にない	3	0.2%	0.5%	-0.3%
総回答数		3,855	239.9%	238.0%	—
有効回答数		1,607			

表 9-8 問 22 回答状況

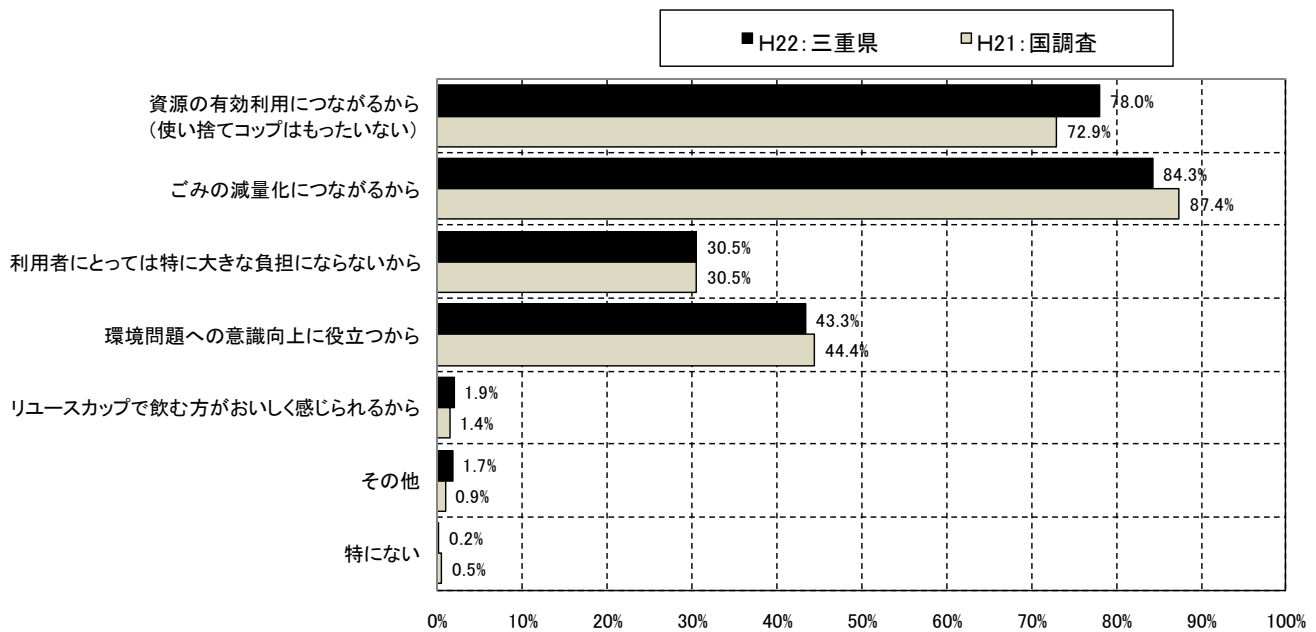


図 9-8 問 22 回答率

問 23	(問 21 で「3 どちらかというと思ってほしくない」「4 使うべきでない」と答えた方のみ)
	「どちらかというと思ってほしくない」又は「使うべきでない」と思う理由はなんで すか? あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。 (複数回答)

リユースカップの「使わない方がよい」(選択肢の3と4の計)の理由では、三重県・国調査ともに「衛生上の不安があるから」が最も多く、次いで「リユースカップの回収率が低い場合や洗浄のことを考えると、使い捨てコップの方が結果的に環境への負荷が小さいと思うから」が2番目に多い。

番号	選択肢	平成 22 年度：三重県		H21 国調査	三重県-国
		回答数	回答率		
1	指定場所への返却など、手間がかかるから	107	7.6%	5.6%	2.0%
2	商品の値上げにつながる可能性があるから	42	3.0%	6.4%	-3.4%
3	衛生上の不安があるから	1,257	89.0%	89.6%	-0.6%
4	リユースカップの回収率が低い場合や洗浄のことを考えると、使い捨てコップの方が結果的に環境への負荷が小さいと思うから	595	42.1%	38.8%	3.3%
5	使い捨てコップで飲む方がおいしく感じられるから	95	6.7%	3.2%	3.5%
6	その他	57	4.0%	2.4%	1.6%
7	特にない	9	0.6%	0.8%	-0.2%
総回答数		2,162			
有効回答数		1,412	153.1%	146.8%	—

表 9-9 問 23 回答状況

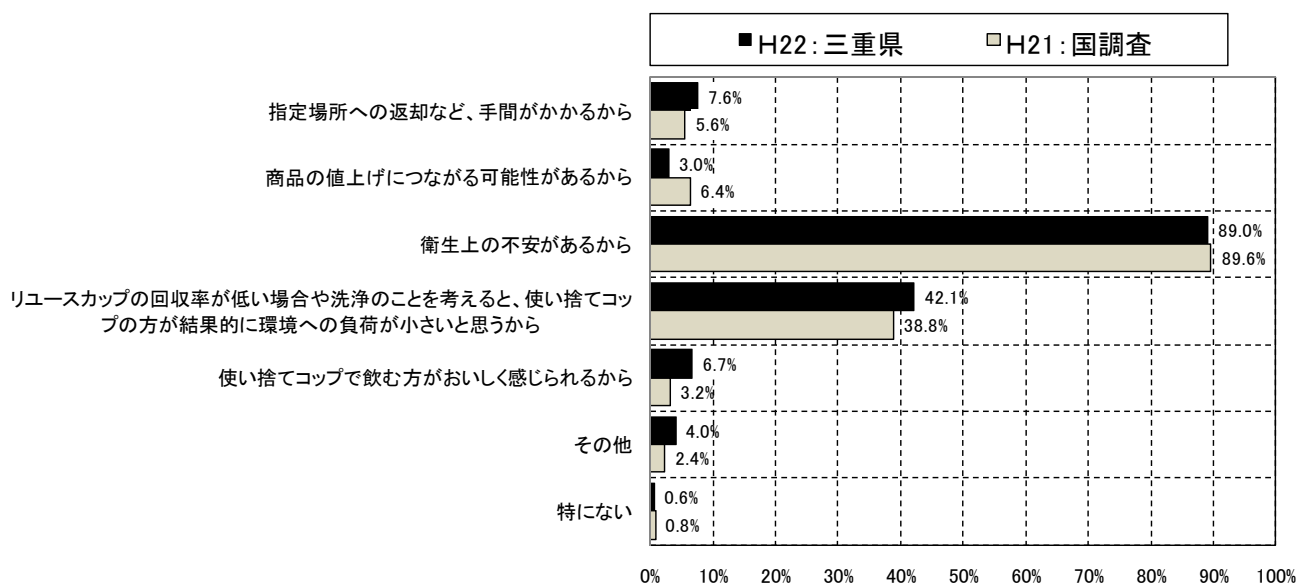


図 9-9 問23 回答率

10 自由記入意見まとめ

有効回答数 3,154 のうち、自由記入意見は 845 件あり、多種多様な意見が寄せられている。分類ごとに主な意見をまとめると、次のとおりである。

①発生・排出抑制に関して（152 件）

i) ごみの有料化について（50 件）

- ・ゴミ袋を高くすれば、（少しだけ）ゴミも減ると思う
- ・ゴミ有料化について、これ以上住民負担が増えるとゴミ減量化どころか不法投棄が増え、町が汚くなるような気がします。今でさえ、ゴミが捨てられているのをよく見かけます。

ii) レジ袋有料化について（3 件）

- ・レジ袋の有料化があたり前の生活に慣れました。どこの市町村も実施すべきだ。
- ・買い物袋について。スーパーでは、一枚 5 円で売っているけれど、量販店では、まだ、タダで袋をくれるけど、すべてこれも有料化した方がいいのではないですか？ダラダラと出しているといつまでたってもレジ袋 0 にはならないと思う。

iii) 暮らしの工夫によるごみ減量について（99 件）

- ・台所のゴミは、有機肥料にして少しの畑の作物の手助けをしております。少しの心がけでゴミの量を少なくできると思います。
- ・生ゴミは、水切りは勿論だが、干してからだと軽くなり量も減ります。余分な買物は止めにしましょう。各自に「ゴミをいかに減少に」と関心を持たせる為に、度々回覧板にて、注意を促してはどうでしょうか

②分別・収集に関して（174 件）

i) ごみの分別について（87 件）

- ・ゴミの分別方法が時々変わるなど、分かりにくい。しっかりと決めて行なってほしい。
- ・分別方式が、複雑で分かりにくく、手間がかかり困っている

ii) ごみ出し・収集について（64 件）

- ・資源ゴミ回収の日数を増やしてほしい。日数が増える事で分別する人も増えると思う。店舗での回収品目も増やして欲しい。
- ・時々ゴミ集積所に無記名のいろいろなゴミが入っていて、当番にあたると分別にとっても困る、なんとかならないかと思う。

iii) ごみ収集後の処理について（23 件）

- ・手間をかけて分別している資源ゴミは、本当にリサイクルされているのでしょうか。とても疑問を感じます

③経済活動に関して（116 件）

i) ごみを出さない製品づくり・商品販売について（93 件）

- ・市民一人一人のゴミの分別も必要だと思うが、販売側の考え方の方が大切だと思う
- ・ゴミ減量のためには、個人の意識を高めると共に、生産者自身にも意識改革が必要だと思います

ii) ごみの回収・処理に関する企業責任について（23 件）

- ・根本的な社会の考え方がまちがっていると思う。ごみがでない様販売側、生産側で考えてもらう。すべて昔の様にばら売り。リユースの容器にして当然です。買い物かごをもって（容器をもって）買えばよい（以前にそういう形で売る）こんな問題が出ていることが社会の根本的思想が狂ってる。
- ・デポジット制度により、販売業者が積極的に廃品を回収するとよい、また、企業は包装等のゴミが発生しない商品販売に取り組むべきである

④意識・モラルに関して（158件）

- i) 一人ひとりの心がけについて（53件）
 - ・会社や家庭で、絶対ゴミは出ます。必要最低限にするには、一人一人の心がけ次第ですが、なかなか難しいと思います。
 - ・一人ひとりの意識の向上させる為に県で啓発活動にとりこんでほしい。
- ii) マナー違反について（60件）
 - ・不法投棄している人々に対し、非常に腹立たしく感じます
- iii) 教育・広報啓発活動について（45件）
 - ・すべてにおいて子供からの教育。指導（きびしい）が重要。コツコツとこの教育指導を継続することが第一と思う。

⑤ごみ対策全般に関して・その他（245件）

- i) 現代の生活スタイルについて（23件）
 - ・安く大量生産が当たり前になっていて、物を大切にできる気持ちがなくなっているような気がします。少々高くても良い製品なら大切に使い、壊れても修理して使うと思います。
- ii) ごみゼロ社会の実現について（65件）
 - ・意見：1、家計への負担はなるべく少なくしてほしい。2、一律の負担を家庭に求める際は事前に十分な説明をしてほしい。3、ごみゼロ社会の実現への取組については、随時進捗状況を情報提供してほしい。
- iii) 住民参加によるごみゼロ運動について（10件）
 - ・住民が参加しやすいものにしなければ続きません。広告は最小限にして節約し、尚且つ、地域住民に知らせる為の広報を行なってほしいです。例えば、ゴミ袋代金の一部を、そうした活動にまわすなど、必ず全住民の目にふれ、参加が簡単にできている実感と意識改革からスタートしてはどうでしょうか
- iv) 行政の姿勢について（34件）
 - ・三重県が、積極的にリサイクルに関する研究を行なうべきと考える
 - ・行政が積極的に市民のゴミに対する意識向上の対策等をして下さい。
- v) 今回のごみゼロアンケートに関するもの（23件）
 - ・アンケートの必要もあろうが、アンケート容量も考慮すべきでは？余りにも多いと・・・。
- vi) その他（90件）
 - ・「ごみゼロ社会」の実現は、日本の国のみではなく、世界の人々が共に参加しなければ。海を渡って流れ着く「ゴミ」、油の流出など、多くの問題がありますが、まず第一歩から頑張ってみます。

11 県民アンケート 調査票

◎ 暮らしの中での関心ごとや考えられる行動についてお聞きします。

問1 次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？
それぞれの考えについて、あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

- (1) 家の中を見回してみると、あまり必要ないものがたくさんあると思う。

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

- (2) ものを捨てる時、つい「もったいない」と思ってしまう。

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

- (3) 商品についている容器や包装材は、もっと少なくていいと思う。

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

- (4) レンタル製品など多くの人が使いまわすものでも、特に抵抗感はない。

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

- (5) 日常生活における一人ひとりの行動が環境に大きな影響を及ぼすと思う。

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

- (6) 環境問題解決のためには、技術開発や研究を一層充実させることが必要だと思う。

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

問2 次のそれぞれの場合についてあなたはどの程度あてはまりますか？
それぞれの場合について、あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

- (1) 特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう。

1	よくあてはまる	2	少しあてはまる
3	あまりあてはまらない	4	まったくあてはまらない

- (2) 買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える。

1	よくあてはまる	2	少しあてはまる
3	あまりあてはまらない	4	まったくあてはまらない

- (3) お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ。

1	よくあてはまる	2	少しあてはまる
3	あまりあてはまらない	4	まったくあてはまらない

(4) 一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する。

1	よくあてはまる	2	少しあてはまる
3	あまりあてはまらない	4	まったくあてはまらない

問3 物を買うときの環境への配慮について、あなたはどのように感じていますか？
最も近いものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	環境保全のために良いことなので、常に意識している
2	習慣になっており、特に意識することではない
3	店頭で環境配慮の情報が明示されていれば考慮する
4	家計の圧迫につながるのを避けたい
5	手間や時間がかかる・面倒だ
6	生活の便利さや快適さを損なう
7	その他（具体的に)
8	わからない

問4 食べ物のごみについてお聞きします。
それぞれについて、あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

(1) 使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか？

1	よくある	2	たまにある
3	あまりない	4	ほとんどない

(2) 食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか？

1	よくある	2	たまにある
3	あまりない	4	ほとんどない

問5 次のうち、だいたい意味がわかる言葉はどれですか？
あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

1	循環型社会	2	低炭素社会
3	ごみゼロ社会	4	リデュース
5	リユース	6	リサイクル
7	3R（さんアール、スリーアール）	8	エコライフ
9	スローライフ	10	容器包装リサイクル法
11	家電リサイクル法	12	食品リサイクル法
13	排出者責任	14	拡大生産者責任
15	マイバッグ	16	レジ袋の有料化
17	ごみの有料化	18	どれも知らない

問 6 あなたは、ごみ問題について、どのようなことを知っていますか？
あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

1	ごみの最終処分場の容量が残り少なくなっている
2	ごみ処理施設は必要だが、自分の近くに建設することには反対している人が多い
3	規制の強化によりダイオキシン類の排出量が大幅に削減されている
4	野山や河原等への不法投棄が大きな社会問題になっている
5	私有地に廃タイヤやパチンコ台などが将来リサイクルするとの名目で、放置されている
6	海岸に漂着したごみなどにより、海岸の景観が損なわれたり、生態系などに影響を及ぼしている
7	稲わらや間伐材など、資源として利用できるものを活かしきっていないものがある
8	テレビやパソコンなどの身近な使用済み家電が海外へ輸出され、その一部が不適正に処理されることによる環境汚染が生じている
9	その他（具体的に _____）
10	特に知っているものはない

問 7 使い捨て商品が身の回りにあふれ、その結果としてごみが大量に捨てられる現代の社会を、あなたはどのように感じていますか？
あなたのお考えに最も近いものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	どちらかという、便利で暮らしやすく、特に疑問は感じていない
2	どちらかという、将来のことを考えると「このままでいいのか」という疑問を感じる
3	よくわからない

問 8 ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきだと思いますか？
あなたのお考えに最も近いものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

◎ **現在行っているごみ減量やリサイクルの取組についてお聞きします。**

問 9 ごみを減らす取組の中でどれが大切だと思いますか？
それぞれの枠内に番号を1つずつ記入してください。

1	ごみそのものの発生を減らすこと
2	まだ使える製品や容器などを、くり返し使うこと
3	ごみではなく資源として分別し、再び原材料として有効利用すること

設問	番号を記入
最も大切だと思う	
次に大切だと思う	

問 10 あなたのご家庭では、次のうち、資源ごみとして市町の収集に出している品目はどれですか？
あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

1	新聞	2	雑誌
3	牛乳パック	4	古布や衣類
5	食品トレイ	6	ペットボトル
7	アルミ缶	8	スチール缶
9	空きびん	10	蛍光管
11	電池類	12	あてはまるものなし

問 11 あなたのご家庭では、次のうち、お店に持って行って回収してもらっている品目はどれですか？
あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

1	新聞	2	雑誌
3	牛乳パック	4	古布や衣類
5	食品トレイ	6	ペットボトル
7	アルミ缶	8	スチール缶
9	空きびん	10	蛍光管
11	電池類	12	あてはまるものなし

問 12 あなたのご家庭では、次のうち、地域で行われる廃品回収（集団回収）に出している品目はどれですか？
あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

1	新聞	2	雑誌
3	牛乳パック	4	古布や衣類
5	食品トレイ	6	ペットボトル
7	アルミ缶	8	スチール缶
9	空きびん	10	蛍光管
11	電池類	12	あてはまるものなし

問 13 あなたは、分別したごみがあなただの市町でどのように処理・リサイクルされるかご存知ですか？
あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	知っている	2	少し知っている
3	あまり知らない	4	まったく知らない

問 14 ごみを分別するのに、あなたは1日あたりおよそどのくらいの時間をかけていると思いますか？
あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	1時間以上	2	30分～1時間くらい
3	10分～30分くらい	4	数分程度
5	ほとんどかけていない		

問 15 ごみを資源としてより有効に利用するために、資源やごみの分別数が増えることなどについてどう思われますか？
あなたのお考えに最も近いものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	賛成	2	どちらかという賛成
3	どちらかという反対	4	反対

問 16 次のうち、あなたのご家庭でやっていることはどれですか？
 あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

1	台所ごみの水切りをしている
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている
3	台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している
4	市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している
5	台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている
6	生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている
7	紙くずなどを庭や畑で焼却している
8	買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない
9	詰め替え容器を使用した商品を買っている
10	ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う
11	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んで
12	包装を断ったり、簡易包装を依頼している
13	食品は買いすぎないように注意している
14	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにしている
15	食事を食べ残さないようにしている
16	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている
17	資源とごみの分別を徹底している
18	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している
19	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている
20	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている
21	マイ箸を携帯している
22	携帯電話の店頭回収に協力している
23	その他（具体的に
24	これらいずれもやっていない

問 17 あなたのご家庭では、ごみを出すにあたり、どのような問題がありますか？
 あてはまるものを 3 つまで選び、番号に○を付けてください。

1	分別ルールが複雑でわかりにくい	2	市町ごとにルールが異なり覚えにくい
3	次の収集日までごみを保管しておく場所がない	4	収集日時が限られている
5	ごみ集積所（ステーション）まで遠い	6	洗ったり束ねたり手間がかかる
7	その他（具体的に)
8	特に問題はない		

◎ 今後の方策に対する意向についてお聞きします。

問 18 今後あなたが、暮らしの工夫によって「家庭から出る量を減らせる」と思えるものはどれですか？
 あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

1	調理くず	2	食べ残し
3	賞味期限切れ食品	4	紙容器、紙袋や包装紙
5	新聞	6	チラシ
7	雑誌	8	段ボール
9	紙パック	10	古着類
11	ペットボトル	12	レジ袋
13	プラスチック容器	14	びん
15	缶	16	粗大ごみ
17	その他（具体的に)

問 19 ごみに関する情報を、あなたはどのような方法で手に入れていますか？

あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

1	市町の広報や分別マニュアルを通じて	2	市町村のホームページを通じて
3	公共施設などでのポスターやチラシを通じて	4	地域の回覧板や掲示物を通じて
5	防災無線や広報スピーカーで	6	住民説明会を通じて
7	新聞などマスコミを通じて	8	企業の広告、広報誌、パンフレット、環境報告書で
9	家族や友人・知人を通じて	10	子供（学校などの情報）を通じて
11	書籍で	12	スーパーマーケットなど地域の店舗や流通業者を通じて
13	エコ製品やサービスを展示するイベントを通じて	14	PTA・自治会などの地域の活動を通じて
15	勤務先・取引先など仕事を通じて	16	環境保護団体・環境 NGO の広報誌やパンフレットを通じて
17	生協活動・ボランティア活動など社会活動を通じて	18	シンポジウムや講演会、市民大学などで
19	その他（具体的に _____ ）		
20	あてはまるものなし		

問 20 今後、ごみに関してどのような情報がほしいですか？

あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

1	わかりやすい分別方法	2	ごみ処理コスト
3	ごみの減量方法	4	地域の集団回収（資源回収）
5	生ごみ処理機等の購入費助成制度	6	ごみ減量・リサイクル推進活動団体の紹介
7	ごみ減量・リサイクルに関する講座・セミナー	8	ごみ減量によるCO ₂ 削減量を表示するなど、地球温暖化防止効果の見える化
9	市町のごみの量やリサイクル率などのごみ処理状況		
10	その他（具体的に _____ ）		
11	あてはまるものなし		

問 21 イベント等において、使い捨てコップの代わりに洗って繰り返し再利用できるプラスチック製のカップ（リユースカップ）を使うことについて、あなたはどう思いますか？

あなたのお考えに最も近いものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	ぜひ使うべきである⇒問 22 へ	2	できれば使った方がよい⇒問 22 へ
3	どちらかというと思ってほしくない⇒問 23 へ	4	使うべきでない⇒問 23 へ

問 22 （問 21 で「1 ぜひ使うべきである」「2 できれば使った方がよい」と答えた方のみ）

「ぜひ使うべきである」又は「できれば使った方がよい」と思う理由はなんですか？

あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

1	資源の有効利用につながるから（使い捨てコップはもったいない）	2	ごみの減量化につながるから
3	利用者にとっては特に大きな負担にならないから	4	環境問題への意識向上に役立つから
5	リユースカップで飲む方がおいしく感じられるから		
6	その他（具体的に _____ ）		
7	特になし		

問 23 (問 21 で「3 どちらかというと思ってほしくない」「4 使うべきでない」と答えた方のみ)
 「どちらかというと思ってほしくない」又は「使うべきでない」と思う理由はなんですか？
あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

1	指定場所への返却など、手間がかかるから	2	商品の値上げにつながる可能性があるから
3	衛生上の不安があるから	4	リユースカップの回収率が低い場合や洗浄のことを考えると、使い捨てコップの方が結果的に環境への負荷が小さいと思うから
5	使い捨てコップで飲む方がおいしく感じられるから		
6	その他（具体的に)		
7	特になし		

問 24 家庭から出されるごみを市町が処理するのに、どれくらい費用がかかっているかをご存知ですか？
あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	知っている	2	少し知っている
3	あまり知らない	4	まったく知らない

問 25 増え続けるごみを減らすため、ごみ（可燃ごみ）の排出に料金を課す市町が増えていきます。
 税金を使ってごみ処理を行うことについてどう思いますか？
あなたのお考えに最も近いものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	ごみ処理は公共サービスなので、税金で処理するのがよい
2	最低限のごみ処理は税金で行い、それ以上のごみ処理は量に応じ出す人が負担するのがよい
3	ごみ処理費用はごみの量に応じて出す人が負担する仕組みとすることで、これまでごみ処理に使っていた税金を福祉や教育などにまわすのがよい
4	よくわからない
5	その他（具体的に)

問 26 出したごみの量に応じて、多く出した者が多く負担するごみの有料化についてどう思いますか？
あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	賛成	2	どちらかという賛成
3	どちらかという反対	4	反対

問 27 ごみ有料化を検討する場合、どのようなことを重視すべきだと思いますか？
特に重要と思われるものを3つまで選び、番号に○を付けてください。

1	ごみを多く出す人ほどたくさん支払う公平なしくみとすること
2	家計への負担が少ない料金とすること
3	ごみ減量に効果があるよう、ごみを出すたびにある程度の負担が感じられる料金とすること
4	一人ひとりが取り組めるごみ減量メニューを配布すること
5	有料化によって得られた成果をきちんと説明すること
6	ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること
7	ルール違反（不法投棄など）を許さないこと
8	有料化だけでなく、他のごみを減らすための方法を併せて検討すること
9	有料化により減ったごみ処理分の税金を、他の用途（福祉や教育等）に使うことを検討すること
10	その他（具体的に)

問 28 ごみ処理を有料化した市町では、料金を「指定のごみ袋」を購入するという形で支払うことが多く、「指定のごみ袋」は普通のごみ袋に比べて値段が高くなっています。有料化する場合、その料金としていくらまでなら受け入れられますか？

あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	ごみ袋大（45リットル）が1袋10円	2	ごみ袋大が1袋50円程度
3	ごみ袋大が1袋100円程度	4	ごみ袋大が1袋200円程度
5	それ以上		

問 29 あなたの市町でごみの有料化が実施された場合、どのようにごみを減らしますか？既に実施している市町の方については、どのように減らしていますか？

あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

1	台所ごみの水切りをする
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋める
3	台所ごみを堆肥化処理する
4	紙くすなど少量のごみを庭や畑で焼却する
5	買い物袋（マイバッグ）等を持参しレジ袋をもらわない
6	詰め替え容器を使用した商品を買う
7	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選ぶ
8	包装を断ったり、簡易包装を依頼する
9	食品は買いすぎないように注意する
10	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにする
11	食事を食べ残さないようにする
12	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりする
13	資源とごみの分別をより徹底する
14	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用する
15	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにする
16	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにする
17	マイ箸を携帯する
18	その他（具体的に)
19	これらいずれもしない

問 30 あなたの家の近くに中古の家電製品や家具を扱うお店（リサイクルショップ）ができたとします。この店がどんな店だったら、あなたは足を運んでみようと思いますか？

あてはまるものを3つまで選び、番号に○を付けてください。

1	店舗がきれい、明るい	2	取り扱っている商品がきれい
3	商品の品ぞろえがある	4	商品が探しやすい
5	品質など信頼できる	6	販売金額は安く、買取金額は高め
7	その他（具体的に)		
8	どんな店でも足は運ばないと思う		

問 31 あなたのご家庭から出る可燃ごみに限って言えば、努力によりどれだけ減らせると思いますか？

あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	10%未満	2	10%～30%
3	30%～50%	4	50%～80%
5	80%以上	6	これ以上は減らせない

◎ 「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画についてお聞きします。

問 32 ごみ処理のあり方や具体的なごみ減量化施策について定めた市町の「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画についてあなたの意見をお聞きします。
それぞれの意見について、あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

(1) 計画づくりには、できるだけ多くの住民が参画することが必要だと思いますか？

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

(2) 計画づくりに住民が参画すれば、住民の要望や意見を反映できると思いますか？

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

(3) 計画は市町が主体的につくる方がよいと思いますか？

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

(4) あなたが計画づくりに参画することで、様々な情報を入手できると思いますか？

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

(5) あなたが計画づくりに参画すると、時間や手間がかかり大変だと思いますか？

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

(6) 今後、このような計画づくりに住民参画の機会があった場合、あなたは参画したいですか？

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

◎ 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」についてお聞きします。

問 33 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」をご存じですか？
あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	知っている	2	名前は聞いたことがある
3	知らない		



問 34 この三重県のごみゼロキャラクター「ゼロ吉」をご存じですか？
あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

三重県のごみゼロキャラクター

1	知っている	2	見たことはあるが、三重県のごみゼロキャラクターであることは知らなかった	3	知らない
---	-------	---	-------------------------------------	---	------

問 35 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」に関する県民参画の取組に参加したいと思いますか？
あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

1	地域ごみゼロ交流会に参加したい
2	ごみゼロに関する講演会やセミナーに参加したい
3	ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい
4	ごみゼロメールマガジンを読みたい
5	ごみゼロの取組をまとめた「ごみゼロレポート」を読みたい
6	アンケートなどに協力したい
7	自分の意見をFAXなどで県に寄せたい
8	ごみゼロプランの進捗状況などを評価検証する「ごみゼロプラン推進委員会」を傍聴したい
9	いずれにも参加したいとは思わない
10	その他（具体的に)

◎ あなた自身や世帯についてお聞きします。

問 36 あなたの年齢は？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	20代以下	2	30代	3	40代
4	50代	5	60代	6	70代以上

問 37 あなたの性別は？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	女性	2	男性
---	----	---	----

問 38 あなたのお仕事は？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	会社員・公務員	2	パート・アルバイト
3	農林水産業	4	自営業
5	家事・家事手伝い	6	学生
7	無職	8	その他（具体的に)

問 39 いっしょに住んでいる家族の人数は？
あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	1人	2	2人	3	3人
4	4人	5	5人以上		

問 40 お住まいの市町は？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	津市	2	四日市市	3	伊勢市
4	松阪市	5	桑名市	6	鈴鹿市
7	名張市	8	尾鷲市	9	鳥羽市
10	熊野市	11	志摩市	12	伊賀市
13	東員町	14	菟野町	15	紀宝町

問 41 お住まいの形態は？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	戸建住宅	2	ワンルームのマンションや アパート	3	学校や会社の寮
4	その他のマンションや アパート	5	その他（具体的に)		

問 42 お住まいの周辺の様子は？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	住宅地	2	住宅とお店や工場などが混在している地域
3	住宅が点在する農山漁村	4	その他（具体的に)

問 43 次のうち、あなたの家庭にあてはまることはありますか？
あてはまるものすべてを選び、番号に〇を付けてください。

1	夫婦共働き	2	就学前の乳幼児がいる	3	小中学生がいる
4	家族は全員60歳以上	5	いずれにもあてはまらない		

問 44 あなたの住んでいる地域では、自治会や子供会などの地域活動は盛んですか？
あてはまるものを1つ選び番号に〇を付けてください。

1	とても盛ん	2	比較的盛ん
3	あまり盛んでない	4	まったく盛んでない

問 45 あなた自身は家庭でゴミの分別にどうかかわっていますか？
あてはまるものを1つ選び番号に〇を付けてください。

1	家族の中心になって熱心に分別している
2	家族の中心ではないがゴミは分別している
3	ゴミの分別にはあまりかかわらない

◎ ゴミゼロ社会の実現に向けてのご意見やご要望、アイデア等があれば、自由にご記入ください。

質問は以上でございます。お忙しいところ調査にご協力いただきましてありがとうございました。

Ⅱ. 事業所アンケート結果

1 調査の概要

1-1 調査の目的

この調査は、ごみに対する事業者の取組や考え方を把握することにより「ごみゼロ社会実現プラン」の改定に必要な基礎資料を得るため、実施する。

1-2 調査対象

業種等を考慮して選んだ県内に所在する 2,000 件の事業所を無作為抽出し調査対象とした。

1-3 調査方法

調査票を郵送、回収した。回収期限前にはがきによる督促を行った。

1-4 調査期間

平成 22 年5 月31 日に調査票を発送し、6 月21 日を回答期限として回収した。なお、督促により回答期限後も回答があったため、8 月5 日を最終回収期限として有効回答に含めた。

1-5 抽出状況

従業員ランク	従業員数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
		農林 漁業	建設業	製造業	電気 ガス 水道業	運輸 情報 通信業	卸売 小売業 宿泊業 飲食店	金融 保険 不動産 業	サービ ス業	その他	
1	1~9人	29	256	190	20	44	416	128	416	0	1,499
2	10~ 29人	16	37	70	11	31	71	18	55	0	309
3	30~ 99人	5	7	28	12	21	10	3	26	0	112
4	100人 以上	0	0	12	7	4	3	1	3	0	30
合計 (抽出件数)		50	300	300	50	100	500	150	500	50	2,000
合計 (抽出率)		2.5%	15%	15%	2.5%	5%	25%	7.5%	25%	2.5%	100%
抽出母数		364	9,295	8,659	56	1,981	32,317	5,001	20,626	0	78,299
抽出率 (対抽出母数)		13.7%	3.2%	3.5%	89.3%	5.0%	1.5%	3.0%	2.4%	0	2.6%

表 1-1 抽出状況

1-6 回収状況

番号	業種名	発送数	宛先不明	有効発送数	有効回収数	有効回収率
1	農林漁業	50	1	49	30	61.2%
2	建設業	300	18	282	67	23.8%
3	製造業	300	11	289	77	26.6%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	50	2	48	40	83.3%
5	運輸・情報通信業	100	7	93	26	28.0%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	500	40	460	94	20.4%
7	金融・保険・不動産業	150	13	137	33	24.1%
8	サービス業	500	22	478	142	29.7%
9	その他	50	1	49	33	67.3%
10	業種名未記入分	—	—	—	15	—
回答辞退及び白紙回答		—	21	—	—	—
全体		2,000	136	1,864	557	29.9%

※「その他」は、公務を含む。「発送数」は、公務のみ

表 1-2 業種別回収状況

1-7 平成 16 年度との比較

1-7-1 回収状況 業種別平成 16 年度との比較

番号	業種名	平成 16 年度	平成 22 年度	平成 16 年度との差
1	農林漁業	57.5%	61.2%	3.7%
2	建設業	39.5%	23.8%	-15.7%
3	製造業	43.2%	26.6%	-16.6%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	37.5%	83.3%	45.8%
5	運輸・情報通信業	35.3%	28.0%	-7.3%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	20.5%	20.4%	-0.1%
7	金融・保険・不動産業	41.9%	24.1%	-17.8%
8	サービス業	44.0%	29.7%	-14.3%
9	その他	67.5%	67.3%	-0.2%
全体		40.7%	29.9%	-10.8%

表 1-3 回収状況：業種別平成 16 年度との比較

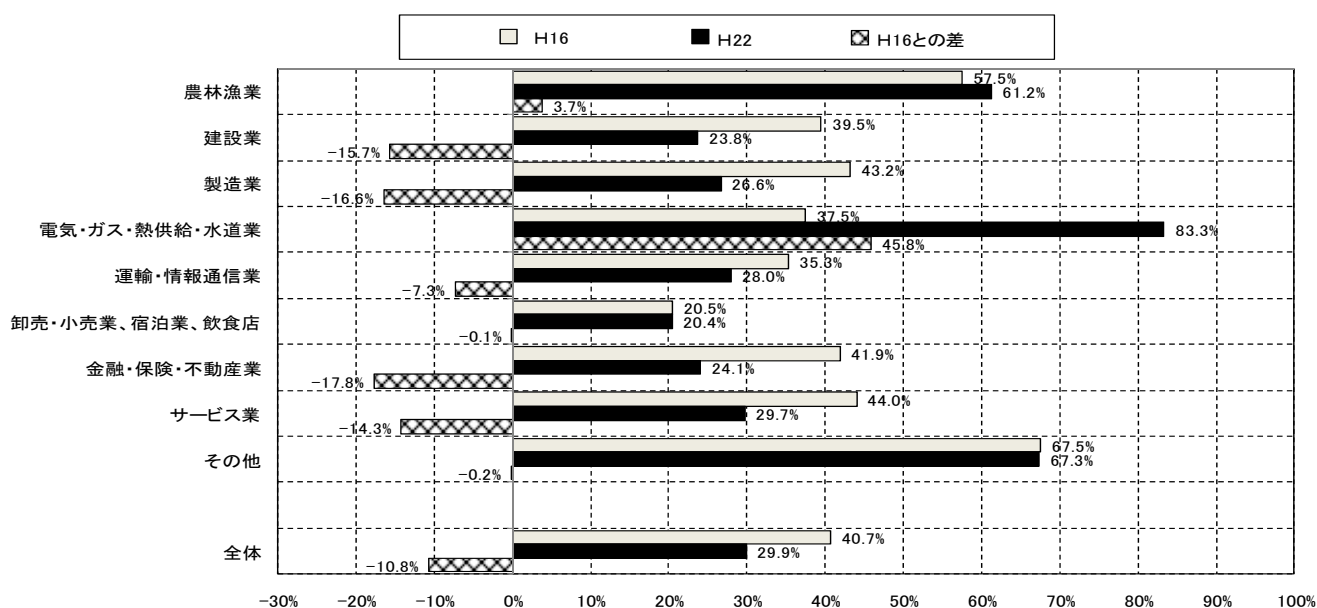


図 1-1 回収状況：業種別平成 16 年度との比較

平成 22 年度調査の回収率は平成 16 年度より低い。

1-7-2 業種別従業員規模別回答状況

H22	従業員規模	1~9人	10~29人	30~99人	100人以上	無回答	計
業種	農林漁業	21 (3.8%)	8 (1.4%)	-	-	1 (0.2%)	30 (5.4%)
	建設業	52 (9.3%)	13 (2.3%)	1 (0.2%)	-	1 (0.2%)	67 (12.0%)
	製造業	44 (7.9%)	11 (2.0%)	15 (2.7)	6 (1.1%)	1 (0.2%)	77 (13.8%)
	電気・ガス・熱供給・水道業	17 (3.0%)	7 (1.3%)	8 (1.4%)	8 (1.4%)	-	40 (7.2%)
	運輸・情報通信業	8 (1.4%)	11 (2.0%)	5 (0.9%)	2 (0.4%)	-	26 (4.7%)
	卸売・小売業、飲食店、宿泊業	73 (13.1%)	9 (1.6%)	9 (1.6%)	2 (0.4%)	1 (0.2%)	94 (16.9%)
	金融・保険・不動産業	20 (3.6%)	8 (1.4%)	2 (0.4%)	1 (0.2%)	2 (0.4%)	33 (5.9%)
	サービス業	103 (18.5%)	21 (3.8%)	10 (1.8%)	5 (0.9%)	3 (0.5%)	142 (25.5%)
	その他	20 (3.6%)	7 (1.3%)	6 (1.1%)	-	-	33 (5.9%)
	無回答	3 (0.5%)	2 (0.4%)	-	-	10 (1.8%)	15 (2.7)
	計	361 (64.8%)	97 (17.4%)	56 (10.0%)	24 (4.3%)	19 (3.4%)	557 (100%)

表 1-4 業種別従業員規模別回答状況（平成 22 年度）

H16	従業員規模	1~9人	10~29人	30~99人	100人以上	無回答	計
業種	農林漁業	19 (1.8%)	11 (1.1%)	8 (0.8%)	8 (0.8%)	-	46 (4.4%)
	建設業	31 (3%)	33 (3.2%)	12 (1.2%)	3 (0.3%)	-	79 (7.6%)
	製造業	28 (2.7%)	33 (3.2%)	48 (4.6%)	149 (14.3%)	1 (0.1%)	259 (24.9%)
	電気・ガス・熱供給・水道業	9 (0.9%)	8 (0.8%)	6 (0.6%)	7 (0.7%)	-	30 (2.9%)
	運輸・情報通信業	7 (0.7%)	13 (1.3%)	22 (2.1%)	11 (1.1%)	-	53 (5.1%)
	卸売・小売業、飲食店、宿泊業	66 (6.4%)	21 (2%)	29 (2.8%)	18 (1.7%)	-	134 (12.9%)
	金融・保険・不動産業	35 (3.4%)	14 (1.3%)	11 (1.1%)	7 (0.7%)	-	67 (6.4%)
	サービス業	73 (7%)	65 (6.3%)	61 (5.9%)	52 (5%)	2 (0.2%)	253 (24.4%)
	その他	35 (3.4%)	12 (1.2%)	3 (0.3%)	4 (0.4%)	-	54 (5.2%)
	無回答	8 (0.8%)	4 (0.4%)	3 (0.3%)	1 (0.1%)	48 (4.6%)	64 (6.2%)
	計	311 (29.9%)	214 (20.6%)	203 (19.5%)	260 (25.0%)	51 (4.9%)	1039 (100%)

表 1-5 業種別従業員規模別回答状況（平成 16 年度）

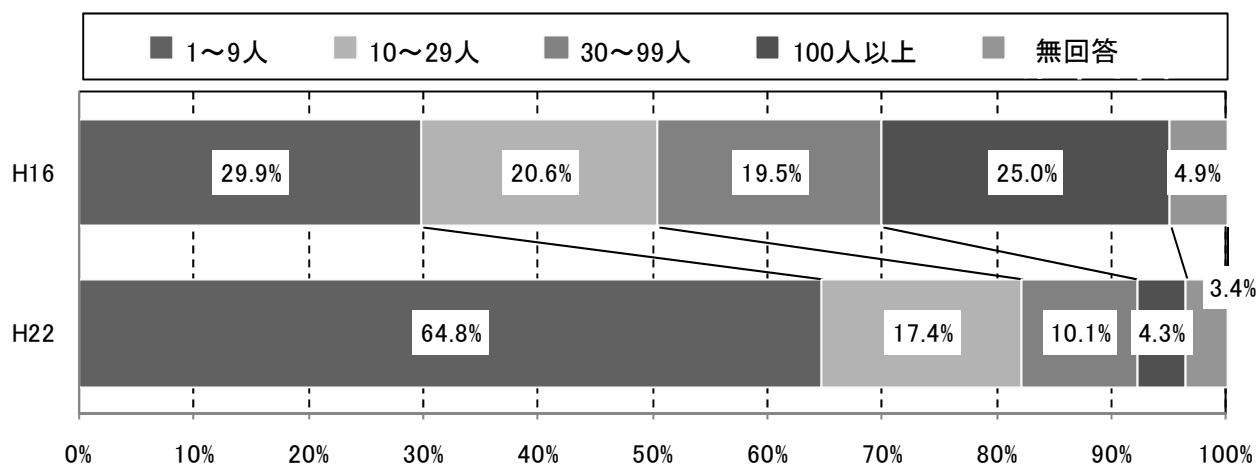


図 1-2 従業員規模別回答数率比較

従業員規模別の回答状況は、小規模事業所（1～9人）では平成 22 年度が 64.8%に対し、平成 16 年度は 29.9%である。大規模事業所（100 人以上）では平成 22 年度が 4.3%に対し、平成 16 年度は 25.0%となっている。平成 22 年度の回答事業所は小規模事業所の比率が高くなっている。

1-8 分析結果の見方

- ① 各比率は、各設問の回答数を有効回答数の 100 分率で示している。比率は、小数点第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならないことがある。
- ② 複数回答の場合の各比率は、その項目を選んだ人が有効回答数の何%に当たるかを算出している。従って各項目の比率の合計は 100%を超える場合がある。
- ③ ある設問の指定された回答を選んだ人を対象回答者としている場合がある。このような場合、指定回答者以外の回答は無効回答としている。

2 調査結果（属性）

2-1 業種

問 23 あなたの事業所はどのような業種にあてはまりますか？
あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

業種別では「サービス業」が25.5%で最も高く、「卸売、小売業、宿泊業、飲食店」が16.9%、「製造業」が13.8%、「建設業」が12.0%と続いている。他の業種は10%未満である。

問 23	業種名	回答数	回答率
1	農林漁業	30	5.4%
2	建設業	67	12.0%
3	製造業	77	13.8%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	40	7.2%
5	運輸・情報通信業	26	4.7%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	94	16.9%
7	金融・保険・不動産業	33	5.9%
8	サービス業	142	25.5%
9	その他	33	5.9%
99	無回答	15	2.7%
	計	557	100%

表 2-1 業種別回答状況

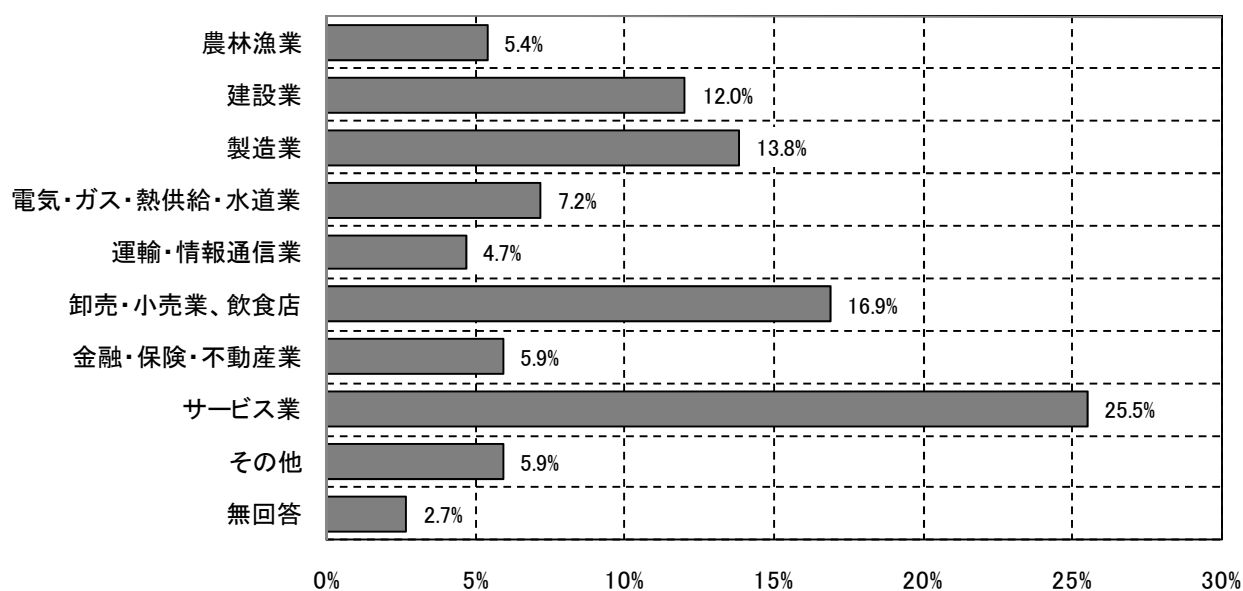


図 2-1 業種別回答率

2-2 建物形態

問 24	あなたの事業所はどのような建物形態ですか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。
------	--

「1社占有」が62.5%を占めている。次いで「自宅兼用」が25.9%となっている。

問 24	建物形態	回答数	回答率
1	1社占有	348	62.5%
2	テナントやマンション	37	6.6%
3	自宅兼用	144	25.9%
4	その他	13	2.3%
99	無回答	15	2.7%
計		557	100.0%

表 2-2 建物形態別回答状況

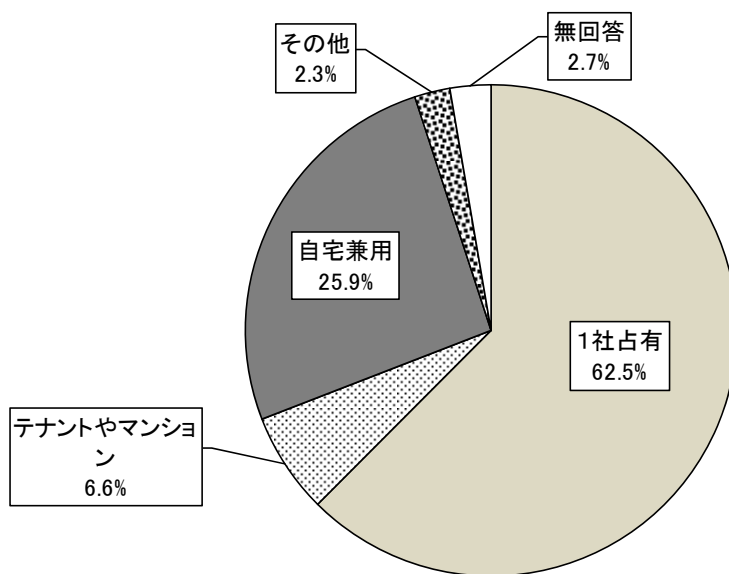


図 2-2 建物形態別回答率

2-3 従業員数

問 25	あなたの事業所の従業員は何名ですか？ あてはまるもの 1 つ選び、番号に○を付けてください。
------	---

「1～4 人」で約半分を占めており、一方 100 人以上は 5%弱となっている。
今回の調査では、小規模事業所の回答割合が高い結果となっている。

問 25	従業員数	回答数	回答率
1	1～4 人	277	49.7%
2	5～9 人	84	15.1%
3	10～19 人	63	11.3%
4	20～29 人	34	6.1%
5	30～49 人	25	4.5%
6	50～59 人	31	5.6%
7	100～299 人	19	3.4%
8	300 人以上	5	0.9%
99	無回答	19	3.4%
計		557	100.0%

表 2-3 従業員数別回答状況

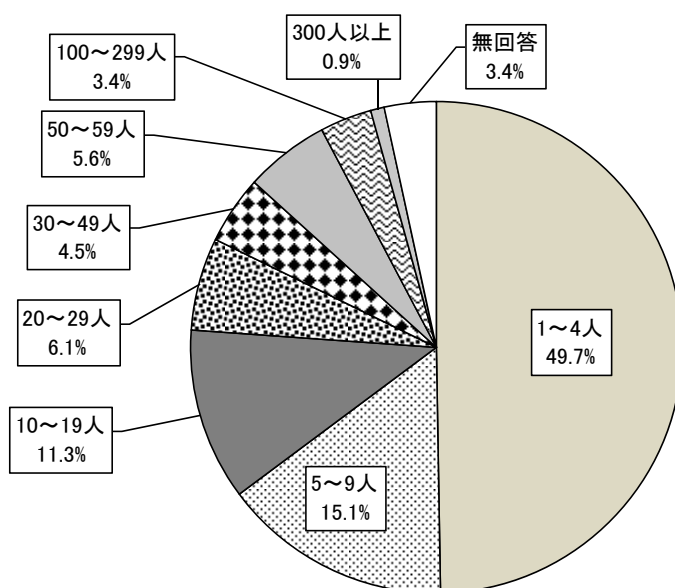


図 2-3 従業員数別回答率

2-4 所在地

問 26 あなたの事業所の所在地はどちらですか？
 あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

事業所の所在地は、津市：14.4%、四日市市：13.8%、松阪市：11.1%である。他の市町は8%未満となっている。
 地域別では、北勢、南勢志摩地域が30%台となっている。

問 26	市町名	回答数	回答率
1	津市	80	14.4%
2	四日市市	77	13.8%
3	伊勢市	44	7.9%
4	松阪市	62	11.1%
5	桑名市	33	5.9%
6	いなべ市	13	2.3%
7	鈴鹿市	34	6.1%
8	亀山市	12	2.2%
9	伊賀市	37	6.6%
10	名張市	18	3.2%
11	尾鷲市	11	2.0%
12	鳥羽市	11	2.0%
13	熊野市	8	1.4%
14	志摩市	22	3.9%
15	菰野町	9	1.6%
16	東員町	6	1.1%
17	木曾岬町	5	0.9%
18	朝日町	2	0.4%
19	川越町	9	1.6%
20	明和町	2	0.4%
21	多気町	4	0.7%
22	大台町	4	0.7%
23	玉城町	7	1.3%
24	度会町	2	0.4%
25	大紀町	4	0.7%
26	南伊勢町	5	0.9%
27	紀北町	13	2.3%
28	御浜町	9	1.6%
29	紀宝町	3	0.5%
99	無回答	11	2.0%
	計	557	100.0%

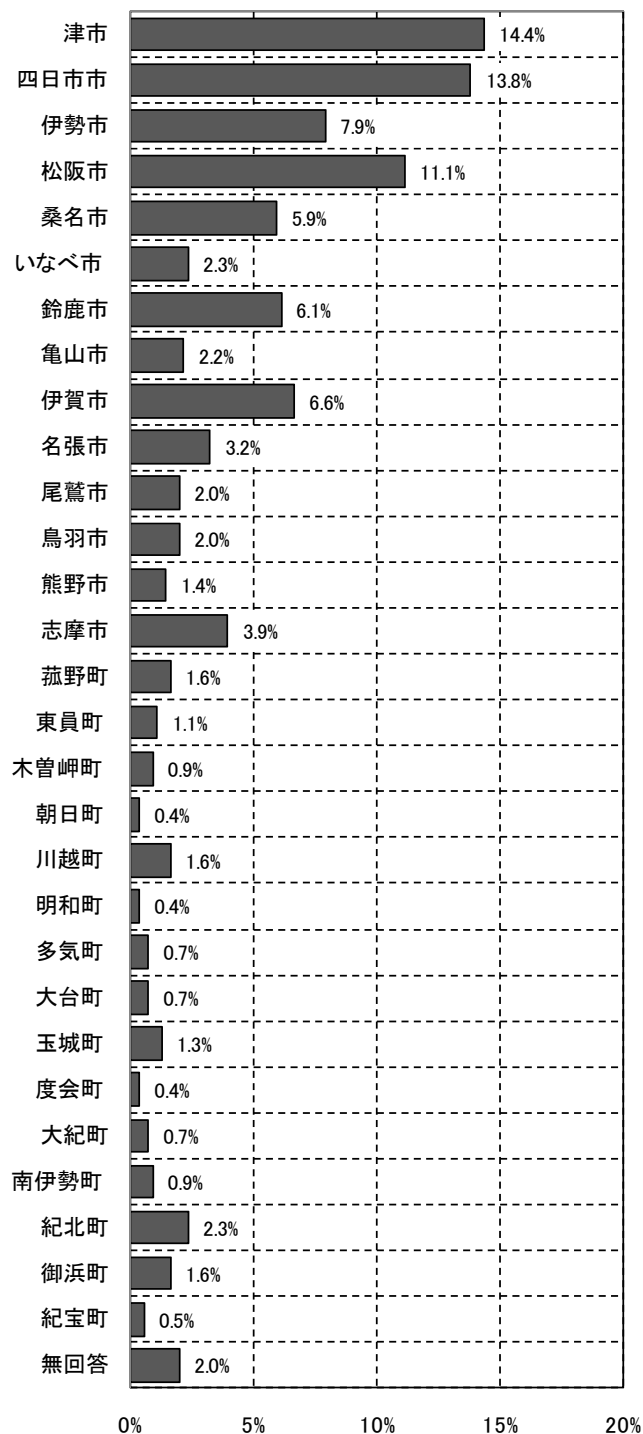


表 2-4 市町別回答状況

図 2-4 市町別回答率

番号	地域名	回答数	回答率
1	北勢	200	35.9%
2	中勢	80	14.4%
3	南勢志摩	167	30.0%
4	伊賀	55	9.9%
5	東紀州	44	7.9%
6	無回答	11	2.0%
計		557	100.0%

表 2-5 地域別回答状況

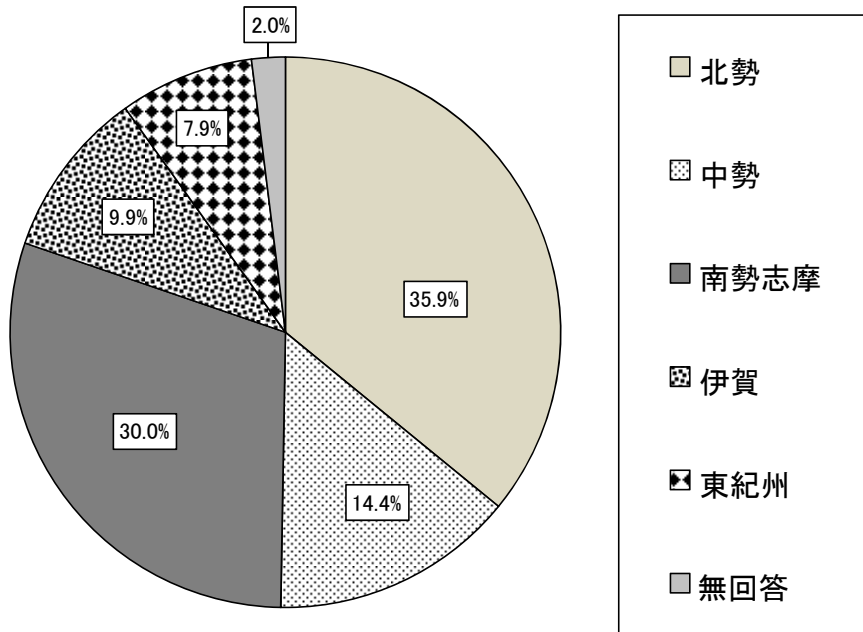


図 2-5 地域別回答率

3 調査結果（詳細）

調査結果の算定は次のように行っている。

- 1) 単純集計：総回答数 577 件について無回答を含め算定している。
- 2) クロス集計：クロス項目（業種別、従業員数別）の無回答は、削除して算定している。
したがって、クロス集計の全体の数値は単純集計の数値と異なっている。

3-1 事業系ごみ（事業系一般廃棄物）の減量やリサイクルの取組

問 1	あなたの事業所ではごみの減量化に取り組んでいますか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。
-----	---

減量化の取組は、「かなり」、「ある程度」をあわせて 68%を占めている。
業種別では、「運輸・情報通信業」が 80.8%と最も高く、次いで「電気・ガス・熱供給・水道業」が 77.5%となっている。「農林漁業」は、43.3%で最も低い。
規模別（従業員数別）では、規模が大きくなるにつれて割合が高くなっている。

1) 単純集計

問 1	減量化への取組	回答数	回答率
1	かなり取り組んでいる	87	15.6%
2	ある程度取り組んでいる	292	52.4%
3	あまり取り組んでいない	143	25.7%
4	全く取り組んでいない	21	3.8%
99	無回答	14	2.5%
計		557	100%

表 3-1 ごみ減量化の取組 回答状況

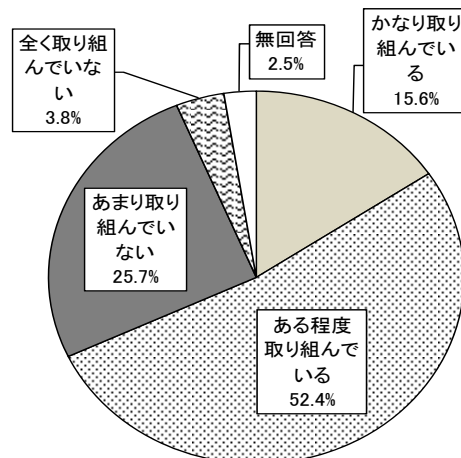


図 3-1 ごみ減量化の取組 回答率

2) -① 業種別クロス集計

問1 業種vs取組 (回答数)		1	2	1+2	3	4	3+4	99	計
		かなり 取り組んでいる	ある程度 取り組んでいる		あまり 取り組んでいない	全く 取り組んでいない		無回答	
1	農林漁業	1	12	13	13	1	14	3	30
2	建設業	4	44	48	16	2	18	1	67
3	製造業	12	45	57	17	2	19	1	77
4	電気・ガス・熱供給・水道業	21	10	31	8	1	9	0	40
5	運輸・情報通信業	3	18	21	5	0	5	0	26
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	11	52	63	28	1	29	2	94
7	金融・保険・不動産業	3	17	20	7	6	13	0	33
8	サービス業	22	70	92	39	7	46	4	142
9	その他	8	15	23	7	1	8	2	33
計		85	283	368	140	21	161	13	542
問1 業種vs取組 (回答率)		1	2	1+2	3	4	3+4	99	計
		かなり 取り組んでいる	ある程度 取り組んでいる		あまり 取り組んでいない	全く 取り組んでいない		無回答	
1	農林漁業	3.3%	40.0%	43.3%	43.3%	3.3%	46.7%	10.0%	100.0%
2	建設業	6.0%	65.7%	71.6%	23.9%	3.0%	26.9%	1.5%	100.0%
3	製造業	15.6%	58.4%	74.0%	22.1%	2.6%	24.7%	1.3%	100.0%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	52.5%	25.0%	77.5%	20.0%	2.5%	22.5%	0.0%	100.0%
5	運輸・情報通信業	11.5%	69.2%	80.8%	19.2%	0.0%	19.2%	0.0%	100.0%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	11.7%	55.3%	67.0%	29.8%	1.1%	30.9%	2.1%	100.0%
7	金融・保険・不動産業	9.1%	51.5%	60.6%	21.2%	18.2%	39.4%	0.0%	100.0%
8	サービス業	15.5%	49.3%	64.8%	27.5%	4.9%	32.4%	2.8%	100.0%
9	その他	24.2%	45.5%	69.7%	21.2%	3.0%	24.2%	6.1%	100.0%
全体		15.7%	52.2%	67.9%	25.8%	3.9%	29.7%	2.4%	100.0%

表 3-2 業種別 ごみ減量化の取組 回答状況

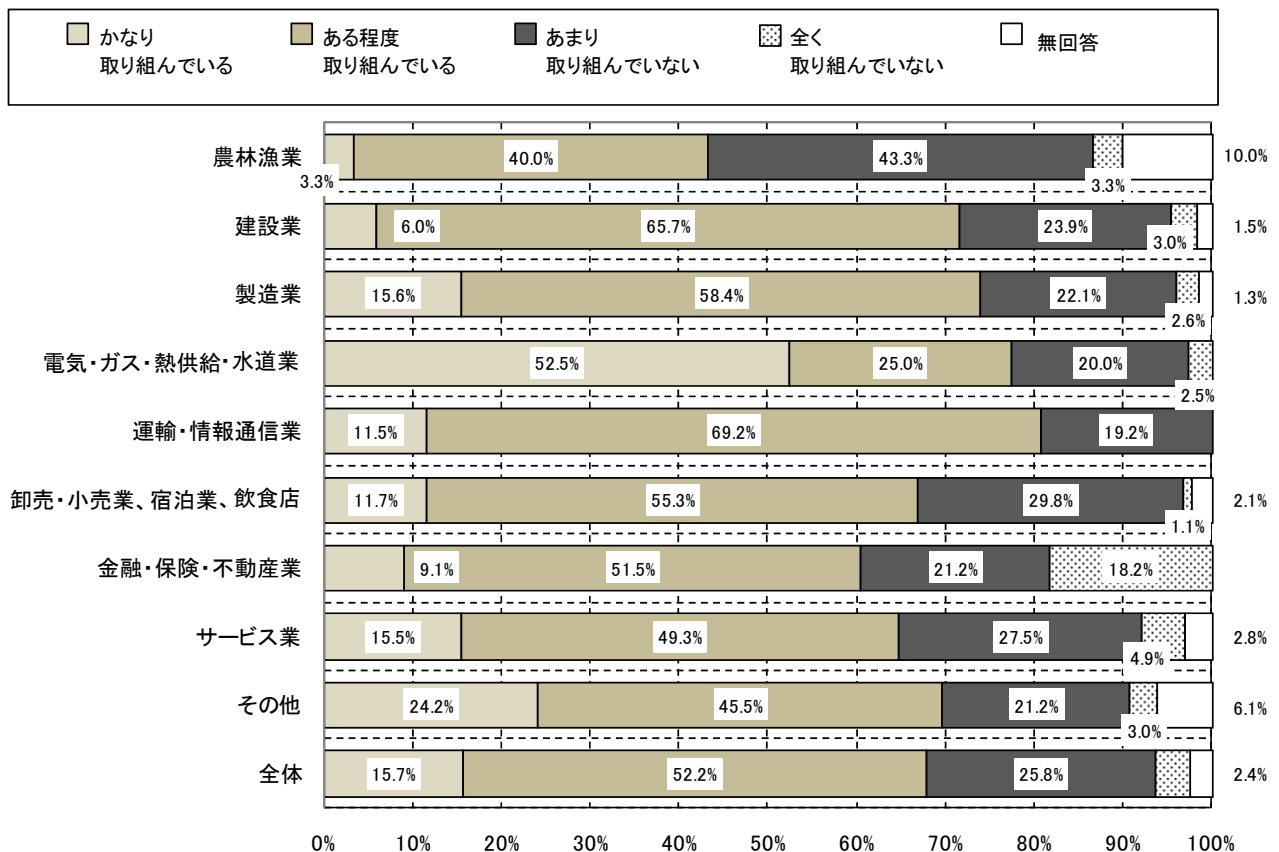


図 3-2 業種別 ごみ減量化の取組 回答率

2) -② 従業員数クロス集計

問1 従業員数vs取組 (回答数)		1	2	1+2	3	4	3+4	99	計
		かなり 取り組んでいる	ある程度 取り組んでいる		あまり 取り組んで いない	全く 取り組んで いない		無回答	
1	1~4人	31	141	172	84	14	98	7	277
2	5~9人	10	47	57	23	1	24	3	84
3	10~19人	7	32	39	20	2	22	2	63
4	20~29人	9	19	28	6	0	6	0	34
5	30~49人	6	14	20	2	2	4	1	25
6	50~99人	9	18	27	4	0	4	0	31
7	100~299人	11	7	18	1	0	1	0	19
8	300人以上	1	4	5	0	0	0	0	5
計		84	282	366	140	19	159	13	538
問1 従業員数vs取組 (回答率)		1	2	1+2	3	4	3+4	99	計
		かなり 取り組んでいる	ある程度 取り組んでいる		あまり 取り組んで いない	全く 取り組んで いない		無回答	
1	1~4人	11.2%	50.9%	62.1%	30.3%	5.1%	35.4%	2.5%	100.0%
2	5~9人	11.9%	56.0%	67.9%	27.4%	1.2%	28.6%	3.6%	100.0%
3	10~19人	11.1%	50.8%	61.9%	31.7%	3.2%	34.9%	3.2%	100.0%
4	20~29人	26.5%	55.9%	82.4%	17.6%	0.0%	17.6%	0.0%	100.0%
5	30~49人	24.0%	56.0%	80.0%	8.0%	8.0%	16.0%	4.0%	100.0%
6	50~99人	29.0%	58.1%	87.1%	12.9%	0.0%	12.9%	0.0%	100.0%
7	100~299人	57.9%	36.8%	94.7%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%	100.0%
8	300人以上	20.0%	80.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全体		15.6%	52.4%	68.0%	26.0%	3.5%	29.6%	2.4%	100.0%

表 3-3 従業員数別 ごみ減量化の取組 回答状況

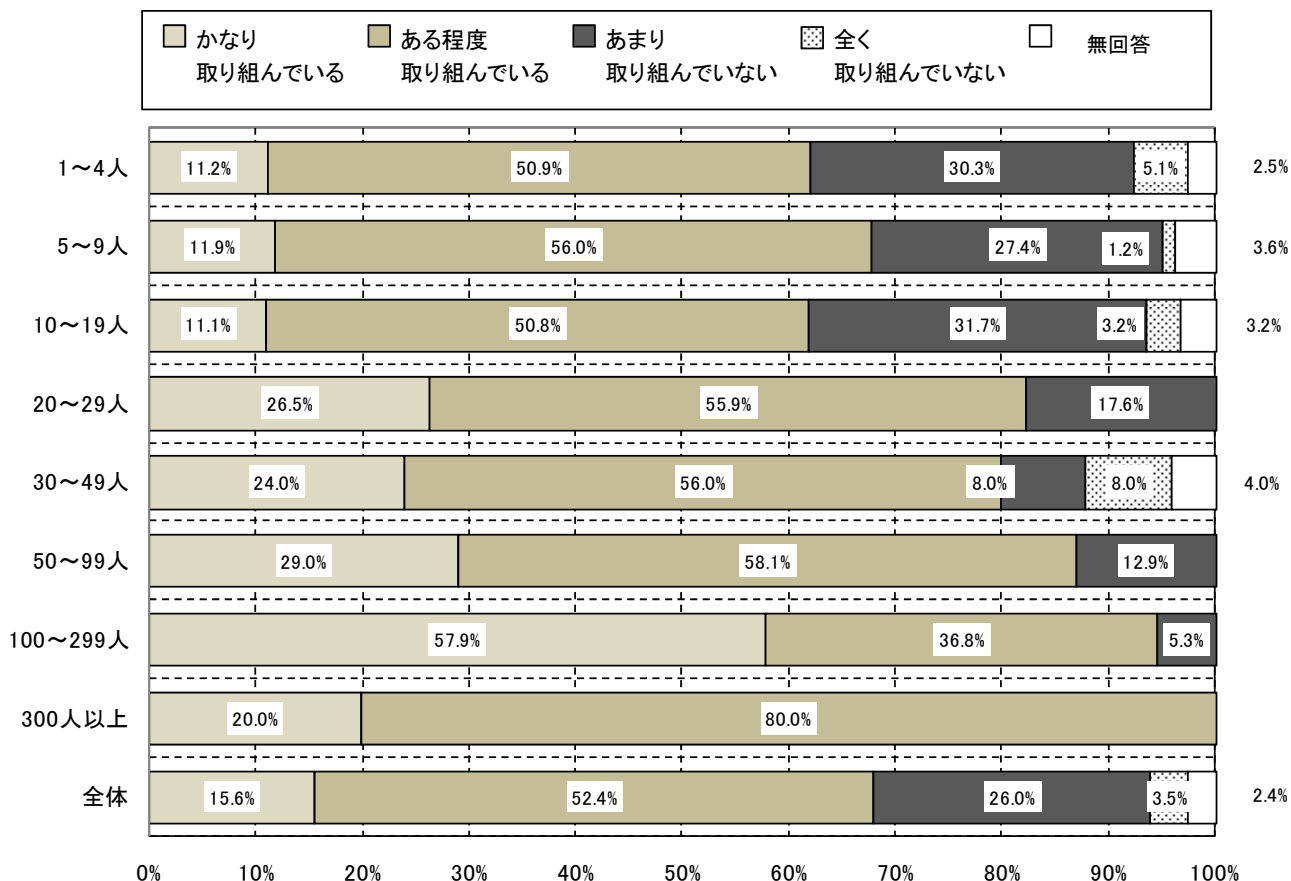


図 3-3 従業員数別 ごみ減量化の取組 回答率

問 2	<p>(問 1 で「1 かなり取り組んでいる」「2 ある程度取り組んでいる」と答えた方のみ)</p> <p>ごみ減量化に取り組む理由は何ですか？</p> <p>あてはまるものを 3 つまで選び、番号に○を付けてください。 (複数回答)</p>
-----	---

減量化への取組理由は、最も高かったのは「企業としての社会的責任を果たすため」が66.0%、次いで「経費節減のため」が62.5%となっている。
業種別でも上記 2 項目が上位を占めている。

1) 単純集計

問 2	取り組む理由	回答数	回答率
1	経費削減のため	237	62.5%
2	社の宣伝やイメージアップのため	32	8.4%
3	企業としての社会的責任を果たすため	250	66.0%
4	法律等の規制があるため	75	19.8%
5	業界全体で取り組んでいるため	42	11.1%
6	競合他社が取り組んでいるため	20	5.3%
7	ごみ保管場所に制約があるため	85	22.4%
8	その他	27	7.1%
総回答数		768	202.6%
有効回答数		379	

表 3-4 ごみ減量化の取組理由 回答状況

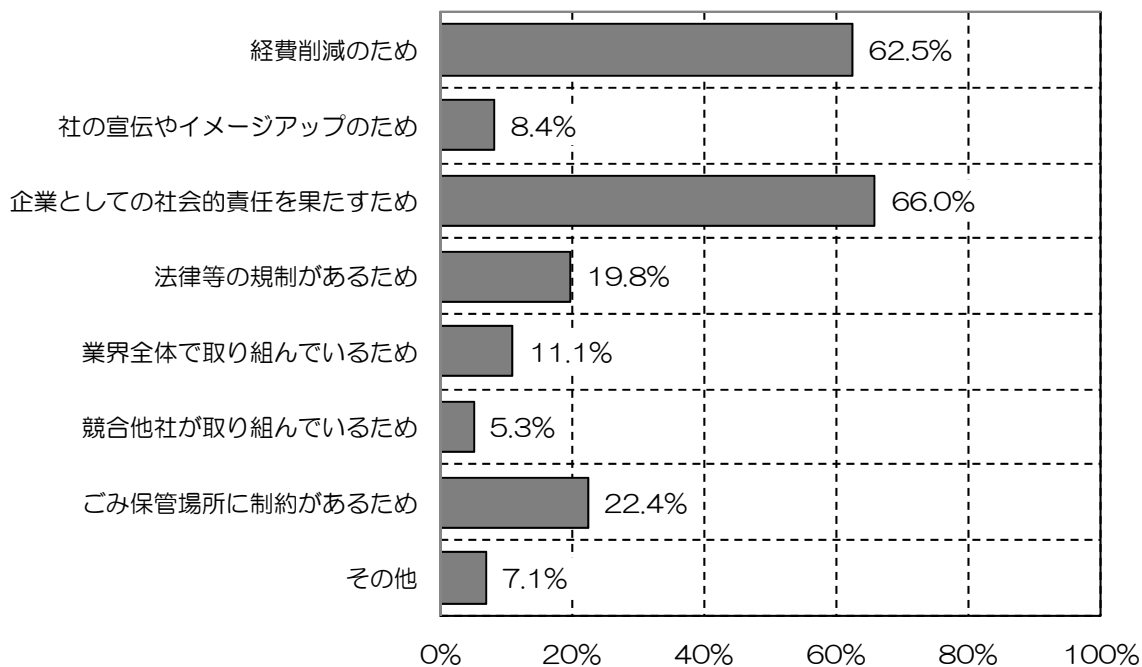


図 3-4 ごみ減量化の取組理由 回答率

2) -① 業種別クロス集計

番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率		
1	農林漁業	1	経費削減のため	6	46.2%		
		2	社の宣伝やイメージアップのため	1	7.7%		
		3	企業としての社会的責任を果たすため	5	38.5%		
		4	法律等の規制があるため	1	7.7%		
		5	業界全体で取り組んでいるため	1	7.7%		
		6	競合他社が取り組んでいるため	0	0.0%		
		7	ごみ保管場所に制約があるため	5	38.5%		
		8	その他	1	7.7%		
			総回答数	総回答数	10		
			有効回答数	有効回答数	13		153.8%
2	建設業	1	経費削減のため	34	70.8%		
		2	社の宣伝やイメージアップのため	7	14.6%		
		3	企業としての社会的責任を果たすため	32	66.7%		
		4	法律等の規制があるため	7	14.6%		
		5	業界全体で取り組んでいるため	7	14.6%		
		6	競合他社が取り組んでいるため	2	4.2%		
		7	ごみ保管場所に制約があるため	12	25.0%		
		8	その他	1	2.1%		
			総回答数	総回答数	102		
			有効回答数	有効回答数	48		212.5%
3	製造業	1	経費削減のため	41	71.9%		
		2	社の宣伝やイメージアップのため	11	19.3%		
		3	企業としての社会的責任を果たすため	39	68.4%		
		4	法律等の規制があるため	8	14.0%		
		5	業界全体で取り組んでいるため	3	5.3%		
		6	競合他社が取り組んでいるため	0	0.0%		
		7	ごみ保管場所に制約があるため	10	17.5%		
		8	その他	5	8.8%		
			総回答数	総回答数	117		
			有効回答数	有効回答数	57		205.3%
4	電気 ガス 熱供給 水道業	1	経費削減のため	21	67.7%		
		2	社の宣伝やイメージアップのため	2	6.5%		
		3	企業としての社会的責任を果たすため	27	87.1%		
		4	法律等の規制があるため	14	45.2%		
		5	業界全体で取り組んでいるため	2	6.5%		
		6	競合他社が取り組んでいるため	1	3.2%		
		7	ごみ保管場所に制約があるため	5	16.1%		
		8	その他	2	6.5%		
			総回答数	総回答数	74		
			有効回答数	有効回答数	31		238.7%
5	運輸 情報 通信業	1	経費削減のため	14	66.7%		
		2	社の宣伝やイメージアップのため	0	0.0%		
		3	企業としての社会的責任を果たすため	14	66.7%		
		4	法律等の規制があるため	4	19.0%		
		5	業界全体で取り組んでいるため	2	9.5%		
		6	競合他社が取り組んでいるため	1	4.8%		
		7	ごみ保管場所に制約があるため	7	33.3%		
		8	その他	0	0.0%		
			総回答数	総回答数	42		
			有効回答数	有効回答数	21		200.0%
6	卸売 小売業 宿泊業 飲食店	1	経費削減のため	39	61.9%		
		2	社の宣伝やイメージアップのため	5	7.9%		
		3	企業としての社会的責任を果たすため	39	61.9%		
		4	法律等の規制があるため	7	11.1%		
		5	業界全体で取り組んでいるため	5	7.9%		
		6	競合他社が取り組んでいるため	1	1.6%		
		7	ごみ保管場所に制約があるため	19	30.2%		
		8	その他	5	7.9%		
			総回答数	総回答数	120		
			有効回答数	有効回答数	63		190.5%
7	金融 保険 不動産業	1	経費削減のため	9	45.0%		
		2	社の宣伝やイメージアップのため	1	5.0%		
		3	企業としての社会的責任を果たすため	15	75.0%		
		4	法律等の規制があるため	4	20.0%		
		5	業界全体で取り組んでいるため	3	15.0%		
		6	競合他社が取り組んでいるため	0	0.0%		
		7	ごみ保管場所に制約があるため	6	30.0%		
		8	その他	1	5.0%		
			総回答数	総回答数	39		
			有効回答数	有効回答数	20		195.0%
8	サービス業	1	経費削減のため	59	64.1%		
		2	社の宣伝やイメージアップのため	4	4.3%		
		3	企業としての社会的責任を果たすため	60	65.2%		
		4	法律等の規制があるため	17	18.5%		
		5	業界全体で取り組んでいるため	12	13.0%		
		6	競合他社が取り組んでいるため	0	0.0%		
		7	ごみ保管場所に制約があるため	26	28.3%		
		8	その他	8	8.7%		
			総回答数	総回答数	186		
			有効回答数	有効回答数	92		202.2%
9	その他	1	経費削減のため	10	43.5%		
		2	社の宣伝やイメージアップのため	1	4.3%		
		3	企業としての社会的責任を果たすため	15	65.2%		
		4	法律等の規制があるため	10	43.5%		
		5	業界全体で取り組んでいるため	6	26.1%		
		6	競合他社が取り組んでいるため	0	0.0%		
		7	ごみ保管場所に制約があるため	4	17.4%		
		8	その他	2	8.7%		
			総回答数	総回答数	48		
			有効回答数	有効回答数	23		208.7%

表・図 3-5 業種別 ごみ減量化の取組理由 回答状況

問 3	<p>(問 1 で「1 かなり取り組んでいる」「2 ある程度取り組んでいる」と答えた方のみ)</p> <p>あなたの事業所ではどのようなごみ減量に取り組んでいますか？</p> <p>あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。(複数回答)</p>
-----	--

ごみ減量の取組内容では、「コピー用紙等の削減」が46.4%で最も高く、次いで「ごみ箱の廃止」31.1%、「自販機設置業者による容器の引き取り」27.4%となっている。業種別でも同じ傾向が見られるが、「農林水産業」では、「生ごみの堆肥化」が最も高い。

1) 単純集計

問 3	ごみ減量の取組内容	回答数	回答率
1	ISO14001 認証取得等	44	11.6%
2	ごみ箱の廃止	118	31.1%
3	ごみ管理責任者の設置	58	15.3%
4	生ごみの堆肥化	64	16.9%
5	通い箱の活用等納入業者との連携	75	19.8%
6	コピー用紙等の削減	176	46.4%
7	自販機設置業者による容器の引き取り	104	27.4%
8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	82	21.6%
9	その他	52	13.7%
総回答数		773	204.0%
有効回答数		379	

表 3-6 ごみ減量化の取組内容 回答状況

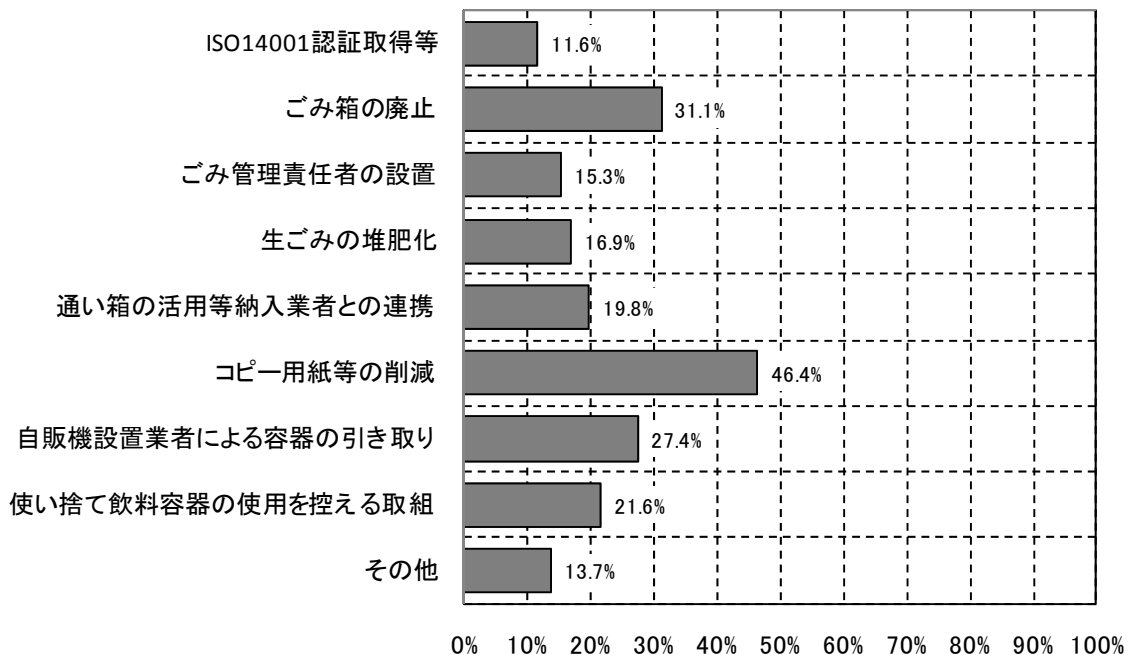


図 3-6 ごみ減量化の取組内容 回答率

2) -① 業種別クロス集計

番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
1	農林漁業	1	ISO14001認証取得等	1	7.7%
		2	ごみ箱の廃止	3	23.1%
		3	ごみ管理責任者の設置	4	30.8%
		4	生ごみの堆肥化	5	38.5%
		5	通い箱の活用等納入業者との連携	2	15.4%
		6	コピー用紙等の削減	1	7.7%
		7	自販機設置業者による容器の引き取り	2	15.4%
		8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	3	23.1%
		9	その他	0	0.0%
			総回答数	21	161.5%
	有効回答数	13			
2	建設業	1	ISO14001認証取得等	5	10.4%
		2	ごみ箱の廃止	15	31.3%
		3	ごみ管理責任者の設置	7	14.6%
		4	生ごみの堆肥化	5	10.4%
		5	通い箱の活用等納入業者との連携	15	31.3%
		6	コピー用紙等の削減	24	50.0%
		7	自販機設置業者による容器の引き取り	12	25.0%
		8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	10	20.8%
		9	その他	6	12.5%
			総回答数	99	206.3%
	有効回答数	48			
3	製造業	1	ISO14001認証取得等	15	26.3%
		2	ごみ箱の廃止	13	22.8%
		3	ごみ管理責任者の設置	13	22.8%
		4	生ごみの堆肥化	12	21.1%
		5	通い箱の活用等納入業者との連携	20	35.1%
		6	コピー用紙等の削減	28	49.1%
		7	自販機設置業者による容器の引き取り	20	35.1%
		8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	11	19.3%
		9	その他	5	8.8%
			総回答数	137	240.4%
	有効回答数	57			
4	電気ガス熱供給水道業	1	ISO14001認証取得等	5	16.1%
		2	ごみ箱の廃止	21	67.7%
		3	ごみ管理責任者の設置	4	12.9%
		4	生ごみの堆肥化	2	6.5%
		5	通い箱の活用等納入業者との連携	2	6.5%
		6	コピー用紙等の削減	20	64.5%
		7	自販機設置業者による容器の引き取り	10	32.3%
		8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	4	12.9%
		9	その他	5	16.1%
			総回答数	73	235.5%
	有効回答数	31			
5	運輸情報通信業	1	ISO14001認証取得等	2	9.5%
		2	ごみ箱の廃止	5	23.8%
		3	ごみ管理責任者の設置	2	9.5%
		4	生ごみの堆肥化	1	4.8%
		5	通い箱の活用等納入業者との連携	4	19.0%
		6	コピー用紙等の削減	14	66.7%
		7	自販機設置業者による容器の引き取り	13	61.9%
		8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	6	28.6%
		9	その他	1	4.8%
			総回答数	48	228.6%
	有効回答数	21			
6	卸売小売業 宿泊業 飲食店	1	ISO14001認証取得等	5	7.9%
		2	ごみ箱の廃止	17	27.0%
		3	ごみ管理責任者の設置	11	17.5%
		4	生ごみの堆肥化	15	23.8%
		5	通い箱の活用等納入業者との連携	13	20.6%
		6	コピー用紙等の削減	23	36.5%
		7	自販機設置業者による容器の引き取り	11	17.5%
		8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	11	17.5%
		9	その他	8	12.7%
			総回答数	114	181.0%
	有効回答数	63			
7	金融 保険 不動産業	1	ISO14001認証取得等	2	10.0%
		2	ごみ箱の廃止	3	15.0%
		3	ごみ管理責任者の設置	3	15.0%
		4	生ごみの堆肥化	3	15.0%
		5	通い箱の活用等納入業者との連携	2	10.0%
		6	コピー用紙等の削減	16	80.0%
		7	自販機設置業者による容器の引き取り	3	15.0%
		8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	5	25.0%
		9	その他	2	10.0%
			総回答数	39	195.0%
	有効回答数	20			
8	サービス業	1	ISO14001認証取得等	2	2.2%
		2	ごみ箱の廃止	27	29.3%
		3	ごみ管理責任者の設置	11	12.0%
		4	生ごみの堆肥化	14	15.2%
		5	通い箱の活用等納入業者との連携	13	14.1%
		6	コピー用紙等の削減	38	41.3%
		7	自販機設置業者による容器の引き取り	22	23.9%
		8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	28	30.4%
		9	その他	19	20.7%
			総回答数	174	189.1%
	有効回答数	92			
9	その他	1	ISO14001認証取得等	7	30.4%
		2	ごみ箱の廃止	13	56.5%
		3	ごみ管理責任者の設置	2	8.7%
		4	生ごみの堆肥化	3	13.0%
		5	通い箱の活用等納入業者との連携	2	8.7%
		6	コピー用紙等の削減	9	39.1%
		7	自販機設置業者による容器の引き取り	10	43.5%
		8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	2	8.7%
		9	その他	4	17.4%
			総回答数	52	226.1%
	有効回答数	23			

表・図 3-7 業種別 ごみ減量化の取組内容 回答状況

問 4	<p>(問 1 で「3 あまり取り組んでいない」「4 全く取り組んでいない」と答えた方のみ)</p> <p>あなたの事業所でごみ減量に取り組んでいないのはなぜですか？</p> <p>あてはまるものを 3 つまで 選び、番号に○を付けてください。 (複数回答)</p>
-----	--

減量化への取り組まない理由は、「ごみが出ない」が74.4%で最も高く、次いで「一括契約で料金が減らない」が14.6%となっている。

業種別でも全ての業種で「ごみが出ない」が最も高い。

1) 単純集計

問 4	ごみ減量に取り組んでいない理由	回答数	回答率
1	一括契約で料金が減らない	24	14.6%
2	処理料金が安く効果がない	5	3.0%
3	従業員の協力が得られない	9	5.5%
4	ごみが出ない	122	74.4%
5	事業優先	8	4.9%
6	その他	17	10.4%
総回答数		185	112.8%
有効回答数		164	

表 3-8 ごみ減量化の取り組まない理由 回答状況

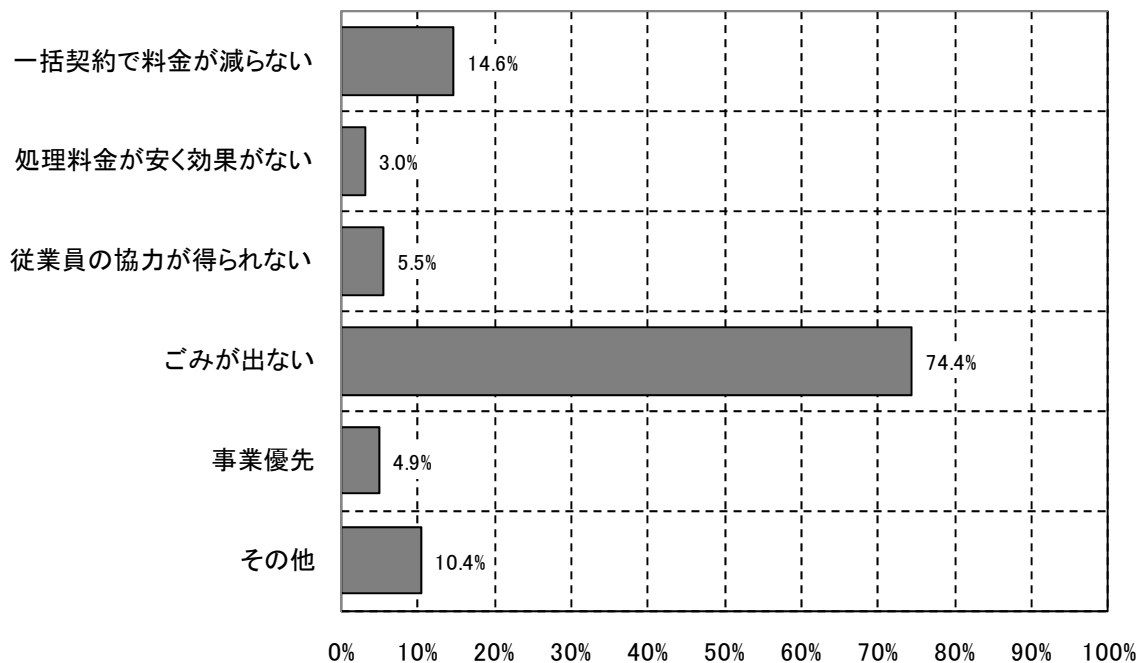


図 3-8 ごみ減量化の取り組まない理由 回答率

2) -① 業種別クロス集計

業種番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率	
1	農林漁業	1	一括契約で料金が減らない	0	0.0%	
		2	処理料金が安く効果がない	0	0.0%	
		3	従業員の協力が得られない	0	0.0%	
		4	ごみが出ない	11	78.6%	
		5	事業優先	2	14.3%	
		6	その他	2	14.3%	
		総回答数	総回答数	15		
有効回答数	有効回答数	14	107.1%			
2	建設業	1	一括契約で料金が減らない	2	11.1%	
		2	処理料金が安く効果がない	1	5.6%	
		3	従業員の協力が得られない	0	0.0%	
		4	ごみが出ない	14	77.8%	
		5	事業優先	1	5.6%	
		6	その他	3	16.7%	
		総回答数	総回答数	21	116.7%	
有効回答数	有効回答数	18				
3	製造業	1	一括契約で料金が減らない	2	10.5%	
		2	処理料金が安く効果がない	1	5.3%	
		3	従業員の協力が得られない	0	0.0%	
		4	ごみが出ない	15	78.9%	
		5	事業優先	1	5.3%	
		6	その他	2	10.5%	
		総回答数	総回答数	21	110.5%	
有効回答数	有効回答数	19				
4	電気 ガス 熱供給 水道業	1	一括契約で料金が減らない	3	33.3%	
		2	処理料金が安く効果がない	0	0.0%	
		3	従業員の協力が得られない	1	11.1%	
		4	ごみが出ない	5	55.6%	
		5	事業優先	0	0.0%	
		6	その他	1	11.1%	
		総回答数	総回答数	10	111.1%	
有効回答数	有効回答数	9				
5	運輸 情報通信業	1	一括契約で料金が減らない	0	0.0%	
		2	処理料金が安く効果がない	0	0.0%	
		3	従業員の協力が得られない	0	0.0%	
		4	ごみが出ない	5	100.0%	
		5	事業優先	0	0.0%	
		6	その他	0	0.0%	
		総回答数	総回答数	5	100.0%	
有効回答数	有効回答数	5				
6	卸売 小売業 宿泊業 飲食店	1	一括契約で料金が減らない	7	24.1%	
		2	処理料金が安く効果がない	2	6.9%	
		3	従業員の協力が得られない	2	6.9%	
		4	ごみが出ない	21	72.4%	
		5	事業優先	1	3.4%	
		6	その他	3	10.3%	
		総回答数	総回答数	36	124.1%	
有効回答数	有効回答数	29				
7	金融 保険 不動産業	1	一括契約で料金が減らない	2	15.4%	
		2	処理料金が安く効果がない	0	0.0%	
		3	従業員の協力が得られない	1	7.7%	
		4	ごみが出ない	6	46.2%	
		5	事業優先	1	7.7%	
		6	その他	1	7.7%	
		総回答数	総回答数	11	84.6%	
有効回答数	有効回答数	13				
8	サービス業	1	一括契約で料金が減らない	7	15.2%	
		2	処理料金が安く効果がない	1	2.2%	
		3	従業員の協力が得られない	5	10.9%	
		4	ごみが出ない	35	76.1%	
		5	事業優先	2	4.3%	
		6	その他	4	8.7%	
		総回答数	総回答数	54	117.4%	
有効回答数	有効回答数	46				
9	その他	1	一括契約で料金が減らない	1	12.5%	
		2	処理料金が安く効果がない	0	0.0%	
		3	従業員の協力が得られない	0	0.0%	
		4	ごみが出ない	7	87.5%	
		5	事業優先	0	0.0%	
		6	その他	1	12.5%	
		総回答数	総回答数	9	112.5%	
有効回答数	有効回答数	8				

表・図 3-9 業種別 ごみ減量化の取り組まない理由 回答状況

問 5 あなたの事業所から出たごみは誰が管理していますか？
あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

ごみの管理は「事業所内の担当が管理」が最も高く 63.9%となっている。
業種別、従業員別でも「事業所内の担当が管理」が最も高い。

1) 単純集計

問5	ごみの管理	回答数	回答率
1	事業所内の担当が管理	356	63.9%
2	本社等で一括管理	15	2.7%
3	処理委託先が管理	50	9.0%
4	建物管理会社が管理	10	1.8%
5	その他	76	13.6%
99	無回答	50	9.0%
計		557	100.0%

表 3-10 ごみの管理 回答状況

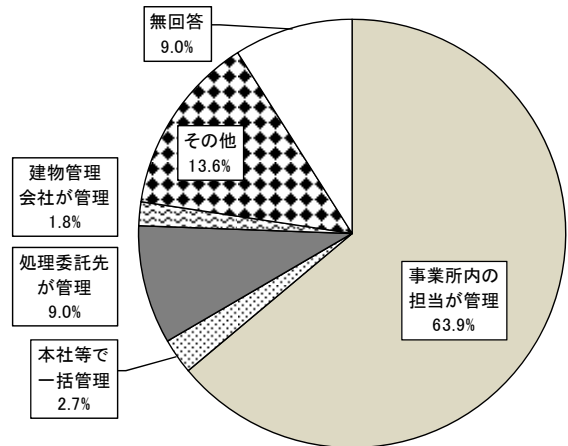


図 3-10 ごみの管理 回答率

2) -① 業種別クロス集計

問5 業種vsごみの管理 (回答数)		1	2	3	4	5	99	計
		事業所内の 担当が管理	本社等で 一括管理	処理委託先 が管理	建物管理 会社が管理	その他	無回答	計
1	農林漁業	21	2	0	0	3	4	30
2	建設業	49	1	4	1	7	5	67
3	製造業	51	2	6	0	7	11	77
4	電気・ガス・熱供給・水道業	26	0	3	0	6	5	40
5	運輸・情報通信業	20	1	3	0	1	1	26
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	52	4	16	3	15	4	94
7	金融・保険・不動産業	17	1	4	3	5	3	33
8	サービス業	93	2	12	2	22	11	142
9	その他	20	2	1	1	6	3	33
計		349	15	49	10	72	47	542
問5 業種vsごみの管理 (回答率)		1	2	3	4	5	99	計
		事業所内の 担当が管理	本社等で 一括管理	処理委託先 が管理	建物管理 会社が管理	その他	無回答	計
1	農林漁業	70.0%	6.7%	0.0%	0.0%	10.0%	13.3%	100.0%
2	建設業	73.1%	1.5%	6.0%	1.5%	10.4%	7.5%	100.0%
3	製造業	66.2%	2.6%	7.8%	0.0%	9.1%	14.3%	100.0%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	65.0%	0.0%	7.5%	0.0%	15.0%	12.5%	100.0%
5	運輸・情報通信業	76.9%	3.8%	11.5%	0.0%	3.8%	3.8%	100.0%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	55.3%	4.3%	17.0%	3.2%	16.0%	4.3%	100.0%
7	金融・保険・不動産業	51.5%	3.0%	12.1%	9.1%	15.2%	9.1%	100.0%
8	サービス業	65.5%	1.4%	8.5%	1.4%	15.5%	7.7%	100.0%
9	その他	60.6%	6.1%	3.0%	3.0%	18.2%	9.1%	100.0%
全体		64.4%	2.8%	9.0%	1.8%	13.3%	8.7%	100.0%

表 3-11 業種別 ごみの管理 回答状況

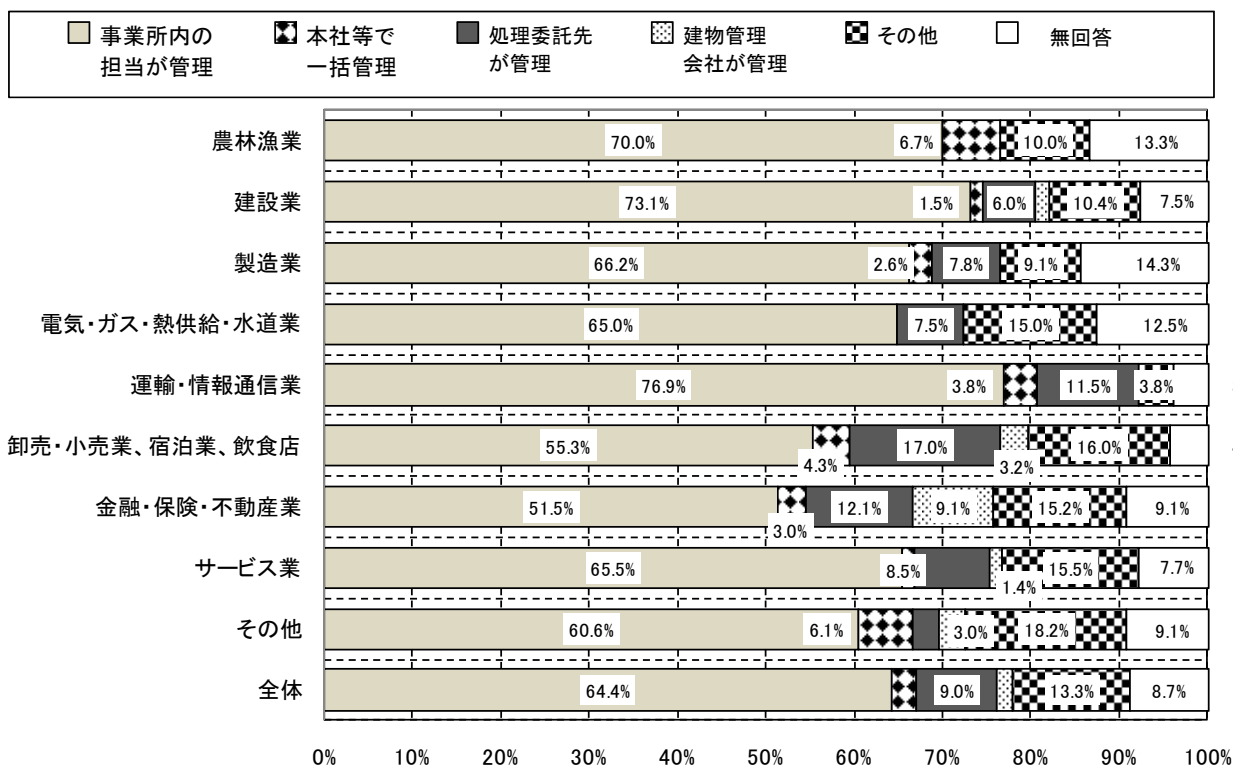


図 3-11 業種別 ごみの管理 回答率

2) -② 従業員数別クロス集計

問5 従業員数vsごみの管理 (回答数)		1	2	3	4	5	99	計
		事業所内の担当が管理	本社等で一括管理	処理委託先が管理	建物管理会社が管理	その他	無回答	計
1	1~4人	167	3	12	2	58	35	277
2	5~9人	61	2	7	2	8	4	84
3	10~19人	36	6	16	1	1	3	63
4	20~29人	29	1	3	1	0	0	34
5	30~49人	16	1	6	1	1	0	25
6	50~99人	20	2	5	2	0	2	31
7	100~299人	16	0	1	1	0	1	19
8	300人以上	5	0	0	0	0	0	5
計		350	15	50	10	68	45	538
問5 従業員数vsごみの管理 (回答率)		1	2	3	4	5	99	計
		事業所内の担当が管理	本社等で一括管理	処理委託先が管理	建物管理会社が管理	その他	無回答	計
1	1~4人	60.3%	1.1%	4.3%	0.7%	20.9%	12.6%	100.0%
2	5~9人	72.6%	2.4%	8.3%	2.4%	9.5%	4.8%	100.0%
3	10~19人	57.1%	9.5%	25.4%	1.6%	1.6%	4.8%	100.0%
4	20~29人	85.3%	2.9%	8.8%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%
5	30~49人	64.0%	4.0%	24.0%	4.0%	4.0%	0.0%	100.0%
6	50~99人	64.5%	6.5%	16.1%	6.5%	0.0%	6.5%	100.0%
7	100~299人	84.2%	0.0%	5.3%	5.3%	0.0%	5.3%	100.0%
8	300人以上	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全体		65.1%	2.8%	9.3%	1.9%	12.6%	8.4%	100.0%

表 3-12 従業員数別 ごみの管理 回答状況

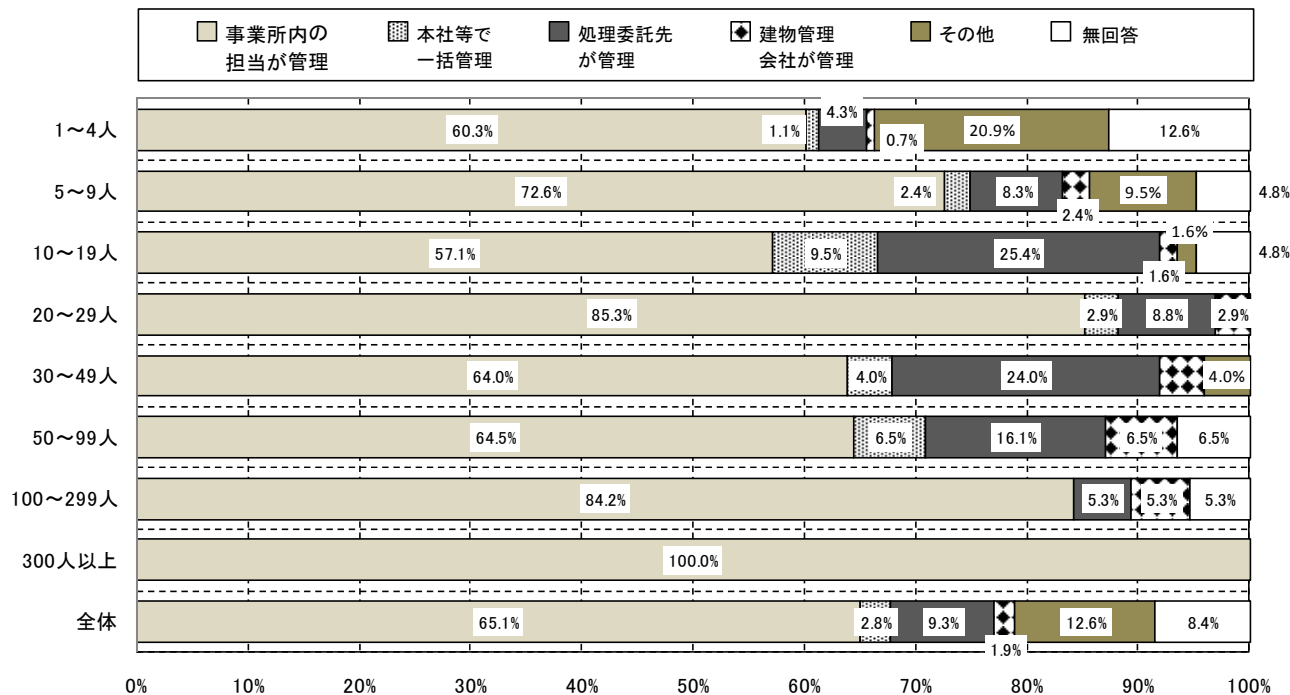


図 3-12 従業員数別 ごみの管理 回答率

3-2 事業所から出る事業系ごみ（事業系一般廃棄物）について

問 6 あなたの事業所ではごみはどのように処理していますか？
あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

ごみ処理方法は、「地域のごみ集積所に排出」が最も高く38.8%、次いで「収集運搬業者に委託」が33.9%となっている。
業種別では、「地域のごみ集積所に排出」が最も高いのは、「農林漁業」が43.3%、「卸売・小売業、宿泊業、飲食店」が47.9%、「金融・保険・不動産業」が45.5%、「サービス業」が46.5%、「その他」が36.4%となっている。それ以外の業種は「収集運搬業者に委託」が最も高い。
従業員数別では、「地域のごみ集積所に排出」が最も高いのは、「1～4人」が55.2%、「5～9人」が38.1%で、10人以上の従業員数では「収集運搬業者に委託」が最も高い。

1) 単純集計

問 6	ごみの処理方法	回答数	回答率
1	収集運搬業者に委託	189	33.9%
2	市町の処理施設に持ち込み	89	16.0%
3	本社等で一括して処理	21	3.8%
4	地域のごみ集積所に排出	216	38.8%
5	その他	35	6.3%
99	無回答	7	1.3%
	計	557	100.0%

表 3-13 ごみの処理方法 回答状況

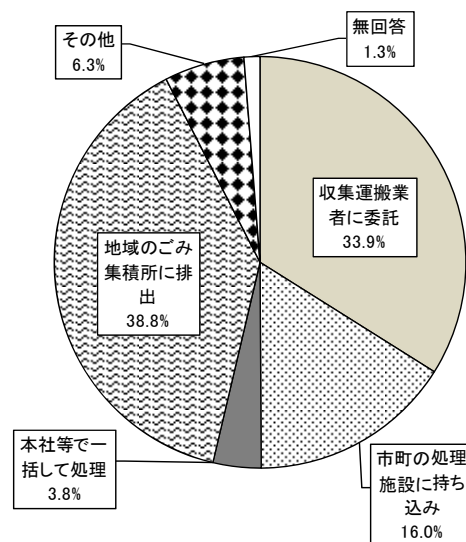


図 3-13 ごみの処理方法 回答率

2) -① 業種別クロス集計

問6 業種vsごみの処置方法 (回答数)		1	2	3	4	5	99	計
		業者委託	市町 処理施設 に持ち込み	本社等 一括処理	ごみ集積所 に排出	その他	無回答	
1	農林漁業	6	6	1	13	4	0	30
2	建設業	25	11	4	23	3	1	67
3	製造業	36	12	4	20	5	0	77
4	電気・ガス・熱供給・水道業	26	5	0	6	2	1	40
5	運輸・情報通信業	10	4	3	9	0	0	26
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	30	13	3	45	2	1	94
7	金融・保険・不動産業	9	3	2	15	4	0	33
8	サービス業	40	27	2	66	7	0	142
9	その他	4	7	2	12	7	1	33
計		186	88	21	209	34	4	542
問6 業種vsごみの処置方法 (回答率)		1	2	3	4	5	99	計
		業者委託	市町 処理施設 に持ち込み	本社等 一括処理	ごみ集積所 に排出	その他	無回答	
1	農林漁業	20.0%	20.0%	3.3%	43.3%	13.3%	0.0%	100.0%
2	建設業	37.3%	16.4%	6.0%	34.3%	4.5%	1.5%	100.0%
3	製造業	46.8%	15.6%	5.2%	26.0%	6.5%	0.0%	100.0%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	65.0%	12.5%	0.0%	15.0%	5.0%	2.5%	100.0%
5	運輸・情報通信業	38.5%	15.4%	11.5%	34.6%	0.0%	0.0%	100.0%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	31.9%	13.8%	3.2%	47.9%	2.1%	1.1%	100.0%
7	金融・保険・不動産業	27.3%	9.1%	6.1%	45.5%	12.1%	0.0%	100.0%
8	サービス業	28.2%	19.0%	1.4%	46.5%	4.9%	0.0%	100.0%
9	その他	12.1%	21.2%	6.1%	36.4%	21.2%	3.0%	100.0%
全体		34.3%	16.2%	3.9%	38.6%	6.3%	0.7%	100.0%

表 3-14 業種別 ごみの処理方法 回答状況

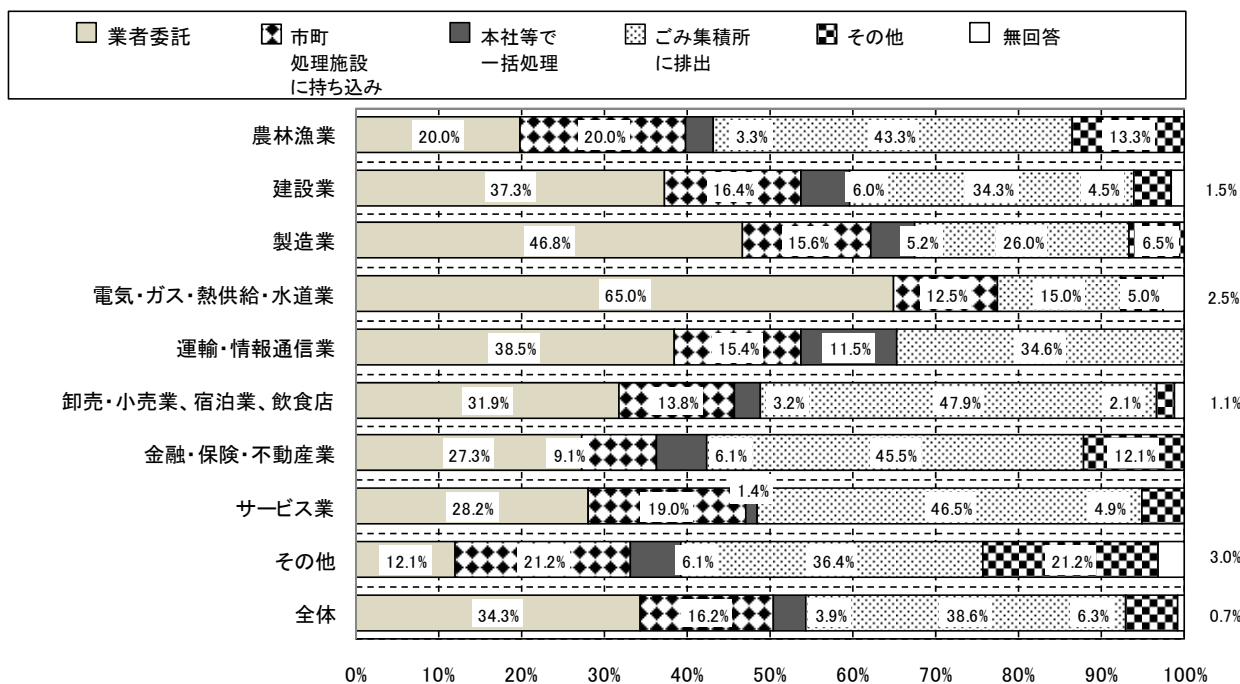


図 3-14 業種別 ごみの処理方法 回答率

2) -② 従業員数別クロス集計

問6 従業員数vs ごみ処理方法 (回答数)		1 業者委託	2 市町 処理施設 に持ち込み	3 本社等 で一括 処理	4 ごみ集積所 に排出	5 その他	99 無回答	計
1	1~4人	50	48	8	153	15	3	277
2	5~9人	26	16	2	32	7	1	84
3	10~19人	32	11	4	12	4	0	63
4	20~29人	16	5	1	8	4	0	34
5	30~49人	17	2	3	1	2	0	25
6	50~99人	24	4	2	1	0	0	31
7	100~299人	17	1	1	0	0	0	19
8	300人以上	5	0	0	0	0	0	5
計	計	187	87	21	207	32	4	538
問6 従業員数vs ごみ処理方法 (回答率)		1 業者委託	2 市町 処理施設 に持ち込み	3 本社等 で一括 処理	4 ごみ集積所 に排出	5 その他	99 無回答	計
1	1~4人	18.1%	17.3%	2.9%	55.2%	5.4%	1.1%	100.0%
2	5~9人	31.0%	19.0%	2.4%	38.1%	8.3%	1.2%	100.0%
3	10~19人	50.8%	17.5%	6.3%	19.0%	6.3%	0.0%	100.0%
4	20~29人	47.1%	14.7%	2.9%	23.5%	11.8%	0.0%	100.0%
5	30~49人	68.0%	8.0%	12.0%	4.0%	8.0%	0.0%	100.0%
6	50~99人	77.4%	12.9%	6.5%	3.2%	0.0%	0.0%	100.0%
7	100~299人	89.5%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
8	300人以上	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全体		34.8%	16.2%	3.9%	38.5%	5.9%	0.7%	100.0%

表 3-15 従業員数別 ごみの処理方法 回答状況

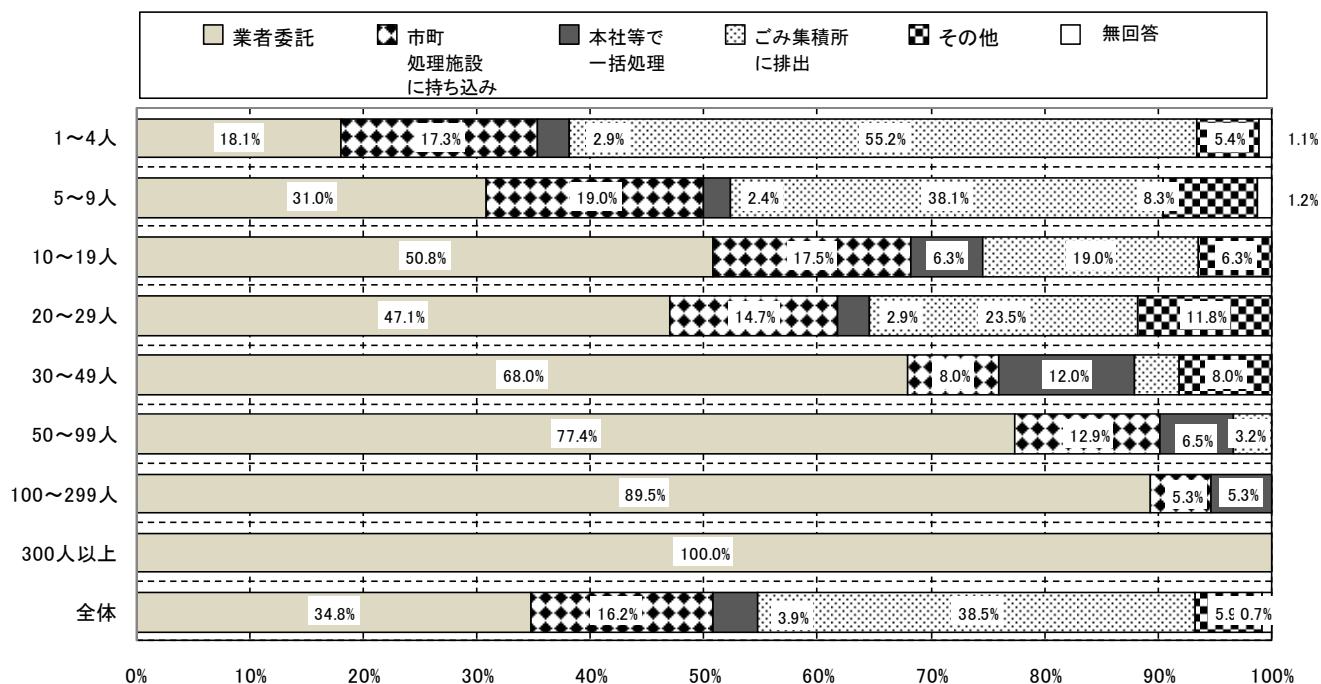


図 3-15 従業員数別 ごみの処理方法 回答率

問 7	(問 6 で「1 収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ) 収集運搬業者との契約では、収集は週何回くらいですか？ あてはまるものを 1 つ選び番号に○を付けてください。
-----	--

ごみの収集回数は、「週 1 回以下」が 50.8%で最も高く、次いで「週 2 回」の 14.3%、それ以外は 10%以下となっている。

業種別でみると、「卸売・小売業、宿泊業、飲食店」では「週 6 回」が 40.0%と最も高く、他の業種は「週 1 回以下」が最も高い。規模別では、「100 人以上」が「週 2 回」で最も高く、それ以外は、「週 1 回以下」が最も高い。

1) 単純集計

問 7	収集回数	回答数	回答率
1	週 1 回以下	96	50.8%
2	週 2 回	27	14.3%
3	週 3 回	11	5.8%
4	週 4 回	3	1.6%
5	週 5 回	14	7.4%
6	週 6 回	16	8.5%
7	その他	18	9.5%
99	無回答	4	2.1%
計		189	100.0%

表 3-16 ごみの収集回数 回答状況

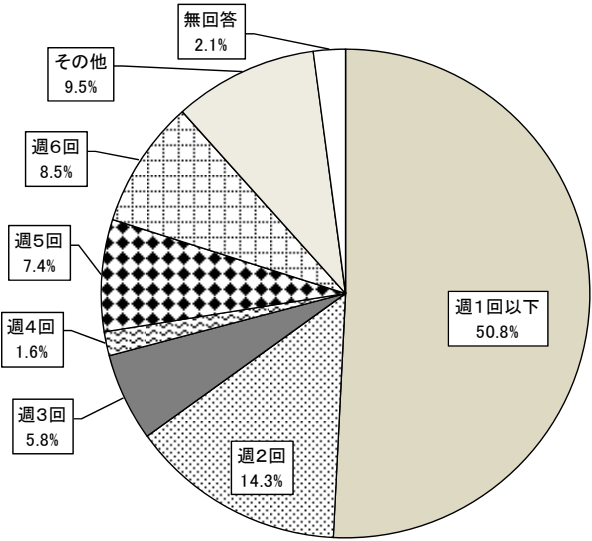


図 3-16 ごみの収集回数 回答率

2) -① 業種別クロス集計

問7 業種vsごみ収集回数 (回答数)		1	2	3	4	5	6	7	99	計
		週 1 回以下	週 2 回	週 3 回	週 4 回	週 5 回	週 6 回	その他	無回答	
1	農林漁業	2	0	2	0	0	0	2	0	6
2	建設業	20	2	0	0	1	0	1	1	25
3	製造業	19	6	4	0	2	1	2	2	36
4	電気・ガス・熱供給・水道業	16	3	3	0	4	0	0	0	26
5	運輸・情報通信業	5	2	1	1	0	0	0	1	10
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	3	4	0	0	3	12	8	0	30
7	金融・保険・不動産業	5	4	0	0	0	0	0	0	9
8	サービス業	22	6	0	2	3	3	4	0	40
9	その他	4	0	0	0	0	0	0	0	4
計		96	27	10	3	13	16	17	4	186
問7 業種vsごみ収集回数 (回答率)		1	2	3	4	5	6	7	99	計
		週 1 回以下	週 2 回	週 3 回	週 4 回	週 5 回	週 6 回	その他	無回答	
1	農林漁業	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%
2	建設業	80.0%	8.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	4.0%	4.0%	100.0%
3	製造業	52.8%	16.7%	11.1%	0.0%	5.6%	2.8%	5.6%	5.6%	100.0%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	61.5%	11.5%	11.5%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
5	運輸・情報通信業	50.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	100.0%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	10.0%	13.3%	0.0%	0.0%	10.0%	40.0%	26.7%	0.0%	100.0%
7	金融・保険・不動産業	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
8	サービス業	55.0%	15.0%	0.0%	5.0%	7.5%	7.5%	10.0%	0.0%	100.0%
9	その他	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全体		51.6%	14.5%	5.4%	1.6%	7.0%	8.6%	9.1%	2.2%	100.0%

表 3-17 業種別 ごみの収集回数 回答状況

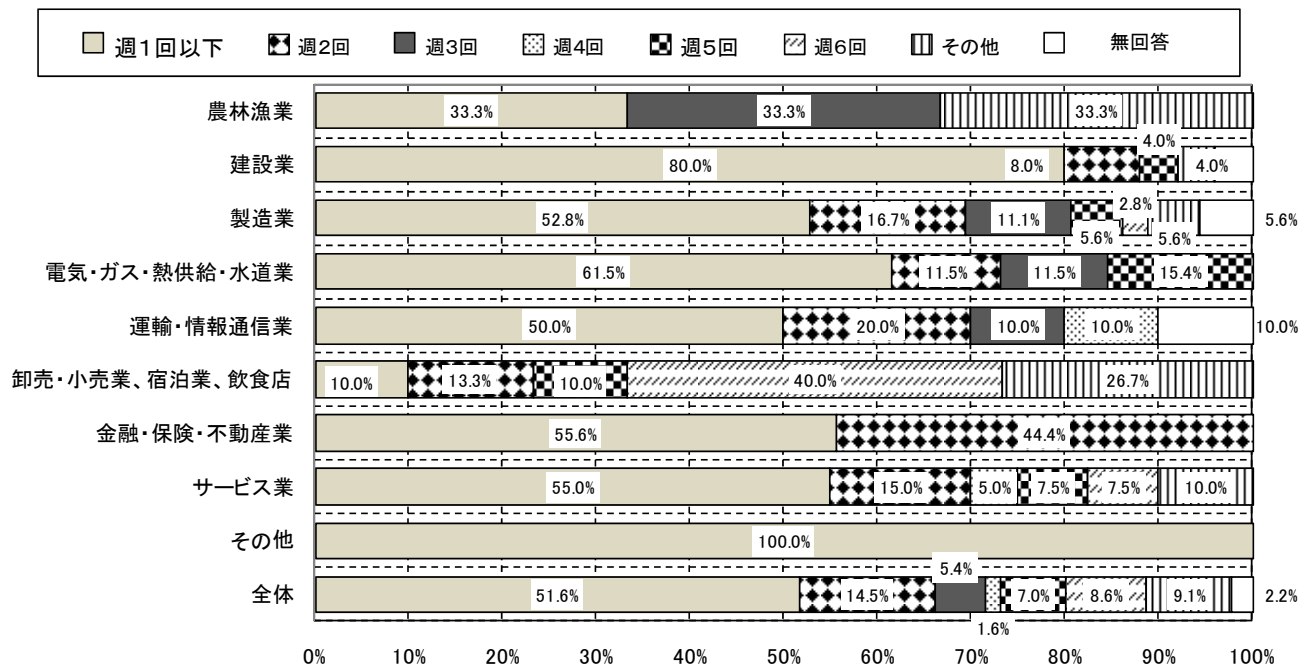


図 3-17 業種別 ごみの収集回数 回答率

2) -② 従業員数別クロス集計

問7 従業員数vs ごみ収集回数 (回答数)		1	2	3	4	5	6	7	99	計
		週1回以下	週2回	週3回	週4回	週5回	週6回	その他	無回答	
1	1~4人	32	4	3	0	2	2	6	1	50
2	5~9人	14	2	0	0	2	3	4	1	26
3	10~19人	13	5	3	1	2	3	5	0	32
4	20~29人	11	4	0	0	1	0	0	0	16
5	30~49人	9	3	1	1	0	3	0	0	17
6	50~99人	14	3	1	0	1	3	1	1	24
7	100~299人	2	6	2	0	5	1	1	0	17
8	300人以上	0	0	1	0	1	1	1	1	5
計		95	27	11	2	14	16	18	4	187
問7 従業員数vs ごみ収集回数 (回答率)		1	2	3	4	5	6	7	99	計
		週1回以下	週2回	週3回	週4回	週5回	週6回	その他	無回答	
1	1~4人	64.0%	8.0%	6.0%	0.0%	4.0%	4.0%	12.0%	2.0%	100.0%
2	5~9人	53.8%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	11.5%	15.4%	3.8%	100.0%
3	10~19人	40.6%	15.6%	9.4%	3.1%	6.3%	9.4%	15.6%	0.0%	100.0%
4	20~29人	68.8%	25.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
5	30~49人	52.9%	17.6%	5.9%	5.9%	0.0%	17.6%	0.0%	0.0%	100.0%
6	50~99人	58.3%	12.5%	4.2%	0.0%	4.2%	12.5%	4.2%	4.2%	100.0%
7	100~299人	11.8%	35.3%	11.8%	0.0%	29.4%	5.9%	5.9%	0.0%	100.0%
8	300人以上	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%
全体		50.8%	14.4%	5.9%	1.1%	7.5%	8.6%	9.6%	2.1%	100.0%

表 3-18 従業員数別 ごみの収集回数 回答率

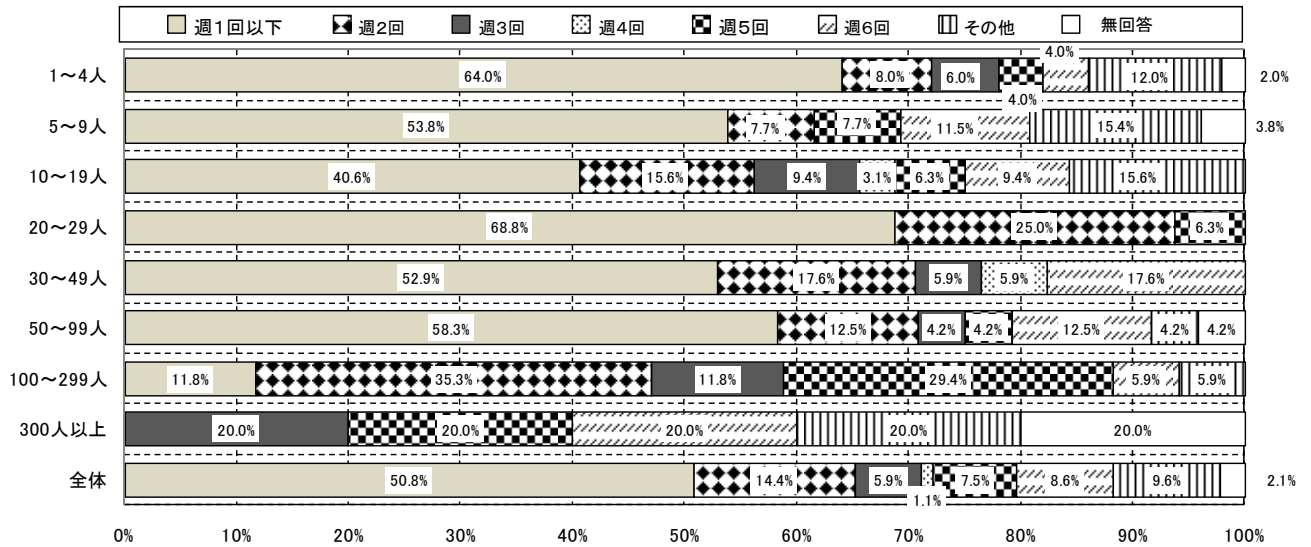


図 3-18 従業員数別 ごみの収集回数 回答率

問 8 (問 6 で「1 収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ)
 あなたの事業所では、ひと月あたりのごみ処理費はどのくらいですか？
 あてはまるものを 1 つ選び番号に○を付けてください。

ごみ処理費用は、「1 万～3 万円未満」が 24.9%で最も高く、次いで「3 万～5 万円未満」が 21.2%となっている。
 業種別では、「千円から 5 万円未満」の範囲の比率が高い。
 従業員数別では、規模が大きくなるにつれて金額が大きくなっている。

1) 単純集計

問 8	ごみ処理料金	回答数	回答率
1	千円未満	11	5.8%
2	千～5 千円未満	20	10.6%
3	5 千～1 万円未満	25	13.2%
4	1 万～3 万円未満	47	24.9%
5	3 万～5 万円未満	40	21.2%
6	5 万～10 万円未満	21	11.1%
7	10 万～30 万円未満	7	3.7%
8	30 万円以上	7	3.7%
99	無回答	11	5.8%
	計	189	100.0%

表 3-19 ごみ処理料金 回答状況

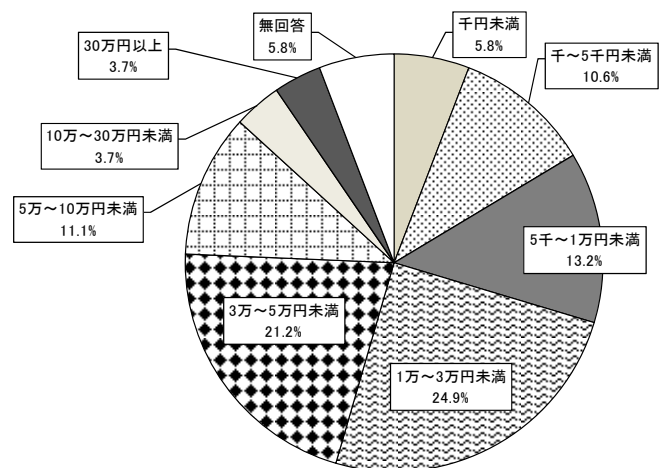


図 3-19 ごみ処理料金 回答率

2) -① 業種別クロス集計

問8 業種vsごみ処理費 (回答数)		1	2	3	4	5	6	7	8	99	計
		千円 未満	千～ 5千円 未満	5千～ 1万円 未満	1万～ 3万円 未満	3万～ 5万円 未満	5万～ 10万円 未満	10万～ 30万円 未満	30万円 以上	無回答	
1	農林漁業	0	2	0	0	2	1	0	0	1	6
2	建設業	1	5	5	8	3	1	0	0	1	24
3	製造業	2	2	4	8	6	7	4	1	2	36
4	電気・ガス・熱供給・水道業	1	0	1	4	18	1	0	0	1	26
5	運輸・情報通信業	1	1	1	2	2	1	1	0	1	10
6	卸売・小売業・宿泊業・飲食店	0	3	2	12	3	6	0	3	1	30
7	金融・保険・不動産業	0	2	3	2	0	0	0	1	1	9
8	サービス業	6	5	6	9	5	4	2	2	1	40
9	その他	0	0	2	1	1	0	0	0	1	5
計		11	20	24	46	40	21	7	7	10	186

問8 業種vsごみ処理費 (回答率)		1	2	3	4	5	6	7	8	99	計
		千円 未満	千～ 5千円 未満	5千～ 1万円 未満	1万～ 3万円 未満	3万～ 5万円 未満	5万～ 10万円 未満	10万～ 30万円 未満	30万円 以上	無回答	
1	農林漁業	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	100.0%
2	建設業	4.2%	20.8%	20.8%	33.3%	12.5%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	100.0%
3	製造業	5.6%	5.6%	11.1%	22.2%	16.7%	19.4%	11.1%	2.8%	5.6%	100.0%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	3.8%	0.0%	3.8%	15.4%	69.2%	3.8%	0.0%	0.0%	3.8%	100.0%
5	運輸・情報通信業	10.0%	10.0%	10.0%	20.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	100.0%
6	卸売・小売業・宿泊業・飲食店	0.0%	10.0%	6.7%	40.0%	10.0%	20.0%	0.0%	10.0%	3.3%	100.0%
7	金融・保険・不動産業	0.0%	22.2%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	100.0%
8	サービス業	15.0%	12.5%	15.0%	22.5%	12.5%	10.0%	5.0%	5.0%	2.5%	100.0%
9	その他	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%
全体		5.9%	10.8%	12.9%	24.7%	21.5%	11.3%	3.8%	3.8%	5.4%	100.0%

表 3-20 業種別 ごみ処理料金 回答状況

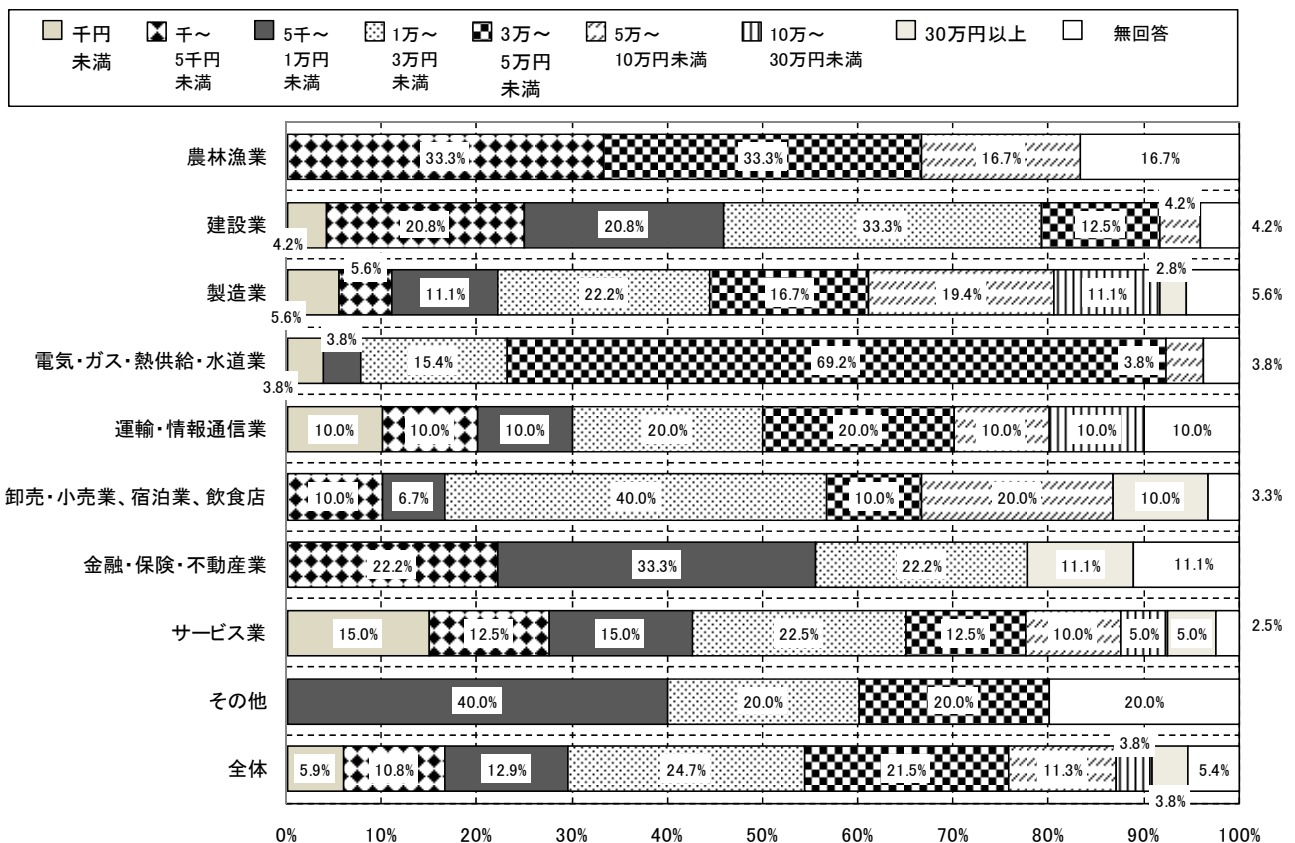


図 3-20 業種別 ごみ処理料金 回答率

2) -② 従業員数別クロス集計

問8 従業員数vs ごみ処理費 (回答数)		1	2	3	4	5	6	7	8	99	計
		千円 未満	千～ 5千円 未満	5千～ 1万円 未満	1万～ 3万円 未満	3万～ 5万円 未満	5万～ 10万円 未満	10万～ 30万円 未満	30万円 以上	無回答	
1	1～4人	9	9	15	10	2	1	0	0	4	50
2	5～9人	2	7	2	10	2	2	0	0	1	26
3	10～19人	0	3	5	10	7	2	1	1	3	32
4	20～29人	0	1	1	7	6	1	0	0	0	16
5	30～49人	0	0	1	4	6	5	1	0	0	17
6	50～99人	0	0	1	3	9	6	2	2	1	24
7	100～299人	0	0	0	2	8	4	2	1	0	17
8	300人以上	0	0	0	0	0	0	1	3	1	5
計		11	20	25	46	40	21	7	7	10	187
問8 従業員数vs ごみ処理費 (回答率)		1	2	3	4	5	6	7	8	99	計
		千円 未満	千～ 5千円 未満	5千～ 1万円 未満	1万～ 3万円 未満	3万～ 5万円 未満	5万～ 10万円 未満	10万～ 30万円 未満	30万円 以上	無回答	
1	1～4人	18.0%	18.0%	30.0%	20.0%	4.0%	2.0%	0.0%	0.0%	8.0%	100.0%
2	5～9人	7.7%	26.9%	7.7%	38.5%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	3.8%	100.0%
3	10～19人	0.0%	9.4%	15.6%	31.3%	21.9%	6.3%	3.1%	3.1%	9.4%	100.0%
4	20～29人	0.0%	6.3%	6.3%	43.8%	37.5%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
5	30～49人	0.0%	0.0%	5.9%	23.5%	35.3%	29.4%	5.9%	0.0%	0.0%	100.0%
6	50～99人	0.0%	0.0%	4.2%	12.5%	37.5%	25.0%	8.3%	8.3%	4.2%	100.0%
7	100～299人	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	47.1%	23.5%	11.8%	5.9%	0.0%	100.0%
8	300人以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	100.0%
全体		5.9%	10.7%	13.4%	24.6%	21.4%	11.2%	3.7%	3.7%	5.3%	100.0%

表 3-21 従業員数別 ごみ処理料金 回答状況

問 9	(問 6 で「1 収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ) ごみの処理料金はどのように決めていますか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。
-----	---

ごみ処理料金の決め方は、「月額・年額制」が40.7%で最も高く、次いで「従量制」の33.9%となっている。業種別、従業員数別でも最も高いのは、上記のいずれかとなっている。

1) 単純集計

問9	ごみ処理料金の決め方	回答数	回答率
1	従量制	64	33.9%
2	一定量同額、それ以上は従量制	34	18.0%
3	月額・年額制	77	40.7%
4	その他	9	4.8%
99	無回答	5	2.6%
計		189	100.0%

表 3-22 ごみ処理料金の決め方 回答状況

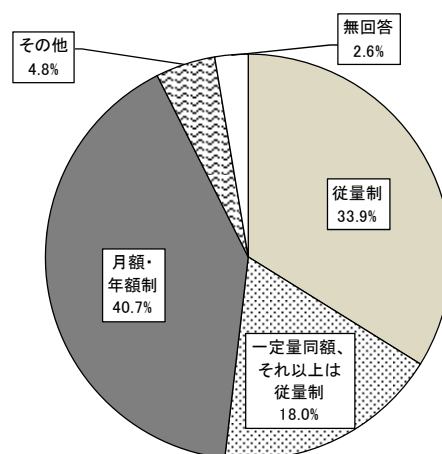


図 3-21 ごみ処理料金の決め方 回答率

2) -① 業種別クロス集計

問9 業種 v s ごみ料金の決め方 (回答数)		1	2	3	4	99	計
		従量制	一定量同額、 それ以上は 従量制	月額・ 年額制	その他	無回答	
1	農林漁業	5	1	0	0	0	6
2	建設業	11	8	4	1	1	25
3	製造業	17	7	9	2	1	36
4	電気・ガス・熱供給・水道業	4	3	16	3	0	26
5	運輸・情報通信業	2	3	4	0	1	10
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	4	3	21	1	1	30
7	金融・保険・不動産業	0	1	8	0	0	9
8	サービス業	20	5	12	2	1	40
9	その他	1	1	2	0	0	4
計		64	32	76	9	5	186

問9 業種 v s ごみ料金の決め方 (回答率)		1	2	3	4	99	計
		従量制	一定量同額、 それ以上は 従量制	月額・ 年額制	その他	無回答	
1	農林漁業	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2	建設業	44.0%	32.0%	16.0%	4.0%	4.0%	100.0%
3	製造業	47.2%	19.4%	25.0%	5.6%	2.8%	100.0%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	15.4%	11.5%	61.5%	11.5%	0.0%	100.0%
5	運輸・情報通信業	20.0%	30.0%	40.0%	0.0%	10.0%	100.0%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	13.3%	10.0%	70.0%	3.3%	3.3%	100.0%
7	金融・保険・不動産業	0.0%	11.1%	88.9%	0.0%	0.0%	100.0%
8	サービス業	50.0%	12.5%	30.0%	5.0%	2.5%	100.0%
9	その他	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全体		34.4%	17.2%	40.9%	4.8%	2.7%	100.0%

表 3-23 業種別 ごみ処理料金の決め方 回答状況

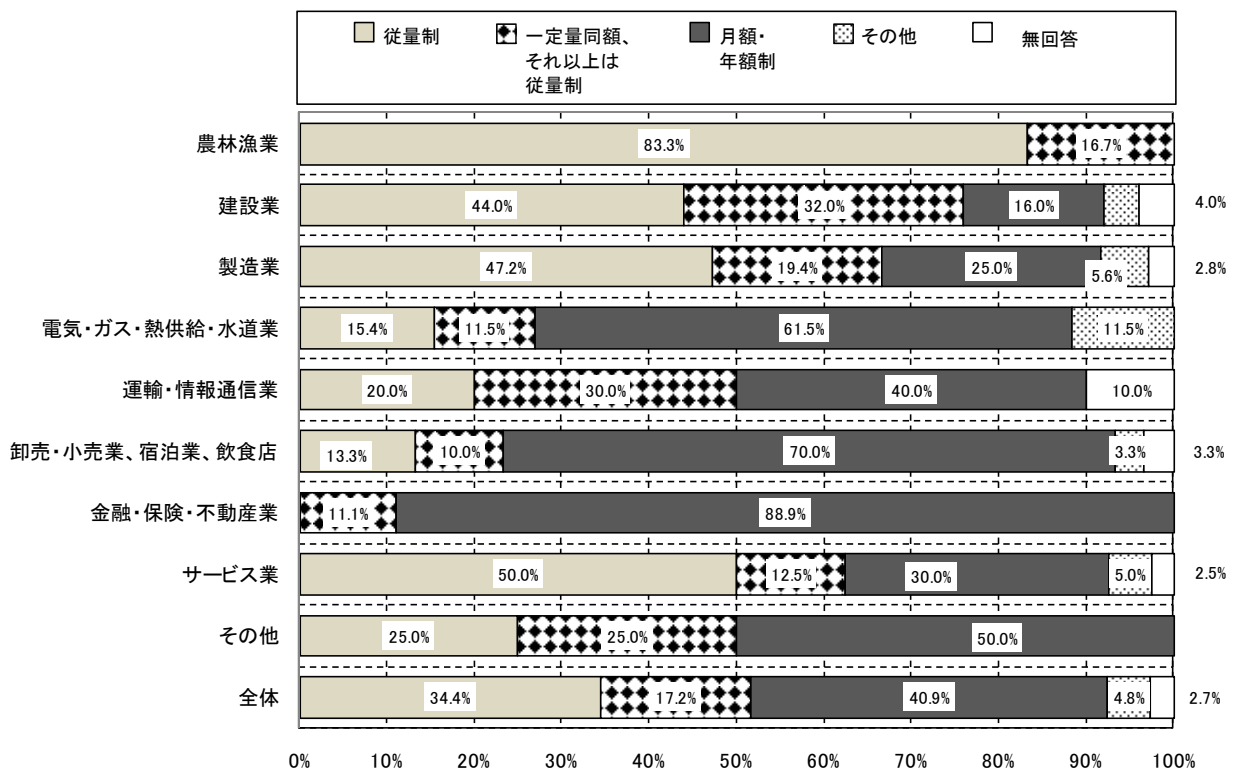


図 3-22 業種別 ごみ処理料金の決め方 回答率

2) -② 従業員数別クロス集計

問9 従業員数vs ごみの処理料金の決め方 (回答数)		1	2	3	4	99	計
		従量制	一定量同額、 それ以上は 従量制	月額・ 年額制	その他	無回答	
1	1~4人	20	12	14	1	3	50
2	5~9人	6	5	12	2	1	26
3	10~19人	13	3	15	1	0	32
4	20~29人	3	6	6	1	0	16
5	30~49人	5	2	10	0	0	17
6	50~99人	7	4	11	2	0	24
7	100~299人	6	1	9	1	0	17
8	300人以上	3	1	0	1	0	5
計		63	34	77	9	4	187
問9 従業員数vs ごみの処理料金の決め方 (回答率)		1	2	3	4	99	計
		従量制	一定量同額、 それ以上は 従量制	月額・ 年額制	その他	無回答	
1	1~4人	40.0%	24.0%	28.0%	2.0%	6.0%	100.0%
2	5~9人	23.1%	19.2%	46.2%	7.7%	3.8%	100.0%
3	10~19人	40.6%	9.4%	46.9%	3.1%	0.0%	100.0%
4	20~29人	18.8%	37.5%	37.5%	6.3%	0.0%	100.0%
5	30~49人	29.4%	11.8%	58.8%	0.0%	0.0%	100.0%
6	50~99人	29.2%	16.7%	45.8%	8.3%	0.0%	100.0%
7	100~299人	35.3%	5.9%	52.9%	5.9%	0.0%	100.0%
8	300人以上	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%
全体		33.7%	18.2%	41.2%	4.8%	2.1%	100.0%

表 3-24 従業員数別 ごみ処理料金の決め方 回答状況

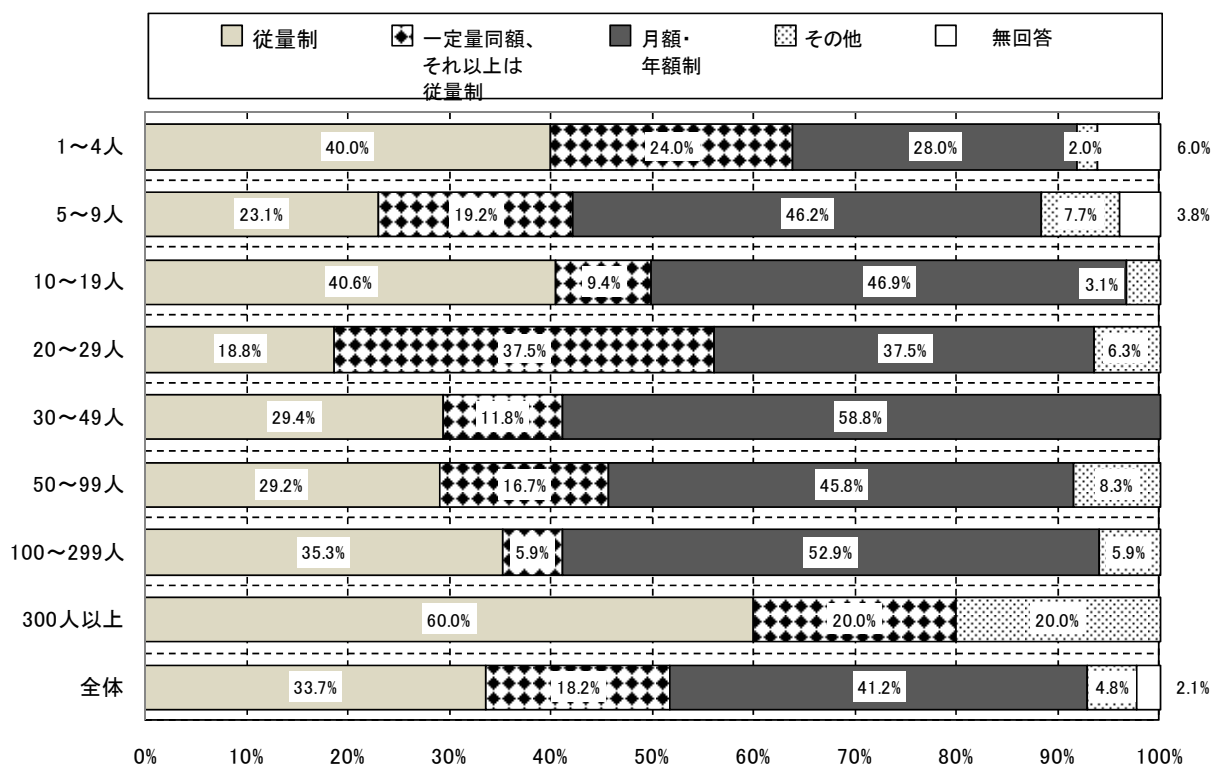


図 3-23 従業員数別 ごみ処理料金の決め方 回答率

問 10	(問 6 で「4 地域のごみ集積所に出している」と答えた方のみ) 収集運搬業者にごみ処理を委託せず、地域のごみ集積所に出すのはなぜですか？ あてはまるものを2つまで選び番号に○を付けてください。 (複数回答)
------	--

地域のごみ集積所に出す理由は、「事業に伴って出るごみが少ないため」が75.5%で最も高く、次いで「地域のごみ集積所に出しておけば、市町が収集してくれるため」が38.4%となっている。

業種別、従業員数別でも「事業に伴って出るごみが少ないため」が最も高くなっている。

1) 単純集計

問 10	地域のごみ集積所に出す理由	回答数	回答率
1	事業に伴って出るごみが少ないため	163	75.5%
2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	14	6.5%
3	業者に委託すると、ごみ処理にかかる経費負担が大きくなるため	3	1.4%
4	家庭ごみと事業ごみの区分けに手間がかかるため	6	2.8%
5	地域のごみ集積所に出しておけば、市町が収集してくれるため	83	38.4%
6	その他	8	3.7%
総回答数		277	128.2%
有効回答数		216	

表 3-25 従業員数別 地域のごみ集積所に出す理由 回答状況

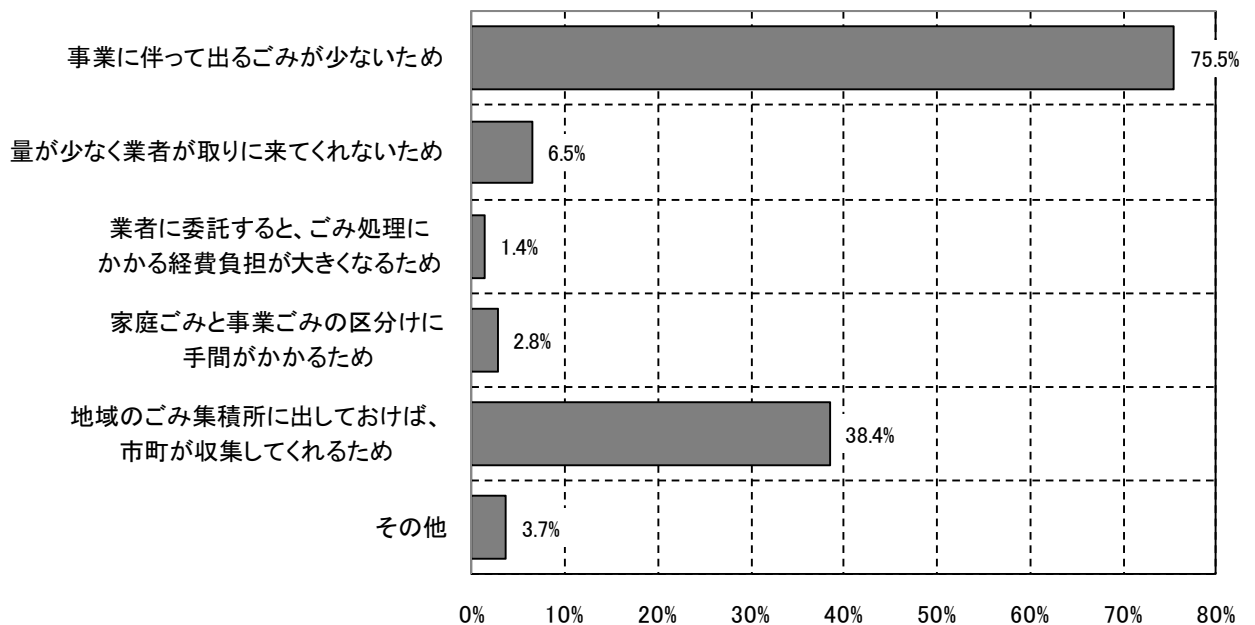


図 3-24 従業員数別 地域のごみ集積所に出す理由 回答率

2) -① 業種別クロス集計

業種番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率	
1	農林漁業	1	ごみが少ないため	11	84.6%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>ごみが少ないため 量が少なく業者が取りに来てくれないため 委託は経費負担が大きいため 家庭系・事業系の区分に手間がかかるため 市町が収集してくれるため その他</p>
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	1	7.7%	
		3	委託は経費負担が大きいため	0	0.0%	
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%	
		5	市町が収集してくれるため	3	23.1%	
		6	その他	0	0.0%	
			総回答数	総回答数	15	
	有効回答数	有効回答数	13			
2	建設業	1	ごみが少ないため	19	82.6%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>ごみが少ないため 量が少なく業者が取りに来てくれないため 委託は経費負担が大きいため 家庭系・事業系の区分に手間がかかるため 市町が収集してくれるため その他</p>
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	2	8.7%	
		3	委託は経費負担が大きいため	2	8.7%	
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	1	4.3%	
		5	市町が収集してくれるため	5	21.7%	
		6	その他	1	4.3%	
			総回答数	総回答数	30	
	有効回答数	有効回答数	23			
3	製造業	1	ごみが少ないため	18	90.0%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>ごみが少ないため 量が少なく業者が取りに来てくれないため 委託は経費負担が大きいため 家庭系・事業系の区分に手間がかかるため 市町が収集してくれるため その他</p>
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	0	0.0%	
		3	委託は経費負担が大きいため	0	0.0%	
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%	
		5	市町が収集してくれるため	6	30.0%	
		6	その他	1	5.0%	
			総回答数	総回答数	25	
	有効回答数	有効回答数	20			
4	電気 ガス 熱供給 水道業	1	ごみが少ないため	5	83.3%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>ごみが少ないため 量が少なく業者が取りに来てくれないため 委託は経費負担が大きいため 家庭系・事業系の区分に手間がかかるため 市町が収集してくれるため その他</p>
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	1	16.7%	
		3	委託は経費負担が大きいため	0	0.0%	
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%	
		5	市町が収集してくれるため	2	33.3%	
		6	その他	1	16.7%	
			総回答数	総回答数	9	
	有効回答数	有効回答数	6			
5	運輸 情報通信業	1	ごみが少ないため	7	77.8%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>ごみが少ないため 量が少なく業者が取りに来てくれないため 委託は経費負担が大きいため 家庭系・事業系の区分に手間がかかるため 市町が収集してくれるため その他</p>
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	0	0.0%	
		3	委託は経費負担が大きいため	1	11.1%	
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	2	22.2%	
		5	市町が収集してくれるため	2	22.2%	
		6	その他	0	0.0%	
			総回答数	総回答数	12	
	有効回答数	有効回答数	9			
6	卸売 小売業 宿泊業 飲食店	1	ごみが少ないため	35	77.8%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>ごみが少ないため 量が少なく業者が取りに来てくれないため 委託は経費負担が大きいため 家庭系・事業系の区分に手間がかかるため 市町が収集してくれるため その他</p>
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	2	4.4%	
		3	委託は経費負担が大きいため	0	0.0%	
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	1	2.2%	
		5	市町が収集してくれるため	20	44.4%	
		6	その他	2	4.4%	
			総回答数	総回答数	60	
	有効回答数	有効回答数	45			
7	金融 保険 不動産業	1	ごみが少ないため	9	60.0%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>ごみが少ないため 量が少なく業者が取りに来てくれないため 委託は経費負担が大きいため 家庭系・事業系の区分に手間がかかるため 市町が収集してくれるため その他</p>
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	3	20.0%	
		3	委託は経費負担が大きいため	0	0.0%	
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%	
		5	市町が収集してくれるため	5	33.3%	
		6	その他	0	0.0%	
			総回答数	総回答数	17	
	有効回答数	有効回答数	15			
8	サービス業	1	ごみが少ないため	49	74.2%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>ごみが少ないため 量が少なく業者が取りに来てくれないため 委託は経費負担が大きいため 家庭系・事業系の区分に手間がかかるため 市町が収集してくれるため その他</p>
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	4	6.1%	
		3	委託は経費負担が大きいため	0	0.0%	
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	2	3.0%	
		5	市町が収集してくれるため	30	45.5%	
		6	その他	2	3.0%	
			総回答数	総回答数	87	
	有効回答数	有効回答数	66			
9	その他	1	ごみが少ないため	8	66.7%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>ごみが少ないため 量が少なく業者が取りに来てくれないため 委託は経費負担が大きいため 家庭系・事業系の区分に手間がかかるため 市町が収集してくれるため その他</p>
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	1	8.3%	
		3	委託は経費負担が大きいため	0	0.0%	
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%	
		5	市町が収集してくれるため	6	50.0%	
		6	その他	0	0.0%	
			総回答数	総回答数	15	
	有効回答数	有効回答数	12			

表 3-26・図 3-25 業種別 地域のごみ集積所に出す理由 回答状況

2) -② 従業員数別クロス集計

番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率	
1	1~4人	1	ごみが少ないため	119	77.8%	
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	12	7.8%	
		3	委託は経費負担が大きい	2	1.3%	
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	3	2.0%	
		5	市町が収集してくれるため	54	35.3%	
		6	その他	5	3.3%	
		総回答数	総回答数	195		
		有効回答数	有効回答数	153	127.5%	
2	5~9人	1	ごみが少ないため	22	68.8%	
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	0	0.0%	
		3	委託は経費負担が大きい	1	3.1%	
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	3	9.4%	
		5	市町が収集してくれるため	15	46.9%	
		6	その他	1	3.1%	
		総回答数	総回答数	42		
		有効回答数	有効回答数	32	131.3%	
3	10~19人	1	ごみが少ないため	10	83.3%	
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	1	8.3%	
		3	委託は経費負担が大きい	0	0.0%	
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%	
		5	市町が収集してくれるため	5	41.7%	
		6	その他	1	8.3%	
		総回答数	総回答数	17		
		有効回答数	有効回答数	12	141.7%	
4	20~29人	1	ごみが少ないため	7	87.5%	
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	0	0.0%	
		3	委託は経費負担が大きい	0	0.0%	
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%	
		5	市町が収集してくれるため	1	12.5%	
		6	その他	0	0.0%	
		総回答数	総回答数	8		
		有効回答数	有効回答数	8	100.0%	
5	30~49人	1	ごみが少ないため	0	0.0%	
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	1	100.0%	
		3	委託は経費負担が大きい	0	0.0%	
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%	
		5	市町が収集してくれるため	1	100.0%	
		6	その他	0	0.0%	
		総回答数	総回答数	2		
		有効回答数	有効回答数	1	200.0%	
6	50~99人	1	ごみが少ないため	1	100.0%	
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	0	0.0%	
		3	委託は経費負担が大きい	0	0.0%	
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%	
		5	市町が収集してくれるため	0	0.0%	
		6	その他	0	0.0%	
		総回答数	総回答数	1		
		有効回答数	有効回答数	1	100.0%	
7	100~299人	1	ごみが少ないため	0	0.0%	
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	0	0.0%	
		3	委託は経費負担が大きい	0	0.0%	
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%	
		5	市町が収集してくれるため	0	0.0%	
		6	その他	0	0.0%	
		総回答数	総回答数	0		
		有効回答数	有効回答数	0	0.0%	
8	300人以上	1	ごみが少ないため	0	0.0%	
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	0	0.0%	
		3	委託は経費負担が大きい	0	0.0%	
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%	
		5	市町が収集してくれるため	0	0.0%	
		6	その他	0	0.0%	
		総回答数	総回答数	0		
		有効回答数	有効回答数	0	0.0%	
9	その他	1	ごみが少ないため	4	44.4%	
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	0	0.0%	
		3	委託は経費負担が大きい	0	0.0%	
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%	
		5	市町が収集してくれるため	7	77.8%	
		6	その他	1	11.1%	
		総回答数	総回答数	12		
		有効回答数	有効回答数	9	133.3%	

表 3-27・図 3-26 従業員数別 地域のごみ集積所に出す理由 回答状況

3-3 今後の方策や意向について

問 14	(今後あなたの事業所で特に減らしたいと考えているごみは何ですか？ あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。 (複数回答))
------	---

減らしたいごみは、「事務用紙（コピー用紙等）」が最も高く 32.1%、次いで「ダンボール」の 13.8%、「生ごみ・厨芥類」の 13.3%、「その他紙類」の 11.8%と続いている。また、「特に減らしたいと考えるごみはない」も 23.0%となっている。
業種別でも、業種によって違いはあるものの、ほぼ同じ傾向となっている。

1) 単純集計

問 14	減らしたいごみ	回答数	回答率
1	生ごみ・厨芥類	74	13.3%
2	木・草類	26	4.7%
3	新聞	16	2.9%
4	ダンボール	77	13.8%
5	雑誌・書籍	43	7.7%
6	事務用紙（コピー用紙等）	179	32.1%
7	その他紙類	66	11.8%
8	布類・繊維類	9	1.6%
9	空きびん	31	5.6%
10	空き缶	45	8.1%
11	ペットボトル	63	11.3%
12	その他プラスチック類	67	12.0%
13	その他	25	4.5%
14	特に減らしたいと考えるごみはない	128	23.0%
総回答数		849	152.4%
有効回答数		557	

表 3-28 減らしたいごみ 回答状況

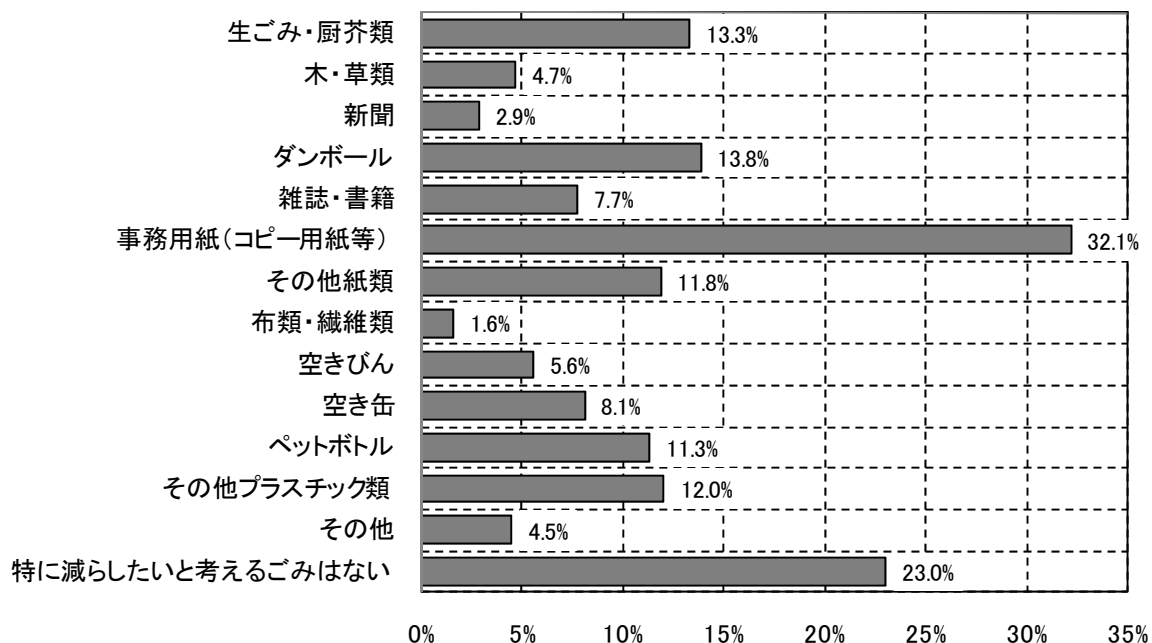


図 3-27 減らしたいごみ 回答率

2) -①-1 業種別クロス集計

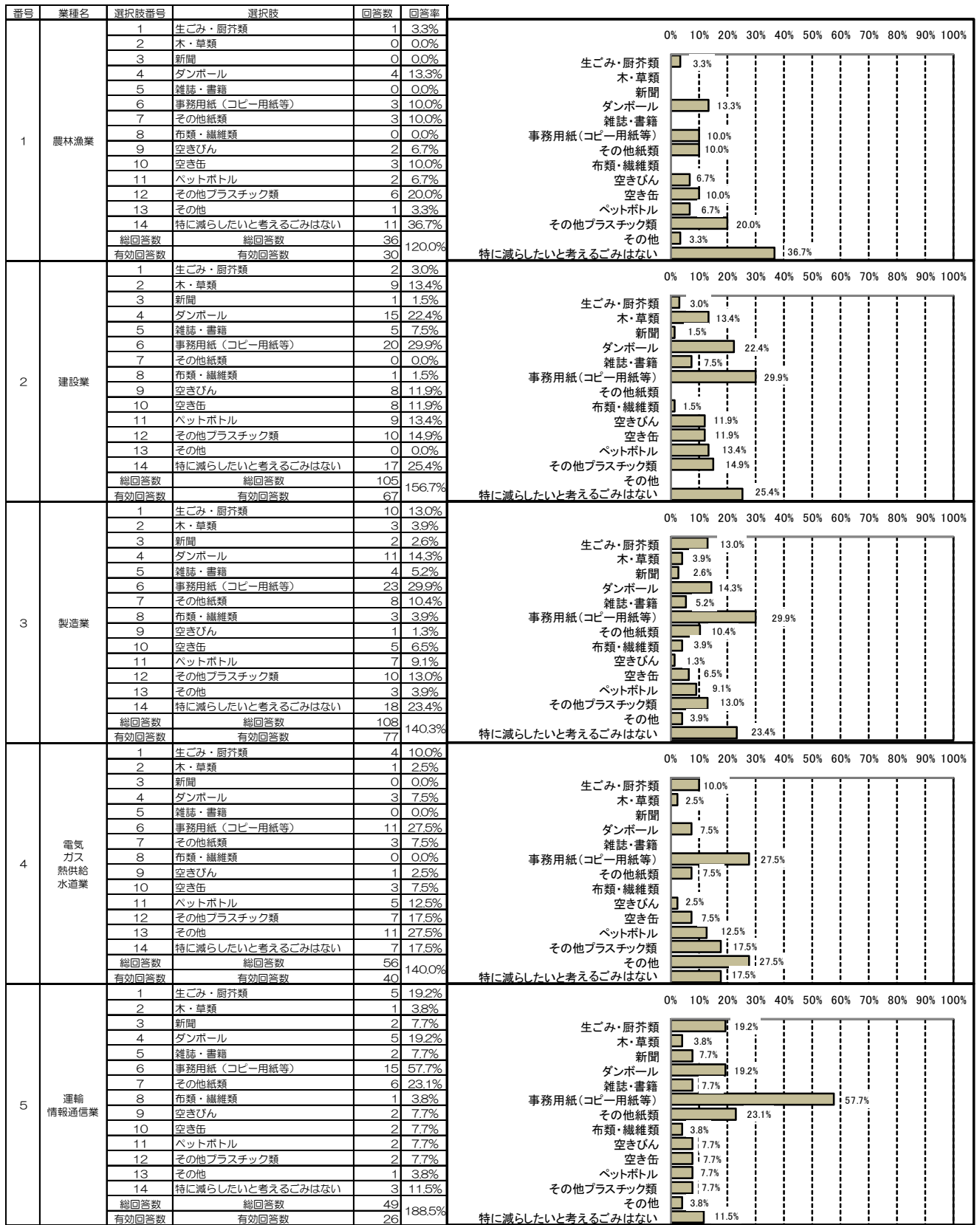


表 3-29・図 3-28 業種別 減らしたいごみ 回答状況 1

2) -①-2 業種別クロス集計

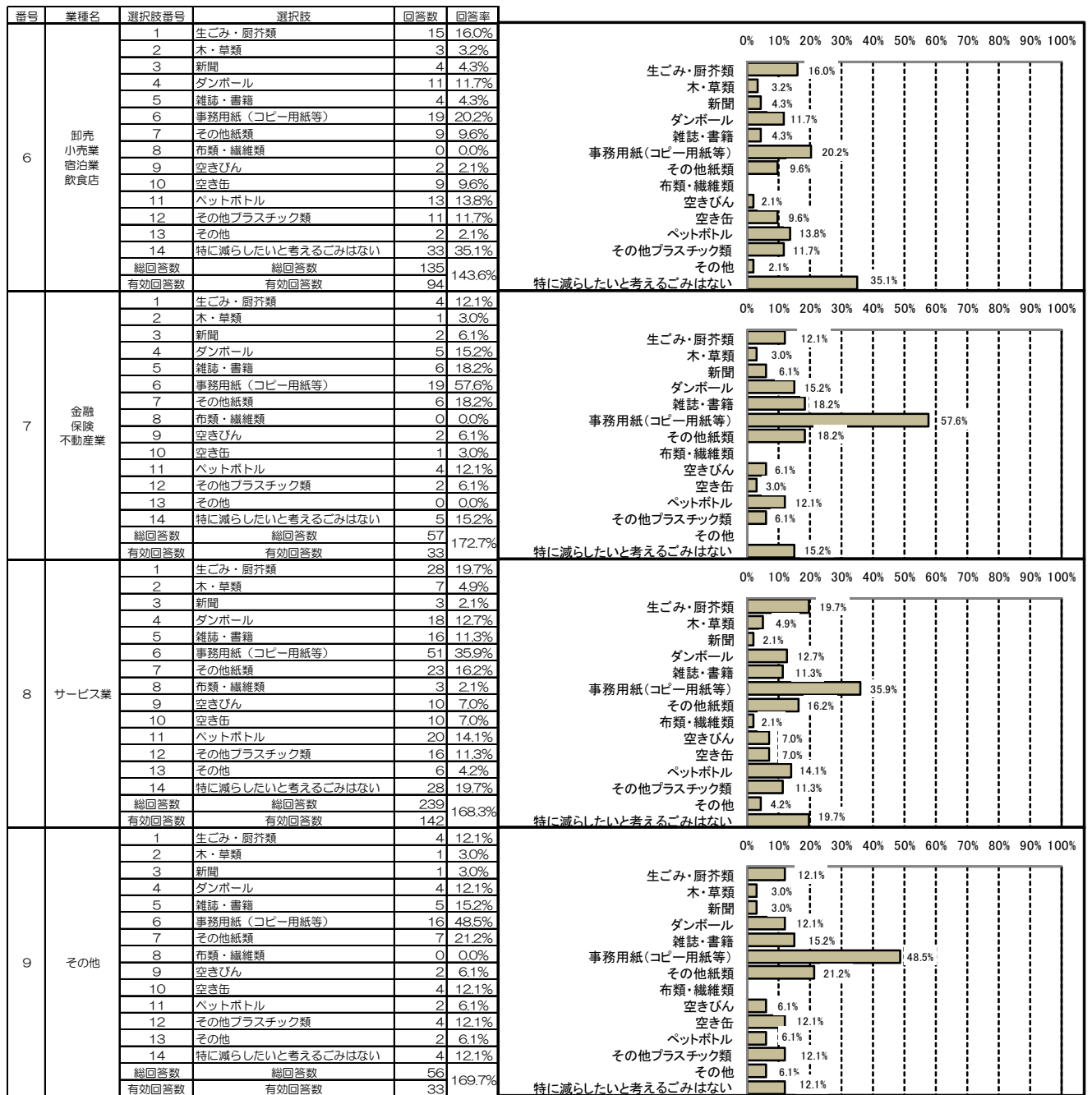


表 3-30・図 3-29 業種別 減らしたいごみ 回答状況 2

問 15	あなたの事業所では、ごみの減量目標は定めていますか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。
------	---

ごみ減量目標の設定では、「設定済み」は9.3%で非常に低く、また「設定するかどうかは不明」が68.2%を占める。業種別では、「設定済み」が10%を超えているのは「製造業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「その他」の3業種となっている。規模別では、規模が大きくなると「設定済み」の率が高くなっている。

1) 単純集計

問 15	ごみ減量目標の設定	回答数	回答率
1	設定済み	52	9.3%
2	設定予定あり	60	10.8%
3	設定するかどうかは不明	380	68.2%
99	無回答	65	11.7%
	計	557	100.0%

表 3-31 ごみの減量目標の設定 回答状況

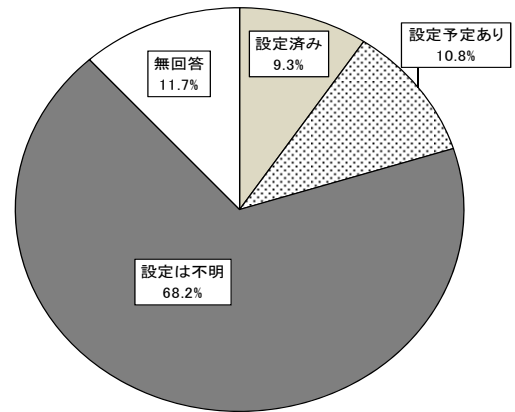


図 3-30 ごみ減量目標の設定 回答率

2) -① 業種別クロス集計

問15 業種vsごみの減量目標設定 (回答数)		1	2	3	99	計
		設定済み	設定予定あり	設定は不明	無回答	
1	農林漁業	1	3	21	5	30
2	建設業	3	10	50	4	67
3	製造業	11	7	54	5	77
4	電気・ガス・熱供給・水道業	5	3	19	13	40
5	運輸・情報通信業	2	5	17	2	26
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	9	9	71	5	94
7	金融・保険・不動産業	2	5	24	2	33
8	サービス業	14	16	102	10	142
9	その他	5	1	19	8	33
計		52	59	377	54	542
問15 業種vsごみの減量目標設定 (回答率)		1	2	3	99	計
		設定済み	設定予定あり	設定は不明	無回答	
1	農林漁業	3.3%	10.0%	70.0%	16.7%	100.0%
2	建設業	4.5%	14.9%	74.6%	6.0%	100.0%
3	製造業	14.3%	9.1%	70.1%	6.5%	100.0%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	12.5%	7.5%	47.5%	32.5%	100.0%
5	運輸・情報通信業	7.7%	19.2%	65.4%	7.7%	100.0%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	9.6%	9.6%	75.5%	5.3%	100.0%
7	金融・保険・不動産業	6.1%	15.2%	72.7%	6.1%	100.0%
8	サービス業	9.9%	11.3%	71.8%	7.0%	100.0%
9	その他	15.2%	3.0%	57.6%	24.2%	100.0%
全体		9.6%	10.9%	69.6%	10.0%	100.0%

表 3-32 業種別 ごみの減量目標の設定 回答状況

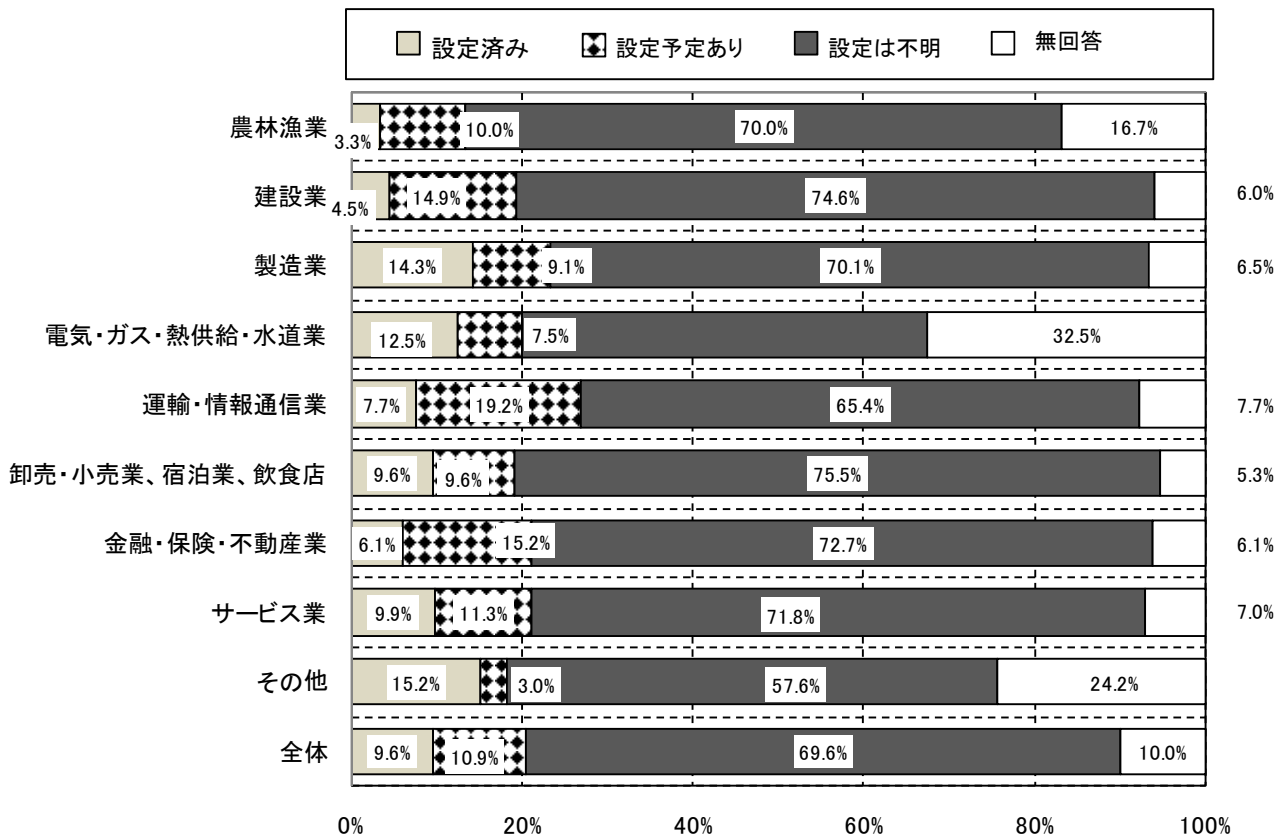


図 3-31 業種別 ごみの減量目標の設定 回答率

2) -② 従業員数別クロス集計

問15 従業員数vs ごみの削減目標設定 (回答数)		1	2	3	99	計
		設定済み	設定予定あり	設定は不明	無回答	
1	1~4人	16	27	202	32	277
2	5~9人	4	14	63	3	84
3	10~19人	9	8	42	4	63
4	20~29人	4	2	23	5	34
5	30~49人	4	2	15	4	25
6	50~99人	5	4	19	3	31
7	100~299人	6	1	10	2	19
8	300人以上	3	0	1	1	5
99	無回答	1	2	5	11	19
計		52	60	380	65	557
問15 従業員数vs ごみの削減目標設定 (回答率)		1	2	3	99	計
		設定済み	設定予定あり	設定は不明	無回答	
1	1~4人	5.8%	9.7%	72.9%	11.6%	100.0%
2	5~9人	4.8%	16.7%	75.0%	3.6%	100.0%
3	10~19人	14.3%	12.7%	66.7%	6.3%	100.0%
4	20~29人	11.8%	5.9%	67.6%	14.7%	100.0%
5	30~49人	16.0%	8.0%	60.0%	16.0%	100.0%
6	50~99人	16.1%	12.9%	61.3%	9.7%	100.0%
7	100~299人	31.6%	5.3%	52.6%	10.5%	100.0%
8	300人以上	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%	100.0%
全体		9.3%	10.8%	68.2%	11.7%	100.0%

表 3-33 従業員数別 ごみの減量目標の設定 回答状況

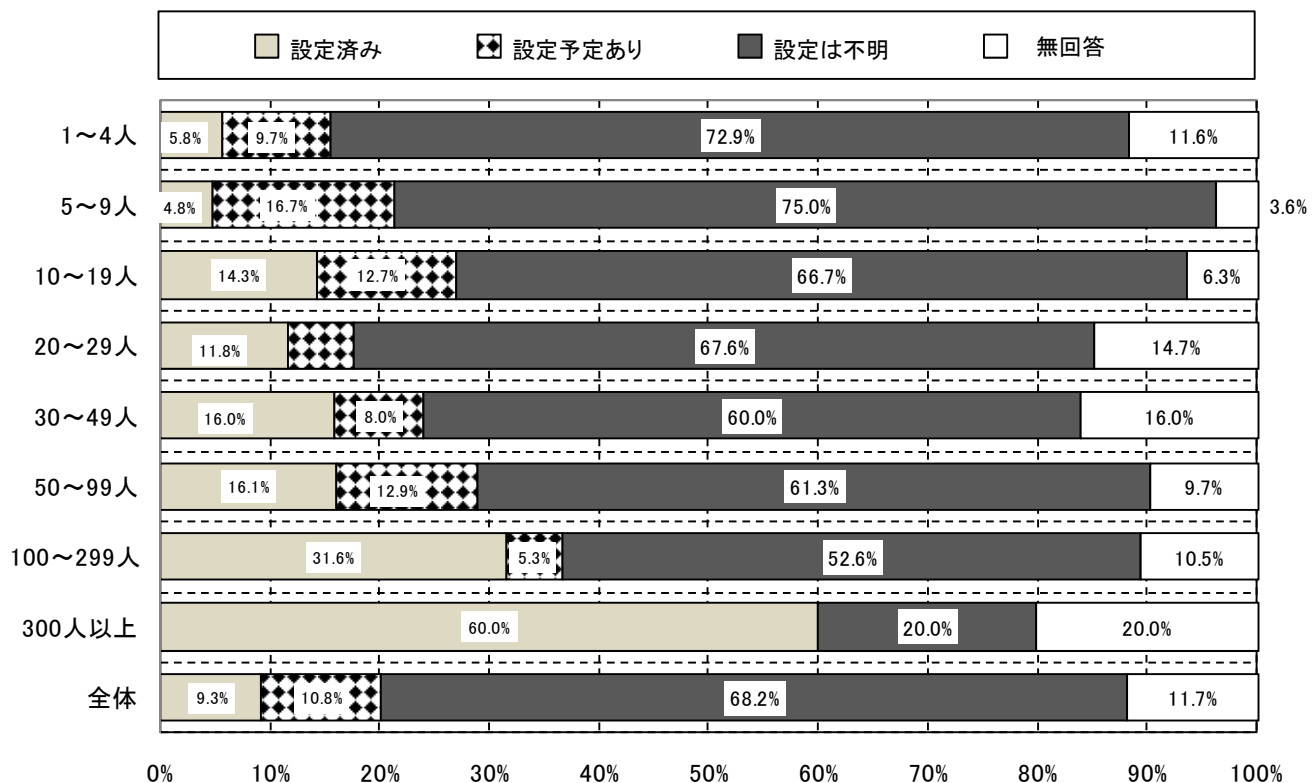


図 3-32 従業員数別 ごみの減量目標の設定 回答率

問 16	<p>あなたの事業所では、ごみを減らしたり、リサイクルを進めるにあたってどのような問題がありますか？</p> <p>あてはまるものを2つまで選び番号に○を付けてください。 （複数回答）</p>
------	--

リサイクルを進めるにあたっての問題点は、「リサイクルのシステムがつかれない」が最も高く35.0%、次いで「減量しても経費削減につながらない」、「減量と事業が両立しない」となっている。

業種別でも業種によって違いはあるが、ほぼ同じ傾向となっている。

規模別（従業員数別）では、「リサイクルのシステムがつかれない」と回答した事業者は、30人未満の小規模では最も高いが、規模が大きくなると、その割合が低くなっている。

1) 単純集計

問 16	リサイクルの問題点	回答数	回答率
1	具体的方法がわからない	53	9.5%
2	リサイクルのシステムがつかれない	195	35.0%
3	産業廃棄物の区分が障害	54	9.7%
4	減量しても経費削減につながらない	101	18.1%
5	事業系ごみのことがよくわからない	26	4.7%
6	減量と事業が両立しない	75	13.5%
7	その他	71	12.7%
総回答数		575	103.2%
有効回答数		557	

表 3-34 リサイクルを進めるにあたっての問題点 回答状況

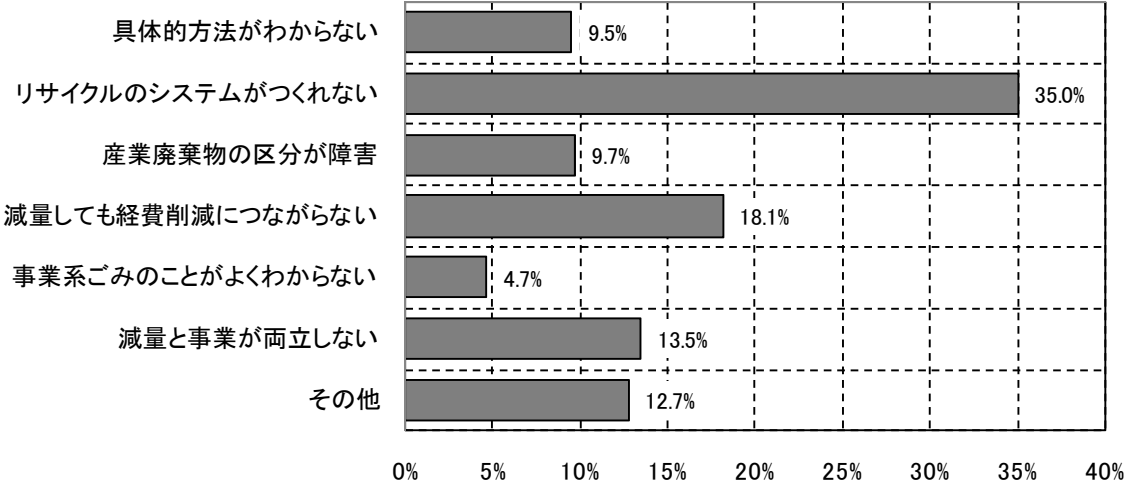


図 3-33 リサイクルを進めるにあたっての問題点 回答率

2) -① 業種別クロス集計

番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
1	農林漁業	1	具体的方法がわからない	2	6.7%
		2	リサイクルのシステムがつかれない	10	33.3%
		3	産業廃棄物の区分が障害	1	3.3%
		4	減量しても経費削減につながらない	4	13.3%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	0	0.0%
		6	減量と事業が両立しない	2	6.7%
		7	その他	3	10.0%
		総回答数	22	73.3%	
有効回答数	30				
2	建設業	1	具体的方法がわからない	2	3.0%
		2	リサイクルのシステムがつかれない	25	37.3%
		3	産業廃棄物の区分が障害	12	17.9%
		4	減量しても経費削減につながらない	13	19.4%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	5	7.5%
		6	減量と事業が両立しない	13	19.4%
		7	その他	4	6.0%
		総回答数	74	110.4%	
有効回答数	67				
3	製造業	1	具体的方法がわからない	9	11.7%
		2	リサイクルのシステムがつかれない	25	32.5%
		3	産業廃棄物の区分が障害	8	10.4%
		4	減量しても経費削減につながらない	12	15.6%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	3	3.9%
		6	減量と事業が両立しない	14	18.2%
		7	その他	11	14.3%
		総回答数	82	106.5%	
有効回答数	77				
4	電気 ガス 熱供給 水道業	1	具体的方法がわからない	1	2.5%
		2	リサイクルのシステムがつかれない	9	22.5%
		3	産業廃棄物の区分が障害	3	7.5%
		4	減量しても経費削減につながらない	8	20.0%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	1	2.5%
		6	減量と事業が両立しない	3	7.5%
		7	その他	10	25.0%
		総回答数	35	87.5%	
有効回答数	40				
5	運輸 情報 通信業	1	具体的方法がわからない	2	7.7%
		2	リサイクルのシステムがつかれない	8	30.8%
		3	産業廃棄物の区分が障害	5	19.2%
		4	減量しても経費削減につながらない	5	19.2%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	1	3.8%
		6	減量と事業が両立しない	3	11.5%
		7	その他	2	7.7%
		総回答数	26	100.0%	
有効回答数	26				
6	卸売 小売業 宿泊業 飲食店	1	具体的方法がわからない	10	10.6%
		2	リサイクルのシステムがつかれない	37	39.4%
		3	産業廃棄物の区分が障害	5	5.3%
		4	減量しても経費削減につながらない	19	20.2%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	4	4.3%
		6	減量と事業が両立しない	12	12.8%
		7	その他	15	16.0%
		総回答数	102	108.5%	
有効回答数	94				
7	金融 保険 不動産業	1	具体的方法がわからない	5	15.2%
		2	リサイクルのシステムがつかれない	15	45.5%
		3	産業廃棄物の区分が障害	1	3.0%
		4	減量しても経費削減につながらない	5	15.2%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	1	3.0%
		6	減量と事業が両立しない	4	12.1%
		7	その他	4	12.1%
		総回答数	35	106.1%	
有効回答数	33				
8	サービス業	1	具体的方法がわからない	17	12.0%
		2	リサイクルのシステムがつかれない	56	39.4%
		3	産業廃棄物の区分が障害	15	10.6%
		4	減量しても経費削減につながらない	29	20.4%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	10	7.0%
		6	減量と事業が両立しない	19	13.4%
		7	その他	16	11.3%
		総回答数	162	114.1%	
有効回答数	142				
9	その他	1	具体的方法がわからない	3	9.1%
		2	リサイクルのシステムがつかれない	8	24.2%
		3	産業廃棄物の区分が障害	4	12.1%
		4	減量しても経費削減につながらない	5	15.2%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	1	3.0%
		6	減量と事業が両立しない	4	12.1%
		7	その他	6	18.2%
		総回答数	31	93.9%	
有効回答数	33				

表 3-35・図 3-34 業種別 リサイクルを進めるにあたっての問題点 回答状況

2) -② 従業員数別クロス集計

番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率	
1	1~4人	1	具体的方法がわからない	20	7.2%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>具体的方法がわからない 7.2%</p> <p>リサイクルのシステムがつかれない 43.7%</p> <p>産業廃棄物の区分が障害 9.4%</p> <p>減量しても経費削減につながらない 10.5%</p> <p>事業系ごみのことがよくわからない 6.1%</p> <p>減量と事業が両立しない 7.9%</p> <p>その他 11.6%</p>
		2	リサイクルのシステムがつかれない	121	43.7%	
		3	産業廃棄物の区分が障害	26	9.4%	
		4	減量しても経費削減につながらない	29	10.5%	
		5	事業系ごみのことがよくわからない	17	6.1%	
		6	減量と事業が両立しない	22	7.9%	
		7	その他	32	11.6%	
		総回答数	総回答数	267	96.4%	
有効回答数	有効回答数	277				
2	5~9人	1	具体的方法がわからない	4	4.8%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>具体的方法がわからない 4.8%</p> <p>リサイクルのシステムがつかれない 33.3%</p> <p>産業廃棄物の区分が障害 8.3%</p> <p>減量しても経費削減につながらない 26.2%</p> <p>事業系ごみのことがよくわからない 2.4%</p> <p>減量と事業が両立しない 21.4%</p> <p>その他 9.5%</p>
		2	リサイクルのシステムがつかれない	28	33.3%	
		3	産業廃棄物の区分が障害	7	8.3%	
		4	減量しても経費削減につながらない	22	26.2%	
		5	事業系ごみのことがよくわからない	2	2.4%	
		6	減量と事業が両立しない	18	21.4%	
		7	その他	8	9.5%	
		総回答数	総回答数	89	106.0%	
有効回答数	有効回答数	84				
3	10~19人	1	具体的方法がわからない	10	15.9%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>具体的方法がわからない 15.9%</p> <p>リサイクルのシステムがつかれない 36.5%</p> <p>産業廃棄物の区分が障害 7.9%</p> <p>減量しても経費削減につながらない 28.6%</p> <p>事業系ごみのことがよくわからない 7.9%</p> <p>減量と事業が両立しない 15.9%</p> <p>その他 12.7%</p>
		2	リサイクルのシステムがつかれない	23	36.5%	
		3	産業廃棄物の区分が障害	5	7.9%	
		4	減量しても経費削減につながらない	18	28.6%	
		5	事業系ごみのことがよくわからない	5	7.9%	
		6	減量と事業が両立しない	10	15.9%	
		7	その他	8	12.7%	
		総回答数	総回答数	79	125.4%	
有効回答数	有効回答数	63				
4	20~29人	1	具体的方法がわからない	7	20.6%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>具体的方法がわからない 20.6%</p> <p>リサイクルのシステムがつかれない 20.6%</p> <p>産業廃棄物の区分が障害 8.8%</p> <p>減量しても経費削減につながらない 20.6%</p> <p>事業系ごみのことがよくわからない 0.0%</p> <p>減量と事業が両立しない 8.8%</p> <p>その他 23.5%</p>
		2	リサイクルのシステムがつかれない	7	20.6%	
		3	産業廃棄物の区分が障害	3	8.8%	
		4	減量しても経費削減につながらない	7	20.6%	
		5	事業系ごみのことがよくわからない	0	0.0%	
		6	減量と事業が両立しない	3	8.8%	
		7	その他	8	23.5%	
		総回答数	総回答数	35	102.9%	
有効回答数	有効回答数	34				
5	30~49人	1	具体的方法がわからない	1	4.0%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>具体的方法がわからない 4.0%</p> <p>リサイクルのシステムがつかれない 16.0%</p> <p>産業廃棄物の区分が障害 20.0%</p> <p>減量しても経費削減につながらない 32.0%</p> <p>事業系ごみのことがよくわからない 0.0%</p> <p>減量と事業が両立しない 36.0%</p> <p>その他 4.0%</p>
		2	リサイクルのシステムがつかれない	4	16.0%	
		3	産業廃棄物の区分が障害	5	20.0%	
		4	減量しても経費削減につながらない	8	32.0%	
		5	事業系ごみのことがよくわからない	0	0.0%	
		6	減量と事業が両立しない	9	36.0%	
		7	その他	1	4.0%	
		総回答数	総回答数	28	112.0%	
有効回答数	有効回答数	25				
6	50~99人	1	具体的方法がわからない	6	19.4%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>具体的方法がわからない 19.4%</p> <p>リサイクルのシステムがつかれない 22.6%</p> <p>産業廃棄物の区分が障害 3.2%</p> <p>減量しても経費削減につながらない 29.0%</p> <p>事業系ごみのことがよくわからない 3.2%</p> <p>減量と事業が両立しない 32.3%</p> <p>その他 19.4%</p>
		2	リサイクルのシステムがつかれない	7	22.6%	
		3	産業廃棄物の区分が障害	1	3.2%	
		4	減量しても経費削減につながらない	9	29.0%	
		5	事業系ごみのことがよくわからない	1	3.2%	
		6	減量と事業が両立しない	10	32.3%	
		7	その他	6	19.4%	
		総回答数	総回答数	40	129.0%	
有効回答数	有効回答数	31				
7	100~299人	1	具体的方法がわからない	3	15.8%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>具体的方法がわからない 15.8%</p> <p>リサイクルのシステムがつかれない 10.5%</p> <p>産業廃棄物の区分が障害 21.1%</p> <p>減量しても経費削減につながらない 26.3%</p> <p>事業系ごみのことがよくわからない 5.3%</p> <p>減量と事業が両立しない 10.5%</p> <p>その他 10.5%</p>
		2	リサイクルのシステムがつかれない	2	10.5%	
		3	産業廃棄物の区分が障害	4	21.1%	
		4	減量しても経費削減につながらない	5	26.3%	
		5	事業系ごみのことがよくわからない	1	5.3%	
		6	減量と事業が両立しない	2	10.5%	
		7	その他	2	10.5%	
		総回答数	総回答数	19	100.0%	
有効回答数	有効回答数	19				
8	300人以上	1	具体的方法がわからない	0	0.0%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>具体的方法がわからない 0.0%</p> <p>リサイクルのシステムがつかれない 0.0%</p> <p>産業廃棄物の区分が障害 60.0%</p> <p>減量しても経費削減につながらない 40.0%</p> <p>事業系ごみのことがよくわからない 0.0%</p> <p>減量と事業が両立しない 0.0%</p> <p>その他 40.0%</p>
		2	リサイクルのシステムがつかれない	0	0.0%	
		3	産業廃棄物の区分が障害	3	60.0%	
		4	減量しても経費削減につながらない	2	40.0%	
		5	事業系ごみのことがよくわからない	0	0.0%	
		6	減量と事業が両立しない	0	0.0%	
		7	その他	2	40.0%	
		総回答数	総回答数	7	140.0%	
有効回答数	有効回答数	5				

表 3-36・図 3-35 従業員数別 リサイクルを進めるにあたっての問題点 回答状況

問 17	ごみに関する情報を、あなたの事業所はどのような方法で手に入れていますか？ あてはまるものを3つまで選び番号に○を付けてください。 (複数回答)
------	--

情報入手方法は、「市町の広報やパンフレットを通じて」が最も高く69.7%であり、次いで「新聞やマスコミを通じて」が25.1%、「処理業者からの情報を通じて」が22.4%となっている。業種別でも、いずれの業種も「市町の広報やパンフレットを通じて」が50%で最も高い。規模別（従業員数別）では、規模が大きくなると「処理業者からの情報を通じて」の比率が増加している。

1) 単純集計

問 17	情報入手方法	回答数	回答率
1	市町の広報やパンフレットを通じて	388	69.7%
2	市町のホームページを通じて	62	11.1%
3	市町等主催の説明会を通じて	36	6.5%
4	市町の訪問指導を通じて	5	0.9%
5	新聞やマスコミを通じて	140	25.1%
6	業界からの情報を通じて	76	13.6%
7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	41	7.4%
8	処理業者からの情報を通じて	125	22.4%
9	その他	20	3.6%
総回答数		893	160.3%
有効回答数		557	

表 3-37 情報入手方法 回答状況

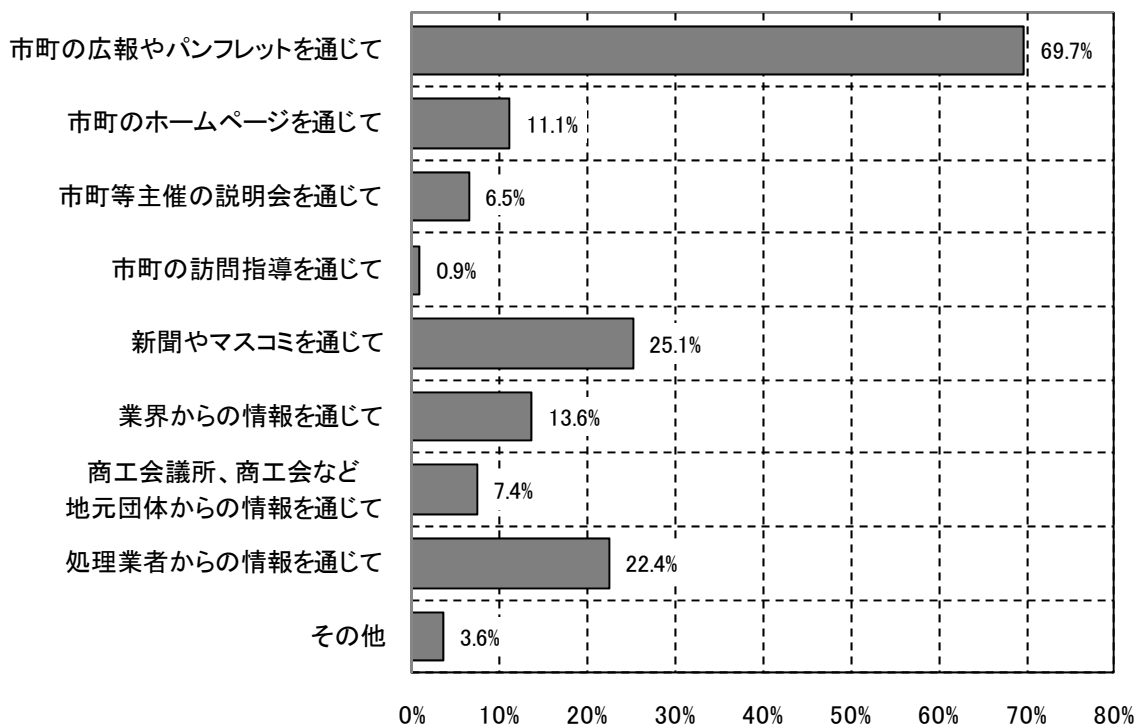


図 3-36 情報入手方法 回答率

2) -① 業種別クロス集計

番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率	
1	農林漁業	1	市町の広報やパンフレットを通じて	16	53.3%	
		2	市町のホームページを通じて	2	6.7%	
		3	市町等主催の説明会を通じて	3	10.0%	
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%	
		5	新聞やマスコミを通じて	3	10.0%	
		6	業界からの情報を通じて	4	13.3%	
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	2	6.7%	
		8	処理業者からの情報を通じて	6	20.0%	
		9	その他	2	6.7%	
			総回答数		38	
	有効回答数		30			
2	建設業	1	市町の広報やパンフレットを通じて	46	68.7%	
		2	市町のホームページを通じて	11	16.4%	
		3	市町等主催の説明会を通じて	3	4.5%	
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%	
		5	新聞やマスコミを通じて	12	17.9%	
		6	業界からの情報を通じて	15	22.4%	
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	1	1.5%	
		8	処理業者からの情報を通じて	24	35.8%	
		9	その他	1	1.5%	
			総回答数		113	
	有効回答数		67			
3	製造業	1	市町の広報やパンフレットを通じて	45	58.4%	
		2	市町のホームページを通じて	8	10.4%	
		3	市町等主催の説明会を通じて	4	5.2%	
		4	市町の訪問指導を通じて	1	1.3%	
		5	新聞やマスコミを通じて	21	27.3%	
		6	業界からの情報を通じて	12	15.6%	
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	13	16.9%	
		8	処理業者からの情報を通じて	23	29.9%	
		9	その他	5	6.5%	
			総回答数		132	
	有効回答数		77			
4	電気 小売業 徳泊業 飲食店	1	市町の広報やパンフレットを通じて	31	77.5%	
		2	市町のホームページを通じて	16	40.0%	
		3	市町等主催の説明会を通じて	1	2.5%	
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%	
		5	新聞やマスコミを通じて	18	45.0%	
		6	業界からの情報を通じて	6	15.0%	
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	3	7.5%	
		8	処理業者からの情報を通じて	10	25.0%	
		9	その他	2	5.0%	
			総回答数		87	
	有効回答数		40			
5	運輸 情報 通信業	1	市町の広報やパンフレットを通じて	18	69.2%	
		2	市町のホームページを通じて	2	7.7%	
		3	市町等主催の説明会を通じて	1	3.8%	
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%	
		5	新聞やマスコミを通じて	6	23.1%	
		6	業界からの情報を通じて	5	19.2%	
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	3	11.5%	
		8	処理業者からの情報を通じて	7	26.9%	
		9	その他	0	0.0%	
			総回答数		42	
	有効回答数		26			
6	卸売 小売業 徳泊業 飲食店	1	市町の広報やパンフレットを通じて	66	70.2%	
		2	市町のホームページを通じて	3	3.2%	
		3	市町等主催の説明会を通じて	8	8.5%	
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%	
		5	新聞やマスコミを通じて	24	25.5%	
		6	業界からの情報を通じて	7	7.4%	
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	5	5.3%	
		8	処理業者からの情報を通じて	22	23.4%	
		9	その他	4	4.3%	
			総回答数		139	
	有効回答数		94			
7	金融 保険 不動産業	1	市町の広報やパンフレットを通じて	29	87.9%	
		2	市町のホームページを通じて	2	6.1%	
		3	市町等主催の説明会を通じて	2	6.1%	
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%	
		5	新聞やマスコミを通じて	9	27.3%	
		6	業界からの情報を通じて	1	3.0%	
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	1	3.0%	
		8	処理業者からの情報を通じて	2	6.1%	
		9	その他	0	0.0%	
			総回答数		46	
	有効回答数		33			
8	サービス業	1	市町の広報やパンフレットを通じて	108	76.1%	
		2	市町のホームページを通じて	12	8.5%	
		3	市町等主催の説明会を通じて	11	7.7%	
		4	市町の訪問指導を通じて	3	2.1%	
		5	新聞やマスコミを通じて	38	26.8%	
		6	業界からの情報を通じて	20	14.1%	
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	9	6.3%	
		8	処理業者からの情報を通じて	26	18.3%	
		9	その他	4	2.8%	
			総回答数		231	
	有効回答数		142			
9	その他	1	市町の広報やパンフレットを通じて	24	72.7%	
		2	市町のホームページを通じて	6	18.2%	
		3	市町等主催の説明会を通じて	3	9.1%	
		4	市町の訪問指導を通じて	1	3.0%	
		5	新聞やマスコミを通じて	5	15.2%	
		6	業界からの情報を通じて	4	12.1%	
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	3	9.1%	
		8	処理業者からの情報を通じて	4	12.1%	
		9	その他	2	6.1%	
			総回答数		52	
	有効回答数		33			

表 3-38・図 3-37 業種別 情報入手方法 回答状況

2) -② 従業員数別クロス集計

番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率	
1	1~4人	1	市町の広報やパンフレットを通じて	213	76.9%	
		2	市町のホームページを通じて	21	7.6%	
		3	市町等主催の説明会を通じて	21	7.6%	
		4	市町の訪問指導を通じて	2	0.7%	
		5	新聞やマスコミを通じて	72	26.0%	
		6	業界からの情報を通じて	32	11.6%	
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	20	7.2%	
		8	処理業者からの情報を通じて	37	13.4%	
		9	その他	9	3.2%	
			総回答数		427	
	有効回答数		277	154.2%		
2	5~9人	1	市町の広報やパンフレットを通じて	57	67.9%	
		2	市町のホームページを通じて	10	11.9%	
		3	市町等主催の説明会を通じて	4	4.8%	
		4	市町の訪問指導を通じて	2	2.4%	
		5	新聞やマスコミを通じて	15	17.9%	
		6	業界からの情報を通じて	12	14.3%	
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	11	13.1%	
		8	処理業者からの情報を通じて	20	23.8%	
		9	その他	2	2.4%	
			総回答数		133	
	有効回答数		84	158.3%		
3	10~19人	1	市町の広報やパンフレットを通じて	41	65.1%	
		2	市町のホームページを通じて	5	7.9%	
		3	市町等主催の説明会を通じて	2	3.2%	
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%	
		5	新聞やマスコミを通じて	13	20.6%	
		6	業界からの情報を通じて	13	20.6%	
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	4	6.3%	
		8	処理業者からの情報を通じて	20	31.7%	
		9	その他	3	4.8%	
			総回答数		101	
	有効回答数		63	160.3%		
4	20~29人	1	市町の広報やパンフレットを通じて	27	79.4%	
		2	市町のホームページを通じて	5	14.7%	
		3	市町等主催の説明会を通じて	2	5.9%	
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%	
		5	新聞やマスコミを通じて	9	26.5%	
		6	業界からの情報を通じて	3	8.8%	
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	2	5.9%	
		8	処理業者からの情報を通じて	9	26.5%	
		9	その他	0	0.0%	
			総回答数		57	
	有効回答数		34	167.6%		
5	30~49人	1	市町の広報やパンフレットを通じて	12	48.0%	
		2	市町のホームページを通じて	4	16.0%	
		3	市町等主催の説明会を通じて	3	12.0%	
		4	市町の訪問指導を通じて	1	4.0%	
		5	新聞やマスコミを通じて	5	20.0%	
		6	業界からの情報を通じて	3	12.0%	
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	4	16.0%	
		8	処理業者からの情報を通じて	12	48.0%	
		9	その他	0	0.0%	
			総回答数		44	
	有効回答数		25	176.0%		
6	50~99人	1	市町の広報やパンフレットを通じて	15	48.4%	
		2	市町のホームページを通じて	8	25.8%	
		3	市町等主催の説明会を通じて	3	9.7%	
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%	
		5	新聞やマスコミを通じて	12	38.7%	
		6	業界からの情報を通じて	7	22.6%	
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	0	0.0%	
		8	処理業者からの情報を通じて	16	51.6%	
		9	その他	1	3.2%	
			総回答数		62	
	有効回答数		31	200.0%		
7	100~299人	1	市町の広報やパンフレットを通じて	12	63.2%	
		2	市町のホームページを通じて	7	36.8%	
		3	市町等主催の説明会を通じて	0	0.0%	
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%	
		5	新聞やマスコミを通じて	10	52.6%	
		6	業界からの情報を通じて	5	26.3%	
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	0	0.0%	
		8	処理業者からの情報を通じて	8	42.1%	
		9	その他	2	10.5%	
			総回答数		44	
	有効回答数		19	231.6%		
8	300人以上	1	市町の広報やパンフレットを通じて	3	60.0%	
		2	市町のホームページを通じて	1	20.0%	
		3	市町等主催の説明会を通じて	0	0.0%	
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%	
		5	新聞やマスコミを通じて	1	20.0%	
		6	業界からの情報を通じて	1	20.0%	
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	0	0.0%	
		8	処理業者からの情報を通じて	3	60.0%	
		9	その他	2	40.0%	
			総回答数		11	
	有効回答数		5	220.0%		

表 3-39・図 3-38 従業員数別 情報入手方法 回答状況

問 18	今後の具体的なごみ減量やリサイクルの取組を検討するうえでぜひほしいと思う情報はありますか？ あてはまるものを3つまで選び番号に○を付けてください。 (複数回答)
------	---

欲しい情報では、「成功事例・失敗事例」、「処理業者・資源回収業者情報」、「県・市町の環境関連事業」が27～29%となっている。また、「特になし」が26.8%となっている。業種別では、業種によって違いは見られるものの、ほぼ同じ傾向を示している。規模別（従業員数別）も同様の傾向である。

1) 単純集計

問 18	欲しい情報	回答数	回答率
1	処理業者・資源回収業者情報	158	28.4%
2	法律等の規制情報	117	21.0%
3	県・市町の環境関連事業	151	27.1%
4	国や県等の動向	79	14.2%
5	成功事例・失敗事例	161	28.9%
6	CO ₂ 削減に関する情報	54	9.7%
7	その他	7	1.3%
8	特になし	149	26.8%
総回答数		876	157.3%
有効回答数		557	

表 3-40 欲しい情報 回答状況

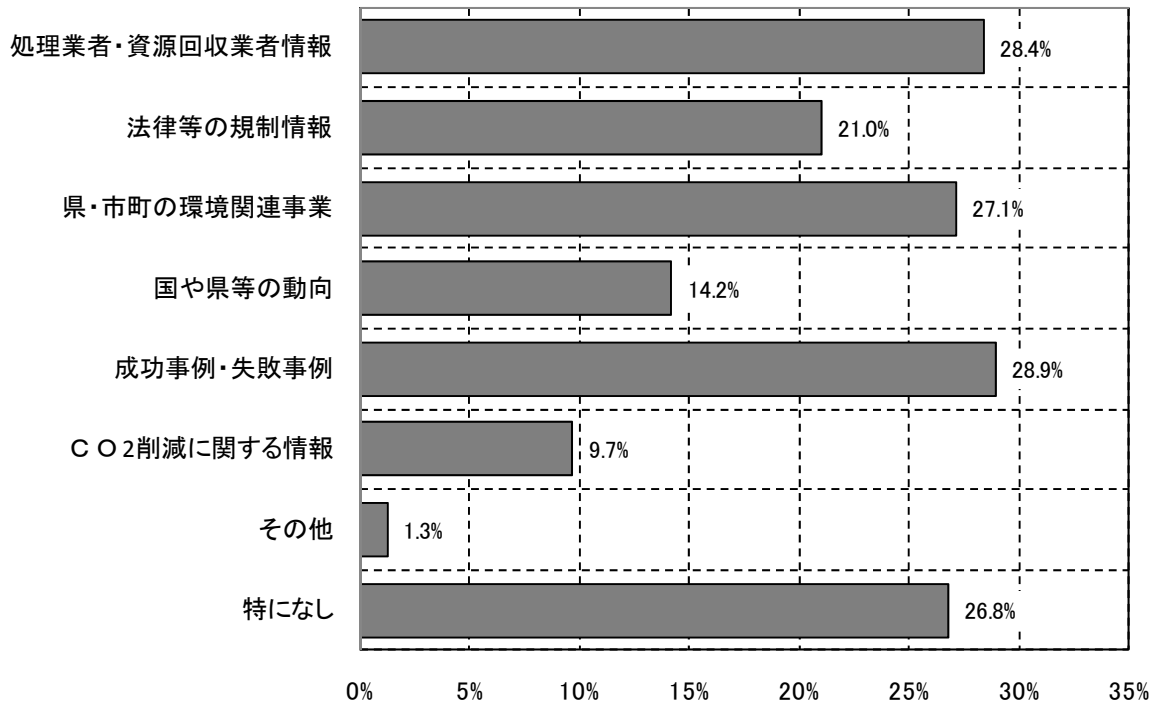


図 3-39 欲しい情報 回答率

2) -① 業種別クロス集計

番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率	
1	農林漁業	1	処理業者・資源回収業者情報	3	10.0%	<p>処理業者・資源回収業者情報 10.0%</p> <p>法律等の規制情報 6.7%</p> <p>県・市町の環境関連事業 13.3%</p> <p>国や県等の動向 13.3%</p> <p>成功事例・失敗事例 20.0%</p> <p>CO2削減に関する情報 3.3%</p> <p>その他 0.0%</p> <p>特になし 40.0%</p>
		2	法律等の規制情報	2	6.7%	
		3	県・市町の環境関連事業	4	13.3%	
		4	国や県等の動向	4	13.3%	
		5	成功事例・失敗事例	6	20.0%	
		6	CO2削減に関する情報	1	3.3%	
		7	その他	0	0.0%	
		8	特になし	12	40.0%	
		総回答数	総回答数	32		
		有効回答数	有効回答数	30	106.7%	
2	建設業	1	処理業者・資源回収業者情報	28	41.8%	<p>処理業者・資源回収業者情報 41.8%</p> <p>法律等の規制情報 14.9%</p> <p>県・市町の環境関連事業 32.8%</p> <p>国や県等の動向 16.4%</p> <p>成功事例・失敗事例 20.9%</p> <p>CO2削減に関する情報 10.4%</p> <p>その他 1.5%</p> <p>特になし 25.4%</p>
		2	法律等の規制情報	10	14.9%	
		3	県・市町の環境関連事業	22	32.8%	
		4	国や県等の動向	11	16.4%	
		5	成功事例・失敗事例	14	20.9%	
		6	CO2削減に関する情報	7	10.4%	
		7	その他	1	1.5%	
		8	特になし	17	25.4%	
		総回答数	総回答数	110		
		有効回答数	有効回答数	67	164.2%	
3	製造業	1	処理業者・資源回収業者情報	23	29.9%	<p>処理業者・資源回収業者情報 29.9%</p> <p>法律等の規制情報 26.0%</p> <p>県・市町の環境関連事業 29.9%</p> <p>国や県等の動向 20.8%</p> <p>成功事例・失敗事例 32.5%</p> <p>CO2削減に関する情報 6.5%</p> <p>その他 1.3%</p> <p>特になし 23.4%</p>
		2	法律等の規制情報	20	26.0%	
		3	県・市町の環境関連事業	23	29.9%	
		4	国や県等の動向	16	20.8%	
		5	成功事例・失敗事例	25	32.5%	
		6	CO2削減に関する情報	5	6.5%	
		7	その他	1	1.3%	
		8	特になし	18	23.4%	
		総回答数	総回答数	131		
		有効回答数	有効回答数	77	170.1%	
4	電気 ガス 熱供給 水道業	1	処理業者・資源回収業者情報	9	22.5%	<p>処理業者・資源回収業者情報 22.5%</p> <p>法律等の規制情報 47.5%</p> <p>県・市町の環境関連事業 25.0%</p> <p>国や県等の動向 40.0%</p> <p>成功事例・失敗事例 60.0%</p> <p>CO2削減に関する情報 10.0%</p> <p>その他 0.0%</p> <p>特になし 10.0%</p>
		2	法律等の規制情報	19	47.5%	
		3	県・市町の環境関連事業	10	25.0%	
		4	国や県等の動向	16	40.0%	
		5	成功事例・失敗事例	24	60.0%	
		6	CO2削減に関する情報	4	10.0%	
		7	その他	0	0.0%	
		8	特になし	4	10.0%	
		総回答数	総回答数	86		
		有効回答数	有効回答数	40	215.0%	
5	運輸 情報通信業	1	処理業者・資源回収業者情報	11	42.3%	<p>処理業者・資源回収業者情報 42.3%</p> <p>法律等の規制情報 26.9%</p> <p>県・市町の環境関連事業 46.2%</p> <p>国や県等の動向 11.5%</p> <p>成功事例・失敗事例 30.8%</p> <p>CO2削減に関する情報 15.4%</p> <p>その他 0.0%</p> <p>特になし 15.4%</p>
		2	法律等の規制情報	7	26.9%	
		3	県・市町の環境関連事業	12	46.2%	
		4	国や県等の動向	3	11.5%	
		5	成功事例・失敗事例	8	30.8%	
		6	CO2削減に関する情報	4	15.4%	
		7	その他	0	0.0%	
		8	特になし	4	15.4%	
		総回答数	総回答数	49		
		有効回答数	有効回答数	26	188.5%	
6	卸売 小売業 宿泊業 飲食店	1	処理業者・資源回収業者情報	31	33.0%	<p>処理業者・資源回収業者情報 33.0%</p> <p>法律等の規制情報 16.0%</p> <p>県・市町の環境関連事業 26.6%</p> <p>国や県等の動向 6.4%</p> <p>成功事例・失敗事例 26.6%</p> <p>CO2削減に関する情報 13.8%</p> <p>その他 3.2%</p> <p>特になし 29.8%</p>
		2	法律等の規制情報	15	16.0%	
		3	県・市町の環境関連事業	25	26.6%	
		4	国や県等の動向	6	6.4%	
		5	成功事例・失敗事例	25	26.6%	
		6	CO2削減に関する情報	13	13.8%	
		7	その他	3	3.2%	
		8	特になし	28	29.8%	
		総回答数	総回答数	146		
		有効回答数	有効回答数	94	155.3%	
7	金融 保険 不動産業	1	処理業者・資源回収業者情報	10	30.3%	<p>処理業者・資源回収業者情報 30.3%</p> <p>法律等の規制情報 24.2%</p> <p>県・市町の環境関連事業 30.3%</p> <p>国や県等の動向 12.1%</p> <p>成功事例・失敗事例 30.3%</p> <p>CO2削減に関する情報 12.1%</p> <p>その他 0.0%</p> <p>特になし 21.2%</p>
		2	法律等の規制情報	8	24.2%	
		3	県・市町の環境関連事業	10	30.3%	
		4	国や県等の動向	4	12.1%	
		5	成功事例・失敗事例	10	30.3%	
		6	CO2削減に関する情報	4	12.1%	
		7	その他	0	0.0%	
		8	特になし	7	21.2%	
		総回答数	総回答数	53		
		有効回答数	有効回答数	33	160.6%	
8	サービス業	1	処理業者・資源回収業者情報	37	26.1%	<p>処理業者・資源回収業者情報 26.1%</p> <p>法律等の規制情報 19.7%</p> <p>県・市町の環境関連事業 28.2%</p> <p>国や県等の動向 11.3%</p> <p>成功事例・失敗事例 28.9%</p> <p>CO2削減に関する情報 7.7%</p> <p>その他 0.7%</p> <p>特になし 30.3%</p>
		2	法律等の規制情報	28	19.7%	
		3	県・市町の環境関連事業	40	28.2%	
		4	国や県等の動向	16	11.3%	
		5	成功事例・失敗事例	41	28.9%	
		6	CO2削減に関する情報	11	7.7%	
		7	その他	1	0.7%	
		8	特になし	43	30.3%	
		総回答数	総回答数	217		
		有効回答数	有効回答数	142	152.8%	
9	その他	1	処理業者・資源回収業者情報	4	12.1%	<p>処理業者・資源回収業者情報 12.1%</p> <p>法律等の規制情報 24.2%</p> <p>県・市町の環境関連事業 15.2%</p> <p>国や県等の動向 6.1%</p> <p>成功事例・失敗事例 18.2%</p> <p>CO2削減に関する情報 15.2%</p> <p>その他 3.0%</p> <p>特になし 42.4%</p>
		2	法律等の規制情報	8	24.2%	
		3	県・市町の環境関連事業	5	15.2%	
		4	国や県等の動向	2	6.1%	
		5	成功事例・失敗事例	6	18.2%	
		6	CO2削減に関する情報	5	15.2%	
		7	その他	1	3.0%	
		8	特になし	14	42.4%	
		総回答数	総回答数	45		
		有効回答数	有効回答数	33	136.4%	

表 3-41・図 3-40 業種別 欲しい情報 回答状況

2) -② 従業員数別クロス集計

番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率		
1	1~4人	1	処理業者・資源回収業者情報	76	27.4%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>処理業者・資源回収業者情報 27.4%</p> <p>法律等の規制情報 15.9%</p> <p>県・市町の環境関連事業 27.8%</p> <p>国や県等の動向 7.9%</p> <p>成功事例・失敗事例 20.9%</p> <p>CO2削減に関する情報 8.3%</p> <p>その他 1.1%</p> <p>特になし 33.9%</p>	
		2	法律等の規制情報	44	15.9%		
		3	県・市町の環境関連事業	77	27.8%		
		4	国や県等の動向	22	7.9%		
		5	成功事例・失敗事例	58	20.9%		
		6	CO2削減に関する情報	23	8.3%		
		7	その他	3	1.1%		
		8	特になし	94	33.9%		
			総回答数		397		
			有効回答数		277		143.3%
2	5~9人	1	処理業者・資源回収業者情報	22	26.2%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>処理業者・資源回収業者情報 26.2%</p> <p>法律等の規制情報 7.1%</p> <p>県・市町の環境関連事業 27.4%</p> <p>国や県等の動向 15.5%</p> <p>成功事例・失敗事例 26.2%</p> <p>CO2削減に関する情報 9.5%</p> <p>その他 1.2%</p> <p>特になし 27.4%</p>	
		2	法律等の規制情報	6	7.1%		
		3	県・市町の環境関連事業	23	27.4%		
		4	国や県等の動向	13	15.5%		
		5	成功事例・失敗事例	22	26.2%		
		6	CO2削減に関する情報	8	9.5%		
		7	その他	1	1.2%		
		8	特になし	23	27.4%		
			総回答数		118		
			有効回答数		84		140.5%
3	10~19人	1	処理業者・資源回収業者情報	24	38.1%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>処理業者・資源回収業者情報 38.1%</p> <p>法律等の規制情報 23.8%</p> <p>県・市町の環境関連事業 27.0%</p> <p>国や県等の動向 19.0%</p> <p>成功事例・失敗事例 36.5%</p> <p>CO2削減に関する情報 6.3%</p> <p>その他 1.6%</p> <p>特になし 22.2%</p>	
		2	法律等の規制情報	15	23.8%		
		3	県・市町の環境関連事業	17	27.0%		
		4	国や県等の動向	12	19.0%		
		5	成功事例・失敗事例	23	36.5%		
		6	CO2削減に関する情報	4	6.3%		
		7	その他	1	1.6%		
		8	特になし	14	22.2%		
			総回答数		110		
			有効回答数		63		174.6%
4	20~29人	1	処理業者・資源回収業者情報	8	23.5%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>処理業者・資源回収業者情報 23.5%</p> <p>法律等の規制情報 38.2%</p> <p>県・市町の環境関連事業 23.5%</p> <p>国や県等の動向 20.6%</p> <p>成功事例・失敗事例 41.2%</p> <p>CO2削減に関する情報 17.6%</p> <p>その他 2.9%</p> <p>特になし 20.6%</p>	
		2	法律等の規制情報	13	38.2%		
		3	県・市町の環境関連事業	8	23.5%		
		4	国や県等の動向	7	20.6%		
		5	成功事例・失敗事例	14	41.2%		
		6	CO2削減に関する情報	6	17.6%		
		7	その他	1	2.9%		
		8	特になし	7	20.6%		
			総回答数		64		
			有効回答数		34		188.2%
5	30~49人	1	処理業者・資源回収業者情報	10	40.0%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>処理業者・資源回収業者情報 40.0%</p> <p>法律等の規制情報 52.0%</p> <p>県・市町の環境関連事業 32.0%</p> <p>国や県等の動向 20.0%</p> <p>成功事例・失敗事例 32.0%</p> <p>CO2削減に関する情報 16.0%</p> <p>その他 4.0%</p> <p>特になし 16.0%</p>	
		2	法律等の規制情報	13	52.0%		
		3	県・市町の環境関連事業	8	32.0%		
		4	国や県等の動向	5	20.0%		
		5	成功事例・失敗事例	8	32.0%		
		6	CO2削減に関する情報	4	16.0%		
		7	その他	1	4.0%		
		8	特になし	4	16.0%		
			総回答数		53		
			有効回答数		25		212.0%
6	50~99人	1	処理業者・資源回収業者情報	4	12.9%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>処理業者・資源回収業者情報 12.9%</p> <p>法律等の規制情報 48.4%</p> <p>県・市町の環境関連事業 32.3%</p> <p>国や県等の動向 32.3%</p> <p>成功事例・失敗事例 64.5%</p> <p>CO2削減に関する情報 19.4%</p> <p>その他 3.2%</p> <p>特になし 9.7%</p>	
		2	法律等の規制情報	15	48.4%		
		3	県・市町の環境関連事業	10	32.3%		
		4	国や県等の動向	10	32.3%		
		5	成功事例・失敗事例	20	64.5%		
		6	CO2削減に関する情報	6	19.4%		
		7	その他	1	3.2%		
		8	特になし	3	9.7%		
			総回答数		69		
			有効回答数		31		222.6%
7	100~299人	1	処理業者・資源回収業者情報	6	31.6%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>処理業者・資源回収業者情報 31.6%</p> <p>法律等の規制情報 47.4%</p> <p>県・市町の環境関連事業 31.6%</p> <p>国や県等の動向 42.1%</p> <p>成功事例・失敗事例 63.2%</p> <p>CO2削減に関する情報 15.8%</p> <p>その他 0.0%</p> <p>特になし 0.0%</p>	
		2	法律等の規制情報	9	47.4%		
		3	県・市町の環境関連事業	6	31.6%		
		4	国や県等の動向	8	42.1%		
		5	成功事例・失敗事例	12	63.2%		
		6	CO2削減に関する情報	3	15.8%		
		7	その他	0	0.0%		
		8	特になし	0	0.0%		
			総回答数		44		
			有効回答数		19		231.6%
8	300人以上	1	処理業者・資源回収業者情報	5	100.0%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>処理業者・資源回収業者情報 100.0%</p> <p>法律等の規制情報 40.0%</p> <p>県・市町の環境関連事業 20.0%</p> <p>国や県等の動向 20.0%</p> <p>成功事例・失敗事例 60.0%</p> <p>CO2削減に関する情報 0.0%</p> <p>その他 0.0%</p> <p>特になし 0.0%</p>	
		2	法律等の規制情報	2	40.0%		
		3	県・市町の環境関連事業	1	20.0%		
		4	国や県等の動向	1	20.0%		
		5	成功事例・失敗事例	3	60.0%		
		6	CO2削減に関する情報	0	0.0%		
		7	その他	0	0.0%		
		8	特になし	0	0.0%		
			総回答数		12		
			有効回答数		5		240.0%

表 3-42・図 3-41 従業員数別 欲しい情報 回答状況

問 19	あなたの事業所では、事業系ごみの減量やリサイクルについて県に対してどのような役割を期待していますか？ あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。 (複数回答)
------	--

県に期待する役割では、「成功・失敗事例の紹介」が 29.3%で最も高く、次いで「全県的な啓発」の 21.4%となっている。また、「特に必要なし」が 28.9%となっている。
業種別でもほぼ同じ傾向であるが、「金融・保険・不動産業」や「運輸・情報通信業」など、業種により「調査研究や情報提供」が高いものがある。
規模別（従業員数別）もほぼ同じ傾向となっている。

1) 単純集計

問 19	県に期待する役割	回答数	回答率
1	全県的な啓発	119	21.4%
2	調査研究や情報提供	111	19.9%
3	情報交換の場や機会の提供	59	10.6%
4	成功・失敗事例の紹介	163	29.3%
5	その他	19	3.4%
6	特に必要なし	161	28.9%
総回答数		632	113.5%
有効回答数		557	

表 3-43 県に期待する役割 回答状況

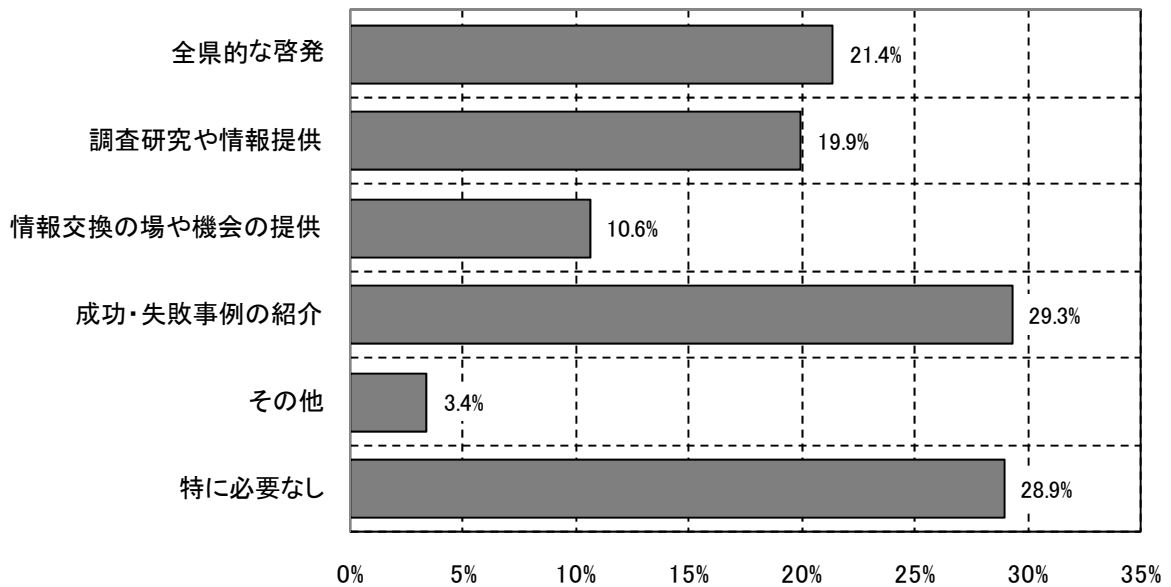


図 3-42 県に期待する役割 回答率

2) -① 業種別クロス集計

業種番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率	
1	農林漁業	1	全体的な啓発	7	23.3%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>全体的な啓発 23.3%</p> <p>調査研究や情報提供 6.7%</p> <p>情報交換の場や機会の提供 13.3%</p> <p>成功事例や失敗事例の紹介 16.7%</p> <p>その他 3.3%</p> <p>特に必要なし 33.3%</p>
		2	調査研究や情報提供	2	6.7%	
		3	情報交換の場や機会の提供	4	13.3%	
		4	成功事例や失敗事例の紹介	5	16.7%	
		5	その他	1	3.3%	
		6	特に必要なし	10	33.3%	
			総回答数	総回答数	29	
	有効回答数	有効回答数	29			
2	建設業	1	全体的な啓発	14	20.9%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>全体的な啓発 20.9%</p> <p>調査研究や情報提供 19.4%</p> <p>情報交換の場や機会の提供 10.4%</p> <p>成功事例や失敗事例の紹介 29.9%</p> <p>その他 1.5%</p> <p>特に必要なし 25.4%</p>
		2	調査研究や情報提供	13	19.4%	
		3	情報交換の場や機会の提供	7	10.4%	
		4	成功事例や失敗事例の紹介	20	29.9%	
		5	その他	1	1.5%	
		6	特に必要なし	17	25.4%	
			総回答数	総回答数	72	
	有効回答数	有効回答数	67			
3	製造業	1	全体的な啓発	18	23.4%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>全体的な啓発 23.4%</p> <p>調査研究や情報提供 23.4%</p> <p>情報交換の場や機会の提供 16.9%</p> <p>成功事例や失敗事例の紹介 33.8%</p> <p>その他 1.3%</p> <p>特に必要なし 23.4%</p>
		2	調査研究や情報提供	18	23.4%	
		3	情報交換の場や機会の提供	13	16.9%	
		4	成功事例や失敗事例の紹介	26	33.8%	
		5	その他	1	1.3%	
		6	特に必要なし	18	23.4%	
			総回答数	総回答数	94	
	有効回答数	有効回答数	77			
4	電気 ガス 熱供給 水道業	1	全体的な啓発	11	25.0%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>全体的な啓発 25.0%</p> <p>調査研究や情報提供 22.5%</p> <p>情報交換の場や機会の提供 10.0%</p> <p>成功事例や失敗事例の紹介 32.5%</p> <p>その他 15.0%</p> <p>特に必要なし 10.0%</p>
		2	調査研究や情報提供	9	22.5%	
		3	情報交換の場や機会の提供	4	10.0%	
		4	成功事例や失敗事例の紹介	13	32.5%	
		5	その他	6	15.0%	
		6	特に必要なし	4	10.0%	
			総回答数	総回答数	46	
	有効回答数	有効回答数	40			
5	運輸 情報通信業	1	全体的な啓発	7	26.9%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>全体的な啓発 26.9%</p> <p>調査研究や情報提供 26.9%</p> <p>情報交換の場や機会の提供 3.8%</p> <p>成功事例や失敗事例の紹介 34.6%</p> <p>その他 3.8%</p> <p>特に必要なし 23.1%</p>
		2	調査研究や情報提供	7	26.9%	
		3	情報交換の場や機会の提供	1	3.8%	
		4	成功事例や失敗事例の紹介	9	34.6%	
		5	その他	1	3.8%	
		6	特に必要なし	6	23.1%	
			総回答数	総回答数	31	
	有効回答数	有効回答数	26			
6	卸売 小売業 宿泊業 飲食店	1	全体的な啓発	18	19.1%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>全体的な啓発 19.1%</p> <p>調査研究や情報提供 18.1%</p> <p>情報交換の場や機会の提供 7.4%</p> <p>成功事例や失敗事例の紹介 31.9%</p> <p>その他 3.2%</p> <p>特に必要なし 36.2%</p>
		2	調査研究や情報提供	17	18.1%	
		3	情報交換の場や機会の提供	7	7.4%	
		4	成功事例や失敗事例の紹介	30	31.9%	
		5	その他	3	3.2%	
		6	特に必要なし	34	36.2%	
			総回答数	総回答数	109	
	有効回答数	有効回答数	94			
7	金融 保険 不動産業	1	全体的な啓発	10	30.3%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>全体的な啓発 30.3%</p> <p>調査研究や情報提供 30.3%</p> <p>情報交換の場や機会の提供 18.2%</p> <p>成功事例や失敗事例の紹介 18.2%</p> <p>その他 3.0%</p> <p>特に必要なし 33.3%</p>
		2	調査研究や情報提供	10	30.3%	
		3	情報交換の場や機会の提供	6	18.2%	
		4	成功事例や失敗事例の紹介	6	18.2%	
		5	その他	1	3.0%	
		6	特に必要なし	11	33.3%	
			総回答数	総回答数	44	
	有効回答数	有効回答数	33			
8	サービス業	1	全体的な啓発	28	19.7%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>全体的な啓発 19.7%</p> <p>調査研究や情報提供 19.7%</p> <p>情報交換の場や機会の提供 10.6%</p> <p>成功事例や失敗事例の紹介 29.6%</p> <p>その他 2.8%</p> <p>特に必要なし 35.2%</p>
		2	調査研究や情報提供	28	19.7%	
		3	情報交換の場や機会の提供	15	10.6%	
		4	成功事例や失敗事例の紹介	42	29.6%	
		5	その他	4	2.8%	
		6	特に必要なし	50	35.2%	
			総回答数	総回答数	167	
	有効回答数	有効回答数	142			
9	その他	1	全体的な啓発	7	21.2%	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>全体的な啓発 21.2%</p> <p>調査研究や情報提供 18.2%</p> <p>情報交換の場や機会の提供 3.0%</p> <p>成功事例や失敗事例の紹介 33.3%</p> <p>その他 3.0%</p> <p>特に必要なし 30.3%</p>
		2	調査研究や情報提供	6	18.2%	
		3	情報交換の場や機会の提供	1	3.0%	
		4	成功事例や失敗事例の紹介	11	33.3%	
		5	その他	1	3.0%	
		6	特に必要なし	10	30.3%	
			総回答数	総回答数	36	
	有効回答数	有効回答数	33			

表 3-44・図 3-43 業種別 県に期待する役割 回答状況

2) -② 従業員数別クロス集計

番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率	
1	1~4人	1	全県的な啓発	57	20.6%	
		2	調査研究や情報提供	44	15.9%	
		3	情報交換の場や機会の提供	24	8.7%	
		4	成功事例や失敗事例の紹介	63	22.7%	
		5	その他	6	2.2%	
		6	特に必要なし	105	37.9%	
			総回答数	299		
			有効回答数	277	107.9%	
2	5~9人	1	全県的な啓発	13	15.5%	
		2	調査研究や情報提供	21	25.0%	
		3	情報交換の場や機会の提供	11	13.1%	
		4	成功事例や失敗事例の紹介	32	38.1%	
		5	その他	3	3.6%	
		6	特に必要なし	19	22.6%	
			総回答数	99	117.9%	
			有効回答数	84		
3	10~19人	1	全県的な啓発	19	30.2%	
		2	調査研究や情報提供	17	27.0%	
		3	情報交換の場や機会の提供	4	6.3%	
		4	成功事例や失敗事例の紹介	19	30.2%	
		5	その他	1	1.6%	
		6	特に必要なし	14	22.2%	
			総回答数	74	117.5%	
			有効回答数	63		
4	20~29人	1	全県的な啓発	7	20.6%	
		2	調査研究や情報提供	5	14.7%	
		3	情報交換の場や機会の提供	4	11.8%	
		4	成功事例や失敗事例の紹介	12	35.3%	
		5	その他	0	0.0%	
		6	特に必要なし	10	29.4%	
			総回答数	38	111.8%	
			有効回答数	34		
5	30~49人	1	全県的な啓発	5	20.0%	
		2	調査研究や情報提供	6	24.0%	
		3	情報交換の場や機会の提供	4	16.0%	
		4	成功事例や失敗事例の紹介	8	32.0%	
		5	その他	3	12.0%	
		6	特に必要なし	4	16.0%	
			総回答数	30	120.0%	
			有効回答数	25		
6	50~99人	1	全県的な啓発	13	41.9%	
		2	調査研究や情報提供	8	25.8%	
		3	情報交換の場や機会の提供	5	16.1%	
		4	成功事例や失敗事例の紹介	16	51.6%	
		5	その他	4	12.9%	
		6	特に必要なし	3	9.7%	
			総回答数	49	158.1%	
			有効回答数	31		
7	100~299人	1	全県的な啓発	5	26.3%	
		2	調査研究や情報提供	6	31.6%	
		3	情報交換の場や機会の提供	3	15.8%	
		4	成功事例や失敗事例の紹介	11	57.9%	
		5	その他	2	10.5%	
		6	特に必要なし	1	5.3%	
			総回答数	28	147.4%	
			有効回答数	19		
8	300人以上	1	全県的な啓発	0	0.0%	
		2	調査研究や情報提供	3	60.0%	
		3	情報交換の場や機会の提供	4	80.0%	
		4	成功事例や失敗事例の紹介	2	40.0%	
		5	その他	0	0.0%	
		6	特に必要なし	0	0.0%	
			総回答数	9	180.0%	
			有効回答数	5		

表 3-45・図 3-44 従業員数別 県に期待する役割 回答状況

3-4 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」について

問 20	三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」をご存じですか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。
------	--

「ごみゼロ社会実現プラン」の認知度は、「知っている」が11.7%で低く、「知らない」は、54.0%と半数を超えている。

業種別では、「知っている」が「電気・ガス・熱供給・水道業」で37.5%と最も高く、「その他」で27.3%、「運輸・情報通信業」で11.5%となっており、他の業種は10%以下となっている。一方、「知らない」は「卸売・小売業、宿泊業、飲食店」、「金融・保険・不動産業」、「サービス業」では約60%と高く、50%を下回ったのは、「製造業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「その他」の3業種である。

規模別（従業員数別）では、規模が大きくなるにつれ「知っている」の率が増加し、「知らない」の率が減少する傾向が見られる。

1) 単純集計

問 20	「ごみゼロ社会実現プラン」の認知度	回答数	回答率
1	知っている	65	11.7%
2	名前は聞いたことがある	169	30.3%
3	知らない	301	54.0%
99	無回答	22	3.9%
計		557	100.0%

表 3-46 「プラン」認知度 回答状況

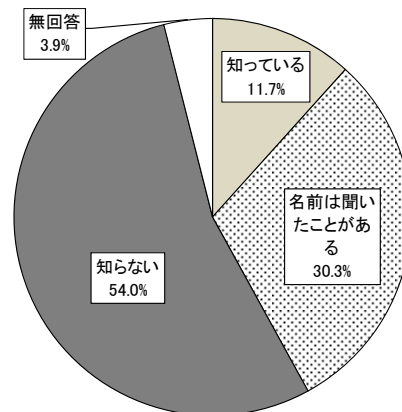


図 3-45 「プラン」認知度 回答率

2) -① 業種別クロス集計

問20 業種vs認知度1 (回答数)		1	2	3	99	計
		知っている	名前は聞いた ことがある	知らない	無回答	
1	農林漁業	2	11	16	1	30
2	建設業	5	24	36	2	67
3	製造業	7	31	38	1	77
4	電気・ガス・熱供給・水道業	15	6	17	2	40
5	運輸・情報通信業	3	8	13	2	26
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	7	27	60	0	94
7	金融・保険・不動産業	2	12	19	0	33
8	サービス業	14	39	86	3	142
9	その他	9	10	13	1	33
計		64	168	298	12	542
問20 業種vs認知度1 (回答率)		1	2	3	99	計
		知っている	名前は聞いた ことがある	知らない	無回答	
1	農林漁業	6.7%	36.7%	53.3%	3.3%	100.0%
2	建設業	7.5%	35.8%	53.7%	3.0%	100.0%
3	製造業	9.1%	40.3%	49.4%	1.3%	100.0%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	37.5%	15.0%	42.5%	5.0%	100.0%
5	運輸・情報通信業	11.5%	30.8%	50.0%	7.7%	100.0%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	7.4%	28.7%	63.8%	0.0%	100.0%
7	金融・保険・不動産業	6.1%	36.4%	57.6%	0.0%	100.0%
8	サービス業	9.9%	27.5%	60.6%	2.1%	100.0%
9	その他	27.3%	30.3%	39.4%	3.0%	100.0%
全体		11.8%	31.0%	55.0%	2.2%	100.0%

表 3-47 業種別 認知度 1 回答状況

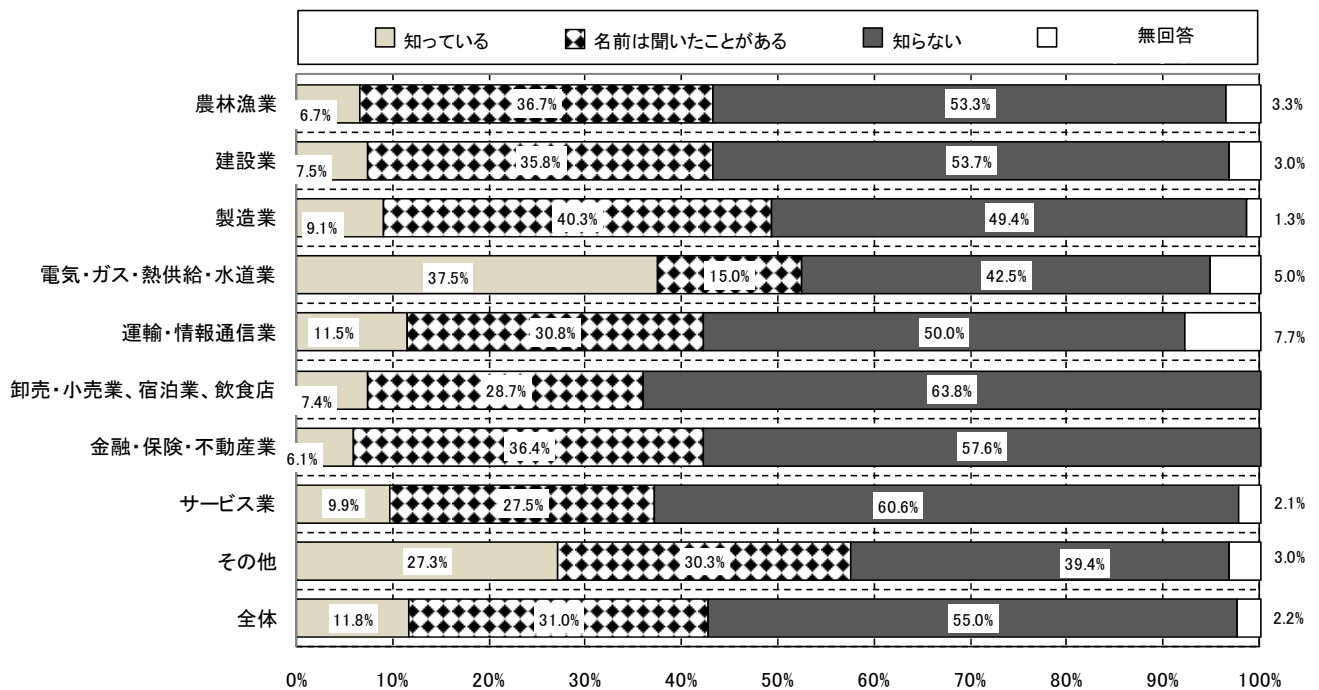


図 3-46 業種別 認知度 1 回答率

2) -② 従業員数別クロス集計

問20 従業員数vs認知度1 (回答数)		1	2	3	99	計
		知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答	
1	1~4人	20	81	169	7	277
2	5~9人	11	28	43	2	84
3	10~19人	11	16	36	0	63
4	20~29人	5	11	17	1	34
5	30~49人	4	5	15	1	25
6	50~99人	7	15	9	0	31
7	100~299人	4	9	6	0	19
8	300人以上	2	2	1	0	5
計		64	167	296	11	538
問20 従業員数vs認知度1 (回答率)		1	2	3	99	計
		知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答	
1	1~4人	7.2%	29.2%	61.0%	2.5%	100.0%
2	5~9人	13.1%	33.3%	51.2%	2.4%	100.0%
3	10~19人	17.5%	25.4%	57.1%	0.0%	100.0%
4	20~29人	14.7%	32.4%	50.0%	2.9%	100.0%
5	30~49人	16.0%	20.0%	60.0%	4.0%	100.0%
6	50~99人	22.6%	48.4%	29.0%	0.0%	100.0%
7	100~299人	21.1%	47.4%	31.6%	0.0%	100.0%
8	300人以上	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
全体		11.9%	31.0%	55.0%	2.0%	100.0%

表 3-48 従業員数別 認知度 1 回答状況

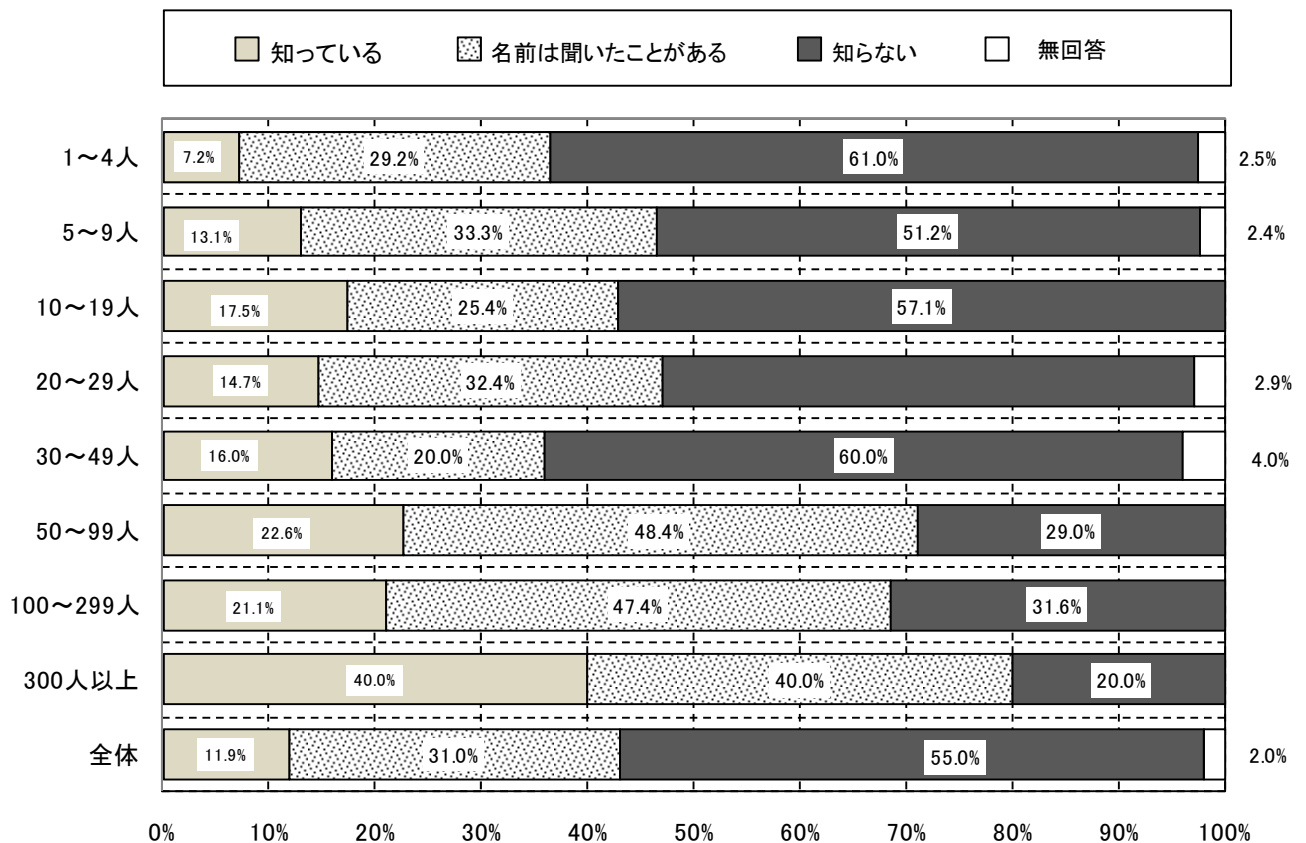


図 3-47 従業員数別 認知度 1 回答率

問 21 三重県のごみゼロキャラクター「ゼロ吉」をご存じですか？
 あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

「ゼロ吉」の認知度は、「知っている」が11.1%で低く、「知らない」は、74.5%であり、約3/4を占めている。
 業種別では、「知っている」が「電気・ガス・熱供給・水道業」で40.0%、「その他」で27.3%となっており、他の業種は10%以下となっている。「知らない」の回答率が50%を下回った業種は、「電気・ガス・熱供給・水道業」のみで、他の業種は60%を超えている。
 規模別（従業員数別）では、規模が大きくなるにつれ「知っている」が増加し、「知らない」が減少する傾向が見られる。

1) 単純集計

問 21	「ゼロ吉」の認知度	回答数	回答率
1	知っている	62	11.1%
2	見たことはある	60	10.8%
3	知らない	413	74.1%
99	無回答	22	3.9%
	計	557	100.0%

表 3-49 「ゼロ吉」の認知度 回答状況

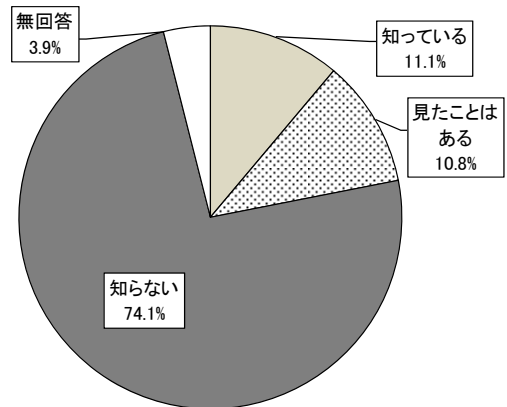
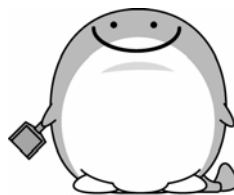


図 3-48 「ゼロ吉」の認知度 回答率



三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」



ゼロ吉ファミリー

2) -① 業種別クロス集計

問21 業種vs「ゼロ吉」の認知度 (回答数)		1	2	3	99	計
		知っている	見たことはある	知らない	無回答	
1	農林漁業	2	4	23	1	30
2	建設業	3	10	52	2	67
3	製造業	10	9	57	1	77
4	電気・ガス・熱供給・水道業	16	4	19	1	40
5	運輸・情報通信業	2	3	19	2	26
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	8	9	77	0	94
7	金融・保険・不動産業	2	6	25	0	33
8	サービス業	9	13	117	3	142
9	その他	9	2	20	2	33
計		61	60	409	12	542
問21 業種vs「ゼロ吉」の認知度 (回答率)		1	2	3	99	計
		知っている	見たことはある	知らない	無回答	
1	農林漁業	6.7%	13.3%	76.7%	3.3%	100.0%
2	建設業	4.5%	14.9%	77.6%	3.0%	100.0%
3	製造業	13.0%	11.7%	74.0%	1.3%	100.0%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	40.0%	10.0%	47.5%	2.5%	100.0%
5	運輸・情報通信業	7.7%	11.5%	73.1%	7.7%	100.0%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	8.5%	9.6%	81.9%	0.0%	100.0%
7	金融・保険・不動産業	6.1%	18.2%	75.8%	0.0%	100.0%
8	サービス業	6.3%	9.2%	82.4%	2.1%	100.0%
9	その他	27.3%	6.1%	60.6%	6.1%	100.0%
全体		11.3%	11.1%	75.5%	2.2%	100.0%

表 3-50 業種別 「ゼロ吉」の認知度 回答状況

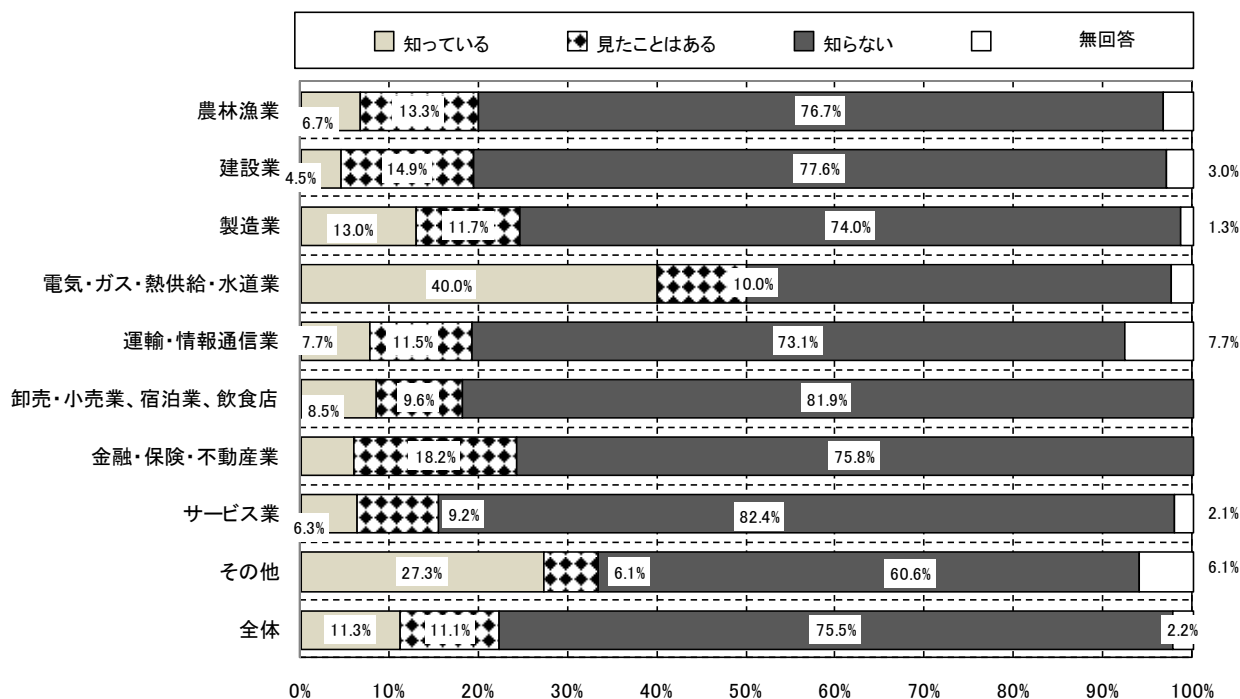


図 3-49 業種別 「ゼロ吉」の認知度 回答率

2) -② 従業員数別クロス集計

問21 従業員数vs 「ゼロ吉」の認知度 (回答数)		1	2	3	99	計
		知っている	見たことはある	知らない	無回答	
1	1~4人	13	37	219	8	277
2	5~9人	12	3	68	1	84
3	10~19人	8	8	47	0	63
4	20~29人	7	2	24	1	34
5	30~49人	4	1	19	1	25
6	50~99人	9	4	18	0	31
7	100~299人	6	3	10	0	19
8	300人以上	2	1	2	0	5
計		61	59	407	11	538
問21 従業員数vs 「ゼロ吉」の認知度 (回答率)		1	2	3	99	計
		知っている	見たことはある	知らない	無回答	
1	1~4人	4.7%	13.4%	79.1%	2.9%	100.0%
2	5~9人	14.3%	3.6%	81.0%	1.2%	100.0%
3	10~19人	12.7%	12.7%	74.6%	0.0%	100.0%
4	20~29人	20.6%	5.9%	70.6%	2.9%	100.0%
5	30~49人	16.0%	4.0%	76.0%	4.0%	100.0%
6	50~99人	29.0%	12.9%	58.1%	0.0%	100.0%
7	100~299人	31.6%	15.8%	52.6%	0.0%	100.0%
8	300人以上	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	100.0%
全体		11.3%	11.0%	75.7%	2.0%	100.0%

表 3-51 従業員数別 「ゼロ吉」の認知度 回答状況

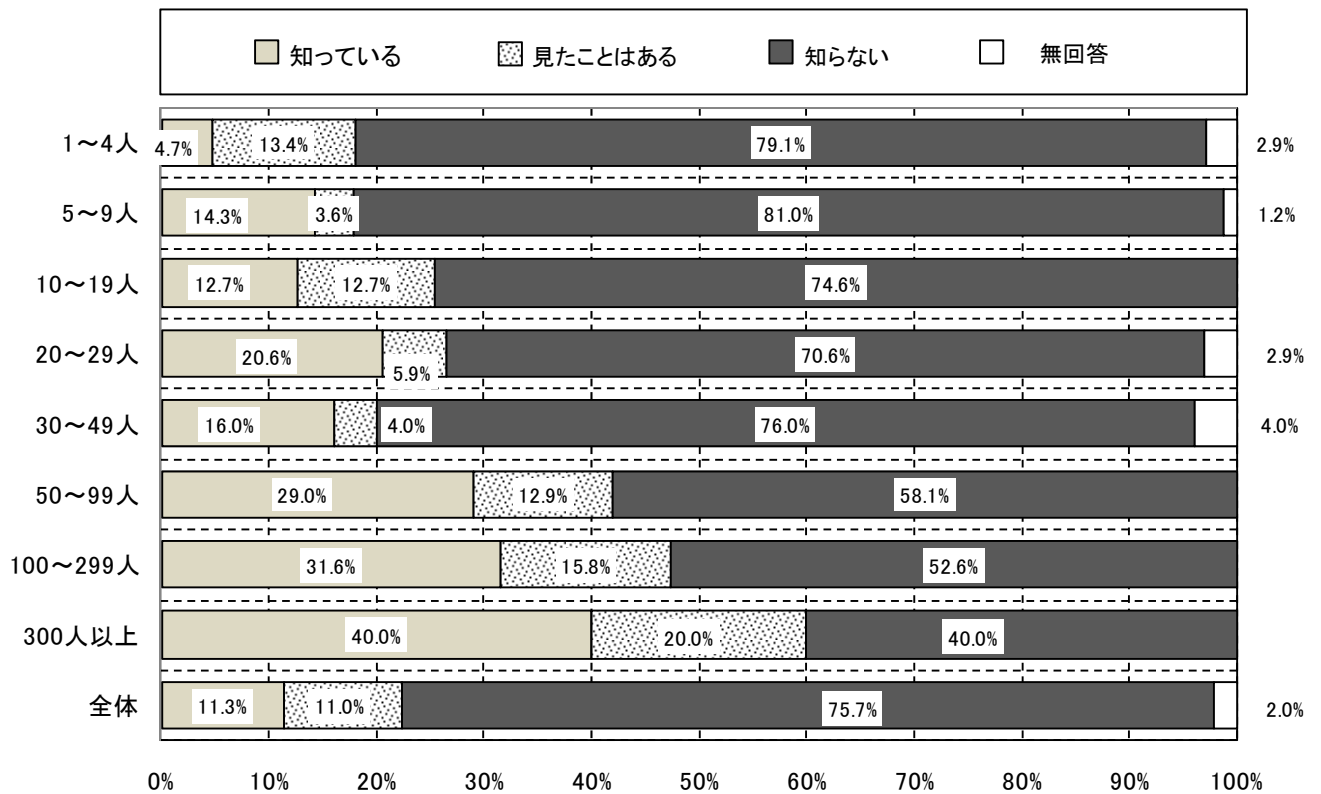


図 3-50 従業員数別 「ゼロ吉」の認知度 回答率

4 調査結果（事業系ごみ組成調査）

事業系ごみ組成調査は、問 11 から問 13 を集計・分析することにより算定した。

問 11 は問 6 で「2 自ら市町の処理施設に持ち込んでいる」「3 本社等で各事業所のごみを一括して処理している」「5 その他」と答えた方のみ回答するよう回答者に制限がかかっていたため多量の排出事業所が除外されてしまう結果となり、参考の扱いとした。

平成 22 年度のデータは業種別と従業員数別で有効回答数が異なるため、全体平均が異なっている場合がある。

4-1 ごみとしての排出量

① 業種別 ごみ排出量（容積ベース）

ごみ排出量（容積ベース）の平成 16 年度と平成 22 年度を比較すると、全体合計ではほぼ同じ排出量であったが、ごみ種別では「厨芥類等」、「その他」で差が出ている。業種別では「電気・ガス・熱供給・水道業」と「卸売・小売業・宿泊業・飲食店」に大きな差が出ている。これは、「電気・ガス・熱供給・水道業」の「厨芥類」と「卸売・小売業・宿泊業・飲食店」の「厨芥類等」及び「紙類」での差が大きいことによる。

1 事業所排出量 (リットル/1日)	年度	1	2	3	4	5	6	7	計
		厨芥類等	紙類	繊維類	プラスチック類	金属類	びん類	その他	
全体平均	H16	15.0	45.0	2.0	12.0	2.0	1.0	5.0	82.0
	H22	30.9	38.1	3.2	14.0	1.1	0.5	0.4	88.2
1 農林漁業	H16	5.0	34.0	1.0	4.0	1.0	1.0	0.0	46.0
	H22	3.8	3.4	0.0	5.0	0.3	0.0	0.0	12.6
2 建設業	H16	4.0	14.0	0.0	7.0	1.0	0.0	3.0	29.0
	H22	7.2	8.5	0.1	1.9	1.1	0.2	0.3	19.3
3 製造業	H16	15.0	70.0	6.0	20.0	2.0	1.0	13.0	127.0
	H22	15.6	32.4	0.8	43.8	0.8	0.7	0.6	94.5
4 電気・ガス・熱供給・水道業	H16	4.0	41.0	0	8.0	1.0	0	0.0	54.0
	H22	229.9	59.5	0.0	6.9	2.2	0.1	0.0	298.6
5 運輸・情報通信業	H16	14.0	40.0	0.0	13.0	3.0	1.0	3.0	74.0
	H22	15.2	12.9	0.2	2.5	2.9	0.2	0.2	34.2
6 卸売・小売業・宿泊業・飲食店	H16	29.0	33.0	0.0	12.0	4.0	2.0	3.0	83.0
	H22	46.7	122.9	17.0	26.8	1.5	1.3	0.3	216.4
7 金融・保険・不動産業	H16	5.0	42.0	0.0	3.0	1.0	0.0	0.0	51.0
	H22	5.1	15.0	0.0	3.9	1.4	0.4	0.4	26.3
8 サービス業	H16	20.0	43.0	1.0	12.0	4.0	2.0	5.0	87.0
	H22	5.4	14.7	0.3	6.3	0.5	0.3	0.4	27.8
9 その他	H16	7.0	22.0	0.0	5.0	1.0	0.0	0.0	35.0
	H22	1.6	18.7	0.2	2.1	1.7	1.0	0.8	26.0

表 4-1 業種別 1 事業所あたりの排出量（容積ベース）：平成 16 年度・平成 22 年度 比較表

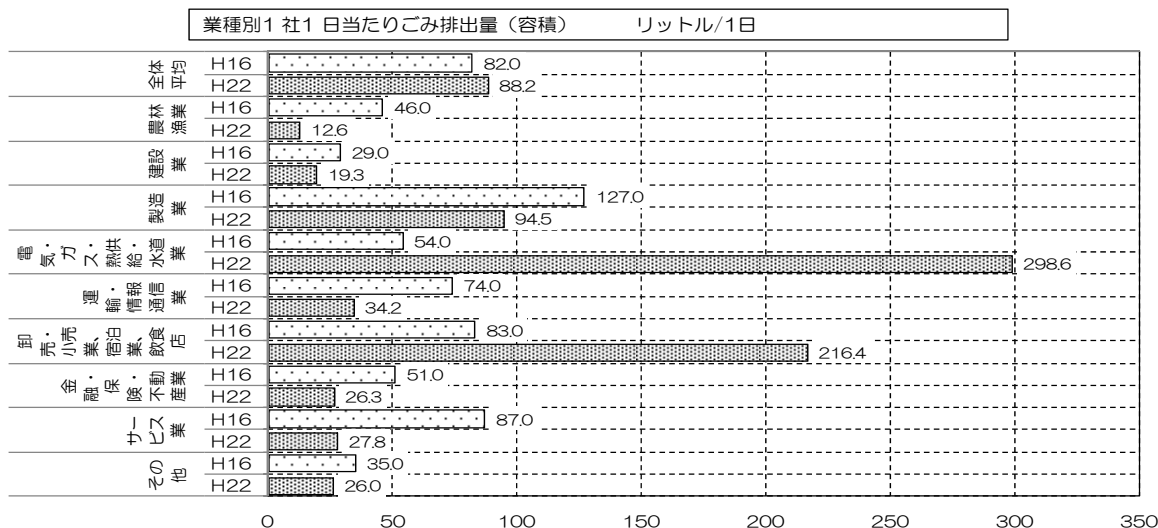


図 4-1 業種別 1 事業所あたりの排出量（容積ベース）：平成 16 年度・平成 22 年度 比較

② 業種別 ごみ排出量（重量ベース）

ごみ排出量（重量ベース）の平成 16 年度と平成 22 年度を比較すると、全体平均ではほぼ同じ排出量となっているが、「電気・ガス・熱供給・水道業」と「卸売・小売業・宿泊業・飲食店」に大きな差が出ている。これは、「電気・ガス・熱供給・水道業」の「厨芥類」と「卸売・小売業・宿泊業・飲食店」の「厨芥類等」及び「紙類」での差が大きいことによる。

1 事業所排出量 (kg/1 日)	年度	1	2	3	4	5	6	7	計
		厨芥類等	紙類	繊維類	プラスチック類	金属類	びん類	その他	
全体平均	H16	2.1	5.3	0.3	0.8	0.2	0.4	0.5	9.6
	H22	3.7	4.2	0.5	1.0	0.1	0.2	0.0	9.7
1 農林漁業	H16	0.5	1.7	0.1	0.4	0.1	0.1	0.3	3.2
	H22	0.5	0.4	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	1.3
2 建設業	H16	2.0	7.6	0.9	1.4	0.2	0.4	1.3	13.8
	H22	0.7	1.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	2.1
3 製造業	H16	0.7	5.4	0.0	0.5	0.1	0.1	0.0	6.8
	H22	2.3	3.4	0.1	3.1	0.1	0.2	0.1	9.2
4 電気・ガス・熱供給・水道業	H16	1.9	4.9	0.0	0.8	0.3	0.2	0.3	8.4
	H22	23.2	7.0	0.0	0.5	0.2	0.0	0.0	30.9
5 運輸・情報通信業	H16	4.3	3.7	0.0	0.7	0.4	0.6	0.3	10.0
	H22	2.3	1.7	0.0	0.1	0.3	0.1	0.0	4.5
6 卸売・小売業、宿泊業、飲食店	H16	0.7	6.3	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	7.4
	H22	7.0	11.1	2.5	1.8	0.1	0.4	0.0	23.0
7 金融・保険・不動産業	H16	2.9	5.2	0.2	0.8	0.4	0.6	0.5	10.6
	H22	0.7	1.7	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	3.0
8 サービス業	H16	0.9	2.8	0.0	0.3	0.1	0.1	0.0	4.2
	H22	0.8	3.1	0.0	0.4	0.0	0.1	0.0	4.6
9 その他	H16	0.2	2.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.1	2.9
	H22	0.2	2.0	0.0	0.1	0.2	0.3	0.1	2.9

表 4-2 業種別 1 事業所あたりの排出量（重量ベース）：平成 16 年度・平成 22 年度 比較表

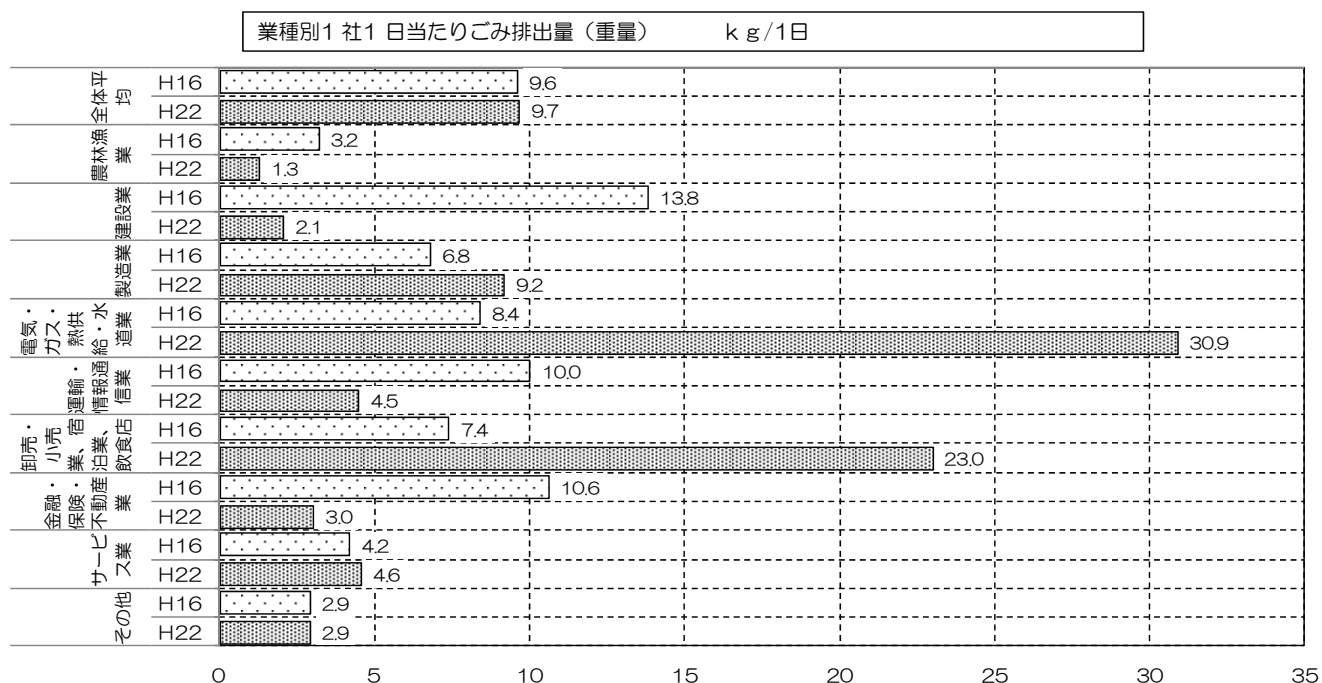


図 4-2 業種別 1 事業所あたりの排出量（重量ベース）：平成 16 年度・平成 22 年度 比較

③ 従業員数別 ごみ排出量（容積ベース）

従業員数別ごみ排出量（容積ベース）の平成16年度と平成22年度を比較すると、「10～29人」、「100人以上」では差が出ている。これは、「100人以上」の「厨芥類等」、「紙類」、プラスチック類」及び「10～29人」の「プラスチック類」で差が大きいことによる。

1事業所排出量 (リットル/1日)		年度	1 厨芥類等	2 紙類	3 繊維類	4 プラスチック類	5 金属類	6 びん類	7 その他	計
全体平均		H16	15.0	45.0	2.0	12.0	2.0	1.0	5.0	82.0
		H22	31.1	38.4	3.2	14.1	1.1	0.5	0.4	88.8
1	1～9人	H16	4.0	6.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	13.0
		H22	5.8	7.1	0.3	2.1	0.6	0.2	0.4	16.5
2	10～29人	H16	8.0	18.0	0.0	5.0	2.0	1.0	2.0	36.0
		H22	8.5	23.6	0.8	34.5	1.6	0.3	0.4	69.8
3	30～99人	H16	22.0	47.0	2.0	17.0	4.0	2.0	10.0	104.0
		H22	21.6	56.5	25.7	16.5	1.9	1.6	0.4	124.2
4	100人以上	H16	30.0	119.0	6.0	30.0	4.0	2.0	11.0	202.0
		H22	524.6	526.1	4.0	106.9	6.1	3.4	0.0	1,171.0

表 4-3 従業員数別 1事業所あたりの排出量（容積ベース）：平成16年度・平成22年度 比較表



図 4-3 従業員数別 1事業所あたりの排出量（容積ベース）：平成16年度・平成22年度 比較

④ 従業員数別 ごみ排出量（重量ベース）

従業員数別ごみ排出量（重量ベース）の平成16年度と平成22年度を比較すると、「30～99人」、「100人以上」では差が出ている。これは、「100人以上」の「厨芥類」、「紙類」及び、「30～99人」の「紙類」で差が大きいことによる。

1事業所排出量 (kg/1日)		年度	1 厨芥類等	2 紙類	3 繊維類	4 プラスチック類	5 金属類	6 びん類	7 その他	計
全体平均		H16	2.1	5.3	0.3	0.8	0.2	0.4	0.5	9.6
		H22	3.8	4.2	0.5	1.0	0.1	0.2	0.0	9.7
1	1～9人	H16	1.2	2.5	0.0	0.3	0.2	0.3	0.2	4.7
		H22	0.8	0.8	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	1.9
2	10～29人	H16	3.2	5.5	0.3	1.1	0.4	0.5	1.0	12.0
		H22	1.3	3.7	0.1	2.4	0.2	0.1	0.0	7.8
3	30～99人	H16	4.3	13.7	0.9	2.0	0.4	0.7	1.1	23.1
		H22	3.1	6.1	3.9	1.1	0.2	0.5	0.0	14.9
4	100人以上	H16	2.1	5.3	0.3	0.8	0.2	0.4	0.5	9.6
		H22	59.9	53.6	0.6	7.3	0.6	1.0	0.0	123.0

表 4-4 従業員数別 1事業所あたりの排出量（重量ベース）：平成16年度・平成22年度 比較表

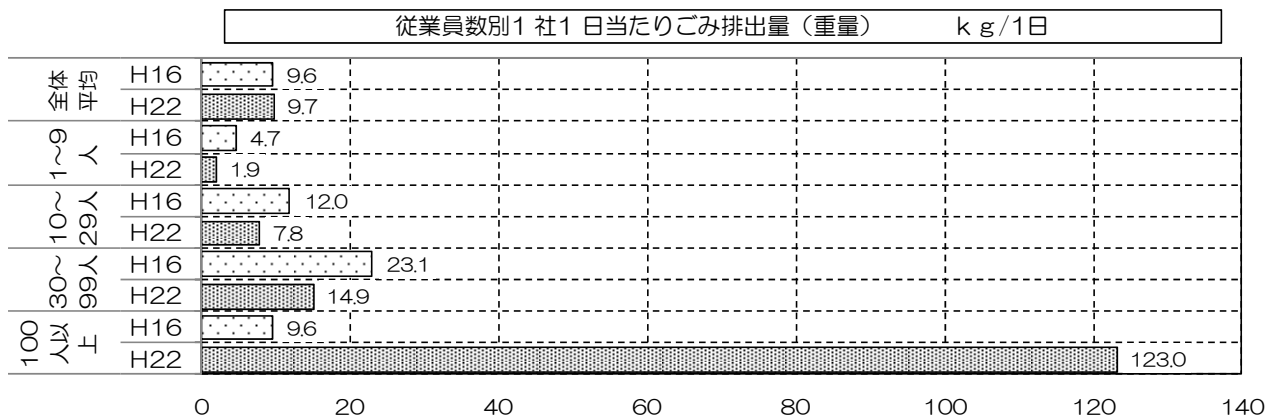


図 4-4 従業員数別 1事業所あたりの排出量(重量ベース):平成16年度・平成22年度 比較

4-2 ごみの組成

ごみの組成の全体平均の平成16年度と平成22年度を比較すると、容積比、重量比ともに、「厨芥類等」が増加し、「紙類」が減少している。業種別もほぼ同様の傾向であるが、「卸売・小売業、宿泊業、飲食店」、「サービス業」では「紙類」が増加、「サービス業」では「厨芥類等」が増加している。なお、プラスチック類については、全体平均では変化がないが、業種によって、増加しているところと減少しているところの差が出ている。

① ごみの組成:全体平均

ごみの組成 全体平均	容積比		重量比	
	H16	H22	H16	H22
厨芥類等	18.2%	35.1%	22.2%	38.6%
紙類	53.6%	43.2%	54.5%	43.4%
繊維類	2.4%	3.6%	3.1%	4.9%
プラスチック類	15.0%	15.9%	8.3%	9.9%
金属類	3.0%	1.3%	2.5%	1.2%
びん類	1.5%	0.6%	4.0%	1.6%
その他	6.3%	0.4%	5.4%	0.4%

表 4-5 ごみの組成:全体平均:平成16年度・平成22年度 比較表

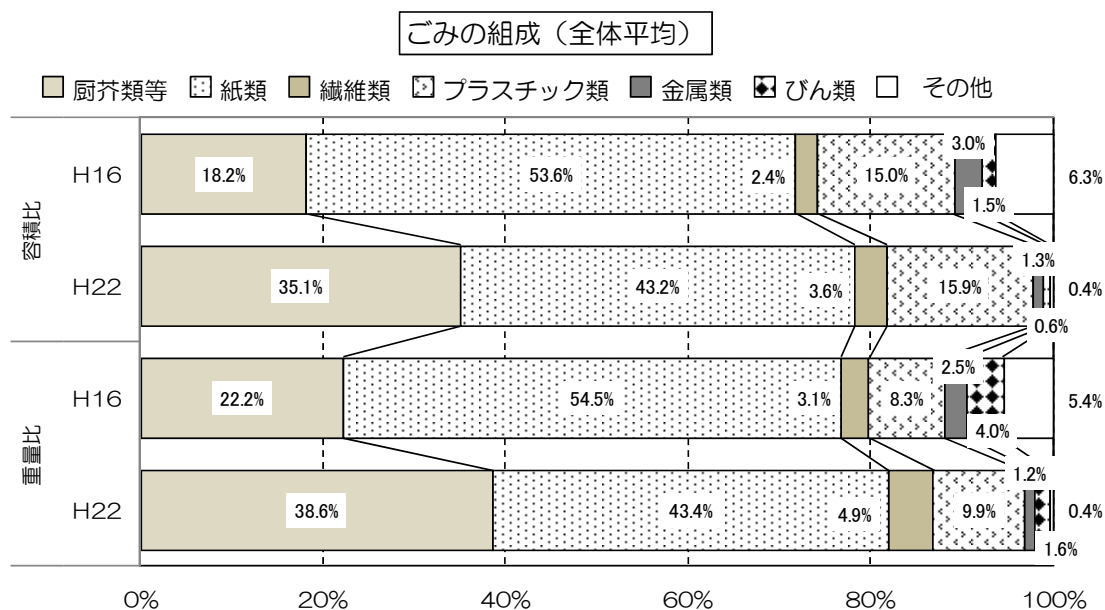


図 4-5 ごみの組成:全体平均:平成16年度・平成22年度 比較

② ごみの組成：農林漁業

ごみの組成 農林漁業	容積比		重量比	
	H16	H22	H16	H22
厨芥類等	10.9%	30.0%	12.5%	39.2%
紙類	73.9%	27.4%	73.2%	30.6%
繊維類	2.2%	0.0%	3.6%	0.0%
プラスチック類	8.7%	39.6%	5.4%	26.9%
金属類	2.2%	2.5%	1.8%	2.4%
びん類	2.2%	0.3%	3.6%	0.7%
その他	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%

表 4-6 ごみの組成：農林漁業：平成 16 年度・平成 22 年度 比較表

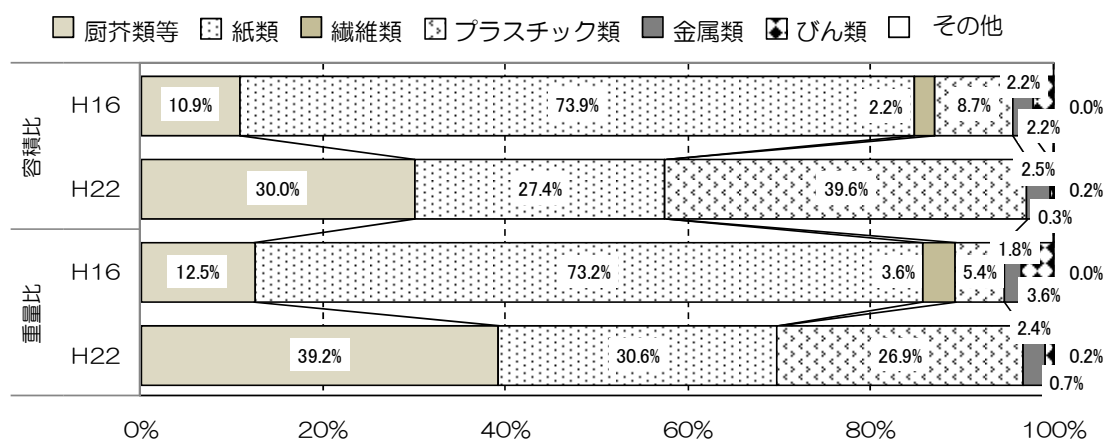


図 4-6 ごみの組成：農林漁業：平成 16 年度・平成 22 年度 比較

③ ごみの組成：建設業

ごみの組成 建設業	容積比		重量比	
	H16	H22	H16	H22
厨芥類等	13.8%	37.3%	15.6%	35.9%
紙類	48.3%	44.1%	53.1%	48.3%
繊維類	0.0%	0.4%	3.1%	0.5%
プラスチック類	24.1%	9.8%	12.5%	5.5%
金属類	3.4%	5.8%	3.1%	5.4%
びん類	0.0%	1.0%	3.1%	2.8%
その他	10.3%	1.5%	9.4%	1.4%

表 4-7 ごみの組成：建設業：平成 16 年度・平成 22 年度 比較表

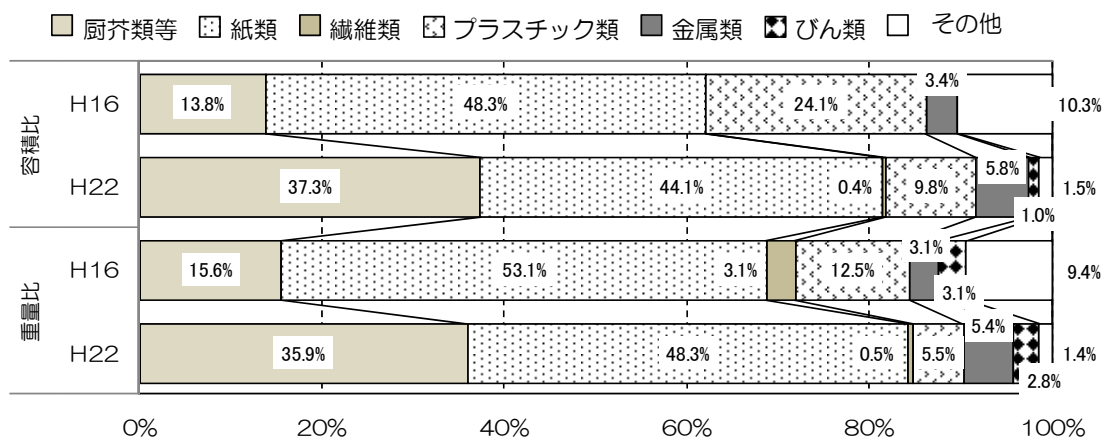


図 4-7 ごみの組成：建設業：平成 16 年度・平成 22 年度 比較

④ ごみの組成：製造業

ごみの組成 製造業	容積比		重量比	
	H16	H22	H16	H22
厨芥類等	11.8%	16.5%	14.5%	24.5%
紙類	55.1%	34.3%	55.1%	37.3%
繊維類	4.7%	0.8%	6.5%	1.2%
プラスチック類	15.7%	46.3%	10.1%	33.3%
金属類	1.6%	0.8%	1.4%	0.8%
びん類	0.8%	0.7%	2.9%	2.2%
その他	10.2%	0.6%	9.4%	0.6%

表 4-8 ごみの組成：製造業：平成 16 年度・平成 22 年度 比較表

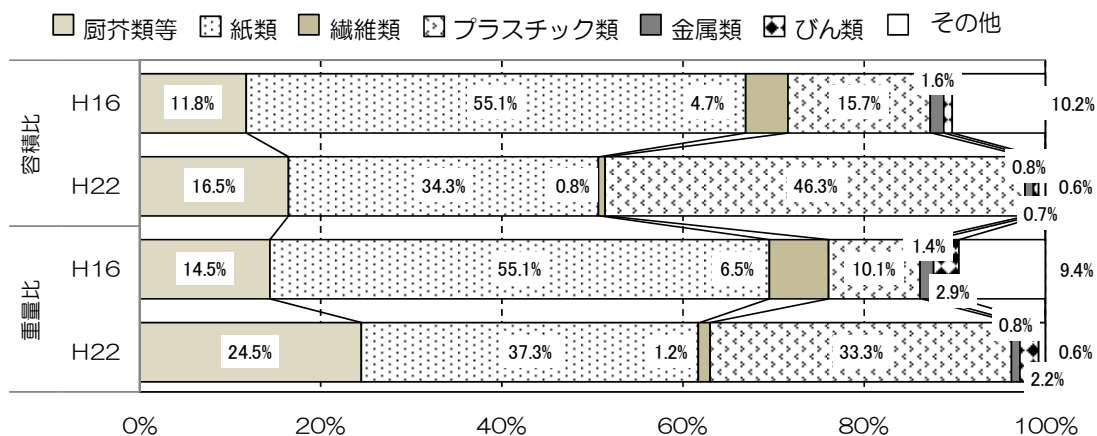


図 4-8 ごみの組成：製造業：平成 16 年度・平成 22 年度 比較

⑤ ごみの組成：電気・ガス・熱供給・水道業

ごみの組成 電気・ガス・熱供給・水道業	容積比		重量比	
	H16	H22	H16	H22
厨芥類等	7.4%	77.0%	10.3%	75.1%
紙類	75.9%	19.9%	79.4%	22.6%
繊維類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
プラスチック類	14.8%	2.3%	7.4%	1.5%
金属類	1.9%	0.7%	1.5%	0.7%
びん類	0.0%	0.0%	1.5%	0.1%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表 4-9 ごみの組成：電気・ガス・熱供給・水道業：平成 16 年度・平成 22 年度 比較表

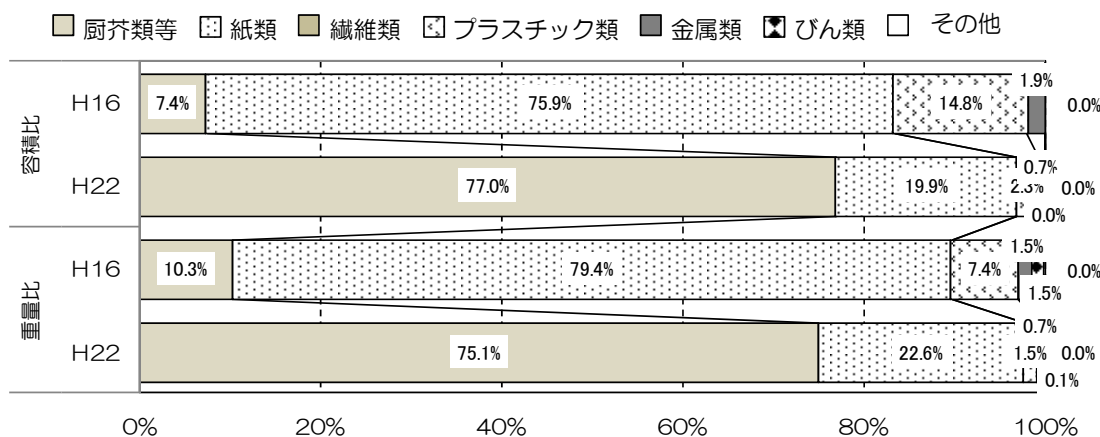


図 4-9 ごみの組成：電気・ガス・熱供給・水道業：平成 16 年度・平成 22 年度 比較

⑥ ごみの組成：運輸・情報通信業

ごみの組成 運輸・情報通信業	容積比		重量比	
	H16	H22	H16	H22
厨芥類等	18.9%	44.5%	22.6%	50.3%
紙類	54.1%	37.7%	58.3%	37.5%
繊維類	0.0%	0.7%	0.0%	0.8%
プラスチック類	17.6%	7.2%	9.5%	3.0%
金属類	4.1%	8.6%	3.6%	6.5%
びん類	1.4%	0.5%	2.4%	1.2%
その他	4.1%	0.7%	3.6%	0.6%

表 4-10 ごみの組成：運輸・情報通信業：平成 16 年度・平成 22 年度 比較表

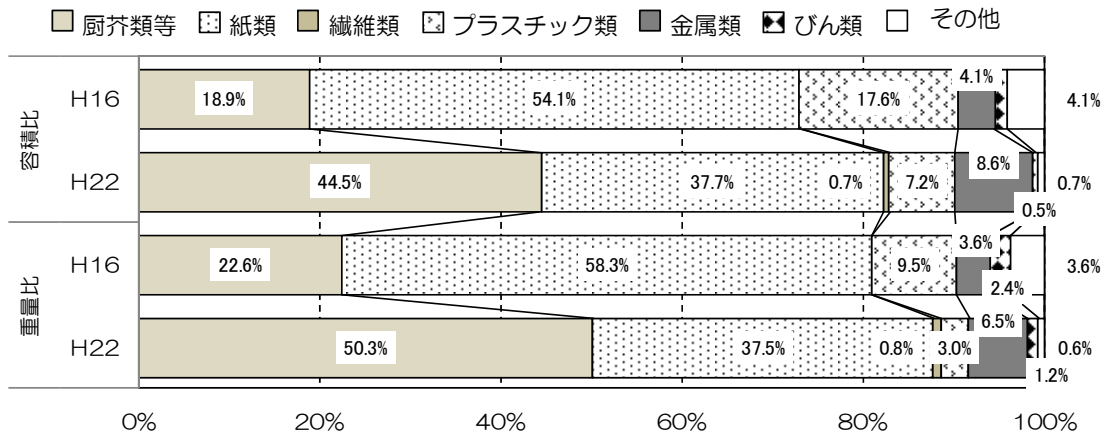


図 4-10 ごみの組成：運輸・情報通信業：平成 16 年度・平成 22 年度 比較

⑦ ごみの組成：卸売・小売業、宿泊業、飲食店

ごみの組成 卸売・小売業、宿泊業、飲食店	容積比		重量比	
	H16	H22	H16	H22
厨芥類等	34.9%	21.6%	43.0%	30.3%
紙類	39.8%	56.8%	37.0%	48.2%
繊維類	0.0%	7.8%	0.0%	11.1%
プラスチック類	14.5%	12.4%	7.0%	7.9%
金属類	4.8%	0.7%	4.0%	0.6%
びん類	2.4%	0.6%	6.0%	1.8%
その他	3.6%	0.1%	3.0%	0.1%

表 4-11 ごみの組成：卸売・小売業、宿泊業、飲食店：平成 16 年度・平成 22 年度 比較表

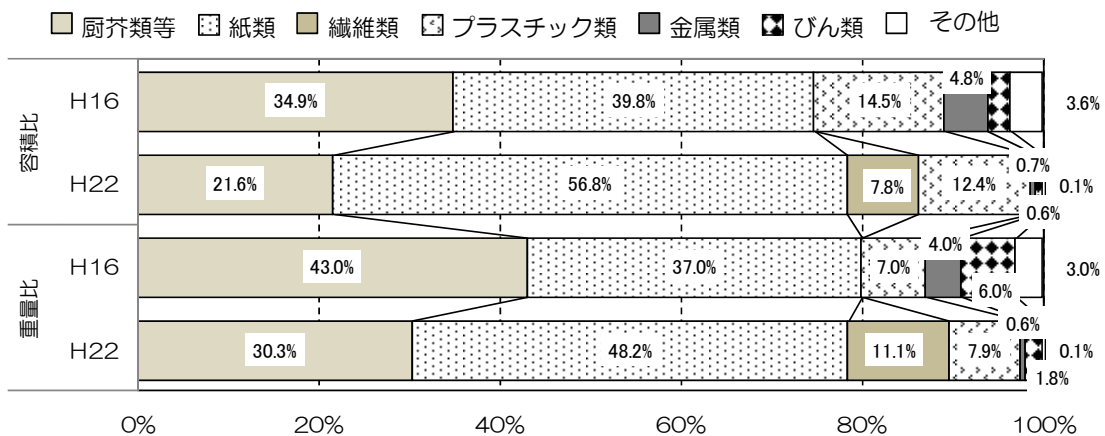


図 4-11 ごみの組成：卸売・小売業、宿泊業、飲食店：平成 16 年度・平成 22 年度 比較

⑧ ごみの組成：金融・保険・不動産業

ごみの組成 金融・保険・不動産業	容積比		重量比	
	H16	H22	H16	H22
厨芥類等	9.8%	19.5%	9.5%	24.3%
紙類	82.4%	57.1%	85.1%	57.2%
繊維類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
プラスチック類	5.9%	14.9%	2.7%	8.2%
金属類	2.0%	5.1%	1.4%	4.5%
びん類	0.0%	1.7%	1.4%	4.3%
その他	0.0%	1.7%	0.0%	1.4%

表 4-12 ごみの組成：金融・保険・不動産業：平成 16 年度・平成 22 年度 比較表

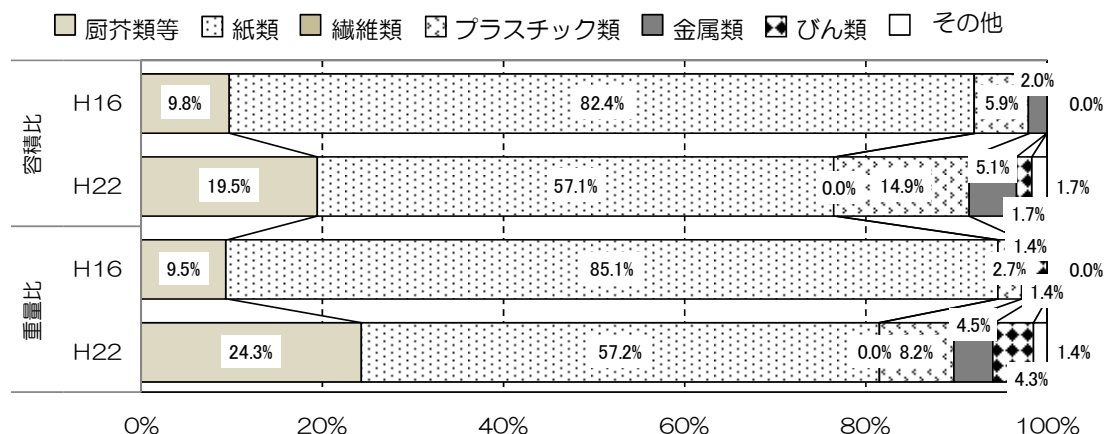


図 4-12 ごみの組成：金融・保険・不動産業：平成 16 年度・平成 22 年度 比較

⑨ ごみの組成：サービス業

ごみの組成 サービス業	容積比		重量比	
	H16	H22	H16	H22
厨芥類等	23.0%	19.3%	27.4%	17.2%
紙類	49.4%	52.8%	49.1%	68.6%
繊維類	1.1%	1.1%	1.9%	1.0%
プラスチック類	13.8%	22.6%	7.5%	9.4%
金属類	4.6%	1.7%	3.8%	1.1%
びん類	2.3%	1.0%	5.7%	1.8%
その他	5.7%	1.4%	4.7%	0.8%

表 4-13 ごみの組成：サービス業：平成 16 年度・平成 22 年度 比較表

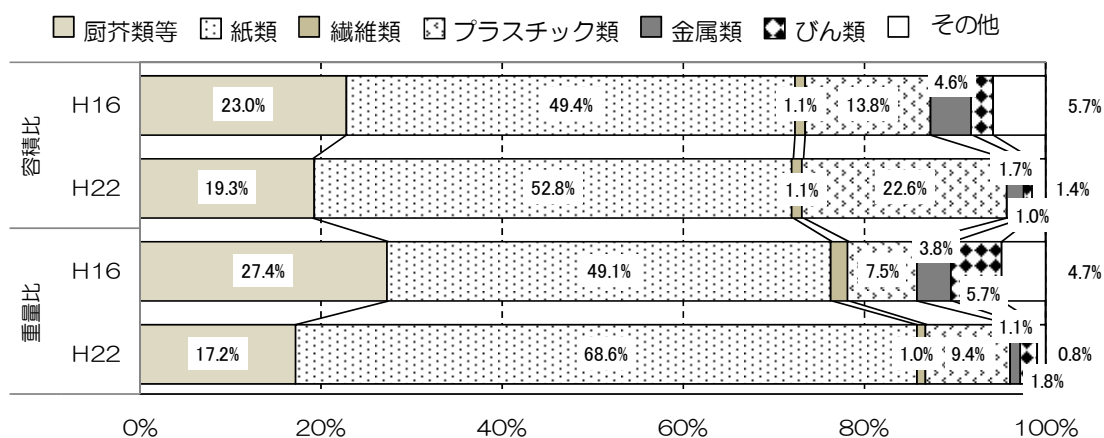


図 4-13 ごみの組成：サービス業：平成 16 年度・平成 22 年度 比較

⑩ ごみの組成：その他

ごみの組成 その他	容積比		重量比	
	H16	H22	H16	H22
厨芥類等	20.0%	6.0%	21.4%	7.2%
紙類	62.9%	71.9%	66.7%	68.9%
繊維類	0.0%	0.7%	0.0%	1.0%
プラスチック類	14.3%	7.9%	7.1%	4.1%
金属類	2.9%	6.6%	2.4%	5.9%
びん類	0.0%	3.8%	2.4%	10.1%
その他	0.0%	3.1%	0.0%	2.8%

表 4-14 ごみの組成：その他：平成 16 年度・平成 22 年度 比較表

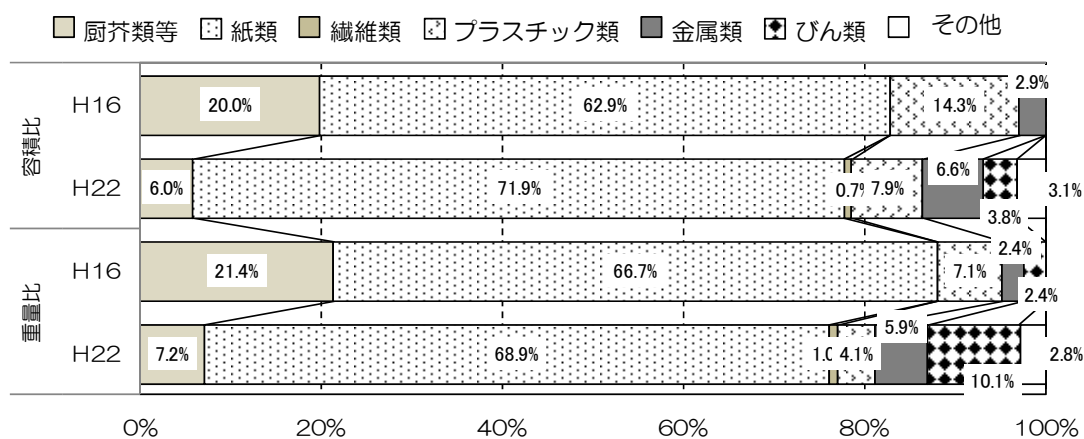


図 4-14 ごみの組成：その他：平成 16 年度・平成 22 年度 比較

4-3 資源としての排出量

① 業種別 資源排出量（重量）

業種別の資源としての排出量の平成 16 年度と平成 22 年度を比較すると、全体平均はほぼ同じであるが、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「卸売・小売業、宿泊業、飲食店」で、差が出ている。そのうち、特に「厨芥類」と、「紙類」において、差が大きい。

資源排出量 (kg/1日・1事業所)		年度	1	2	3	4	5	6	7	計
			厨芥類等	紙類	繊維類	プラスチック類	金属類	びん類	その他	
全体平均		H16	2.0	6.5	0.3	1.2	0.9	0.5	0.0	11.4
		H22	4.8	5.2	0.6	1.1	0.2	0.3	0.0	12.1
1	農林漁業	H16	4.0	2.9	0.0	0.9	0.2	0.2	0.0	8.2
		H22	1.1	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	1.9
2	建設業	H16	1.0	3.7	0.0	2.1	0.5	0.3	0.0	7.6
		H22	1.4	2.0	0.0	0.2	0.2	0.1	0.0	4.0
3	製造業	H16	1.2	9.0	0.5	1.4	1.0	0.3	0.0	13.4
		H22	2.6	8.6	0.1	3.2	0.4	0.2	0.1	15.2
4	電気・ガス・熱供給・水道業	H16	0.8	4.4	0.0	0.4	0.6	0.4	0.0	6.6
		H22	24.2	6.7	0.0	0.5	0.2	0.0	0.0	31.7
5	運輸・情報通信業	H16	0.6	3.9	0.0	0.5	1.3	1.5	0.0	7.8
		H22	0.7	1.5	0.0	0.1	0.2	0.2	0.0	2.7
6	卸売・小売業、 宿泊業、飲食店	H16	3.3	5.6	0.1	0.7	0.7	0.5	0.0	10.9
		H22	11.9	12.1	3.3	2.1	0.3	1.1	0.0	30.9
7	金融・保険・ 不動産業	H16	0.3	7.4	0.0	0.3	0.2	0.1	0.0	8.3
		H22	0.9	1.6	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	2.8
8	サービス業	H16	2.7	4.7	0.2	0.8	1.0	0.8	0.0	10.2
		H22	0.8	2.6	0.0	0.5	0.1	0.1	0.1	4.1
9	その他	H16	0.5	2.9	0.1	0.9	1.0	0.3	0.0	5.7
		H22	0.2	3.6	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	4.2

表 4-15 業種別 資源排出量：平成 16 年度・平成 22 年度 比較表

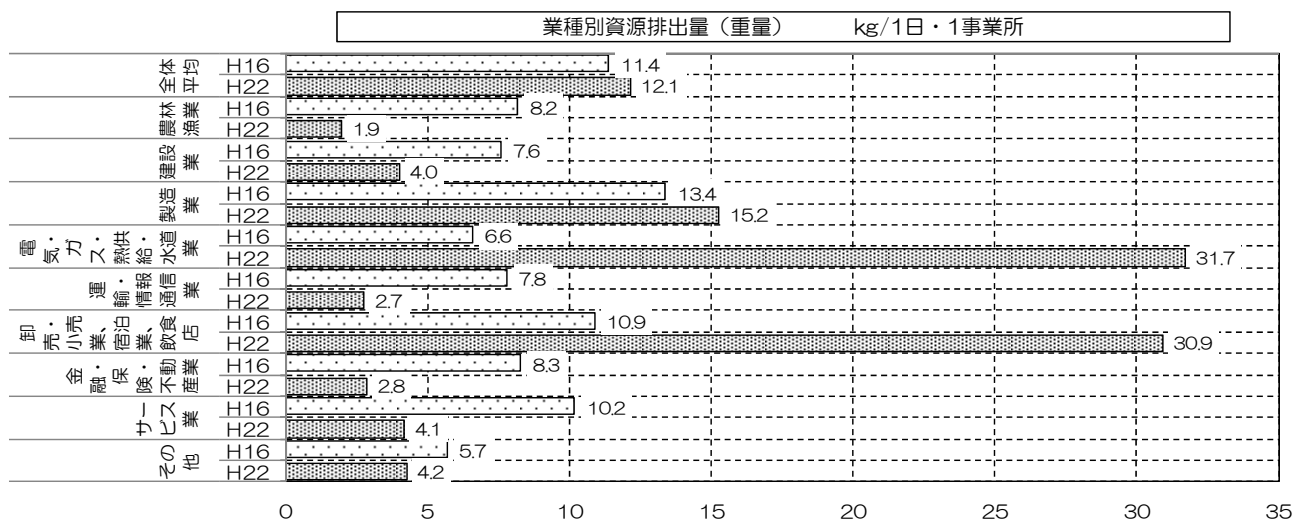


図 4-15 業種別 資源排出量：平成 16 年度・平成 22 年度 比較

② 従業員数別 資源排出量（重量）

従業員数別の資源としての排出量の平成16年度と平成22年度を比較すると、「30～99人」、「100人以上」で差が出ている。そのうち、特に「厨芥類」と、「紙類」において、差が大きい。

資源排出量 (kg/1日・1事業所)		年度	1	2	3	4	5	6	7	計
			厨芥類等	紙類	繊維類	プラスチック類	金属類	ビン類	その他	
全体平均		H16	2.0	6.5	0.3	1.2	0.9	0.5	0.0	11.4
		H22	4.8	5.2	0.6	1.1	0.2	0.3	0.0	12.2
1	1～9人	H16	0.8	1.0	0.1	0.6	0.3	0.2	0.0	3.0
		H22	0.8	1.0	0.2	0.2	0.1	0.3	0.0	2.6
2	10～29人	H16	0.9	3.4	0.0	0.5	0.5	0.5	0.0	5.8
		H22	2.2	2.8	0.1	2.4	0.4	0.1	0.0	8.2
3	30～99人	H16	1.9	5.8	0.2	1.0	1.6	0.7	0.0	11.2
		H22	3.1	11.2	3.9	1.1	0.2	0.4	0.0	19.9
4	100人以上	H16	3.6	13.4	0.5	1.9	1.2	0.8	0.0	21.4
		H22	79.6	64.4	0.6	8.2	1.4	0.9	0.0	155.1

表 4-16 従業員数別 資源排出量：平成16年度・平成22年度 比較表

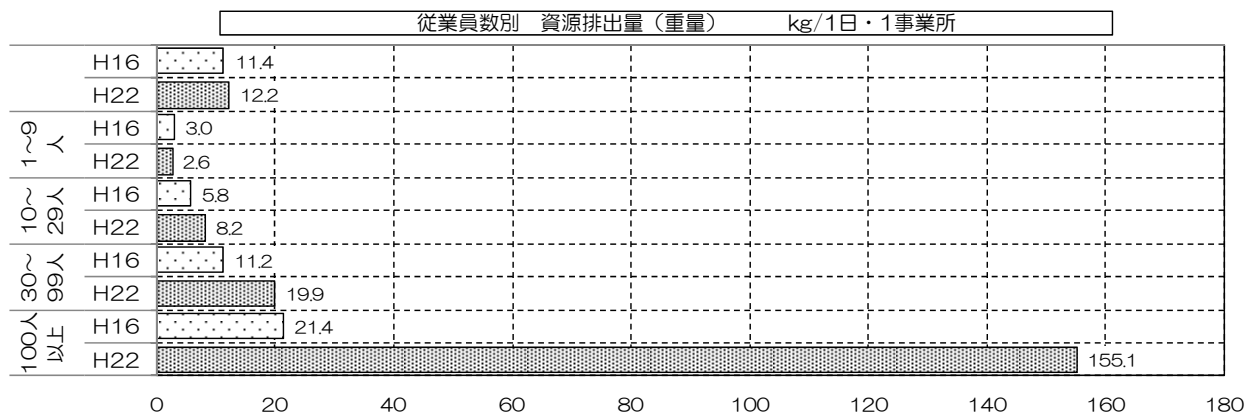


図 4-16 従業員数別 資源排出量：平成16年度・平成22年度 比較

③ 処理方法別 資源排出量（重量）

処理方法別の資源としての排出量の平成16年度と平成22年度の比較は、全体平均で平成22年度は約半分となっている。特に「業者委託」が減少している。

資源排出量 (kg/1日・1事業所)		年度	1	2	3	4	5	6	7	計
			厨芥類等	紙類	繊維類	プラスチック類	金属類	ビン類	その他	
全体平均		H16	2.0	6.5	0.3	1.2	0.9	0.5	0.0	11.4
		H22	2.4	3.6	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	6.5
1	業者委託	H16	1.5	5.1	0.3	0.9	0.5	0.2	0.0	8.5
		H22	0.2	0.8	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	1.4
2	業者売却	H16	0.1	0.6	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	1.1
		H22	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9
3	行政収集	H16	0.0	0.5	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.8
		H22	0.3	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
4	集団回収	H16	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
		H22	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
5	店頭回収	H16	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		H22	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
6	取引先への返却	H16	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.5
		H22	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
7	自社内処理	H16	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
		H22	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9

表 4-17 処理方法別 資源排出量：平成16年度・平成22年度 比較表

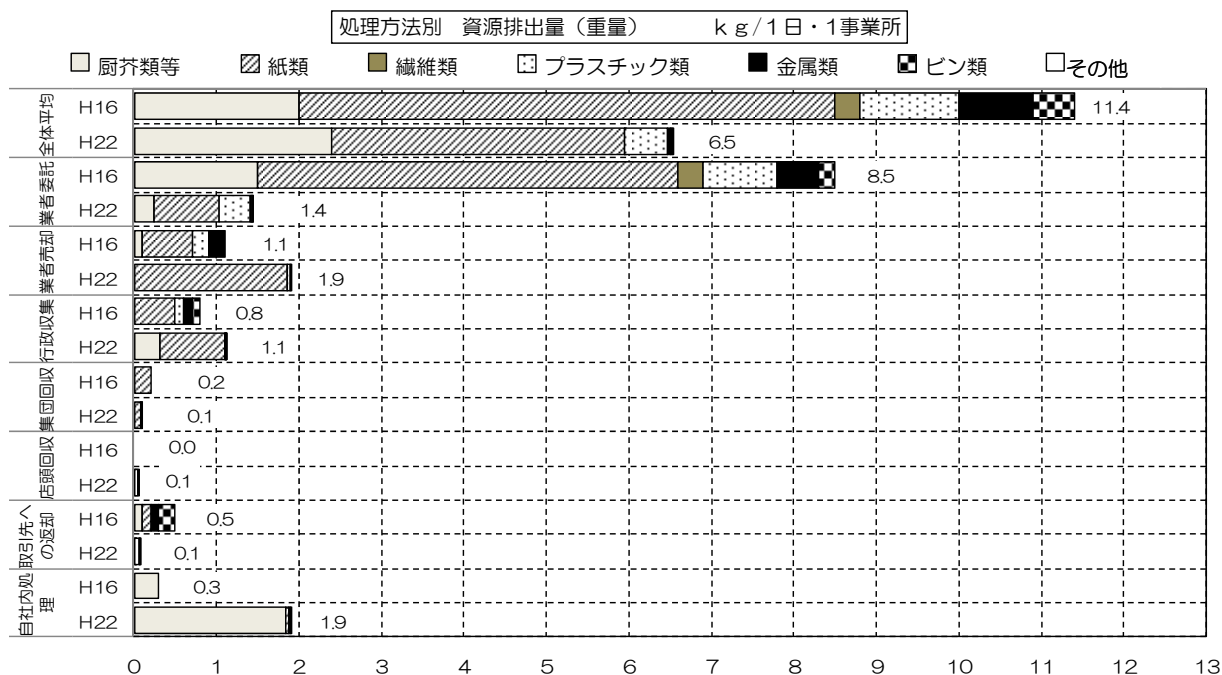


図 4-17 処理方法別 資源排出量：平成 16 年度・平成 22 年度 比較

④ 品目別 処理方法割合（重量比）

処理方法割合（重量比）の平成 16 年度と平成 22 年度を比較すると、全体平均で「業者委託」、「業者売却」、「行政収集」で差が出ている。「業者委託」が大きく減少している一方、「業者売却」、「行政収集」、「自社内処理」が増加している。品目別でも処理方法割合は差が出ている。

品目別排出量比率	年度	1	2	3	4	5	6	7	計
		業者委託	業者売却	行政収集	集団回収	店頭回収	取引先返却	自社内処理	
全体平均	H16	74.6%	9.6%	7.0%	1.8%	0.0%	4.4%	2.6%	100.0%
	H22	22.1%	29.0%	17.0%	1.1%	0.9%	1.0%	29.0%	100.0%
1 厨芥類等	H16	75.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	15.0%	100.0%
	H22	9.9%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.1%	76.8%	100.0%
2 紙類	H16	78.5%	9.2%	7.7%	3.1%	0.0%	1.5%	0.0%	100.0%
	H22	22.2%	52.3%	21.8%	2.0%	0.2%	0.1%	1.3%	100.0%
3 繊維類	H16	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	H22	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
4 プラスチック類	H16	75.0%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	H22	74.7%	4.6%	0.1%	0.3%	8.4%	10.9%	1.0%	100.0%
5 金属類	H16	55.6%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	100.0%
	H22	41.8%	3.4%	33.1%	3.4%	13.0%	5.2%	0.0%	100.0%
6 ピン類	H16	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	100.0%
	H22	55.9%	0.0%	24.6%	0.0%	0.0%	19.5%	0.0%	100.0%
7 その他	H16	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	H22	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	100.0%

表 4-18 品目別 処理方法割合：平成 16 年度・平成 22 年度 比較表

品目別排出量比率

業者委託
 業者売却
 行政収集
 集団回収
 店頭回収
 取引先返却
 自社内処理

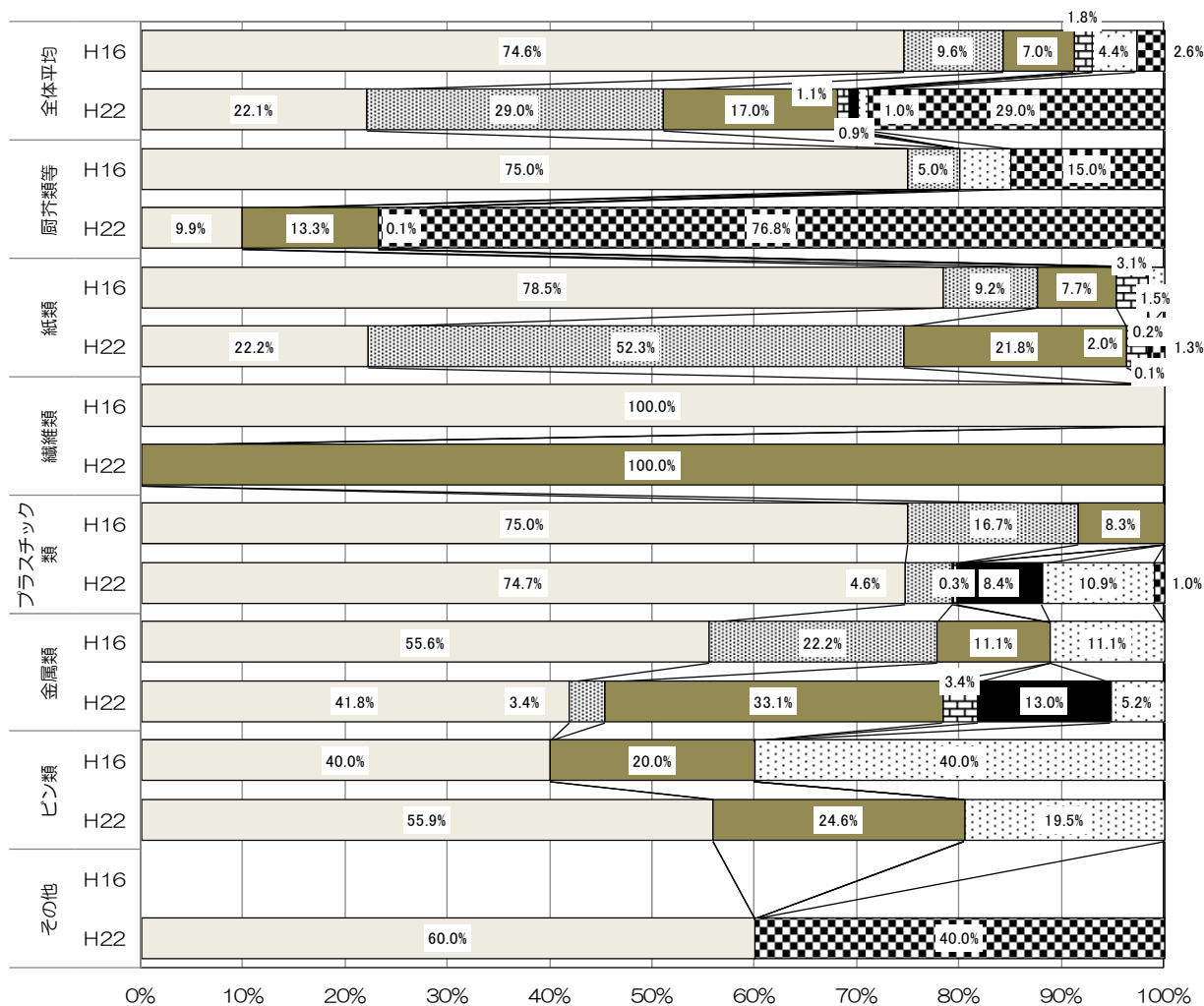


図 4-18 品目別 処理方法割合：平成 16 年度・平成 22 年度 比較

4-4 全県排出量拡大推計

上記(表4-1~4-2)で推計した業種別 1 事業所1 日当たり排出量に県全体の業種別事業所数(平成18 年事業所・企業統計調査)を乗じ、全県で1 日当たりに排出されるごみを推計した。

県全体のごみ排出量(容積)の推計の平成16年度と平成22年度を比較すると、ほぼ同じであるが、(重量)では、約33%の増加と推計される。

県全体のごみ排出量(容積)

全県推計 キロリットル/1日	年度	全体	農林漁業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・ 水道業	運輸・ 情報 通信業	卸売・小売業、 宿泊業、 飲食店	金融・保 険・不 動産業	サービス業	その他
事業所数	H16	78,099	263	8,672	4,514	183	2,427	33,288	4,008	23,654	1,090
	H22	82,328	364	9,295	8,659	56	1,981	32,317	5,001	20,626	4,029
厨芥類等	H16	1,605	1	35	68	1	34	965	20	473	8
	H22	1,600	2	37	130	0	28	937	25	413	28
紙類	H16	2,859	9	121	316	8	97	1,099	168	1,017	24
	H22	3,082	12	130	606	2	79	1,066	210	887	89
繊維類	H16	51	0	0	27	0	0	0	0	24	0
	H22	73	0	0	52	0	0	0	0	21	0
プラスチック類	H16	885	1	61	90	1	32	399	12	284	5
	H22	936	1	65	173	0	26	388	15	248	20
金属類	H16	258	0	9	9	0	7	133	4	95	1
	H22	254	0	9	17	0	6	129	5	83	4
ビン類	H16	121	0	0	5	0	2	67	0	47	0
	H22	117	0	0	9	0	2	65	0	41	0
その他	H16	310	0	26	59	0	7	100	0	118	0
	H22	346	0	28	113	0	6	97	0	103	0
計	H16	6,089	11	252	574	10	179	2,763	204	2,058	38
	H22	6,408	17	270	1,100	3	147	2,682	255	1,794	141
排出比率	H16	100.0%	0.2%	4.1%	9.4%	0.2%	2.9%	45.4%	3.4%	33.8%	0.6%
	H22	100.0%	0.3%	4.2%	17.2%	0.0%	2.3%	41.9%	4.0%	28.0%	2.2%

表 4-19 全県拡大推計(容積ベース):平成16年度・平成22年度 比較

県全体のごみ排出量(重量)

全県推計 t/1日	年度	全体	農林漁業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・ 水道業	運輸・ 情報通信業	卸売・小売業、 宿泊業、 飲食店	金融・保 険・不 動産業	サービス業	その他
事業所数	H16	78,099	263	8,672	4,514	183	2,427	33,288	4,008	23,654	1,090
	H22	82,328	364	9,295	8,659	56	1,981	32,317	5,001	20,626	4,029
厨芥類等	H16	234	0	4	9	0	5	143	3	69	1
	H22	278	0	7	19	1	4	225	4	16	1
紙類	H16	337	1	15	34	1	12	123	25	123	3
	H22	482	0	9	30	0	3	358	9	64	8
繊維類	H16	10	0	1	4	0	0	0	0	5	0
	H22	85	0	0	1	0	0	82	0	1	0
プラスチック類	H16	54	0	3	6	0	2	23	1	19	0
	H22	97	0	1	26	0	0	59	1	9	0
金属類	H16	25	0	1	1	0	1	13	0	9	0
	H22	9	0	1	1	0	1	5	1	1	1
ビン類	H16	37	0	1	2	0	0	20	0	14	0
	H22	19	0	1	2	0	0	13	1	2	1
その他	H16	32	0	3	6	0	1	10	0	12	0
	H22	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0
計	H16	729	1	28	62	1	21	332	29	251	4
	H22	973	0	19	79	2	9	743	15	94	12
排出比率	H16	100.0%	0.1%	3.8%	8.5%	0.1%	2.9%	45.5%	4.0%	34.4%	0.5%
	H22	100.0%	0.0%	2.0%	8.2%	0.2%	0.9%	76.3%	1.6%	9.7%	1.2%

表 4-20 全県拡大推計(重量ベース):平成16年度・平成22年度 比較

5 解析

平成22年度の事業所アンケートの結果から、問1「ごみの減量化の取組状況」と「意識・行動」に関するいくつかの設問とのクロス集計を行って解析した。各問いの無回答は、削除して算定しているため、クロス集計の全体の数値は単純集計の数値と異なっている。

① 問1と問15「ごみの減量化の目標設定」のクロス集計

「減量化の取組状況」と「ごみの減量化の目標設定」では、「減量にかなり取り組んでいる」で「目標を定めている」が37.1%となっているが、「定めるかどうかは不明」が48.4%である。また、「減量化に全く取り組んでいない」と回答しているにも関わらず、「減量化の目標を設定している」が11.1%ある。以上のように、「ごみの減量化への取組状況」と減量化の目標設定行動にはギャップが見られる。

問1vs問15 回答数		1	2	3	計
		定めている	定める予定がある	定めるかどうかは不明	
1	かなり取り組んでいる	23	9	30	62
2	ある程度取り組んでいる	27	43	200	270
3	あまり取り組んでいない	0	7	125	132
4	全く取り組んでいない	2	0	16	18
計		52	59	371	482

表 5-1 問1vs問15 クロス集計 回答数

問1vs問15 問1 選択肢別回答率		1	2	3	計
		定めている	定める予定がある	定めるかどうかは不明	
1	かなり取り組んでいる	37.1%	14.5%	48.4%	100.0%
2	ある程度取り組んでいる	10.0%	15.9%	74.1%	100.0%
3	あまり取り組んでいない	0%	5.3%	94.7%	100.0%
4	全く取り組んでいない	11.1%	0%	88.9%	100.0%

表 5-2 問1vs問15 問1 選択肢別クロス集計 回答率

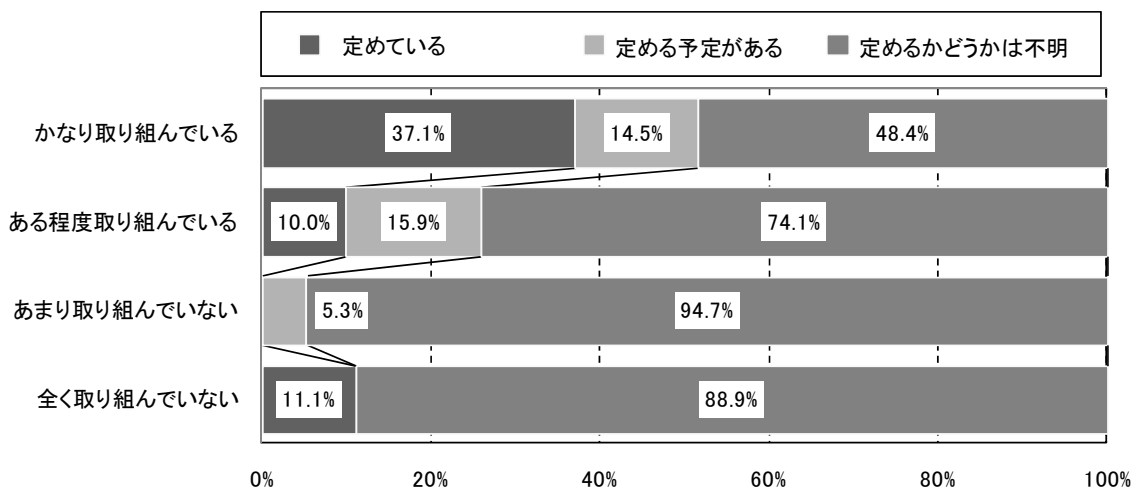


図 5-1 問1vs問15 問1 選択肢別クロス集計 回答率

② 問 1 と問 16「ごみの減量化・リサイクル推進の問題点」のクロス集計

「減量化の取組状況」と「ごみの減量化・リサイクル推進の問題点」では、ごみの減量化に「かなり取り組んでいる」で「経費削減にならない」が最も多く、そのほかの取組状況では「システムができない」が最も多い。このことから、「システムができない」ことが、減量化への取組のネックとなっていることが推察される。

問 1 v s 問 16 回答数		1	2	3	4	5	6	7	計
		減量等 の方法	システム が できない	ごみ区分 が障害	経費削減 にならない	事業系 ごみが分 からない	両立しな い	その他	
1	かなり取り組んでいる	3	13	7	18	2	9	18	70
2	ある程度取り組んでいる	28	108	37	53	13	48	30	317
3	あまり取り組んでいない	20	63	8	27	10	13	20	161
4	全く取り組んでいない	2	6	2	2	1	1	3	17
計		53	190	54	100	26	71	71	565

表 5-3 問 1 v s 問 16 クロス集計 回答数

問 1 v s 問 16 問 1 選択肢別回答率		1	2	3	4	5	6	7	計
		減量等 の方法	システム が できない	ごみ区分 が障害	経費削減 にならない	事業系 ごみが分 からない	両立しな い	その他	
1	かなり取り組んでいる	4.3%	18.6%	10.0%	25.7%	2.9%	12.9%	25.7%	100%
2	ある程度取り組んでいる	8.8%	34.1%	11.7%	16.7%	4.1%	15.1%	9.5%	100%
3	あまり取り組んでいない	12.4%	39.1%	5.0%	16.8%	6.2%	8.1%	12.4%	100%
4	全く取り組んでいない	11.8%	35.3%	11.8%	11.8%	5.9%	5.9%	17.6%	100%

表 5-4 問 1 v s 問 16 問 1 選択肢別クロス集計 回答率

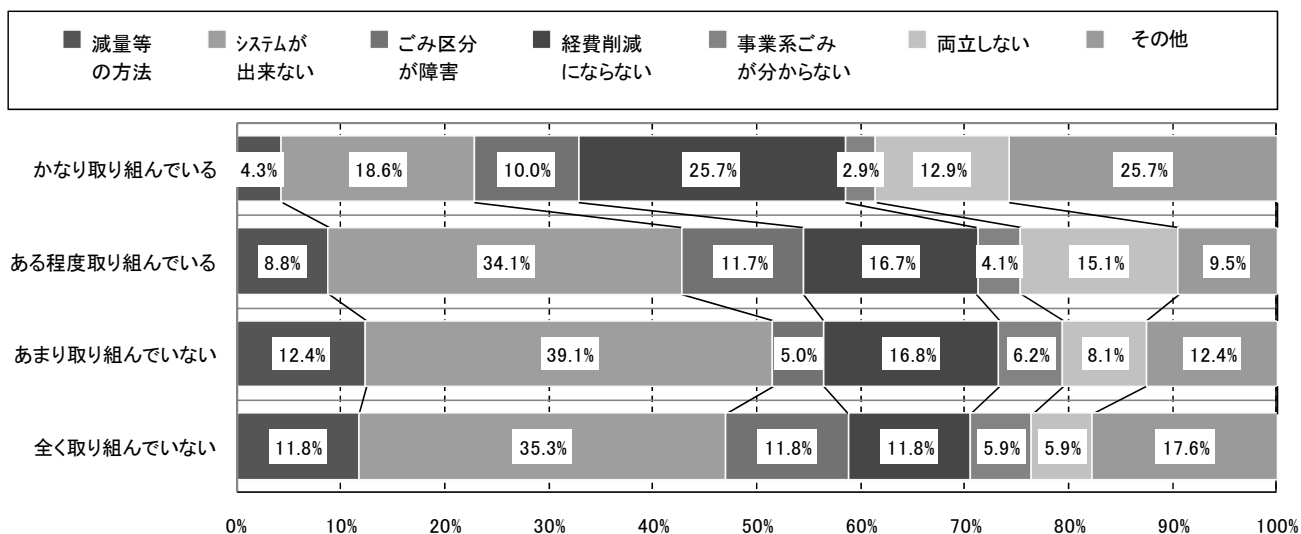


図 5-2 問 1 v s 問 16 問 1 選択肢別クロス集計 回答率

③ 問 1 と問 19「県に期待する役割」のクロス集計

「減量化への取組状況」と「県に期待する役割」では、ごみの減量化に「全く取り組んでいない」で「情報交換の場の提供」が最も多く、そのほかの取組状況では「成功・失敗事例」が最も多い。「特に必要なし」が、減量化への取組が進んでいないほど多くなっており、取組状況によって大きな差が生じている。

問 1 v s 問 19 回答数		1	2	3	4	5	6	計
		全体的な啓発	調査研究や情報提供	情報交換の場の提供	成功・失敗事例	その他	特に必要なし	
1	かなり取り組んでいる	18	17	7	22	7	14	85
2	ある程度取り組んでいる	76	73	35	83	8	65	340
3	あまり取り組んでいない	22	21	6	31	3	62	145
4	全く取り組んでいない	2	0	5	3	0	15	25
計		118	111	53	139	18	156	595

表 5-5 問 1 v s 問 19 クロス集計 回答数

問 1 v s 問 19 問 1 選択肢別回答率		1	2	3	4	5	6	計
		全体的な啓発	調査研究や情報提供	情報交換の場の提供	成功・失敗事例	その他	特に必要なし	
1	かなり取り組んでいる	21.2%	20.0%	8.2%	25.9%	8.2%	16.5%	100.0%
2	ある程度取り組んでいる	22.4%	21.5%	10.3%	24.4%	2.4%	19.1%	100.0%
3	あまり取り組んでいない	15.2%	14.5%	4.1%	21.4%	2.1%	42.8%	100.0%
4	全く取り組んでいない	8.0%	0%	20.0%	0%	0.0%	60.0%	100.0%

表 5-6 問 1 v s 問 19 問 1 選択肢別クロス集計 回答率

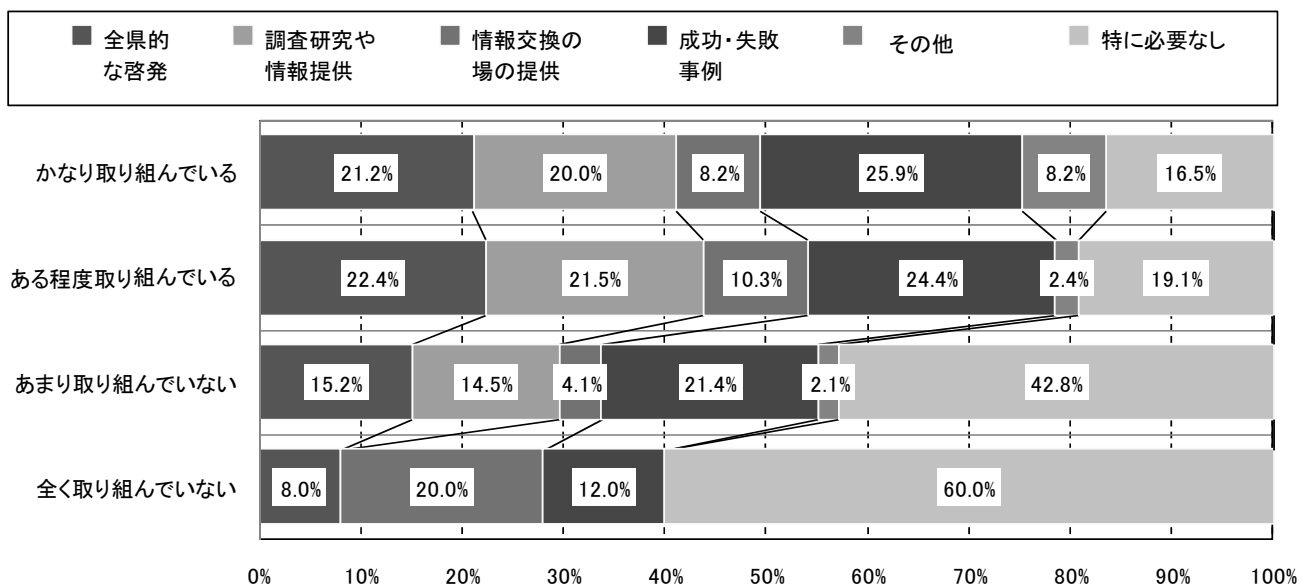


図 5-3 問 1 v s 問 19 問 1 選択肢別クロス集計 回答率

④ 問1と問20「ごみゼロ社会実現プランの認知度」のクロス集計

「減量化の取組状況」と「ごみゼロ社会実現プランの認知度」では、ごみの減量化に「かなり取り組んでいる」で、プランを「知っている」が37.8%であり、そのほかは「知っている」は10%未満となっている。
 プランを「知らない」はごみの減量化への取組が進んでいないほど高く、取組状況により大きく異なっている。

問1vs問20 回答数		1	2	3	計
		知っている	名前は聞いたことがある	知らない	
1	かなり取り組んでいる	31	20	31	82
2	ある程度取り組んでいる	28	107	148	283
3	あまり取り組んでいない	5	34	98	137
4	全く取り組んでいない	1	5	14	20
計		65	166	291	522

表 5-7 問1vs問20 クロス集計 回答数

問1vs問20 問1 選択肢別回答率		1	2	3	計
		知っている	名前は聞いたことがある	知らない	
1	かなり取り組んでいる	37.8%	24.4%	37.8%	100.0%
2	ある程度取り組んでいる	9.9%	37.8%	52.3%	100.0%
3	あまり取り組んでいない	3.6%	24.8%	71.5%	100.0%
4	全く取り組んでいない	5.0%	25.0%	70.0%	100.0%

表 5-8 問1vs問20 問1 選択肢別クロス集計 回答率

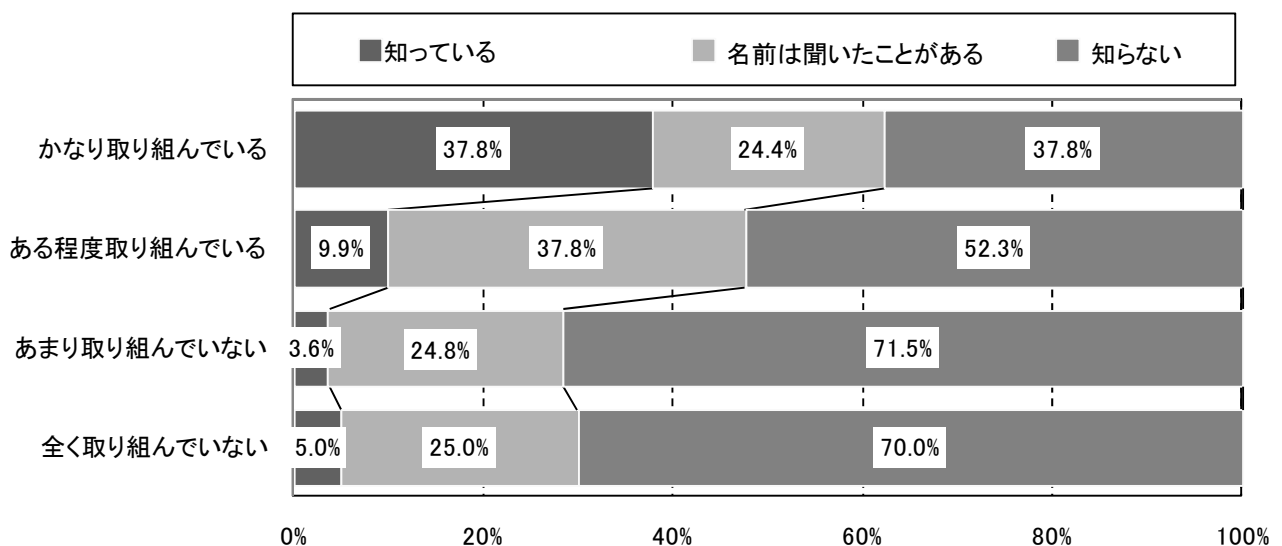


図 5-4 問1vs問20 問1 選択肢別クロス集計 回答数

⑤ 問1と問21「ゼロ吉の認知度」のクロス集計

「減量化の取組状況」と「ゼロ吉の認知度」では、ごみの減量化に「かなり取り組んでいる」でゼロ吉を「知っている」が29.6%であり、そのほかは「知っている」は10%前後となっている。
 ゼロ吉を「知らない」は、ごみ減量化への取組が進んでいないほど高く、取組状況により大きく異なっている。

問1vs問21 回答数		1	2	3	計
		知っている	見たことはある	知らない	
1	かなり取り組んでいる	24	10	47	81
2	ある程度取り組んでいる	29	39	215	283
3	あまり取り組んでいない	7	9	122	138
4	全く取り組んでいない	2	2	16	20
計		62	60	400	522

表 5-9 問1vs問21 クロス集計 回答数

問1vs問21 問1選択肢別回答率		1	2	3	計
		知っている	見たことはある	知らない	
1	かなり取り組んでいる	29.6%	12.3%	58.0%	100.0%
2	ある程度取り組んでいる	10.2%	13.8%	76.0%	100.0%
3	あまり取り組んでいない	5.1%	6.5%	88.4%	100.0%
4	全く取り組んでいない	10.0%	10.0%	80.0%	100.0%

表 5-10 問1vs問21 問1選択肢別クロス集計 回答率

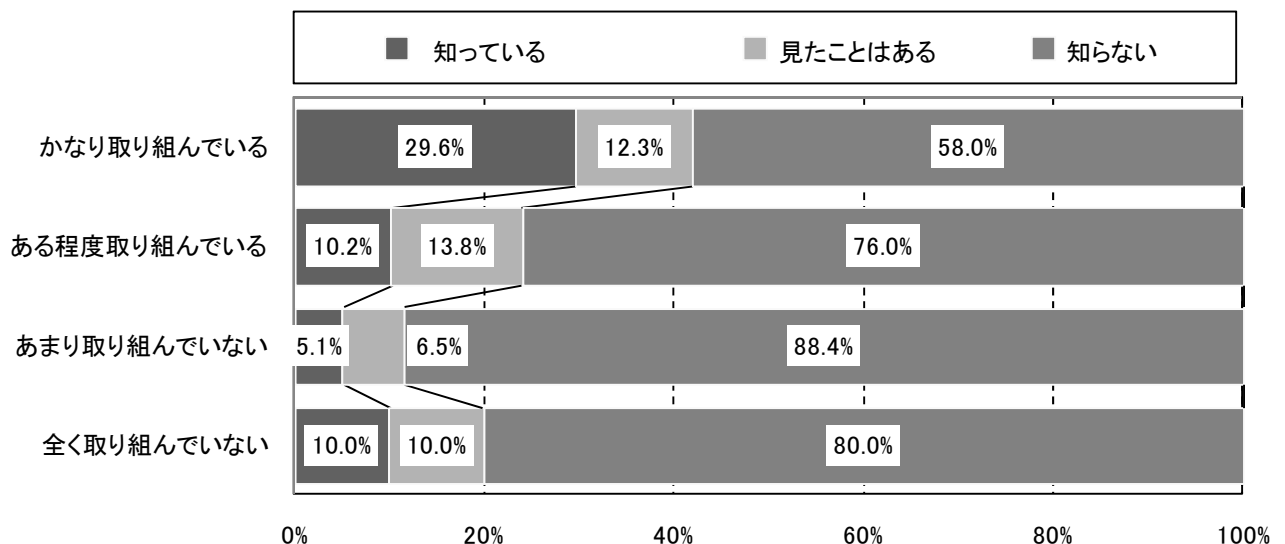


図 5-5 問1vs問21 問1選択肢別クロス集計 回答率

⑥ 問 1 と問 22 「事業者参画の取組への参加」のクロス集計

「減量化の取組状況」と「事業者参画の取組への参加」では、ごみの減量化に「かなり・ある程度取り組んでいる」で「ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい」が最も多く、そのほかは「アンケートなどに協力したい」が最も多くなっている。

「いずれにも参加したいとは思わない」はごみの減量化への取組が進んでいないほど多く、取組状況により大きく異なっている。

問 1 v s 問 22 回答数		1	2	3	4	計
		かなり取り組んでいる	ある程度取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	
1	地域ごみゼロ交流会に参加したい	4	17	7	0	28
2	ごみゼロに関する講演会やセミナーに参加したい	11	31	9	0	51
3	ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい	33	73	22	0	128
4	ごみゼロメールマガジンを読みたい	18	17	6	0	41
5	ごみゼロの取組をまとめた「ごみゼロレポート」を読みたい	27	46	23	2	98
6	アンケートなどに協力したい	9	63	28	4	104
7	自分の意見をFAXなどで県に寄せたい	1	5	0	0	6
8	ごみゼロプランの進捗状況などを評価検証する「ごみゼロプラン推進委員会」を傍聴したい	1	2	0	0	3
9	その他	5	8	4	1	18
10	いずれにも参加したいとは思わない	15	74	63	14	166

表 5-11 問 1 v s 問 22 クロス集計 回答数

問 1 v s 問 22 回答率		1	2	3	4	全体
		かなり取り組んでいる	ある程度取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	
1	地域ごみゼロ交流会に参加したい	3.2%	5.1%	4.3%	0%	4.4%
2	ごみゼロに関する講演会やセミナーに参加したい	8.9%	9.2%	5.6%	0%	7.9%
3	ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい	26.6%	21.7%	13.6%	0%	19.9%
4	ごみゼロメールマガジンを読みたい	14.5%	5.1%	3.7%	0%	6.4%
5	ごみゼロの取組をまとめた「ごみゼロレポート」を読みたい	21.8%	13.7%	14.2%	9.5%	15.2%
6	アンケートなどに協力したい	7.3%	18.8%	17.3%	19.0%	16.2%
7	自分の意見をFAXなどで県に寄せたい	0.8%	1.5%	0%	0%	0.9%
8	ごみゼロプランの進捗状況などを評価検証する「ごみゼロプラン推進委員会」を傍聴したい	0.8%	0.6%	0%	0%	0.5%
9	その他	4.0%	2.4%	2.5%	4.8%	2.8%
10	いずれにも参加したいとは思わない	12.1%	22.0%	38.9%	66.7%	25.8%
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 5-12 問 1 v s 問 22 問 1 選択肢別クロス集計 回答率

- 地域ごみゼロ交流会に参加したい
- ごみゼロに関する講演会やセミナーに参加したい
- ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい
- ごみゼロメールマガジンを読みたい
- ごみゼロの取組をまとめた「ごみゼロレポート」を読みたい
- アンケートなどに協力したい
- 自分の意見をFAXなどで県に寄せたい
- ごみゼロプランの進捗状況などを評価検証する「ごみゼロプラン推進委員会」を傍聴したい
- その他
- いずれにも参加したいとは思わない

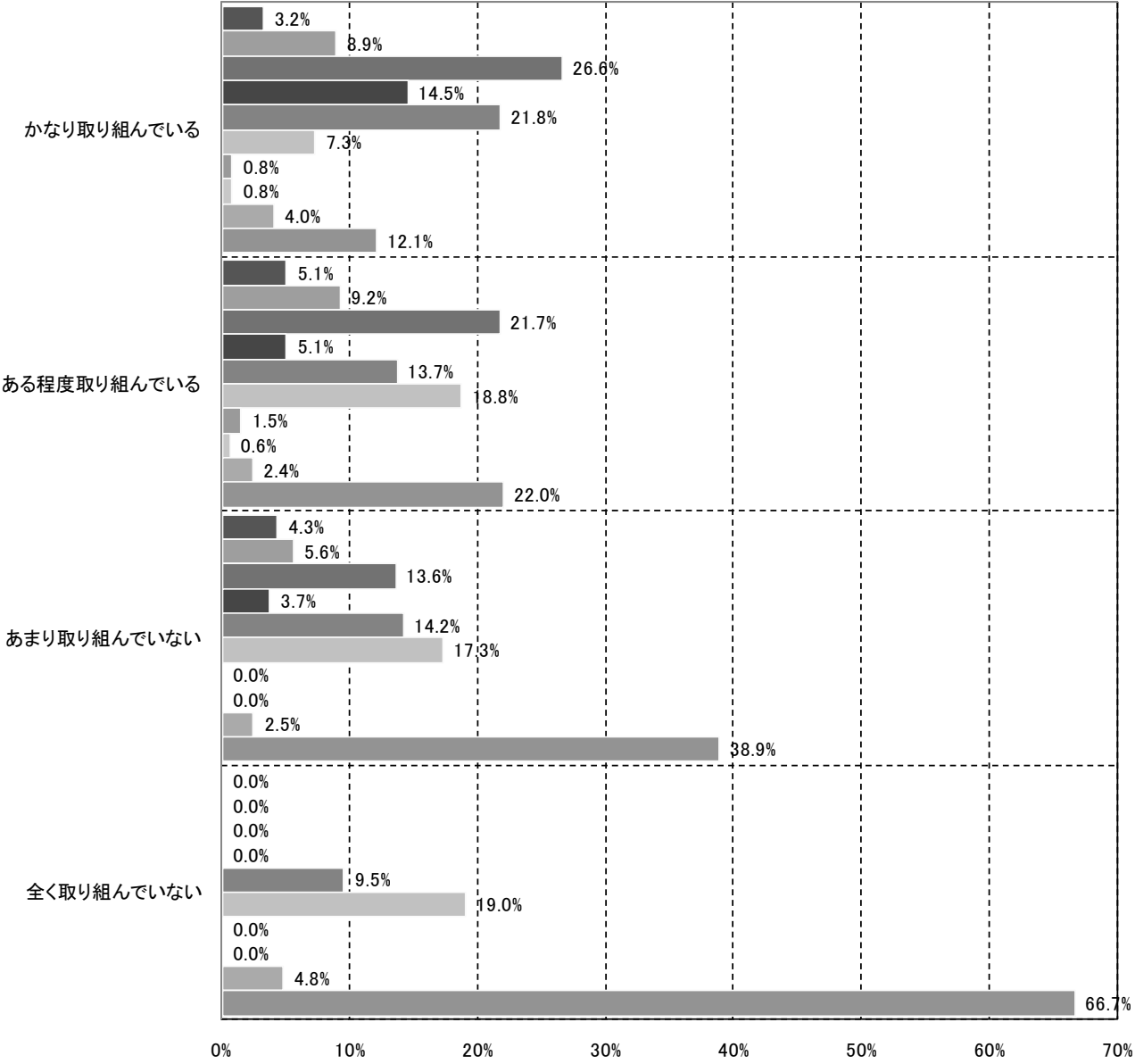


図 5-6 問 1 v s 問 22 問 1 選択肢別クロス集計 回答率

6 平成 16 年度・平成 22 年度比較

6-1 現在行っているごみ減量やリサイクルの取組について

6-1-1 問 1 あなたの事業所ではごみの減量化に取り組んでいますか。

1) 全体

年度別「減量化の取組」の全体は、平成 22 年度と平成 16 年度を比較すると、「取り組んでいる（1+2）」が 6.3%減少、「取り組んでいない（3+4）」が 5.3%増加している。

減量化 の取組		1	2	1+2 取り組ん でいる	3	4	3+4 取り組ん でいない	99	計
		かなり 取り組ん でいる	ある程度 取り組ん でいる		あまり 取り組ん でいない	全く 取り組ん でいない		無回答	
回答数	平成 16 年度	228	544	772	222	29	251	16	1,039
	平成 22 年度	87	292	379	143	21	164	14	557
回答率	平成 16 年度	21.9%	52.4%	74%	21.4%	2.8%	24%	1.5%	100.0%
	平成 22 年度	15.6%	52.4%	68%	25.7%	3.8%	29%	2.5%	100.0%
回答率差(平成 22 年度-平成 16 年度)		-6.3%	0.1%	-6.3%	4.3%	1.0%	5.3%	1.0%	

表 6-1-1 全体 年度別「減量化の取組」 回答状況

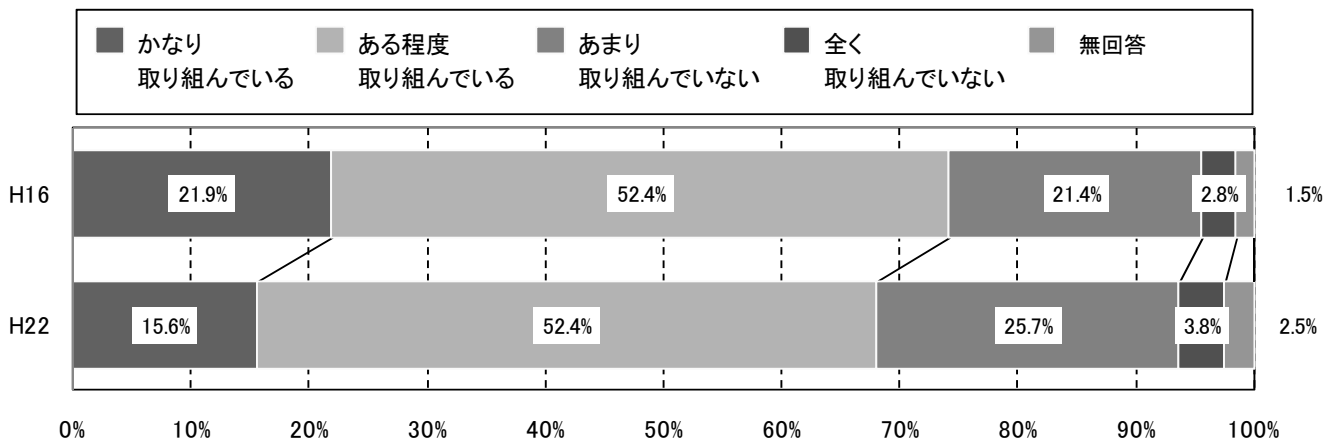


図 6-1-1 全体 年度別「減量化の取組」 回答率

2) 業種別

年度別「減量化の取組」の業種別は、平成 22 年度と平成 16 年度を比較すると、「かなり取り組んでいる」では、「電気・ガス・熱供給・水道業」が 22.5%増加している。また、「取り組んでいる」では「運輸・情報通信業」が 3.4%増加し、それ以外の業種では減少している。

減量化の取組		年度	かなり取り組んでいる	ある程度取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答	計
1	農林漁業	平成 16 年度	17.4%	41.3%	34.8%	6.5%	0.0%	100.0%
		平成 22 年度	3.3%	40.0%	43.3%	3.3%	10.0%	100.0%
2	建設業	平成 16 年度	24.1%	48.1%	24.1%	1.3%	2.5%	100.0%
		平成 22 年度	6.0%	65.7%	23.9%	3.0%	1.5%	100.0%
3	製造業	平成 16 年度	28.6%	54.8%	13.9%	1.2%	1.5%	100.0%
		平成 22 年度	15.6%	58.4%	22.1%	2.6%	1.3%	100.0%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	平成 16 年度	30.0%	56.7%	13.3%	0.0%	0.0%	100.0%
		平成 22 年度	52.5%	25.0%	20.0%	2.5%	0.0%	100.0%
5	運輸・情報通信業	平成 16 年度	20.8%	56.6%	22.6%	0.0%	0.0%	100.0%
		平成 22 年度	11.5%	69.2%	19.2%	0.0%	0.0%	100.0%
6	卸売・小売業・宿泊業・飲食店	平成 16 年度	24.6%	47.8%	23.1%	3.7%	0.7%	100.0%
		平成 22 年度	11.7%	55.3%	29.8%	1.1%	2.1%	100.0%
7	金融・保険・不動産業	平成 16 年度	11.9%	59.7%	20.9%	6.0%	1.5%	100.0%
		平成 22 年度	9.1%	51.5%	21.2%	18.2%	0.0%	100.0%
8	サービス業	平成 16 年度	17.4%	54.9%	23.7%	3.6%	0.4%	100.0%
		平成 22 年度	15.5%	49.3%	27.5%	4.9%	2.8%	100.0%
9	その他	平成 16 年度	20.4%	50.0%	22.2%	1.9%	5.6%	100.0%
		平成 22 年度	24.2%	45.5%	21.2%	3.0%	6.1%	100.0%
99	無回答	平成 16 年度	17.2%	43.8%	28.1%	4.7%	6.3%	100.0%
		平成 22 年度	13.3%	60.0%	20.0%	0.0%	6.7%	100.0%
計		平成 16 年度	21.9%	52.4%	21.4%	2.8%	1.5%	100.0%
		平成 22 年度	15.6%	52.4%	25.7%	3.8%	2.5%	100.0%

表 6-1-2 業種別 年度別「減量化の取組」 回答率

減量化の取組 回答率差		1	2	1+2 取り組んでいる	3	4	3+4 取り組んでいない
		かなり取り組んでいる	ある程度取り組んでいる		あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	
1	農林漁業	-14.1%	-1.3%	-15.4%	8.6%	-3.2%	5.4%
2	建設業	-18.1%	17.6%	-0.5%	-0.2%	1.7%	1.5%
3	製造業	-13.0%	3.6%	-9.4%	8.2%	1.4%	9.6%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	22.5%	-31.7%	-9.2%	6.7%	2.5%	9.2%
5	運輸・情報通信業	-9.2%	12.6%	3.4%	-3.4%	0.0%	-3.4%
6	卸売・小売業・宿泊業・飲食店	-12.9%	7.6%	-5.4%	6.7%	-2.7%	4.0%
7	金融・保険・不動産業	-2.8%	-8.2%	-11.0%	0.3%	12.2%	12.5%
8	サービス業	-1.9%	-5.6%	-7.5%	3.7%	1.4%	5.1%
9	その他	3.9%	-4.5%	-0.7%	-1.0%	1.2%	0.2%

表 6-1-3 業種別 年度別「減量化の取組」 回答率差

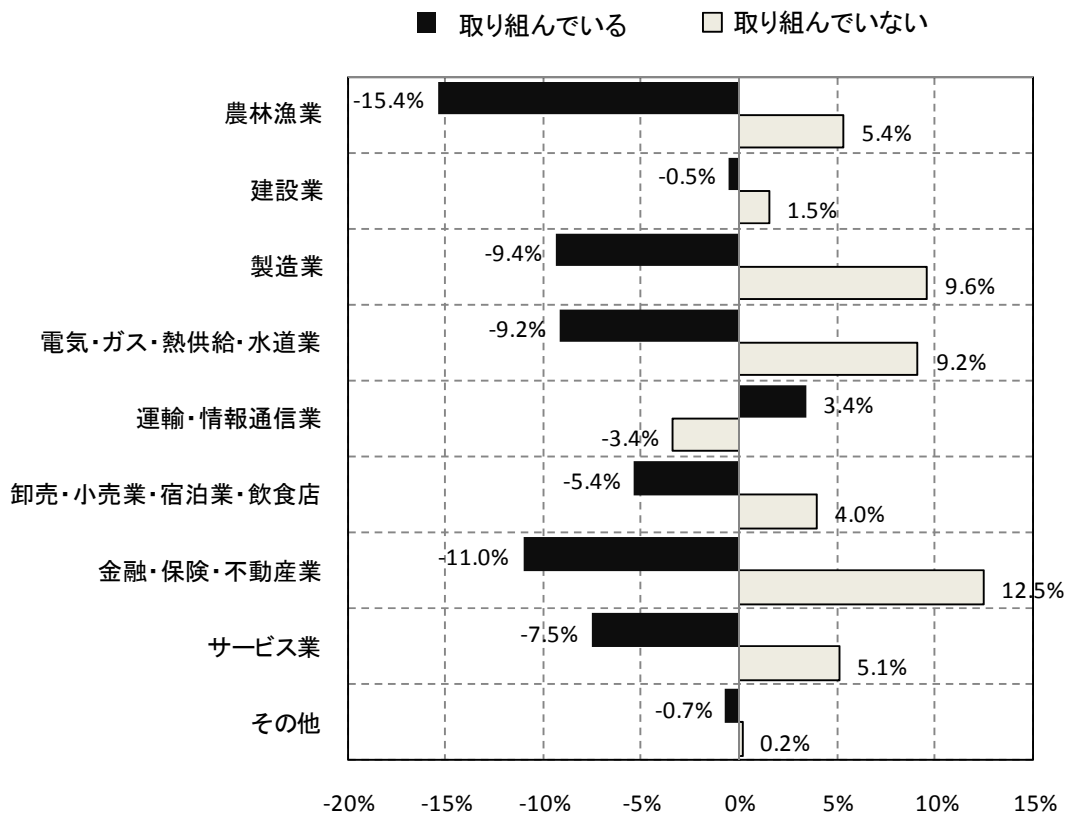


図 6-1-2 業種別 年度別「減量化の取組」 回答率差

6-1-2 問2 ごみ減量化に取り組む理由は何ですか。

「ごみ減量化に取り組む理由」は、平成 16 年度・平成 22 年度ともに「企業としての社会的責任を果たすため」が最も多く、次いで「経費削減のため」となっている。平成 16 年度と平成 22 年度で比較すると、「企業としての社会的責任を果たすため」は、6.3%減少し、「法令等の規制があるため」と、「ごみ保管場所に制約があるため」が、それぞれ 6.9%、5.1%増加している。

減量化に取り組む理由		年度	回答数	回答率	平成 22 年度-平成 16 年度
1	経費削減のため	平成 16 年度	460	59.6%	2.9%
		平成 22 年度	237	62.5%	
2	社の宣伝やイメージアップのため	平成 16 年度	68	8.8%	-0.4%
		平成 22 年度	32	8.4%	
3	企業としての社会的責任を果たすため	平成 16 年度	558	72.3%	-6.3%
		平成 22 年度	250	66.0%	
4	法令等の規制があるため	平成 16 年度	101	13.1%	6.7%
		平成 22 年度	75	19.8%	
5	業界全体で取り組んでいるため	平成 16 年度	88	11.4%	-0.3%
		平成 22 年度	42	11.1%	
6	競合他社が取り組んでいるため	平成 16 年度	4	0.5%	4.8%
		平成 22 年度	20	5.3%	
7	ごみ保管場所に制約があるため	平成 16 年度	134	17.4%	5.1%
		平成 22 年度	85	22.4%	
8	その他	平成 16 年度	48	6.2%	0.9%
		平成 22 年度	27	7.1%	

表 6-1-4 全体 年度別「減量化の取組理由」 回答率差

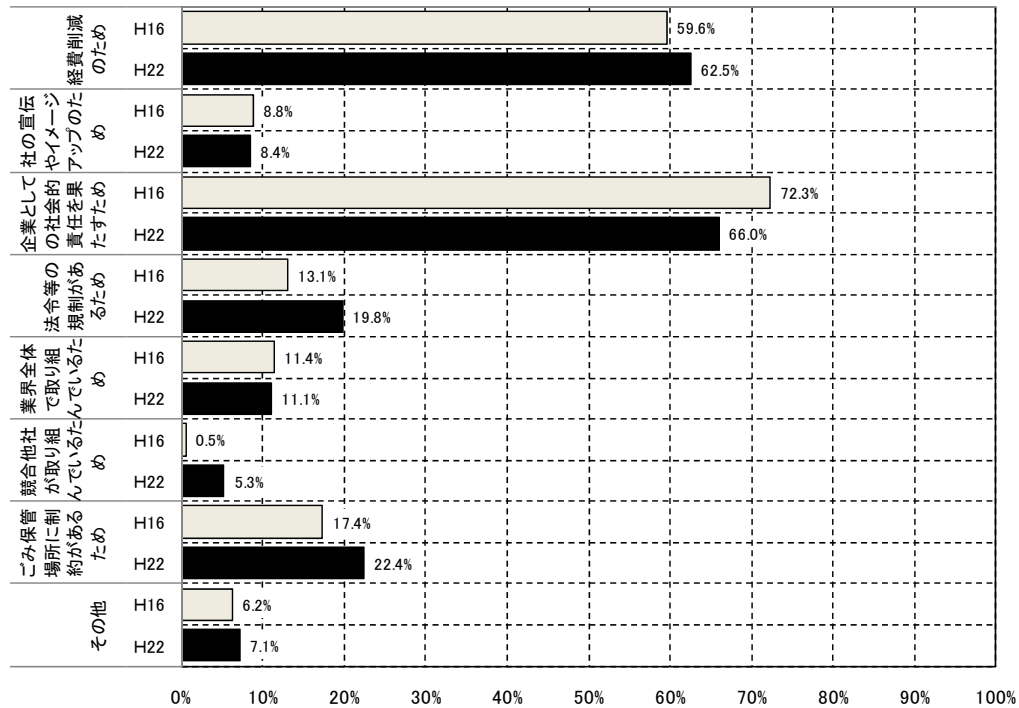


図 6-1-3 全体 年度別「減量化の取組理由」 回答率

6-1-3 問3 あなたの事業所ではどのようなごみ減量に取り組んでいますか。

「ごみ減量の取組内容」は、平成16年度・平成22年度ともに「コピー用紙等の削減」が最も高く、次いで「自販機設置業者による容器の引き取り」となっている。平成16年度と平成22年度を比較すると、「生ごみの堆肥化」が増加しているが、他の取組は減少している。

取組み内容	年度	回答数	回答率	平成22年度-平成16年度
1 ISO14001 認証取得等	平成16年度	222	28.8%	-17.1%
	平成22年度	44	11.6%	
2 ごみ箱の廃止	平成16年度	291	37.7%	-6.6%
	平成22年度	118	31.1%	
3 ごみ管理責任者の設置	平成16年度	189	24.5%	-4.7%
	平成22年度	58	19.8%	
4 生ごみの堆肥化	平成16年度	108	14.0%	11.1%
	平成22年度	64	25.1%	
5 通い箱の活用等納入業者との連携	平成16年度	200	25.9%	-1.1%
	平成22年度	75	24.8%	
6 コピー用紙等の削減	平成16年度	442	57.3%	-9.8%
	平成22年度	176	47.5%	
7 自販機設置業者による容器の引き取り	平成16年度	342	44.3%	-2.9%
	平成22年度	104	41.4%	
8 使い捨て飲料容器の使用を控える取組	平成16年度	-	-	24.5%
	平成22年度	82	24.5%	
9 その他	平成16年度	82	10.6%	3.1%
	平成22年度	52	13.7%	

※ 選択肢として設定していないものは「-」で示している。

表 6-1-5 全体 年度別「減量化の取組内容」 回答状況

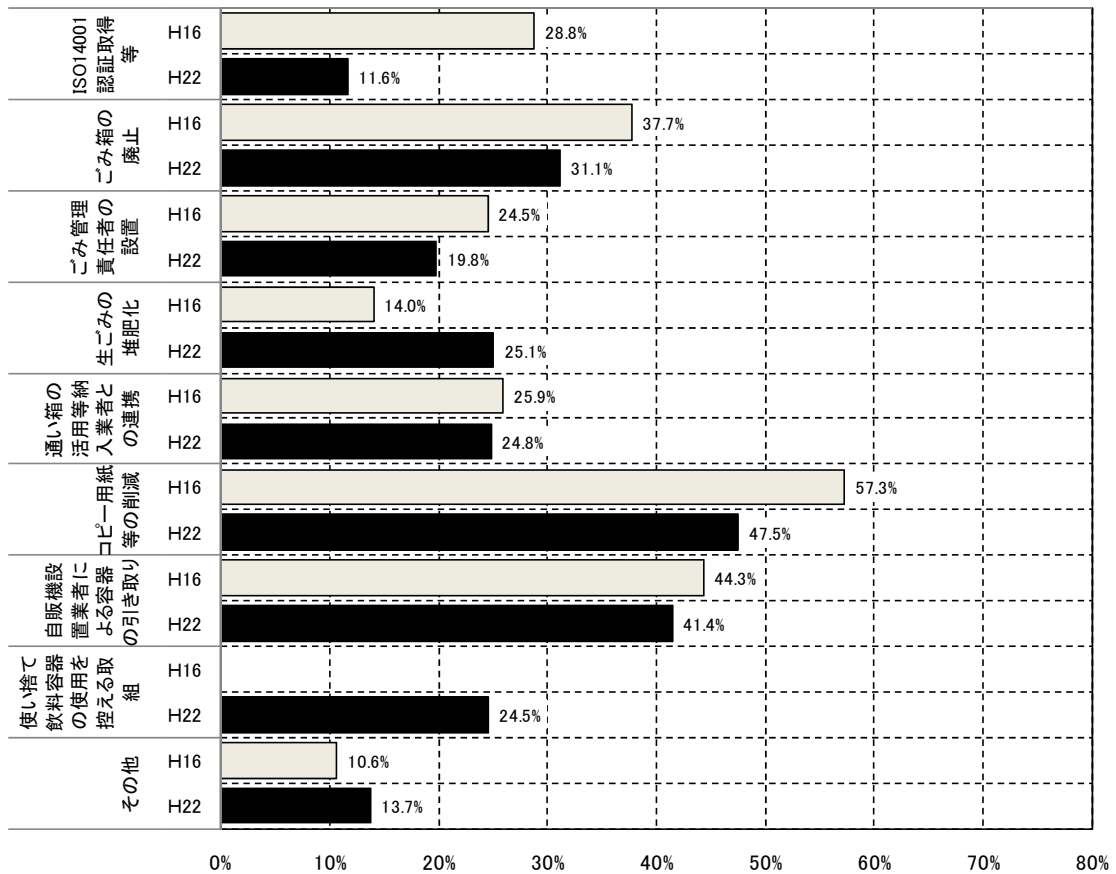


図 6-1-4 全体 年度別「減量化の取組理由」 回答率

ISO14001 認証取得等の従業員規模別回答状況比較

年度	項目	1~9人	10~29人	30~99人	100人以上	無回答	計
H22	回答数	10	7	17	10	0	44
	回答率	2.6%	1.8%	4.5%	2.6%	0	11.6%
H16	回答数	14	27	49	127	5	222
	回答率	1.8%	3.5%	6.4%	16.5%	0.6%	28.8%

表 6-1-6 ISO14001 認証取得等の従業員規模別回答状況比較 回答状況

ISO14001 認証取得等の従業員規模別回答状況を比較すると、大規模事業所（100人以上）の回答状況に差が出ている。大規模事業所の回答状況によって平成22年度と平成16年度の差が生じていると思われる。

6-1-4 問4 事業所でごみ減量に取り組んでいないのはなぜですか。

「取り組まない理由」は、平成16年度・平成22年度ともに「ごみが出ない」が最も高く、次いで「一括契約で料金が減らない」となっている。「ごみが出ない」は平成22年度で平成16年度よりも15.0%増加している。

取り組まない理由		年度	回答数	回答率	平成22年度-平成16年度
1	一括契約で料金が減らない	平成16年度	62	24.7%	-10.1%
		平成22年度	24	14.6%	
2	処理料金が安く効果がない	平成16年度	8	3.2%	-0.1%
		平成22年度	5	3.0%	
3	従業員の協力が得られない	平成16年度	34	13.5%	-8.1%
		平成22年度	9	5.5%	
4	ごみが出ない	平成16年度	149	59.4%	15.0%
		平成22年度	122	74.4%	
5	事業優先	平成16年度	17	6.8%	-1.9%
		平成22年度	8	4.9%	
6	その他	平成16年度	31	12.4%	-2.0%
		平成22年度	17	10.4%	

表 6-1-7 全体 年度別「取り組まない理由」 回答状況

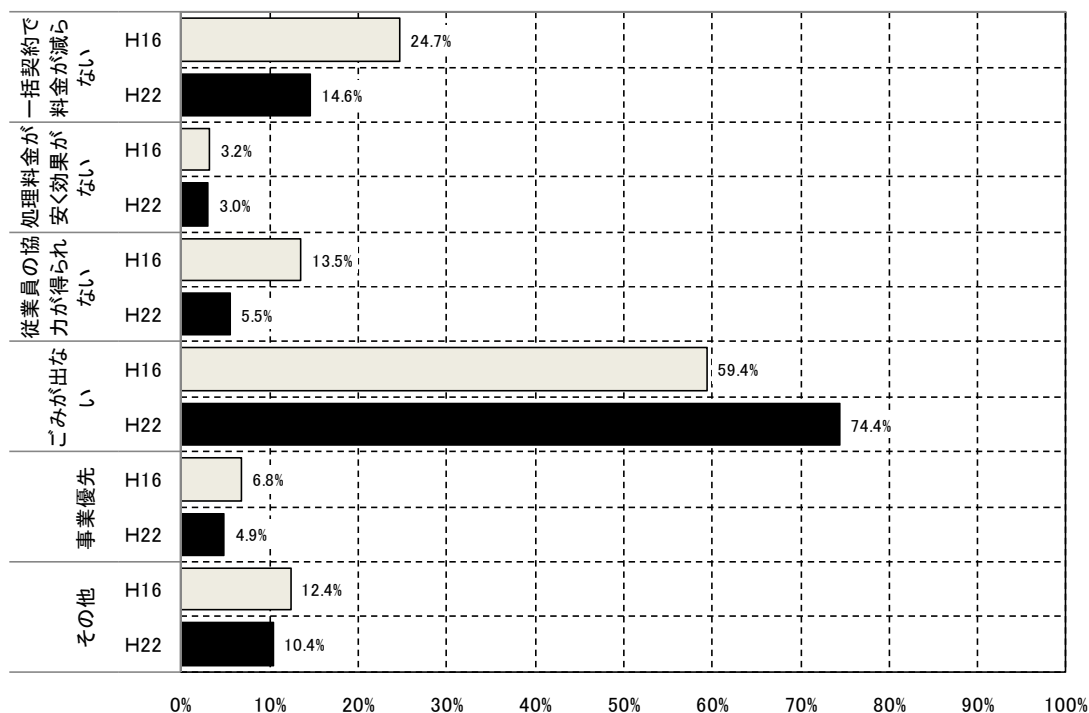


図 6-1-5 全体 年度別「取り組まない理由」 回答率

6-1-5 問5 あなたの事業所から出たごみは誰が管理していますか？

1) 全体

「ごみの管理」は、平成16年度・平成22年度ともに「事業所内の担当が管理」が最も高く、65%前後となっている。

ごみの管理		1	2	3	4	5	99	計
		事業所内の担当が管理	本社等一括管理	処理委託先が管理	建物管理会社が管理	その他	無回答	計
回答数	平成16年度	675	44	155	32	63	70	1,039
	平成22年度	356	15	50	10	76	50	557
回答率	平成16年度	65.0%	4.2%	14.9%	3.1%	6.1%	6.7%	100.0%
	平成22年度	63.9%	2.7%	9.0%	1.8%	13.6%	9.0%	100.0%
回答率差(平成22年度-平成16年度)		-1.1%	-1.5%	-5.9%	-1.3%	7.6%	2.2%	

表 6-1-8 全体 年度別「ごみの管理」 回答状況

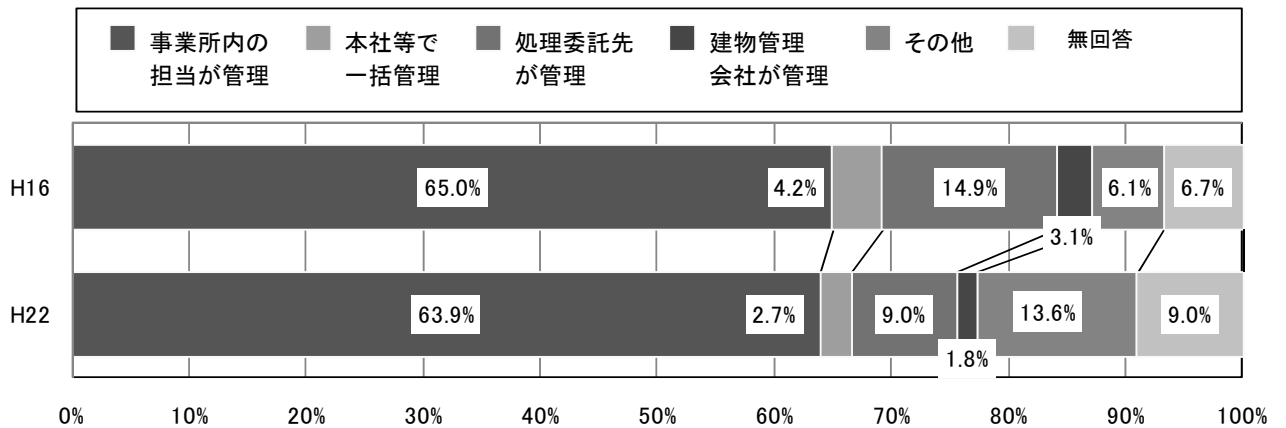


図 6-1-6 全体 年度別「ごみの管理」 回答率

2) 業種別

業種別「ごみの管理」は、平成 16 年度・平成 22 年度ともに全ての業種で「事業所内の担当が管理」が最も高くなっている。また、平成 16 年度との差で見ると、「処理委託先が管理」がすべての業種で減少している。

業種別：ごみの管理 (回答率)	年度	1	2	3	4	5	6	計
		事業所内の担当が管理	本社等一括管理	処理委託先が管理	建物管理会社が管理	その他	無回答	
1 農林漁業	平成 16 年度	69.6%	2.2%	4.3%	0.0%	15.2%	8.7%	100.0%
	平成 22 年度	70.0%	6.7%	0.0%	0.0%	10.0%	13.3%	100.0%
2 建設業	平成 16 年度	70.9%	8.9%	12.7%	1.3%	3.8%	2.5%	100.0%
	平成 22 年度	73.1%	1.5%	6.0%	1.5%	10.4%	7.5%	100.0%
3 製造業	平成 16 年度	74.9%	2.3%	13.5%	1.5%	1.5%	6.2%	100.0%
	平成 22 年度	66.2%	2.6%	7.8%	0.0%	9.1%	14.3%	100.0%
4 電気・ガス・熱供給・水道業	平成 16 年度	60.0%	6.7%	26.7%	0.0%	0.0%	6.7%	100.0%
	平成 22 年度	65.0%	0.0%	7.5%	0.0%	15.0%	12.5%	100.0%
5 運輸・情報通信業	平成 16 年度	69.8%	5.7%	17.0%	5.7%	0.0%	1.9%	100.0%
	平成 22 年度	76.9%	3.8%	11.5%	0.0%	3.8%	3.8%	100.0%
6 卸売・小売業・宿泊業・飲食店	平成 16 年度	52.2%	2.2%	23.9%	5.2%	7.5%	9.0%	100.0%
	平成 22 年度	55.3%	4.3%	17.0%	3.2%	16.0%	4.3%	100.0%
7 金融・保険・不動産業	平成 16 年度	56.7%	6.0%	14.9%	7.5%	7.5%	7.5%	100.0%
	平成 22 年度	51.5%	3.0%	12.1%	9.1%	15.2%	9.1%	100.0%
8 サービス業	平成 16 年度	66.4%	5.5%	12.3%	3.2%	7.5%	5.1%	100.0%
	平成 22 年度	65.5%	1.4%	8.5%	1.4%	15.5%	7.7%	100.0%
9 その他	平成 16 年度	59.3%	1.9%	14.8%	7.4%	11.1%	5.6%	100.0%
	平成 22 年度	60.6%	6.1%	3.0%	3.0%	18.2%	9.1%	100.0%
全体	平成 16 年度	65.0%	4.2%	14.9%	3.1%	6.1%	6.7%	100.0%
	平成 22 年度	63.9%	2.7%	9.0%	1.8%	13.6%	9.0%	100.0%

表 6-1-9 業種別 年度別「ごみの管理」 回答状況

業種別ごみの管理 平成 22 年度-平成 16 年度	事業所内の担当が管理	本社等一括管理	処理委託先が管理	建物管理会社が管理	その他	無回答
農林漁業	0.4%	4.5%	-4.3%	0%	-5.2%	4.6%
建設業	2.2%	-7.4%	-6.7%	0.2%	6.7%	4.9%
製造業	-8.7%	0.3%	-5.7%	-1.5%	7.5%	8.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	5.0%	-6.7%	-19.2%	0%	15.0%	5.8%
運輸・情報通信業	7.1%	-1.8%	-5.4%	-5.7%	3.8%	2.0%
卸売・小売業・宿泊業・飲食店	3.1%	2.0%	-6.9%	-2.0%	8.5%	-4.7%
金融・保険・不動産業	-5.2%	-2.9%	-2.8%	1.6%	7.7%	1.6%
サービス業	-0.9%	-4.1%	-3.8%	-1.8%	8.0%	2.6%
その他	1.3%	4.2%	-11.8%	-4.4%	7.1%	3.5%

表 6-1-10 業種別 年度別「ごみの管理」 回答率差

6-2 あなたの事業所から出る 事業系ごみ（事業系一般廃棄物）について

6-2-1 問6 あなたの事業所ではごみはどのように処理していますか？

1) 全体

「ごみの処理」の全体では、平成16年度は「業者委託」が48.6%と最も高かったが、平成22年度は「ごみ集積所に排出」が38.3%と最も高くなっている。平成22年度の調査では、小規模事業所が回答数の約半数を占めているための影響があるのではないかとと思われる。

ごみの処理		1	2	3	4	5	99	計
		業者委託	市町 処理施設 に持ち込み	本社等 一括処理	ごみ集積所 に排出	その他	無回答	計
回答数	平成16年度	505	141	43	255	49	46	1,039
	平成22年度	189	89	21	216	35	7	557
回答率	平成16年度	48.6%	13.6%	4.1%	24.5%	4.7%	4.4%	100.0%
	平成22年度	33.9%	16.0%	3.8%	38.8%	6.3%	1.3%	100.0%
回答率差(平成22年度-平成16年度)		-14.7%	2.4%	-0.4%	14.2%	1.6%	-3.2%	

表 6-2-1 全体 年度別「ごみの処理」 回答状況

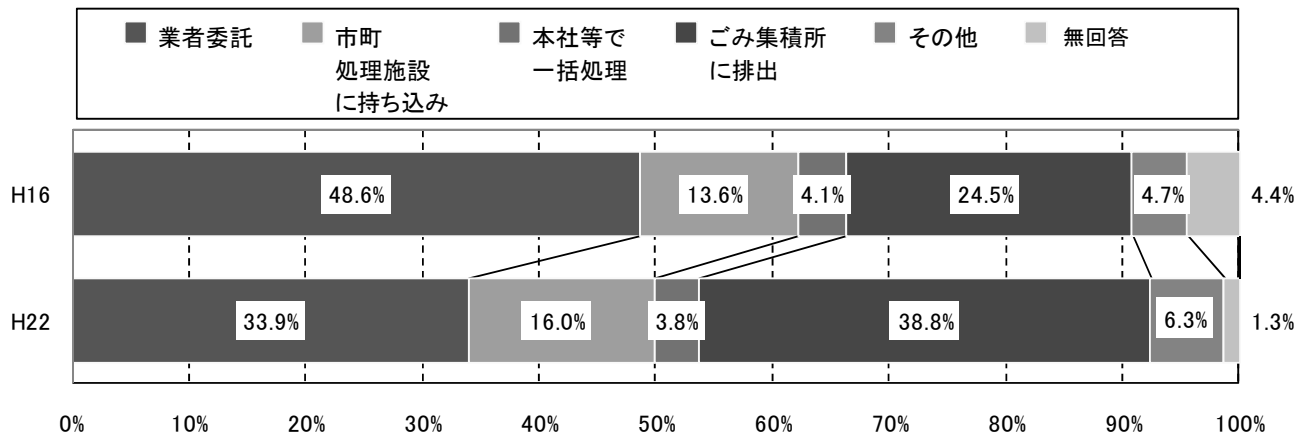


図 6-2-1 全体 年度別「ごみの処理」 回答率

ごみ処理の「業者委託」、「ごみ集積所に排出」の従業員規模別比較

ごみの処理	年度	項目	1~9人	10~29人	30~99人	100人以上	無回答	計
業者委託	H22	回答数	76	48	41	22	2	189
		回答率	13.6%	8.6%	7.4%	3.9%	0.4%	33.9%
	H16	回答数	52	94	127	213	19	505
		回答率	5.0%	9.0%	12.2%	20.5%	1.8%	48.6%
ごみ集積所に排出	H22	回答数	185	20	2	0	9	216
		回答率	33.2%	3.6%	0.4%	0.0%	1.6%	38.8%
	H16	回答数	162	55	21	2	15	255
		回答率	15.6%	5.3%	2.0%	0.2%	1.4%	24.5%

表 6-2-2 ごみ処理の「業者委託」、「ごみ集積所に排出」の従業員規模別回答状況

ごみ処理の「業者委託」、「ごみ集積所に排出」の従業員規模別回答状況は、「業者委託」では大規模事業所、「ごみ集積所に排出」では小規模事業所に差がでている。

2) 業種別

「ごみの処理」の業種別では、「業者委託」が「建設業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」が平成 16 年度対比で増加しているが、他の業種はすべて減少している。
 「ごみ集積所に排出」が「電気・ガス・熱供給・水道業」、「その他」で減少しているが、他の業種はすべて増加している。

業種 ごみの処理別回答	年度	1	2	3	4	5	6	計
		業者委託	市町 処理施設 に持ち込み	本社等 一括処理	ごみ集積 所に排出	その他	無回答	
1 農林漁業	平成 16 年度	23.9%	19.6%	2.2%	37.0%	15.2%	2.2%	100.0%
	平成 22 年度	20.0%	20.0%	3.3%	43.3%	13.3%	0.0%	100.0%
2 建設業	平成 16 年度	34.2%	16.5%	3.8%	30.4%	6.3%	8.9%	100.0%
	平成 22 年度	37.3%	16.4%	6.0%	34.3%	4.5%	1.5%	100.0%
3 製造業	平成 16 年度	71.8%	11.2%	2.7%	7.7%	3.1%	3.5%	100.0%
	平成 22 年度	46.8%	15.6%	5.2%	26.0%	6.5%	0.0%	100.0%
4 電気・ガス・ 熱供給・水道業	平成 16 年度	46.7%	13.3%	16.7%	23.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	平成 22 年度	65.0%	12.5%	0.0%	15.0%	5.0%	2.5%	100.0%
5 運輸・ 情報通信業	平成 16 年度	62.3%	13.2%	5.7%	17.0%	1.9%	0.0%	100.0%
	平成 22 年度	38.5%	15.4%	11.5%	34.6%	0.0%	0.0%	100.0%
6 卸売・小売業・ 宿泊業・飲食店	平成 16 年度	48.5%	12.7%	3.7%	29.9%	3.0%	2.2%	100.0%
	平成 22 年度	31.9%	13.8%	3.2%	47.9%	2.1%	1.1%	100.0%
7 金融・保険・ 不動産業	平成 16 年度	38.8%	10.4%	9.0%	29.9%	6.0%	6.0%	100.0%
	平成 22 年度	27.3%	9.1%	6.1%	45.5%	12.1%	0.0%	100.0%
8 サービス業	平成 16 年度	41.5%	13.0%	4.0%	31.6%	5.5%	4.3%	100.0%
	平成 22 年度	28.2%	19.0%	1.4%	46.5%	4.9%	0.0%	100.0%
9 その他	平成 16 年度	25.9%	20.4%	3.7%	37.0%	7.4%	5.6%	100.0%
	平成 22 年度	12.1%	21.2%	6.1%	36.4%	21.2%	3.0%	100.0%
全体	平成 16 年度	48.6%	13.6%	4.1%	24.5%	4.7%	4.4%	100.0%
	平成 22 年度	33.9%	16.0%	3.8%	38.8%	6.3%	1.3%	100.0%

表 6-2-3 業種 年度別「ごみの処理」 回答率

業種別ごみの処理別率 差（平成 22 年度-平成 16 年 度）	業者委託	市町 処理施設 に持ち込み	本社等 一括処理	ごみ集積所 に排出	その他	無回答
農林漁業	-3.9%	0.4%	1.2%	6.4%	-1.9%	-2.2%
建設業	3.1%	0.0%	2.2%	3.9%	-1.9%	-7.4%
製造業	-25.1%	4.4%	2.5%	18.3%	3.4%	-3.5%
電気・ガス・熱供給・水道業	18.3%	-0.8%	-16.7%	-8.3%	5.0%	2.5%
運輸・情報通信業	-23.8%	2.2%	5.9%	17.6%	-1.9%	0%
卸売・小売業・宿泊業・飲食店	-16.6%	1.1%	-0.5%	18.0%	-0.9%	-1.2%
金融・保険・不動産業	-11.5%	-1.4%	-2.9%	15.6%	6.2%	-6.0%
サービス業	-13.3%	6.0%	-2.5%	14.9%	-0.6%	-4.3%
その他	-13.8%	0.8%	2.4%	-0.7%	13.8%	-2.5%

表 6-2-4 業種 年度別「ごみの処理」 回答率差

6-2-2 問7 収集運搬業者との契約では、収集は週何回くらいですか。

1) 全体

「ごみの収集回数」は全体では、平成16年度・平成22年度ともに「週1回以下」が最も高いが、平成22年度は平成16年度に比較して19.3%増加している。平成22年度の調査では、小規模事業所が回答数の約半数を占めていることも影響していると思われる。

ごみの収集回数		1	2	3	4	5	6	7	99	計
		週1回以下	週2回	週3回	週4回	週5回	週6回	その他	無回答	計
回答数	平成16年度	159	84	52	12	71	67	48	12	505
	平成22年度	96	27	11	3	14	16	18	4	189
回答率	平成16年度	31.5%	16.6%	10.3%	2.4%	14.1%	13.3%	9.5%	2.4%	100%
	平成22年度	50.8%	14.3%	5.8%	1.6%	7.4%	8.5%	9.5%	2.1%	100%
回答率差(平成22年度-平成16年度)		19.3%	-2.3%	-4.5%	-0.8%	-6.7%	-4.8%	0.0%	-0.3%	

表 6-2-5 全体 年度別「ごみの収集回数」 回答状況

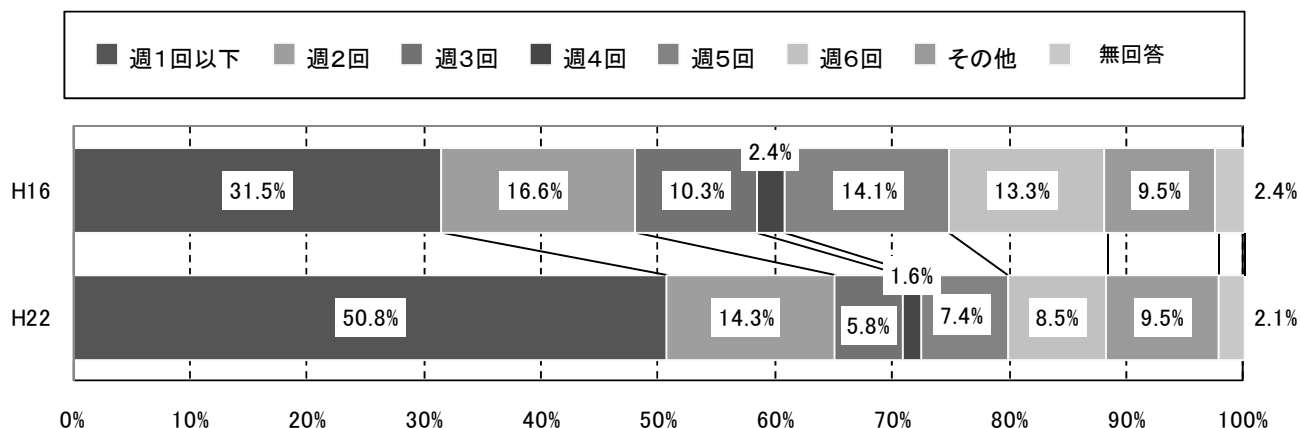


図 6-2-2 全体 年度別「ごみの収集回数」 回答率

2) 業種別

「ごみの収集回数」の業種別では、「週1回以下」が「卸売・小売業・宿泊業・飲食店」で8.5%減少しているが、他の業種はすべて増加している。収集回数が増えるほど平成22年度と平成16年度の回答率の差は減少する傾向にある。

業種別ごみの収集回数 平成22年度-平成16年度	週1回以下	週2回	週3回	週4回	週5回	週6回	その他	無回答
農林漁業	24.2%	-18.2%	24.2%	0.0%	-18.2%	-18.2%	15.2%	-9.1%
建設業	5.9%	4.3%	-7.4%	0.0%	0.3%	-3.7%	-3.4%	4.0%
製造業	16.8%	-3.8%	1.4%	-3.2%	-13.3%	-2.1%	-0.4%	4.5%
電気・ガス・熱供給・水道業	4.4%	-9.9%	4.4%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0%
運輸・情報通信業	13.6%	-4.2%	-8.2%	10.0%	-6.1%	-6.1%	-6.1%	7.0%
卸売・小売業・宿泊業・飲食店	-8.5%	5.6%	-6.2%	-1.5%	-0.8%	3.1%	9.7%	-1.5%
金融・保険・不動産業	17.1%	36.8%	-15.4%	-3.8%	-11.5%	-3.8%	-15.4%	-3.8%
サービス業	37.9%	-5.0%	-9.5%	1.2%	-5.8%	-15.4%	0.5%	-3.8%
その他	57.1%	0.0%	-21.4%	0.0%	-21.4%	-7.1%	-7.1%	0%
全体	19.3%	-2.3%	-4.5%	-0.8%	-6.7%	-4.8%	0.0%	-0.3%

表 6-2-6 業種別 年度別「ごみの収集回数」 回答率差

業種別 ごみの 収集回数	年度	1	2	3	4	5	6	7	8	計
		週1回 以下	週2回	週3回	週4回	週5回	週6回	その他	無回答	
1 農林漁業	平成 16 年度	9.1%	18.2%	9.1%	0.0%	18.2%	18.2%	18.2%	9.1%	100%
	平成 22 年度	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	100%
2 建設業	平成 16 年度	74.1%	3.7%	7.4%	0.0%	3.7%	3.7%	7.4%	0.0%	100%
	平成 22 年度	80.0%	8.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	4.0%	4.0%	100%
3 製造業	平成 16 年度	36.0%	20.4%	9.7%	3.2%	18.8%	4.8%	5.9%	1.1%	100%
	平成 22 年度	52.8%	16.7%	11.1%	0.0%	5.6%	2.8%	5.6%	5.6%	100%
4 電気ガス 熱供給 水道業	平成 16 年度	57.1%	21.4%	7.1%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	平成 22 年度	61.5%	11.5%	11.5%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
5 運輸・情 報通信業	平成 16 年度	36.4%	24.2%	18.2%	0.0%	6.1%	6.1%	6.1%	3.0%	100%
	平成 22 年度	50.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	100%
6 卸売 小売業 宿泊業 飲食店	平成 16 年度	18.5%	7.7%	6.2%	1.5%	10.8%	36.9%	16.9%	1.5%	100%
	平成 22 年度	10.0%	13.3%	0.0%	0.0%	10.0%	40.0%	26.7%	0.0%	100%
7 金融 保険 不動産業	平成 16 年度	38.5%	7.7%	15.4%	3.8%	11.5%	3.8%	15.4%	3.8%	100%
	平成 22 年度	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
8 サービス 業	平成 16 年度	17.1%	20.0%	9.5%	3.8%	13.3%	22.9%	9.5%	3.8%	100%
	平成 22 年度	55.0%	15.0%	0.0%	5.0%	7.5%	7.5%	10.0%	0.0%	100%
9 その他	平成 16 年度	42.9%	0.0%	21.4%	0.0%	21.4%	7.1%	7.1%	0.0%	100%
	平成 22 年度	100.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
全体	平成 16 年度	31.5%	16.6%	10.3%	2.4%	14.1%	13.3%	9.5%	2.4%	100%
	平成 22 年度	50.8%	14.3%	5.8%	1.6%	7.4%	8.5%	9.5%	2.1%	100%

表 6-2-7 業種別 年度別「ごみの収集回数」 回答率

6-2-3 問 8 あなたの事業所では、ひと月あたりのごみ処理費はどのくらいですか。

1) 全体

「ごみの処理費用」は全体では、平成 16 年度・平成 22 年度ともに「1 万～3 万円未満」が最も高いが、2 番目に高いのは、平成 16 年度は「10 万～30 万円未満」に対し、平成 22 年度は「5 千～1 万円未満」となっている。

ごみの 処理費用	1	2	3	4	5	6	7	8	99	計	
	千円未満	千～ 5 千円未 満	5 千～ 1 万円未 満	1 万～ 3 万円未 満	3 万～ 5 万円未 満	5 万～ 10 万円 未満	10 万～ 30 万円 未満	30 万円 以上	無回答	計	
回 答 数	平成 16 年度	11	23	29	107	75	89	97	46	28	505
	平成 22 年度	11	20	25	47	40	21	7	7	11	189
回 答 率	平成 16 年度	2.2%	4.6%	5.7%	21.2%	14.9%	17.6%	19.2%	9.1%	5.5%	100.0%
	平成 22 年度	5.8%	10.6%	13.2%	24.9%	21.2%	11.1%	3.7%	3.7%	5.8%	100.0%
回答率差 (平成 22 年度-平成 16 年度)		3.6%	6.0%	7.5%	3.7%	6.3%	-6.5%	-15.5%	-5.4%	0.3%	

表 6-2-8 全体 年度別「ごみの処理費用」 回答状況

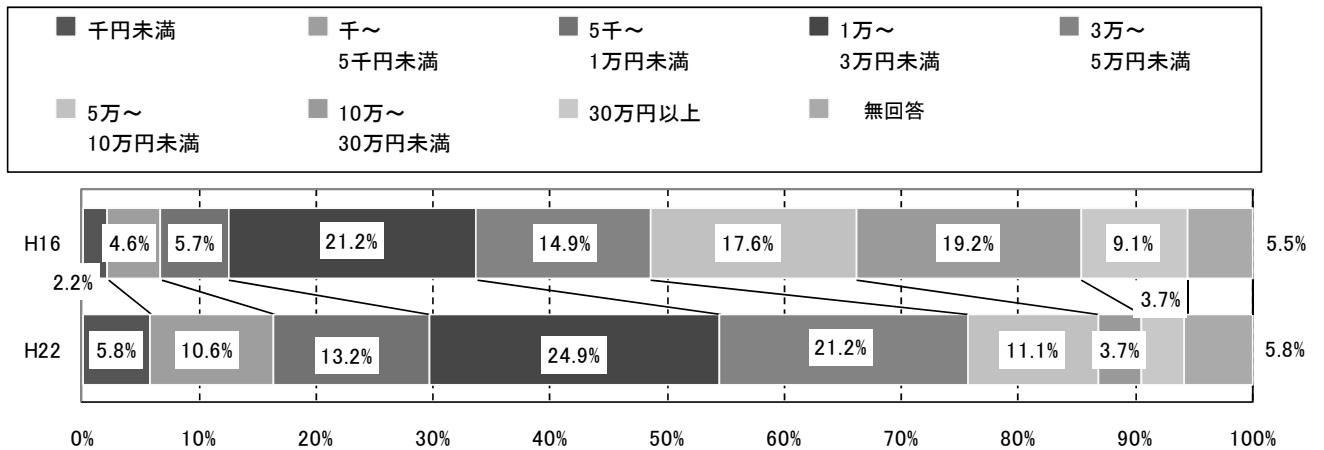


図 6-2-3 全体 年度別「ごみの処理費用」 回答率

2) 業種別

「ごみの処理費用」の業種別では、平成 16 年度・平成 22 年度で最も多い回答が異なっているのは「製造業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「金融・保険・不動産業」、「その他」の 4 業種となっている。

業種別 ごみの 処理費用	年度	1	2	3	4	5	6	7	8	99	計
		千円未 満	千～ 5千円 未満	5千～ 1万円 未満	1万～ 3万円 未満	3万～ 5万円 未満	5万～ 10万 円未満	10万 ～ 30万 円未満	30万 円以上	無回答	
1 農林漁業	平成 16 年度	0.0%	9.1%	9.1%	18.2%	18.2%	9.1%	18.2%	9.1%	9.1%	100%
	平成 22 年度	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	100%
2 建設業	平成 16 年度	0.0%	11.1%	11.1%	29.6%	14.8%	22.2%	7.4%	3.7%	0.0%	100%
	平成 22 年度	4.2%	20.8%	20.8%	33.3%	12.5%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	100%
3 製造業	平成 16 年度	2.7%	4.8%	3.8%	12.4%	16.7%	19.9%	25.8%	11.8%	2.2%	100%
	平成 22 年度	5.6%	5.6%	11.1%	22.2%	16.7%	19.4%	11.1%	2.8%	5.6%	100%
4 電気 ガス 熱供給 水道業	平成 16 年度	0.0%	7.1%	7.1%	28.6%	0.0%	7.1%	21.4%	7.1%	21.4%	100%
	平成 22 年度	3.8%	0.0%	3.8%	15.4%	69.2%	3.8%	0.0%	0.0%	3.8%	100%
5 運輸・情報 通信業	平成 16 年度	3.0%	12.1%	6.1%	39.4%	12.1%	12.1%	9.1%	3.0%	3.0%	100%
	平成 22 年度	10.0%	10.0%	10.0%	20.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	100%
6 卸売 小売業 宿泊業 飲食店	平成 16 年度	3.1%	0.0%	3.1%	30.8%	16.9%	10.8%	13.8%	13.8%	7.7%	100%
	平成 22 年度	0.0%	10.0%	6.7%	40.0%	10.0%	20.0%	0.0%	10.0%	3.3%	100%
7 金融 保険 不動産業	平成 16 年度	0.0%	0.0%	19.2%	15.4%	15.4%	26.9%	11.5%	7.7%	3.8%	100%
	平成 22 年度	0.0%	22.2%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	100%
8 サービス 業	平成 16 年度	1.0%	2.9%	6.7%	23.8%	13.3%	20.0%	21.0%	7.6%	3.8%	100%
	平成 22 年度	15.0%	12.5%	15.0%	22.5%	12.5%	10.0%	5.0%	5.0%	2.5%	100%
9 その他	平成 16 年度	7.1%	7.1%	0.0%	14.3%	14.3%	7.1%	14.3%	0.0%	35.7%	100%
	平成 22 年度	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100%
全体	平成 16 年度	2.2%	4.6%	5.7%	21.2%	14.9%	17.6%	19.2%	9.1%	5.5%	100%
	平成 22 年度	5.8%	10.6%	13.2%	24.9%	21.2%	11.1%	3.7%	3.7%	5.8%	100%

表 6-2-9 業種別 年度別「ごみの処理費用」 回答率

業種別ごみの 処理費用 平成 22 年度-平 成 16 年度	千円未満	千～ 5 千円 未満	5 千～ 1 万円 未満	1 万～ 3 万円 未満	3 万～ 5 万円 未満	5 万～ 10 万円 未満	10 万～ 30 万円 未満	30 万円 以上	無回答
農林漁業	0.0%	24.2%	-9.1%	-18.2%	15.2%	7.6%	-18.2%	-9.1%	7.6%
建設業	4.2%	9.7%	9.7%	3.7%	-2.3%	-18.1%	-7.4%	-3.7%	4.2%
製造業	2.9%	0.7%	7.3%	9.9%	0.0%	-0.4%	-14.7%	-9.1%	3.4%
電気・ガス・熱供 給・水道業	3.8%	-7.1%	-3.3%	-13.2%	69.2%	-3.3%	-21.4%	-7.1%	-17.6%
運輸・情報通信業	7.0%	-2.1%	3.9%	-19.4%	7.9%	-2.1%	0.9%	-3.0%	7.0%
卸売・小売業・宿 泊業・飲食店	-3.1%	10.0%	3.6%	9.2%	-6.9%	9.2%	-13.8%	-3.8%	-4.4%
金融・保険・不動 産業	0.0%	22.2%	14.1%	6.8%	-15.4%	-26.9%	-11.5%	3.4%	7.3%
サービス業	14.0%	9.6%	8.3%	-1.3%	-0.8%	-10.0%	-16.0%	-2.6%	-1.3%
その他	-7.1%	-7.1%	40.0%	5.7%	5.7%	-7.1%	-14.3%	0.0%	-15.7%
全体	3.6%	6.0%	7.5%	3.7%	6.3%	-6.5%	-15.5%	-5.4%	0.3%

表 6-2-10 業種別 年度別「ごみの処理費用」 回答率差

6-2-4 問9 ごみの処理料金はどのように決めていますか？

1) 全体

「ごみの処理料金」は全体では、平成 16 年度・平成 22 年度ともに「月額・年額制」が最も高いが、平成 22 年度では 4.2%減少し、「従量制」が 4.6%増加している。

ごみ処理料金 の決め方		1	2	3	4	99	計
		従量制	一定量同額、 それ以上は従 量制	月額・ 年額制	その他	無回答	計
回答数	平成 16 年度	148	75	227	36	19	505
	平成 22 年度	64	34	77	9	5	189
回答率	平成 16 年度	29.3%	14.9%	45.0%	7.1%	3.8%	100.0%
	平成 22 年度	33.9%	18.0%	40.7%	4.8%	2.6%	100.0%
回答率差(平成 22 年度- 平成 16 年度)		4.6%	3.1%	-4.2%	-2.4%	-1.1%	

表 6-2-11 全体 年度別「ごみの処理料金」 回答状況

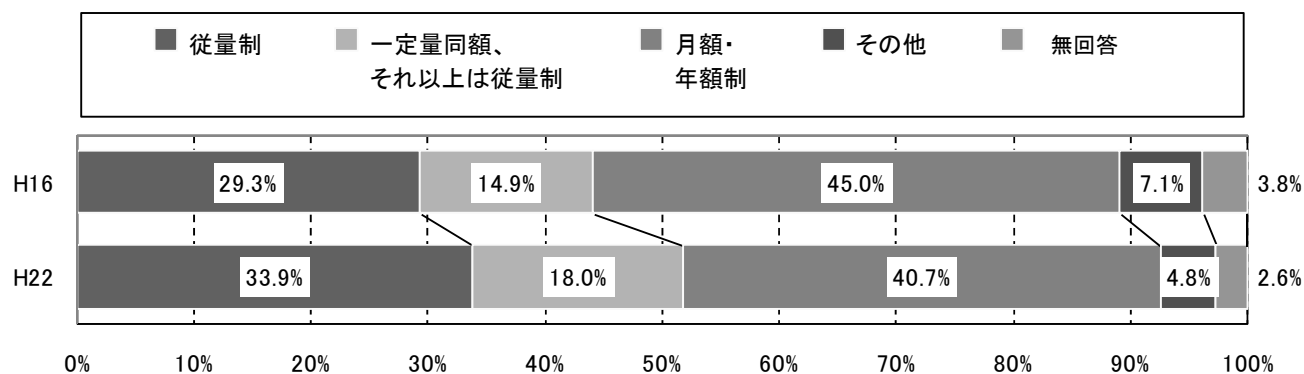


図 6-2-4 全体 年度別「ごみの処理料金」 回答率

2) 業種別

「ごみの処理料金」の業種別では、平成 16 年度・平成 22 年度ともに「月額・年額制」が最も高いのが「電気・ガス・熱供給・水道業」、「卸売・小売業・宿泊業・飲食店」、「金融・保険・不動産業」、「その他」の 4 業種で、「従量制」が最も多いのが 2 業種となっている。

業種 ごみの処理料金	年度	1	2	3	4	5	計
		従量制	一定量同額、 それ以上は 従量制	月額・ 年額制	その他	無回答	
1 農林漁業	平成 16 年度	27.3%	0.0%	54.5%	9.1%	9.1%	100.0%
	平成 22 年度	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2 建設業	平成 16 年度	40.7%	33.3%	22.2%	3.7%	0.0%	100.0%
	平成 22 年度	44.0%	32.0%	16.0%	4.0%	4.0%	100.0%
3 製造業	平成 16 年度	40.9%	12.4%	34.9%	10.2%	1.6%	100.0%
	平成 22 年度	47.2%	19.4%	25.0%	5.6%	2.8%	100.0%
4 電気・ガス・ 熱供給・水道業	平成 16 年度	35.7%	0.0%	50.0%	14.3%	0.0%	100.0%
	平成 22 年度	15.4%	11.5%	61.5%	11.5%	0.0%	100.0%
5 運輸・ 情報通信業	平成 16 年度	18.2%	39.4%	36.4%	3.0%	3.0%	100.0%
	平成 22 年度	20.0%	30.0%	40.0%	0.0%	10.0%	100.0%
6 卸売・小売業・ 宿泊業・飲食店	平成 16 年度	12.3%	13.8%	61.5%	6.2%	6.2%	100.0%
	平成 22 年度	13.3%	10.0%	70.0%	3.3%	3.3%	100.0%
7 金融・保険・ 不動産業	平成 16 年度	11.5%	3.8%	73.1%	3.8%	7.7%	100.0%
	平成 22 年度	0.0%	11.1%	88.9%	0.0%	0.0%	100.0%
8 サービス業	平成 16 年度	24.8%	14.3%	52.4%	4.8%	3.8%	100.0%
	平成 22 年度	50.0%	12.5%	30.0%	5.0%	2.5%	100.0%
9 その他	平成 16 年度	21.4%	0.0%	50.0%	7.1%	21.4%	100.0%
	平成 22 年度	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全体	平成 16 年度	29.3%	14.9%	45.0%	7.1%	3.8%	100.0%
	平成 22 年度	33.9%	18.0%	40.7%	4.8%	2.6%	100.0%

表 6-2-12 業種 年度別「ごみの処理料金」 回答率

業種別ごみの処理料金 平成 22 年度-平成 16 年度	従量制	一定量同額、 それ以上は 従量制	月額・ 年額制	その他	無回答
農林漁業	0.0%	24.2%	-9.1%	-18.2%	15.2%
建設業	4.2%	9.7%	9.7%	3.7%	-2.3%
製造業	2.9%	0.7%	7.3%	9.9%	0.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	3.8%	-7.1%	-3.3%	-13.2%	69.2%
運輸・情報通信業	7.0%	-2.1%	3.9%	-19.4%	7.9%
卸売・小売業・宿泊業・飲食店	-3.1%	10.0%	3.6%	9.2%	-6.9%
金融・保険・不動産業	0.0%	22.2%	14.1%	6.8%	-15.4%
サービス業	14.0%	9.6%	8.3%	-1.3%	-0.8%
その他	-7.1%	-7.1%	40.0%	5.7%	5.7%
全体	3.6%	6.0%	7.5%	3.7%	6.3%

表 6-2-13 業種別 年度別「ごみの処理料金」 回答率差

6-2-5 問 10 収集運搬業者にごみ処理を委託せず、地域のごみ集積所に出すのはなぜですか。

「地域のごみ集積所に出している理由」は全体では、平成 16 年度・平成 22 年度ともに「ごみが少ないため」が最も高く、次いで「市町が収集してくれるため」となっている。

地域のごみ集積所に出している理由		年度	回答数	回答率
1	ごみが少ないため	平成 16 年度	189	74.1%
		平成 22 年度	163	75.5%
2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	平成 16 年度	17	6.7%
		平成 22 年度	14	6.5%
3	委託は経費負担が大きいため	平成 16 年度	11	4.3%
		平成 22 年度	3	1.4%
4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	平成 16 年度	5	2.0%
		平成 22 年度	6	2.8%
5	市町が収集してくれるため	平成 16 年度	92	36.1%
		平成 22 年度	83	38.4%
6	その他	平成 16 年度	16	6.3%
		平成 22 年度	8	3.7%

表 6-2-14 全体 年度別「地域のごみ集積所に出している理由」 回答状況

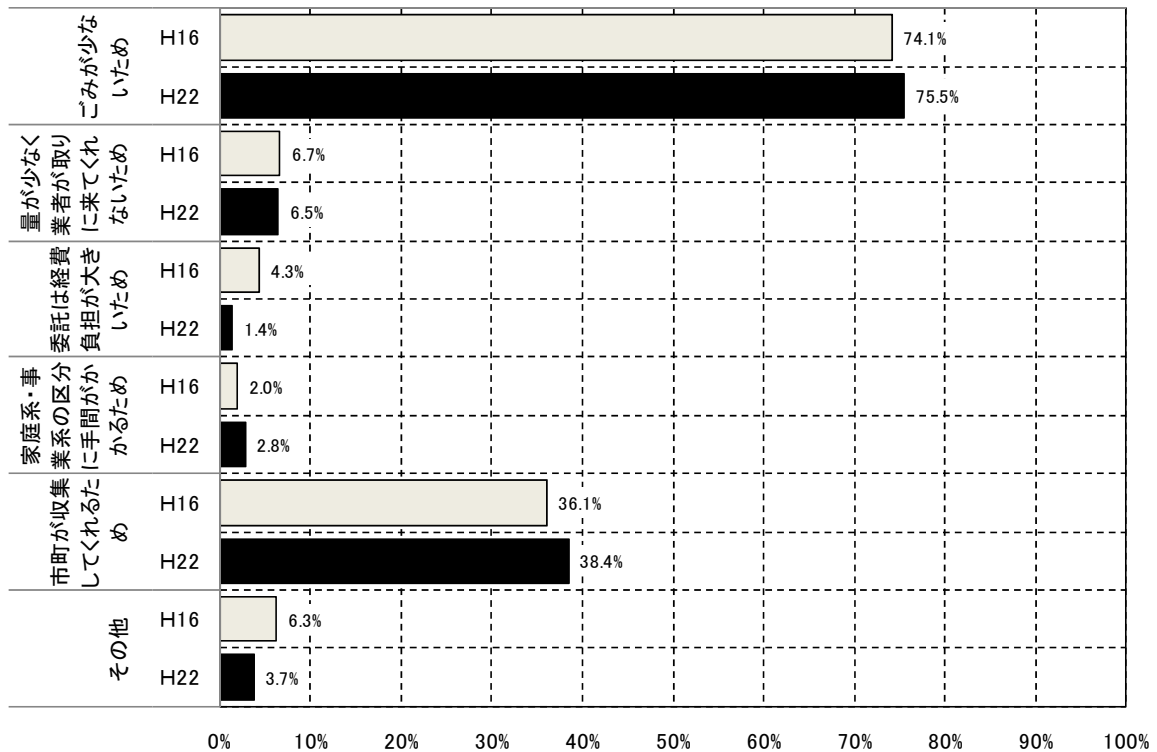


図 6-2-5 全体 年度別「地域のごみ集積所に出している理由」 回答率

6-3 今後の方策や意向について

6-3-1 問 14 今後あなたの事業所で特に減らしたいと考えているごみは何ですか。

「減らしたいごみ」は、平成 16 年度・平成 22 年度ともに「事務用紙」が最も高く、次いで「ダンボール」となっている。また「特になし」が平成 22 年度は増加している。

減らしたいごみ		年度	回答数	回答率
1	生ごみ・厨芥類	平成 16 年度	170	16.4%
		平成 22 年度	74	13.3%
2	木・草類	平成 16 年度	39	3.8%
		平成 22 年度	26	4.7%
3	新聞	平成 16 年度	38	3.7%
		平成 22 年度	16	2.9%
4	ダンボール	平成 16 年度	199	19.2%
		平成 22 年度	77	13.8%
5	雑誌・書籍	平成 16 年度	92	8.9%
		平成 22 年度	43	7.7%
6	事務用紙	平成 16 年度	426	41.0%
		平成 22 年度	179	32.1%
7	その他紙類	平成 16 年度	177	17.0%
		平成 22 年度	66	11.8%
8	布類・繊維類	平成 16 年度	30	2.9%
		平成 22 年度	9	1.6%
9	空きびん	平成 16 年度	66	6.4%
		平成 22 年度	32	5.7%
10	空き缶	平成 16 年度	106	10.2%
		平成 22 年度	47	8.4%
11	ペットボトル	平成 16 年度	115	11.1%
		平成 22 年度	66	11.8%
12	その他プラ	平成 16 年度	184	17.7%
		平成 22 年度	71	12.7%
13	その他	平成 16 年度	28	2.7%
		平成 22 年度	26	4.7%
14	特になし	平成 16 年度	139	13.4%
		平成 22 年度	128	23.0%

表 6-3-1 全体 年度別「減らしたいごみ」 回答状況

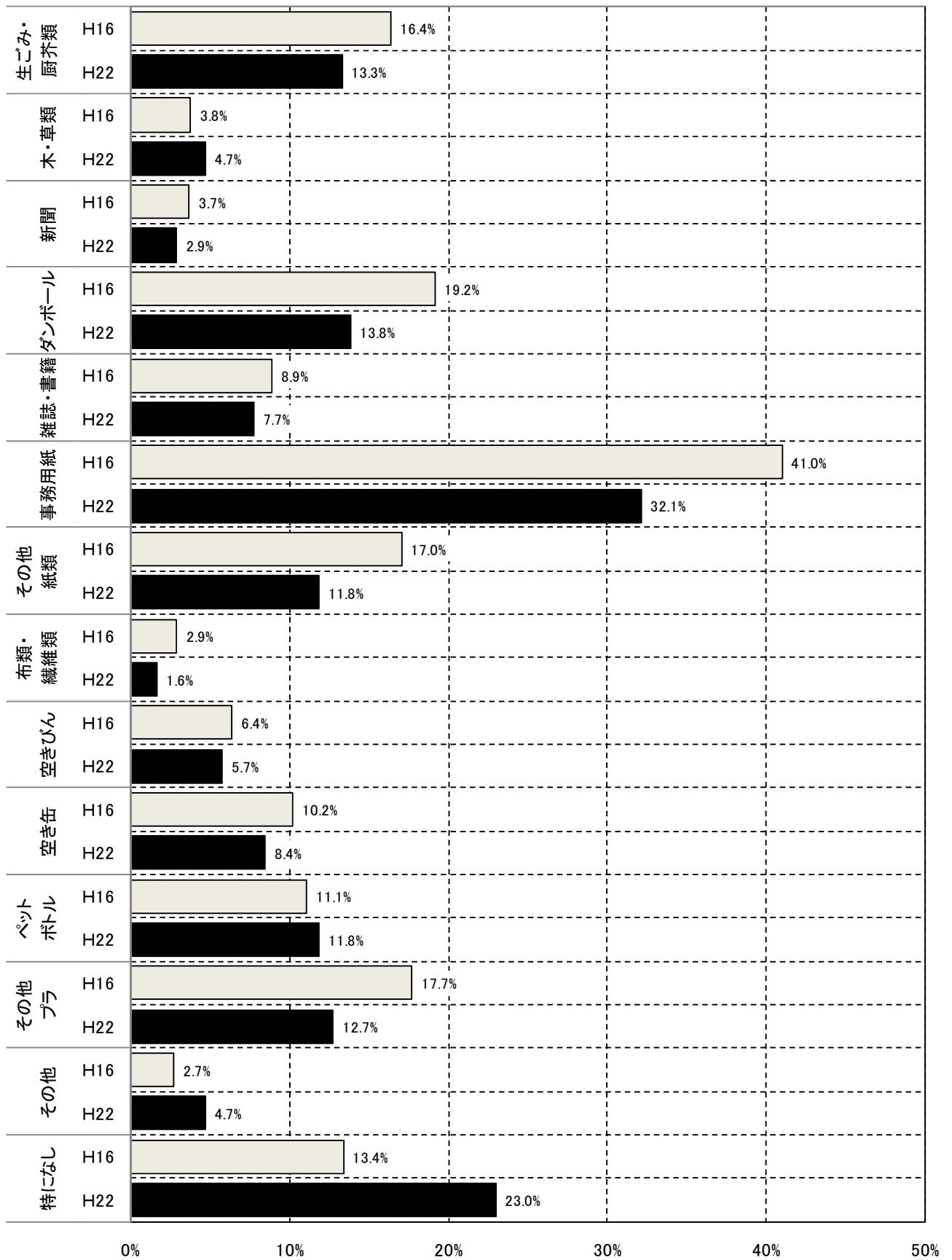


図 6-3-1 全体 年度別「減らしたいごみ」 回答率

6-3-2 問 15 あなたの事業所では、ごみの減量目標は定めていますか。

1) 全体

「ごみの減量目標の設定」は全体では、平成 22 年度は「設定済み」、「設定予定有り」が、それぞれ 6.2%、9.4%減少している。「設定するかどうかは不明」が 12.5%増加している。

ごみの削減目標の設定		1	2	3	4	計
		設定済み	設定予定あり	設定するかどうかは不明	無回答	
回答数	平成 16 年度	195	176	579	89	1,039
	平成 22 年度	52	60	380	65	557
回答率	平成 16 年度	18.8%	16.9%	55.7%	8.6%	100.0%
	平成 22 年度	9.3%	10.8%	68.2%	11.7%	100.0%
回答率差（平成 22 年度-平成 16 年度）		-9.4%	-6.2%	12.5%	3.1%	

表 6-3-2 全体 年度別「ごみの減量目標の設定」 回答状況

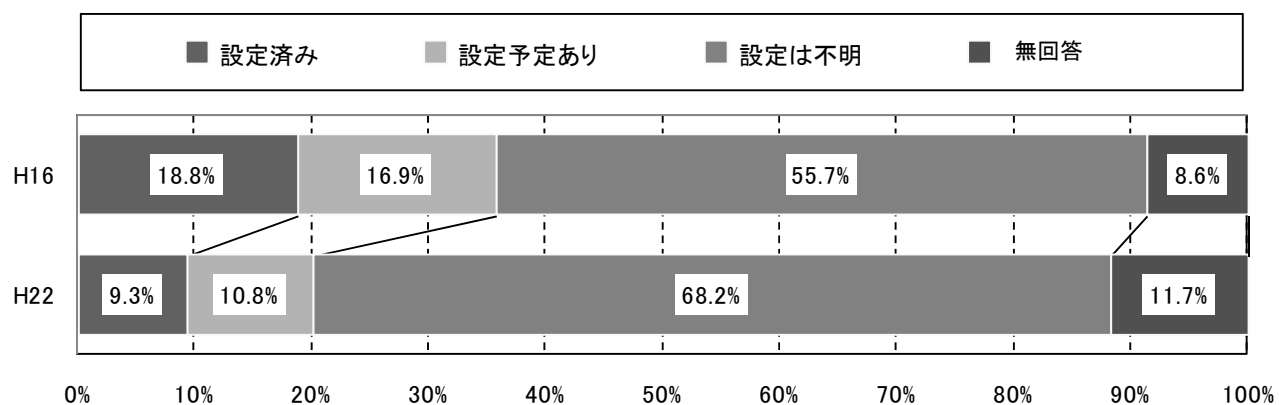


図 6-3-2 全体 年度別「ごみの減量目標の設定」 回答率

2) 業種別

「ごみの減量目標の設定」の業種別では、平成22年度の「設定済み」は、「金融・保険・不動産業」を除いて、すべての業種で減少しており、なかでも「建設業」、「製造業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」の3業種は、10%以上減少している。

ごみの減量目標の設定		年度	設定済み	設定予定あり	設定は不明	無回答	計
1	農林漁業	平成16年度	4.3%	13.0%	73.9%	8.7%	100.0%
		平成22年度	3.3%	10.0%	70.0%	16.7%	100.0%
2	建設業	平成16年度	21.5%	16.5%	57.0%	5.1%	100.0%
		平成22年度	4.5%	14.9%	74.6%	6.0%	100.0%
3	製造業	平成16年度	38.6%	23.2%	36.7%	1.5%	100.0%
		平成22年度	14.3%	9.1%	70.1%	6.5%	100.0%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	平成16年度	23.3%	20.0%	56.7%	0.0%	100.0%
		平成22年度	12.5%	7.5%	47.5%	32.5%	100.0%
5	運輸・情報通信業	平成16年度	11.3%	26.4%	62.3%	0.0%	100.0%
		平成22年度	7.7%	19.2%	65.4%	7.7%	100.0%
6	卸売・小売業・宿泊業・飲食店	平成16年度	11.9%	15.7%	65.7%	6.7%	100.0%
		平成22年度	9.6%	9.6%	75.5%	5.3%	100.0%
7	金融・保険・不動産業	平成16年度	6.0%	19.4%	70.1%	4.5%	100.0%
		平成22年度	6.1%	15.2%	72.7%	6.1%	100.0%
8	サービス業	平成16年度	12.3%	15.0%	68.4%	4.3%	100.0%
		平成22年度	9.9%	11.3%	71.8%	7.0%	100.0%
9	その他	平成16年度	14.8%	7.4%	70.4%	7.4%	100.0%
		平成22年度	15.2%	3.0%	57.6%	24.2%	100.0%
全体		平成16年度	18.8%	16.9%	55.7%	8.6%	100.0%
		平成22年度	9.3%	10.8%	68.2%	11.7%	100.0%

表 6-3-3 業種別 年度別「ごみの減量目標の設定」 回答率

ごみの減量目標の設定差 回答率差（平成22年度-平成16年度）	設定済み	設定予定あり	設定は不明	無回答
農林漁業	-1.0%	-3.0%	-3.9%	8.0%
建設業	-17.0%	-1.5%	17.7%	0.9%
製造業	-24.3%	-14.1%	33.5%	4.9%
電気・ガス・熱供給・水道業	-10.8%	-12.5%	-9.2%	32.5%
運輸・情報通信業	-3.6%	-7.2%	3.1%	7.7%
卸売・小売業・宿泊業・飲食店	-2.4%	-6.1%	9.9%	-1.4%
金融・保険・不動産業	0.1%	-4.3%	2.6%	1.6%
サービス業	-2.4%	-3.8%	3.5%	2.7%
その他	0.3%	-4.4%	-12.8%	16.8%
全体	-9.4%	-6.2%	12.5%	3.1%

表 6-3-4 業種別 年度別「ごみの減量目標の設定」 回答率差

6-3-3 問 16 あなたの事業所では、ごみを減らしたり、リサイクルを進めるに当たってどのような問題がありますか。

年度別「ごみを減らしたり、リサイクルを進めるに当たっての問題」では、平成 16 年度・平成 22 年度ともに「リサイクルのシステムがつかれない」が最も高く、次いで「減量しても経費削減につながらない」となっている。

問題点		年度	回答数	回答率
1	具体的方法がわからない	平成 16 年度	117	11.3%
		平成 22 年度	53	9.5%
2	リサイクルのシステムがつかれない	平成 16 年度	273	26.3%
		平成 22 年度	195	35.0%
3	産業廃棄物の区分が障害	平成 16 年度	141	13.6%
		平成 22 年度	54	9.7%
4	減量しても経費削減につながらない	平成 16 年度	200	19.2%
		平成 22 年度	101	18.1%
5	事業系ごみ)のことがよくわからない	平成 16 年度	53	5.1%
		平成 22 年度	26	4.7%
6	減量と事業が両立しない	平成 16 年度	151	14.5%
		平成 22 年度	75	13.5%
7	その他	平成 16 年度	102	9.8%
		平成 22 年度	71	12.7%

表 6-3-5 全体 年度別「問題点」 回答状況

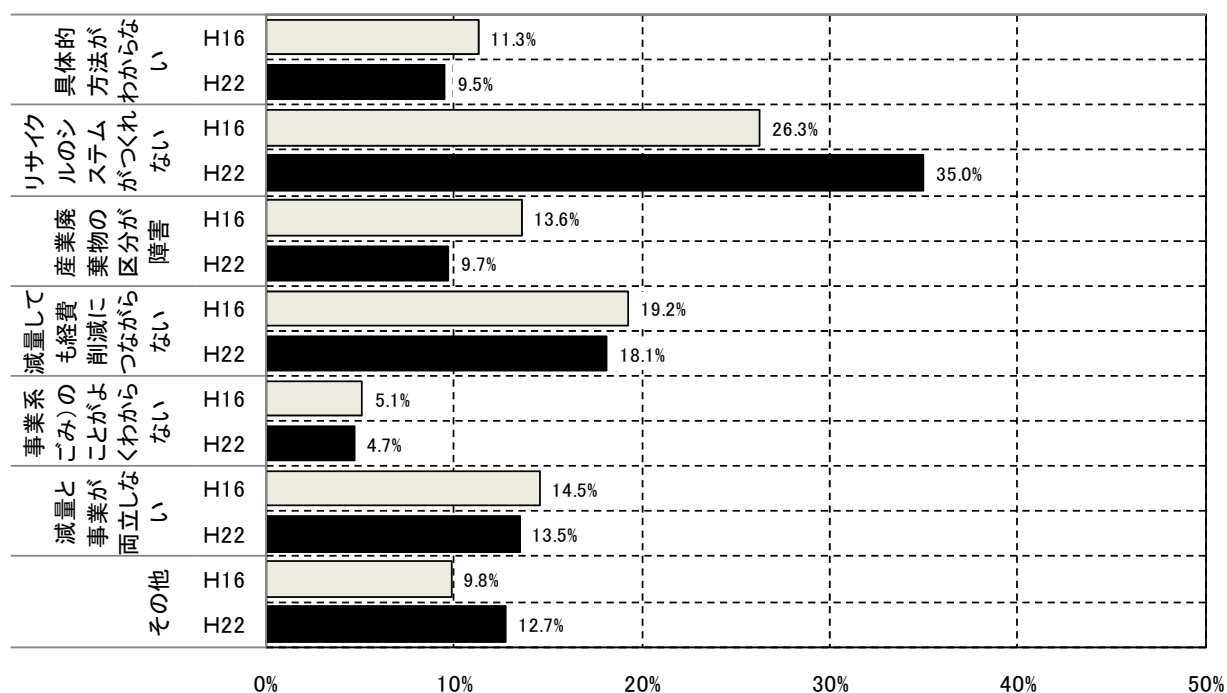


図 6-3-3 全体 年度別「問題点」 回答率

6-3-4 問 17 ごみに関する情報を、あなたの事業所はどのような方法で手に入れていますか？

「情報の入手先」は、平成 16 年度・平成 22 年度ともに「市町の広報等」が最も高い。次に高いのは、平成 16 年度では「処理業者からの情報」、平成 22 年度は「新聞やマスコミ」となっている。

情報の入手先		年度	回答数	回答率
1	市町の広報等	平成 16 年度	674	64.9%
		平成 22 年度	388	69.7%
2	市町のホームページ	平成 16 年度	92	8.9%
		平成 22 年度	62	11.1%
3	市町等主催の説明会	平成 16 年度	67	6.4%
		平成 22 年度	36	6.5%
4	市町の訪問指導	平成 16 年度	16	1.5%
		平成 22 年度	5	0.9%
5	新聞やマスコミ	平成 16 年度	240	23.1%
		平成 22 年度	140	25.1%
6	業界情報	平成 16 年度	207	19.9%
		平成 22 年度	76	13.6%
7	商工会議所等団体情報	平成 16 年度	73	7.0%
		平成 22 年度	41	7.4%
8	処理業者からの情報	平成 16 年度	336	32.3%
		平成 22 年度	125	22.4%
9	その他	平成 16 年度	40	3.8%
		平成 22 年度	20	3.6%

表 6-3-6 全体 年度別「情報の入手先」 回答状況

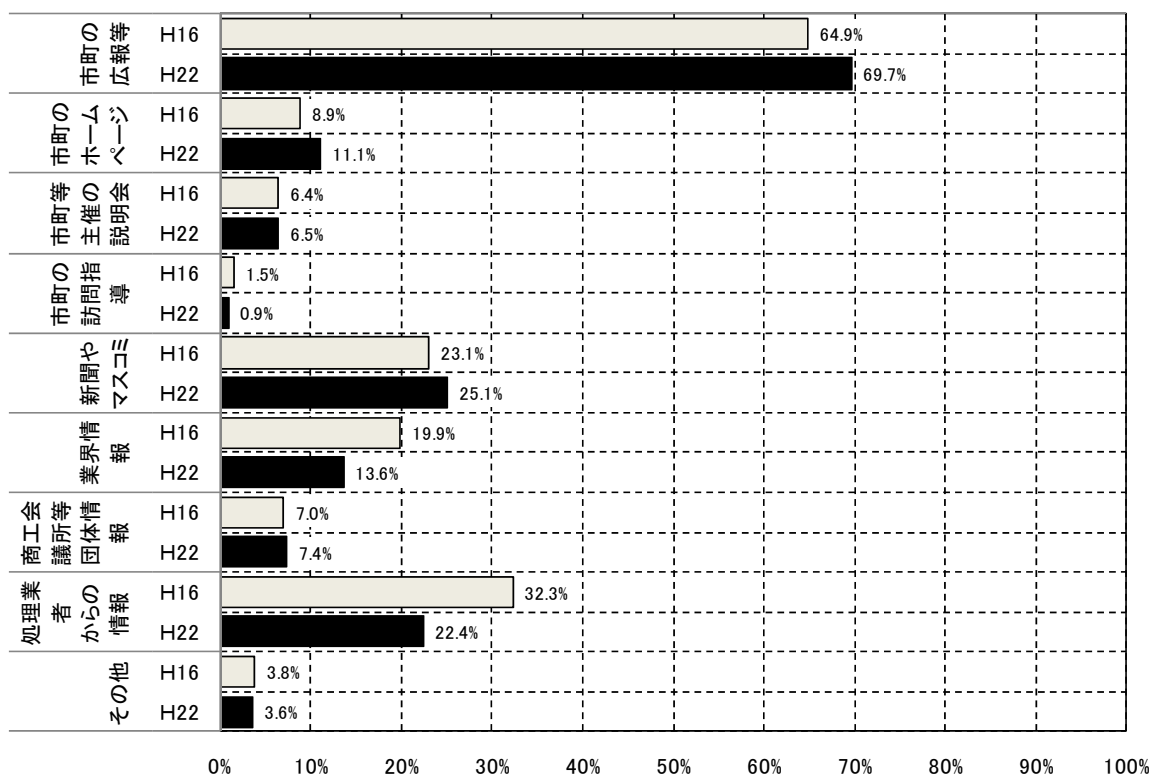


図 6-3-4 全体 年度別「情報の入手先」 回答率

6-3-5 問 18 今後の具体的なごみ減量やリサイクルの取組を検討するうえでぜひほしいと思う情報はありますか。

「欲しい情報」は、平成 16 年度・平成 22 年度ともに「成功事例・失敗事例」が最も高く、次いで「処理業者・資源回収業者情報」となっている。

欲しい情報		年度	回答数	回答率
1	処理業者・資源回収業者情報	平成 16 年度	385	28.1%
		平成 22 年度	158	28.4%
2	法律等の規制情報	平成 16 年度	275	20.0%
		平成 22 年度	117	21.0%
3	県・市町の環境関連事業	平成 16 年度	373	27.2%
		平成 22 年度	151	27.1%
4	国や県等の動向	平成 16 年度	158	11.5%
		平成 22 年度	79	14.2%
5	成功事例・失敗事例	平成 16 年度	403	29.4%
		平成 22 年度	161	28.9%
6	CO ₂ 削減に関する情報	平成 16 年度	0	0.0%
		平成 22 年度	54	9.7%
7	その他	平成 16 年度	12	0.9%
		平成 22 年度	7	1.3%
8	特になし	平成 16 年度	142	10.3%
		平成 22 年度	149	26.8%

表 6-3-7 全体 年度別「欲しい情報」 回答状況

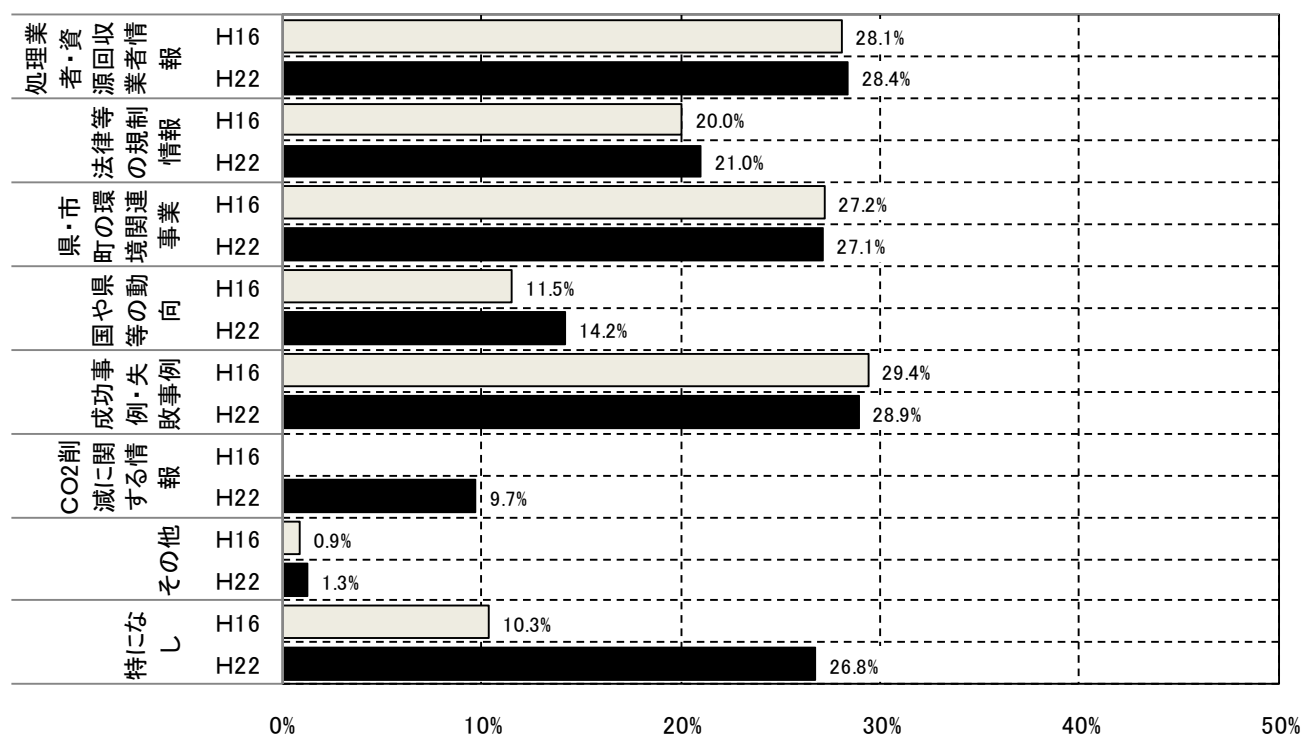


図 6-3-5 全体 年度別「欲しい情報」 回答率

7 自由記入意見まとめ

有効回答数 557 のうち、79 事業所から、多種多様な意見が寄せられている。内容の分類ごとに数例を示すと次のようになる。

①生産者からのごみの発生・排出抑制について（16 事業所）

- ・消費者だけにゴミゼロを提唱せず、生産者もどうすればゴミの少ない社会、リサイクルしなくても良い商品を提供できるかをもっと真剣に考えてほしい。（宿泊業、飲食サービス業）
- ・商品の包装が多すぎる。無駄が多すぎる。（電気・ガス・熱供給・水道業）
- ・協会、加入組合を通じて毎月 1 回、国道のゴミを拾い、日頃仕事等で通っている道路のクリーン作戦を行っています。毎月、毎月ゴミを拾っていますが、道路に落ちているゴミはあまり減っていかないように感じます。ゴミゼロ社会を目指すことも大切だと思いますが、一人一人のゴミに対するマナーを心がけていただきたいです。（運輸業、郵便業）
- ・便利な世の中はゴミが出るのでしょうか。昔は新聞紙などは風呂の焚き付け、店の包み紙などに使われていました。現在はマイバッグが全国的に広がっています。とてもいいことだと思います。ペットボトル、缶など市や町が回収するのではなく、製造したところが回収すべきだと思います。（不動産業、物品賃貸業）

②意識・モラルを高めることについて（11 事業所）

- ・自治体や地域などで清掃活動を行うために、分別・リサイクルの意識を持つこと。子どもと大人と一緒に活動すれば大人が子供に学ぶと思う。
- ・企業において、ゴミゼロを目指すためには社員一人一人の参加意識（意欲）を高める事が必要であると思います。三重県内の事業所の毎月の持ち回りによるリレー方式による「ゴミゼロ運動（地域社会への貢献活動）」として各月の担当事業所がその事業所周辺の清掃活動（ゴミ拾い等）を実施して、活動報告書を作成して、次の事業所に引き継いでいくことを行ってみてはいかがでしょうか。（その他の製造業）
- ・ゴミゼロ社会の実現のためには・年齢的にも幼児から成人までを対象とした指導教育が必要だと思う。・取り組み組織も、行政、各種団体、市民グループ等に幅広く協力できる組織づくりが大切かと思う。（その他）

③ごみ減量・ごみ処理について（16 事業所）

- ・事業系一般廃棄物として廃プラスチックがあり燃料化などリサイクルの推進に向けて検討していく。事業系一般廃棄物は各事業単位なので発生量は少ないため、県で集積するなどリサイクル向上を図るためのご検討を頂きたい。（電気・ガス・熱供給・水道業）
- ・市町村において、きれいな（不純物、タバコのすいがら、ナイロン等を含まない）生ごみを有効に使えばいいと思います。むずかしいと思いますが、PTAとか婦人会とか、そんな集団でも何でもいいと思います。（卸売業、小売業）

④行政への要望等について（17 事業所）

- ・行政がもっと真剣にPRし、回収等に関しても回収場所を設置してほしい。（卸売業、小売業）
- ・やはり行政の方でもリユースというごみを減量することにも力を注いでほしいと思います。リデュ

ース・リサイクルは行政にも貢献しているのではないのでしょうか？大量生産して消費するという時代はもうすでに終わっていて、物を大切に使うということにも関心を示していただきたいと思います。（卸売業、小売業）

- ・ごみの排出側である出口管理では限界があるので、入口側の方で具体的な方策、効果的な施策等あれば、ホームページ、又は説明会等で、紹介してほしい。（その他の製造業）

⑤ごみゼロ社会について（14事業所）

- ・ゴミをゼロにするのは現実的に無理です。無理なことをやっているとわかっていてもいかにも行政らしいと思います。ですが、ゴミは減らさないといけないとみんなが思っていると思います。あとゴミを減らせば、どうなるのか、結果を見せる事も大事だと思います。（宿泊業、飲食サービス業）
- ・ゼロ吉が地域イベントに参加してもっと周知してほしい。地域イベントではごみの分別は当たり前ですが、それでもゴミスリムまでは意識が薄いと思います。県内の主なイベントに来てアピールして下さい。その時に最新スリム化とか教えてもらえると助かります。ゴミが減ると事業所に限らず各家庭でも経費（・ゴミ袋有料が目先・ひいては行政の節税）が削減できるので皆さんの関心も高いです。（その他のサービス業）
- ・市の広報等で非常に細かい分別例があり、細かく分別をして処理している。あまり細かい分別で設置場所に困ることがあるが、ゴミゼロ社会に向けてわが社も努力していきたい。（卸売業、小売業）
- ・今三重県においてはレジ袋有料化が進みマイバッグを持った人たちが多くなった。すごいことと思います。皆が意識を持って推進を図れば大きな成果につながっていくことを実感しました。未来を担う子供たちがこういった取り組みを理解し、次世代につなげてほしいと思います。子どもたちは「ゼロ吉」が好きですよ!!（電気・ガス・熱供給・水道業）

⑥その他の意見（5事業所）

- ・事業規模が小さいので、アンケートに回答しにくいといった意見が見られた。

8 事業所アンケート 調査票

「ごみゼロ社会」をめざす事業所アンケート ～事業系一般廃棄物の減量とリサイクルの推進に向けて～

◎ 事業系ごみ（事業系一般廃棄物）の減量やリサイクルの取組についてお聞きします。

問 1 あなたの事業所ではごみの減量化に取り組んでいますか？
あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	かなり取り組んでいる	(⇒問 2、問 3へ)
2	ある程度取り組んでいる	(⇒問 2、問 3へ)
3	あまり取り組んでいない	(⇒問 4へ)
4	全く取り組んでいない	(⇒問 4へ)

問 2 (問 1 で「1 かなり取り組んでいる」「2 ある程度取り組んでいる」と答えた方のみ)
ごみ減量化に取り組む理由は何ですか？
あてはまるものを3つまで選び、番号に○を付けてください。

1	経費削減のため	2	社の宣伝やイメージアップのため
3	企業としての社会的責任を果たすため	4	法律等の規制があるため
5	業界全体で取り組んでいるため	6	競合他社が取り組んでいるため
7	ごみ保管場所に制約があるため	8	その他 (具体的に)

問 3 (問 1 で「1 かなり取り組んでいる」「2 ある程度取り組んでいる」と答えた方のみ)
あなたの事業所ではどのようなごみ減量に取り組んでいますか？
あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

1	ISO14001 や M-EMS (三重県版小規模事業所向け環境マネジメントシステム) など環境マネジメントシステムの認証取得等
2	ごみ箱の廃止、撤去 (分別ボックス等の設置)
3	ごみ管理責任者の設置
4	生ごみの堆肥化
5	通い箱の活用など納入業者と協力した取組
6	ペーパーレス化の推進 (コピー用紙等の削減)
7	自動販売機設置業者等による容器 (空き缶等) の引き取り
8	マイボトル・マイカップ運動の推進やマイカップ自販機の設置など使い捨て飲料容器の使用を控える取組
9	その他 (具体的に)

問 4 (問 1 で「3 あまり取り組んでいない」「4 全く取り組んでいない」と答えた方のみ)
あなたの事業所でごみ減量に取り組んでいないのはなぜですか？
あてはまるものを3つまで選び、番号に○を付けてください。

1	ごみ処理を一括契約しているため、ごみ量が減っても処理料金は変わらないため
2	もともと処理料金が安いので、ごみが減っても効果的な経費削減にはならないため
3	分別等に手間がかかり従業員の協力が得られないため
4	減らす努力をするほどごみが出ないため
5	ごみ減量化より事業優先のため
6	その他 (具体的に)

問5 あなたの事業所から出たごみは誰が管理していますか？
 あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	事業所内で責任者や担当を決めて管理している
2	本社、本店で一括して管理している
3	処理委託先が管理もやっている
4	事業所が入っているテナント会社や建物管理会社が管理している
5	その他（具体的に _____ ）

◎ あなたの事業所から出る事業系ごみ（事業系一般廃棄物）についてお聞きします。

問6 あなたの事業所ではごみはどのように処理していますか？
 あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	処理費を支払って収集運搬業者に委託している	（⇒問 7,8,9 へ）
2	自ら市町の処理施設に持ち込んでいる	（⇒問 11 へ）
3	本社等で各事業所のごみを一括して処理している	（⇒問 11 へ）
4	家庭ごみが出される地域のごみ集積所に出している	（⇒問 10 へ）
5	その他（具体的に _____ ）	（⇒問 11 へ）

問7 （問6 で「1 収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ）
 収集運搬業者との契約では、収集は週何回くらいですか？
 あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	週1回以下	2	週2回	3	週3回
4	週4回	5	週5回	6	週6回
7	その他（週 _____ 回）				

問8 （問6 で「1 収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ）
 あなたの事業所では、ひと月あたりのごみ処理費はどのくらいですか？
 あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	毎月千円未満	2	毎月千～5千円未満
3	毎月5千～1万円未満	4	毎月1万～3万円未満
5	毎月3万～5万円未満	6	毎月5万～10万円未満
7	毎月10万～30万円未満	8	毎月30万円以上（おおよそ _____ 万円）

問9 （問6 で「1 収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ）
 ごみの処理料金はどのように決めていますか？
 あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	実際に出したごみ袋の個数やごみの重さなどによって料金が決まるしくみになっている
2	一定量までは同額とし、それ以上はごみの量に応じて料金が決まるしくみになっている
3	出すごみの量に関係なく、まとめて「月いくら」、「年いくら」などというように料金を決めている
4	その他（具体的に _____ ）

問 10 (問 6 で「4 地域のごみ集積所に出している」と答えた方のみ)
 収集運搬業者にごみ処理を委託せず、地域のごみ集積所に出すのはなぜですか？
 あてはまるものを 2 つまで 選び番号に○を付けてください。

1	事業に伴って出るごみが少ないため
2	量が少なく業者が取りに来てくれないため
3	業者に委託すると、ごみ処理にかかる経費負担が大きくなるため
4	家庭ごみと事業ごみの区分けに手間がかかるため
5	地域のごみ集積所に出しておけば、市町が収集してくれるため
6	その他(具体的に)

問 11 (問 6 で「2 自ら市町の処理施設に持ち込んでいる」「3 本社等で各事業所のごみを一括して処理している」「5 その他」と答えた方のみ)
 1 週間あたりのごみ排出量はおおよそどのくらいですか？45リットルのごみ袋に換算して、その個数でお答えください。
 あてはまるものを 1 つ 選び番号に○を付けてください。

1	45リットルごみ袋でおおよそ1袋未満
2	45リットルごみ袋でおおよそ1、2袋
3	45リットルごみ袋でおおよそ3、4袋
4	45リットルごみ袋でおおよそ5、6袋
5	45リットルごみ袋でそれ以上(おおよそ 袋)
6	ほとんど出ない(⇒問 12 の回答は不要です)

問 12 あなたの事業所が出しているごみの中にはどのようなものが含まれていますか。
 1 週間あたりの量について、次の品目ごとに容積比で記入してください。
 なお、ここで言う新聞、ダンボールなどは資源として分別されずに、生ごみなどと一緒に混ざったまま出されているものの量を言います。

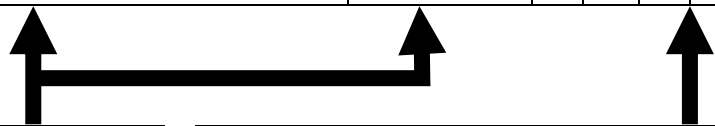
番号	品目	回答欄		記入例	記入例の説明
		ごみの組成			
1	生ごみ・厨芥類		割	1 割 割 割 割 割 6 割 2 割 割 割 1 割 割 割 10 割	たとえば、事業所から出されたごみの中身が、シュレッダーしたコピー用紙が約6割、ちり紙や紙くずが約2割、出がらしのお茶や弁当の食べ残しが約1割、ペットボトルが約1割というときは、このように記入してください。 合計が10割となるよう、ご注意ください。
2	木・草類		割		
3	新聞		割		
4	ダンボール		割		
5	雑誌・書籍		割		
6	事務用紙(コピー用紙等)		割		
7	その他紙類		割		
8	布類・繊維類		割		
9	空きびん		割		
10	空き缶		割		
11	ペットボトル		割		
12	その他プラスチック類		割		
13	その他		割		
合計			10 割		

◎ あなたの事業所が資源として分別しているものについてお聞きします。

問 13 あなたの事業所が資源として分別し、リサイクルしているものについて、品目ごとに1週間当たりの排出量と処理方法を、記入例を参考に記入してください。

番号	品目	1週間当たりの発生量の記入欄 (①か②のいずれかの欄に記入してください)		処理方法の記入欄						
		① () におおよその数を記入	②具体的に重さを記入	③選択肢から当てはまる番号1つに○						
1	生ごみ・厨芥類	45リットルごみ袋()袋程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
2	木・草類	45リットルごみ袋()袋程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
3	新聞	朝刊()部程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
4	ダンボール	みかん箱()箱程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
5	雑誌・書籍	週刊誌()冊程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
6	事務用紙 (コピー用紙等)	A4判()枚程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
7	その他紙類	45リットルごみ袋()袋程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
8	布類・繊維類	45リットルごみ袋()袋程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
9	空きびん	空きびん()本程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
10	空き缶	空き缶()本程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
11	ペットボトル	500mlサイズ()本程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
12	その他プラスチック類	45リットルごみ袋()袋程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
13	生ごみ・厨芥類	45リットルごみ袋()袋程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7

記入例①：生ごみ・厨芥類	45リットルごみ袋()袋程度	30 kg/週	1	2	3	4	5	6	7
記入例②：新聞	朝刊(20)部程度	kg/週	1	②	3	4	5	6	7



記入例の説明
① 資源として分別した生ごみは、1週間あたり約30kgで、自社の施設で堆肥化し、敷地内の植木、花壇に堆肥として活用している。
② 新聞は、1週間あたり約20部で、ある程度貯めてから古紙回収業者に売却している。

処理方法の選択肢	
1	業者等に有償または無償で引き渡している
2	業者等に売却している
3	家庭ごみが出される地域のごみ集積所に出している
4	子ども会等が行う集団回収に出している
5	小売店や販売店の店頭回収に出している
6	納入業者等に返却している
7	堆肥化するなど自社内で処理している

◎ 今後の方策や意向についてお聞きします。

問 14 今後あなたの事業所で特に減らしたいと考えているごみは何ですか？
あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

1	生ごみ・厨芥類	2	木・草類
3	新聞	4	ダンボール
5	雑誌・書籍	6	事務用紙(コピー用紙等)
7	その他紙類	8	布類・繊維類
9	空きびん	10	空き缶
11	ペットボトル	12	その他プラスチック類
13	その他(具体的に)	14	特に減らしたいと考えるごみはない

問 15 あなたの事業所では、ごみの減量目標は定めていますか？
あてはまるものを 1つ 選び番号に○を付けてください。

1	すでに定めている
2	現段階ではないが定める予定がある
3	現段階では定めておらず、今後定めるかどうかは不明

問 16 あなたの事業所では、ごみを減らしたり、リサイクルを進めるに当たってどのような問題がありますか？
あてはまるものを 2つまで 選び番号に○を付けてください。

1	どのようにすれば、ごみを減らしたり、リサイクルできるのか、その方法がわからない
2	資源として分別しても、量が少ないため、リサイクルのシステムがつかれない
3	事業系ごみ（事業系一般廃棄物）と産業廃棄物の区分が障害になっている
4	ごみを減らした分だけ、経費が削減できるしくみになっていない
5	事業系ごみ（事業系一般廃棄物）のことがよくわからない
6	ごみの減量と事業が両立しない
7	その他（具体的に)

問 17 ごみに関する情報を、あなたの事業所はどのような方法で手に入れていますか？
あてはまるものを 3つまで 選び番号に○を付けてください。

1	市町の広報やパンフレットを通じて
2	市町のホームページを通じて
3	市町等主催の説明会を通じて
4	市町の訪問指導を通じて
5	新聞やマスコミを通じて
6	業界からの情報を通じて
7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて
8	処理業者からの情報を通じて
9	その他（具体的に)

問 18 今後の具体的なごみ減量やリサイクルの取組を検討するうえでぜひほしいと思う情報はありますか？
あてはまるものを 3つまで 選び番号に○を付けてください。

1	処理業者・資源回収業者に関する情報
2	法律や条例等の規制に関する情報
3	県や市町が実施する環境関連事業に関する情報
4	今後の政策など国や県等の動向に関する情報
5	ごみ減量化やリサイクルに関する成功事例・失敗事例
6	低炭素社会に向けた CO ₂ 削減に関する情報
7	その他（具体的に)
8	特に必要なし

問 19 あなたの事業所では、事業系ごみの減量やリサイクルについて県に対してどのような役割を期待していますか？

あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

1	全県的な啓発（キャンペーン等の実施）
2	調査研究や情報提供
3	情報交換の場や機会の提供
4	ごみ減量化やリサイクルに関する成功事例や失敗事例の紹介
5	その他（具体的に ）
6	特に必要なし

◎ 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」についてお聞きします。

問 20 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」をご存じですか？

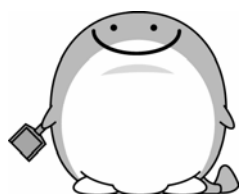
あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	知っている
2	名前は聞いたことがある
3	知らない

問 21 三重県のごみゼロキャラクター「ゼロ吉」をご存じですか？

あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

1	知っている
2	見たことはあるが、三重県のごみゼロキャラクターであることは知らなかった
3	知らない



三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」

問 22 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」に関する事業者参画の取組に参加したいと思いますか？

あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

1	地域ごみゼロ交流会に参加したい
2	ごみゼロに関する講演会やセミナーに参加したい
3	ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい
4	ごみゼロメールマガジンを読みたい
5	ごみゼロの取組をまとめた「ごみゼロレポート」を読みたい
6	アンケートなどに協力したい
7	自分の意見をFAXなどで県に寄せたい
8	ごみゼロプランの進捗状況などを評価検証する「ごみゼロプラン推進委員会」を傍聴したい
9	その他（具体的に ）
10	いずれにも参加したいとは思わない

◎ あなたの事業所についてお聞きします。

問 23 あなたの事業所はどのような業種にあてはまりますか？
あてはまるものを 1つ 選び番号に○を付けてください。

1	農業, 林業	2	漁業
3	建設業	4	食品製造業
5	その他の製造業	6	電気・ガス・熱供給・水道業
7	情報通信業	8	運輸業, 郵便業
9	卸売業, 小売業	10	金融業, 保険業
11	不動産業, 物品賃貸業	12	学術研究, 専門・技術サービス業
13	宿泊業, 飲食サービス業	14	生活関連サービス業, 娯楽業
15	教育, 学習支援業	16	医療, 福祉
17	複合サービス事業	18	その他のサービス業
19	公務	20	その他(具体的に)

問 24 あなたの事業所はどのような建物形態ですか？
あてはまるものを 1つ 選び番号に○を付けてください。

1	事業所は独立した1つの建物となっている
2	事業所はテナントビルや住宅用マンションの中に入居している
3	事業所は自宅と兼用になっている
4	その他(具体的に)

問 25 あなたの事業所の従業員は何名ですか？
あてはまるもの 1つ 選び、番号に○を付けてください。

1	1～4人	2	5～9人	3	10～19人
4	20～29人	5	30～49人	6	50～99人
7	100～299人	8	300人以上		

問 26 あなたの事業所の所在地はどちらですか？
あてはまるものを 1つ 選び、番号に○を付けてください。

1	津市	2	四日市市	3	伊勢市	4	松阪市
5	桑名市	6	いなべ市	7	鈴鹿市	8	亀山市
9	伊賀市	10	名張市	11	尾鷲市	12	鳥羽市
13	熊野市	14	志摩市	15	菟野町	16	東員町
17	木曽岬町	18	朝日町	19	川越町	20	明和町
21	多気町	22	大台町	23	玉城町	24	度会町
25	大紀町	26	南伊勢町	27	紀北町	28	御浜町
29	紀宝町						

- ごみゼロ社会の実現に向けてのご意見やご要望、アイデア等があれば、自由にご記入ください。

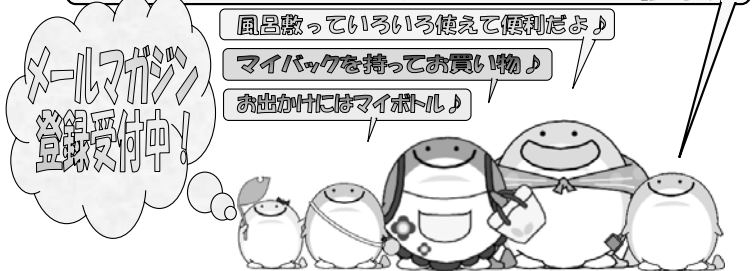
A large rectangular area with horizontal dashed lines for writing.

「ゼロ吉」とその家族ゼロ吉ファミリーはごみゼロ社会の実現に資する場合には、自由に使用していただけます。また、ごみ削減を啓発するDVDや「ゼロ吉」着ぐるみ“エアゼロ吉”の貸し出しも行っています。ご希望される場合はあらかじめ三重県環境森林部ごみゼロ推進室までお問い合わせください。



着ぐるみ“エアゼロ吉”

みんなでめざそう “ごみゼロ社会”



ゼロ吉ファミリー

質問は以上でございます。お忙しいところ調査にご協力いただきましてありがとうございました。

Ⅲ. NPO等団体アンケート結果

1 調査の概要

1-1 調査の目的

この調査は、ごみに対するNPO等団体の取組や考え方を把握することにより、「ごみゼロ社会実現プラン」の改定に必要な基礎資料を得るため、実施する。

1-2 調査対象

県内に所在する 188件のNPO等団体を抽出し調査対象とした。

1-3 調査方法

調査票を郵送、回収した。回収期限前にはがきによる督促を行った。

また、8月27日以降電話による回答依頼を行った。

1-4 調査期間

平成 22 年8 月3 日に調査票を発送し、8 月27 日を回答期限として回収した。なお、電話での回答依頼を行い、9 月10 日を最終回収期限として有効回答に含めた。

1-5 回収状況

発送数	188 通
返却等	14 通
有効発送数	174 通
回収数	97 通
回収率	55.7%

1-6 分析結果の見方

- ① 各比率は、各設問の回答数を有効回答数の 100 分率で示している。比率は、小数点第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならないことがある。
- ② 複数回答の場合の各比率は、その項目を選んだ人が有効回答数の何%に当たるかを算出している。従って各項目の比率の合計は 100%を超える場合がある。
- ③ ある設問の指定された回答を選んだ人を対象回答者としている場合がある。このような場合、指定回答者以外の回答は無効回答としている。

2 調査結果（属性）

2-1 属性

1	貴団体の属性
---	--------

属性では、「任意団体（企業関係以外の個人が中心）」が55.7%で最も高く、次いで「特定非営利活動法人（NPO法人）」の30.9%となっている。

番号	選択肢	回答数	回答率
1	特定非営利活動法人（NPO法人）	30	30.9%
2	その他の法人格を持つ法人	7	7.2%
3	任意団体（企業関係者が中心）	6	6.2%
4	任意団体（企業関係以外の個人が中心）	54	55.7%
計		97	100.0%

表 2-1 属性 回答状況

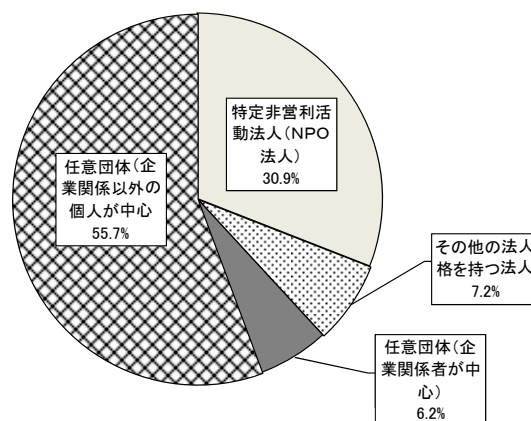


図 2-1 属性 回答率

2-2 活動分野

2	貴団体の環境保全（全般）に関する活動分野	（複数回答）
---	----------------------	--------

活動分野では、「限定せず環境保全全般」が53.6%で最も高く、次いで「廃棄物・リサイクル対策」の46.4%となっている。

番号	選択肢：複数回答	回答数	回答率
1	限定せず環境保全全般	52	53.6%
2	森林保全（熱帯雨林除く）	8	8.2%
3	自然保護・創出・緑化	25	25.8%
4	大気保全（地球規模除く）	5	5.2%
5	水質保全	14	14.4%
6	廃棄物・リサイクル対策	45	46.4%
総回答数		149	153.6%
有効回答数		97	

表 2-2 活動分野 回答状況

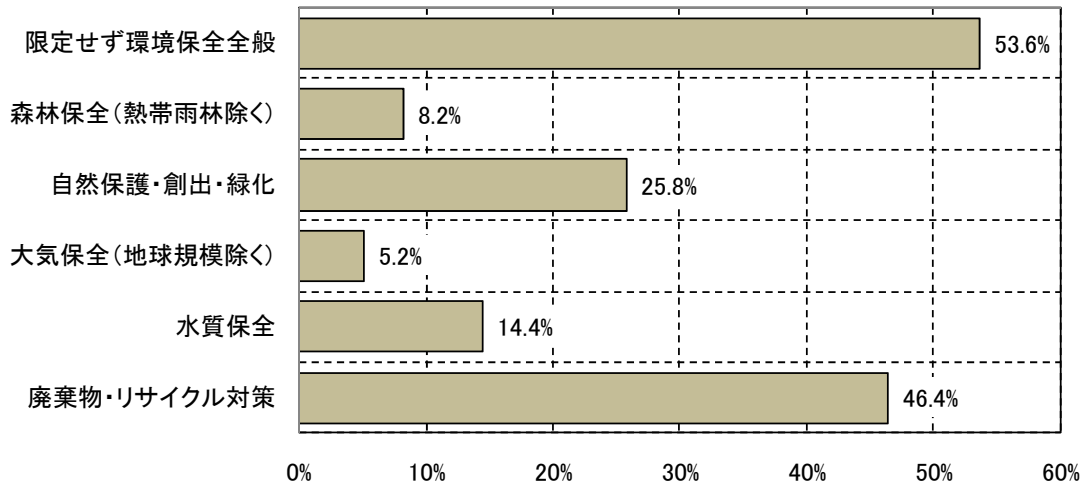


図 2-2 活動分野 回答率

2-3 活動を始めた時期

3	活動を始めた時期
---	----------

活動を始めた時期については、2000年（平成12年）から2005年（平成17年）が多くなっている。活動期間の最も長い団体は、60年間となっている。

活動開始年	1950 (S25)	1969 (S44)	1975 (S50)	1976 (S51)	1980 (S55)	1988 (S63)	1989 (H元)	1990 (H2)	1992 (H4)	1994 (H6)	1995 (H7)	1996 (H8)	1997 (H9)
団体数	1	2	1	1	1	2	1	1	1	2	3	2	3
活動開始年	1998 (H10)	1999 (H11)	2000 (H12)	2001 (H13)	2002 (H14)	2003 (H15)	2004 (H16)	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	計
団体数	3	3	4	5	5	3	9	6	1	4	4	5	73

活動開始年	1950年代 (S25~S34)	1960年代 (S35~S44)	1970年代 (S45~S54)	1980年代 (S55~H元)	1990年代 (H2~H11)	2000年代 (H12~H21)
団体数	1	2	2	4	18	46
率	1.4%	2.7%	2.7%	5.5%	24.7%	63.0%

表 2-3 活動分野 回答状況

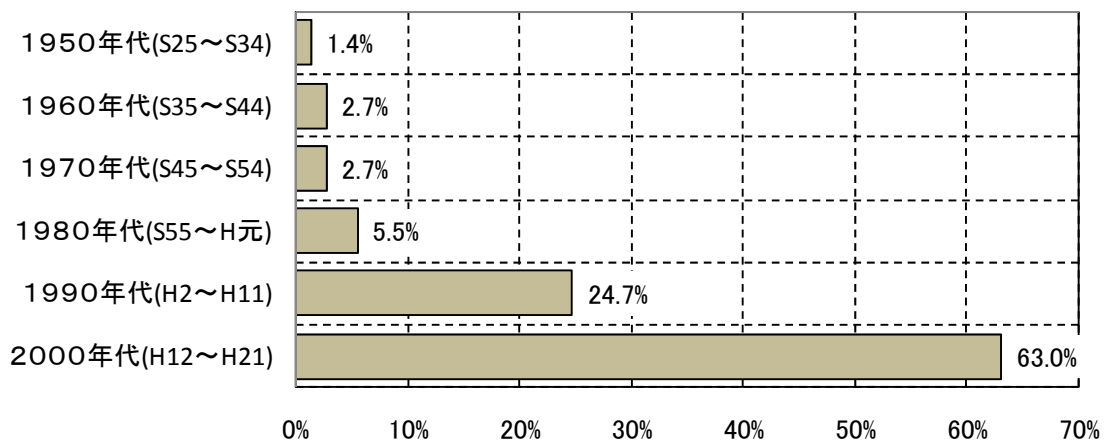


図 2-3 活動分野 回答率

2-4 活動の範囲

4	活動の範囲	(複数回答)
---	-------	--------

活動範囲は、「地域・地区内」が 55.7%で最も高く、次いで「市町内全域」の 43.3%となっている。「全国展開」している団体は、6 団体となっている。

番号	選択肢名：複数回答	回答数	回答率
1	地域・地区内	54	55.7%
2	市町内全域	42	43.3%
3	三重県内全域	18	18.6%
4	全国展開	6	6.2%
総回答数		120	123.7%
有効回答数		97	

表 2-4 活動範囲 回答状況

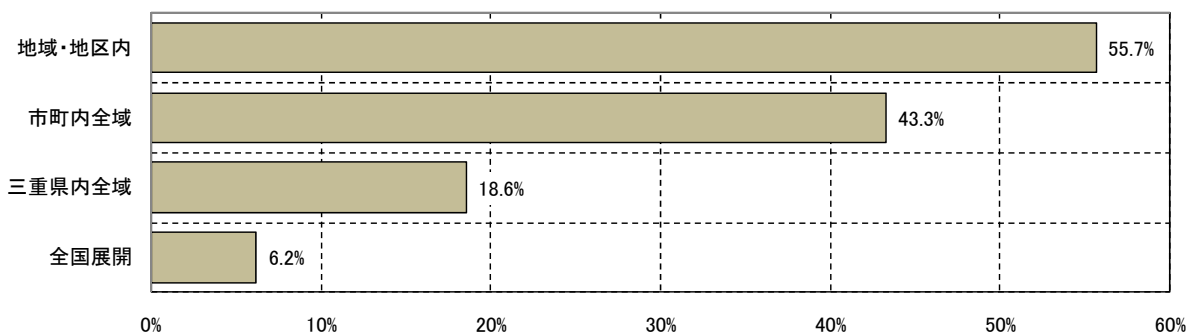


図 2-4 活動範囲 回答率

2-5 会員数

5	会員数
---	-----

会員数のうち個人会員は、「50～99」が 23.4%で最も高く、次いで「10～19」の 22.1%となっている。

500 人以上の会員がいる団体は、3 団体となっている。また、団体法人では、ほとんどが、「1～9 人」となっている。

団体の規模	個人		団体・法人	
	団体数	率	団体数	率
1～9	10	13.0%	15	93.8%
10～19	17	22.1%	0	0.0%
20～29	14	18.2%	0	0.0%
30～49	9	11.7%	0	0.0%
50～99	18	23.4%	0	0.0%
100～499	6	7.8%	0	0.0%
500 以上	3	3.9%	1	6.3%
計	77	100.0%	16	100.0%

表 2-5 会員数 回答状況

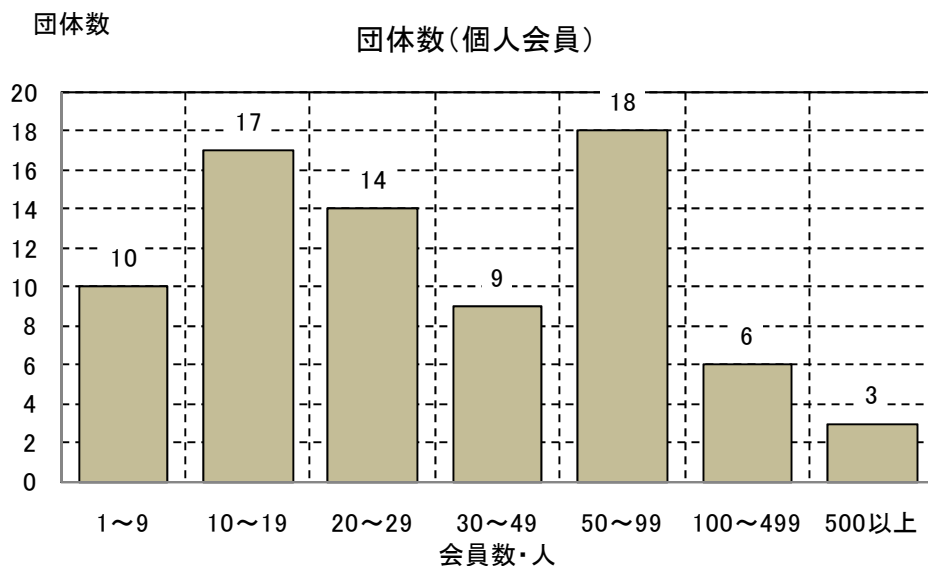


図 2-5 会員数 回答状況

2-6 主たる事務所（事務局）の所在形態

6	主たる事務所（事務局）の所在形態
---	------------------

主たる事務所（事務局）の所在形態は、「会員自宅や勤務先」が45.4%で最も高く、次いで「専用自己所有」の14.4%となっている。

番号	事務所の所在形態	団体数	率
1	専用自己所有	14	14.4%
2	専用賃貸	8	8.2%
3	他団体と共同所有	8	8.2%
4	他団体と共同賃貸	2	2.1%
5	会員自宅や勤務先	44	45.4%
6	特に限定していない	4	4.1%
7	その他	14	14.4%
99	無回答	3	3.1%
計		97	100.0%

表 2-6 主たる事務所（事務局）の所在形態 回答状況

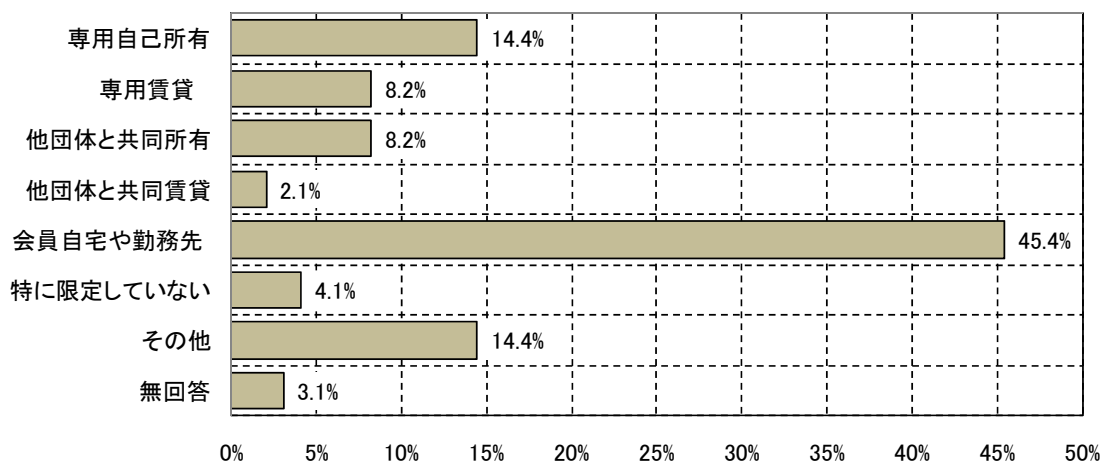


図 2-6 主たる事務所（事務局）の所在形態 回答率

2-7 主たる事務所の住所

7	主たる事務所の住所
---	-----------

主たる事務所の住所は、「四日市市」が20.6%で最も高く、「桑名市」11.3%、「津市」9.3%と続いている。

番号	住所	団体数	率
1	四日市市	20	20.6%
2	桑名市	11	11.3%
3	津市	9	9.3%
4	松阪市	7	7.3%
5	尾鷲市	6	6.2%
6	伊賀市	5	5.2%
7	伊勢市	4	4.1%
8	大台町	4	4.1%
9	明和町	4	4.1%
10	鈴鹿市	4	4.1%
11	いなべ市	3	3.1%
12	鳥羽市	3	3.1%
13	名張市	3	3.1%
14	亀山市	2	2.1%
15	朝日町	2	2.1%
16	南伊勢町	2	2.1%
17	紀北町	1	1.0%
18	菟野町	1	1.0%
19	川越町	1	1.0%
20	多気町	1	1.0%
21	大紀町	1	1.0%
22	東員町	1	1.0%
23	無回答	2	2.1%
計		97	100.0%

表 2-7 主たる事務所の住所 回答状況

3 調査結果（詳細）

3-1 「ごみゼロ社会実現プラン」について

問 1 三重県が平成17年3月に策定した「ごみゼロ社会実現プラン」をご存じですか？

「ごみゼロ社会実現プラン」の認知度は、「よく知っている」が52.6%で最も高く、「聞いたことがある」が43.3%となっている。なお「知らない」は、わずか4.1%となっている。「ごみゼロ社会実現プラン」の認知度は、非常に高いといえる。

1) 単純集計

番号	「ごみゼロ社会実現プラン」認知度	回答数	回答率
1	よく知っている	51	52.6%
2	聞いたことがある	42	43.3%
3	知らない	4	4.1%
計		97	100.0%

表 3-1 「ごみゼロ社会実現プラン」認知度 回答状況

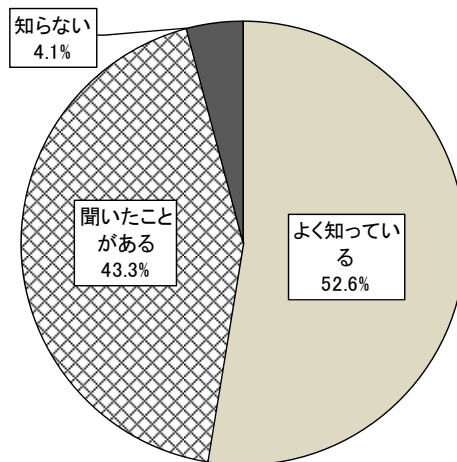


図 3-1 「ごみゼロ社会実現プラン」認知度 回答率

3-2 ごみの減量やリサイクルの取組状況について

問 2 現在、貴団体ではごみ減量化等の取組を行っていますか？

ごみ減量化には、70.1%の団体が取り組んでいる。

1) 単純集計

番号	ごみ減量化の取組	回答数	回答率
1	行っている	68	70.1%
2	行っていない	27	27.8%
99	無回答	2	2.1%
計		97	100.0%

表 3-2 ごみ減量化の取組 回答状況

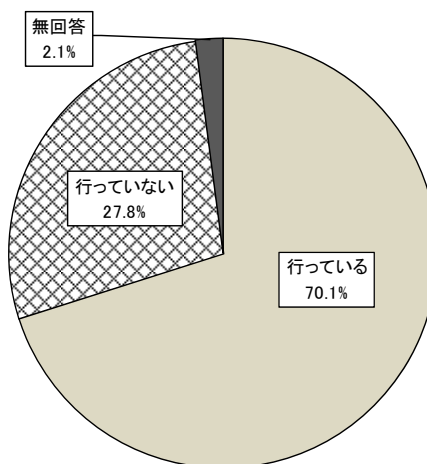


図 3-2 ごみ減量化の取組 回答率

問 3	<p>【問2で「行っている」と答えた方のみお答えください。それ以外の方は問4へ】</p> <p>現在、貴団体が行っているごみ減量化等の取組は何ですか？</p> <p>今後、力を入れていきたい取組は何ですか？あてはまる項目の口にチェックをつけてください。</p> <p>また、現在、実施している場合は、取組内容を（ ）欄に具体的にご記入ください。</p>
-----	--

現在行っている取組は、「生ごみ堆肥化の実施・協力」が 44.1%で最も高く、「ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施」42.6%、「ごみ減量化やリサイクル等に関する行政の施策への協力」33.8%と続いている。

今後力を入れて行きたい取組として、「生ごみ堆肥化に関する地域活動に伴うネットワークづくり」が回答率が 20.6%で一番高くなっている。

1) 単純集計

番号	取組内容：回答対象数 68	現在取組		今後予定		現在＋今後	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	フリーマーケット等の開催・出展	14	20.6%	7	10.3%	21	30.9%
2	不用品リサイクルに関する情報提供、情報交換の仕組みづくり	14	20.6%	11	16.2%	25	36.8%
3	修理教室、リフォーム教室等の実施	13	19.1%	8	11.8%	21	30.9%
4	リサイクルショップの運営	6	8.8%	7	10.3%	13	19.1%
5	リターナブル容器の良さなどのPR	6	8.8%	4	5.9%	10	14.7%
6	新たなリターナブル容器システムの構築、取組への支援・協力	1	1.5%	3	4.4%	4	5.9%
7	リユースカップ・システムの情報発信	2	2.9%	6	8.8%	8	11.8%
8	自治会、NPO等民間団体主催のイベント等におけるリターナブル容器の利用	5	7.4%	7	10.3%	12	17.6%
9	移動食器洗浄車の購入・貸し出し	0	0.0%	5	7.4%	5	7.4%
10	リユース食器レンタル事業の企画・運営	2	2.9%	6	8.8%	8	11.8%
11	環境に配慮したエコイベントシステムの導入・実施	12	17.6%	6	8.8%	18	26.5%
12	リース・レンタルのサービスの提供、事業活動におけるレンタルやリースの活用	1	1.5%	5	7.4%	6	8.8%
13	製品等の修理・修繕に関する住民への啓発	1	1.5%	5	7.4%	6	8.8%
14	アップグレード（製品の性能・機能の向上）サービスに関する住民への啓発	2	2.9%	5	7.4%	7	10.3%
15	市町の分別基準に従った適正な排出	18	26.5%	6	8.8%	24	35.3%
16	容器包装の削減・簡素化に関する啓発・PR	13	19.1%	5	7.4%	18	26.5%
17	生ごみ堆肥化の実施・協力	30	44.1%	11	16.2%	41	60.3%
18	生ごみ堆肥化に関する地域活動に伴うネットワークづくり	14	20.6%	14	20.6%	28	41.2%
19	生ごみ堆肥化に関する住民への啓発	19	27.9%	9	13.2%	28	41.2%
20	廃食用油のリサイクル（BDF、石鹸など）の実施・協力	18	26.5%	9	13.2%	27	39.7%

表 3-3 (1) ごみ減量化の取組内容 回答状況

番号	取組内容：回答対象数 68	現在取組		今後予定		現在＋今後	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
21	飲料容器デポジット制度の導入・運用	3	4.4%	6	8.8%	9	13.2%
22	障害者や高齢者の支援と連携したリサイクル事業の実施	8	11.8%	5	7.4%	13	19.1%
23	企業退職者等の地域での活動の受け皿として活動の場の提供	10	14.7%	3	4.4%	13	19.1%
24	地域通貨の仕組みを活用したリサイクルシステムの運営	2	2.9%	5	7.4%	7	10.3%
25	地域通貨の発行	0	0.0%	6	8.8%	6	8.8%
26	ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施	29	42.6%	8	11.8%	37	54.4%
27	ごみ減量化やリサイクル等に関する行政の施策への協力	23	33.8%	8	11.8%	31	45.6%
28	NPO・事業者・行政の連携による資源物回収拠点システムの構築・運営	7	10.3%	8	11.8%	15	22.1%
29	廃プラスチック等の有効利用のための調査研究・技術開発	8	11.8%	5	7.4%	13	19.1%
30	資源回収ステーションの運営受託	8	11.8%	7	10.3%	15	22.1%
31	資源回収ステーションを活用した学習機会の提供	4	5.9%	8	11.8%	12	17.6%
32	集団回収のPR・実施	8	11.8%	7	10.3%	15	22.1%
33	ごみ処理基本計画策定、実行の取組に参画	2	2.9%	8	11.8%	10	14.7%
34	ごみ減量会議等への参画・協働	11	16.2%	9	13.2%	20	29.4%
35	地域ごみゼロ推進交流会への参加	11	16.2%	10	14.7%	21	30.9%
36	レジ袋削減活動の展開	20	29.4%	7	10.3%	27	39.7%
37	行政との協働事業等の企画提案、事業の実施	11	16.2%	7	10.3%	18	26.5%
38	市町のごみ減量化等施策への積極的な参画・協力	7	10.3%	8	11.8%	15	22.1%
39	「ごみゼロ社会」実現プランに関する情報提供への協力	10	14.7%	10	14.7%	20	29.4%
40	ホームページなどを活用したごみ関連情報の発信	7	10.3%	9	13.2%	16	23.5%
41	環境学習・環境教育のツール・プログラム等の開発、行政の取組への参画	18	26.5%	7	10.3%	25	36.8%
42	20年後のライフスタイル体験プログラムの企画・運営、行政の取組への参画・協力	0	0.0%	8	11.8%	8	11.8%
43	こどもエコクラブ会員を対象とした学習会の企画・開催	6	8.8%	6	8.8%	12	17.6%
44	家庭における環境学習・教育の啓発	11	16.2%	8	11.8%	19	27.9%
45	家庭における環境学習・教育のツールの作成・普及活動	5	7.4%	7	10.3%	12	17.6%
46	ごみゼロ達人育成への協力、派遣制度の活用	1	1.5%	7	10.3%	8	11.8%
47	ごみゼロ人材ガイドブックの活用・情報提供	0	0.0%	6	8.8%	6	8.8%

表 3-3 (2) ごみ減量化の取組内容 回答状況

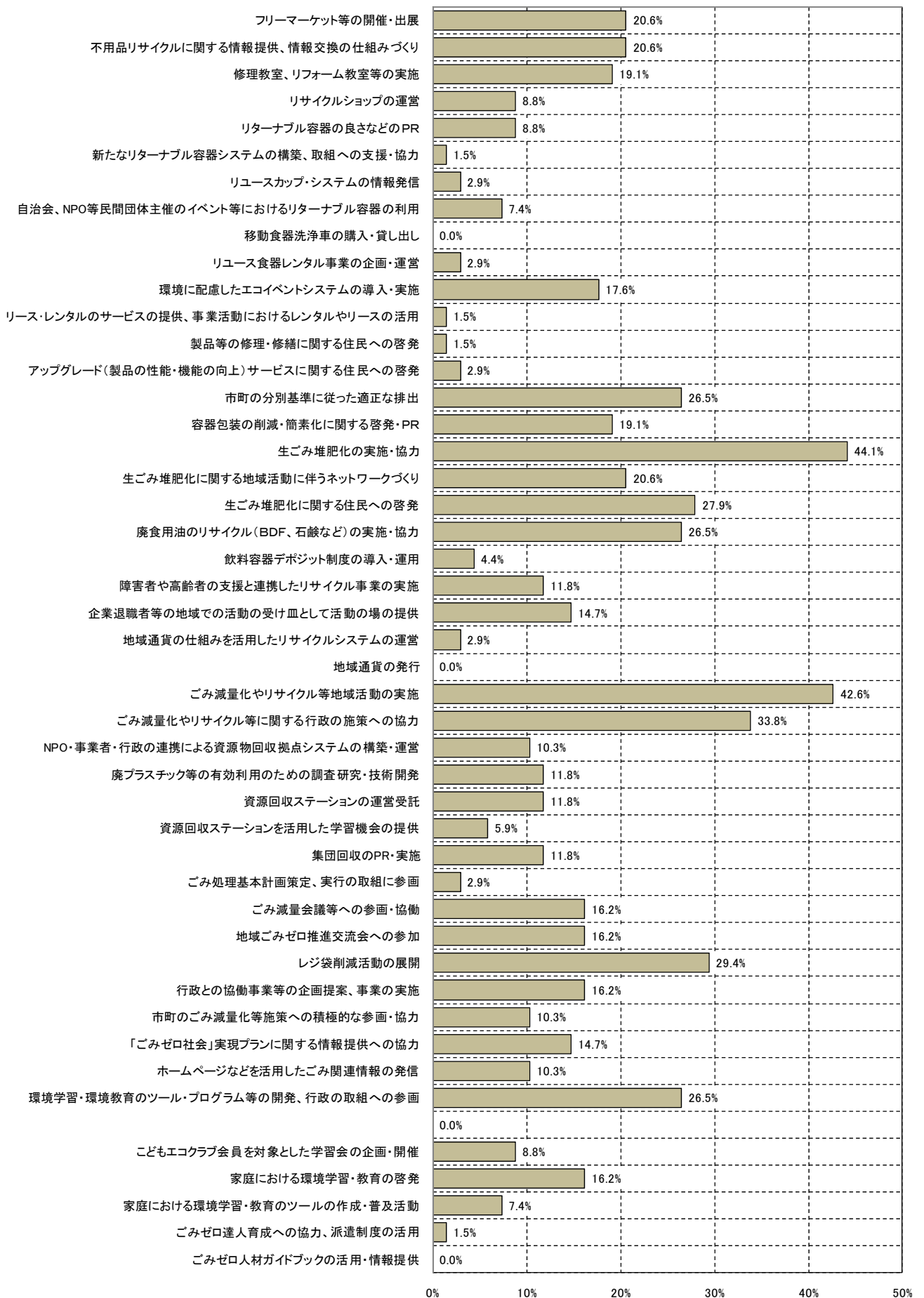


図 3-3 ごみ減量化の取組内容 回答率

問 4	貴団体で、ごみ減量化の取組の連携相手はどこですか？ また、今後、どのような相手と連携したいですか？ 当てはまる項目の□にチェックするとともに取組内容を具体的に記入してください。
-----	--

ごみ減量化の取組の現在の連携相手は、「市町」が26.8%で最も高く、次いで「NPO等団体」の22.7%となっている。

また、今後連携したい相手としては、「市町」が14.4%、「自治会・町内会等団体」が11.3%となっている。

1) 単純集計

番号	取組の連携相手相 ：回答対象数 97	現在取組		今後予定		現在+今後	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	NPO等団体	22	22.7%	7	7.2%	29	29.9%
2	事業者	20	20.6%	8	8.2%	28	28.9%
3	学校	14	14.4%	8	8.2%	22	22.7%
4	自治会・町内会等団体	15	15.5%	11	11.3%	26	26.8%
5	市町	26	26.8%	14	14.4%	40	41.2%
6	県	9	9.3%	8	8.2%	17	17.5%

表 3-4 取組の連携相手 回答状況

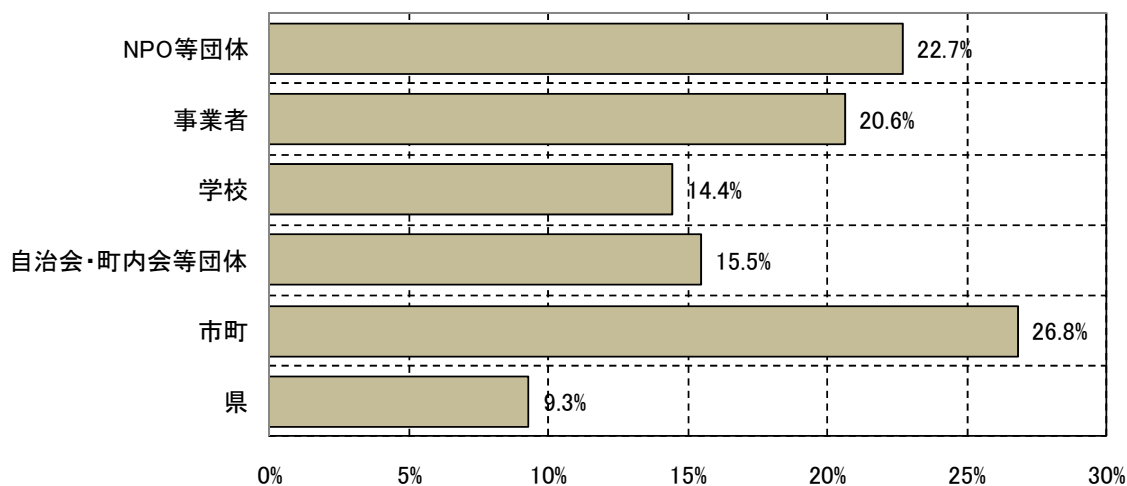


図 3-4 取組の連携相手 回答率

問 5 貴団体では、県に対してどのような役割を期待していますか？ (複数回答)

県に期待する役割は、「全県的な啓発（キャンペーン等の実施）」が 34.0%で最も高く、次いで「情報交換の場や機会の提供」の 29.9%となっている。

1) 単純集計

番号	県の役割	回答数	回答率
1	全県的な啓発（キャンペーン等の実施）	33	34.0%
2	調査研究や情報提供	25	25.8%
3	情報交換の場や機会の提供	29	29.9%
4	スタッフ育成の研修	11	11.3%
5	その他	14	14.4%
総回答数		112	115.5%
有効回答数		97	

表 3-5 県の役割 回答状況

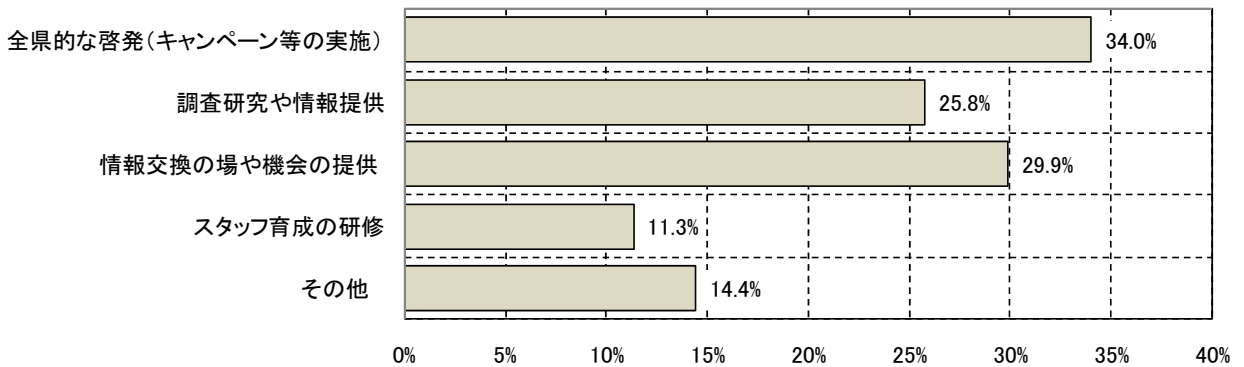


図 3-5 県の役割 回答率

問 6 県では、地域で積極的にごみ減量活動等に取り組まれている方々を対象に、ごみゼロプラン推進の取組への県民のみなさんの参画を促進し、自発的、主体的なごみ減量化の取組のさらなる活性化やそれらの広域展開をはかるため、日頃の活動内容の発表や情報交換など参加者同士の情報交流、先進事例やリサイクル制度等についての交流会を開催しています。より実り多い交流会とするため、皆様のご意見を参考とさせていただきますので、希望するテーマ、内容等をお聞かせください。 (自由記述)

交流会の希望するテーマ・内容は、「リサイクルについて」が 25.0%で最も高く、次いで「団体が活動しやすくなるためのものについて」、「交流会そのものについて」が 18.8%となっている。

1) 要約集計

番号	希望するテーマ内容（要約）	回答数	回答率
1	リサイクルについて	8	25.0%
2	団体が活動しやすくなるためのものについて	6	18.8%
3	交流会そのものについて	6	18.8%
4	「ごみゼロ」について	3	9.4%
5	行政の活動について	3	9.4%
6	ごみの減量化について	2	6.3%
7	RDF発電について	1	3.1%
8	その他	3	9.4%
計		32	100.0%

表 3-6 希望するテーマ・内容 回答状況

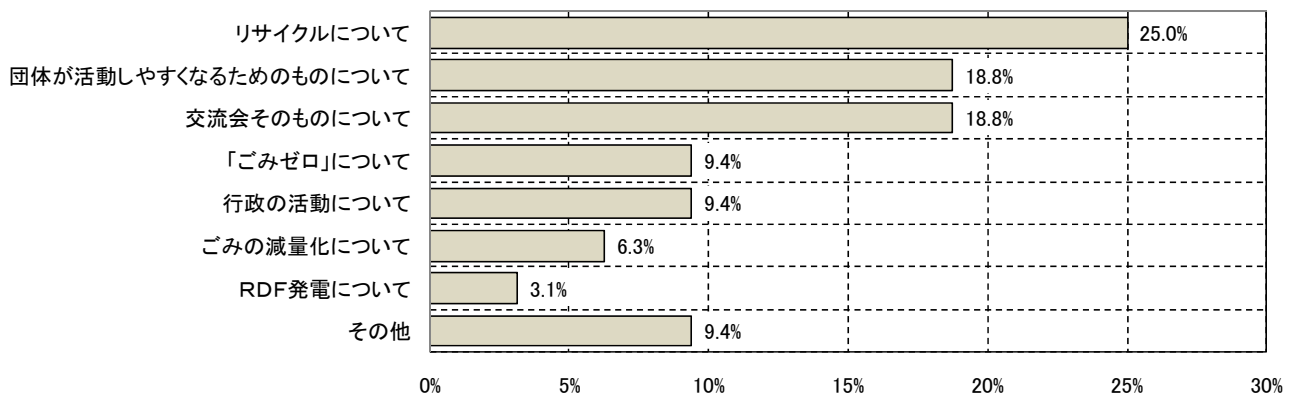


図 3-6 希望するテーマ・内容 回答率

問 7	「ごみゼロ社会」実現に向けて、ご意見等あれば、ご自由にご記入ください。 (自由記述)
-----	---

自由意見の要約では、「ごみ処理リサイクル方法、しくみづくりについての意見」が23.1%で最も高く、次いで「一人ひとりの関心や活動の大切さについての意見」が20.5%となっている。

1) 要約集計

番号	「ごみゼロ社会」実現にむけての意見（要約）	回答数	回答率
1	ごみ処理リサイクル方法、しくみづくりについての意見	9	23.1%
2	一人ひとりの関心や活動の大切さについての意見	8	20.5%
3	県民への啓発についての意見	6	15.4%
4	「ごみゼロ」についての意見	4	10.3%
5	団体の活動についての意見	4	10.3%
6	行政間やNPOとの連携についての意見	3	7.7%
7	行政への要望についての意見	2	5.1%
8	自然を大切にすることについての意見	1	2.6%
9	その他の意見	2	5.1%
計		39	100.0%

表 3-7 「ごみゼロ社会」実現にむけての自由意見 回答状況

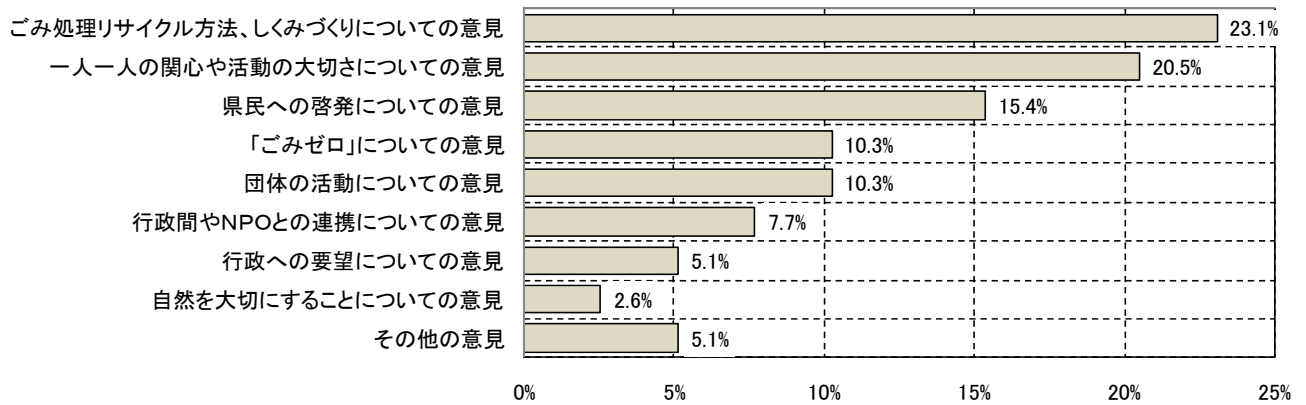


図 3-7 「ごみゼロ社会」実現にむけての自由意見 回答率

問 8 ごみゼロHPの「活動団体マップ」にてごみゼロ活動団体の紹介（現在83団体掲載）をしていますが、貴団体の情報についてHPに掲載させていただいてもよろしいですか？

HPへの記載は、「はい」が53.6%、「いいえ」が22.7%となっている。「すでに記載している」団体は、10.3%となっている。

1) 単純集計

番号	HPへの掲載	回答数	回答率
1	はい	52	53.6%
2	いいえ	22	22.7%
3	すでに掲載している	10	10.3%
99	無回答	13	13.4%
計		97	100.0

表 3-8 HPへの記載 回答状況

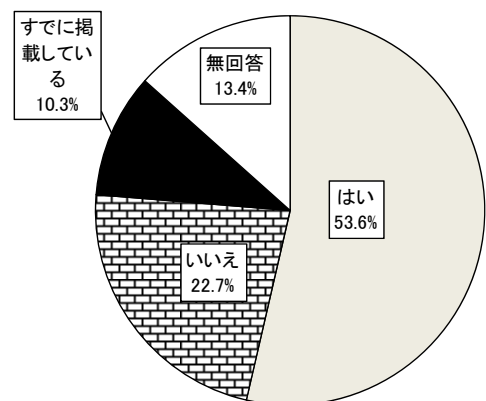


図 3-8 HPへの記載 回答率

問 9 現在、ごみゼロ推進室より希望者にメルマガを随時配信していますが、貴団体に対しても冒頭で記載していただいた E-mail アドレスに配信させていただいてよろしいですか？

メルマガ配信では、「はい」が40.2%、「いいえ」が24.7%となっている。「すでに配信されている」団体は11.3%となっている。

1) 単純集計

番号	メルマガ配信	回答数	回答率
1	はい	39	40.2%
2	いいえ	24	24.7%
3	すでに配信されている	11	11.3%
99	無回答	23	23.7%
計		97	100.0

表 3-9 メルマガ配信 回答状況

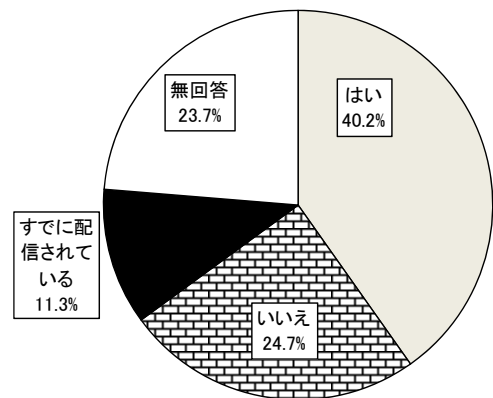


図 3-9 メルマガ配信 回答率

問 10 平成 19 年に誕生した三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」をご存じですか？

「ゼロ吉」の認知度は、「知っている」が64.9%、「知らない」が23.7%となっている。「ゼロ吉」の認知度はかなり高いといえる。

1) 単純集計

番号	「ゼロ吉」をご存じですか	回答数	回答率
1	知っている	63	64.9%
2	知らない	23	23.7%
99	無回答	11	11.3%
計		97	100.0

表 3-10 「ゼロ吉」の認知度 回答状況

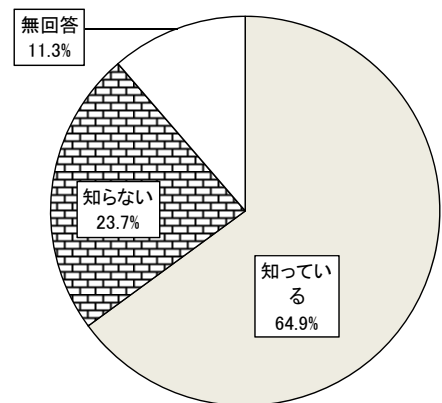
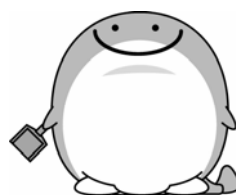


図 3-10 「ゼロ吉」の認知度 回答率



三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」



ゼロ吉ファミリー

4 過去の調査結果との比較

4-1 現在行っている取組内容について

平成 18 年度から平成 22 年度の 5 年間における各年度について、いずれも（5 回）ベスト 10 に入っている取組は「生ごみ堆肥化の実施・協力」、「生ごみ堆肥化に関する住民への啓発」、「レジ袋削減活動の展開」の 3 項目、4 回は「市町の分別基準に従った適正な排出」、「ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施」等の 4 項目となっている。各年度の順位は変化しているが、取組内容の比率の高い「生ごみ堆肥化の実施・協力」、「レジ袋削減活動の展開」等の項目は、あまり変化がない。

順位	番号	取組内容	回数
1	5-1 (1)	生ごみ堆肥化の実施・協力	5
1	5-1 (3)	生ごみ堆肥化に関する住民への啓発	5
1	8-2	レジ袋削減活動の展開	5
4	4-1	市町の分別基準に従った適正な排出	4
4	6-3 (3)	ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施	4
4	6-3 (4)	ごみ減量化やリサイクル等に関する行政の施策への協力	4
4	8-1 (3)	地域ごみゼロ推進交流会への参加	4
8	3-1 (1)	フリーマーケット等の開催・出展	3
8	5-2	廃食用油のリサイクル（BDF、石鹼など）の実施・協力	3
8	8-1 (2)	ごみ減量会議等への参画・協働	3
8	8-3 (2)	市町のごみ減量化等施策への積極的な参画・協力	3
12	8-4 (1)	「ごみゼロ社会」実現プランに関する情報提供への協力	2
13	3-1 (2)	不用品リサイクルに関する情報提供、情報交換の仕組みづくり	1
13	4-2	容器包装の削減・簡素化に関する啓発・PR	1
13	8-1 (1)	ごみ処理基本計画策定、実行の取組に参画	1
13	8-3 (1)	行政との協働事業等の企画提案、事業の実施	1
13	9-1 (1)	環境学習・環境教育のツール・プログラム等の開発、行政の取組への参画	1
計			50

表 4-1 平成 18 年度～平成 22 年度のベスト 10 の回数

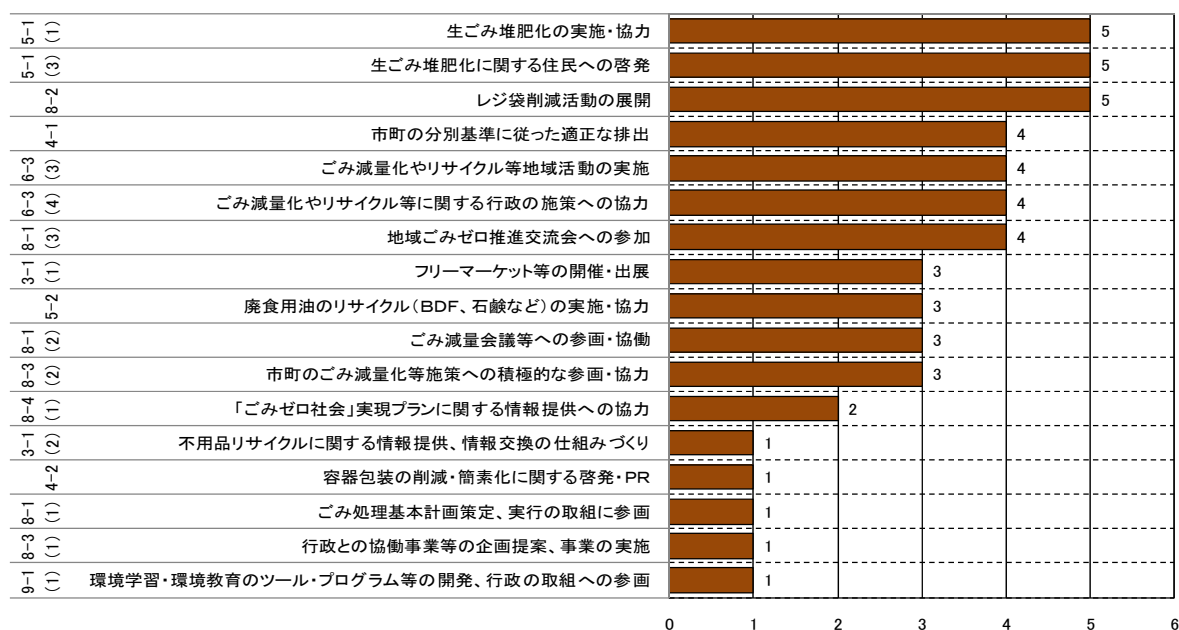


図 4-1 平成 18 年度～平成 22 年度のベスト 10 の回数

年度	順位	番号	取組内容	回答率
平成 22年 度	1	5-1 (1)	生ごみ堆肥化の実施・協力	44.1%
	2	6-3 (3)	ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施	42.6%
	3	6-3 (4)	ごみ減量化やリサイクル等に関する行政の施策への協力	33.8%
	4	8-2	レジ袋削減活動の展開	29.4%
	5	5-1 (3)	生ごみ堆肥化に関する住民への啓発	27.9%
	6	4-1	市町の分別基準に従った適正な排出	26.5%
	7	5-2	廃食用油のリサイクル（BDF、石鹸など）の実施・協力	26.5%
	8	9-1 (1)	環境学習・環境教育のツール・プログラム等の開発、行政の取組への参画	26.5%
	9	3-1 (1)	フリーマーケット等の開催・出展	20.6%
	10	3-1 (2)	不用品リサイクルに関する情報提供、情報交換の仕組みづくり	20.6%
平成 21年 度	1	8-2	レジ袋削減活動の展開	40.5%
	2	5-1 (1)	生ごみ堆肥化の実施・協力	37.8%
	3	6-3 (3)	ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施	37.8%
	4	6-3 (4)	ごみ減量化やリサイクル等に関する行政の施策への協力	37.8%
	5	4-1	市町の分別基準に従った適正な排出	32.4%
	6	8-1 (3)	地域ごみゼロ推進交流会への参加	27.0%
	7	5-2	廃食用油のリサイクル（BDF、石鹸など）の実施・協力	24.3%
	8	5-1 (3)	生ごみ堆肥化に関する住民への啓発	21.6%
	9	8-4 (1)	「ごみゼロ社会」実現プランに関する情報提供への協力	21.6%
	10	8-3 (2)	市町のごみ減量化等施策への積極的な参画・協力	21.6%
平成 20年 度	1	8-2	レジ袋削減活動の展開	37.8%
	2	5-1 (1)	生ごみ堆肥化の実施・協力	32.4%
	3	6-3 (3)	ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施	29.7%
	4	5-2	廃食用油のリサイクル（BDF、石鹸など）の実施・協力	29.7%
	5	6-3 (4)	ごみ減量化やリサイクル等に関する行政の施策への協力	24.3%
	6	4-1	市町の分別基準に従った適正な排出	24.3%
	7	8-1 (3)	地域ごみゼロ推進交流会への参加	24.3%
	8	5-1 (3)	生ごみ堆肥化に関する住民への啓発	21.6%
	9	8-1 (2)	ごみ減量会議等への参画・協働	16.2%
	10	3-1 (1)	フリーマーケット等の開催・出展	16.2%
平成 19年 度	1	6-3 (3)	ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施	39.3%
	2	8-2	レジ袋削減活動の展開	28.6%
	3	5-1 (3)	生ごみ堆肥化に関する住民への啓発	28.6%
	4	8-1 (2)	ごみ減量会議等への参画・協働	28.6%
	5	5-1 (1)	生ごみ堆肥化の実施・協力	25.0%
	6	6-3 (4)	ごみ減量化やリサイクル等に関する行政の施策への協力	25.0%
	7	4-1	市町の分別基準に従った適正な排出	25.0%
	8	8-1 (3)	地域ごみゼロ推進交流会への参加	21.4%
	9	8-3 (2)	市町のごみ減量化等施策への積極的な参画・協力	21.4%
	10	8-1 (1)	ごみ処理基本計画策定、実行の取組に参画	21.4%
平成 18年 度	1	8-3 (2)	市町のごみ減量化等施策への積極的な参画・協力	34.3%
	2	5-1 (1)	生ごみ堆肥化の実施・協力	31.4%
	3	8-1 (3)	地域ごみゼロ推進交流会への参加	31.4%
	4	5-1 (3)	生ごみ堆肥化に関する住民への啓発	28.6%
	5	8-2	レジ袋削減活動の展開	25.7%
	6	8-3 (1)	行政との協働事業等の企画提案、事業の実施	25.7%
	7	3-1 (1)	フリーマーケット等の開催・出展	22.9%
	8	4-2	容器包装の削減・簡素化に関する啓発・PR	22.9%
	9	8-1 (2)	ごみ減量会議等への参画・協働	22.9%
	10	8-4 (1)	「ごみゼロ社会」実現プランに関する情報提供への協力	20.0%

表 4-2 年度別取組内容ベスト10

番号	現在行っている取組内容	平成 18 年度調査	平成 19 年度調査	平成 20 年度調査	平成 21 年度調査	平成 22 年度調査
3-1 (1)	フリーマーケット等の開催・出展	22.9%	17.9%	16.2%	16.2%	20.6%
3-1 (2)	不用品リサイクルに関する情報提供、情報交換の仕組みづくり	14.3%	10.7%	10.8%	13.5%	20.6%
3-1 (3)	修理教室、リフォーム教室等の実施	8.6%	10.7%	13.5%	18.9%	19.1%
3-1 (4)	リサイクルショップの運営	5.7%	3.6%	8.1%	13.5%	8.8%
3-2 (1)	リターナブル容器の良さなどのPR	14.3%	3.6%	5.4%	13.5%	8.8%
3-2 (2)	新たなリターナブル容器システムの構築、取組への支援・協力	*	3.6%	5.4%	5.4%	1.5%
3-2 (3)	リユースカップ・システムの情報発信	*	10.7%	8.1%	10.8%	2.9%
3-2 (4)	自治会、NPO 等民間団体主催のイベント等におけるリターナブル容器の利用	*	7.1%	8.1%	5.4%	7.4%
3-2 (5)	移動食器洗浄車の購入・貸し出し	*	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3-2 (6)	リユース食器レンタル事業の企画・運営	8.6%	0.0%	2.7%	5.4%	2.9%
3-2 (7)	環境に配慮したエコイベントシステムの導入・実施	*	7.1%	10.8%	10.8%	17.6%
3-3	リース・レンタルのサービスの提供、事業活動におけるレンタルやリースの活用	8.6%	3.6%	2.7%	8.1%	1.5%
3-4 (1)	製品等の修理・修繕に関する住民への啓発	11.4%	3.6%	2.7%	2.7%	1.5%
3-4 (2)	アップグレード（製品の性能・機能の向上）サービスに関する住民への啓発	*	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
4-1	市町の分別基準に従った適正な排出	*	25.0%	24.3%	32.4%	26.5%
4-2	容器包装の削減・簡素化に関する啓発・PR	22.9%	14.3%	10.8%	16.2%	19.1%
5-1 (1)	生ごみ堆肥化の実施・協力	31.4%	25.0%	32.4%	37.8%	44.1%
5-1 (2)	生ごみ堆肥化に関する地域活動に伴うネットワークづくり	*	17.9%	13.5%	16.2%	20.6%
5-1 (3)	生ごみ堆肥化に関する住民への啓発	28.6%	28.6%	21.6%	21.6%	27.9%
5-2	廃食用油のリサイクル（BDF、石鹼など）の実施・協力	11.4%	17.9%	29.7%	24.3%	26.5%

※ 平成 18 年度選択肢として設定していないものは「*」で示している。

表 4-3 (1) 現在行っている取組 年度別回答率

番号	現在行っている取組内容	平成 18 年度調査	平成 19 年度調査	平成 20 年度調査	平成 21 年度調査	平成 22 年度調査
6-1	飲料容器デポジット制度の導入・運用	11.4%	7.1%	2.7%	5.4%	4.4%
6-2 (1)	障害者や高齢者の支援と連携したリサイクル事業の実施	8.6%	3.6%	5.4%	8.1%	11.8%
6-2 (2)	企業退職者等の地域での活動の受け皿として活動の場の提供	*	7.1%	10.8%	10.8%	14.7%
6-3 (1)	地域通貨の仕組みを活用したリサイクルシステムの運営	5.7%	7.1%	5.4%	5.4%	2.9%
6-3 (2)	地域通貨の発行	*	3.6%	0.0%	2.7%	0.0%
6-3 (3)	ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施	8.6%	39.3%	29.7%	37.8%	42.6%
6-3 (4)	ごみ減量化やリサイクル等に関する行政の施策への協力	*	25.0%	24.3%	37.8%	33.8%
6-4	NPO・事業者・行政の連携による資源物回収拠点システムの構築・運営	8.6%	14.3%	16.2%	10.8%	10.3%
6-6	廃プラスチック等の有効利用のための調査研究・技術開発	*	0.0%	2.7%	0.0%	11.8%
7-3 (1)	資源回収ステーションの運営受託	14.3%	21.4%	8.1%	16.2%	11.8%
7-3 (2)	資源回収ステーションを活用した学習機会の提供	*	7.1%	10.8%	13.5%	5.9%
7-3 (3)	集団回収のPR・実施	14.3%	14.3%	16.2%	10.8%	11.8%
8-1 (1)	ごみ処理基本計画策定、実行の取組に参画	17.1%	21.4%	10.8%	10.8%	2.9%
8-1 (2)	ごみ減量会議等への参画・協働	22.9%	28.6%	16.2%	18.9%	16.2%
8-1 (3)	地域ごみゼロ推進交流会への参加	31.4%	21.4%	24.3%	27.0%	16.2%
8-2	レジ袋削減活動の展開	25.7%	28.6%	37.8%	40.5%	29.4%
8-3 (1)	行政との協働事業等の企画提案、事業の実施	25.7%	17.9%	10.8%	18.9%	16.2%
8-3 (2)	市町のごみ減量化等施策への積極的な参画・協力	34.3%	21.4%	13.5%	21.6%	10.3%
8-4 (1)	「ごみゼロ社会」実現プランに関する情報提供への協力	20.0%	14.3%	13.5%	21.6%	14.7%
8-4 (2)	ホームページなどを活用したごみ関連情報の発信	5.7%	3.6%	8.1%	10.8%	10.3%
9-1 (1)	環境学習・環境教育のツール・プログラム等の開発、行政の取組への参画	20.0%	17.9%	8.1%	18.9%	26.5%
9-1 (2)	20年後のライフスタイル体験プログラムの企画・運営、行政の取組への参画・協力	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%
9-1 (3)	こどもエコクラブ会員を対象とした学習会の企画・開催	5.7%	0.0%	0.0%	8.1%	8.8%
9-1 (4)	家庭における環境学習・教育の啓発	17.1%	10.7%	10.8%	18.9%	16.2%
9-1 (5)	家庭における環境学習・教育のツールの作成・普及活動	*	3.6%	0.0%	5.4%	7.4%
9-2 (1)	ごみゼロ達人育成への協力、派遣制度の活用	0.0%	0.0%	5.4%	2.7%	1.5%
9-2 (2)	ごみゼロ人材ガイドブックの活用・情報提供	2.9%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%

表 4-3 (2) 現在行っている取組 年度別回答率

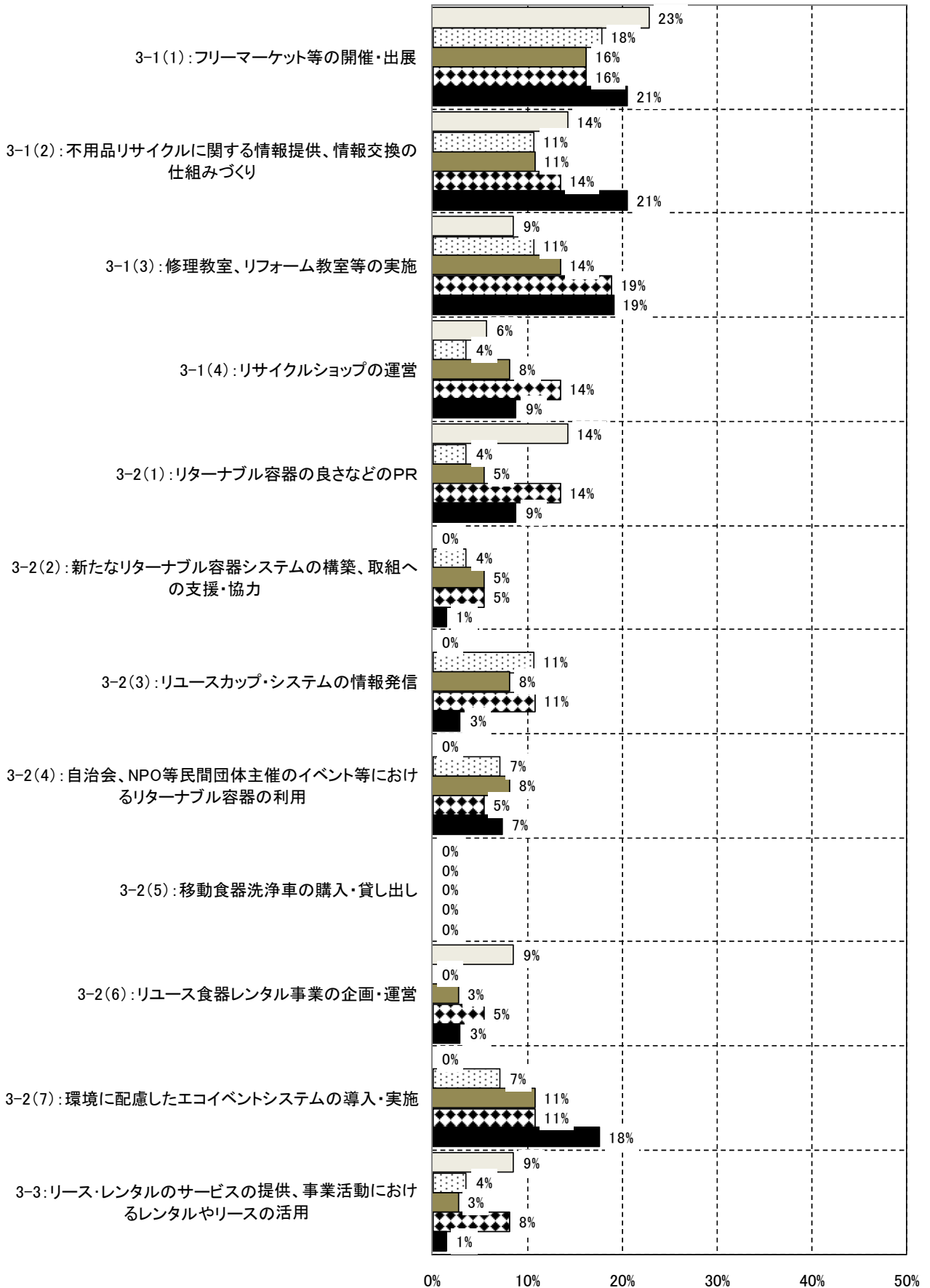
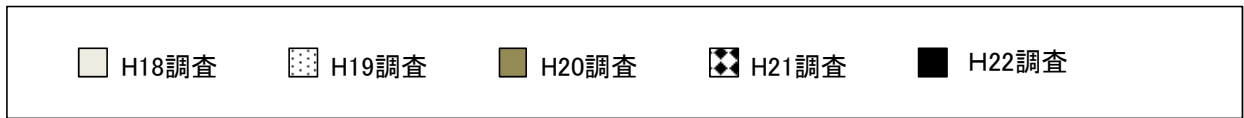


図 4-2 (1) 現在行っている取組 年度回答率

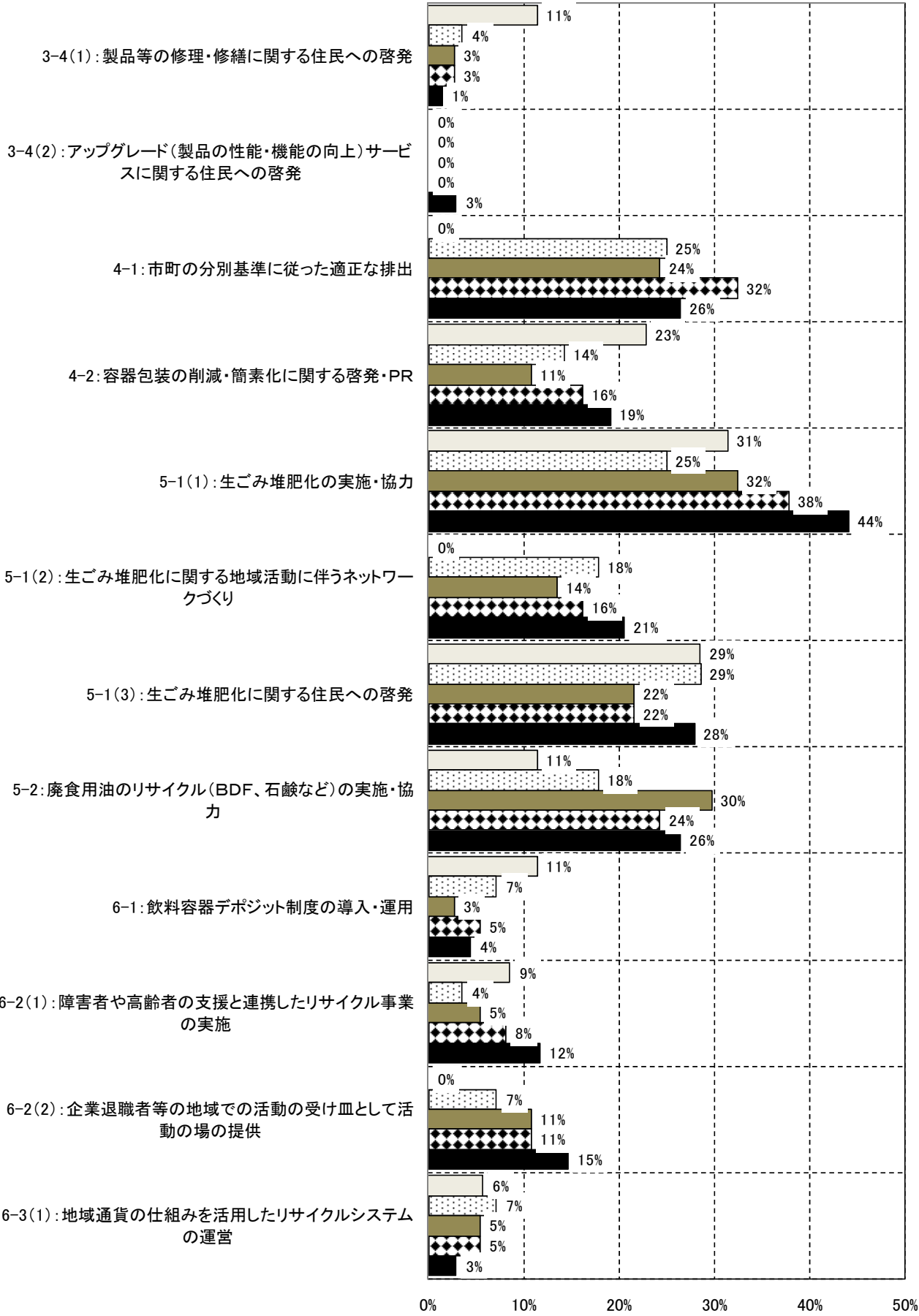
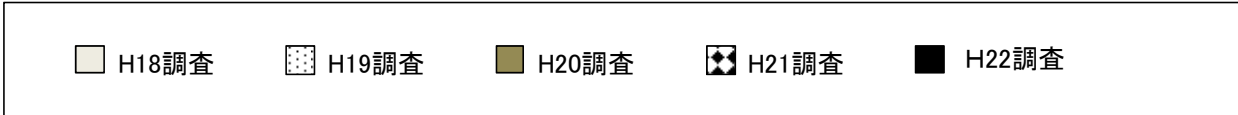


図 4-2 (2) 現在行っている取組 年度回答率

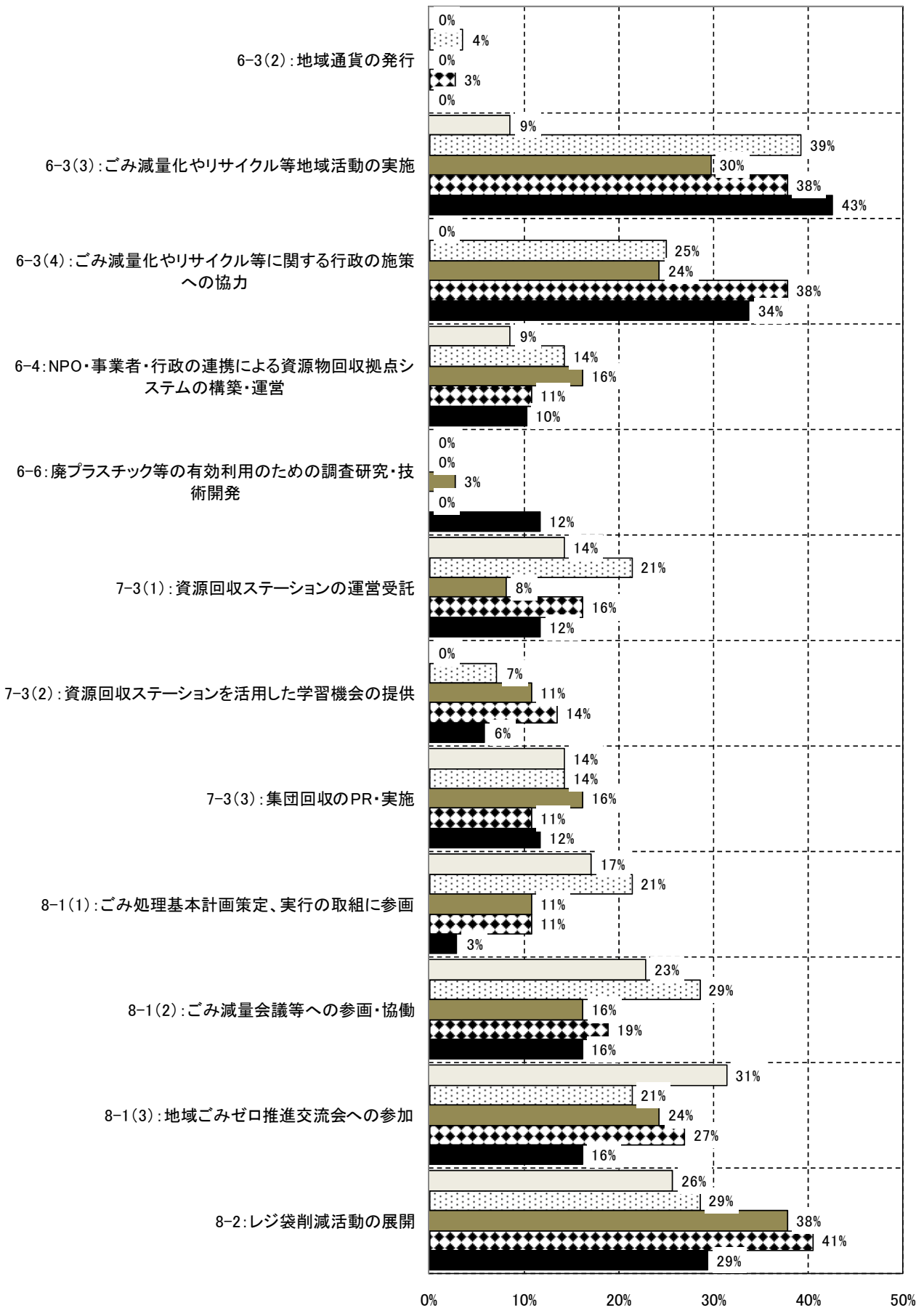
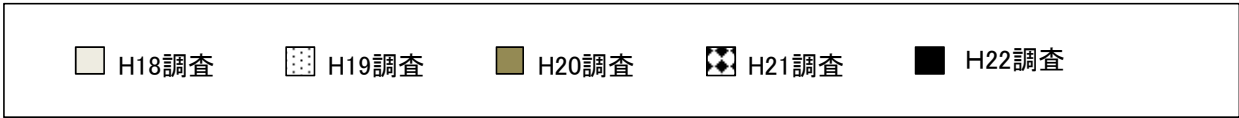


図 4-2 (3) 現在行っている取組 年度回答率

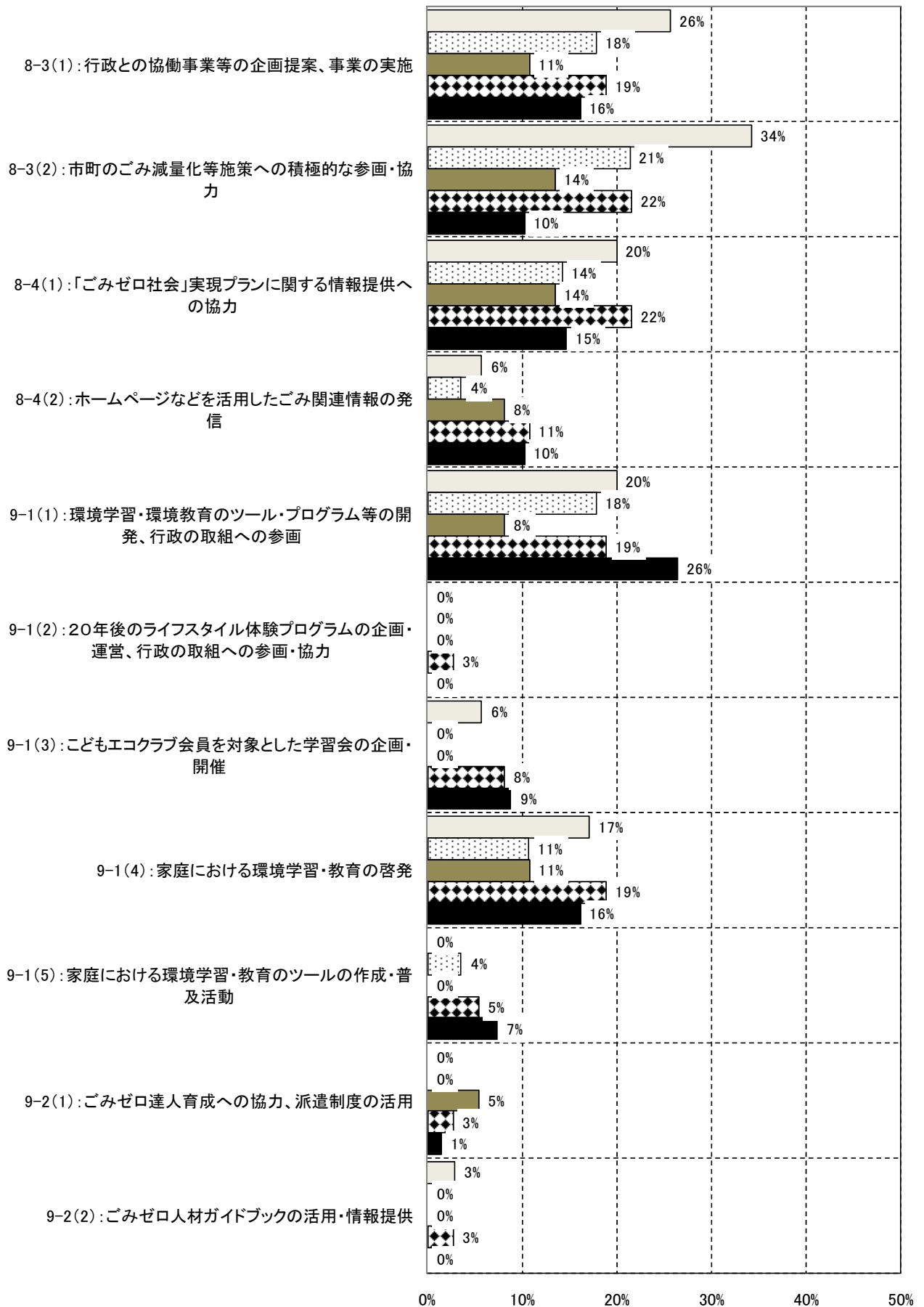
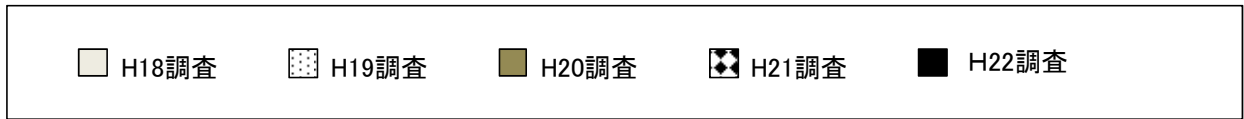


図 4-2 (4) 現在行っている取組 年度回答率

4-2 連携の相手について

年度別の現在の連携相手は、「市町」が平成 19、21、22 年度で最も高い。平成 20 年度は「学校」が最も高い。今後連携したい相手は「自治会・町内会等団体」、「市町」が高い。

1) 年度別：現在の連携相手

番号	連携相手：回答率	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
1	NPO 等団体	24%	19%	24%	23%
2	事業者	16%	16%	20%	21%
3	学校	32%	35%	24%	14%
4	自治会・町内会等団体	8%	5%	17%	15%
5	市町	52%	30%	32%	27%
6	県	28%	19%	20%	9%

表 4-4 年度別：現在の連携相手

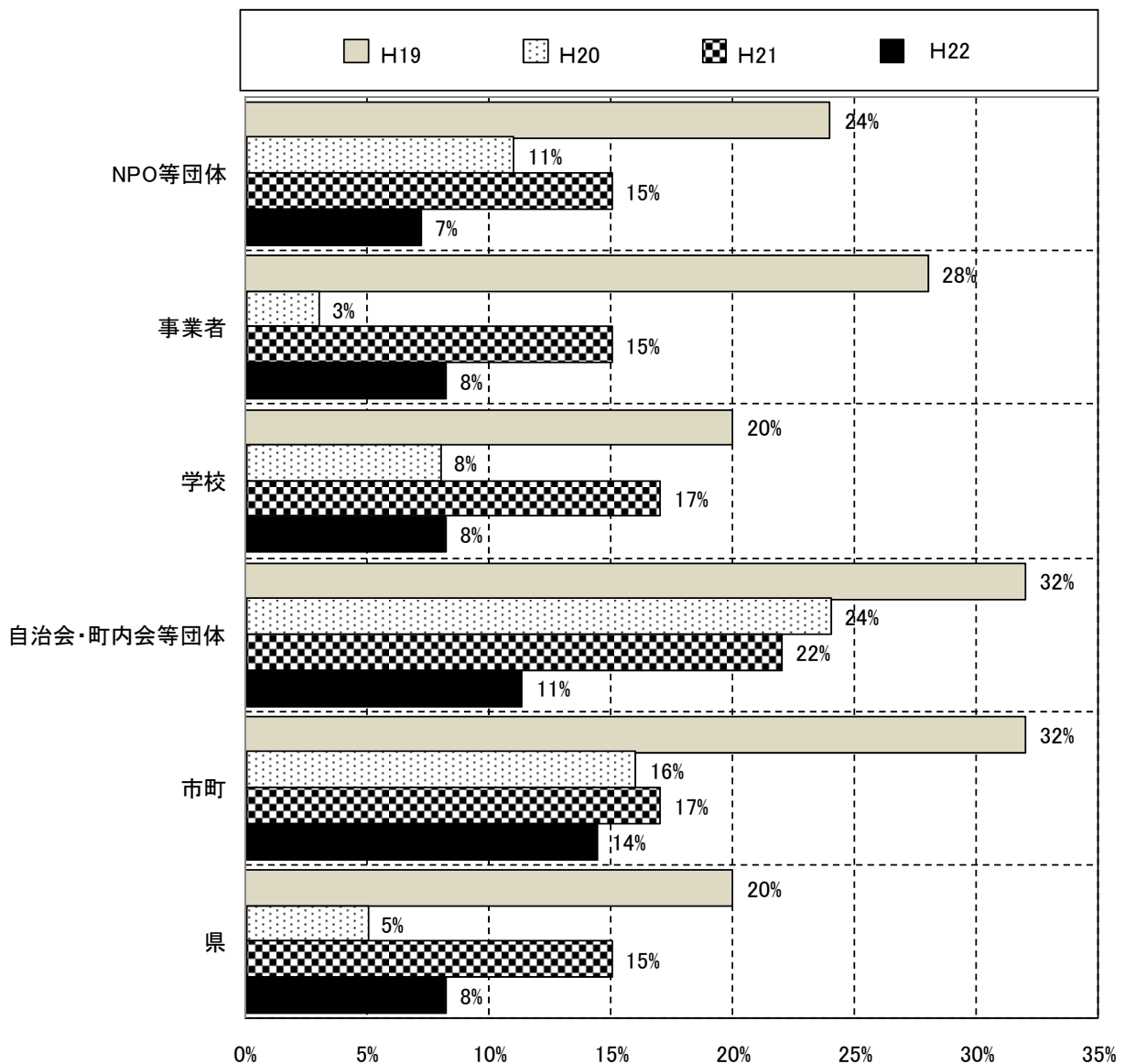


図 4-3 年度別：現在の連携相手

2) 年度別：今後連携したい相手

番号	連携相手：回答率	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
1	NPO 等団体	24%	11%	15%	7%
2	事業者	28%	3%	15%	8%
3	学校	20%	8%	17%	8%
4	自治会・町内会等団体	32%	24%	22%	11%
5	市町	32%	16%	17%	14%
6	県	20%	5%	15%	8%

表 4-5 年度別：今後連携したい相手

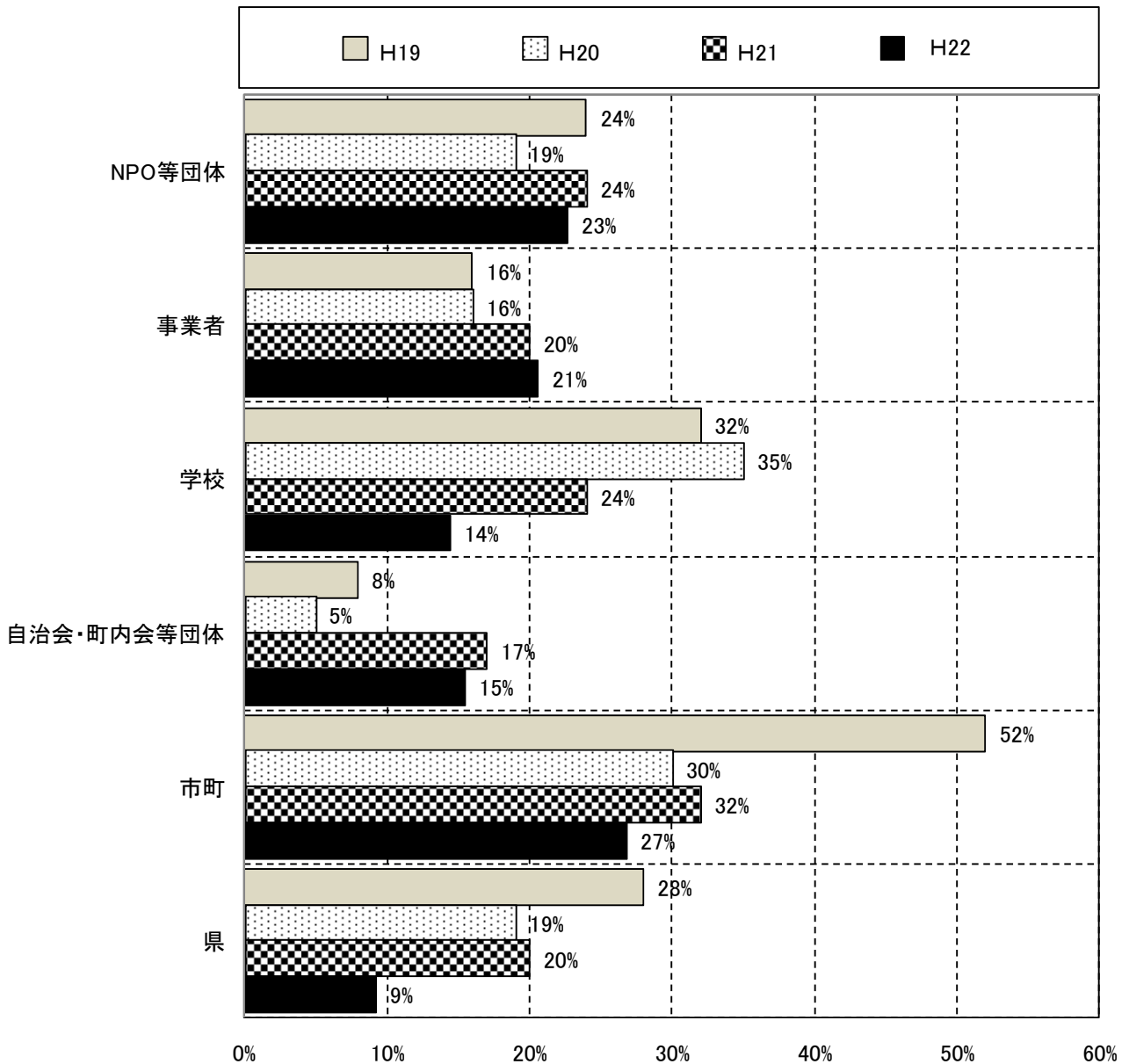


図 4-4 年度別：今後連携したい相手

4-3 県に期待する役割について

県に期待する役割では、「全県的な啓発（キャンペーン等の実施）」と「情報交換の場や機会の提供」が年度交互に最も高い。

番号	県に期待する役割	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
1	全県的な啓発（キャンペーン等の実施）	49%	43%	59%	50%	34%
2	調査研究や情報提供	43%	43%	41%	44%	26%
3	情報交換の場や機会の提供	37%	46%	41%	53%	30%
4	スタッフ育成の研修	23%	18%	13%	25%	11%
5	その他	29%	18%	16%	28%	14%

表 4-6 年度別：県に期待する役割

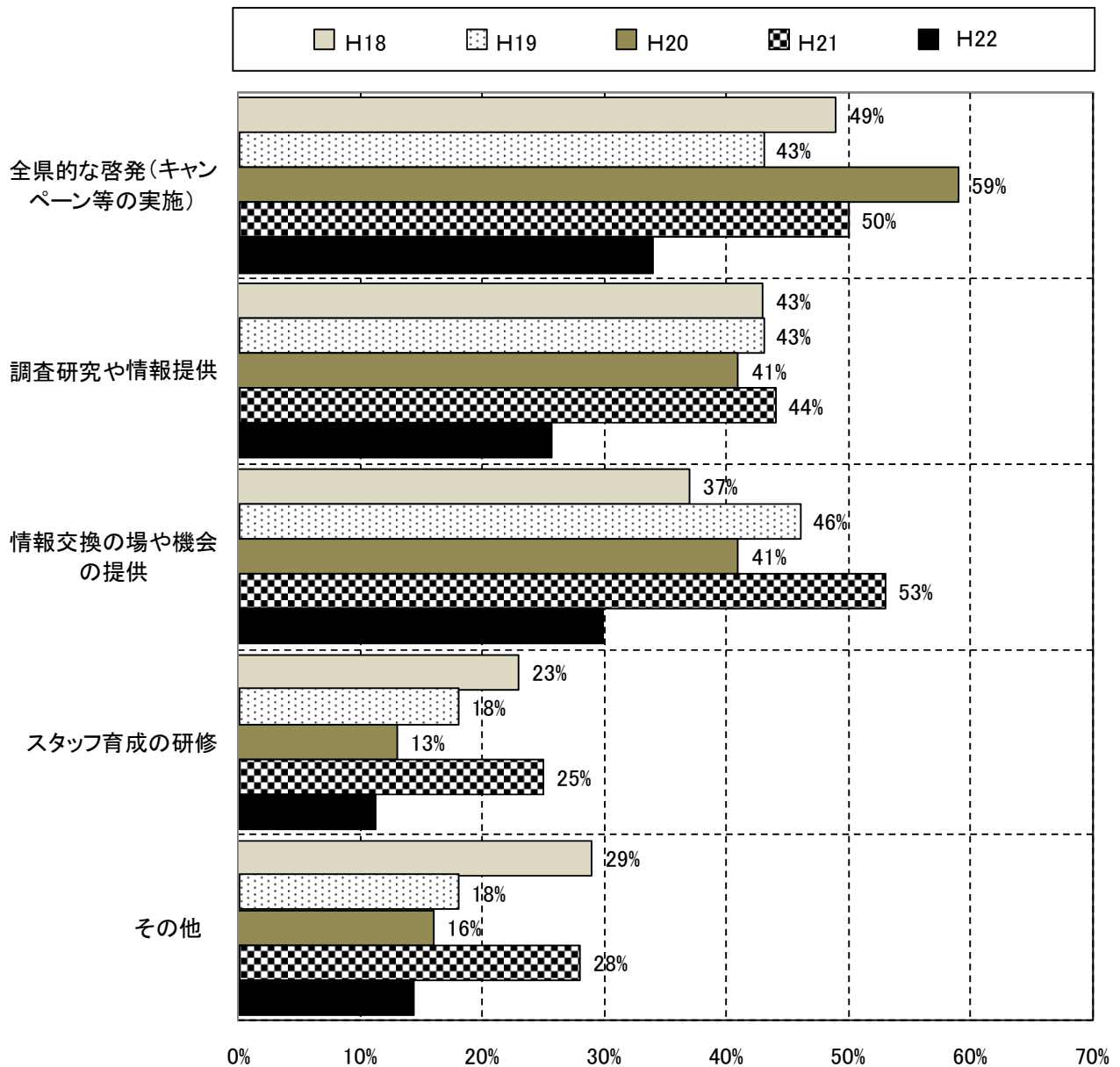


図 4-5 年度別：県に期待する役割

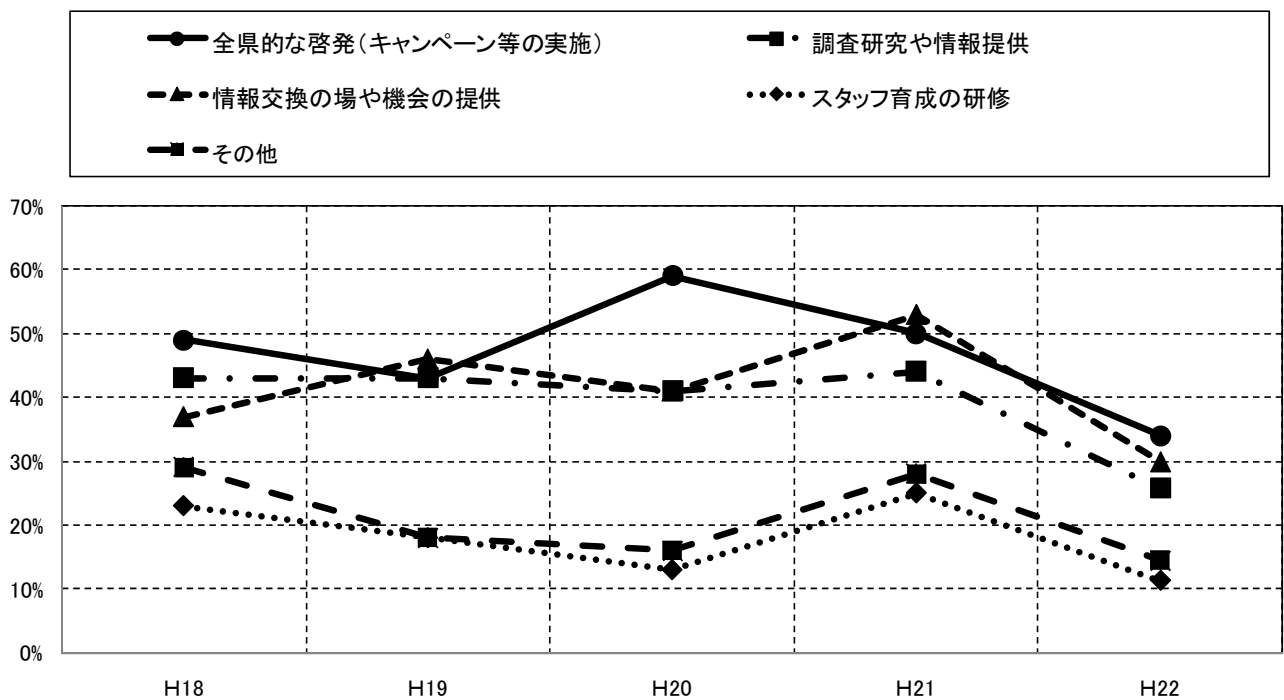


図 4-6 年度別：県に期待する役割 回答率

5 自由記入意見まとめ

有効回答数 97 のうち 47 団体から、多種多様な意見が寄せられている。分類ごとに主な意見を次のとおりまとめた。

①清掃・美化活動等について（3団体）

- ・毎年4月、10月（11月になることもあります）に公園の清掃活動をしています。小さな事ですが、地域に根ざした活動と考え実施しています。
- ・自然を相手に市民を対象としたせいそう活動はごみゼロのアピールにとっても有効だと思います。一度三重県内の川や海にどれだけのゴミがあるのか統計をとってほしいと思います。

②環境教育・啓発・講習会等について（7団体）

- ・エコ・ビレッジ（学びの空間）を通して食育・環境学習ができる場作りを構築する。堆肥作りから野菜作りを通して食の安全、安心を体験、環境保全を啓発。水質・土壌浄化を通して安全な水を提供できる環境作りを学びたい。
- ・牛乳パックや古布を使用した手芸講習会・アクリルタワシ作り・マイ箸運動・環境家計簿セミナーの開催

③ごみの減量やリサイクル・循環等について（11団体）

- ・生ごみの堆肥化をしている。できた堆肥を使って会で農園作りをしたり、個人でも、野菜作りをし、食の循環を続けている。安全安心の食生活はもとより、生活全体を丁寧にする、健康のもとにもなっていること等、3年目で仲間も徐々にふえている。
- ・使用済みの廃油（食用油）を回収し、精製して、バイオディーゼル燃料（B、D、F）として活用しています。バイオディーゼル燃料（B、D、F）は排ガス中の黒煙や硫酸化物、二酸化炭

素の量が少なく環境にやさしい燃料です。この燃料は発電機や車などで活用しています。今後も回収に力を入れて行きたいと思っております。

- ・捨てられる着物を宝物に変え、インテリアとして、又、海外へのおみやげ等として、県、市のイベントでの提供をしています。又、小さな任意の団体ですが、自分たちで企画、運営し、作品を展示しプレゼントをしています。これも、ごみの減量といえるのかな？との思いはありますが。

④環境保全について（7 団体）

- ・ヤマツツジ等が近年花の咲き方が悪く木が衰えてきましたので、樹木医さん、庭園業者等の方々のご協力を得てツツジの活性化に取り組んでいます。また、120 年余り経過してきたアカマツが「マツクイムシ」にやられ、枯れてきましたので、その再生に向け、実生からマツを育てる事業にも取り組んでいきたいと思っております。このように自然公園の景観を今後とも大切にしていくな取り組みを続けて行きたいと考えています。
- ・川や海をきれいにするため、活性液を流したり、米のとぎ汁発酵液を作っています。また肥料としてぼかしづくりにも取り組み、区全体で環境保持に取り組んでいます。
- ・里山保全、生物多様性の推進、イベントの参加

⑤複数の活動の実施について（9 団体）

- ・雑草整理、田植え指導、ホタル観察など、季節に応じて様々な活動をしている。
- ・1、環境問題、学習会 月1回 2、安全、安心食材を選んでの食生活改善。玄米会、玄米酵素のすすめ 3、無農薬有機野菜作り ホテルへの提供
- ・バードウォッチング・スターウォッチング、水生生物調査、虫の音観賞会、魚釣りを楽しむ会、自然観察会、ホタル祭り（人工飼育）・木（竹）工教室・しめなわづくり収穫体験・野草を食する会など
- ・環境、自然をテーマにした親子イベントの定期実施・店内での地球温暖化防止啓蒙パネル展示・NPO近くの山の木で家をつくる運動の活動紹介・太陽・雨水・風力など自然エネルギーの活用紹介

⑥①～⑤以外の具体的活動の実施について（5 団体）

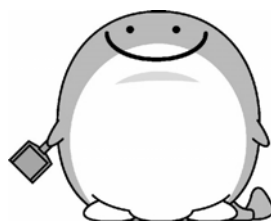
- ・現在県内8カ所（1 桑名市、2 四日市市、3 川越町、4 菟野町、5 亀山市、6 鈴鹿市、7 津市、8 松坂市）のおもちゃ病院が登録されています。それぞれのおもちゃ病院は支援、所属団体は社会福祉協議会、市の市民参画協議会、リサイクル事業者などとなっております。このように生い立ちが違うため、統一した活動にする予定は現在のところありません。各おもちゃ病院の活動を参考に自分たちの実力と地域の状況を見ながら独自の活動を行っています。
- ・ゴミ袋の有料化が昨年よりはじまり、少し前ですがマイバックをもつ人が多くなってきました。エコキップの支援活動にとりこんでいます。
- ・神社におけるバリアフリー遊歩道造りを、出来るだけ自然に負担をかけない工法を工夫して実施しています。

⑦その他、活動を休止している等のコメントが5団体からあった。

6 NPO等団体アンケート 調査票

◎ 貴団体についてご記入ください。

貴団体の属性 (ひとつ選択)	<input type="checkbox"/> 特定非営利活動法人 (NPO法人) <input type="checkbox"/> その他の法人格を持つ法人 <input type="checkbox"/> 任意団体 (企業関係者が中心) <input type="checkbox"/> 任意団体 (企業関係以外の個人が中心)
貴団体名	
代表者名	
貴団体の目的 (* 定款等既存資料を添付 いただければ、こちらへの 記載は不要です。)	
貴団体の環境保全 (全般) に関する活動分野 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 限定せず環境保全全般 <input type="checkbox"/> 森林保全 (熱帯雨林除く) <input type="checkbox"/> 自然保護・創出・緑化 <input type="checkbox"/> 大気保全 (地球規模除く) <input type="checkbox"/> 水質保全 <input type="checkbox"/> 廃棄物・リサイクル対策
活動を始めた時期	
活動の範囲 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 地域・地区内 <input type="checkbox"/> 市町内全域 <input type="checkbox"/> 三重県内全域 <input type="checkbox"/> 全国展開 (具体的に：)
会員数	
主たる事務所 (事務局) の 所在形態 (ひとつ選択)	<input type="checkbox"/> 専用自己所有 <input type="checkbox"/> 専用賃貸 <input type="checkbox"/> 他団体と共同所有 <input type="checkbox"/> 他団体と共同賃貸 <input type="checkbox"/> 会員自宅や勤務先 <input type="checkbox"/> 特に限定していない <input type="checkbox"/> その他 ()
主たる事務所の住所	〒
電話番号・FAX番号	
E-mail	
ホームページアドレス	



三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」

◎「ごみゼロ社会実現プラン」について

問1 三重県が平成17年3月に策定した「ごみゼロ社会実現プラン」をご存じですか？

- よく知っている 聞いたことがある 知らない

◎ごみの減量やリサイクルの取組状況について

問2 現在、貴団体ではごみ減量化等の取組を行っていますか？

- 行っている 行っていない

問3 【問2で「行っている」と答えた方のみお答えください。それ以外の方は問4へ】

現在、貴団体が行っているごみ減量化等の取組は何ですか？

今後、力を入れていきたい取組は何ですか？あてはまる項目の口にチェックをつけてください。

また、現在、実施している場合は、取組内容を（ ）欄に具体的にご記入ください。

基本取組番号	取組内容	現在行っている取組	今後力を入れたい取組
3-1	フリーマーケット等の開催・出展 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3-1	不用品リサイクルに関する情報提供、情報交換の仕組みづくり 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3-1	修理教室、リフォーム教室等の実施 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3-1	リサイクルショップの運営 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3-2	リターナブル容器の良さなどのPR 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3-2	新たなリターナブル容器システムの構築、取組への支援・協力 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3-2	リユースカップ・システムの情報発信 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3-2	自治会、NPO等民間団体主催のイベント等におけるリターナブル容器の利用 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3-2	移動食器洗浄車の購入・貸し出し 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3-2	リユース食器レンタル事業の企画・運営 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3-2	環境に配慮したエコイベントシステムの導入・実施 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3-3	リース・レンタルのサービスの提供、事業活動におけるレンタルやリースの活用 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3-4	製品等の修理・修繕に関する住民への啓発 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3-4	アップグレード（製品の性能・機能の向上）サービスに関する住民への啓発 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4-1	市町の分別基準に従った適正な排出 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4-2	容器包装の削減・簡素化に関する啓発・PR 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5-1	生ごみ堆肥化の実施・協力 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5-1	生ごみ堆肥化に関する地域活動に伴うネットワークづくり 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5-1	生ごみ堆肥化に関する住民への啓発 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5-2	廃食用油のリサイクル（BDF、石鹼など）の実施・協力 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6-1	飲料容器デポジット制度の導入・運用 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6-2	障害者や高齢者の支援と連携したリサイクル事業の実施 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6-2	企業退職者等の地域での活動の受け皿として活動の場の提供 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6-3	地域通貨の仕組みを活用したリサイクルシステムの運営 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6-3	地域通貨の発行 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

6-3	ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施 具体的な取組（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6-3	ごみ減量化やリサイクル等に関する行政の施策への協力 具体的な取組（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6-4	NPO・事業者・行政の連携による資源物回収拠点システムの構築・ 運営 具体的な取組（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6-6	廃プラスチック等の有効利用のための調査研究・技術開発 具体的な取組（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7-3	資源回収ステーションの運営受託 具体的な取組（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7-3	資源回収ステーションを活用した学習機会の提供 具体的な取組（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7-3	集団回収のPR・実施 具体的な取組（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8-1	ごみ処理基本計画策定、実行の取組に参画 具体的な取組（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8-1	ごみ減量会議等への参画・協働 具体的な取組（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8-1	地域ごみゼロ推進交流会への参加 具体的な取組（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8-2	レジ袋削減活動の展開 具体的な取組（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8-3	行政との協働事業等の企画提案、事業の実施 具体的な取組（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8-3	市町のごみ減量化等施策への積極的な参画・協力 具体的な取組（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8-4	「ごみゼロ社会」実現プランに関する情報提供への協力 具体的な取組（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8-4	ホームページなどを活用したごみ関連情報の発信 具体的な取組（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9-1	環境学習・環境教育のツール・プログラム等の開発、行政の取組へ の参画 具体的な取組（ ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

9-1	20年後のライフスタイル体験プログラムの企画・運営、行政の取組への参画・協力 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9-1	こどもエコクラブ会員を対象とした学習会の企画・開催 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9-1	家庭における環境学習・教育の啓発 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9-1	家庭における環境学習・教育のツールの作成・普及活動 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9-2	ごみゼロ達人（※1）育成への協力、派遣制度の活用 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9-2	ごみゼロ人材ガイドブック（※2）の活用・情報提供 具体的な取組（.....）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※1 ごみゼロ達人：ごみゼロに関するさまざまな分野における専門的な技術や知識をもち、ごみゼロの“こつ”を伝授する人のことを言います。

※2 ごみゼロ人材ガイドブック：ごみ減量化に熱心に取り組んでいる人たちを紹介する名簿などを言います。

問4 貴団体で、ごみ減量化の取組の連携相手はどこですか？

また、今後、どのような相手と連携したいですか？

当てはまる項目の□にチェックするとともに取組内容を具体的に記入してください。

連携相手	連携の状況
NPO等団体	<input type="checkbox"/> 現在連携している 具体的な取組（.....） <input type="checkbox"/> 今後連携したい 具体的な取組（.....）
事業者	<input type="checkbox"/> 現在連携している 具体的な取組（.....） <input type="checkbox"/> 今後連携したい 具体的な取組（.....）
学校	<input type="checkbox"/> 現在連携している 具体的な取組（.....） <input type="checkbox"/> 今後連携したい 具体的な取組（.....）
自治会・町内会等団体	<input type="checkbox"/> 現在連携している 具体的な取組（.....） <input type="checkbox"/> 今後連携したい 具体的な取組（.....）
市町	<input type="checkbox"/> 現在連携している 具体的な取組（.....） <input type="checkbox"/> 今後連携したい 具体的な取組（.....）
県	<input type="checkbox"/> 現在連携している 具体的な取組（.....） <input type="checkbox"/> 今後連携したい 具体的な取組（.....）

問5 貴団体では、県に対してどのような役割を期待していますか？（複数選択可）

- 全県的な啓発（キャンペーン等の実施） 調査研究や情報提供
 情報交換の場や機会の提供 スタッフ育成の研修
 その他（具体的に：.....）

問6 県では、地域で積極的にごみ減量活動等に取り組まれている方々を対象に、ごみゼロプラン推進の取組への県民のみなさんの参画を促進し、自発的、主体的なごみ減量化の取組のさらなる活性化やそれらの広域展開をはかるため、日頃の活動内容の発表や情報交換など参加者同士の情報交流、先進事例やリサイクル制度等についての交流会を開催しています。より実り多い交流会とするため、皆様のご意見を参考とさせていただきますので、希望するテーマ、内容等をお聞かせください。（自由記述）

.....
.....
.....

問7 「ごみゼロ社会」実現に向けて、ご意見等あれば、ご自由にご記入ください。（自由記述）

.....
.....
.....
.....

問8 ごみゼロHPの「活動団体マップ」にてごみゼロ活動団体の紹介（現在83団体掲載）をしていますが、貴団体の情報についてHPに掲載させていただいてもよろしいですか？

- はい いいえ すでに掲載している

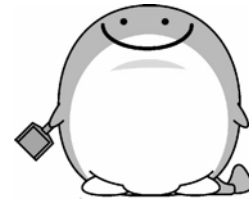
問9 現在、ごみゼロ推進室より希望者にメルマガを随時配信していますが、貴団体に対しても冒頭で記載していただいたE-mailアドレスに配信させていただいてよろしいですか？

- はい いいえ すでに配信されている

問 10 平成 19 年に誕生した三重県ごみゼロキャラクター

「ゼロ吉」をご存じですか？

- 知っている 知らない



「ゼロ吉」とその家族ゼロ吉ファミリーはごみゼロ社会の実現に資する場合には、自由に使用していただけます。また、ごみ削減を啓発するDVDや「ゼロ吉」着ぐるみ“エアゼロ吉”の貸し出しも行っていきます。ご希望される場合はあらかじめ三重県環境森林部ごみゼロ推進室までお問い合わせください。

※貴団体において、ごみの減量やリサイクル以外の環境取組を実施している場合は、ご自由にご記入ください。（自由記述）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

調査にご協力いただきありがとうございました。



ゼロ吉ファミリー

IV. 市町ごみ処理状況調査

1 調査の概要

1-1 調査の目的

市町のごみ減量化に関する施策の実施状況や考え方を把握することにより、「ごみゼロ社会実現プラン」の改定に必要な基礎資料を得るため、実施する。

1-2 調査対象

県内全 29 市町を調査対象とした。

1-3 調査方法

メールによって調査票を発送、回収した。

1-4 調査期間

平成 22年9月29日に調査票を電子メールで送信し、10月15日を回答期限として回収した。

1-5 回答状況

全29市町から回答を得た。

2 調査結果

2-1 基本方向 2 事業系ごみの総合的な減量化の推進

2-1-1 基本取組 2-1 事業系ごみ処理システムの再構築

1) -1 (1) ~ (3) 事業系ごみの処理実態等の把握、適正処理システムの検討・整備、排出者の届出指導等

● 事業系ごみの減量化に関する取組内容(1) ~ (3) について

事業系ごみの減量化に関する取組内容については、「実施している」が多い取組内容は「搬入時に立ち会い、不適物に対して分別指導や搬入拒否の実施」、「許可業者に対する適正な指導・育成」、「減量化・分別の啓発・情報提供」、「減量化・分別の指導」となっている。一方、「少量事業系ごみ排出者の適正処理を促すシステムの検討・整備を実施していますか」などのシステム構築に関する取組の実施状況が低い結果となっている。

基本取組	取組内容	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定なし	
2-1	事業系ごみの減量化施策の検討を実施していますか。	15	3	11	29
	少量事業系ごみ排出者の適正処理を促すシステムの検討・整備を実施していますか。	1	8	20	29
	事業系ごみの業種ごとの排出状況や処理の方法の把握	3	5	21	29
	事業系ごみの家庭系ごみへの混入状況の把握	4	7	18	29
	排出事業者に対して、市町の基準に沿ってごみを適正に処理するよう指導	20	3	6	29
	廃棄物管理責任者の選任指導	1	4	24	29
	許可業者に対する適正な指導・育成	23	1	5	29
	搬入計画の提出	15	1	13	29
	減量化・分別の啓発・情報提供	21	1	7	29
	減量化・分別の指導	22	1	6	29
	排出事業者に対するごみ減量化計画等の届け出の義務づけ	2	5	22	29
	排出事業者への立入調査の実施	3	5	21	29
	搬入時に立ち会い、不適物に対して分別指導や搬入拒否の実施	25	0	4	29

表 2-1-1 回答数

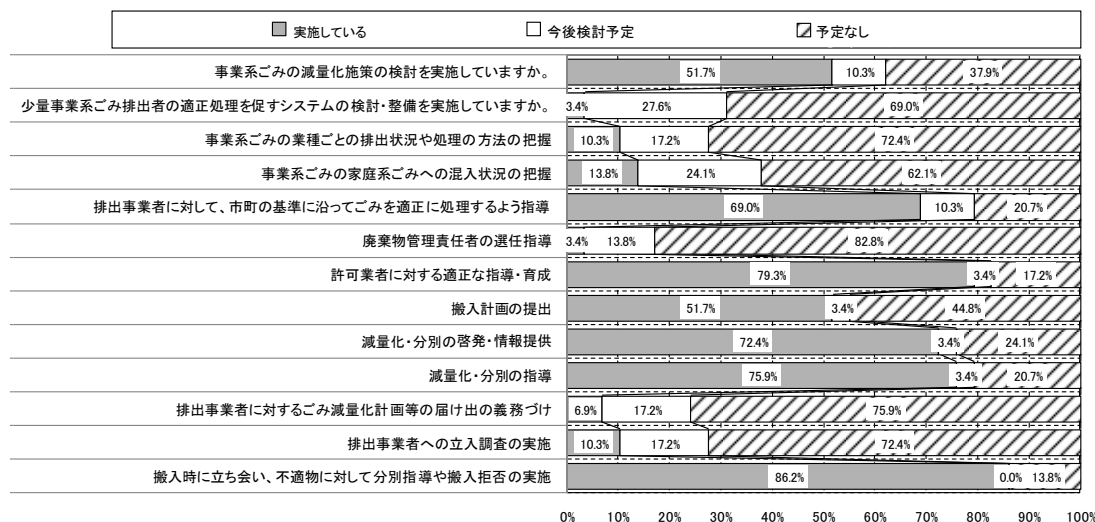


図 2-1-1 回答率

1) -2 (1) ~ (3) 事業系ごみの処理実態等の把握、適正処理システムの検討・整備、排出者の届出指導等

● 搬入抑制のための搬入制限等の実施施策について

搬入抑制のための搬入制限等の実施施策については 8 市町でなんらかの施策を実施しており、実施施策の具体的内容は以下の通りである。

基本 取組	質問	具体的施策	実施年度（平成）	
			開始	終了
2-1	搬入抑制 のために 搬入制限 などの実 施	不燃物処理施設の産業廃棄物受入廃止	20	
		事業系の草木類の搬入を制限	20	
		事業所発砲スチロール搬入禁止	14	
		RDF化施設に伴う搬入抑制（建設廃材禁止）	14	
		草刈持込制限	18	
		発砲スチロール持込制限	20	
		RDF化施設に伴う搬入抑制（建設廃材禁止）	14	
		許可業者に対して有価物として資源化するよう指導	18	
		事業系ごみ搬入ぬきうち調査	19	22
		廃棄物の処理及び清掃に関する条例の施行	17	
	一般廃棄物処理基本計画の策定	21		

表 2-1-2 具体的施策

2) -1 (4) 適正なごみ処理料金体系の構築

● 事業系ごみの処理手数料の値上げ及び料金体系変更（H21、22 年度実施又は予定）について

事業系ごみの処理手数料の値上げ及び料金体系変更（H21、22 年度実施又は予定）については、「実施した」が 1 市町（3.4%）で、「検討中」が 6 市町（20.7%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	4	計
		実施 した	今後 実施 予定	検討中	予定 なし	
2-1	平成 21、22 年度において 事業系ごみの 手数料の値上 げ及び料金体 系変更を実施 しましたか、ま た予定はあり ますか？	1	0	6	22	29
		3.4%	0.0%	20.7%	75.9%	100.0 %

表 2-1-3 処理料金変更 回答状況

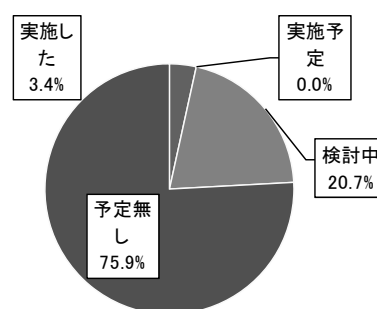


図 2-1-2 回答率

2) -2 (4) 適正なごみ処理料金体系の構築

● 効率的な料金徴収の仕組みの検討・導入の実施について

効率的な料金徴収の仕組みの検討・導入については、「導入している」は5市町（17.2%）、「今後検討予定」が2市町（6.9%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	4	計
		導入している	検討中	今後検討予定	実施していない	
2-1	事業系ごみに対する指定ごみ袋制（有料ごみ袋制）など、効率的な料金徴収の仕組みの検討・導入を実施していますか。	5	0	2	22	29
		17.2%	0.0%	6.9%	75.9%	100.0%

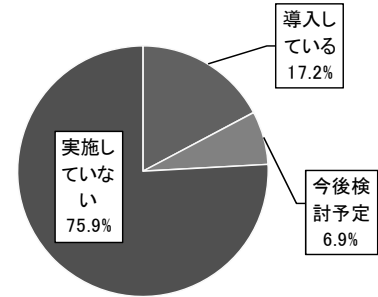


表 2-1-4 効率的な料金徴収の仕組みの検討・導入の実施 回答状況

図 2-1-3 回答率

3) -1 (5) 一般廃棄物処理計画における減量化方針等の確立

● 事業系ごみに関する数値目標の設定について

事業系ごみに関する数値目標については、「設定している」が14市町（48.3%）、「今後検討予定」が3市町（10.3%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		設定している	今後検討予定	予定なし	
2-1	一般廃棄物処理計画において、事業系ごみに関する数値目標を設定していますか。	14	3	12	29
		48.3%	10.3%	41.4%	100.0%

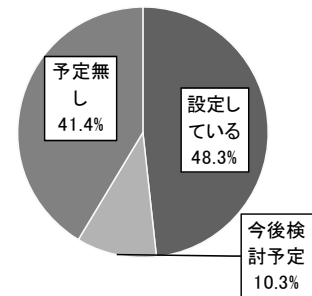


表 2-1-5 事業系ごみに関する数値目標の設定 回答状況

図 2-1-4 回答率

2-1-2 基本取組 2-2 事業系ごみの発生・排出抑制

- 1) (1) 事業所内教育の推進、(2) ISO14001 等環境マネジメントシステムの認証取得促進、(3) 自主情報公開制度の推進

● 「自主情報公開制度」に関する取組の実施について

「自主情報公開制度」に関する取組については、「実施している」が1市町（3.4%）、「今後検討予定」が5市町（17.2%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定なし	
2-2	「自主情報公開制度」に関連する取組を実施していますか。	1	5	23	29
		3.4%	17.2%	79.3%	100.0%

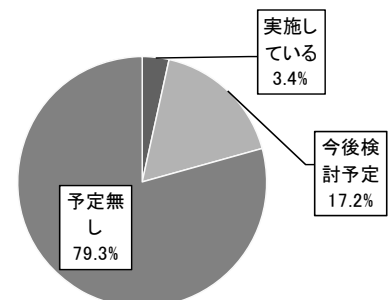


表 2-1-6 「自主公開制度」に関する取組の実施 回答状況

図 2-1-5 回答率

2-1-3 基本取組 2-3 事業系ごみの再利用の促進

1) (1) 業種別ガイドラインの作成

● 「業種別ガイドライン」に関する取組について

「業種別ガイドライン」に関する取組については、「実施している」が 2 市町（6.9%）、「今後検討予定」が 3 市町（10.3%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定なし	
2-3	「業種別ガイドライン」に関する取組を実施していますか。	2	3	24	29
		6.9%	10.3%	82.8%	100.0%

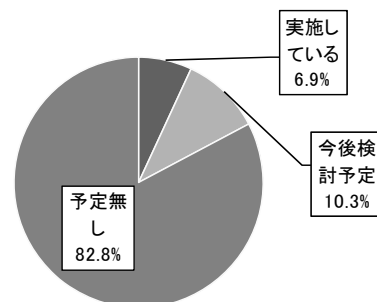


表 2-1-7 「業種別ガイドライン」に関する取組の実施 回答状況

図 2-1-6 回答率

2) -1 (2) 事業系ごみの再資源化推進

● 事業者への情報提供や技術的支援の実施について

事業者への情報提供や技術的支援については、「実施している」が 10 市町（34.5%）、「今後検討予定」が 5 市町（17.2%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定なし	
2-3	事業系の生ごみや紙ごみ等の資源化促進のため、事業者等への情報提供や技術的支援を実施していますか。	10	5	14	29
		34.5%	17.2%	48.3%	100.0%

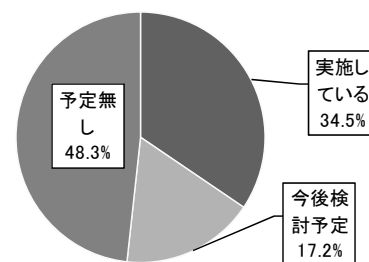


表 2-1-8 情報提供や技術的支援の実施 回答状況

図 2-1-7 回答率

2) -2 (2) 事業系ごみの再資源化推進

● 事業者間の連携・交流を促進する取組の実施について

事業者間の連携・交流を促進する取組については、「実施している」が 1 市町（3.4%）、「今後検討予定」が 7 市町（24.1%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定なし	
2-3	事業系の生ごみや紙ごみ等の資源化促進のため、事業者間の連携・交流を促進する取組を実施していますか。	1	7	21	29
		3.4%	24.1%	72.4%	100.0%

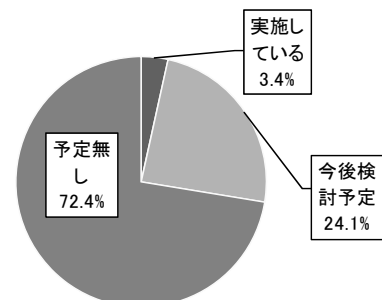


表 2-1-9 連携・交流を促進する取組の実施 回答状況

図 2-1-8 回答率

2-2 基本方向3 リユース（再使用）の推進

2-2-1 基本取組 3-1 不用品の再使用の推進

1) -1 (1) フリーマーケット等の開催

- フリーマーケット等の支援、開催等に係わる情報提供の実施について

フリーマーケット等の支援、開催等に係わる情報提供については、「実施している」が 20 市町（69%）であり、「予定なし」が 9 市町（31.0%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
3-1	フリーマーケット等の開催、会場提供等の支援、開催等に係わる情報提供を実施していますか。	20	0	9	29
		69.0%	0.0%	31.0%	100.0%

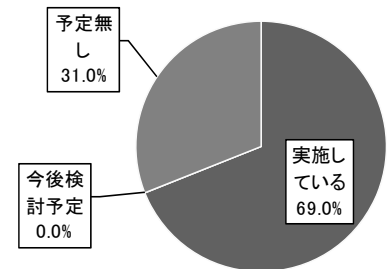


表 2-2-1 支援、開催等に係わる情報提供の実施 回答状況

図 2-2-1 回答率

1) -2 (1) フリーマーケット等の開催

- フリーマーケット等の平成 21 年度の開催実績について

フリーマーケット等の平成 21 年度の開催実績については下表の通りである。

基本方向	質問	市町名	H21 開催実績					
			実施日	名称	実施場所	実施主体	来場者数	市町の実施内容
3	フリーマーケット等の開催、会場提供等の支援、開催等に係わる情報提供	津市	H21-12-6	つ・環境フェア	津競艇場	実行委員会	5500	共催
		四日市市	H21-7-1	フリーマーケット in 四日市ドーム	四日市ドーム	MFA	3,751	後援
			H21-9-20	フリーマーケット in 四日市ドーム	四日市ドーム	MFA	3,390	後援
			H21-12-13	フリーマーケット in 四日市ドーム	四日市ドーム	MFA	3,218	後援
			H22-3-28	フリーマーケット in 四日市ドーム	四日市ドーム	MFA	2,981	後援
		伊勢市	H21-12-5	もったいないフェア	リサイクルプラザ	リサイクルプラザ運営委員会	2000	開催支援
		松阪市	H21-7-18	嬉野おおきん祭り	社協駐車場	おおきん祭り実行委員会	約 1,000	支援・情報提供
			H21-10-18	ワークセンターフェスティバル	ワークセンター松阪	ワークセンターフェスティバル実行委員会	約 7,000	支援・情報提供
			H21-11-14~15	飯南ふれあいまつり	飯南産業文化センター周辺	ふれあいまつり実行委員会	約 7,000	支援・情報提供
		桑名市	通年	情報交換板	クルクル工房	NPO	約 18,000 人	支援
		鈴鹿市	H21-11-1	リサイクルフェア	鈴鹿市労働福祉会館	鈴鹿市	500	開催
年 11 回	フリーマーケット		弁天山公園	リサイクル運動市民の会三重本部		後援		
名張市	H21-4-10	名張桜まつり	名張市中央公園	桜祭り実行委員会	約 35,000	会場提供		

表 2-2-2 フリーマーケット開催実績（H21 年度） 回答状況 1

基本方向	質問	市町名	H21 開催実績					
			実施日	名称	実施場所	実施主体	来場者数	市町の 実施内容
3	フリーマーケット等の開催、会場提供等の支援、開催等に係る情報提供	鳥羽市	H21-10-18	ひだまりフェスタ	リサイクルパーク	NPO	700	支援、情報提供
		木曾岬町	H22-3-21	産業文化祭	役場前駐車場	木曾岬町	約 1,000	開催
		東員町	H21-9-23	東員フリーマーケット	陸上競技場駐車場	東員町クリーン作戦委員会	約 200	開催
			H22-3-4	東員フリーマーケット	陸上競技場駐車場	東員町クリーン作戦委員会	約 150	開催
		菰野町	H21-9-11	第 11 回リサイクルイベント	大羽根園 中央後援	大羽根園 自治会	60	不用品回収支援
		朝日町	H21-7-24	サマーフェスタ ASAHI	スポーツ施設	サマーフェスタ実行委員会	3500	支援
		川越町	H21-11-3	川越ふれあい祭り	総合センター敷地	川越町ごみ問題対策協議会	不明	支援
		多気町	H21-5-16	香肌奥伊勢リサイクルフェア	香肌奥伊勢資源化プラザ	香肌広域連合	700	情報提供
		明和町	H21-12-5	もったいないフェア	伊勢広域環境組合リサイクルプラザ	リサイクルプラザ運営委員会	1900	開催、支援、情報提供等
		大台町	H21-5-16	リサイクルフェア	香肌奥伊勢資源化プラザ	香肌奥伊勢資源化プラザ	2000	情報提供
			H21-11-8	どんとこいまつり	フォレストピア	大台町	3000	開催
		玉城町	H21-12-5	もったいないフェア	伊勢広域環境組合	伊勢広域環境組合	1900	支援
		度会町	H21-4-4	宮リバー度会パーク春まつりのフリーマーケット	宮リバー度会パーク	度会町	4000	開催、支援等
大紀町	H21-5-17	リサイクルフェア	資源化プラザ	一部事務組合	約 2000	開催・情報提供等		
紀北町	H21-7-3	きほくセタ祭り	キャンプ in 海山	実行委員会	200	啓発ブース出展		

表 2-2-3 フリーマーケット開催実績 (H21 年度) 回答状況 2

- 2) -1 (2) 不用品リサイクル情報の提供及び利用促進の仕組みづくり
(3) 不用品再使用のための修理、リフォーム等の推進
(4) リサイクルショップ等の活用を進めるための仕組みづくり

● 不用品の再使用に関する取組内容 (2)、(3)、(4) について

不用品の再使用に関する取組内容の実施率は 34~56%であるが、リサイクルショップに関する取組はほとんど実施されていない。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
3-1	不用品のリサイクルに関する情報提供や情報交換の仕組みづくりを実施していますか。	16 55.2%	5 17.2%	8 27.6%	29 100.0%
	修理教室、リフォーム教室を実施していますか。	10 34.5%	2 6.9%	17 58.6%	29 100.0%
	不用品の修理・販売を実施していますか。	15 51.7%	3 10.3%	11 37.9%	29 100.0%
	リサイクルショップ認定制度等利用促進のための仕組みづくりを実施していますか。	0 0.0%	2 6.9%	27 93.1%	29 100.0%
	リサイクルショップに関する情報発信を実施していますか。	2 6.9%	2 6.9%	25 86.2%	29 100.0%

表 2-2-4 情報提供・仕組みづくり実施 回答状況

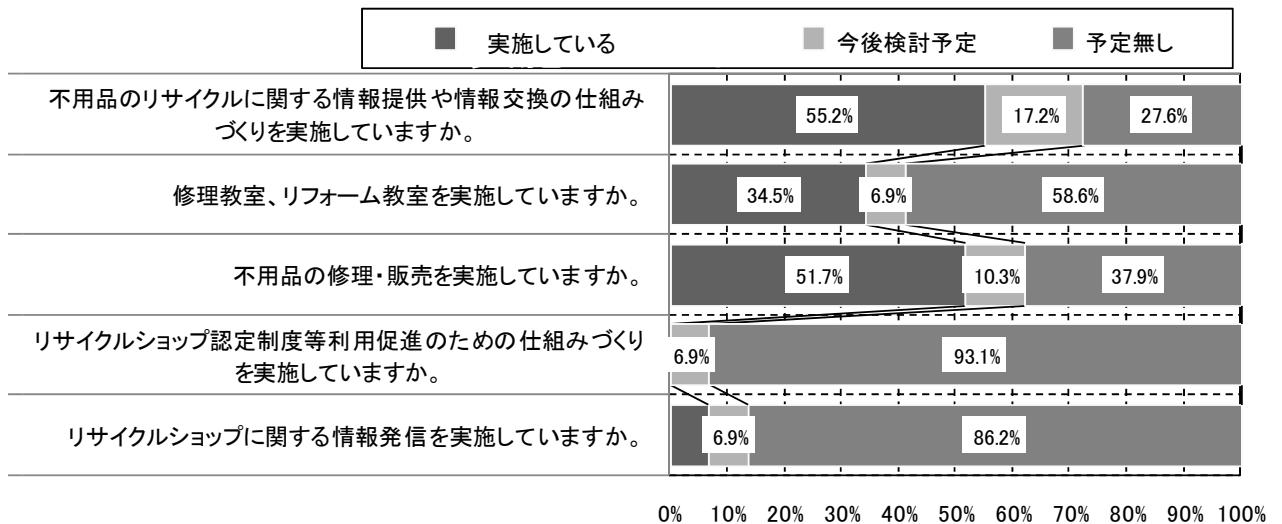


図 2-2-2 情報提供・仕組みづくり実施 回答率

2-2-2 基本取組 3-2 リターナブル（リユース）容器の普及促進

1) (1) 既存のリターナブル容器製品のPR等利用促進

● リターナブル容器の良さなどのPR実施について

リターナブル容器の良さなどのPRについては、「実施している」が11市町（37.9%）、「今後検討予定」が6市町（20.7%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
3-2	リターナブル容器の良さなどのPRを実施していますか。	11	6	12	29
		37.9%	20.7%	41.4%	100.0%

表 2-2-5 リターナブル容器のPRの実施 回答状況

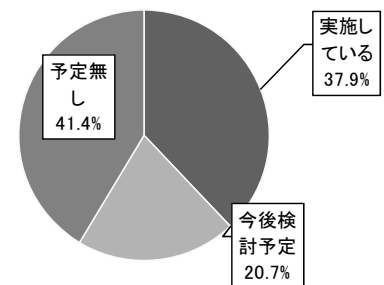


図 2-2-3 回答率

2) (2) 新たなリターナブル容器システムの構築

● 新たなリターナブル容器システムの構築への支援・協力の実施について

新たなリターナブル容器システムの構築への支援・協力については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が3市町（10.3%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
3-2	新たなリターナブル容器システムへの構築に対する支援・協力を実施していますか。	0	3	26	29
		0.0%	10.3%	89.7%	100.0%

表 2-2-6 支援・協力の実施 回答状況

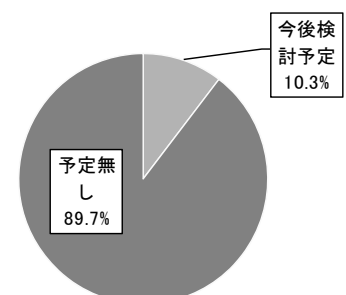


図 2-2-4 回答率

3) -1 (3) リユースカップ・システム等の推進

● リユースカップ導入促進に関する取組の実施について

リユースカップ導入促進に関する取組については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が5市町（17.2%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
3-2	集客交流施設等へのリユースカップ導入促進に関する取組を実施していますか。	0	5	24	29
		0.0%	17.2%	82.8%	100.0%

表 2-2-7 導入促進に関する取組の実施 回答状況

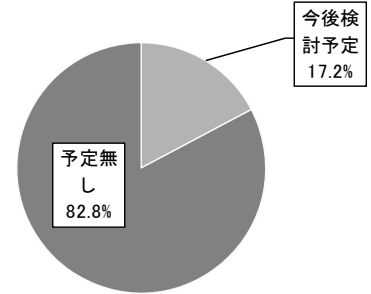


図 2-2-5 回答率

3) -2 (3) リユースカップ・システム等の推進

● リユースカップ・システムの導入及びリターナブル容器製品の優先販売の実施について

リユースカップ・システムの導入及びリターナブル容器製品の優先販売については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が2市町（6.9%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
3-2	公共施設におけるリユースカップ・システムの導入及びリターナブル容器製品の優先販売を実施していますか。	0	2	27	29
		0.0%	6.9%	93.1%	100.0%

表 2-2-8 導入及び優先販売の実施 回答状況

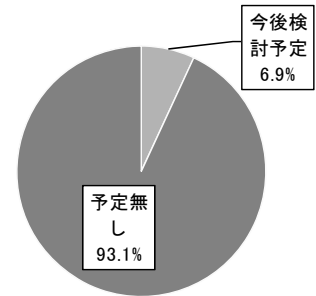


図 2-2-6 回答率

4) -1 (4) 移動食器洗浄車などリユース食器システムの整備・活用

(5) エコイベントの推進

● 移動食器洗浄車の購入・貸出の実施について

移動食器洗浄車の購入・貸出については、「実施している」及び「今後検討予定」はそれぞれ1市町（3.4%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
3-2	移動食器洗浄車の購入・貸出を実施していますか。	1	1	27	29
		3.4%	3.4%	93.1%	100.0%

表 2-2-9 移動食器洗浄車の購入・貸出の実施 回答状況

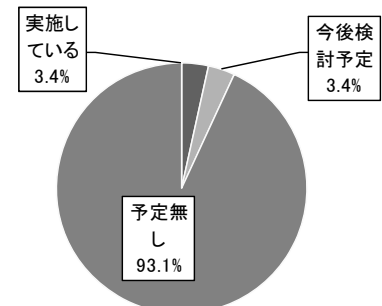


図 2-2-7 回答率

4) -2 (4) 移動食器洗浄車などリユース食器システムの整備・活用
 (5) エコイベントの推進

● ごみを出さないことなどを心がけているエコイベントの実施について

エコイベントについては、「実施している」が 8 市町(27.6%)、「今後検討予定」が 4 市町(13.6%)となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
3-2	リユースカップの使用やマイはしの持参等ごみを出さないことを主催者が心がけたエコイベントを実施していますか。	8	4	17	29
		27.6%	13.8%	58.6%	100.0%

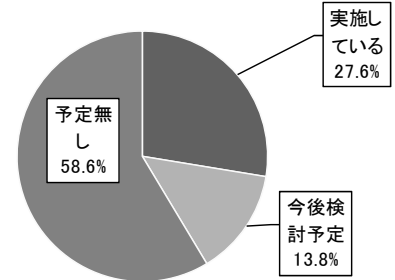


表 2-2-10 エコイベントの実施 回答状況

図 2-2-8 回答率

4) -3 エコイベントの開催実績（平成 21 年度）

● エコイベントの開催実績（平成 21 年度）について

エコイベントの開催実績（平成 21 年度）については下表の通りである。

基本取組	質問	市町名	エコイベントの開催実績：平成 21 年度					市町の 実施内容
			実施日	名称	実施場所	実施主体	来場者数	
3	ごみを出さないことを主催者が心がけたエコイベントを実施	津市	H21-12-6	つ・環境フェア	津競艇場	実行委員会	5500	共催
		伊勢市	H21-10-1	環境フェア	県営サンアリーナ	伊勢市	20000	開催
		松阪市	H21-9-19~23	まつさか環境フェア in ベルファーム	ベルファーム	松阪パートナーシップ会議	403	支援・情報提供
		名張市	H21-11-8	とれたて名張あんど清防フェスタ	市役所市民広場	実行委員会	約 2 万	実行委員会
		いなべ市	H21-11-21	笠間祭	笠間小学校	笠間小学校 PTA	800	出展、情報提供
		東員町	H21-9-20	桑員エコフェスタ	中部公園	桑員エコリーグ	約 600	情報提供
		菰野町	H22-3-21	クリーン大作戦	町内一円	区長会	10,000	後援
		多気町	H21-5-16	香肌奥伊勢リサイクルフェア	香肌奥伊勢資源化プラザ	香肌広域連合	700	情報提供
		明和町	H21-12-5	もったいないフェア	伊勢広域環境組合リサイクルプラザ	リサイクルプラザ運営委員会	1900	開催、支援、情報提供等
		玉城町	H21-12-5	もったいないフェア	伊勢広域環境組合	伊勢広域環境組合	1900	支援
			H21-11-5	元気ですたまきまつり	保健福祉	社協	350	共催
大紀町	H21-5-17	リサイクルフェア	資源化プラザ	一部事務組合	約 2000	開催・情報提供等		

表 2-2-11 エコイベントの開催実施 回答状況

2-2-3 基本取組 3-3 リースやレンタルの推進

1) (1) 民間事業者におけるリース・レンタル等のサービスの拡大

- リース・レンタルのサービスの積極的な利用の実施について

リース・レンタルのサービスの積極的な利用については、「実施している」が9市町（31%）、「今後検討予定」が5市町（17.2%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
3-3	リース・レンタルのサービスの積極的な利用をしていますか。	9	5	15	29
		31.0%	17.2%	51.7%	100.0%

表 2-2-12 積極的な利用の実施 回答状況

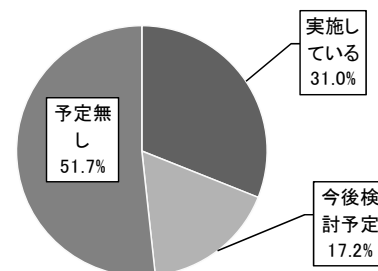


図 2-2-9 回答率

2-2-4 基本取組 3-4 モノの長期使用の推進

1) (1) 製品等の修理・修繕等のサービスの拡大

(2) アップグレード（製品の性能・機能の向上）サービスの拡大

- モノの長期使用の推進の住民への啓発の実施について

モノの長期使用の推進の住民への啓発については、「実施している」が10市町（34.5%）、「今後検討予定」が4市町（13.8%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
3-4	モノの長期使用の推進のため、住民に対する啓発を実施していますか。	10	4	15	29
		34.5%	13.8%	51.7%	100.0%

表 2-2-13 住民への啓発の実施 回答状況

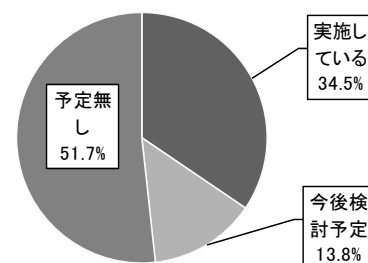


図 2-2-10 回答率

2-3 基本方向 4 容器包装ごみの減量・再資源化

2-3-1 基本取組 4-1 容器包装リサイクル法への対応

- 1) (1) 容器包装リサイクルに係る効果検証調査の実施
- (2) 国への提言・要望

- 容器包装リサイクル法の改正についての国への働きかけの実施について

容器包装リサイクル法の改正についての国への働きかけについては、「実施している」が 3 市町（10.3%）、「今後検討予定」が 7 市町（24.1%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
4-1	市町における分別収集経費の負担軽減等のための容器包装リサイクル法の改正について、各種団体等を通じ、国への働きかけを実施していますか。	3	7	19	29
		10.3%	24.1%	65.5%	100.0%

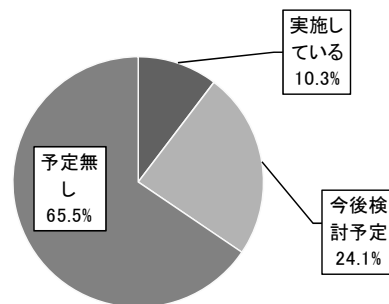


図 2-3-1 回答率

表 2-3-1 国への働きかけの実施 回答状況

2) (3) 容器包装リサイクル法の完全実施

①プラスチック製容器包装の分別区分、収集・処理状況

②白色トレイの分別区分、収集・処理状況

③紙製容器包装の分別区分、収集・処理状況

④その他プラスチック類（容器包装リサイクル法対象外のプラスチック）の分別区分、収集・処理状況

● 容器包装リサイクル法の実施状況について

容器包装リサイクル法の実施状況については下表の通りである。プラスチック製容器包装、白色トレイ、紙製容器包装についてはほとんどの市町が資源化処理をしているが、その他プラスチック類（容器包装リサイクル法対象外のプラスチック）については焼却処理をしている市町が多い。

基本 取組	番号	ごみ種類	項目 1	項目 2	項目 3					
					分別区分	可燃ごみ	不燃ごみ	その他		
4-1	①	プラスチック製容器包装の収集・処理状況について	分別区分	区分	プラスチック製容器包装					
				実施市町数	17	8	3	1		
				実施率	58.6%	27.6%	10.3%	3.4%		
			収集方法	区分	ステーション	戸別収集	拠点回収	その他		
				実施市町数	24	2	2	1		
				実施率	82.8%	6.9%	6.9%	3.4%		
			処理方法	区分	資源化処理	焼却処理	埋立処理	その他		
				実施市町数	22	3	3	1		
				実施率	75.9%	10.3%	10.3%	3.4%		
			②	白色トレイの収集・処理状況について	分別区分	区分	白色トレイ	可燃ごみ	不燃ごみ	その他
						実施市町数	12	2	3	11
						実施率	41.4%	6.9%	10.3%	37.9%
	収集方法	区分			ステーション	戸別収集	拠点回収	その他		
		実施市町数			22	1	4	1		
		実施率			75.9%	3.4%	13.8%	3.4%		
	処理方法	区分			資源化処理	焼却処理	埋立処理	その他		
		実施市町数			24	0	3	1		
		実施率			82.8%	0.0%	10.3%	3.4%		
	③	紙製容器包装の収集・処理状況について			分別区分	区分	紙製容器包装	可燃ごみ	不燃ごみ	その他
						実施市町数	12	6	0	11
						実施率	41.4%	20.7%	0.0%	37.9%
			収集方法	区分	ステーション	戸別収集	拠点回収	その他		
				実施市町数	24	0	3	2		
				実施率	82.8%	0.0%	10.3%	6.9%		
処理方法			区分	資源化処理	焼却処理	埋立処理	その他			
			実施市町数	26	2	0	1			
			実施率	89.7%	6.9%	0.0%	3.4%			
④			その他プラスチック類（容器包装リサイクル法対象外のプラスチック）の収集・処理状況について	分別区分	区分	その他のプラスチック	可燃ごみ	不燃ごみ	その他	
					実施市町数	4	18	6	1	
					実施率	13.8%	62.1%	20.7%	3.4%	
	収集方法	区分		ステーション	戸別収集	拠点回収	その他			
		実施市町数		26	1	2	0			
		実施率		89.7%	3.4%	6.9%	0.0%			
	処理方法	区分		資源化処理	焼却処理	埋立処理	その他			
		実施市町数		7	11	5	6			
		実施率		24.1%	37.9%	17.2%	20.7%			

表 2-3-2 容器包装ごみの分別区分、収集方法及び処理方法 回答状況

2-3-2 基本取組 4-2 容器包装の削減・簡素化の推進

- 1) -1 (1) 製造・流通・販売等の事業活動における工夫や改善の実施
 (2) 容器・包装の削減・簡素化を促す消費活動の実践

● 容器包装の削減等の啓発・PRの内容について

容器包装の削減等の啓発・PRの内容については、「レジ袋辞退・マイバッグ持参」が86.2%で最も高い。

番号	選択肢	回答数	回答率
1	容器包装の少ない商品の優先的な購入	6	20.7%
2	リターナブル容器の積極的な利用	9	31.0%
3	簡易な包装などのサービスの選択	5	17.2%
4	レジ袋辞退・マイバッグ持参	25	86.2%
5	詰め替え商品の積極的な購入	4	13.8%
6	その他	2	6.9%
総回答数		51	175.9%
有効回答数		29	

表 2-3-3 啓発・PRの内容 回答状況

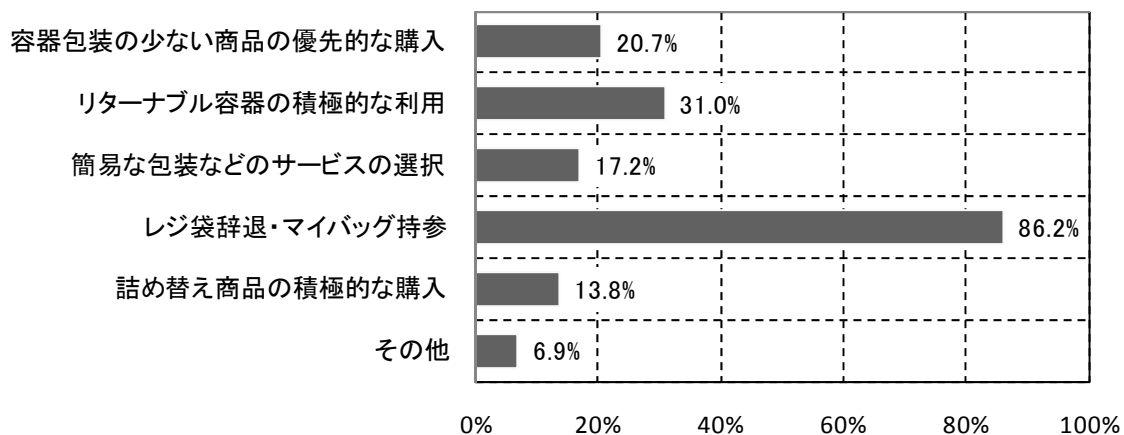


図 2-3-2 啓発・PRの内容 回答率

- 1) -2 (1) 製造・流通・販売等の事業活動における工夫や改善の実施
 (2) 容器・包装の削減・簡素化を促す消費活動の実践

● 容器包装の削減等の啓発・PRの方法について

容器包装の削減等の啓発・PRの方法については、「広報」が72.4%で最も高く、次いで「ホームページ」の58.6%となっている。

番号	選択肢	回答数	回答率
1	広報	21	72.4%
2	ホームページ	17	58.6%
3	チラシ・パンフレット	10	34.5%
4	その他	5	17.2%
総回答数		53	182.8%
有効回答数		29	

表 2-3-4 啓発・PRの内容 回答状況

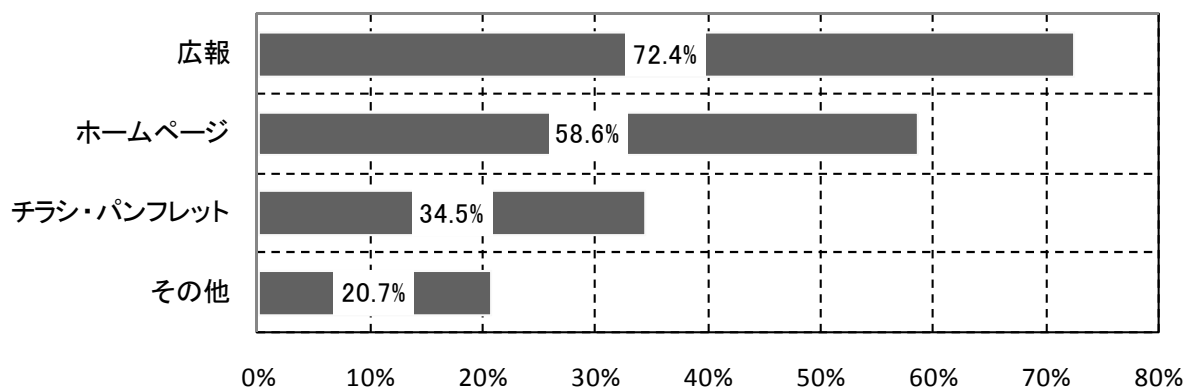


図 2-3-3 啓発・PRの方法 回答率

- 1) -2 (1) 製造・流通・販売等の事業活動における工夫や改善の実施
 (2) 容器・包装の削減・簡素化を促す消費活動の実践

● 容器包装の削減等の啓発・PRの取組による効果について

容器包装の削減等の啓発・PRの取組による効果については下表の通りである。

基本取組	質問	具体的内容
4-1	取組による効果	日常生活全般における「無駄」を無くす意識と減量への意識の向上が図れた。
		辞退率 91%
		把握していない
		レジ袋の辞退率が約 90%を超えている。
		マイバッグ運動の定着
		決定的な数値は不確定（人口量の低下にも関連するため）
		レジ袋の辞退率が約 90%となり、ごみ減量化の啓発につながった。
		町内スーパーのマイバッグ所持率が 90%を超えている
		レジ袋辞退率 80%以上
		若干ごみの排出量が減少した。
		レジ袋辞退者の数が増加した。
		レジ袋有料化店舗からの報告により、レジ袋辞退率等を把握できるようになった。

表 2-3-5 容器包装の削減等の啓発・PRの取組による効果 回答状況

2-4 基本方向5 生ごみの再資源化

2-4-1 基本取組5-1 生ごみの堆肥化・飼料化

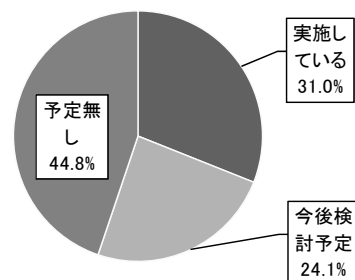
1) -1 (1) 家庭の生ごみ堆肥化システムの構築

- 生ごみの収集運搬・堆肥化業務の委託、堆肥化システムの運用の実施について

生ごみの収集運搬・堆肥化業務の委託、堆肥化システムの運用については、「実施している」が9市町（31%）、「今後検討予定」が7市町（24.1%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
5-1	生ごみの収集運搬・堆肥化業務の委託、堆肥化システムの運用を実施していますか。	9	7	13	29
		31.0%	24.1%	44.8%	100.0%

表 2-4-1 取組による効果 回答状況



1) -2 (1) 家庭の生ごみ堆肥化システムの構築

図 2-4-1 回答率

- NPO等生ごみ堆肥化団体の取組について

NPO等生ごみ堆肥化団体の取組については下表の通りである。

基本取組	質問	市町名	NPO等生ごみ堆肥化団体の取組				
			取組主体	活動場所	参加世帯数	生ごみ処理量 (H21実績) t/年	市町の関わり
5-1	NPO等生ごみ堆肥化団体の取組	伊勢市	津村団地自治会	津村町	50	2	処理機貸与
		松阪市	飯南町生ごみ堆肥化グループ	飯南地区	88	22	支援
			七日市環境美化推進協議会	飯高：七日市地区	145	7	支援
			NPO 生ゴミリサイクル亀さんの家	松名瀬地区	80	36	無し
		桑名市	NPO 桑名生ごみ堆肥センター	市内	500	120	委託契約
		鳥羽市	NPO とぼりサイクルネットワーク	全域	416	416	取組主体
		熊野市	東紀州資源循環型社会研究会	磯崎町	30名	-	支援（補助金交付）
		伊賀市	ハイツ芭蕉	千歳	144	0.24	保守点検、維持
		東員町	NPO 生ごみリサイクル思考の会	資源ごみストックヤード	100	8	支援
		朝日町	ひまわり作業所	柿地区	10名	不明	なし
		多気町	ソイルクラブ	勢和地区	13	1	支援
			古江ごみくるクラブ	古江区	14	1	支援
			多気有機農業研究会	外域団地区	23	2	支援
		明和町	竹の都・明和農業生産研究会	平尾地区ほか	20		なし
		大台町	堆肥化グループ	新田・神瀬・下真手	40	6	材料・人的支援
大紀町	おごろの会	野原地区	9	0.3	取組主体・支援無し		
紀宝町	健康文化のまち推進町民会議	町内全域	100	不明	（支援）2次処理場所の提供		
	紀宝町	モデル地区	150	24	取組み主体		

表 2-4-2 生ごみ堆肥化団体の取組 回答状況

1) -3 (1) 家庭の生ごみ堆肥化システムの構築

● 堆肥化するにあたっての課題について

堆肥化するにあたっての課題については、「施設の設置や収集のための経費がかかる」が最も多く48.3%となっている。

番号	選択肢	回答数	回答率
1	大量に堆肥が出来た場合、受入先が見つからない	9	31.0%
2	異物の混入で堆肥の品質が確保できない	12	41.4%
3	施設の設置や収集のための経費がかかる	14	48.3%
4	施設や集積所の設置に住民の理解や協力が得られない	11	37.9%
5	分別に手間がかかるなど住民への負担が大きい	13	44.8%
6	その他	1	3.4%
総回答数		60	206.9%
有効回答数		29	

表 2-4-3 堆肥化するにあたっての課題 回答状況

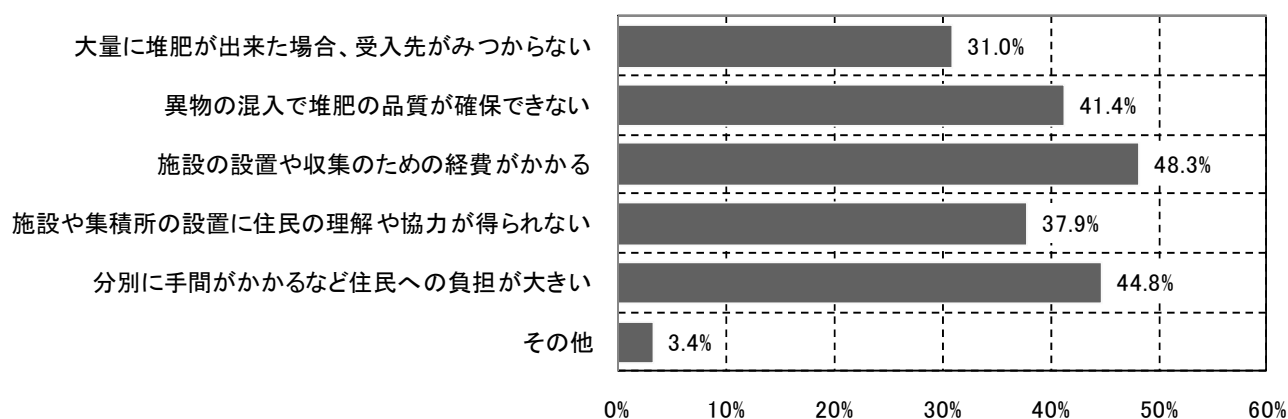


図 2-4-2 堆肥化するにあたっての課題 回答率

1) -4 (1) 家庭の生ごみ堆肥化システムの構築

● 事業系の食品廃棄物の再資源化について

事業系の食品廃棄物の再資源化については、「進めている」が7市町（24.1%）、「今後検討予定」が6市町（20.7%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		進めて いる	今後 検討予定	予定無し	
5-1	事業系の食品廃棄物（一般廃棄物分）の再資源化（堆肥化・飼料化）を進めていますか。	7	6	16	29
		24.1%	20.7%	55.2%	100.0%

表 2-4-4 事業系の食品廃棄物の再資源化 回答状況

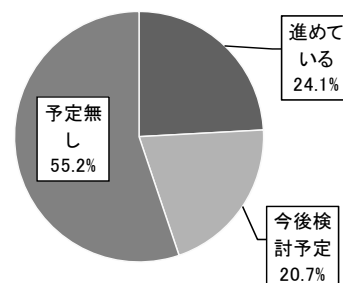


図 2-4-3 回答率

1) -5 (1) 家庭の生ごみ堆肥化システムの構築

● 事業系の食品廃棄物の堆肥化・飼料化事業者等について

事業系の食品廃棄物の堆肥化・飼料化事業者については 10 事業者あり、市町が取組主体となっているのが2件ある。

基本 取組	質問	事業系の食品廃棄物（一般廃棄物分）の堆肥化・飼料化事業者	
		生ごみ処理量 (H21実績)：t/年間	市町の関わり
5-1	事業系の食品廃棄物 (一般廃棄物分)の堆 肥化・飼料化事業者	21	市の事業として
		776	無し
		0	無し
		不明	無し
		不明	無し
		不明	賃貸借
		1,320	無し
		937	無し
		18	無し
		0.5	取組み主体

表 2-4-5 事業系の食品廃棄物の堆肥化・飼料化事業者等 回答状況

1) -6 (1) 家庭の生ごみ堆肥化システムの構築

● 事業系の食品廃棄物の堆肥化・飼料化の課題について

事業系の食品廃棄物の堆肥化・飼料化の課題については、「市町内に堆肥化事業者がない」が最も多く 44.8%となっている。

番号	選択肢	回答数	回答率
1	市町内に堆肥化事業者がない	13	44.8%
2	事業者はいるが、一般廃棄物処理業の許可や再生利用者の個別指定を出しにくい理由がある	2	6.9%
3	その他	4	13.8%
総回答数		19	65.5%
有効回答数		29	

表 2-4-6 事業系の食品廃棄物の堆肥化・飼料化の課題 回答状況

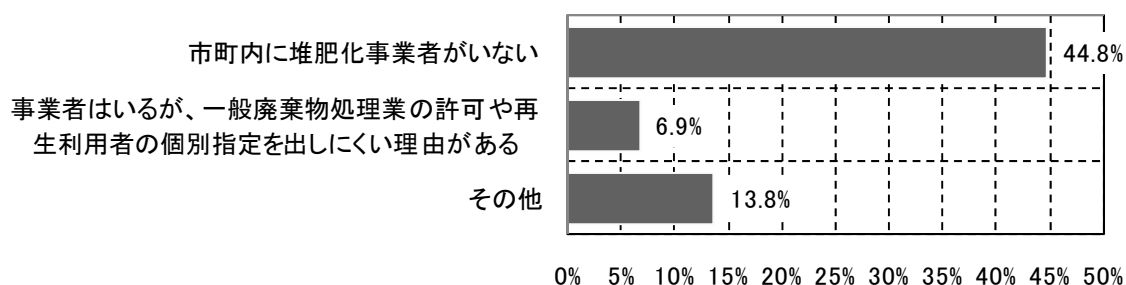


図 2-4-4 事業系の食品廃棄物の堆肥化・飼料化の課題 回答率

2) (2) 事業者と地域産業との生ごみ堆肥化ネットワークの構築

● 事業者に対する堆肥化事業の立ち上げ支援の実施について

事業者に対する堆肥化事業の立ち上げ支援については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が8市町（27.6%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
5-1	事業者に対する堆肥化事業の立ち上げ支援を実施していますか。	0	8	21	29
		0.0%	27.6%	72.4%	100.0%

表 2-4-7 立ち上げ支援の実施 回答状況

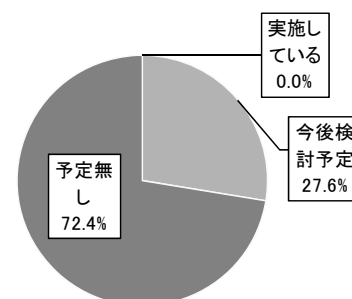


図 2-4-5 回答率

3) -1 (3) 家庭での生ごみ処理機の活用

● 家庭用生ごみ処理機のPRの実施について

家庭用生ごみ処理機のPRについては、「実施している」が24市町（82.6%）、「今後検討予定」が1市町（3.4%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
5-1	家庭用生ごみ処理機のPRを実施していますか。	24	1	4	29
		82.8%	3.4%	13.8%	100.0%

表 2-4-8 家庭用生ごみ処理機のPRの実施 回答状況

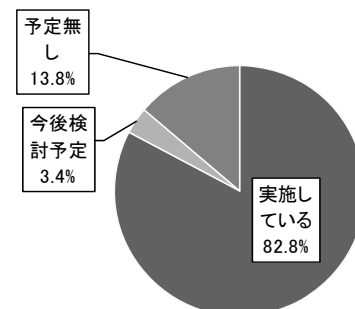


図 2-4-6 回答率

3) -2 (3) 家庭での生ごみ処理機の活用

● 家庭用生ごみ処理機の購入に対する助成の実施について

家庭用生ごみ処理機の購入に対する助成については、すべての市町で行われている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		設定 している	今後 検討予定	予定無し	
5-1	家庭用生ごみ処理機の購入に対する助成を実施していますか。	29	0	0	29
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

表 2-4-9 家庭用生ごみ処理機の購入助成の実施 回答状況

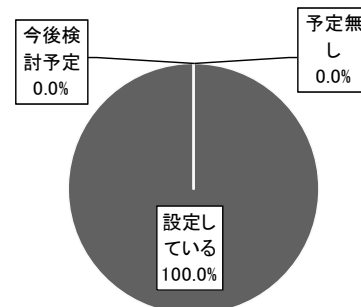


図 2-4-7 回答率

3) -3 (3) 家庭での生ごみ処理機の活用

● 家庭用生ごみ処理機の購入に対する助成制度について

家庭用生ごみ処理機の購入に対する助成制度については下表の通りである。

基本 取組	質問	市町名	生ごみ処理機の購入助成制度について	
			対象とする機器の種類	助成額
5-1	生ごみ処理機の購入助成制度について	津市	生ごみ処理機	購入額の1/2・限度額 25000円
			コンポスト容器	購入額の1/2・限度額 3000円
		四日市市	電気式生ごみ処理機	購入額の1/2・限度額 15,000円
		伊勢市	生ごみ処理機全般	購入額の1/2・上限3万円
		松阪市	家庭用生ごみ処理機	購入金額の1/3、30,000円を上限
		桑名市	生ごみ処理機	1/2 上限 30,000円
			コンポスト	1/2 上限 5,000円
			生ごみ発酵用密閉容器	1/2 上限 5,000円
		鈴鹿市	生ごみ処理容器	購入額の1/2・限度額 15,000円
			生ごみ処理機	購入額の1/2・限度額 15,000円
		名張市	電動生ごみ処理機	1台で購入額の1/2で1万円
			コンポスト等	2台で購入費の1/2で1万円
		尾鷲市	電動生ごみ処理機	購入額の1/2・限度額20,000円
		亀山市	ぼかし・コンポスト	容器購入費の2分の1・25,000円
			手動攪拌式処理容器	容器購入費の2分の1・25,000円
			電気攪拌式処理容器	容器購入費の2分の1・25,000円
		鳥羽市	コンポスト	購入額の1/2・限度額4,000円
			電動式生ごみ処理機	購入額の1/2・限度額20,000円
		熊野市	コンポスト・衣装ケース	1/2 上限3,000円
			電気式生ごみ処理機	1/2 上限30,000円
		いなべ市	簡易式容器	購入価格の1/2 上限5000円
			電動式容器	購入価格の1/2 上限5000円
		志摩市	家庭用電気式生ごみ処理機	税抜購入価格の1/2・上限30000円
		伊賀市	電動処理機	購入額の1/3 上限20,000円
			コンポスト容器等	購入額の1/3 上限3,000円
		木曽岬町	生ごみ処理槽	購入額の1/2,限度各4,000円
			電気式生ごみ処理機	購入額の1/2,限度各20,000円
		東員町	生ごみ処理機	購入額の1/2・50,000円
			コンポスト	購入額の1/2・10,000円
		菰野町	指定なし	1/2 限度額2万円
		朝日町	生ごみ処理機	購入額1/2 限度額5万円
			生ゴミ処理容器	購入額1/2 限度額1万円
		川越町	処理機	購入額1/2 限度額5万円
			コンポスト	購入額1/2 限度額1万円
		多気町	処理機	購入費の1/2・30,000円
		明和町	生ごみ処理機、	購入額の1/2、上限3万円、
			コンポスト	購入額の1/2、上限5千円
		大台町	生ごみ処理機、コンポスト	購入額の1/2 上限3万円
		玉城町	生ごみ処理機	購入額の1/2・上限2万円
			コンポスト	購入額の1/2・上限2万円
		度会町	決まっていない	購入額の1/2・限度額30,000円
		大紀町	生ごみ処理機	購入額の1/2・限度額3万円・一基
生ごみ処理容器	購入費の1/2・二基			
南伊勢町	コンポスター等	購入金額の1/2・限度額3,000円		
	機械式乾燥型ごみ処理機	購入金額の1/2・限度額20,000円		
紀北町	電動生ごみ処理機	購入額の1/2・限度額30,000円		
	コンポスト	購入額の1/2・限度額6,500円		
御浜町	電気式・手動攪拌式	購入額の1/2・限度額30,000円		
	容器式	購入額の1/2・限度額5,000円		
紀宝町	電気式等	購入価格の1/2 限度額3万円		
	コンポスト	購入価格の1/2 限度額4千円		

表 2-4-10 家庭用生ごみ処理機の購入助成制度 回答状況

3) -4 (3) 家庭での生ごみ処理機の活用

● 減量効果の把握について

減量効果については、「把握している」が2市町（6.9%）となっている。

基本取組	質問	1	2	計
		把握している	把握していない	
5-1	補助した生ごみ処理機で処理された量等の減量効果を把握していますか。	2	27	29
		6.9%	93.1%	100.0%

表 2-4-11 減量効果の把握 回答状況

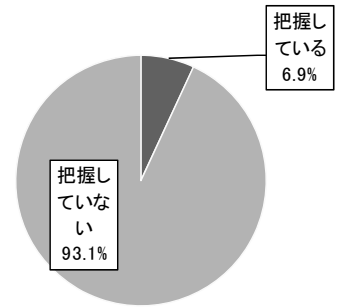


図 2-4-8 回答率

3) -5 (3) 家庭での生ごみ処理機の活用

● 購入助成制度による効果について

購入助成制度による効果については、7市町が「効果あり」と回答している。

基本取組	質問	1	2	3	計
		効果あり	効果なし	どちらともいえない	
5-1	生ごみ処理機の購入助成制度により、効果はありましたか。	7	1	21	29
		24.1%	3.4%	72.4%	100.0%

表 2-4-12 購入助成制度による効果 回答状況

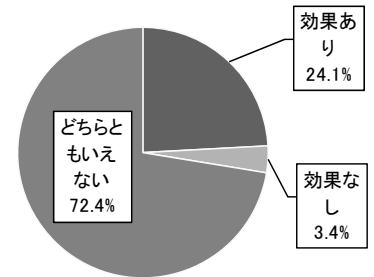


図 2-4-9 回答率

2-4-2 基本取組 5-2 生ごみの再資源化

1) -1 (1) 生ごみバイオガス化に向けた調査の実施

(2) 生ごみバイオガス化発電等の実証試験の実施

(3) 生ごみバイオガス化発電等の導入

● 生ごみバイオガス化に向けた調査の実施（システム設計含む）、調査への協力について

生ごみバイオガス化に向けた調査（システム設計含む）、調査への協力については、「実施している」が2市町（6.9%）、「今後検討予定」が4市町（13.8%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
5-2	生ごみバイオガス化に向けた調査の実施（システム設計含む）、調査への協力をしていますか。	2	4	23	29
		6.9%	13.8%	79.3%	100.0%

表 2-4-13 調査の実施、協力 回答状況

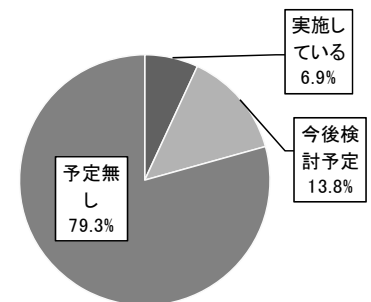


図 2-4-10 回答率

- 1) -2 (1) 生ごみバイオガス化に向けた調査の実施
 (2) 生ごみバイオガス化発電等の実証試験の実施
 (3) 生ごみバイオガス化発電等の導入

● 生ごみバイオガス化発電等の実証実験事業の実施、事業への協力について

生ごみバイオガス化発電等の実証実験事業、事業への協力については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が4市町（13.8%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
5-2	生ごみバイオガス化発電等の実証実験事業の実施、事業への協力をしていますか。	0	4	25	29
		0.0%	13.8%	86.2%	100.0%

表 2-4-14 実証実験事業の実施、事業への協力 回答状況

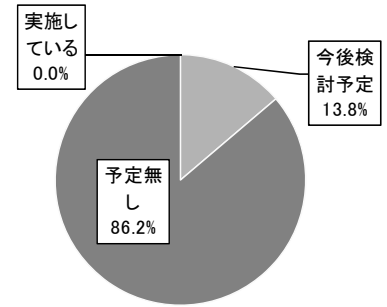


図 2-4-11 回答率

- 1) -3 (1) 生ごみバイオガス化に向けた調査の実施
 (2) 生ごみバイオガス化発電等の実証試験の実施
 (3) 生ごみバイオガス化発電等の導入

● 生ごみバイオガス化発電等システムの導入・運営の実施について

生ごみバイオガス化発電等システムの導入・運営については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が4市町（13.8%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
5-2	生ごみバイオガス化発電等システムの導入・運営を実施していますか。	0	4	25	29
		0.0%	13.8%	86.2%	100.0%

表 2-4-15 発電等システムの導入・運営の実施 回答状況

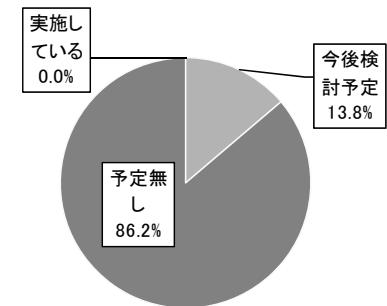


図 2-4-12 回答率

- 2) -1 (4) 廃食用油のBDF化による活用

● 廃食用油BDF化システムの導入・運営の実施について

廃食用油BDF化システムの導入・運営については、「実施している」が6市町（20.7%）、「今後検討予定」が9市町（31.0%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
5-2	廃食用油BDF化システムの導入・運営をしていますか。	6	9	14	29
		20.7%	31.0%	48.3%	100.0%

表 2-4-16 廃食用油 BDF 化システムの導入・運営 回答状況

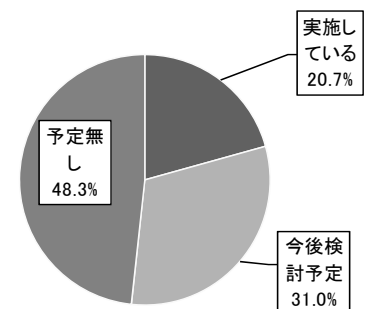


図 2-4-13 回答率

2-5 基本方向6 産業・福祉・地域づくりと一体となったごみ減量化の推進

2-5-1 基本取組6-1 ローカルデポジット制度の導入

- 1) -1 (1) 商店街、中心市街地等における飲料容器デポジット制度の導入
 (2) 観光地等における飲料容器デポジット制度の導入

● デポジットシステムを導入・運営する事業者の支援の実施について

デポジットシステムを導入・運営する事業者の支援については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が2市町（6.9%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
6-1	デポジットシステムを導入・運営する事業者の支援をしていますか。	0	2	27	29
		0.0%	6.9%	93.1%	100.0%

表 2-5-1 事業者の支援の実施 回答状況

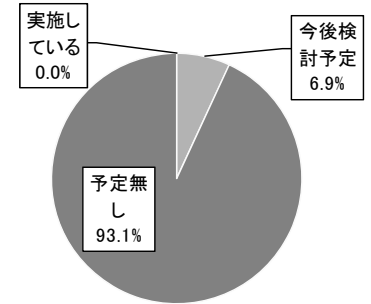


図 2-5-1 回答率

- 1) -2 (1) 商店街、中心市街地等における飲料容器デポジット制度の導入
 (2) 観光地等における飲料容器デポジット制度の導入

● 事業者と連携した導入・運用の実施について

事業者と連携した導入・運用については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が2市町（6.9%）となっている。

基本方向	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
6-1	事業者と連携しデポジットシステムを導入・運用（コスト負担、回収した資源化の処理）を実施していますか。	0	2	27	29
		0.0%	6.9%	93.1%	100.0%

表 2-5-2 事業者と連携した導入・運用の実施 回答状況

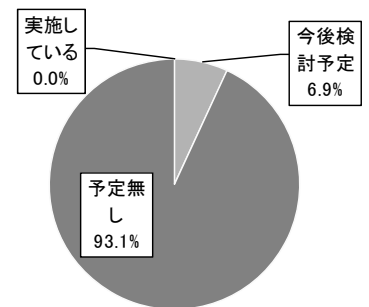


図 2-5-2 回答率

2-5-2 基本取組 6-2 障害者や高齢者のごみゼロ活動への参加促進

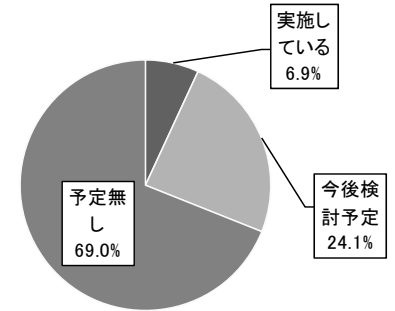
1) (1) 障害者や高齢者の支援と連携したリサイクル事業の展開

● 福祉関係団体等への情報提供、財政支援等の実施について

福祉関係団体等への情報提供、財政支援等については、「実施している」が2市町（6.9%）、「今後検討予定」が7市町（24.1%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
6-2	福祉関係団体等への情報提供、財政支援等を実施していますか。	2	7	20	29
		6.9%	24.1%	69.0%	100.0%

表 2-5-3 情報提供、財政支援等の実施 回答状況



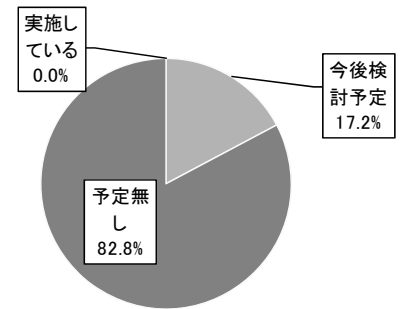
2) (2) 元気な高齢者等の活力をごみゼロに生かす仕組みづくり

● ニーズの集約、地域活動の受け皿に関する情報発信の実施について

ニーズの集約、地域活動の受け皿に関する情報発信については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が5市町（17.2%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
6-2	企業退職者等のニーズの集約、地域での活動の受け皿に関する情報発信を実施していますか。	0	5	24	29
		0.0%	17.2%	82.8%	100.0%

表 2-5-4 情報発信の実施 回答状況



2-5-3 基本取組 6-3 ごみゼロに資する地域活動の活性化促進

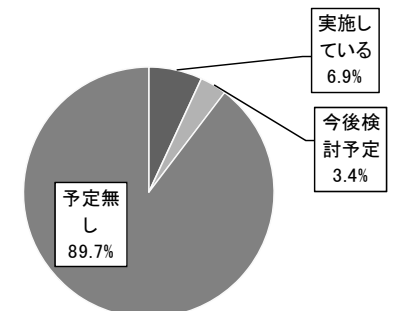
1) (1) 地域通貨の仕組みを活用したリサイクルの推進

● 資源回収に対する助成や地域通貨と交換できるサービスの実施について

資源回収に対する助成や地域通貨と交換できるサービスについては、「実施している」が2市町（6.9%）、「今後検討予定」が1市町（3.4%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
6-3	地域通貨の仕組みを活用した取組について、資源回収に対する助成や地域通貨と交換できるサービスの提供を実施していますか。	2	1	26	29
		6.9%	3.4%	89.7%	100.0%

表 2-5-5 サービスの実施 回答状況



2) -1 (2) コミュニティ単位でのごみゼロ活動の促進

- コミュニティ単位でのごみゼロ活動への活動助成金の交付等の協力の実施について

コミュニティ単位でのごみゼロ活動への活動助成金の交付等の協力については、「実施している」が8市町（27.6%）、「今後検討予定」が1市町（3.4%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
6-3	コミュニティ 単位でのごみ ゼロ活動につ いて、活動助成 金の交付等の 協力を実施し ていますか。	8	1	20	29
		27.6%	3.4%	69.0%	100.0%

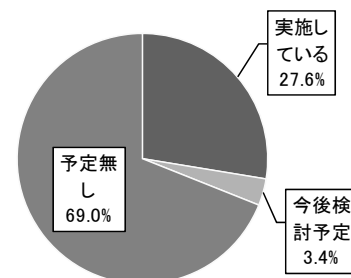


表 2-5-6 活動助成金の交付等の協力の実施 回答状況

図 2-5-6 回答率

2) -2 (2) コミュニティ単位でのごみゼロ活動の促進

- コミュニティ単位でのごみゼロ活動への活動助成金の交付等の協力の実施内容と実施による効果について

コミュニティ単位でのごみゼロ活動への活動助成金の交付等の協力の内容と実施による効果については下表の通りである。

基本 取組	質問	実施内容	効果
6-3	コミュニティ 単位でのごみ ゼロ活動につ いて、活動 助成金の交 付等の協 力を 実施し ていま すか	廃棄物減量等推進員制度	把握していない
		リサイクル推進委員	自治会での資源物の回収に協力的になりました。
		資源ごみの集団回収団体に奨励金を交付・ごみ減量指導員の設置	資源ごみの回収活動の定着、ごみの。資源化意識の向上
		資源回収団体への報奨金	無回答
		自治会に1集積所当たり 10000 円/年の環境整備補助金を交付	住民のごみ分別に対する意識の向上。
		自治会単位で補助金交付	無回答
		集積所及び資源物回収場所設置補助金	集積所等清掃維持管理
資源ごみ 1 k gにつき 5 円	地域活動に利用		

表 2-5-7 活動助成金の交付等の協力の実施内容と実施による効果 回答状況

3) (3) 基金による地域住民活動の支援

- 基金の設置、管理運用の実施について

基金の設置、管理運用については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が1市町（3.4%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施して いる	今後検討 予定	予定無し	
6-3	基金の設置、管 理運用を 実施し ていま すか。	0	1	28	29
		0.0%	3.4%	96.6%	100.0%

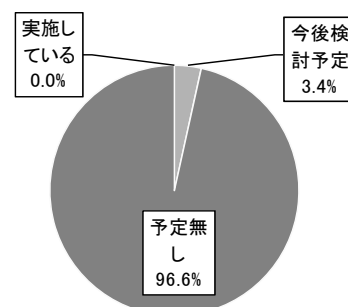


表 2-5-8 基金の設置、管理運用の実施 回答状況

図 2-5-7 回答率

2-5-4 基本取組 6-4 民間活力を生かす拠点回収システムの構築

1) (1) 店頭回収システムによるリサイクルの促進

● 事業者と協働して実施する店頭回収について

事業者と協働して実施する店頭回収システムについては、「実施している」が6市町(20.7%)、「今後検討予定」が5市町(17.2%)となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
6-4	店頭回収システムについて、事業者と協働し実施していますか。	6	5	18	29
		20.7%	17.2%	62.1%	100.0%

表 2-5-9 事業者と協働して実施 回答状況

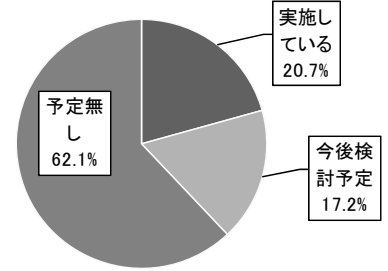


図 2-5-8 回答率

2) -1 (2) NPO・事業者・行政の連携による資源物拠点回収システムの構築

● 連携した資源物拠点回収システム事業の位置づけについて

連携した資源物拠点回収システム事業を、集団回収として「位置づけている」のは、3市町(10.3%)、「今後検討予定」が3市町(10.3%)となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
6-4	NPO・事業者が連携した資源物拠点回収システム事業は、集団回収として位置づけていますか。	3	3	23	29
		10.3%	10.3%	79.3%	100.0%

表 2-5-10 集団回収として位置付け 回答状況

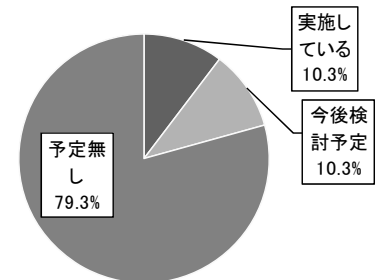


図 2-5-9 回答率

2) -2 (2) NPO・事業者・行政の連携による資源物拠点回収システムの構築

● 集められた資源物の量の把握について

集団回収として位置づけている3市町はすべて資源物の量の把握を実施している。

基本取組	質問	1	2	3	計
		把握している	今後把握予定	予定無し	
6-4	集められた資源物の量は把握していますか。	3	0	0	3
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

表 2-5-11 資源物の量の把握 回答状況

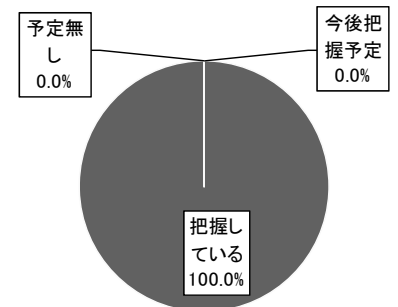


図 2-5-10 回答率

2-5-5 基本取組 6-6 埋立ごみの資源としての有効利用の推進

1) (1) 廃プラスチック等の有効利用に関する調査研究

● 廃プラスチック等の有効利用に関する調査研究への協力、実施について

廃プラスチック等の有効利用に関する調査研究については、「協力、実施している」が2市町（6.9%）、「今後検討予定」が2市町（6.9%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
6-6	埋立ごみとして処理されている廃プラスチック等の有効利用に関する調査研究への協力、実施をしていますか。	2	2	25	29
		6.9%	6.9%	86.2%	100.0%

表 2-5-12 調査研究への協力、実施 回答状況

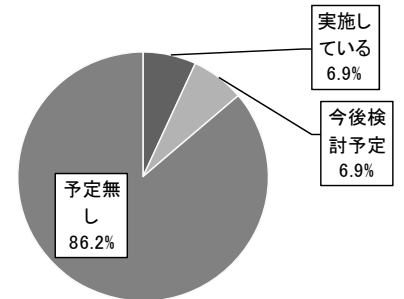


図 2-5-11 回答率

2) (2) 事業者における廃プラスチック等の利用促進

● 廃プラスチック等の有効利用に関するシステム整備への支援・協力の実施について

廃プラスチック等の有効利用に関するシステム整備への支援・協力については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が3市町（10.3%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
6-6	埋立ごみとして処理されている廃プラスチック等の有効利用に関するシステム整備への支援・協力をしていますか。	0	3	26	29
		0.0%	10.3%	89.7%	100.0%

表 2-5-13 システム整備への支援・協力の実施 回答状況

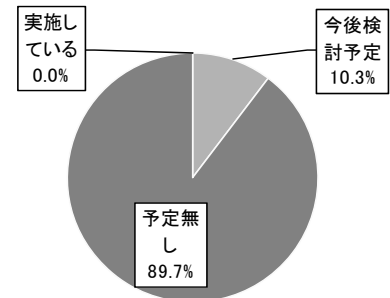


図 2-5-12 回答率

2-6 基本方向 7 公正で効率的なごみ処理システムの構築

2-6-1 基本取組 7-1 ごみ処理の有料化等経済的手法の活用

- 1) -1 (1) ごみ減量化対策における経済的手法の検討
- (2) 家庭系ごみの有料化にあたっての諸手続の実施
- (3) 家庭系ごみ有料化制度の検証
- (4) 家庭系ごみ有料化制度の導入

● 家庭ごみの有料化制度の導入状況について

家庭ごみの有料化制度については、「導入している」が 7 市町（24.1%）、「導入検討」が 2 市町（6.9%）、「今後検討予定」が 10 市町（34.5%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	4	5	計
		導入している	導入予定	導入検討	今後検討予定	予定無し	
7-1	家庭ごみの有料化制度の導入状況について該当する項目にチェックしてください。	7	0	2	10	10	29
		24.1%	0.0%	6.9%	34.5%	34.5%	100.0%

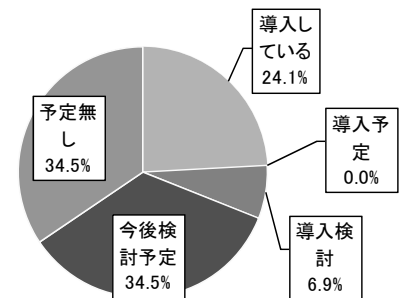


表 2-6-1 有料化制度の導入状況 回答状況

- 1) -2 (1) ごみ減量化対策における経済的手法の検討
- (2) 家庭系ごみの有料化にあたっての諸手続の実施
- (3) 家庭系ごみ有料化制度の検証
- (4) 家庭系ごみ有料化制度の導入

● 有料化制度の導入後の手数料料金について

有料化制度の導入後の手数料料金については下表の通りであった。

基本取組	番号	質問	市町名	有料化制度導入後の手数料料金		
				燃えるごみ	燃えないごみ	資源ごみ
7-1	1-2	有料化制度導入後の手数料料金	桑名市	15	15	0
			名張市	指定袋 1 枚当り 45 リットル 68 円、30 リットル 45 円、20 リットル 28 円、10 リットル 13 円、5 リットル 6 円	燃やすごみに同じ	無料
			志摩市	10L 10 円/枚・20L 30 円/枚・40L 50 円/枚	10L 10 円/枚・20L 30 円/枚・40L 50 円/枚	10L 5 円/枚・20L 10 円/枚・40L 15 円/枚
			伊賀市	大 20 円、中 15 円、小 10 円		
			木曾岬町	大 35 円、中 29 円、小 23 円	35 円	無料
			南伊勢町	45L = 30 円、30L = 20 円、15L = 10 円	該当なし	該当なし

表 2-6-2 有料化制度の導入後の手数料料金 回答状況

- 1) -3 (1) ごみ減量化対策における経済的手法の検討
- (2) 家庭系ごみの有料化にあたっての諸手続の実施
- (3) 家庭系ごみ有料化制度の検証
- (4) 家庭系ごみ有料化制度の導入

● 住民アンケートの実施について

住民アンケートについては、「実施したことがある」が8市町（27.6%）、他市町は「予定なし」となっている。

基本取組	質問	1	2	3	4	計
		実施したことがある	実施予定	検討中	ない	
7-1	家庭ごみの有料化等のごみ処理施策に関する住民を対象としたアンケートを実施したことがありますか。	8	0	0	21	29
		27.6%	0.0%	0.0%	72.4%	100.0%

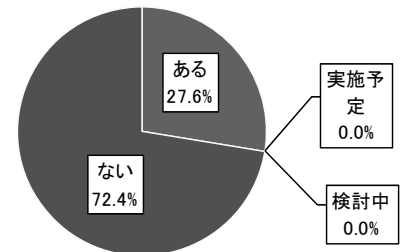


図 2-6-3 回答率

表 2-6-3 住民アンケートの実施 回答状況

- 2) (1) ごみ減量化対策における経済的手法の検討
- (2) 家庭系ごみの有料化にあたっての諸手続の実施
- (3) 家庭系ごみ有料化制度の検証
- (4) 家庭系ごみ有料化制度の導入

● 家庭ごみの指定ごみ袋制度の導入状況について

家庭ごみの指定ごみ袋制度については、「導入している」が16市町（55.2%）、「導入予定」及び「導入検討」がそれぞれ1市町（3.4%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	4	5	計
		導入している	導入予定	導入検討	今後検討予定	予定無し	
7-1	家庭ごみの指定ごみ袋制度の導入状況について該当する項目にチェックしてください。	16	1	1	3	8	29
		55.2%	3.4%	3.4%	10.3%	27.6%	100.0%

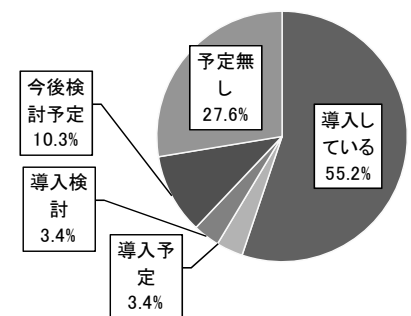


図 2-6-4 回答率

表 2-6-4 家庭ごみの指定ごみ袋の導入状況 回答状況

2-6-2 基本取組 7-2 廃棄会計・LCAの活用促進

- 1) (1) 廃棄物会計導入マニュアルの作成
- (2) 廃棄物会計導入に向けた普及活動の実施

● ヒアリングへの協力、研修会への参加について

ヒアリングへの協力、研修会への参加については、「実施している」が24市町（82.8%）、他市町は「予定無し」となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
7-2	ヒアリングへの協力、研修会への参加をしていますか。	24	0	5	29
		82.8%	0.0%	17.2%	100.0%

表 2-6-5 ヒアリングへの協力、研修会への参加 回答状況

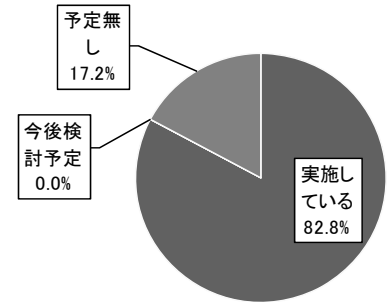


図 2-6-5 回答率

- 2) (3) LCA手法の適用可能性調査の実施

● フィールドの提供などLCA手法の適用可能性調査等への協力について

フィールドの提供などLCA手法の適用可能性調査等については、「協力している」が2市町（6.9%）、「今後検討予定」が8市町（27.6%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		協力している	今後検討予定	予定無し	
7-2	フィールドの提供など適用可能性調査等への協力をしていますか。	2	8	19	29
		6.9%	27.6%	65.5%	100.0%

表 2-6-6 適用可能性調査等への協力 回答状況

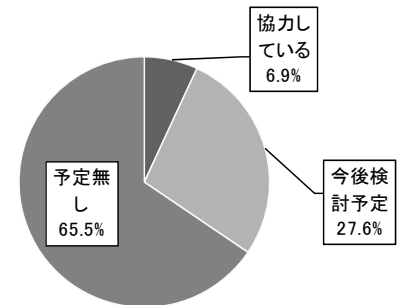


図 2-6-6 回答率

- 3) -1 (4) 市町村ごみ処理カルテの作成とその活用促進

● コスト情報の把握・整理について

コスト情報の把握・整理については、「実施している」が23市町（79.3%）、「今後検討予定」が1市町（3.4%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
7-2	コスト情報の把握・整理（廃棄物会計など）	23	1	5	29
		79.3%	3.4%	17.2%	100.0%

表 2-6-7 コスト情報の把握・整理 回答状況

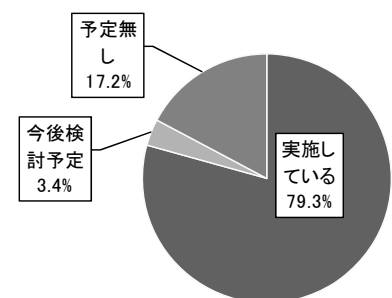


図 2-6-7 回答率

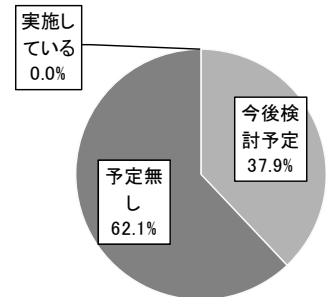
3) -2 (4) 市町村ごみ処理カルテの作成とその活用促進

● LCA手法による自主評価について

LCA手法による自主評価については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が11市町(37.9%)となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
7-2	LCA手法による自主評価	0	11	18	29
		0.0%	37.9%	62.1%	100.0%

表 2-6-8 LCA手法による自主評価 回答状況



3) -3 (4) 市町村ごみ処理カルテの作成とその活用促進

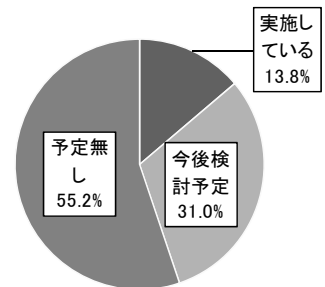
● 市町村ごみ処理カルテの作成・公表について

市町村ごみ処理カルテの作成・公表については、「実施している」が4市町(13.8%)、「今後検討予定」が9市町(31.0%)となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
7-2	カルテの作成・公表(市町村ごみ処理カルテなど)	4	9	16	29
		13.8%	31.0%	55.2%	100.0%

表 2-6-9 カルテの作成・公表 回答状況

図 2-6-8 回答率



3) -4 (4) 市町村ごみ処理カルテの作成とその活用促進

● ベンチマーキングの実施について

ベンチマーキングについては、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が11市町(37.9%)となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
7-2	ベンチマーキングの実施	0	11	18	29
		0.0%	37.9%	62.1%	100.0%

表 2-6-10 ベンチマーキングの実施 回答状況

図 2-6-9 回答率

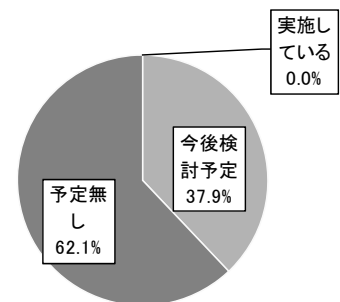


図 2-6-10 回答率

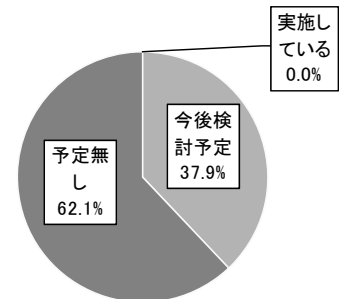
3) -5 (4) 市町村ごみ処理カルテの作成とその活用促進

● バストプラクティス情報の活用について

ベストプラクティス情報の活用については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が11市町（37.9%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
7-2	ベストプラクティス情報の活用	0	11	18	29
		0.0%	37.9%	62.1%	100.0%

表 2-6-11 バストプラクティス情報の活用 回答状況



3) -6 (4) 市町村ごみ処理カルテの作成とその活用促進

図 2-6-11 回答率

● 廃棄物会計や市町ごみ処理カルテの導入による効果、課題について

廃棄物会計や市町ごみ処理カルテの導入による効果、課題については下表の通りである。

基本 取組	質問	具体的記入
7-2	導入による効果・課題	現在特に効果は見られない
		廃棄物会計を導入したが、ごみ処理が一元化されていないこともあり、管内別での入力が今後は必要と考える。
		廃棄物会計の書類を作成したものの、その数値の検証まで至っていない。
		収集業務等一部をを民間委託しているため、明確な分析がしづらい。

表 2-6-12 導入による効果、課題 回答状況

2-6-3 基本取組 7-3 地域密着型資源物回収システムの構築

1) -1 (1) 資源回収ステーションの設置・運営

● NPO 団体や自治会が管理し、住民が利用しやすい時間に運営している回収拠点の設置・運用について

NPO 団体や自治会が管理し、住民が利用しやすい時間に運営している回収拠点の設置・運用については、「実施している」が7市町（24.1%）、「今後検討予定」が3市町（10.3%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
7-3	NPO 団体や自治会が管理し、住民が利用しやすい時間に運営している回収拠点を設置・運営していますか。	7	3	19	29
		24.1%	10.3%	65.5%	100.0%

表 2-6-13 回収拠点の設置・運用 回答状況

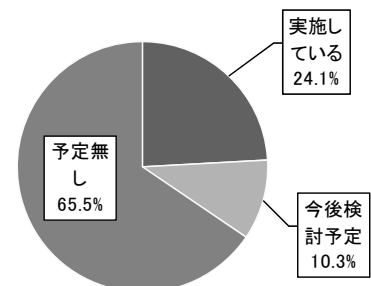


図 2-6-12 回答率

1) -2 (1) 資源回収ステーションの設置・運営

● 資源回収ステーションごとの平成 21 年度の回収実績について

7市町 14 箇所の資源回収ステーションがあり、ステーションごとの平成 21 年度の回収実績については下表の通りである。

基本 取組	質問	ステーションごとの平成 21 年度の回収実績						
		紙類： t	金属類： t	ガラス類： t	PET： t	プラスチック： t	布類： t	その他： t
7-3	ステーションごとの平成 21 年度の回収実績	148						
		216						
		2,634	137	378	88	0	187	0
		1,847	76	179	50	0	197	0
		1,836	90	200	60	0	170	0
		168	0	2	1	3	1	16
		69	0	0	0	0	7	0
		24	1.7	1			3.9	
		23	1	0.8			2.6	
		63						
		21						
		20						
		10						

表 2-6-14 拠点ごとの平成 21 年度の回収実績 回答状況

1) -3 (1) 資源回収ステーションの設置・運営

● 資源回収ステーションの管理主体との関わりについて

資源回収ステーションの管理主体との関わりについては下表の通りである。

基本 取組	質問	1	2	3	4	計
		管理主体に管理運営の委託費を支払っている	管理主体に資源ごみ回収の助成金を支払っている	管理主体がボランティアで実施している	その他	
7-3	(1)で記入していただいたステーションの管理主体との関わりについて該当する項目すべてにチェックしてください。	2	3	0	2	7
		28.6%	42.9%	0.0%	28.6%	100.0%

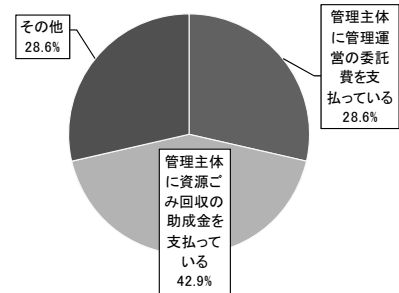


図 2-6-13 回答率

表 2-6-15 ステーションの管理主体との関わり 回答状況

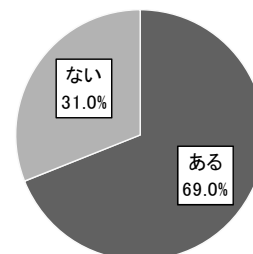
2) -1 (2) 地域ニーズに対応した集団回収の促進

● 集団回収の助成制度について

集団回収の助成制度については、「ある」が20市町(69.0%)、「ない」が9市町(31.0%)となっている。

基本 取組	質問	1	2	計
		ある	ない	
7-3	集団回収の助成制度がありますか。	20	9	29
		69.0%	31.0%	100.0%

表 2-6-16 集団回収の助成制度 回答状況



2) -2-1 (2) 地域ニーズに対応した集団回収の促進

● 今後の助成制度について

図 2-6-14 回答率

今後の助成制度については、「今後も継続」が18市町(90.0%)、「廃止予定」が1市町(5%)となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		今後も継続	廃止予定	今後検討	
7-3	集団回収の助成制度の今後について、該当する項目にチェックしてください。(助成制度)	18	1	1	20
		90.0%	5.0%	5.0%	100.0%

表 2-6-17 助成制度の今後 回答状況

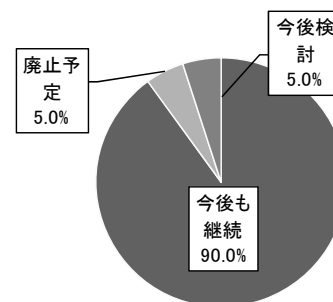


図 2-6-15 回答率

2) -2-2 (2) 地域ニーズに対応した集団回収の促進

● 今後の対象品目について

今後の対象品目については、「拡大予定」が1市町(5.0%)、「現状維持」が18市町(90.0%)となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		拡大予定	現状のまま	縮小予定	
7-3	集団回収の助成制度の今後について、該当する項目にチェックしてください。(対象品目)	1	18	1	20
		5.0%	90.0%	5.0%	100.0%

表 2-6-18 対象品目の今後 回答状況

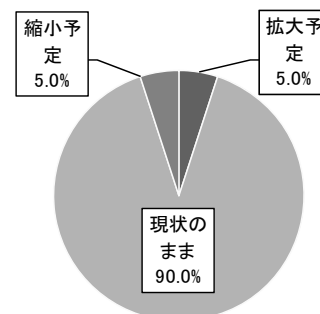


図 2-6-16 回答率

2) -2-3 (2) 地域ニーズに対応した集団回収の促進

● 今後の助成金額について

今後の助成金額については、「増加予定」市町はなく、現状維持が 16 市町（80.0%）、減少予定が 4 市町（20.0%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	小計
		増加予定	現状の まま	減少予定	
7-3	集団回収の助成制度の今後について、該当する項目にチェックしてください。（助成金額）	0	16	4	20
		0.0%	80.0%	20.0%	100.0%

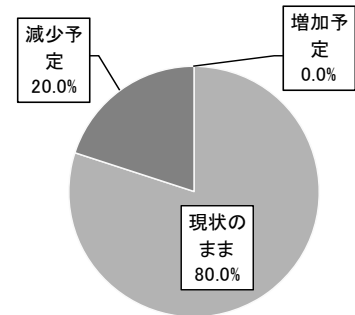


表 2-6-19 助成金額の今後 回答状況

3) (2) 地域ニーズに対応した集団回収の促進

図 2-6-17 回答率

● 集団回収の助成対象品目と助成額について ①

集団回収の助成対象品目と助成額については下表の通りである。

基本 取組	質問	市町名	集団回収の助成対象品目、助成額							
			対象品目	助成金額 (円/ kg)	対象品目	助成金額 (円/ kg)	対象品目	助成金額 (円/ kg)	対象品目	助成金額 (円/ kg)
7-3	集団回収の助成対象品目、助成額	津市	古紙類	6	布類	6	金属類(缶)	6	びん	6
		四日市市	紙類	4	布類	4				
		伊勢市	雑誌類	6円	布類	6円	アルミ缶 スチール 缶類	6円	紙パック	6円
		松阪市	紙類	3円	古着	3円	ビン類 (リター ナル)	3円/本		
		鈴鹿市	雑誌類	4	新聞紙	4	段ボール 類	4	金属類	4
		尾鷲市	新聞紙	5	雑誌類	5	段ボール	5	その他古 紙	5
		亀山市	紙類	5	缶類・び ん類	5	古布	5	白トレイ	5
		鳥羽市	段ボール	2	雑誌	2	新聞	2	牛乳パッ ク	2
		志摩市	紙類	5	布類	5	缶類	5	ビン類	1円/本
		伊賀市	古紙	3	古布	3				
		木曽岬町	新聞	4	雑誌	4	ダンポー ル	4	牛乳パッ ク	4
		東員町	紙・布	6						
		朝日町	新聞紙類	5	雑誌類	5	ダンポー ル	5	牛乳パッ ク	5
		川越町	紙類	5	布	5	アルミ	5		
		多気町	紙類	5円	布類	5円	アルミ缶	5円	スチール 缶	5円
		明和町	ダンポー ル	5	新聞	5	雑誌	5	牛乳パッ ク	5
		大台町	紙類	5円	ビン	1本5円	缶	5円	布	5円
		玉城町	紙	3	布	3	アルミ	3	牛乳パッ ク	3
大紀町	紙類	5	缶類	3	ビン類	2				
南伊勢町	乾電池	8円/個 (上限有 り)								

表 2-6-20 助成品目と助成額 回答状況 ①

集団回収の助成対象品目と助成額 ②

基本 取組	質問	市町名	集団回収の助成対象品目、助成額					
			対象品目	助成金額 (円/ k g)	対象品目	助成金額 (円/ k g)	対象品目	助成金額 (円/ k g)
7-3	集団 回収 の 助 成 対 象 品 目、 助 成 額	津市						
		四日市市						
		伊勢市	新聞	6円	リターナ ブルびん	3円/本		
		松阪市						
		鈴鹿市	アルミ類	4	びん類、 1.8Lび ん、ビー ルびん 大、布類	4		
		尾鷲市						
		亀山市	ペットポ トル	5				
		鳥羽市	アルミ缶	2	ビン	2		
		志摩市	その他資 源	5				
		伊賀市						
		木曽岬町	アルミ缶	4	びん類	4	布類	4
		東員町						
		朝日町	布類	5	アルミ缶	5		
		川越町						
		多気町	ビン類 (一升 瓶)	1本 5 円	ビン類 (ビール 瓶)	2本 5 円		
		明和町	布類	5	アルミ缶	5		
		大台町						
		玉城町						
		大紀町						
南伊勢町								

表 2-6-21 助成品目と助成額 回答状況 ②

4) (2) 地域ニーズに対応した集団回収の促進

● 集団回収の実施団体及び回収量について

集団回収の実施団体の内訳及び回収量は次のグラフの通りである。

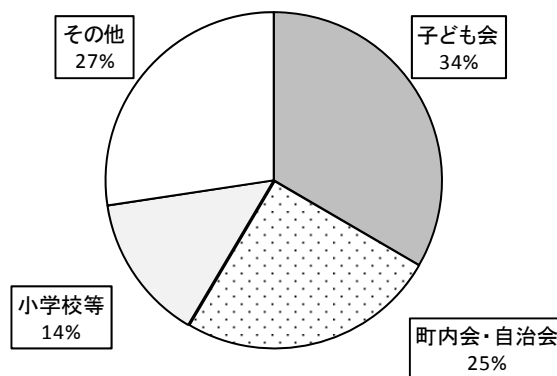


図 2-6-18 集団回収実績団体の内訳

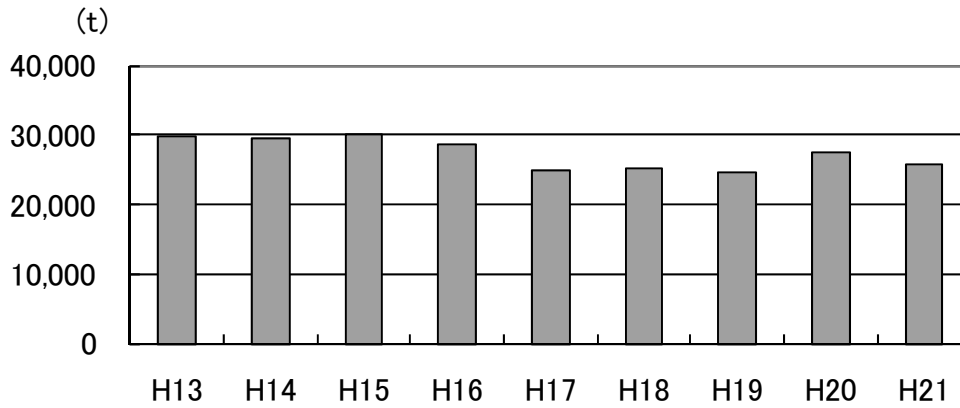


図 2-6-19 集団回収量の推移

4) (2) 地域ニーズに対応した集団回収の促進

● 集団回収を促進するために実施している取組について

集団回収を促進するために実施している取組については「集団回収のPRを実施」が15市町(78.9%)で最も高くなっている。

基本取組	質問	1	2	3	4	計
		定期的 に話し合 っている	集団回 収のPR を実施	集団回 収に 対する 地域の 要望の 収集を 実施し ている	その他	
7-3	集団回収を促進するために実施している取組について、該当する項目にチェックしてください。	2	15		2	19
		10.5%	78.9%	0.0%	10.5%	100.0%

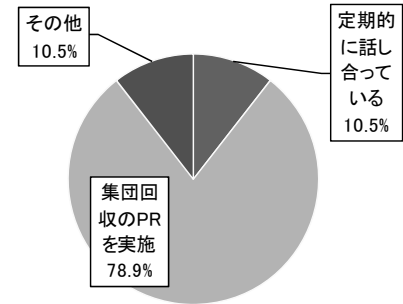


表 2-6-22 集団回収を促進するために実施している取組 回答状況

図 2-6-20 回答率

5) (2) 地域ニーズに対応した集団回収の促進

● 集団回収を促進していくうえでの課題について

集団回収を促進していくうえでの課題については下表の通りである。

基本取組	質問	具体的記入
7-3	集団回収の促進の課題	民間業者への搬入分も助成している。集団回収のみで、行政収集を行わないで欲しいという地域がでてきた。
		戸別での回収が多くなり、地域活動としての機能が果たされない。
		今後、集団回収量を増やしていくための施策等の検討。
		集積所に出された資源物の持ち去り等の対策

表 2-6-23 集団回収を促進していくうえでの課題 回答状況

2-6-3 基本取組 7-4 地域のごみ排出特性を踏まえたごみ行政の推進

- 1) -1 (1) ごみ排出特性の把握・活用
 (2) 市町村ごみ処理マップの活用

● ごみ排出量の計測・分析の実施について

ごみ排出量の計測・分析については、「実施している」が1市町（3.4%）、「今後検討予定」が1市町（3.4%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
7-4	自治会や小学校区ごとのごみ排出量の計測・分析を実施していますか。	1	1	27	29
		3.4%	3.4%	93.1%	100.0%

表 2-6-24 ごみ排出量の計測・分析の実施 回答状況

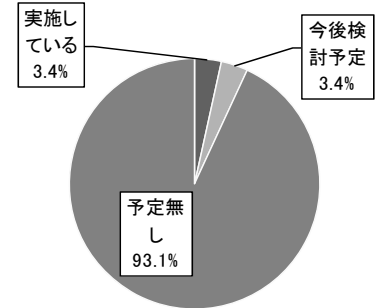


図 2-6-21 回答率

- 1) -2 (1) ごみ排出特性の把握・活用
 (2) 市町村ごみ処理マップの活用

● ごみ排出量データに基づく施策の検討や実施について

ごみ排出量データに基づく施策については、「検討・実施している」が1市町（3.4%）、「今後検討予定」が2市町（6.9%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	4	計
		実施している	検討中	今後検討予定	予定無し	
7-4	自治会や小学校区ごとのごみ排出量データに基づく施策の検討や実施をしていますか。	1	0	2	26	29
		3.4%	0.0%	6.9%	89.7%	100.0%

表 2-6-25 施策の検討や実施 回答状況

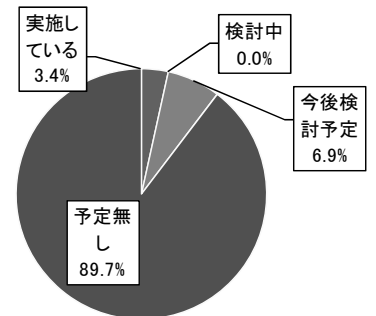


図 2-6-22 回答率

- 1) -3 (1) ごみ排出特性の把握・活用
 (2) 市町村ごみ処理マップの活用

● 市町村ごみ処理マップの作成・公開について

市町村ごみ処理マップについては、「作成・公開している」が1市町（3.4%）、「今後検討予定」が2市町（6.9%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
7-4	市町村ごみ処理マップの作成・公開をしていますか。	1	2	26	29
		3.4%	6.9%	89.7%	100.0%

表 2-6-26 市町村ごみ処理マップの作成・公開 回答状況

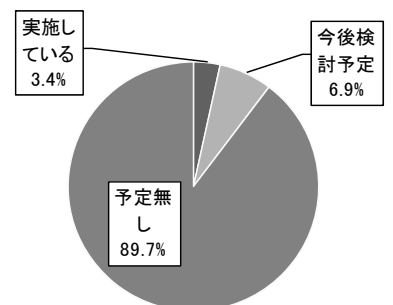


図 2-6-23 回答率

2-7 基本方向 8 ごみ行政への県民参画と協働の推進

2-7-1 基本取組 8-1 住民参画の行動計画づくり

1) (1) 住民参画によるごみ処理基本計画づくりの実施

● 住民参画によるごみ処理基本計画づくりの実施について

住民参画によるごみ処理基本計画づくりについては、「実施している」が 11 市町（37.9%）、「今後検討予定」が 7 市町（24.1%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	4	計
		実施している	今後検討予定	未実施今後検討予定	予定無し	
8-1	住民参画によるごみ処理基本計画づくりを実施していますか。	11	0	7	11	29
		37.9%	0.0%	24.1%	37.9%	100.0%

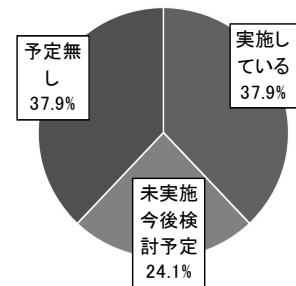


表 2-7-1 住民参画による計画づくり 回答状況

図 2-7-1 回答率

2) -1 (1) 住民参画によるごみ処理基本計画づくりの実施

● 一般廃棄物処理計画の策定年度、計画期間について

一般廃棄物処理計画の策定年度、計画期間については下表の通りである。

質問	市町名	策定年度（平成）	計画期間（平成）
一般廃棄物処理計画の策定年度、計画期間	津市	21	20 ~ 29
	四日市市	20	21 ~ 35
	伊勢市	21	22 ~ 31
	松阪市	18	18 ~ 33
	桑名市	18	18 ~ 27
	鈴鹿市	20	21 ~ 30
	名張市	19	19 ~ 29
	尾鷲市	17	17 ~ 31
	鳥羽市	22	22 ~ 31
	熊野市	4	4 ~ 20
	いなべ市	19	20 ~ 34
	志摩市	19	19 ~ 34
	伊賀市	19	19 ~ 27
	木曽岬町	10	10 ~ 24
	東員町	18	19 ~ 27
	菰野町	10	11 ~ 25
	朝日町	22	22 ~ 36
	川越町	21	22 ~ 23
	明和町	9	9 ~ 28
	大台町	20	19 ~ 32
大紀町	18	17 ~ 36	
南伊勢町	21	21 ~ 26	
紀北町	17	17 ~ 31	

表 2-7-2 一般廃棄物処理計画の策定年度、計画期間 回答状況

3) (2) 住民・事業者・行政の協働組織を核とした活動の展開

● ごみ減量会議等の設置・運営の実施について

ごみ減量会議等の設置・運営については、「実施している」が 17 市町（58.6%）、「今後検討予定」が 3 市町（10.3%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
8-1	ごみ減量会議等の設置・運営をしていますか。	17	3	9	29
		58.6%	10.3%	31.0%	100.0%

表 2-7-3 ごみ減量会議等の設置・運営の実施 回答状況

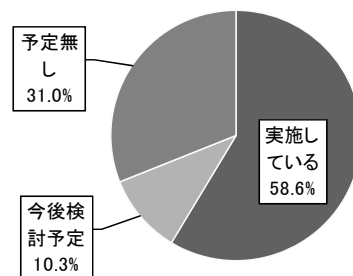


図 2-7-2 回答率

4) (3) 地域でごみ減量化に取り組む住民、NPO 等の相互交流の場づくり

● 地域ごみゼロ推進交流会への参加について

地域ごみゼロ推進交流会については、「参加している」が 14 市町（48.3%）、「今後検討予定」が 6 市町（20.7%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		参加 している	今後 検討予定	予定無し	
8-1	地域ごみゼロ推進交流会に参加していますか。	14	6	9	29
		48.3%	20.7%	31.0%	100.0%

表 2-7-4 地域ごみゼロ推進交流会への参加 回答状況

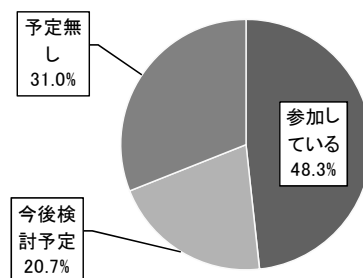


図 2-7-3 回答率

2-7-2 基本取組 8-2 レジ袋削減・マイバッグ運動の展開

1) -1 (1) レジ袋ないない活動の展開

● レジ袋の有料化の実施状況について

レジ袋の有料化については、「実施している」が 28 市町（48.3%）、「今後検討予定」が 1 市町（3.4%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	4	計
		実施 している	今後 検討予定	未実施 今後検討 予定	予定無し	
8-2	スーパー等のレジ袋の有料化の実施状況について、該当する項目にチェックしてください。実施している場合は、具体的内容をご記入ください。	28	0	1	0	29
		96.6%	0.0%	3.4%	0.0%	100.0%

表 2-7-5 レジ袋の有料化の実施状況 回答状況

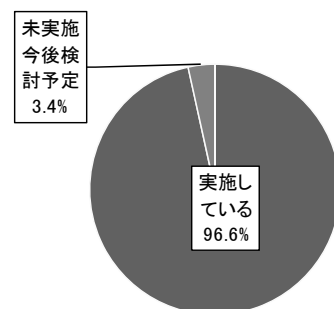


図 2-7-4 回答率

1) -3 (1) レジ袋ないない活動の展開

● レジ袋削減・マイバッグ運動の効果、収益金の活用、新たな取組について

レジ袋削減・マイバッグ運動の効果、収益金の活用、新たな取組については下表の通りであった。

基本取組	質問	レジ袋削減・マイバッグ運動		
		効果・課題	収益金の活用方法	新たな取組
8-2	レジ袋削減・マイバッグ運動	H21レジ袋辞退率は89.95%と当初の計画を上回ることができ、市民にマイバッグが浸透しているものと考えている。	協定書に基づき各事業者において、環境保全活動、地域貢献活動に活用されている。	特になし。
		「排出抑制」意識の向上。ごみ減量効果は不明。	協議会にて協議中	特になし
		【課題】若い方の参加	環境活動をしている団体等へ補助を行っている	-
		-	緑のカーテン用のアサガオ・ゴーヤの苗3,196株を配付。(幼稚園、保育園、小学校、公共施設等)	-
		レジ袋有料化によりマイバッグ持参率が一気に約90%を超えたが、それ以降持参率が伸びてこない。店のかごの持ち逃げ、万引きなどが増えた。	検討中	計画していない
		持参率の経緯が停滞している、実施事業店舗の離脱	地域の初赤い貢献活動・環境保全事業等	-
		レジ袋の有料化開始後2年を経過しましたが、約92パーセントの高率を維持しています。	収益金については、各事業者から随時寄付として受入っており、用途については市民会議の協議の上環境施策に活用することとしています。	マイ箸やマイボトルなどのごみ減量につながる施策も検討をしています。
		約90%のレジ袋辞退率を維持し、マイバッグ持参は定着している。	地球温暖化防止事業に活用	-
		21年度、レジ袋の辞退率88.7%	地域社会に還元する(寄付等)	-
		マイバッグ持参率を見ても、市民には運動が浸透していると言えるが、慣れによるものか、若干、率が低下している。	桜の街を目指すため、桜苗木の植樹を予定している。植樹場所を選定中。	我々も模索しているが、妙案が思い浮かばない状態です。
		二酸化炭素の排出削減やマイバッグの持参。店舗においては万引きが増えた。	サガオやゴーヤの種を配布し、緑のカーテンにより地球温暖化防止等に役立てる	なし
		マイバッグを持つことによって万引きと、買い物かごの盗難が増えた	アサガオ、へちまの種とゴーヤ、アサガオの苗を配布	不用品の無料配布
		増加傾向にあった可燃ごみが、始めて微減した。	学校等の環境学習資料の配布(花の苗・種)	-
		平成21年1月23日から始まったレジ袋削減・マイバッグ持参運動は定着しており住民の環境負荷への意識高揚が一番大きな効果と考えられる。課題については当初、有料化という点には問題はなかったがマイバッグを悪用した万引き事案が発生したことがある。現在では各店舗に於いて防犯対策を施し対応されていることから大きな問題とはなっていないと思われる。	収益金については各店舗に於いて環境事業に対する社会貢献を行うものとし、具体的施策については小学校等に対する苗木の贈呈などが挙げられるが、基本的には各店舗での自発的取り組みである為、任意としている。	現在のところ所管課の環境課だけでなく市町全体として行うキャンペーン(交通安全対策)や講演会(人権啓発講演会)などのイベント事の際には啓発物品として携帯用マイ箸の配布などを行い他イベント事と啓発物品による環境意識の高揚を行いたいと考えている。しかし、行動に繋がるには相当の時間が必要であり、スーパーや飲食店等に於いて割り箸をレジ袋のように有料化を行うことは困難であることから意識の啓発(高揚)を目標に進めている。
レジ袋辞退率は80%を超え住民の意識も高まっているが、小規模な商店等への普及が難しい。	-	-		
-	協議会及び各事業所で活用方法を検討中	-		

表 2-7-6 レジ袋削減・マイバッグ運動の効果、収益金の活用、新たな取組 回答状況

2-7-3 基本取組 8-3 ごみゼロに資するNPO,ボランティア等の活動推進

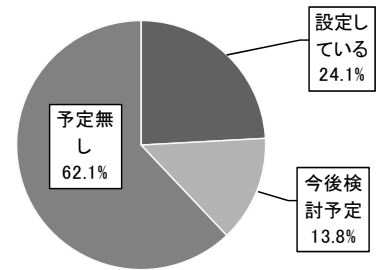
- 1) -1 (1) NPO等の創意工夫を生かす協働事業の推進
- (2) ごみ行政におけるNPO等との連携・協働の推進
- (3) ごみゼロNPOマップの作成

● ごみゼロの取組をしているNPOの把握について

ごみゼロの取組をしているNPOについては、「把握している」が7市町（24.1%）、「今後検討予定」が4市町（13.8%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		把握している	今後検討予定	予定無し	
8-3	ごみゼロの取組をしているNPOの把握をしていますか。	7	4	18	29
		24.1%	13.8%	62.1%	100.0%

表 2-7-7 NPOの把握 回答状況



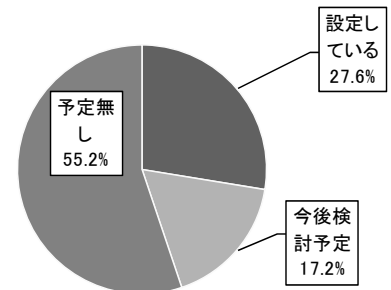
- 2) -1 (1) NPO等の創意工夫を生かす協働事業の推進
- (2) ごみ行政におけるNPO等との連携・協働の推進
- (3) ごみゼロNPOマップの作成

● NPO等団体の活動の側面的な支援について

NPO等団体の活動の側面的な支援については、「実施している」が8市町（27.6%）、「今後検討予定」が5市町（17.2%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
8-3	NPO等団体の活動を側面的に支援	8	5	16	29
		27.6%	17.2%	55.2%	100.0%

表 2-7-8 NPO活動支援 回答状況



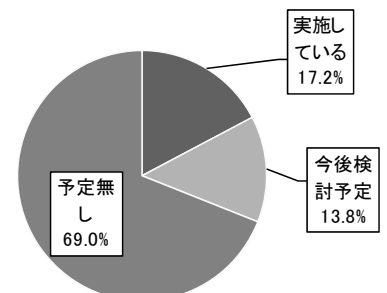
- 2) -2 (1) NPO等の創意工夫を生かす協働事業の推進
- (2) ごみ行政におけるNPO等との連携・協働の推進
- (3) ごみゼロNPOマップの作成

● リサイクル施設等への運営について

リサイクル施設等への運営については、「実施している」が5市町（17.2%）、「今後検討予定」が4市町（13.5%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
8-3	リサイクル施設等への運営	5	4	20	29
		17.2%	13.8%	69.0%	100.0%

表 2-7-9 リサイクル施設等への運営 回答状況



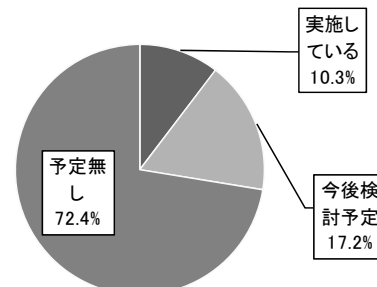
- 2) -3 (1) NPO 等の創意工夫を生かす協働事業の推進
 (2) ごみ行政における NPO 等との連携・協働の推進
 (3) ごみゼロ NPO マップの作成

● NPO 等との協働による各種事業の企画・実施について

NPO 等との協働による各種事業については、「企画・実施している」が 3 市町（10.3%）、「今後検討予定」が 5 市町（17.2%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
8-3	各種事業の企画・実施	3	5	21	29
		10.3%	17.2%	72.4%	100.0%

表 2-7-10 各種事業の企画・実施 回答状況



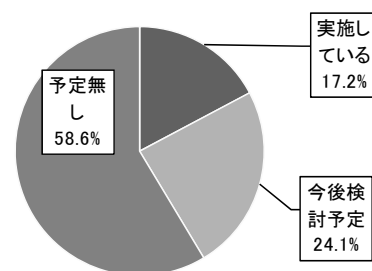
- 2) -4 (1) NPO 等の創意工夫を生かす協働事業の推進
 (2) ごみ行政における NPO 等との連携・協働の推進
 (3) ごみゼロ NPO マップの作成

● 住民への啓発・情報提供等施策における協働について

住民への啓発・情報提供等施策における協働については、「実施している」が 5 市町（17.2%）、「今後検討予定」が 7 市町（24.1%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
8-3	住民への啓発・情報提供等施策における協働（事業委託、共同開催、共同実施、協力支援等）	5	7	17	29
		17.2%	24.1%	58.6%	100.0%

表 2-7-11 啓発・情報提供等施策の協働 回答状況



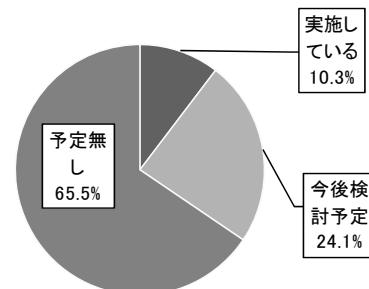
- 3) (4) 自分たちの活動が地域社会で役立っていることを実感させる仕組みづくり

● 個人、地域団体、NPO 等の活動の顕彰・PR の実施について

個人、地域団体、NPO 等の活動の顕彰・PR については、「実施している」が 3 市町（10.3%）、「今後検討予定」が 7 市町（24.1%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
8-3	ごみゼロに取り組み個人や地域団体、NPO 等の活動の顕彰・PR をしていますか。	3	7	19	29
		10.3%	24.1%	65.5%	100.0%

表 2-7-12 顕彰・PR の実施 回答状況



2-7-4 基本取組 8-4 ごみゼロに資するNPO,ボランティア等の活動推進

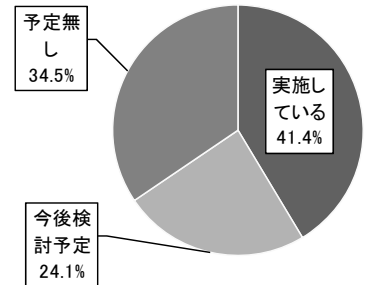
1) (1)「ごみゼロ社会実現プラン」の啓発

● ごみゼロプランに関する情報提供について

ごみゼロプランに関する情報提供については、「実施している」が12市町（41.4%）、「今後検討予定」が7市町（24.1%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
8-4	ごみゼロプランに関する情報提供を実施していますか。	12	7	10	29
		41.4%	24.1%	34.5%	100.0%

表 2-7-13 ごみゼロプランに関する情報提供 回答状況



2) -1 (2) コスト情報等の積極的な提供

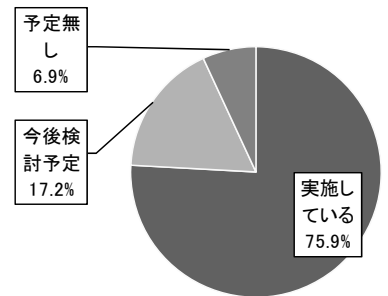
(3) ホームページ等各種メディア等を活用したごみに関する情報発信の充実

● ごみ量・資源化量の情報提供について

ごみ量・資源化量の情報提供については、「実施している」が22市町（75.9%）、「今後検討予定」が5市町（17.2%）となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
8-4	ごみに関する情報提供：ごみ量・資源化量	22	5	2	29
		75.9%	17.2%	6.9%	100.0%

表 2-7-14 ごみ量・資源化量の情報提供 回答状況



● ごみ量・資源化量の広報媒体について

ごみ量・資源化量の広報媒体については、「広報誌」が65.5%で最も高く、次いで「ホームページ」の31.0%となっている。

番号	選択肢	回答数	回答率
1	広報誌	19	65.5%
2	ホームページ	9	31.0%
3	ケーブルテレビ	5	17.2%
4	その他	2	6.9%
総回答数		64	120.7%
有効回答数		29	

表 2-7-15 ごみ量・資源化量：広報媒体 回答状況

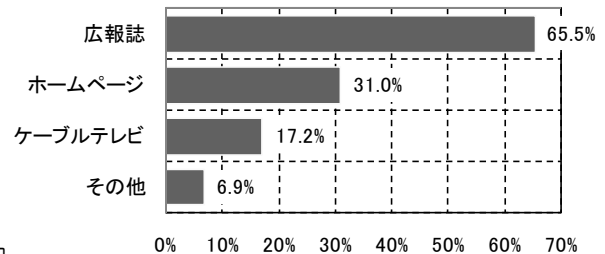


図 2-7-13 回答率

2) -2 (2) コスト情報等の積極的な提供

(3) ホームページ等各種メディア等を活用したごみに関する情報発信の充実

● コスト・環境負荷の情報提供について

コスト・環境負荷の情報提供については、「実施している」が 19 市町 (65.5%)、「今後検討予定」が 8 市町 (27.6%) であった。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
8-4	ごみに関する情報提供：ごみ処理に係るコスト・環境負荷	19	8	2	29
		65.5%	27.6%	6.9%	100.0%

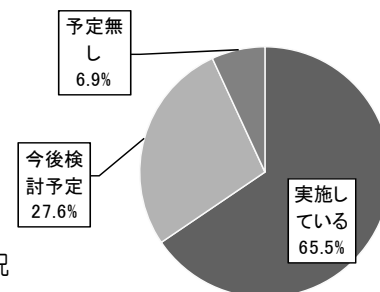


表 2-7-16 ごみ処理に係わるコスト・環境負荷の情報提供 回答状況

図 2-7-14 回答率

● コスト・環境負荷の広報媒体について

コスト・環境負荷の広報媒体については、「広報誌」が 65.5% で最も高く、次いで「ホームページ」の 24.1% となっている。

番号	選択肢	回答数	回答率
1	広報誌	19	65.5%
2	ホームページ	7	24.1%
3	ケーブルテレビ	4	13.8%
4	その他	3	10.3%
総回答数		33	113.8%
有効回答数		29	

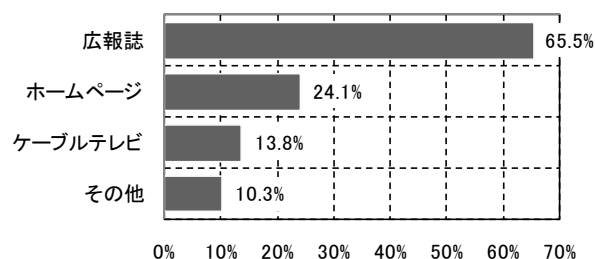


表 2-7-17 コスト・環境負荷の広報媒体 回答状況

図 2-7-15 回答率

2) -3 (2) コスト情報等の積極的な提供

(3) ホームページ等各種メディア等を活用したごみに関する情報発信の充実

● その他の情報提供について

29 全市町において、何らかのごみに関する情報提供を実施している。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
8-4	ごみに関する情報提供：その他	29	0	0	29
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

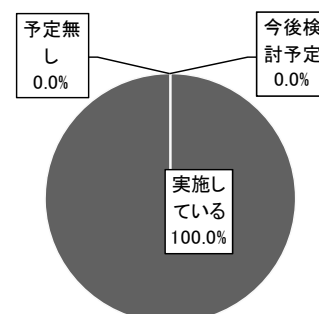


表 2-7-18 その他 回答状況

図 2-7-16 回答率

● その他の情報提供に関する広報媒体について

その他の情報提供に関する広報媒体については「ホームページ」が34.5%で最も高く、次いで「広報誌」の27.6%となっている。

番号	選択肢	回答数	回答率
1	広報誌	8	27.6%
2	ホームページ	10	34.5%
3	ケーブルテレビ	3	10.3%
4	ミニコミ誌	1	3.4%
5	その他	3	10.3%
総回答数		25	86.2%
有効回答数		29	

表 2-7-19 その他：公報媒体 回答状況

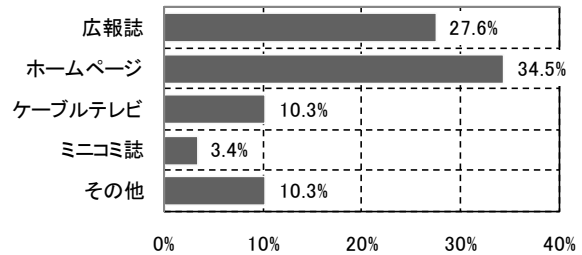


図 2-7-17 回答率

2-8 基本方向9 ごみゼロ社会を担うひとづくり・ネットワークづくり

2-8-1 基本取組9-1 環境学習・環境教育の充実

1) (1) 環境学習・環境教育のツール・プログラムの開発

● 環境学習・環境教育に活用できるツール・プログラム等の活用について

環境学習・環境教育に活用できるツール・プログラム等については、「活用したい」が15市町(51.7%)、「活用を検討」が14市町(48.3%)となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		活用したい	活用を検討	その他	
9-1	今後、年齢層や場所に応じて様々な環境学習・教育の機会において活用できるツールやプログラム等が開発されれば、活用したいと思いますか。	15	14	0	29
		51.7%	48.3%	0.0%	100.0%

表 2-8-1 ツール・プログラム等の活用 回答状況

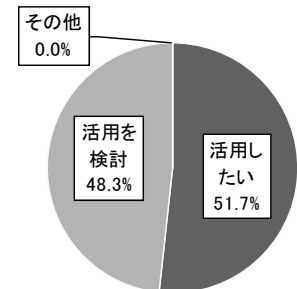


図 2-8-1 回答率

2) (2) 20年後のライフスタイル体験プログラムの実施

● 20年後のライフスタイル体験プログラム提供事業への支援の実施について

20年後のライフスタイル体験プログラム提供事業への支援については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が8市町(27.6%)となっている。

基本取組	質問	1	2	3	計
		実施している	今後検討予定	予定無し	
9-1	体験プログラム提供事業について、企画・運営や自治会・NPO等民間団体への支援を実施していますか。	0	8	21	29
		0.0%	27.6%	72.4%	100.0%

表 2-8-2 体験プログラム提供事業への支援の実施 回答状況

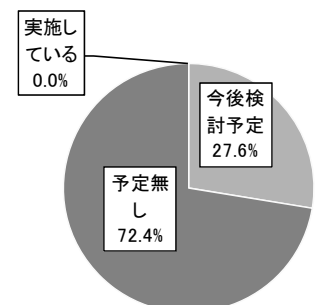


図 2-8-2 回答率

3) -1 (3)「こどもエコクラブ」の活動と「ごみゼロ」推進との連携強化

● こどもエコクラブの活動への協力実施について

こどもエコクラブの活動については、「協力、実施している」が13市町（44.8%）、「今後検討予定」が9市町（31.0%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
9-1	こどもエコクラブ の活動への協力を 実施していますか。	13	9	7	29
		44.8%	31.0%	24.1%	100.0%

表 2-8-3 こどもエコクラブの活動への協力実施 回答状況

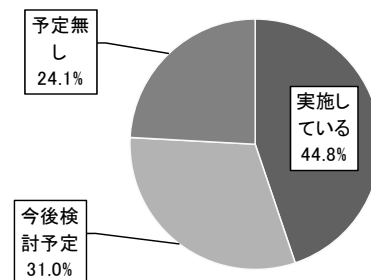


図 2-8-3 回答率

3) -2 (3)「こどもエコクラブ」の活動と「ごみゼロ」推進との連携強化

● キッズISO14001プログラムを用いた環境教育の実施について

キッズISO14001プログラムを用いた環境教育については、「実施している」が2市町（6.9%）、「今後検討予定」が7市町（24.1%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
9-1	キッズ ISO14001プロ グラムを用いた環 境教育を実施して いますか。	2	7	20	29
		6.9%	24.1%	69.0%	100.0%

表 2-8-4 環境教育の実施 回答状況

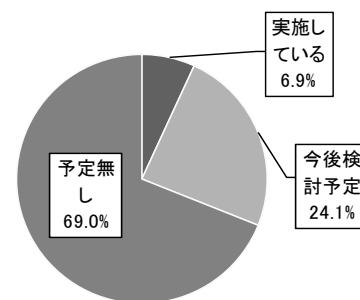


図 2-8-4 回答率

4) -1 (4) 家庭における環境学習・教育の推進

● 家庭における環境学習・教育の啓発の実施について

家庭における環境学習・教育の啓発については、「実施している」が13市町（44.8%）、「今後検討予定」が8市町（27.6%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
9-1	家庭における環境 学習・教育の啓発を 実施していますか。	13	8	8	29
		44.8%	27.6%	27.6%	100.0%

表 2-8-5 環境学習・教育の啓発の実施 回答状況

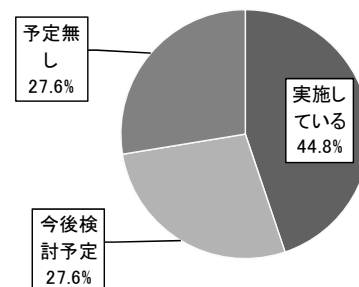


図 2-8-5 回答率

4) -2 (4) 家庭における環境学習・教育の推進

● 環境学習を推進するNPO等への協力・支援の実施について

環境学習を推進するNPO等への協力・支援については、「実施している」が5市町(17.2%)、「今後検討予定」が9市町(31.0%)となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
9-1	環境学習等を推進するNPO等への協力・支援を実施していますか。	5	9	15	29
		17.2%	31.0%	51.7%	100.0%

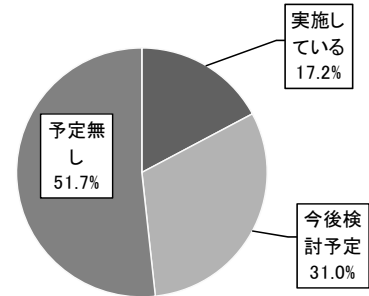


表 2-8-6 NPO等への協力・支援の実施 回答状況

4) -3 (4) 家庭における環境学習・教育の推進

図 2-8-6 回答率

● 家庭における環境学習・教育の啓発等の効果について

家庭における環境学習・教育の啓発等の効果については下表の通りである。

基本 取組	質問	具体的記入
9-1	家庭における環境学習・教育の推進等の効果	子どもを通して家族みんなで環境を考え、関心を持つことにつながった
		分別意識の向上
		小学校において環境学習を実施し、家庭における環境意識の向上
		実際に堆肥化を体験してもらいアンケートを実施した事で、率直な感想や普及できるかどうか等の意見が聞けた。
		分別に関心を持っていただいた。

表 2-8-7 4) -1,2 の効果 回答状況

4) -4 (4) 家庭における環境学習・教育の推進

● ごみ減量の普及啓発について

ごみ減量の普及啓発については下表の通りである。

基本 取組	質問	普及啓発内容
9-1	ごみ減量の普及啓発	市独自のキャラクターを使用し啓発に努めている
		主に広報、ホームページ等でごみ減量の啓発を行っている。又、昨年度についてはごみゼロシンポジウムを開催した。
		リサイクル推進説明会の冊子
		「ごみゼロ社会を目指すアクションプログラム」行動計画を策定、啓発
		広報誌・HP・口頭にて3Rの推進
		分別説明会の開催など
		広報・町民による定期的に会議
		町防災無線で資源物回収案内時に広報を実施
		EM菌の配布、新聞紙などを使ったごみ減量化講習
		マイバック持参運動・生ごみ堆肥化助成金事業・マイ箸携帯推進
		各種イベントにブースを出展し、パネル展示や古本の無料配布、空き瓶を使った風鈴作りや古紙を使ったメンコ作り等を実施

表 2-8-8 ごみ減量の普及啓発 回答状況

5) (5) 県環境学習情報センターの機能の充実と活用

- 県環境学習情報センターの機能を活用した、地域への情報提供や環境学習機会の提供の実施について

県環境学習情報センターの機能を活用した、地域への情報提供や環境学習機会の提供については「実施している」が5市町（17.2%）、「今後検討予定」が10市町（34.5%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
9-1	県環境学習 情報センタ ーの機能 を活用し、地 域への情 報提供や 環境学 習機会の 提供を 実施し ていま すか。	5	10	14	29
		17.2%	34.5%	48.3%	100.0%

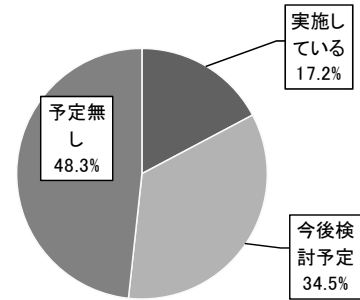


表 2-8-9 情報提供や環境学習機会の提供の実施 回答状況

図 2-8-7 回答率

2-8-2 基本取組 9-2 ごみゼロ推進のリーダーの育成と活動支援

- 1) -1 (1) より専門的な技術や知識を伝授する「ごみゼロ達人」の育成
- (2) 「ごみゼロ人材ガイドブック」の作成

- 「ごみゼロ達人」育成への協力について

「ごみゼロ達人」育成については、「協力したい」が7市町（24.1%）、「協力するか検討」が22市町（75.9%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		協力 したい	協力する か検討	予定無し	
9-2	「ごみゼロ 達人」育 成につ いて、 今後 協力 した い と 思 い ま す か。	7	22	0	29
		24.1%	75.9%	0.0%	100.0%

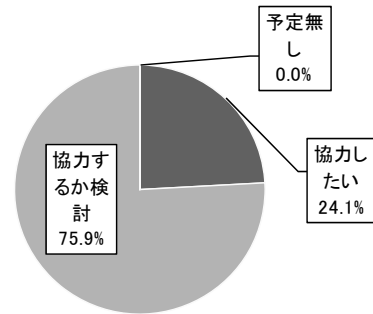


表 2-8-10 「ごみゼロ達人」育成への協力 回答状況

図 2-8-8 回答率

1) -2 (1) より専門的な技術や知識を伝授する「ごみゼロ達人」の育成

(2) 「ごみゼロ人材ガイドブック」の作成

● 「ごみゼロ人材ガイドブック」の作成・公開・更新や情報提供の実施について

「ごみゼロ人材ガイドブック」の作成・公開・更新や情報提供については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が14市町（48.3%）となっている。

基本 取組	質問	1	2	3	計
		実施 している	今後 検討予定	予定無し	
9-2	「ごみゼロ 人材ガイド ブック」の作 成・公開・更 新や情報提 供を実施し ていますか。	0	14	15	29
		0.0%	48.3%	51.7%	100.0%

表 2-8-11 作成・公開・更新や情報提供の実施 回答状況

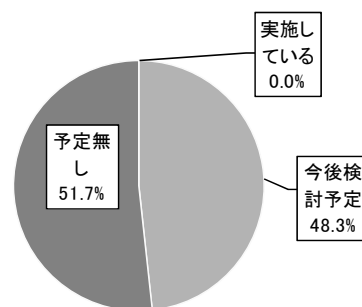


図 2-8-9 回答率

3 市町ごみ処理状況調査 回答票

ごみゼロ社会実現プラン推進に関する市町の取組状況調査回答票

市町名	_____	所属名	_____
担当者名	_____	電話番号	_____

基本方向 2

事業系ごみの総合的な減量化の推進

基本取組 2-1

事業系ごみ処理システムの再構築

1 取組の内容

(1) 事業系ごみの処理実態等の把握

県内の事業系ごみについて、事業者からごみがどのように分別・排出されているかなど、ごみ処理施設に搬入されるまでの実態について把握し、より効果的な減量化施策の構築を進めるため、事業系ごみの業種ごとの排出の状況、処理の方法や家庭系ごみへの混入状況などに関する詳細な実態調査を行います。

(2) 事業系ごみ適正処理システムの検討・整備

少量の事業系ごみの排出者が事業系ごみとして排出しやすい処理システムについて検討を行い、事業系ごみが適正に処理されるシステムとして整備を進めます。

併せて、事業系ごみの家庭系ごみへの混入を防ぐため、事業者に対して、排出するごみは許可業者等による処理を委託するなど、市町村の基準に沿ってごみを適正に処理するよう指導を徹底するとともに、許可業者等に対しても、適正な指導・育成を行います。また、受け皿としての民間処理業者等の活用が不可欠なことから、優良事業者の育成、技術開発支援、ネットワークづくりなどを進めます。

事業系ごみの収集運搬に携わる業者は、事業系ごみの適正な収集・運搬に努めるとともに、その状況などについて管理し、積極的な情報公開を進めます。

(3) 事業系ごみ排出者の届出指導等

多量排出事業者とともに、事業者の大部分を占める中小事業者も併せて排出者責任の認識を促し、ごみの減量化や再資源化に配慮した事業活動を促進するため、廃棄物処理法第6条の2第5項に基づき、多量排出事業者に対してごみ減量化計画書等の届け出の義務づけ、計画的な立入指導などを行うとともに、中小事業者に対しても、それに準じて届け出を義務づけるなど積極的に指導を行います。

さらに、新たに事業を始めようとする者に対しては、建物の新增築などの機会を捉えて、あらかじめ事業内容やごみの排出量、ごみ質、資源ごみの保管場所等の届出を指導するなど、きめ細かい対策を講じます。

【届出の種類（例示）】

- ① 廃棄物・資源化物保管場所設置届
- ② 事業系ごみの管理責任者設置届
- ③ 事業系ごみの減量化・資源化に係る計画書
- ④ 事業系ごみの減量化・資源化に係る実績報告書

【貴市町の取組】

◎事業系ごみの減量化施策の検討を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎少量事業系ごみ排出者の適正処理を促すシステムの検討・整備を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎次に掲げる取組内容について、それぞれ該当する項目にチェックしてください。実施している場合は、具体的内容をご記入ください。

取組内容	実施状況
事業系ごみの業種ごとの排出状況や処理の方法の把握	<input type="checkbox"/> 実施（具体的にご記入ください_____） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし
事業系ごみの家庭系ごみへの混入状況の把握	<input type="checkbox"/> 実施（具体的にご記入ください_____） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし
排出事業者に対して、市町の基準に沿ってごみを適正に処理するよう指導	<input type="checkbox"/> 実施（具体的にご記入ください_____） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし
廃棄物管理責任者の選任指導	<input type="checkbox"/> 実施（具体的にご記入ください_____） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし
許可業者に対する適正な指導・育成	<input type="checkbox"/> 実施（具体的にご記入ください_____） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし
搬入計画の提出	<input type="checkbox"/> 実施（対象： <input type="checkbox"/> 排出業者 <input type="checkbox"/> 許可業者） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし
減量化・分別の啓発・情報提供	<input type="checkbox"/> 実施（対象： <input type="checkbox"/> 排出業者 <input type="checkbox"/> 許可業者） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 未実施
減量化・分別の指導	<input type="checkbox"/> 実施（対象： <input type="checkbox"/> 排出業者 <input type="checkbox"/> 許可業者） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 未実施
排出事業者に対するごみ減量化計画等の届け出の義務づけ	<input type="checkbox"/> 実施（具体的にご記入ください_____） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし
排出事業者への立入調査の実施	<input type="checkbox"/> 実施（具体的にご記入ください_____） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし
搬入時に立ち会い、不適物に対して分別指導や搬入拒否の実施	<input type="checkbox"/> 実施（具体的にご記入ください_____） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし

【貴市町の取組】

- ◎平成14年度以降に、搬入抑制のために搬入制限などの実施している施策があれば、実施年度、具体的内容をご記入ください。

具体的施策	実施年度
_____	平成 ____ ~ ____ 年度
_____	平成 ____ ~ ____ 年度
_____	平成 ____ ~ ____ 年度

(4) 適正なごみ処理料金体系の構築

事業系ごみの焼却施設への持ち込み手数料等について、実際の処理コストに見合う料金設定であるかどうかなどを検証し、格差が生じている場合には、周辺市町村の料金設定も考慮したうえで是正するなど、適正な料金体系の構築に努めます。併せて、事業系ごみに対する指定ごみ袋制など、より効率的な料金徴収の仕組みについて検討し、導入を進めます。

その際、料金の値上げに伴う家庭系ごみへの混入増加など、料金体系の変更により生じるマイナスを防ぐために、必要な対策を併せて講じることが重要です。

【貴市町の取組】

- ◎事業系ごみのごみ処理料金についてお聞きします。

(1)平成21、22年度において事業系ごみの手数料の値上げ及び料金体系変更を実施しましたか、また予定はありますか？

- ① 実施した (平成 ____ 年 ____ 月実施)
- ② 今後実施予定 (平成 ____ 年 ____ 月実施予定)
- ③ 検討中 (理由 _____)
- ④ 検討予定なし (理由 _____)

(1)で①と回答した方は、次の設問にお答えください。

(2) 値上げ実施前と実施後の手数料料金をご記入ください。
 (搬入ごみや量に応じて単価が違う場合はすべてご記入ください。)
 (実施前) _____ → (実施後) _____

(3) 料金改定を実施した月の6ヶ月前と6ヶ月後の事業系ごみの月別搬入量をご記入ください。

	年月	事業系ごみ搬入量
6ヶ月前	____月	____ t
5ヶ月前	____月	____ t
4ヶ月前	____月	____ t
3ヶ月前	____月	____ t
2ヶ月前	____月	____ t
1ヶ月前	____月	____ t
料金改定実施月	平成 ____ 年 ____ 月	____ t
1ヶ月後	____月	____ t
2ヶ月後	____月	____ t
3ヶ月後	____月	____ t
4ヶ月後	____月	____ t
5ヶ月後	____月	____ t
6ヶ月後	____月	____ t

【貴市町の取組】

◎事業系ごみに対する指定ごみ袋制（有料ごみ袋制）など、効率的な料金徴収の仕組みの検討・導入を実施していますか。

- ① 導入している（具体的にご記入ください_____）
- ② 検討している（具体的にご記入ください_____）
- ③ 今後検討予定
- ④ 実施していない

（５）一般廃棄物処理計画における減量化方針等の確立

事業系ごみの減量化、再資源化を総合的、計画的に進めるため、一般廃棄物処理計画において、事業系ごみに関する数値目標等を設定するなど、その減量化方針を明確にしたうえで、具体的な施策を実施していきます。

なお、事業系ごみの減量化の数値目標については、市町村における事業系ごみの実態及びごみゼロ社会実現プランにおける排出削減目標を踏まえて、設定するものとします。

【貴市町の取組】

◎一般廃棄物処理計画において、事業系ごみに関する数値目標を設定していますか。

- ① 設定している
- ② 設定していないが、今後検討予定
- ③ 設定していないし、今後検討予定もない

上記で①と回答した方は、次の設問にお答えください。

◎事業系ごみに関する数値目標及び目標年度についてご記入ください。

数値目標： _____ 目標年度： _____

基本方向 2

事業系ごみの総合的な減量化の推進

基本取組 2-2

事業系ごみの発生・排出抑制

1 取組の内容

（１）事業所内教育の推進

個々の事業所において排出者責任の考え方を浸透させ、ごみ減量化の自主的な取組を推進するため、企業の社会的責任や環境保全活動等について、事業所内での従業員等を対象とした学習会の実施やQC活動と関連づけたごみ減量対策の推進などを進めます。

（２）ISO14001等環境マネジメントシステムの認証取得促進

ごみの減量化を含めた事業者の自主的な環境負荷低減の取組を促進するため、小規模事業者においても取り組みやすい環境マネジメントシステムの制度を構築・普及するなど、企業等のISO14001等の認証取得を促進します。

（３）自主情報公開制度の推進

産業廃棄物の分野では、事業者が廃棄物の処理実績及び管理計画等の情報を自主的に公開する「自主情報公開制度」がごみの減量化に効果を上げていることから、多量排出事業者による減量化計画や各種届出書に関する「自主情報公開制度」の運用を推進します。情

報公開する内容は、住民が閲覧しやすいよう書類を整理するとともに、インターネットなどを活用した情報提供に努めます。

また、制度の活用を促進するため、ごみの減量化等について優れた実績をあげた優良事業者を顕彰し公表するなど、事業者にとってもメリットのある施策を併せて講じます。

【貴市町の取組】

◎「自主情報公開制度」に関連する取組を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向 2

事業系ごみの総合的な減量化の推進

基本取組 2-3

事業系ごみの再利用の促進

1 取組の内容

（1）業種別ガイドラインの作成

事業者が、飲食店やオフィスといった個々の事業形態に応じて、効果的な取組を進めるため、業種ごとに減量化のための具体的な対策や目標値を明記したガイドラインを作成します。

【貴市町の取組】

◎「業種別ガイドライン」に関連する取組を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

（2）事業系ごみの再資源化推進

① 飲食店、スーパー、旅館等から発生する生ごみは、均質で一定量がまとまって排出されるため、効率的、効果的な再資源化が期待できることから、事業系生ごみの堆肥化・肥料化等を進めるため、生ごみ堆肥化等に関する県内各地の市町村、住民、NPO、事業者等における様々な取組の実績を生かしながら、堆肥から生産する農産物の地産地消など、地域と一体となった取組を推進します。

② オフィスから排出される紙ごみのうち、少量で再資源化率の低いOA用紙や新聞、段ボール以外の紙類の再資源化を進めるため、市街地や工業団地において、中小規模の事業者等による「オフィス町内会」のような取組を推進します。

【貴市町の取組】

◎事業系の生ごみや紙ごみ等の資源化促進のため、事業者等への情報提供や技術的支援を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎事業系の生ごみや紙ごみ等の資源化促進のため、事業者間の連携・交流を促進する取組を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
 ② 実施していないが、今後検討予定
 ③ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向 3

リユース（再使用）の推進

基本取組3-1

不用品の再使用の推進

1 取組の内容

(1) フリーマーケット等の開催

家庭で使わなくなった不用品の有効利用を進めるとともに、不用品の再使用等に対する県民の関心を高めるため、フリーマーケットやバザーなど住民自身が気軽に参加できる不用品の再使用のための取組を県内各地で積極的に展開します。

【貴市町の取組】

◎フリーマーケット等の開催、会場提供等の支援、開催等に係る情報提供を実施していますか。

- ① 実施している
 ② 実施していないが、今後検討予定
 ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎上記の質問で①と回答した方はお答えください。フリーマーケットの開催、会場提供等の支援、開催等に係る情報提供について平成21年度実績をご記入ください。

	実施日	名称	実施場所	実施主体	来場者数	貴市町の実施内容
例	4/22	●●フェア	●●公園	●自治会	約 250 人	開催、支援、情報提供等
	_____	_____	_____	_____	_____人	_____
	_____	_____	_____	_____	_____人	_____
	_____	_____	_____	_____	_____人	_____
	_____	_____	_____	_____	_____人	_____

(2) 不用品リサイクル情報の提供及び利用促進の仕組みづくり

家庭で使わなくなった不用品の有効利用をより効率的、広域的に進めるため、市町村の広報やホームページ等を通じて不用品のリユースやリサイクルに関する情報を広く提供するとともに、譲りたい物がある人と譲って欲しい物がある人双方のニーズを上手くマッチさせることができる情報交換の仕組みづくりなどに取り組みます。

(3) 不用品再使用のための修理、リフォーム等の推進

リサイクルプラザなど不用品のリサイクル等を推進するための公共施設において、修理教室、リフォーム教室等の開催やリサイクル関係情報の収集・発信を行うとともに、粗大ゴミとして収集した家具やおもちゃ等を修理・再生し販売するなど、リサイクルの実践活動を進めます。

(4) リサイクルショップ等の活用を進めるための仕組みづくり

家庭で使わなくなった家具等を修理、再生のうえ、商品として安価で提供するリサイクルショップ等の活用を進めるため、認定制度の創設など仕組みづくりに取り組みます。

【貴市町の取組】

◎不用品のリサイクルに関する情報提供や情報交換の仕組みづくりを実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎修理教室、リフォーム教室を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎不用品の修理・販売を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎リサイクルショップ認定制度等利用促進のための仕組みづくりを実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎リサイクルショップに関する情報発信を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向3

リユース（再使用）の推進

基本取組3-2

リターナブル(リユース)容器の普及促進

1 取組の内容

(1) 既存のリターナブル容器製品のPR等利用促進

ビールびんや一升瓶びんなど既存のリターナブル（リユース）容器のシステムの活用を

進めるため、リターナブル容器の優れたところや利用の必要性などを環境負荷の低減やごみ減量化の視点から幅広くPRします。

また、宅配サービスなど流通販売事業におけるリターナブル容器の利用を推進するとともに、軽量で耐久性のあるリターナブル容器の開発・普及などを進め、システムの利便性を高めることにより、リターナブル容器を使用する製品の利用を拡大していきます。

【貴市町の取組】

◎リターナブル容器の良さなどのPRを実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

（２）新たなリターナブル容器システムの構築

現在は再生利用、又は、使い捨てられている飲料容器等について、リターナブル容器への転換を進めるため、新たなリターナブル容器システムの構築に関する調査検討を行い、できることから順次具体化し、持続可能な経済社会のシステムとして構築していきます。

【貴市町の取組】

◎新たなリターナブル容器システムの構築に対する支援・協力を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

（３）リユースカップ・システム等の推進

テーマパークやスポーツ施設等で大量に発生する使い捨て容器ごみを減らすため、県内各地の集客交流施設、公共施設等において、リユースカップの使用やリターナブル容器を使った商品の販売を積極的に進め、施設運営システムとして定着させます。

【貴市町の取組】

◎集客交流施設等へのリユースカップ導入促進に関する取組を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎公共施設におけるリユースカップ・システムの導入及びリターナブル容器製品の優先販売を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

（４）移動食器洗浄車などリユース食器システムの整備・活用

イベント会場等で大量に発生する使い捨て容器ごみを減らすとともに、リターナブル容器に関する意識を高めるため、移動食器洗浄車を整備し、県内各地で開催されるイベントやまつり、各種大会等において活用するなど、リユース食器をレンタルするシステムなどの整備・活用を進めます。この移動食器洗浄車は、ごみゼロプランの啓発等にも積極的に活用します。

また、リユース食器システムのコミュニティビジネスとしての展開を図り、経済的にも持続可能なシステムとして定着させます。

(5) エコイベントの推進

イベント会場等で発生するごみを減らすとともに、さまざまなイベントを通じてリユース等に関する意識を高めるため、エコイベントマニュアルの普及・活用を進めるなど三重県エコイベントシステムを推進します。

また、イベントごみの受け入れの有料化や、その収入を原資としたリユース推進のための助成制度など手数料収入の活用方法について検討します。

【貴市町の取組】

◎移動食器洗浄車の購入・貸出を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎リユースカップの使用やマイはしの持参等ごみを出さないことを主催者が心がけたエコイベントを実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎ 貴市町が開催、支援、情報提供等を行った平成21年度に開催したエコイベントの開催状況について平成21年度実績をご記入ください。

	実施日	イベント名称	実施場所	実施主体	来場者数	貴市町の実施内容
例	4/22	●●フェア	●●公園	●自治会	約 250 人	開催、支援、情報提供等
	_____	_____	_____	_____	_____人	_____
	_____	_____	_____	_____	_____人	_____
	_____	_____	_____	_____	_____人	_____
	_____	_____	_____	_____	_____人	_____

基本方向 3

リユース（再使用）の推進

基本取組3-3

リースやレンタルの推進

1 取組の内容

(1) 民間事業者におけるリース・レンタル等のサービスの拡大

個人や事業者が、一時期しかない使わない製品や所有しなくても機能が利用できればよいと考える製品等について、積極的にリースやレンタルなどのサービスを利用することを促進するため、リース・レンタルする製品の種類を増やす、リース・レンタル等のサービスを提供するシステムの利便性を高める、事業所を増やす、広くPRを行うなどサービスを拡大していきます。

【貴市町の取組】

◎リース・レンタルのサービスの積極的な利用をしていますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
② 実施していないが、今後検討予定
③ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向 3

リユース（再使用）の推進

基本取組3-4

モノの長期使用の推進

1 取組の内容

(1) 製品等の修理・修繕等のサービスの拡大

製品等が故障したり、壊れたりしたとき、それをごみとして捨てなくても済むようにするため、修理・修繕等により製品をできるだけ長く使うことができるよう製品の設計段階から配慮するとともに、部品の長期保存や修理・修繕等サービス網の充実、技術者の養成など、製品等の修理・修繕等の体制整備やシステム構築を進めます。

(2) アップグレード（製品の性能・機能の向上）サービスの拡大

技術の進展に伴い製品等の性能や機能が陳腐化したり、より優れた性能や機能を持つ製品が出てきたりしたとき、新しい製品に買い替えなくても済むようにするため、アップグレードが可能となるよう製品の設計段階から配慮するとともに、アップグレードソフトの開発やアップグレードサービスの充実、技術者の養成などを進めます。

【貴市町の取組】

◎モノの長期使用の推進のため、住民に対する啓発を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
② 実施していないが、今後検討予定
③ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向 4

容器包装ごみの減量・再資源化

基本取組4-1

容器包装リサイクル法への対応

1 取組の内容

(1) 容器包装リサイクルに係る効果検証調査等の実施

容器包装廃棄物が家庭ごみに占める割合は、容積比で約6割、重量比で2~3割程度となっており、中でもプラスチック類、紙類が大きな割合を占めています。

このため県内市町村の容器包装リサイクル法への対応状況に関する調査を継続的に行うとともに、リサイクルセンターなど施設の必要性、収集運搬費用などの面からも検証を実施します。

(2) 国への提言・要望

現行の容器包装リサイクル法では、分別収集を市町村の責務としており、この経費が市町村にとって財政上の負担となっています。拡大生産者責任の考え方から、容器包装ごみの回収からリサイクルに係る費用は事業者が負担し、製品価格に転嫁するなど市場経済の仕組みの中で解決する制度とするよう、引き続き国に対し法律の改正など提言・要望を行っていきます。

【貴市町の取組】

◎市町における分別収集経費の負担軽減等のための容器包装リサイクル法の改正について、各種団体等を通じ、国への働きかけを実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
 ② 実施していないが、今後検討予定
 ③ 実施していないし、今後検討予定もない

(3) 容器包装リサイクル法の完全実施

現在の県内市町村の容器包装リサイクル法への対応状況については、プラスチック製包装容器42%、紙製包装容器5%と低い状況にあります。容器包装ごみの減量化をさらに進めるため、容器包装リサイクル法に定める全ての品目について分別収集・処理を実施します。

また、容器包装リサイクル法に基づく容器包装ごみの分別収集の完全実施に向け、効果検証調査を実施するとともに制度改正を含めた国への要望を継続的に行います。

【貴市町の取組】

◎プラスチック製容器包装の収集・処理状況についてご記入ください。

分別区分	① <input type="checkbox"/> プラスチック製容器包装	② <input type="checkbox"/> 可燃ごみ
	③ <input type="checkbox"/> 不燃ごみ	④ <input type="checkbox"/> その他（_____）
収集方法	① <input type="checkbox"/> ステーション	② <input type="checkbox"/> 戸別収集
	③ <input type="checkbox"/> 拠点回収	④ <input type="checkbox"/> その他（_____）
処理方法	① <input type="checkbox"/> 資源化处理（ <input type="checkbox"/> 容器包装リサイクルルート <input type="checkbox"/> 独自処理）	
	② <input type="checkbox"/> 焼却処理 ③ <input type="checkbox"/> 埋立処理 ④ <input type="checkbox"/> その他（_____）	

◎白色トレイの収集・処理状況についてご記入ください。

分別区分	① <input type="checkbox"/> 白色トレイ	② <input type="checkbox"/> 可燃ごみ
	③ <input type="checkbox"/> 不燃ごみ	④ <input type="checkbox"/> その他（_____）
収集方法	① <input type="checkbox"/> ステーション	② <input type="checkbox"/> 戸別収集
	③ <input type="checkbox"/> 拠点回収	④ <input type="checkbox"/> その他（_____）
処理方法	① <input type="checkbox"/> 資源化处理（ <input type="checkbox"/> 容器包装リサイクルルート <input type="checkbox"/> 独自処理）	
	② <input type="checkbox"/> 焼却処理 ③ <input type="checkbox"/> 埋立処理 ④ <input type="checkbox"/> その他（_____）	

◎紙製容器包装の収集・処理状況についてご記入ください。

分別区分	① <input type="checkbox"/> 紙製容器包装	② <input type="checkbox"/> 可燃ごみ
	③ <input type="checkbox"/> 不燃ごみ	④ <input type="checkbox"/> その他（_____）
収集方法	① <input type="checkbox"/> ステーション	② <input type="checkbox"/> 戸別収集
	③ <input type="checkbox"/> 拠点回収	④ <input type="checkbox"/> その他（_____）
処理方法	① <input type="checkbox"/> 資源化处理（ <input type="checkbox"/> 容器包装リサイクルルート <input type="checkbox"/> 独自処理）	
	② <input type="checkbox"/> 焼却処理 ③ <input type="checkbox"/> 埋立処理 ④ <input type="checkbox"/> その他（_____）	

◎その他プラスチック類（容器包装リサイクル法対象外のプラスチック）の収集・処理状況についてご記入ください。

分別区分	① <input type="checkbox"/> その他プラスチック類	② <input type="checkbox"/> 可燃ごみ
	③ <input type="checkbox"/> 不燃ごみ	④ <input type="checkbox"/> その他（_____）
収集方法	① <input type="checkbox"/> ステーション	② <input type="checkbox"/> 戸別収集
	③ <input type="checkbox"/> 拠点回収	④ <input type="checkbox"/> その他（_____）
処理方法	① <input type="checkbox"/> 資源化处理	② <input type="checkbox"/> 焼却処理
	③ <input type="checkbox"/> 埋立処理	④ <input type="checkbox"/> その他（_____）

基本方向 4

容器包装ごみの減量・再資源化

基本取組4-2

容器包装の削減・簡素化の推進

1 取組の内容

(1) 製造・流通・販売等の事業活動における工夫や改善の実施

容器包装ごみの重量や容積を減らすため、容器・包装の製造段階において、容器・包装の厚みや嵩^{かさ}などができるだけ少なくなるよう設計や素材を工夫するとともに、流通・販売段階において、容器包装が少量・簡素となるよう仕組みの改善などを進めます。

(2) 容器・包装の削減・簡素化を促す消費活動の実践

容器包装ごみの重量や容積を減らすとともに、事業者の容器包装の削減・簡素化に向けた活動を促進するため、容器包装の少ない商品の優先的な購入や、リターナブル容器の積極的な利用、簡易な包装などのサービスの選択、マイバッグの持参など容器包装の削減・簡素化を促す消費活動を実践します。

【貴市町の取組】

◎容器包装の削減・簡素化に向けた活動を促進するための啓発・PRを実施していますか。該当する項目にチェックしてください。

- 【啓発・PRの内容】
- ① 容器包装の少ない商品の優先的な購入
 - ② リターナブル容器の積極的な利用
 - ③ 簡易な包装などのサービスの選択
 - ④ レジ袋辞退・マイバッグ持参
 - ⑤ 詰め替え商品の積極的な購入
 - ⑥ その他（具体的に_____）

- 【啓発・PRの方法】
- ① 広報
 - ② ホームページ
 - ③ チラシ・パンフレット
 - ④ その他（具体的に_____）

◎上記の取組によって、どのような効果がありましたか。
具体的にご記入ください。_____

基本取組5-1

生ごみの堆肥化・飼料化

1 取組の内容

(1) 家庭の生ごみ堆肥化システムの構築

家庭から排出される生ごみを堆肥化し、できた堆肥は、農家が肥料として利用する、或いは、家庭でガーデニングなどに活用するといった「生ごみ堆肥化システム」を構築します。

【貴市町の取組】

◎生ごみの収集運搬・堆肥化業務の委託、堆肥化システムの運用を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
 ② 実施していないが、今後検討予定
 ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎貴市町でのNPO等生ごみ堆肥化団体の取組についてご記入ください。

	取組主体	活動場所	参加世帯数	生ごみ処理量 (H21実績)	貴市町の関わり
例	●●グループ	●●地区	約250世帯	10t/年間	取組主体、支援、無し
	_____	_____	_____世帯	_____t/年間	_____
	_____	_____	_____世帯	_____t/年間	_____
	_____	_____	_____世帯	_____t/年間	_____

◎貴市町で生ごみを分別収集し、直営あるいは委託によって堆肥化するにあたって（今後堆肥化しようとした場合も含む）、どのような課題がありますか。（あてはまるものすべてにチェックしてください。）

- ① 大量に堆肥ができた場合、受入先がみつからない
 ② 異物の混入で堆肥の品質が確保できない
 ③ 施設の設置や収集のための経費がかかる
 ④ 施設や集積所の設置に住民の理解や協力が得られない
 ⑤ 分別に手間がかかるなど住民への負担が大きい
 ⑥ その他（具体的に_____）

◆事業系の食品廃棄物（一般廃棄物分）の堆肥化・飼料化の取組

◎事業系の食品廃棄物（一般廃棄物分）の再資源化（堆肥化・飼料化）を進めていますか。

- ① 進めている（具体的にご記入ください_____）
 ② 進めていないが、今後検討予定
 ③ 進めてしていないし、今後検討予定もない

◎貴市町での事業系の食品廃棄物（一般廃棄物分）の堆肥化・飼料化事業者等をご記入ください。

	堆肥化事業者名	事業者の所在地	生ごみ処理量 (H21実績)	貴市町の関わり
例	●●会社	●●地区	10t/年間	支援、無し、その他（具体的に）
	_____	_____	_____ t/年間	_____
	_____	_____	_____ t/年間	_____
	_____	_____	_____ t/年間	_____

◎貴市町で事業系の食品廃棄物（一般廃棄物分）を堆肥化・飼料化するにあたってどのような課題がありますか（今後堆肥化・肥料化しようとした場合を含む）。あてはまるものすべてにチェックしてください。

- ① 市町内に堆肥化事業者がない。
- ② 事業者はいるが、一般廃棄物処理業の許可や再生利用者の個別指定を出しづらい理由がある。
理由を具体的にご記入ください。（_____）
- ③ その他（具体的にご記入ください。_____）

（2）事業者と地域産業との生ごみ堆肥化ネットワークの構築

旅館等事業者が排出する生ごみを原材料として、農作物の肥料や養殖魚の飼料などを製造し、地域の農水産業において活用し、そこでできた作物等を旅館等へ還元する循環型のネットワークを構築します。

【貴市町の取組】

◎事業者に対する堆肥化事業の立ち上げ支援を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

（3）家庭での生ごみ処理機の活用

家庭からの生ごみの乾燥などを行う生ごみ処理機を導入し、生ごみの減量、ガーデニング等に活用します。

【貴市町の取組】

◎家庭用生ごみ処理機のPRを実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎家庭用生ごみ処理機の購入に対する助成を実施していますか。

- ① 実施している
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

上記の質問で①と回答した方は助成制度の状況についてお答えください。

◎生ごみ処理機の購入助成制度について、下記項目にご記入ください。

対象とする機器の種類	助成額（例：購入額の1/2・限度額）
_____	_____
_____	_____
_____	_____

【貴市町の取組】

◎生ごみ処理機の購入助成実績（平成19～21年度）を下表にご記入ください。

	H19	H20	H21
助成者数	_____人	_____人	_____人
助成額	_____円	_____円	_____円

◎補助した生ごみ処理機で処理された量等の減量効果を把握していますか。

- ①把握している（把握方法_____）
②把握していない

◎生ごみ処理機の購入助成制度により、効果はみられましたか。

- ①効果はみられた（具体的に_____）
②効果はみられない
③どちらともいえない

基本方向 5

生ごみの再資源化

基本取組5-2

生ごみのエネルギー利用

1 取組の内容

(1) 生ごみバイオガス化に向けた調査の実施

家庭や事業所から排出される生ごみをエネルギーとして有効利用するため、システム設計を含めた生ごみのバイオガス化に関する調査を行います。

(2) 生ごみバイオガス化発電等の実証試験の実施

上記調査に基づき生ごみバイオガス化発電等のシステムをモデル地区において試験的に導入し、ごみ減量等効果やシステムの効率性、運営に要するコスト、環境への影響など様々な観点から総合的に検証を行う。

(3) 生ごみバイオガス化発電等の導入

家庭や事業所から排出される生ごみのバイオガス化発電等のシステムを導入します。

【貴市町の取組】

◎生ごみバイオガス化に向けた調査の実施（システム設計含む）、調査への協力をしていますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎生ごみバイオガス化発電等の実証実験事業の実施、事業への協力をしていますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎生ごみバイオガス化発電等システムの導入・運営を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

（４） 廃食用油のBDF化による活用

家庭から排出された廃食用油を、自動車等（市町村のごみ収集車等）の燃料として有効利用します。

【貴市町の取組】

◎廃食用油BDF化システムの導入・運営をしていますか。

- ① 実施している
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎上記の質問で①と回答した方はBDF化の取組状況等についてご記入ください。

【対象とする区域】 _____

【対象とする世帯数】 _____ 世帯

【施設・設備の能力、規模】 _____ L/日

【収集処理H21実績】 廃食用油 _____ L → BDF _____ L

【事業に要する経費】 施設等整備費 _____ 千円 維持管理費 _____ 千円/年間

【BDF化についての課題】 あれば具体的に _____

基本方向 6

**産業・福祉・地域づくりと一体となった
ごみ減量化の推進**

基本取組6-1

ローカルデポジット制度の導入

1 取組の内容

（１）商店街、中心市街地等における飲料容器デポジット制度の導入

飲料容器を資源物として効率的に回収するとともに再資源化事業の経済性を高めるため、

商店街や中心市街地など買い物や通勤通学で日常的に多くの住民が訪れる場所において、事業者と行政、NPOなどが連携し、飲料容器の自動回収機などを活用したデポジット制度を導入・運用します。

(2) 観光地等における飲料容器デポジット制度の導入

観光地など集客交流拠点が集中する地域や大規模な集客交流施設などにおいて散乱ごみ防止と資源物回収の効率化を進めるため、観光事業者や施設運営者、地域の流通販売事業者等が一体となって、飲料容器のデポジット制度を導入・運用します。

【貴市町の取組】

◎デポジットシステムを導入・運営する事業者の支援をしていますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎事業者と連携しデポジットシステムを導入・運用（コスト負担、回収した資源化の処理）を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎デポジット制度を導入することで、どのような効果がありましたか。
具体的にご記入ください

基本方向6 産業・福祉・地域づくりと一体となった ごみ減量化の推進

基本取組6-2

障害者や高齢者等のごみゼロ活動への参画促進

1 取組の内容

(1) 障害者や高齢者の支援と連携したリサイクル事業の展開

障害者や高齢者の社会参加、自立支援等の促進を目的として、福祉関係団体等が中心となり、事業者とも連携しながら事業所等で不用となった資源物のリサイクルなどの事業に取り組みます。

【貴市町の取組】

◎福祉関係団体等への情報提供、財政支援等を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

上記で①と回答した方は次の設問にお答えください。

◎どのような効果がありましたか（具体的にご記入ください_____）

(2) 元気な高齢者等の活力をごみゼロに生かす仕組みづくり

「再生資源物等の集団回収促進」、「分別ルール徹底」、「生ごみの堆肥化・利用促進」などのごみ減量化に関する課題と、「コミュニティ活動の活性化」、「遊休農地等中山間地域における土地の有効利用」という地域の課題を上手く関連づけて同時に解決を図るため、企業退職者等の活力を地域課題の解決に生かすための仕組みづくりを進めます。

【貴市町の取組】

◎企業退職者等のニーズの集約、地域での活動の受け皿に関する情報発信を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向6 産業・福祉・地域づくりと一体となった ごみ減量化の推進

基本取組6-3

ごみゼロに資する地域活動の活性化促進

1 取組の内容

(1) 地域通貨の仕組みを活用したリサイクルの推進

地域におけるリユースやリサイクルの取組について、地域通貨を活動促進のためのツールとして活用します。例えば、NPO、地域住民組織が主体となり行政や地域の事業者と連携しながら、地域通貨を活用した資源物回収システムを運営する。システムの運営主体は、市町村からの助成を受けながら家庭で不用となった資源物の回収、売却等を行うとともに、住民に対して持ち込んだ資源物の量に応じて地域通貨を発行します。住民は、地域通貨の額に応じて、市町村指定のごみ袋や事業者のサービス購入に利用します。

【貴市町の取組】

◎地域通貨の仕組みを活用した取組について、資源回収に対する助成や地域通貨と交換できるサービスの提供を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

上記で①と回答した方は次の設問にお答えください。

◎どのような効果がありましたか（具体的にご記入ください_____）

(2) コミュニティ単位でのごみゼロ活動の促進

ごみ減量化やリサイクルに関して一定の成果を上げている地域において、活動の核となる地域住民組織に対して、活動助成金を交付するとともに、集積所の管理や分別の指導などコミュニティにおける意識の向上等に関する活動に協力してもらう。

【貴市町の取組】

◎コミュニティ単位でのごみゼロ活動について、活動助成金の交付等の協力を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

上記で①と回答した方は次の設問にお答えください。

◎どのような効果がありましたか（具体的にご記入ください_____）

（3）基金による地域住民活動の支援

家庭系ごみ有料化の収入等を原資として基金を設置し、ごみの減量やリサイクル、生活環境の保全、環境学習の推進など、広く循環型社会の構築に関わる地域住民主体の取組に対して支援を行う。

【貴市町の取組】

◎基金の設置、管理運用を実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向6 **産業・福祉・地域づくりと一体となった
ごみ減量化の推進**

基本取組6-4

民間活力を生かす拠点回収システムの構築

1 取組の内容

（1）店頭回収システムによるリサイクルの促進

一定の集客が見込めるスーパーやショッピングセンターにおいて店頭回収システムの構築、又は、利用を促進するため、事業者と関係市町村の役割分担の適正化及び連携強化やシステム運営の効率化などを進める。

【貴市町の取組】

◎店頭回収システムについて、事業者と協働し実施していますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

上記で①と回答した方は次の設問にお答えください。

◎どのような効果がありましたか（具体的にご記入ください_____）

(2) NPO・事業者・行政の連携による資源物拠点回収システムの構築

中心市街地など小売店や事業所が多く立地する地域において、事業者とNPO等が連携し、空き店舗などを活用して、小売店等で不用となった資源物の拠点回収システムを構築・運営する。小売店（流通・販売事業者）、NPO、再生事業者の三者が以下のような役割分担（例示）のもとに協働していく。

役割分担のモデル ◆小売店等：回収拠点となる場所提供、資源物の提供
◆NPO等：回収拠点の維持管理などシステムの運営
◆再生事業者：資源物の収集・運搬・利用

【貴市町の取組】

◎NPO・事業者が連携した資源物拠点回収システム事業は、集団回収として位置づけていますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
② 実施していないが、今後検討予定
③ 実施していないし、今後検討予定もない

上記で①と回答した方は次の設問にお答えください。

◎集められた資源物の量は把握していますか。

- ① 把握している
② 把握していないが、今後把握する予定
③ 把握していないし、今後把握する予定もない

基本方向6 産業・福祉・地域づくりと一体となった ごみ減量化の推進

基本取組6-6

埋立ごみの資源としての有効利用の推進

1 取組の内容

(1) 廃プラスチック等の有効利用に関する調査研究等

再使用・再生利用できず埋立ごみとして処理されている廃プラスチックや焼却灰などを資源として有効利用するため、それら廃プラスチック等の排出源・排出量やその性状、収集コストなど利用の際の条件を明らかにするとともに、熱・エネルギー回収などその活用方策について調査研究を行います。また、その調査研究の成果に基づき有効利用を進めます。

【貴市町の取組】

◎埋立ごみとして処理されている廃プラスチック等の有効利用に関する調査研究への協力、実施をしていますか。

- ① 実施している（具体的にご記入ください_____）
② 実施していないが、今後検討予定
③ 実施していないし、今後検討予定もない

(2) 事業者における廃プラスチック等の利用促進

再使用・再生利用できない廃プラスチック等の熱・エネルギーを事業者等において有効利用するため、エネルギー利用に関して、事業者のニーズの掘り起こしや、産学官の連携による技術開発、利用システムの調査検討を行うとともに、技術革新に取り組むための業種の枠を越えたネットワークづくりを進めます。また、事業化が見込まれるものについては、そのためのシステムの整備等を進めます。

【貴市町の取組】

◎埋立ごみとして処理されている廃プラスチック等の有効利用に関するシステム整備への支援・協力をしていますか。

① 実施している（具体的にご記入ください_____）

② 実施していないが、今後検討予定

③ 実施していないし、今後検討予定もない

上記で①と回答した方は次の設問にお答えください。

◎どのような効果がありましたか（具体的にご記入ください_____）

基本方向 7

公正で効率的なごみ処理システムの構築

基本取組 7-1

ごみ処理の有料化等経済的手法の活用

1 取組の内容

(1) ごみ減量化対策における経済的手法の検討

ごみの排出抑制と処理経費の負担の公平化のため、家庭系ごみの有料化など経済的手法の活用について検討を行います。

(2) 家庭系ごみの有料化導入にあたっての諸手続の実施

家庭系ごみ有料化等経済的手法の活用に対する住民や事業者の意識を把握するとともに、有料化等に係る料金設定や制度の導入にあたって講じるべき各種施策等に関する意見、提案等を収集するため、住民等を対象としたアンケート調査を実施します。その際、住民等の有料化制度に対する理解を促進するとともに、ごみ減量化への意識を高めるため、啓発に資する情報を盛り込むなど工夫します。

また、住民や有識者からなる「家庭系ごみ有料化制度検討委員会（仮称）」を設置し、家庭系ごみ有料化制度の具体的な内容や制度を円滑に導入、運営するための取組などについて検討を行い、有料化制度の導入に生かします。

(3) 家庭系ごみ有料化制度の検証

市町村合併等に伴い既存の有料化制度が変更される市町村、或いは、新たに有料化制度を導入する市町村等について、変更前後、或いは、導入前後のごみ排出量やごみ処理コストの変動などについて調査分析を行い、有料化制度の成果や影響等を明らかにすることにより、より適正なごみ有料化制度の確立、制度の導入につなげます。

(4) 家庭系ごみ有料化制度の導入

家庭系ごみ有料化制度を創設するとともに、制度を円滑に運用しその効果を一層高めるため、住民説明会や啓発活動を行います。また、有料化制度の導入に伴う不法投棄の発生

を抑えるために、必要な対策を講じます。

【貴市町の取組】

◎家庭ごみの有料化制度の導入状況についてお聞きします。

※有料化制度とは、家庭から排出されるごみについて、市町が、条例に基づき、ごみ袋やシール等の販売によりごみ処理手数料を徴収する仕組みをいいます。

(1) 家庭ごみの有料化制度の導入状況について該当する項目にチェックしてください。

- ① 有料化制度を導入している【前回調査時点(平成21年7月)から対象ごみ、袋サイズ等の変更 あり なし】
- ② 有料化制度の導入を予定している。(平成____年____月導入予定)
- ③ 有料化制度の導入を検討している。
- ④ 有料化制度を導入していないが、今後検討する予定である。
- ⑤ 有料化制度を導入していない、かつ今後検討の予定もない。

(1)で①と回答した方は、次の(2)と(3)の設問にお答えください。

(2) 有料化制度導入後の手数料料金をご記入ください。

(ごみの種類や量(袋の大きさ)に応じて単価が違う場合はすべてご記入ください。)

燃えるごみ 燃えないごみ 資源ごみ

(3) 有料化制度を導入した月の6ヶ月前と6ヶ月後の家庭系ごみの月別搬入量をご記入ください。

	年月	家庭系ごみ搬入量
<u>6ヶ月前</u>	____月	____t
<u>5ヶ月前</u>	____月	____t
<u>4ヶ月前</u>	____月	____t
<u>3ヶ月前</u>	____月	____t
<u>2ヶ月前</u>	____月	____t
<u>1ヶ月前</u>	____月	____t
料金改定実施月	平成 ____年 ____月	____t
<u>1ヶ月後</u>	____月	____t
<u>2ヶ月後</u>	____月	____t
<u>3ヶ月後</u>	____月	____t
<u>4ヶ月後</u>	____月	____t
<u>5ヶ月後</u>	____月	____t
<u>6ヶ月後</u>	____月	____t

(4) 家庭ごみの有料化等のごみ処理施策に関する住民を対象としたアンケートを実施したことがありますか。

- ① ある (実施時期____年____月)
- ② 実施予定 (実施予定時期____年____月)
- ③ 検討中
- ④ ない

(5) (1)で③と回答した方にお聞きします。

現在の検討状況について、該当する項目にチェックしてください。

【検討組織】 ごみ減量推進委員会等（組織名 _____） 担当部所

【検討内容】 ごみの有料化実施に向けて検討している

ごみの有料化の是非について検討している

ごみの有料化制度について他市町の状況などの勉強をしている

その他（ _____ ）

【貴市町の取組】

◎家庭ごみの指定ごみ袋制度の導入状況について該当する項目にチェックしてください。

※ 指定ごみ袋制度とは、住民が使用のごみ袋を市町が指定するが、袋代には処理手数料は含みません。

① 指定ごみ袋制度を導入している。【前回調査時点（平成21年7月）から対象ごみ、袋サイズ等の変更 あり なし】

② 指定ごみ袋制度の導入を予定している。（平成 _____ 年 _____ 月導入予定）

③ 指定ごみ袋制度の導入を検討している。

④ 指定ごみ袋制度を導入していないが、今後検討する予定である。

⑤ 指定ごみ袋制度を導入していない、かつ今後検討の予定もない。

基本方向 7

公正で効率的なごみ処理システムの構築

基本取組 7-2

廃棄物会計・LCAの活用促進

1 取組の内容

(1) 廃棄物会計導入マニュアルの作成

廃棄物会計の標準化及び普及のため、行政職員、有識者等からなる研究会組織を立ち上げ、その基本的な仕組みや具体的な作成手順、活用方法、効果等について調査研究を行うとともに、市町村において試験的に廃棄物会計を作成し、廃棄物会計を導入する際のマニュアルとして取りまとめます。

(2) 廃棄物会計導入に向けた普及活動の実施

廃棄物会計を広く普及させるため、市町村へのヒアリング等を行い、廃棄物会計導入に対するニーズや問題点等を把握するとともに、廃棄物会計に関する研修会等を開催します。

【貴市町の取組】

◎ヒアリングへの協力、研修会への参加をしていますか。

① 実施している

② 実施していないが、今後検討予定

③ 実施していないし、今後検討予定もない

(3) LCA手法の適用可能性調査の実施

LCAの手法を活用した市町村ごみ処理事業の評価について、その適用の可能性や具体的な方法について調査研究を行います。また、実際に市町村の事業について試験的に評価を行い、その結果の活用方法や問題点等を整理します。

【貴市町の取組】

◎フィールドの提供など適用可能性調査等への協力をしていますか。

- ① 協力している
- ② 協力していないが、今後検討予定
- ③ 協力していないし、今後検討予定もない

(4) 市町村ごみ処理カルテの作成とその活用促進

市町村が把握・公開していたこれまでのごみ処理に関するデータに加え、廃棄物会計のコスト情報やLCA手法に基づく評価結果、住民・事業者の取組状況などのデータを用いて、市町村ごみ処理システムの現状や課題等について総合的に診断し、その結果を市町村ごみ処理カルテとして取りまとめ公開します。

また、これらのカルテをもとにベンチマーキングを行い、ベストプラクティスの情報を既存の取組の改善や新たなごみ減量化施策の構築、住民参画の促進などに活用します。

【貴市町の取組】

◎該当する項目にチェックしてください。実施している場合は、具体的内容をご記入ください。

取組内容	実施状況
コスト情報 [*] の把握・整理（ 廃棄物会計 など） ※H19年6月に環境省が公表した「廃棄物会計基準」を用いた原価などコスト情報	<input type="checkbox"/> 実施（具体的にご記入ください_____） <input type="checkbox"/> 今後検討予定（平成_____年度実施予定） <input type="checkbox"/> 予定なし（理由_____）
LCA手法による自主評価	<input type="checkbox"/> 実施（具体的にご記入ください_____） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし
カルテの作成・公表（ 市町ごみ処理カルテ など）	<input type="checkbox"/> 実施（具体的にご記入ください_____） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし（理由_____）
ベンチマーキングの実施	<input type="checkbox"/> 実施（具体的にご記入ください_____） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし
ベストプラクティス情報の活用	<input type="checkbox"/> 実施（具体的にご記入ください_____） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし

廃棄物会計や市町ごみ処理カルテを導入している市町は次の設問にお答えください。

◎これらを導入したことによる効果あるいは課題について具体的に記入してください。

基本方向 7

公正で効率的なごみ処理システムの構築

基本取組 7-3

地域密着型資源物回収システムの構築

1 取組の内容

(1) 資源回収ステーションの設置・運営

家庭で不用となった資源物を行政回収に出す際の利便性を高めるため、住民が自分の都合に合わせて直接資源物を持ち込むことができる資源回収ステーションを設置し、NPO等との協働で運営します。資源回収ステーションの基本的な考え方は以下のとおりです。

- 土・日も営業する、24時間持ち込み可能とするなど、できるだけ住民が利用しやすいような運営とする。
- ステーションの維持管理等については、シルバー人材やボランティアの活用、福祉事業との連携、NPOや地域住民組織等への委託などにより、地域の人的資源活用など副次効果の発揮と運営の効率化をめざす。
- 単なる資源物の回収・保管場所とするのではなく、環境学習の場、住民参加の場として活用する。

【貴市町の取組】

◎NPO 団体や自治会が管理し、住民が利用しやすい時間に運営している回収拠点を設置・運営していますか。

- ① 実施している
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎ ①と回答した方にお聞きします。

(1) 拠点ごとの平成21年度の回収実績量を下表にご記入ください。

	回収拠点名	管理主体	紙類 (t)	金属類 (t)	ガラス類 (t)	PET (t)	プラスチック (t)	布類 (t)	その他 (t)
例	●●ステーション	●●自治会	10	15	11	3	2	2	3
1	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
2	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
3	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
4	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
5	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
6	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
7	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____

(2) (1)で記入していただいたステーションの管理主体との関わりについて該当する項目すべてにチェックしてください。

- ① 管理主体に管理運営の委託費を支払っている。
- ② 管理主体に資源ごみ回収の助成金を支払っている。
- ③ 管理主体がボランティアで実施している。
- ④ その他 (_____)

(2) 地域ニーズに対応した集団回収の促進

集団回収における関係主体のメリットを高めるとともに、高齢者の生活支援など地域のニーズに対応した活動の展開につなげるため、集団回収を担う団体（実施主体）と行政、再生事業者等が、それぞれの抱える課題や要望等について定期的に話し合うなどコミュニケーションを密にし、取組における連携を強化します。行政や実施主体は、地域住民に対するPRや集団回収に対する地域の要望の収集を積極的に行い、地域住民の参加を促進するとともに、活動の見直し・改善に努め、計画的、効果的に取り組みます。

【貴市町の取組】

◎集団回収の助成制度についてお聞きします。

(1) 集団回収の助成制度がありますか。

- ① ある
- ② ない

(2) 集団回収の助成制度の今後について、該当する項目にチェックしてください。

【助成制度】 今後も継続 廃止予定（平成 _____ 年度） 継続か廃止するか検討

【対象品目】 拡大予定 現状のまま 縮小予定

【助成金額】 増加予定 現状のまま 減少予定

(1)で①と答え方は(3)以降の質問にお答えください。

(3) 集団回収の助成対象品目、助成額を記入ください。

	対象品目	助成金額（円/kg）
1	_____	_____
2	_____	_____
3	_____	_____
4	_____	_____
5	_____	_____
6	_____	_____

(4) 集団回収の実施団体の内訳数及び回収量をご記入ください。（平成21年度実績）

	小学校等	町内会・自治会	子供会	その他	合計
実施団体数	_____	_____	_____	_____	_____
回収量(kg)	_____	_____	_____	_____	_____

(5) 集団回収を促進するために実施している取組について、該当する項目にチェックしてください。

- ① 集団回収を担う団体（実施主体）と行政、再生事業者等が、それぞれの抱える課題や要望等について定期的に話し合っている。
- ② 地域住民に対して集団回収のPRを実施している。
- ③ 集団回収に対する地域の要望の収集を実施している。
- ④ その他（具体的にご記入ください）

(6) 集団回収を促進していくうえでの課題がありましたら、ご記入ください。

基本方向 7

公正で効率的なごみ処理システムの構築

基本取組 7-4

地域のごみ排出特性を踏まえたごみ行政の推進

1 取組の内容

(1) ごみ排出特性の把握・活用

市町村内の各地域のごみ排出特性を踏まえた、よりきめ細かく効果的なごみ行政を進めるため、衛星利用測位システム（GPS）等のIT技術を活用して、自治会や小学校区ごとのごみ排出量を計測・分析し、そのデータ等に基づいて排出源や地域に応じた啓発・指導や減量・再資源化対策の実施、効率的な収集・運搬ルートの整備、事業効果の把握による施策の見直し・改善などを行います。

(2) 市町村ごみマップの活用

住民のごみ減量化に対する意識や行動の変革を促すため、自治会や小学校区ごとのごみ排出量をマップ化し、そのデータから得られた地域ごとの課題等と合わせて、広く公開します。また、環境学習の教材として活用・提供します。

【貴市町の取組】

◎自治会や小学校区ごとのごみ排出量の計測・分析を実施していますか。

- ① 実施している（具体的に_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎自治会や小学校区ごとのごみ排出量データに基づく施策の検討や実施をしていますか。

- ① 実施している（具体的に_____）
- ② 検討している（具体的に_____）
- ③ 実施していないが、今後検討予定
- ④ 実施していないし、今後検討予定もない

◎市町ごみ処理マップの作成・公開をしていますか。

- ① 実施している（具体的に_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向 8

ごみ行政への県民参画と協働の推進

基本取組8-1

住民参画の行動計画づくり

1 取組の内容

(1) 住民参画による市町村ごみ処理基本計画の策定

ごみ行政への実質的な県民参画等を実現するため、市町村において、計画策定に係る委員の公募や、住民を対象としたごみ処理の専門的知識に関する学習会の開催、住民が自分の意見や提案を気軽に表明できるパブリックコメントやワークショップなど多様な参画の機会を系統的に提供しながら、ごみ処理基本計画の策定を進めます。また、事業の企画・実施やプランの評価・改善など計画の実行段階における取組についても、住民の参画を推進します。

【貴市町の取組】

◎住民参画によるごみ処理基本計画づくりを実施していますか。

- ① 実施している（平成_____年度策定）
- ② 今後検討予定（平成_____年度検討予定）
- ③ 実施していないが、今後検討予定
- ④ 実施していないし、今後検討予定もない

【貴市町の取組】

◆現在、策定している一般廃棄物処理計画についてお答えください。（策定されていない場合、回答は不要です。）

◎一般廃棄物処理計画の策定年度、計画期間についてご記入ください。

・策定年度： _____ 年度 計画期間： _____ 年度～ _____ 年度

◎目標を定めている場合は、項目、目標年度及び目標数値をすべてご記入ください。

・項目： _____ 目標年度： _____ 目標数値： _____

・項目： _____ 目標年度： _____ 目標数値： _____

・項目： _____ 目標年度： _____ 目標数値： _____

・項目： _____ 目標年度： _____ 目標数値： _____

・項目： _____ 目標年度： _____ 目標数値： _____

(2) 住民・事業者・行政の協働組織を核とした活動の展開

住民、事業者、行政が、ごみ減量化等の取組において連携・協働を進めることにより、県民参画等をより実効性のあるものとするため、参加者の自発性に重点を置き主体性の尊重とパートナーシップを運営の基本とする計画推進組織等を立ち上げ、広域的なPR活動や地域団体等のサポート、ごみ減量化活動のネットワークづくりなどを進めます。

【貴市町の取組】

◎ごみ減量化会議等の設置・運営をしていますか。

- ① 実施している（具体的に_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

(3) 地域でごみ減量化に取り組む住民、NPO等の相互交流の場づくり

住民、事業者、NPO等の自発的、主体的なごみ減量化の取組を促すとともに、それらの広域展開と充実・レベルアップにつなげるため、地域でごみの減量化等に取り組む住民、事業者、NPO等にプランを啓発するとともに、情報交換などそれらの相互交流を促進する場づくりを進めます。

【貴市町の取組】

◎地域ごみゼロ推進交流会に参加していますか。

- ① 参加している
- ② 参加していないが、今後検討予定
- ③ 参加していないし、今後検討予定もない

基本方向 8

ごみ行政への県民参画と協働の推進

基本取組8-2

レジ袋削減・マイバッグ運動の展開

1 取組の内容

(1) レジ袋ないない活動の展開

「レジ袋」を日常生活における大量消費型社会の象徴としてとらえ、レジ袋を使い捨てるという消費生活スタイルから、繰り返し「マイバッグ」などを使用する消費生活スタイルへの転換を図り、ひいてはライフスタイルそのものを資源循環型へと誘導するため、ごみ削減に向けた日常的な取組として、買物の際には「マイバッグ」を持参し「レジ袋」をもらわないようにする“レジ袋ないない活動”のキャンペーンを全県的に展開します。

また、県内の取組事例を積極的にPRし、マイバッグによる買物スタイルを推奨するとともに、レジ袋の有料化やポイント制度などマイバッグ利用のインセンティブとなるシステムについて検討・導入を進めます。

【貴市町の取組】

◎スーパー等のレジ袋の有料化の実施状況について、該当する項目にチェックしてください。実施している場合は、具体的内容をご記入ください。

- ① 実施している（平成____年____月実施）（参加：____社____店舗）
- ② 今後検討予定（平成____年____月実施予定）
（参加予定：____社____店舗）
- ③ 実施していないが、今後検討する予定がある。
- ④ 実施していない、かつ、今後検討する予定もない。

【貴市町の取組】

◎レジ袋削減・マイバッグ運動の実施状況について、平成21年度実績をご記入ください。

	実施日	内容	実施場所	実施主体	マイバッグ持参率	貴市町の実施内容
例	4/22	チラシ配布	●●スパー	●●会	約 20%	開催、支援、情報提供等
1	____	____	____	____	____%	____
2	____	____	____	____	____%	____
3	____	____	____	____	____%	____
4	____	____	____	____	____%	____

レジ袋削減・マイバッグ運動に取り組んでいる市町にお聞きします。

◎レジ袋削減・マイバッグ運動の効果及び課題についてご記入ください。

◎レジ袋削減・マイバッグ運動による収益金の活用方法についてご記入ください。

◎レジ袋削減・マイバッグ運動のような意識から行動につながる新たな取組について、計画していることがあればご記入ください。

基本方向 8

ごみ行政への県民参画と協働の推進

基本取組8-3

ごみゼロに資するNPO、ボランティア等の活動推進

1 取組の内容

(1) NPO等の創意工夫を生かす協働事業の推進

NPOや地域団体、ボランティア等の発想や専門性、ネットワーク等を生かしつつ「ごみゼロ社会」実現のための取組を推進するため、NPO等から具体的な取組の企画提案があった場合などに事業化に向けた検討を行う体制の整備や協働するための仕組みづくりを行うなど、NPO等の創意工夫を生かす協働事業を推進します。

(2) ごみ行政におけるNPO等との連携・協働の推進

リサイクル施設等の運営や維持管理、環境学習・環境教育プログラムやPR・啓発事業の企画・実施、分別等ごみ排出ルールの指導徹底といった市町村の施策において、NPOや地域団体、ボランティアとの協働を推進していきます。

(3) ごみゼロNPOマップの作成

県内各地でごみゼロに資するNPOの取組が実施されていますが、個々のNPOは、継続的な事業運営やNPOとしての自立に向けた課題を抱えています。こうした取組の継続・発展を促すため、県内のごみゼロNPOの取組事例や分かりやすい地図情報を含む「ごみゼロNPOマップ」を作成し、情報発信します。

【貴市町の取組】

◎ ごみゼロの取組をしているNPOの把握をしていますか。

- ① 把握している（把握方法：_____）（把握している団体数：_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

【貴市町の取組】

◎NPO等団体との連携・協働について該当する項目にチェックしてください。実施している場合は、具体的内容をご記入ください。

取組内容	実施状況
NPO等団体の活動を側面的に支援	<input type="checkbox"/> 実施（具体的にご記入ください_____） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし
リサイクル施設等への運営	<input type="checkbox"/> 実施（具体的にご記入ください_____） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし
各種事業の企画・実施	<input type="checkbox"/> 実施（具体的にご記入ください_____） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし
住民への啓発・情報提供等施策における協働（事業委託、共同開催、共同実施、協力支援等）	<input type="checkbox"/> 実施（具体的にご記入ください_____） <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし

(4) 自分たちの活動が地域社会で役立っていることを実感させる仕組みづくり

ごみゼロコンテストの開催などを通じて、ごみ減量化等に大きな成果を上げた個人や地域団体、NPO等の活動を顕彰するとともに、広くPRします。

【貴市町の取組】

◎ごみゼロに取り組む個人や地域団体、NPO等の活動の顕彰・PRをしていますか。

- ① 実施している（具体的に_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

基本取組8-4

情報伝達手段の充実及び啓発・PRの強化

1 取組の内容

(1) 「ごみゼロ社会実現プラン」の啓発

県民のごみゼロプランに対する浸透を図るとともに、自発的な行動を促すため、ポスターやパンフレットなど様々なメディアを通じて啓発を進めるとともに、出前講座などによりごみゼロプランの内容や進捗状況など詳細な情報提供を行います。

【貴市町の取組】

◎ごみゼロプランに関する情報提供を実施していますか。

- ① 実施している（具体的に_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

(2) コスト情報等の積極的な提供

県民がごみ問題を自らの問題として捉え、ごみ減量や資源化などの行動を起こす動機とするため、市町村のごみ量・資源化量やごみ処理に係るコストや環境負荷など、ごみに関するより正確で詳しい情報を継続して提供します。

(3) ホームページ等各種メディア等を活用したごみに関する情報発信の充実

ごみに関するより具体的で分かりやすい情報提供を行うことにより、県民参画等を実質的なものとするため、ホームページや広報、ケーブルテレビ、ミニコミ誌、タウン誌などさまざまなメディアをその特性に応じて活用し、ごみに関する情報発信を充実させていきます。また、公共施設などたくさんの人々が集まるような場所で、掲示板等を活用し、さまざまな情報を提供していきます。さらに、近年県内の外国人居住者が増加してきており、それらの方たちにとっても分かりやすく的確な情報提供や啓発を行っていきます。

【貴市町の取組】

◎ごみに関する情報提供について該当する項目にチェック及び具体的に記入してください。

情報提供の内容	情報提供の実施	広報媒体	
ごみ量・資源化量	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 広報誌 <input type="checkbox"/> ケーブルテレビ <input type="checkbox"/> タウン誌	<input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> ミニコミ誌 <input type="checkbox"/> その他（_____）
ごみ処理に係るコスト・環境負荷	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 広報誌 <input type="checkbox"/> ケーブルテレビ <input type="checkbox"/> タウン誌	<input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> ミニコミ誌 <input type="checkbox"/> その他（_____）
その他（具体的に_____）	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 今後検討予定 <input type="checkbox"/> 予定なし	<input type="checkbox"/> 広報誌 <input type="checkbox"/> ケーブルテレビ <input type="checkbox"/> タウン誌	<input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> ミニコミ誌 <input type="checkbox"/> その他（_____）

基本方向9 ごみゼロ社会を担うひとづくり・ネットワークづくり

基本取組9-1

環境学習・環境教育の充実

1 取組の内容

(1) 環境学習・環境教育のツール・プログラム等の開発

世代別、家庭・職場・地域別など対象に応じた環境学習や環境教育のプログラムにより、より効果的で継続的な環境学習・教育を進めるため、年齢層や場所に応じて様々な環境学習・教育の機会において活用できるツールやプログラム等の開発を行います。

【貴市町の取組】

◎今後、年齢層や場所に応じて様々な環境学習・教育の機会において活用できるツールやプログラム等が開発されれば、活用したいと思いますか。

- ① 活用したい
- ② 活用するかを検討したい
- ③ その他（具体的に_____）

(2) 20年後のライフスタイル体験プログラムの実施

ごみゼロプランのめざす20年後の地域社会の姿やライフスタイルの優れたところや良いところを子供から大人まで幅広い年代の方たちに理解してもらい、将来の環境保全活動を担ってもらうため、物を大切に長く使う日本固有の生活文化や質的に豊かな生活、環境配慮型のライフスタイルなど、ある程度まとまった期間の中で体験させるプログラムを提供する仕組みを構築し、NPOや地域が協働のもとに運営します。

【貴市町の取組】

◎体験プログラム提供事業について、企画・運営や自治会・NPO等民間団体への支援を実施していますか。

- ① 実施している（具体的に_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

(3) 「こどもエコクラブ」の活動と「ごみゼロ」推進との連携強化

「こどもエコクラブ」の活動を通じてごみゼロ推進の取組の広域的な展開を図るため、エコクラブ関係者との情報交流や、里山保全活動、自然観察会といった地域のエコクラブ活動への人材派遣などエコクラブに対する支援を行うとともに、リサイクル体験などエコクラブの会員を対象としたごみに関する学習会の共同開催など、相互の連携による取組を推進します。

【貴市町の取組】

◎こどもエコクラブの活動への協力を実施していますか。

- ① 実施している（具体的に_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◆キッズISO14000プログラムの活用

◎キッズISO140001プログラムを用いた環境教育を実施していますか。

- ① 実施している（具体的に_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

(4) 家庭における環境学習・教育の推進

ごみゼロ社会を担う人づくりに関しては、家庭における学習や教育がとても大切です。このため、家庭でもごみゼロ社会の実現について話し合えるような分かりやすいごみゼロプランのPR版を作成し配布するとともに、家庭で楽しみながら気軽に取り組めるような環境学習・教育のツールの普及を進めることにより、家庭における環境学習・教育を推進します。

【貴市町の取組】

◎家庭における環境学習・教育の啓発を実施していますか。

- ① 実施している（具体的に_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

◎環境学習等を推進するNPO等への協力・支援を実施していますか。

- ① 実施している（具体的に_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

上記で①と回答した方は次の設問にお答えください。

◎どのような効果がありましたか（具体的に_____）

◎県では、ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」を活用し、県民の皆さんにごみ減量に向けたPRを行っています。貴市町では、ごみ減量の普及啓発について、どのような普及啓発を行っていますか。（具体的に_____）

(5) 県環境学習情報センターの機能の充実と活用

三重県環境学習情報センターの機能を活用し、さまざまな年齢層に対する段階的・継続的な環境学習プログラムを提供するため、県環境学習情報センターの機能の充実・強化を図るとともに、幅広い年齢層を対象とした環境学習プログラムを体系的・総合的に提供していきます。

【貴市町の取組】

◎県環境学習情報センターの機能を活用し、地域への情報提供や環境学習機会の提供を実施していますか。

- ① 実施している（具体的に_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向9 ごみゼロ社会を担うひとづくり・ネットワークづくり

基本取組9-2

ごみゼロ推進のリーダーの育成と活動支援

1 取組の内容

(1) より専門的な技術や知識を伝授する「ごみゼロ達人」の育成

地域の課題の解決に向け地域の主体的なごみゼロの取組を推進するため、ごみゼロに関する様々な分野における専門的な技術や知識を有しており、ごみゼロの“こつ”を伝授する「ごみゼロ達人」を育成し、地域のニーズを掘り起こすとともに、達人の派遣などを進めます。

(2) 「ごみゼロ人材ガイドブック」の作成

ごみ減量化に熱心に取り組んでいる人たちと地域をつなぐことによりその活動をサポートするため、地域と密着した「ごみゼロ人材ガイドブック」を作成し、広く公開します。

【貴市町の取組】

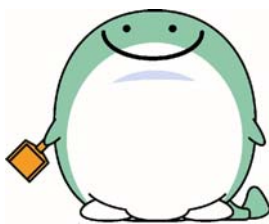
◎「ごみゼロ達人」育成について、今後協力したいと思いますか。

- ① 協力したい
- ② 協力するかを検討したい
- ③ その他（具体的に_____）

◎「ごみゼロ人材ガイドブック」の作成・公開・更新や情報提供を実施していますか。

- ① 実施している（具体的に_____）
- ② 実施していないが、今後検討予定
- ③ 実施していないし、今後検討予定もない

☆☆☆☆☆☆ご協力ありがとうございました☆☆☆☆☆☆



「ゼロ吉」とその家族ゼロ吉ファミリーはごみゼロ社会の実現に資する場合には、自由に使用していただけます。また、ごみ削減を啓発するDVDや「ゼロ吉」着ぐるみ“エアゼロ吉”の貸し出しも行っています。ご希望される場合はあらかじめ三重県環境森林部ごみゼロ推進室までお問い合わせください。

三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」

平成 22 年度一般廃棄物実態調査

報告書

平成 22 年 11 月

三重県環境森林部 ごみゼロ推進室

〒514-8570 三重県津市広明町 1 3 番地

TEL 059-224-3126 FAX 059-229-1016

E-mail gomizero@pref.mie.jp

三重県ごみゼロホームページ <http://www.eco.pref.mie.jp/gomizero/>

この冊子は、環境に配慮している製品を使用しています。

